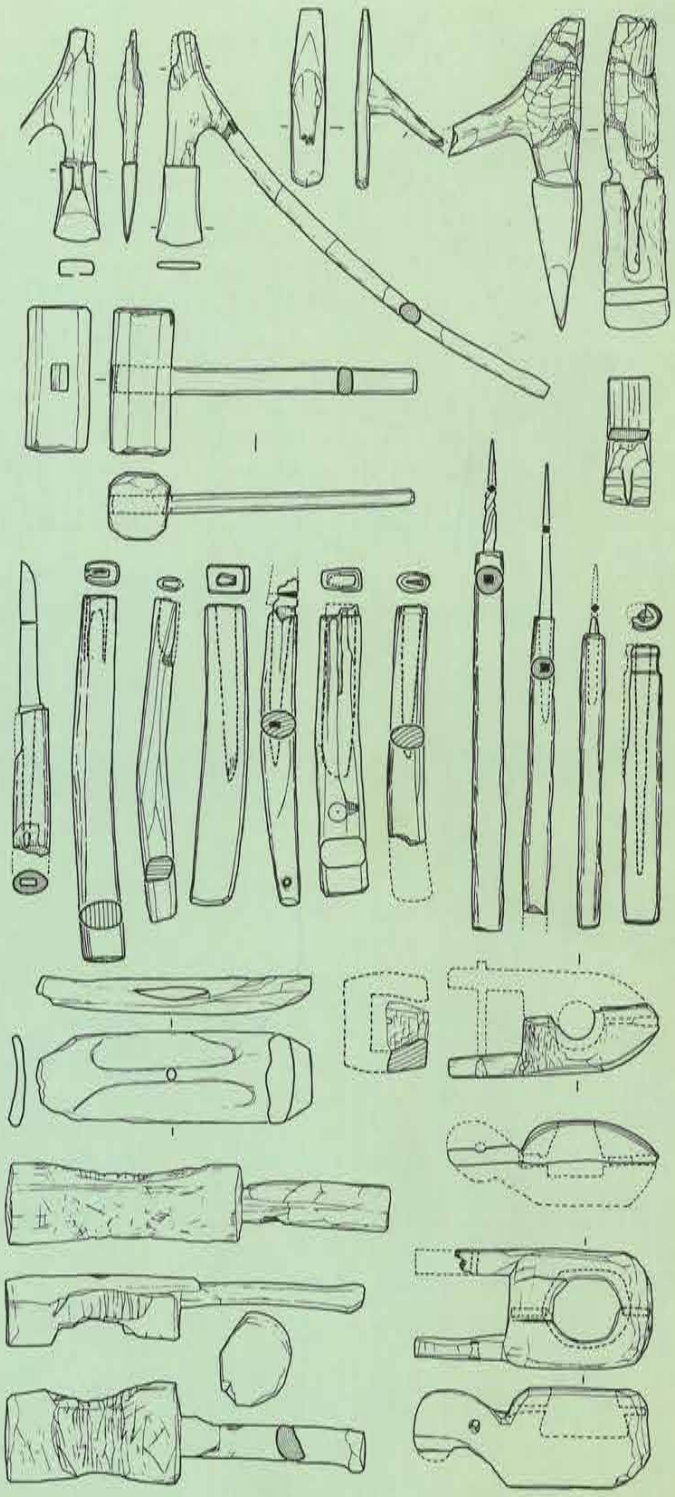
木器集成図録

近畿古代篇



木器集成図録

近畿古代篇

奈良国立文化財研究所

奈良国立文化財研究所史料第27冊

木器集成図録

近畿古代篇

奈良国立文化財研究所

1984

序

懸案の『木器集成図録　近畿古代篇』をここに世におくることができて大変喜ばしい。発掘調査で多量の木製品が出土したのは昭和十一年暮から翌年春にかけておこなわれた奈良県唐古遺跡の発掘であった。その当時中学生であった私は十一年の早春に他界した森本六爾が今一年存命であれば，弥生時代の鍬，鋤，杵をはじめとする農具を見ることができたであろうと関係者が話をしているのを聞き，また出土直後の精巧な高杯杯部を見せられた感激を今でも忘れることができない。

唐古遺跡出土木器は早速石膏型や木で複製をつくるなどの処置はされたが，実物は水漬状態で半世紀近く保管されてきた。戦時中に水を替えることもままならず黴がはえるなどひどいこともあったが，昨年当研究所と京都大学考古学教室の共同研究で P.E.G 含浸と真空凍結乾燥を混用する新方式で処理が進行中である。唐古出土木器の現状が出土木製品の保存処理の歴史を物語っているのである。

戦後登呂をはじめ多量の木器が全国各地で出土したが，昭和三十五年に平城宮跡で木簡が出土したことから，出土木製品の処理に本格的に取り組まざるをえなくなった。その後十年，関係者の努力によって保存処理方法は確立し，文化庁も指導につとめ，処理施設なども拡充し処理の補助金を出すなどしてきたが，何分にも経費その他の制約で，その処置は未だ緒についたという状態である。一方全国の開発に伴う大規模発掘で出土する木器は膨大な数にのぼり，ほとんどが，とりあえずの水漬保存では十分な研究もできない状態にある。これを克服するため都道府県の枠をこえた『木器集成』を望む声が強くなり，当研究所の御世話でとりあえずの型をつくることになった。手はじめに近畿地方の古代を取りあげたのは便宜的なもので，今後時代別，地域別に順次資料の整理できたものを刊行する予定である。本資料がささやかながら学界に寄与するものとなったと自負しているが，編集にあたって，縮尺・表現の統一，材質の同定など当事者の苦労は大変なものであった。この企画に賛同され協力していただいた方々に感謝の意を表し，今後各方面の御協力を心から願うとともに，本事業の完成の一日も早からんことを祈るものである。

昭和六十年二月五日

奈良国立文化財研究所長

坪　井　清　足

目　　次

第Ⅰ章　序　　言……1

第Ⅱ章　遺物解説……5

1　工　　具……5

A　斧……6
B　木　槌……6
C　掛　矢……7
D　鑢……7
E　楔……7
F　墨　壺……8
G　墨刺し……8
H　刀　子……8
I　刀子鞘……10
J　鉋　柄……10
K　鑿　柄……11
L　鋸　柄……11
M　錐……12
N　刷　毛……12
O　篦……13
P　木　釘……13
Q　木　針……14
R　座金形・鋲形木器……14
S　叩　板……15

2　農　　具……15

A　鋤……15
B　鍬……16
C　えぶり……17
D　馬　鍬……17
E　鎌……17
F　鉈　柄……18
G　横　槌……19
H　唐臼の杵……19
I　竪　杵……19
J　木　錘……20
K　田下駄……20

3　紡　織　具……21

A　糸　巻……21
B　紡　輪……24
C　織　機……25

4　運　搬　具……25

A　車　輪……25
B　軛……26

5 漁 猟 具……26
A 攩 網……26
B 浮 子……27
C 籍形木器……27
D 櫂……27
6 武 器……27
A 丸木弓……27
B 鳴 鏑……27
C 鞘尻金具形……28
D 刀……28
E 楯……28
7 服 飾 具……29
A 檜 扇……29
B 櫛……31
C 留 針……32
D 草 鞋……33
E 木 履……33
F 下 駄……35
8 容 器……39
A 挽 物……39
B 刳 物……45
C 円形曲物……47
D 曲物柄杓……53
E 楕円形曲物……54
F 長方形曲物……55
G 把手・枠……56
H 蓋 板……57
I 栓……59
9 籠 編 物……59
10 食 事 具……60
A 刳 物 匙……60
B 匙形木器……61
C 杓子形木器……63
D 異形杓子……64
E 箸……64
F 擂粉木……64
G 俎……64
11 文 房 具……65
A 算 木……65
B 物 指……65
C 版 木……66
D 筆 管……66
E 木 印……67
12 遊 戯 具……67
A 琴 柱……67
B 独 楽……68
13 祭 祀 具……69
A 斎 串……70
B 正面全身人形……74
C 側面全身人形……79
D 顔 形……80

E　立体人形……81
F　刀　形……82
G　刀子形……84
H　剣　形……84
I　鏃　形……85
J　鉇　形……86
K　鎌　形……86
L　鉈　形……86
M　下駄形……86
N　鋤　形……87
O　船　形……87
P　馬　形……87
Q　牛　形……88
R　鳥　形……89
S　陽物形……90
T　仏具他……91

14　建築模型部材……92

15　雑　　具……93

A　火鑽板……93
B　自在鈎……94
C　釣　瓶……94
D　草　箒……94
E　鑰……94
F　器　台……95
G　燈　台……95

16　部　　材……95

A　支　脚……95
B　天　板……96
C　脚　座……97
D　台　座……97
E　台　脚……97
F　箱……98
G　その他の部材……99

17　用途不明品……103

第Ⅲ章　遺跡解説……111

1　三　重　県……111

A　下郡遺跡……111

2　滋　賀　県……111

A　湖西線関係遺跡……111
B　野畑遺跡……112
C　穴太遺跡……112
D　下寺観音堂遺跡……113
E　矢倉口遺跡……113
F　下鈎遺跡……113
G　服部遺跡……113
H　久野部遺跡……114
I　光相寺遺跡……114
J　十里町遺跡……114
K　仏性寺遺跡……114
L　針江北遺跡……115
M　伊井永田遺跡……115
N　鴨遺跡……115

3　京　都　府……116

A　長岡京跡……116
B　平安京跡……121

C　仁和寺南院跡…… 126
D　尊勝寺推定地…… 126
E　大藪遺跡…… 126
F　中久世遺跡…… 127
G　中臣遺跡…… 127
H　鳥羽離宮跡…… 128
I　下畑遺跡…… 130
J　定山遺跡…… 131
K　古殿遺跡…… 131

4　大　阪　府……131
A　挾山遺跡…… 131
B　難波宮跡…… 132
C　亀井遺跡…… 133
D　郡家今城遺跡…… 133
E　上田部遺跡…… 133
F　大蔵司遺跡…… 134

5　兵　庫　県……134
A　吉田南遺跡…… 134
B　出合遺跡…… 135
C　上原田遺跡…… 135
D　辻井廃寺…… 136
E　八反長遺跡…… 136
F　栄根遺跡…… 136
G　山垣遺跡…… 137
H　姫谷遺跡…… 137

6　奈　良　県……137
A　川原寺跡…… 137
B　山田寺跡…… 138
C　和田廃寺…… 138
D　坂田寺跡…… 138
E　飛鳥京跡…… 139
F　藤原宮跡…… 139
G　藤原京跡…… 143
H　橿原遺跡…… 144
I　纒向遺跡…… 144
J　布留遺跡…… 144
K　白毫寺遺跡…… 145
L　平城宮跡…… 145
M　平城京跡…… 162

7　和　歌　山　県……170
A　野田地区遺跡…… 170

付表1　木器出土遺構一覧表……173
付表2　木器出土遺跡文献表……186
英文目次……192

図　版

図版1　工　具

0101　斧　兵　庫　辻井廃寺井戸02
0102　斧　柄　平城宮　6AAI区SD4951
0103　斧　柄　平城宮　6ABY区SD1900
0104　斧　兵　庫　上原田遺跡SE02
0105　斧　柄　長岡京　左京二条二坊六町SD5101
0106　木　槌　平城京　左京三条二坊十坪SE877
0107　木　槌　平城京　左京一条三坊SD650
0108　木　槌　長岡宮　7AN5地区SD3100
0109　木　槌　平城宮　6ABO区SE311B
0110　木　槌　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0111　掛　矢　平城京　左京一条三坊SD650
0112　掛　矢　平城宮　6ABO区SE272B
0113　鏝　滋　賀　湖西線関係遺跡VD区大溝
0114　楔　平城宮　6AAB区SK820
0115　楔　平城宮　6AAB区SK820
0116　楔　平城宮　6AAB区SK820
0117　墨　壺　平城宮　6ABG区SD3715
0118　墨　壺　兵　庫　栄根遺跡河川北部
0119　墨刺し　平城宮　6AAB区SK820
0120　墨刺し　平城宮　6AAI区

図版2　工　具

0201　刀　子　平城宮　6ABQ区SD3765
0202　刀子柄　平城宮　6AAH区SD3410
0203　刀子柄　平城宮　6AAB区SK820
0204　刀子柄　平城宮　6AAI区SD1250
0205　刀　子　平城京　右京八条一坊十一坪SD920
0206　刀子柄　平城宮　6AAI区SD4100A
0207　刀子柄　平城京　右京八条一坊十一坪SD920
0208　刀子柄　平城宮　6AAB区SK820
0209　刀子柄　平城宮　6AAI区SD4951
0210　刀子柄　平城京　右京五条四坊三坪SE20
0211　刀子柄　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0212　刀子柄　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0213　刀　子　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0214　刀　子　兵　庫　吉田南遺跡河川1
0215　刀　子　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0216　刀子柄　平城宮　6ADF区SK1979
0217　刀子柄　平城宮　6ADF区SK1979
0218　刀子柄　平城宮　6ADF区SK1979
0219　刀子鞘　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0220　鉋　柄　平城宮　6ADF区SK1979
0221　鑿　柄　平城京　左京一条三坊SD650
0222　鑿　柄　平城宮　6AAG区SD3410
0223　鑿　柄　平城宮　6ADF区SK1979
0224　鑿　柄　平城宮　6ADF区SK1979
0225　鑿　柄　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
0226　鋸　柄　平城京　左京一条三坊SD650
0227　鋸　柄　平城宮　6ALR区SD9649
0228　錐　平城宮　6ABO区SE272B
0229　錐　平城宮　6ABO区SE311A
0230　錐　平城京　右京八条一坊十一坪SD920
0231　錐　平城京　左京一条三坊SD650
0232　錐　柄　平城宮　6AAB区SK820
0233　錐　柄　平城宮　6AAC区SD2700
0234　錐　柄　平城宮　6ABE区SD3715

図版3　工　具

0301　刷毛柄　平城宮　6AAC区SD2700
0302　刷毛柄　平城京　左京二条二坊SD5785
0303　刷毛柄　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
0304　刷毛柄　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
0305　刷毛柄　平城宮　6AAB区SK820
0306　刷毛柄　平城宮　6ADF区SK1979
0307　刷毛柄　平城宮　6ABF区SD3715
0308　篦　平城宮　6AAI区SD4100A
0309　篦　平城京　左京八条三坊十坪SD1155

0310	篦	平城京	左京八条三坊十坪SD1155
0311	篦	平城京	左京八条三坊十坪SD1155
0312	篦	平城京	左京八条三坊十坪SD1155
0313	篦	平城京	左京八条三坊十坪SD1155
0314	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0315	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0316	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0317	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0318	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0319	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0320	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0321	木　釘	難波宮	橋脚MP-1区SK10043
0322	木　釘	平城宮	6ADF区SK1979
0323	木　釘	平城宮	6ADF区SK1979
0324	木　釘	長岡京	左京二条二坊六町SD1301
0325	木　釘	京　都	鳥羽離宮跡SX07
0326	木　釘	京　都	鳥羽離宮跡落込み
0327	木　針	平城京	左京一条三坊 十五・十六坪 SD485
0328	木　針	平城宮	6ALF区SD5780
0329	木　針	平城宮	6AAO区SK2101
0330	木　針	平城宮	6AAB区SK820
0331	木　針	平城京	左京三条二坊六坪SD1525
0332	金属形木器	平城宮	6ADF区SK1979
0333	鋲形木器	平城宮	6ADF区SK1979
0334	叩　板	和歌山	野田地区遺跡SD06
0335	叩　板	平城宮	6ALF区SD5780
0336	刷　毛	平城宮	6AAD区SD2700

図版4　農　具

0401	鋤	藤原宮	6AJL区SE1105
0402	鋤	平城宮	6ABE区SD3765
0403	鋤	兵　庫	山垣遺跡東堀

図版5　農　具

0501	鋤	難波宮	下層方形土壙
0502	鋤	京　都	大藪遺跡流路
0503	鋤	大　阪	挾山遺跡SD7710
0504	鋤	大　阪	挾山遺跡SD7710
0505	鋤　柄	滋　賀	下寺観音堂遺跡SD02
0506	鋤　柄	和歌山	野田地区遺跡SD04
0507	鍬	京　都	定山遺跡DL51区
0508	えぶり	兵　庫	山垣遺跡東堀

図版6　農　具

0601	馬　鍬	大　阪	上田部遺跡水田跡
0602	馬　鍬	大　阪	上田部遺跡水田跡
0603	馬　鍬	兵　庫	吉田南遺跡河川1

図版7　農　具

0701	鎌　柄	平城宮	6ABY区SD1900
0702	鎌　柄	平城宮	6ABY区SD1900
0703	鎌　柄	平城宮	6ADF区SE1627埋土
0704	鎌　柄	平城京	左京一条三坊SD650
0705	鎌　柄	大　阪	上田部遺跡水田跡
0706	鎌　柄	大　阪	上田部遺跡水田跡
0707	鎌　柄	大　阪	大蔵司遺跡A区溝6
0708	鎌　柄	平城宮	6ABE区SD3765
0709	鎌	平城宮	6ABO区SE272B
0710	鎌　柄	奈　良	布留遺跡FM20b3区
0711	鉈　柄	平城京	左京一条三坊SD650
0712	横　槌	長岡京	左京二条二坊六町SD1301
0713	横　槌	滋　賀	鴨遺跡東地区遺物包含層
0714	横　槌	和歌山	野田地区遺跡SD07
0715	横　槌	平城京	左京三条二坊六坪SD1560
0716	横　槌	平城京	左京一条三坊SD650
0717	唐臼杵	大　阪	上田部遺跡水田跡
0718	唐臼杵	大　阪	上田部遺跡水田跡
0719	竪　杵	平城京	左京一条三坊 十五・十六坪 SD485
0720	竪　杵	兵　庫	山垣遺跡東堀

図版8　農　具

0801	木　錘	平城宮	6AAP区SE7900
0802	木　錘	平城宮	6AAP区SE7900
0803	木　錘	平城宮	6AAO区SK2101
0804	木　錘	平城宮	6AAO区SK2101
0805	木　錘	平城京	左京八条三坊九坪SD1300
0806	木　錘	平城宮	6AAP区SE7900
0807	木　錘	平城宮	6AAC区SD2700
0808	木　錘	滋　賀	鴨遺跡東地区遺物包含層
0809	木　錘	兵　庫	吉田南遺跡SD11
0810	木　錘	兵　庫	吉田南遺跡河川1
0811	木　錘	兵　庫	吉田南遺跡河川1
0812	木　錘	滋　賀	鴨遺跡東地区遺物包含層
0813	木　錘	兵　庫	上原田遺跡SE03
0814	田下駄	滋　賀	久野部遺跡SD10

0815 田下駄 滋 賀 光相寺遺跡溝
0816 田下駄 大 阪 上田部遺跡水田跡
0817 田下駄 滋 賀 仏性寺遺跡遺物包含層
0818 田下駄 兵 庫 八反長遺跡旧流路
0819 田下駄 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
0820 田下駄 滋 賀 久野部遺跡SD10
0821 田下駄 兵 庫 八反長遺跡旧流路
0822 田下駄 滋 賀 久野部遺跡SD10
0823 田下駄 兵 庫 八反長遺跡旧流路
0824 田下駄 兵 庫 八反長遺跡旧流路
0825 田下駄 兵 庫 八反長遺跡旧流路
0826 田下駄 大 阪 亀井遺跡SX4001

図版9 紡織具

0901 糸 巻 平城宮 6AAB区SK820
0902 糸 巻 京 都 古殿遺跡遺物包含層
0903 糸 巻 平城宮 6AAB区SK820
0904 糸 巻 奈 良 坂田寺跡SG100
0905 糸 巻 滋 賀 服部遺跡土壙
0906 糸 巻 平城宮 6AAC区SD2700
0907 糸 巻 平城宮 6AAB区SK820
0908 糸 巻 平城京 西隆寺跡SX033
0909 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
0910 糸 巻 平城宮 6AAB区SK820
0911 糸 巻 平城京 西隆寺跡SX037
0912 糸 巻 奈 良 伝飛鳥板蓋宮跡
0913 糸 巻 平城京 左京一条三坊SD650
0914 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
0915 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
0916 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
0917 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
0918 糸 巻 奈 良 白毫寺遺跡池1

図版10 紡織具

1001 糸 巻 平城宮 6ABE区SD3715
1002 糸 巻 藤原京 紀寺跡SK04
1003 糸 巻 平城京 左京三条二坊六坪SD1525
1004 糸 巻 平城宮 6ABE区SD3715
1005 糸 巻 平城宮 6ABY区SD1900
1006 糸 巻 藤原京 紀寺跡SK04
1007 糸 巻 平城京 左京一条三坊SD650
1008 糸 巻 平安京 西市跡SE03B
1009 糸 巻 平城宮 6AAI区SD4951
1010 糸 巻 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
1011 糸 巻 兵 庫 吉田南遺跡河川1
1012 糸 巻 京 都 古殿遺跡遺物包含層
1013 糸 巻 大 阪 大蔵司遺跡A区溝6
1014 糸 巻 奈 良 布留遺跡FM20b4区
1015 糸 巻 大 阪 大蔵司遺跡B区自然流路
1016 糸 巻 平城宮 6AAC区SD2700
1017 糸 巻 平城宮 6ABE区SD3715
1018 糸 巻 平城宮 6ALS区SD4951

図版11 紡織具

1101 紡 輪 平城宮 6ABR区SB7802
1102 紡 輪 平城京 左京一条三坊SD650
1103 紡 輪 大 阪 上田部遺跡水田跡
1104 紡 輪 平城宮 6AAB区SK820
1105 紡 論 平城宮 6AAB区SK820
1106 紡 輪 平城宮 6AAF区SD3154
1107 紡 輪 平城京 左京八条三坊十坪SD1155
1108 織 機 平城宮 6ALF区SG5800B
1109 織 機 大 阪 亀井遺跡SX4001
1110 織 機 平城宮 6ABY区SD1900
1111 織 機 大 阪 上田部遺跡水田跡
1112 織 機 大 阪 上田部遺跡水田跡

図版12 運搬具

1201 車 輪 兵 庫 吉田南遺跡河川1
1202 車 輪 平城宮 6ADF区SK1979
1203 車 輪 平城京 左京一条三坊SD650
1204 車 論 平城京 左京一条三坊SD650
1205 車 輪 平城京 左京一条三坊SD650
1206 車 輪 平城宮 6ABF区SD3715
1207 車 輪 平城京 左京一条三坊SD650
1208 軛 藤原宮 6AJL区SK1380
1209 軛 平城宮 6ADC区SK6509

図版13 漁猟具・武器

1301 攅 網 滋 賀 久野部遺跡SD10
1302 攅 網 平城京 左京一条三坊 十五・十六坪 SD485
1303 浮 子 滋 賀 湖西線関係遺跡VD区pit 51
1304 浮 子 滋 賀 湖西線関係遺跡VD区大溝
1305 箆 兵 庫 上原田遺跡SE03
1306 擢 滋 賀 湖西線関係遺跡VD区大溝

1307 丸木弓 平城京 左京八条三坊十坪SD1155
1308 丸木弓 平城京 左京一条三坊SD650
1309 丸木弓 平城宮 6ABO区SE311B
1310 丸木弓 滋 賀 久野部遺跡SD10
1311 鳴 鏑 平城宮 6AAF区SD3297
1312 鳴 鏑 藤原宮 6AJF区SD105
1313 鞘尻金具形 平城京 右京九条一坊四坪SD950
1314 刀 平城宮 6AAC区SD2700
1315 刀 平城京 右京八条一坊十一坪SD920
1316 刀 鞘 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
1317 鳴 鏑 平城宮 6AAD区SD2700

図版14 武 器

1401 楯 平城宮 6ADH区SE1230

図版15 服飾具

1501 檜 扇 平城宮 6AAB区SK820
1502 檜 扇 平城宮 6ABE区SD5505
1503 檜 扇 平城宮 6AAC区SD2700
1504 檜 扇 平城宮 6AAA区SD2700
1505 檜 扇 平城宮 6AAA区SD2700
1506 檜 扇 平城宮 6AAA区SD2700

図版16 服飾具

1601 檜 扇 平城宮 6ABR区SB7802
1602 檜 扇 平城宮 6AAB区SK820
1603 檜 扇 平城宮 6AAC区SD2700
1604 檜 扇 平城宮 6AAC区SD2700
1605 檜 扇 平城宮 6AAA区SD2700

図版17 服飾具

1701 檜 扇 平城京 左京五条二坊十四坪SE03
1702 檜 扇 平安京 西市跡SE20
1703 檜 扇 滋 賀 十里町遺跡土壙
1704 檜 扇 平安京 西市跡SE20
1705 檜 扇 奈 良 白毫寺遺跡跡池1
1706 檜 扇 平安京 左京四条一坊五・六町SE01
1707 檜 扇 平安京 左京四条一坊五・六町SE01
1708 檜扇形木器 平城宮 6AAB区SK820
1709 扇 子 京 都 鳥羽離宮跡SD04

図版18 服飾具

1801 櫛 藤原宮 6AJG区SE1105
1802 櫛 平城宮 6ABO区SE311B
1803 櫛 平城宮 6ABO区SE311B
1804 櫛 平安京 西寺跡SE01
1805 櫛 平安京 西市跡SE03
1806 櫛 平城宮 6ABO区SE272B
1807 櫛 平城京 左京三条四坊七坪SE1801
1808 櫛 平城宮 6ABO区SE272B
1809 櫛 平城宮 6ABO区SE272B
1810 櫛 平安京 西市跡SE03
1811 櫛 長岡宮 7AN3A区SD8701
1812 櫛 長岡宮 7AN3A区SD8701
1813 櫛 平城宮 6ABO区SE311A
1814 櫛 平城宮 6ABO区SE311A
1815 櫛 平城宮 6AAB区SK820
1816 櫛 平城宮 6AAB区SK820
1817 櫛 平城宮 6ABE区SD3715

図版19 服飾具

1901 留 針 平城京 左京八条三坊九坪SD1300
1902 留 針 平城宮 6AAI区SD4951
1903 留 針 平城宮 6ALF区SD5780
1904 留 針 平城宮 6AAC区
1905 留 針 平城京 左京二条二坊SD5788
1906 留 針 平城京 左京八条三坊十坪SD1155
1907 留 針 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
1908 留 針 平安京 西市跡SE03B
1909 留 針 兵 庫 八反長遺跡旧流路
1910 留 針 平城宮 6AAG区SD4951
1911 留 針 平城京 右京九条一坊四坪SD950
1912 留 針 平城宮 6ALF区SG5800B
1913 留 針 平城宮 6AAI区SD4100A
1914 留 針 平城宮 6AAB区SK820
1915 留 針 平安京 左京四条一坊五・六町SD01
1916 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1917 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1918 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1919 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1920 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1921 留 針 滋 賀 湖西線関係遺跡
1922 留 針 平安京 左京四条一坊五・六町SD01
1923 留 針 平城宮 6AAI区SD3410
1924 留 針 平城宮 6ABF区SD3715
1925 留 針 平城宮 6ABE区SK3730

1926 留　針　平城京　左京一条三坊SD650
1927 留　針　平城宮　6AAB区SK820
1928 留　針　平城宮　6ABE区SD3715
1929 留　針　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1930 留　針　平城宮　6ABF区SD3715
1931 留　針　平城京　左京二条二坊SD5785
1932 留　針　平城宮　6ACC区SD3825
1933 留　針　藤原宮　6AJF区SD105
1934 留　針　平城宮　6ACC区SD3825
1935 留　針　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1936 留　針　平城宮　6AAB区SK820
1937 留　針　平城宮　6ALS区SD4951
1938 草　鞋　平城宮　6ACU区SD1250
1939 草　鞋　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1940 草　鞋　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1941 草　鞋　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1942 草　鞋　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
1943 草　鞋　奈　良　山田寺跡SD531裏込め

図版20　服飾具

2001 木　履　平城京　左京二条五坊北郊遺跡井戸
2002 木　履　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2003 木　履　京　都　大藪遺跡流路
2004 木　履　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
2005 木　履　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2006 木　履　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2007 木　履　滋　賀　矢倉口遺跡SE02
2008 木　履　滋　賀　野畑遺跡SE03
2009 木　履　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層

図版21　服飾具

2101 下　駄　滋　賀　光相寺遺跡溝
2102 下　駄　長岡京　右京一条三坊五町旧流路
2103 下　駄　長岡京　右京一条三坊五町旧流路
2104 下　駄　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2105 下　駄　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
2106 下　駄　平城宮　6AAI区SD1250
2107 下　駄　大　阪　亀井遺跡SX4001
2108 下　駄　奈　良　川原寺跡下層暗渠
2109 下　駄　奈　良　白毫寺遺跡SD02
2110 下　駄　奈　良　白毫寺遺跡池1
2111 下　駄　平城宮　6AAC区SD2700
2112 下　駄　兵　庫　出合遺跡井戸
2113 下　駄　奈　良　飛鳥京跡SX8201
2114 下　駄　長岡京　右京七条一坊十三町恵解山古墳周濠
2115 下　駄　和歌山　野田地区遺跡SD05
2116 下　駄　京　都　下畑遺跡SE01

図版22　服飾具

2201 下　駄　平城宮　6AAO区SE272B
2202 下　駄　平安京　西市跡SE03B
2203 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2204 下　駄　平安京　西市跡SE03B
2205 下　駄　平安京　西市跡SE03B
2206 下　駄　平安京　西市跡SE03B
2207 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2208 下　駄　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2209 下　駄　長岡京　左京四条二坊九町SD1502
2210 下　駄　兵　庫　吉田南遺跡SD11
2211 下　駄　京　都　中久世遺跡流路
2212 下　駄　京　都　中久世遺跡流路
2213 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2214 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2215 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2216 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2217 下　駄　平城宮　6AAI区SD3410
2218 下　駄　平城宮　6AAI区SD4951

図版23　服飾具

2301 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2302 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2303 下　駄　平城京　左京一条三坊SD650
2304 下　駄　奈　良　橿原遺跡井戸9
2305 下　駄　平安京　西市跡SE20
2306 下　駄　平安京　西市跡SE20
2307 下　駄　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2308 下　駄　和歌山　野田地区遺跡SD07
2309 下　駄　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2310 下　駄　滋　賀　光相寺遺跡溝
2311 下　駄　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
2312 下　駄　京　都　古殿遺跡遺物包含層
2313 下　駄　京　都　鳥羽離宮跡SD04
2314 下　駄　滋　賀　湖西線関係遺跡VD区大溝

図版24　容　器

2401 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2402 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2403 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2404 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2405 挽　物　平安京　西市跡SD12
2406 挽　物　平城京　左京九条三坊十坪SD1300
2407 挽　物　平城宮　6AAI区SD3410
2408 挽　物　平城宮　6AAC区SD3050
2409 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2410 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2411 挽　物　平安京　左京三条三坊十町木棺墓
2412 挽　物　滋　賀　湖西線関係遺跡ⅣD区
2413 挽　物　京　都　下畑遺跡SE01
2414 挽　物　平城宮　6AAF区SK3137
2415 挽　物　長岡宮　7AN5地区SD3100
2416 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD07
2417 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD11B
2418 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡第3トレンチ濠第9層
2419 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2420 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD5102
2421 挽　物　平城宮　6ABO区SE311B
2422 挽　物　平安京　西市跡A区第5層
2423 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2424 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD07
2425 挽　物　京　都　古殿遺跡Dトレンチ SD01
2426 挽　物　滋　賀　野畑遺跡SE01
2427 挽　物　京　都　下畑遺跡SE01
2428 挽　物　京　都　下畑遺跡SE01
2429 挽　物　京　都　下畑遺跡SE01
2430 挽　物　京　都　下畑遺跡SE01
2431 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD04
2432 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD04
2433 挽　物　京　都　鳥羽離宮跡SD01B
2434 挽　物　平城京　左京八条三坊九坪SE1230
2435 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2436 挽　物　平城京　左京九条三坊十坪SD1300
2437 挽　物　平城京　左京三条二坊六坪SD1525
2438 挽　物　平城宮　6AAI区SD3410
2439 挽　物　平安京　西市跡SE03B
2440 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2441 挽　物　平城宮　6ABO区SE311B
2442 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2443 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2444 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2445 挽　物　平城宮　6ABE区SA3777
2446 挽　物　長岡宮　7AN5地区SD3100
2447 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2448 挽　物　平城宮　6AAF区SK3137
2449 挽　物　平城京　左京八条三坊九坪SD1300

図版25 容　器

2501 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2502 挽　物　長岡京　左京四条三坊三町SD451
2503 挽　物　平城宮　6AAF区SD3297
2504 挽　物　平城宮　6AAF区SK3137
2505 挽　物　平城京　左京九条三坊十坪SD1300
2506 挽　物　平城京　左京九条三坊十坪SD1300
2507 挽　物　平城京　左京三条二坊十五坪SE967
2508 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2509 挽　物　奈　良　坂田寺跡SG100
2510 挽　物　平城宮　6AAB区SK820
2511 挽　物　平城宮　6AAF区SK3137
2512 挽　物　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
2513 挽　物　平城宮　6AAF区SD3154
2514 挽　物　平城宮　6ALF区SD5200

図版26 容　器

2601 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2602 挽　物　平城宮　6AAF区SD3297
2603 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1501
2604 挽　物　平城京　西隆寺跡SX035
2605 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2606 挽　物　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
2607 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2608 挽　物　長岡京　右京三条三坊今里車塚古墳周濠

図版27 容　器

2701 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2702 挽　物　平城宮　6AAF区SD3113
2703 挽　物　平城宮　6ALF区SG5800B
2704 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2705 挽　物　平安京　西市跡SE20
2706 挽　物　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6

2707 挽　物　平安京　西市跡SE20
2708 挽　物　平城京　左京一条三坊SD650
2709 挽　物　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
図版28 容　器
2801 挽　物　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
2802 挽　物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
2803 刳　物　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
2804 刳　物　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
2805 刳　物　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
2806 刳　物　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
2807 刳　物　平城宮　6ABE区SD3715
図版29 容　器
2901 刳　物　平城宮　6ABY区SD1900
2902 刳　物　滋　賀　久野部遺跡SD10
2903 刳　物　平城京　左京三条二坊十五坪SE967
2904 刳　物　平城宮　6ABE区SB7802
2905 刳　物　兵　庫　上原田遺跡SE02
2906 刳　物　平城京　左京九条三坊十坪SD1300
2907 刳　物　兵　庫　吉田南遺跡河川1
2908 刳　物　兵　庫　吉田南遺跡SD11
2909 刳　物　平城宮　6ABO区SE272B
図版30 容　器
3001 刳　物　難波宮　橋脚MP-2区SK10048
3002 刳　物　滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
3003 刳　物　平城宮　6AAO区SK2102
3004 刳　物　滋　賀　下寺観音堂遺跡SD06
3005 刳　物　滋　賀　光相寺遺跡溝
3006 刳　物　平城京　左京一条三坊SD650
3007 刳　物　奈　良　布留遺跡
3008 刳　物　兵　庫　吉田南遺跡SD11
3009 刳　物　滋　賀　久野部遺跡SD10
3010 刳　物　平城宮　6AAF区SD3410
図版31 容　器
3101 円形曲物　奈　良　和田廃寺跡遺物包含層
3102 円形曲物　藤原宮　6AJA区SD170
3103 円形曲物　平城京　左京一条三坊十五・十六 SD485
3104 円形曲物　藤原京　左京七条一坊二坪SE2270
3105 円形曲物　平城宮　6AAC区SD2700
3106 円形曲物　平城宮　6ABY区SD1900
3107 円形曲物　平城宮　6AAB区SK820
3108 円形曲物　平城宮　6AAI区SD4951
3109 円形曲物　平城宮　6AAG区
3110 円形曲物　長岡京　左京二条二坊六町SD1502
3111 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3112 円形曲物　和歌山　野田地区遺跡SD07
3113 円形曲物　平安京　西市跡SE20
3114 円形曲物　平安京　西市跡SE20
3115 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3116 円形曲物　平城宮　6AAO区SK2101
図版32 容　器
3201 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3202 円形曲物　平城宮　6ADI区
3203 円形曲物　平城宮　6ABY区SD1900
3204 円形曲物　平城宮　6AAC区SD3035
3205 円形曲物　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
3206 円形曲物　平城京　右京五条四坊三坪SE20
3207 円形曲物　平城宮　6AAC区SD2700
3208 円形曲物　京　都　大藪遺跡流路
3209 円形曲物　平城宮　6ABB区
3210 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3211 円形曲物　奈　良　布留遺跡FM20b2区
3212 円形曲物　平城宮　6ABE区SD3715
3213 円形曲物　平城宮　6AAC区SD3035
3214 円形曲物　平城京　左京一条三坊 十五坪 SE495
3215 円形曲物　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
3216 円形曲物　兵　庫　上原田遺跡SE02
3217 円形曲物　平城宮　6ADD区SB5955
3218 円形曲物　兵　庫　吉田南遺跡河川1
図版33 容　器
3301 円形曲物　兵　庫　吉田南遺跡河川1
3302 円形曲物　平城京　右京五条四坊三坪SE20
3303 円形曲物　滋　賀　針江北遺跡SK10
3304 円形曲物　平城宮　6ADF区SE1596
3305 円形曲物　平城宮　6AAC区SE2600
3306 円形曲物　平城宮　6ADC区SE6166
3307 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3308 円形曲物　平城京　左京一条三坊 十五・十六坪 SD485
3309 円形曲物　平安京　西市跡SE03
3310 円形曲物　平城京　左京一条三坊SD650
3311 円形曲物　平城宮　6ALR区SD3236

図版34 容　器

3401 円形曲物 平安京　西市跡SE03
3402 円形曲物 平城宮　6ADD区SE7110
3403 円形曲物 滋　賀　針江北遺跡SE01
3404 円形曲物 兵　庫　吉田南遺跡河川1
3405 円形曲物 大　阪　郡家今城遺跡SE06
3406 円形曲物 平城京　左京三条二坊十五坪SE967
3407 円形曲物 藤原宮　6AJK区SE3442
3408 円形曲物 平城宮　6ABB区SE551
3409 円形曲物 長岡京　左京四条二坊九町SE2714
3410 円形曲物 兵　庫　吉田南遺跡河川1
3411 円形曲物 長岡京　左京四条二坊九町SE2708
3412 円形曲物 奈　良　纒向遺跡井戸14
3413 円形曲物 平城京　左京五条一坊四坪SE1081
3414 円形曲物 奈　良　纒向遺跡井戸3

図版35 容　器

3501 曲物柄杓 平城宮　6ABO区SE311B
3502 曲物柄杓 平城宮　6ABO区SE272B
3503 曲物柄杓 平城京　左京三条二坊十坪SE877
3504 曲物柄杓 平城宮　6AAC区SD3035
3505 曲物柄杓 平城京　左京八条三坊十坪SD1155
3506 曲物柄杓 平城京　右京五条四坊三坪SE20
3507 曲物柄杓 平城宮　6ABO区SE311B
3508 曲物柄杓 平安京　西市跡SE20
3509 曲物柄杓 平城京　左京三条四坊七坪SK1796

図版36 容　器

3601 楕円形曲物 平城京　左京五条二坊十四坪SE02
3602 楕円形曲物 兵　庫　吉田南遺跡SD11
3603 楕円形曲物 平城京　右京九条一坊四坪SD950
3604 楕円形曲物 平城宮　6ABX区SD1900
3605 楕円形曲物 平城宮　6ABY区SD1900
3606 楕円形曲物 藤原宮　6AJE区SD105
3607 楕円形曲物 和歌山　野田地区遺跡SD07
3608 楕円形曲物 滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
3609 楕円形曲物 滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層
3610 長方形曲物 平城宮　6AAB区SD2700
3611 長方形曲物 大　阪　上田部遺跡水田跡
3612 長方形曲物 兵　庫　八反長遺跡旧流路

図版37 容　器

3701 長方形曲物 奈　良　坂田寺跡SG100
3702 長方形曲物 兵　庫　吉田南遺跡河川1
3703 長方形曲物 平城京　左京一条三坊SD650
3704 長方形曲物 平城京　左京一条三坊SD650
3705 長方形曲物 奈　良　和田廃寺跡SX100
3706 長方形曲物 平城宮　6AAG区
3707 長方形曲物 平城宮　6ABO区SE311B
3708 長方形曲物 和歌山　野田地区遺跡SD06
3709 長方形曲物 平城京　左京一条三坊SD650

図版38 容　器

3801 把　手　藤原京　右京七条一坊一・二坪 SE2270
3802 把　手　藤原京　右京七条一坊一・二坪 SE2270
3803 把　手　平城宮　6AAF区SK3139
3804 把　手　平城宮　6AAB区SK820
3805 把　手　平城宮　6AAO区SK2101
3806 把　手　平城宮　6AAF区SK3139
3807 把　手　平城宮　6AAO区SK2101
3808 把　手　平城京　左京一条三坊SD650
3809 把　手　平城宮　6AAB区SK820
3810 把　手　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
3811 把　手　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
3812 枠　平城宮　6AAO区SE311B
3813 枠　平城宮　6ABQ区SE9210
3814 把　手　平城宮　6AAC区SD3035
3815 枠　平城宮　6ABO区SE311A
3816 枠　三　重　下郡遺跡井戸

図版39 容　器

3901 蓋　板　平城宮　6AAB区SK820
3902 蓋　板　平城宮　6AAB区SK820
3903 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
3904 蓋　板　平城宮　6AAC区SD3035
3905 蓋　板　和歌山　野田地区遺跡SD04
3906 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
3907 蓋　板　平城宮　6AAB区SK820
3908 蓋　板　平城宮　6AAB区SK820
3909 蓋　板　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
3910 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
3911 蓋　板　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
3912 蓋　板　平城宮　6AAC区SD3050
3913 蓋　板　平安京　西市跡SE03B
3914 蓋　板　藤原宮　6AJE区SD105

3915 蓋　板　平城京　右京九条一坊四坪SD950
3916 蓋　板　長岡京　二条二坊六町SD1301
3917 蓋　板　長岡京　二条二坊六町SD1301
3918 蓋　板　藤原宮　6AJK区SD260
3919 蓋　板　平城宮　6AAC区SD3035
3920 蓋　板　平城京　左京八条三坊十坪SD1155

図版40　容　器

4001 蓋　板　京　都　大藪遺跡流路
4002 蓋　板　平城宮　6ABO区SE272B
4003 蓋　板　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
4004 蓋　板　奈　良　白毫寺遺跡池1
4005 蓋　板　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
4006 蓋　板　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4007 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
4008 蓋　板　長岡宮　7AN5地区SD3100
4009 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
4010 蓋　板　平城宮　6AAB区SK820
4011 蓋　板　平城宮　6AAI区SD3410
4012 蓋　板　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
4013 蓋　板　平安京　西市跡A区第5層
4014 蓋　板　平城京　左京一条三坊SD650
4015 蓋　板　平城京　左京八条三坊九坪SD1300
4016 蓋　板　平安京　西市跡SK15
4017 蓋　板　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4018 蓋　板　平城宮　6ALF区SG5800B
4019 蓋　板　平城宮　6ALF区SD5780
4020 栓　平城宮　6ALF区SG5800B
4021 栓　平城宮　6AAE区SD3410
4022 栓　平城宮　6AAI区SD4951
4023 栓　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4024 栓　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4025 蓋　平安京　西寺跡SE01
4026 蓋　京　都　古殿遺跡遺物包含層
4027 栓　平城宮　6ABE区SD3715
4028 栓　平城宮　6ABE区SD3715
4029 栓　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4030 栓　平城宮　6AAG区SD3410
4031 栓　平城宮　6AAO区SK870
4032 蓋　長岡京　左京二条二坊六町SD1301

図版41　籠編物

4101 籠編物　藤原宮　6AJE区SD105
4102 籠編物　藤原宮　6AJE区SD105
4103 籠編物　藤原宮　6AJE区SD105
4104 籠編物　平城宮　6ACU区SD1250
4105 籠編物　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4106 籠編物　平城宮　6AAF区SK3137
4107 籠編物　平城宮　6AAC区SD3035
4108 箕　滋　賀　穴太遺跡遺物包含層

図版42　食事具

4201 瓢　平城宮　6ABO区SE311B
4202 刳物匙　平城宮　6AAB区SK820
4203 刳物匙　平城宮　6AAH区SD4951
4204 刳物匙　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
4205 刳物匙　京　都　古殿遺跡Dトレンチ SD01
4206 刳物匙　平城京　右京二条二坊十六坪SE540
4207 刳物匙　藤原宮　6AJE区SD105
4208 刳物匙　平城宮　6ABR区SK3784
4209 刳物匙　大　阪　上田部遺跡水田跡
4210 匙形木器　平城宮　6AAB区SK820
4211 匙形木器　平城宮　6AAB区SK820
4212 匙形木器　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4213 匙形木器　藤原宮　6AJE区SD105
4214 匙形木器　平城宮　6ALF区SG5800B
4215 匙形木器　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4216 匙形木器　平安京　西市跡SE20
4217 匙形木器　平城宮　6AAB区SK820
4218 匙形木器　平城宮　6AAC区SD2700
4219 匙形木器　平城宮　6AAH区SD4951
4220 匙形木器　平城宮　6ABR区SB7802
4221 匙形木器　平城宮　6AAB区SK820
4222 匙形木器　平城宮　6ABR区SD3765付近
4223 匙形木器　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4224 匙形木器　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4225 匙形木器　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4226 匙形木器　平城宮　6ALF区SA9063
4227 匙形木器　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
4228 匙形木器　藤原宮　6AJB区SD170
4229 匙形木器　平安京　西市跡SE20
4230 杓子形木器　平城京　左京一条三坊SD650
4231 杓子形木器　平城宮　6AAB区SK820

4232 杓子形木器 和歌山　野田地区遺跡SD04
4233 杓子形木器 平城宮　6AAB区SK820
4234 匙形木器 平城宮　6ABF区SD3715
4235 匙形木器 平城宮　6ABR区SB7802
4236 匙形木器 平城宮　6AAB区SK820
4237 匙形木器 平城宮　6ABE区SD3715
4238 匙形木器 京　都　古殿遺跡遺物包含層
4239 匙形木器 長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4240 匙形木器 京　都　古殿遺跡遺物包含層
4241 匙形木器 京　都　古殿遺跡遺物包含層
4242 匙形木器 藤原宮　6AJF区SD105
4243 匙形木器 京　都　古殿遺跡遺物包含層
4244 匙形木器 京　都　古殿遺跡遺物包含層

図版43　食事具

4301 杓子形木器 兵　庫　吉田南遺跡河川1
4302 杓子形木器 兵　庫　八反長遺跡旧流路
4303 杓子形木器 平城宮　6AAC区SD3035
4304 杓子形木器 平城宮　6ACC区SD3825
4305 杓子形木器 平城宮　6ABO区SK219
4306 杓子形木器 平城宮　6AAC区SD3035
4307 杓子形木器 平城宮　6ABR区SB7802
4308 杓子形木器 長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4309 杓子形木器 滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
4310 杓子形木器 平城京　左京一条三坊SD650
4311 杓子形木器 滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
4312 杓子形木器 長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4313 杓子形木器 京　都　下畑遺跡SE01
4314 杓子形木器 滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
4315 杓子形木器 平城京　左京八条三坊十坪SE1350
4316 杓子形木器 平城宮　6ABR区SB7802
4317 杓子形木器 平城宮　6AAB区SK820
4318 杓子形木器 平城宮　6ABR区SB7802
4319 杓子形木器 平城宮　6ABR区SB7802
4320 異形杓子 平城宮　6ABE区SD3715
4321　箸　平城京　左京一条三坊SD650
4322　箸　平城宮　6ABR区SD7802
4323　箸　平安京　西市跡SE03B
4324　箸　平安京　西市跡SE03B
4325　箸　兵　庫　八反長遺跡旧流路
4326　箸　京　都　古殿遺跡遺物包含層
4327 擂粉木 滋　賀　久野部遺跡SD10
4328 擂粉木 滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
4329 擂粉木 兵　庫　吉田南遺跡河川1
4330　組　兵　庫　吉田南遺跡河川1

図版44　文房具

4401 算　木　藤原宮　6AJE区SD105か
4402 算　木　平城宮　6AAF区SK3139
4403 算　木　平城宮　6AAB区SK820
4404 算　木　平城京　左京二条二坊SD5788
4405 物　指　奈　良　和田廃寺跡遺物包含層
4406 物　指　平城宮　6ACU区SD1250
4407 物　指　平安京　西市跡SE03B
4408 物　指　京　都　仁和寺南院跡池
4409 物　指　平城京　左京一条三坊SD650
4410 物　指　平城宮　6AAF区SD3297
4411 物　指　平城宮　6AAB区SK820
4412 版　木　平城宮　6AAC区SD3035
4413 筆　管　平城京　右京五条四坊三坪SX030
4414 木　印　平城宮　6AAA区SD2700
4415 木　印　平安京　西市跡SE03B

図版45　遊戯具

4501 琴　柱　平城宮　6ABY区SD1900
4502 琴　柱　平城宮　6AAH区SD3410
4503 琴　柱　平城宮　6AAI区SD4100A
4504 琴　柱　平城宮　6AAI区SD4100A
4505 琴　柱　平城宮　6AAC区SD2700
4506 琴　柱　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
4507 琴　柱　平城宮　6AAC区SD4100A
4508 琴　柱　平城宮　6AAC区SD2700
4509 琴　柱　平城京　左京二条二坊SD5785
4510 琴　柱　平城京　左京一条三坊SD650
4511 琴　柱　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4512 琴　柱　奈　良　坂田寺跡SG100
4513 琴　柱　藤原京　紀寺跡SK004
4514 琴　柱　藤原京　紀寺跡SK004
4515 琴　柱　奈　良　坂田寺跡SG100
4516 琴　柱　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
4517 琴　柱　平城京　左京一条三坊SD650
4518 琴　柱　平安京　西市跡SE03B
4519 琴　柱　平安京　左京四条四坊一町土壙

4520 独 楽 平城京 左京三条四坊七坪SK1796
4521 独 楽 平城京 左京五条二坊十四坪SE03
4522 独 楽 平城宮 6AAC区SD3035
4523 独 楽 平城宮 6ABQ区SE9210
4524 独 楽 平城宮 6ACU区SG10240
4525 独 楽 平安京 西寺跡SE01
4526 独 楽 藤原宮 6AJE区SD145
4527 独 楽 藤原宮 6AJK区SE1205

図版46 祭祀具

4601 斎 串 難波宮 橋脚MP-1区SK10043
4602 斎 串 難波宮 橋脚MP-1区SK10043
4603 斎 串 藤原宮 6AJM区SD260
4604 斎 串 長岡京 左京三条二坊四・五町 SD0210
4605 斎 串 兵 庫 姫谷遺跡旧河道
4606 斎 串 兵 庫 姫谷遺跡旧河道
4607 斎 串 難波宮 橋脚MP-1区SK10043
4608 斎 串 難波宮 橋脚MP-1区SK10043
4609 斎 串 藤原京 右京七条一坊二坪SE2270
4610 斎 串 平城宮 6ALS区SK5104
4611 斎 串 藤原宮 6AJB区SD2300
4612 斎 串 平城宮 6ADH区SE1247
4613 斎 串 平城宮 6ACU区SD1250
4614 斎 串 藤原宮 6AJM区SD260
4615 斎 串 藤原宮 6AJM区SD260
4616 斎 串 長岡京 左京四条三坊六町SE80
4617 斎 串 長岡京 左京四条三坊六町SE80
4618 斎 串 滋 賀 伊井永田遺跡遺物包含層
4619 斎 串 平城宮 6ADC区SE6166
4620 斎 串 大 阪 大蔵司遺跡A区溝6
4621 斎 串 京 都 中臣遺跡SE01
4622 斎 串 平城宮 6ACP区SE5320
4623 斎 串 平城京 左京三条二坊十坪SE877
4624 斎 串 長岡京 左京三条二坊四・五町 SD0210
4625 斎 串 平城京 左京八条三坊十坪SD1155
4626 斎 串 藤原宮 6AJF区SD1901A
4627 斎 串 滋 賀 仏性寺遺跡遺物包含層
4628 斎 串 平城宮 6ADC区SE6166

図版47 祭祀具

4701 斎 串 大 阪 大蔵司遺跡A区溝6
4702 斎 串 平安京 左京四条一坊五・六町SE07A
4703 斎 串 兵 庫 上原田遺跡SE02
4704 斎 串 平安京 西市跡SE03B
4705 斎 串 平城宮 6ABO区SE272B
4706 斎 串 平城宮 6ADH区SE1247
4707 斎 串 平城京 左京三条二坊十五坪SE967
4708 斎 串 平城京 左京三条四坊七坪SE1801
4709 斎 串 平安京 西市跡SE20
4710 斎 串 長岡京 左京三条二坊四・五町 SD0210
4711 斎 串 三 重 下郡遺跡井戸
4712 斎 串 平城宮 6ADC区SE6166
4713 斎 串 平城宮 6ABO区SE272B
4714 斎 串 兵 庫 出合遺跡井戸
4715 斎 串 平城宮 6ABO区SE311A
4716 斎 串 京 都 中臣遺跡SE01
4717 斎 串 滋 賀 野畑遺跡SE03
4718 斎 串 平安京 左京四条一坊五・六町 SE07A
4719 斎 串 滋 賀 鴨遺跡西地区井戸
4720 斎 串 滋 賀 鴨遺跡西地区井戸
4721 斎 串 平安京 左京四条一坊五・六町 SE07A
4722 斎 串 平城宮 6ABO区SE272B
4723 斎 串 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
4724 斎 串 藤原宮 6AJB区SD170
4725 斎 串 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
4726 斎 串 平城宮 6ACP区SE5320
4727 斎 串 藤原宮 6AJF区SD1901A
4728 斎 串 平城京 左京三条四坊七坪SX15
4729 斎 串 平城宮 6ACP区SE5320
4730 斎 串 藤原京 右京七条一坊二坪SE2270
4731 斎 串 藤原京 右京七条一坊二坪SE2270
4732 斎 串 藤原宮 6AJF区SD1901A
4733 斎 串 平城京 左京一条三坊SD650
4734 斎 串 平安京 左京四条一坊五・六町 SE07A
4735 斎 串 平安京 西市跡SE20

図版48 祭祀具

4801 斎 串 平城宮 6AAB区SK820
4802 斎 串 平城京 左京三条二坊十五坪SE967
4803 斎 串 平城宮 6AAC区SD3035
4804 斎 串 平城京 左京五条二坊十四坪SE03
4805 斎 串 長岡京 左京四条三坊六町SE80
4806 斎 串 長岡京 左京四条三坊六町SE80

4807 斎　串　京　都　中臣遺跡SE01
4808 斎　串　京　都　中臣遺跡SE01
4809 斎　串　京　都　中臣遺跡SE01
4810 斎　串　兵　庫　姫谷遺跡旧河川
4811 斎　串　兵　庫　姫谷遺跡旧河川
4812 斎　串　平安京　西市跡SE20
4813 斎　串　平城京　右京北辺三坊一坪SE237
4814 斎　串　兵　庫　姫谷遺跡旧河川
4815 斎　串　兵　庫　八反長遺跡旧流路
4816 斎　串　兵　庫　八反長遺跡旧流路
4817 斎　串　兵　庫　八反長遺跡旧流路
4818 斎　串　滋　賀　湖西線関係遺跡VD区大溝
4819 斎　串　兵　庫　吉田南遺跡SD11
4820 斎　串　藤原宮　6AJF区SD1901A
4821 斎　串　平城宮　6ACU区SD1250
4822 斎　串　長岡京　左京三条二坊SD0254
4823 斎　串　平城宮　6AAC区SD3035
4824 斎　串　平城宮　6ADC区SE6166

図版49　祭祀具

4901 正面全身人形　藤原宮　6AJE区SD105
4902 正面全身人形　藤原宮　6AJF区SD1901A
4903 正面全身人形　藤原宮　6AJH区SD501
4904 正面全身人形　平城宮　6ALS区SD4951
4905 正面全身人形　平城宮　6ABE区SD3765
4906 正面全身人形　平城宮　6ALS区SD5050
4907 正面全身人形　平城宮　6AAD区SD2700
4908 正面全身人形　平城京　左京一条三坊SD650
4909 正面全身人形　滋　賀　服部遺跡SD05
4910 正面全身人形　平城宮　6AAY区SD1250
4911 正面全身人形　平城宮　6AAY区SD1250
4912 正面全身人形　平城宮　6ACU区SG10240
4913 正面全身人形　平城宮　6ABO区SE311A
4914 正面全身人形　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
4915 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
4916 正面全身人形　平城京　左京八条三坊十坪 SD1155
4917 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
4918 正面全身人形　平城宮　6AAC区SE2600
4919 正面全身人形　平城宮　6AAC区SD2700
4920 正面全身人形　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
4921 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
4922 正面全身人形　平城宮　6AAC区SD2700
4923 正面全身人形　平城宮　6AAC区SD2700
4924 正面全身人形　長岡京　左京三条二坊四・五町 SD0210
4925 正面全身人形　平城宮　6ALS区SD4951
4926 正面全身人形　藤原宮　6AJM区SD260
4927 正面全身人形　藤原宮　6AJB区SD170
4928 正面全身人形　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
4929 正面全身人形　平城宮　6ABG区SD3715
4930 正面全身人形　藤原宮　6AJM区SD260

図版50　祭祀具

5001 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
5002 正面全身人形　平城京　左京九条三坊十坪 SD1300
5003 正面全身人形　平城京　左京九条三坊十坪 SD1300
5004 正面全身人形　滋　賀　下鉤遺跡大溝
5005 正面全身人形　滋　賀　下鉤遺跡大溝
5006 正面全身人形　京　都　定山遺跡DL51区
5007 正面全身人形　和歌山　野田地区遺跡SD06

図版51　祭祀具

5101 正面全身人形　平城宮　6AAC区SD2700
5102 正面全身人形　長岡京　左京三条二坊SD0251
5103 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5104 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5105 正面全身人形　平安京　左京四条一坊五・六町 第Ⅰトレンチ3層
5106 正面全身人形　平城京　左京八条三坊九坪 SD1300
5107 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
5108 正面全身人形　長岡京　左左二条二坊六町 SD1301
5109 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
5110 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
5111 正面全身人形　長岡京　左京二条二坊六町 SD1301
5112 正面全身人形　長岡京　左京三条二坊SD0251
5113 正面全身人形　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
5114 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5115 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5116 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5117 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5118 正面全身人形　京　都　中久世遺跡SD01
5119 正面全身人形　和歌山　野田地区遺跡SD07
5120 正面全身人形　兵　庫　姫谷遺跡旧河川
5121 正面全身人形　兵　庫　姫谷遺跡旧河川

5122 正面全身人形 兵　庫　姫谷遺跡旧河川

5123 正面全身人形 兵　庫　姫谷遺跡旧河川

図版52　祭祀具

5201 正面全身人形 平城宮　6AAF区SD3297

5202 正面全身人形 長岡京　左京三条二坊六町 SD1301

5203 正面全身人形 京　都　定山遺跡DL51区

5204 正面全身人形 和歌山　野田地区遺跡SD06

5205 正面全身人形 大　阪　大蔵司遺跡A区溝6

5206 正面全身人形 京　都　古殿遺跡遺物包含層

5207 正面全身人形 京　都　定山遺跡DL51区

5208 正面全身人形 和歌山　野田地区遺跡SD06

5209 正面全身人形 平城京　左京一条三坊SD650

5210 正面全身人形 藤原宮　6AJM区SD260

図版53　祭祀具

5301 正面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5302 正面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5303 正面全身人形 平城宮　6ABR区SB7802

5304 正面全身人形 平城宮　6AAY区SD1250

5305 正面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5306 正面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5307 正面全身人形 兵　庫　姫谷遺跡旧河川

5308 正面全身人形 兵　庫　姫谷遺跡旧河川

5309 正面全身人形 長岡京　左京四条三坊三町 SD451

5310 正面全身人形 平安京　左京四条一坊五・六町 SE01

5311 正面全身人形 平安京　左京四条一坊五・六町 SE01

図版54　祭祀具

5401 側面全身人形 平城京　左京九条三坊九坪 SD1300

5402 側面全身人形 平城宮　6AAI区SD3410

5403 側面全身人形 平城宮　6AAI区SD3410

5404 側面全身人形 平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485

5405 側面全身人形 平城宮　6ABE区SD3715

5406 側面全身人形 長岡京　左京三条二坊四・五町 SD0210

5407 側面全身人形 京　都　鳥羽離宮跡落込み

5408 側面全身人形 京　都　鳥羽離宮跡SX07

5409 側面全身人形 平城宮　6AAB区SK820

5410 側面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5411 側面全身人形 長岡京　左京二条二坊六町 SD1301

5412 顔　形 平城宮　6AAA区SD2700

5413 顔　形 平城宮　6ACU区SD1250

5414 顔　形 京　都　鳥羽離宮跡SD04

5415 顔　形 平城京　左京一条三坊SD650

5416 顔　形 平城京　左京一条三坊SD650

5417 顔　形 平安京　左京八条三坊九町淡灰色シルト層

図版55　祭祀具

5501 立体人形 藤原宮　6AJB区SD2300

5502 立体人形 平城京　左京三条二坊六坪SD1525

5503 立体人形 平城宮　6AAC区SE2600

5504 立体人形 平城宮　6ACU区SD1250

5505 立体人形 平城宮　6AAY区SD1250

5506 立体人形 平城宮　6AAY区SD1250

5507 立体人形 平城宮　6AAB区SK820

5508 立体人形 兵　庫　吉田南遺跡SD11

5509 立体人形 平安京　西寺跡SE01

5510 立体人形 平安京　左京四条一坊五・六町 SE07A

5511 立体人形 京　都　鳥羽離宮跡SD10

5512 立体人形 藤原宮　6AJE区SD105か

5513 立体人形 平城宮　6AAF区SK3264

5514 立体人形 平城宮　6AAI区SD1250

5515 立体人形 長岡京　左京二条二坊六町SD1301

5516 立体人形 京　都　尊勝寺推定地溝

図版56　祭祀具

5601 刀　形 平城宮　6AAI区SD4100A

5602 刀　形 平城宮　6AAI区SD4100A

5603 刀　形 藤原京　右京八条一坊SD104

5604 刀　形 平城京　左京八条三坊十坪SD1155

5605 刀　形 平城宮　6ACU区SD1250

5606 刀　形 平城京　左京一条三坊SD650

5607 刀　形 平城宮　6AAY区SD1250

5608 刀　形 平城京　左京一条三坊SD650

5609 刀　形 平城京　左京九条三坊十坪SD1300

5610 刀　形 大　阪　大蔵司遺跡A区溝6

5611 刀　形 兵　庫　吉田南遺跡SD11

5612 刀　形 平城京　左京一条三坊SD650

5613 刀　形 平城宮　6ACU区SD1250

5614 刀　形 平城宮　6ADF区SK1979

5615 刀　形 藤原宮　6AJF区SD1901A

5616 刀　形 長岡京　左京二条二坊六町SD1301

5617 刀　形 長岡京　左京二条二坊六町SD1301

5618 刀子形 平城宮　6AAC区SD2700

5619 刀子形 平城宮　6AAO区SK2101

5620 刀子形 平城京 左京一条三坊SD650
5621 刀子形 奈 良 白毫寺遺跡池1

図版57 祭祀具

5701 剣 形 平城京 左京一条三坊SD650
5702 剣 形 奈 良 布留遺跡FM20c3区
5703 剣 形 平城宮 6AAB区SK820
5704 剣 形 藤原宮 6AJE区SD145
5705 剣 形 兵 庫 出合遺跡井戸
5706 剣 形 平城宮 6ALS区SD5100
5707 剣 形 平城京 左京一条三坊SD650
5708 剣 形 大 阪 大蔵司遺跡A区溝6
5709 剣 形 平城京 左京一条三坊SD650
5710 剣 形 京 都 仁和寺南院跡池
5711 刀子形 藤原宮 6AJF区SD105
5712 刀子形 平城宮 6AAB区SK820
5713 刀子形 平城宮 6ACP区SD5280
5714 刀子形 兵 庫 吉田南遺跡河川1
5715 刀子形 京 都 古殿遺跡遺物包含層
5716 刀子形 平城宮 6ALS区SD4951
5717 刀子形 平城宮 6AAB区SK820
5718 刀子形 藤原宮 6AJF区SD105
5719 刀子形 平城宮 6ABE区SD3715
5720 刀子形 平城宮 6ABF区SD3715
5721 刀子形 平安京 西市跡SE20
5722 鏃 形 滋 賀 湖西線関係遺跡IIH区
5723 鏃 形 平城宮 6AFJ区SD4951
5724 鏃 形 平城宮 6ADF区SK1979
5725 鏃 形 平城宮 6ADF区SK1979
5726 鏃 形 平城宮 6ABR区SB7802
5727 鏃 形 平城宮 6ACC区SD3825
5728 鏃 形 平城宮 6AAC区SD3035
5729 鏃 形 平城宮 6AAF区SD3297
5730 鏃 形 平城宮 6ALF区SD5780
5731 鏃 形 平城宮 6ABE区整地層
5732 鏃 形 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
5733 鏃 形 平城宮 6AAB区SK820
5734 鏃 形 平城宮 6AAC区SD3035
5735 鏃 形 平城宮 6AAA区SD10550
5736 鏃 形 平城宮 6ABE区SD3715
5737 鏃 形 平城宮 6ADF区SK1979
5738 鏃 形 平城宮 6ADF区SK1979
5739 鏃 形 平城宮 6AAG区SD3410
5740 鏃 形 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
5741 鏃 形 平城京 西隆寺跡
5742 鏃 形 平城京 左京一条三坊十五・十六坪SD485
5743 鏃 形 平城京 左京一条三坊SD650

図版58 祭祀具

5801 鉇 形 平城宮 6AAI区SD4100A
5802 鎌 形 平城京 左京一条三坊SD650
5803 鎌 形 長岡宮 7AN5区SD3100
5804 鉈 形 兵 庫 上原田遺跡SE03
5805 下駄形 平城宮 6AAB区SK820
5806 鋤 形 平城京 左京一条三坊SD650
5807 鋤 形 大 阪 大蔵司遺跡A区溝6
5808 鋤 形 藤原宮 6AJE区SD105
5809 舟 形 平城宮 6AAY区SD1250
5810 舟 形 藤原宮 6AJF区SD105
5811 舟 形 平安京 左京四条一坊五・六町SK03
5812 舟 形 長岡京 左京二条二坊六町SD1301
5813 舟 形 京 都 鳥羽離宮跡SX10
5814 舟 形 京 都 鳥羽離宮跡SX10
5815 舟 形 難波宮 橋脚MP-2区SK10043
5816 舟 形 平城宮 6ALF区SG5800B

図版59 祭祀具

5901 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5902 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5903 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5904 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5905 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5906 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5907 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5908 馬 形 兵 庫 姫谷遺跡旧河川
5909 馬 形 藤原宮 6AJB区SD170
5910 馬 形 平城京 右京八条一坊十一坪SD920
5911 馬 形 平城宮 6AAY区SD1250
5912 馬 形 藤原宮 6AJF区SD1901A
5913 馬 形 平城宮 6AAD区SD2700
5914 馬 形 平城宮 6AAC区SD2700
5915 馬 形 京 都 大藪遺跡流路
5916 馬 形 京 都 大藪遺跡流路

5917 馬　形　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
5918 馬　形　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
5919 牛　形　京　都　仁和寺南院跡池

図版60　祭祀具

6001 鳥　形　藤原宮　6AJB区SD2300
6002 鳥　形　平城宮　6ABR区SB7802
6003 鳥　形　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6004 鳥　形　兵　庫　出合遺跡井戸
6005 鳥　形　平城宮　6AAY区SD1250
6006 鳥　形　京　都　鳥羽離宮跡SX10
6007 鳥　形　平城宮　6AAI区SD4951
6008 鳥　形　平城宮　6AAC区SD3035
6009 鳥　形　平城宮　6AAB区SK820
6010 鳥　形　平城宮　6ABE区SD5564
6011 鳥　形　平城宮　6ACC区SD3825
6012 鳥　形　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
6013 鳥　形　平安京　西寺跡SE01
6014 鳥　形　京　都　定山遺跡DL51区
6015 鳥　形　兵　庫　姫谷遺跡旧河川
6016 鳥　形　平城宮　6ABE区SD8161
6017 鳥　形　平城宮　6AAI区SD4951
6018 鳥　形　大　阪　大蔵司遺跡B区自然流路
6019 鳥　形　平城宮　6ALR区SD3236
6020 鳥　形　平城京　左京一条三坊SD650
6021 鳥　形　平城京　法華寺旧境内SD03

図版61　祭祀具

6101 陽物形　滋　賀　湖西線関係遺跡ⅡH区
6102 陽物形　滋　賀　湖西線関係遺跡ⅤA区
6103 陽物形　平城宮　6AAO区SE311B
6104 陽物形　京　都　中久世遺跡SD01
6105 陽物形　京　都　中久世遺跡SD01
6106 陽物形　滋　賀　湖西線関係遺跡ⅣD区
6107 陽物形　平城京　左京三条二坊十五坪SE967
6108 陽物形　奈　良　白毫寺遺跡池1
6109 陽物形　平城京　左京一条三坊SD650
6110 陽物形　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
6111 陽物形　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
6112 陽物形　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
6113 陽物形　京　都　古殿遺跡遺物包含層

図版62　祭祀具

6201 百万塔　平城宮　6ACC区SD3825
6202 火焔宝珠　平城京　左京一条三坊SD650
6203 物忌札　平城京　左京一条三坊SD650
6204 飛雲形　平城宮　6AAY区SD1250
6205 車輪形　平城京　左京一条三坊SD650
6206 車輪形　京　都　仁和寺南院跡池
6207 木彫像　滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層
6208 木彫像　京　都　鳥羽離宮跡SD11B
6209 木彫像　京　都　鳥羽離宮跡SD11B
6210 木彫像　京　都　鳥羽離宮跡SD07
6211 物忌札　平安京　左京六条一坊八町SE03
6212 絵馬か　京　都　鳥羽離宮跡SD01
6213 車輪形　京　都　鳥羽離宮跡SD01
6214 車輪形　京　都　鳥羽離宮跡SD01

図版63　建築模型部材

6301 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6302 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6303 建築模型部材　藤原京　右京七条一坊二坪SE2270
6304 建築模型部材　平城宮　6ALF区SG5800B
6305 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6306 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6307 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6308 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6309 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6310 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802
6311 建築模型部材　平城宮　6ABR区SB7802

図版64　雑　具

6401 火鑽板　平城宮　6ALS区SD5100
6402 火鑽板　平城宮　6AAF区SK7453
6403 火鑽板　平城京　左京一条三坊SD650
6404 火鑽板　平城宮　6AAO区SK2101
6405 火鑽板　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6406 火鑽板　兵　庫　上原田遺跡SE02
6407 自在鈎　平城京　左京三条二坊六坪SD1525
6408 釣　瓶　平城京　左京五条二坊十四坪SE03
6409 草　箒　平城宮　6AAB区SK820
6410 草　箒　平城宮　6AAB区SK820
6411 鑰　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6412 器　台　大　阪　上田部遺跡水田跡
6413 器　台　大　阪　上田部遺跡水田跡

6414 燈　台　平城京　左京一条三坊SD650
6415 燈　台　京　都　鳥羽離宮白河天皇成菩提院陵
6416 燈　台　平安京　西市跡SE03

図版65 雑　具

6501 支　脚　平城宮　6AAB区SK820
6502 支　脚　平城宮　6AAB区SK820
6503 支　脚　平安京　西市跡SE20
6504 支　脚　兵　庫　上原田遺跡SE02
6505 支　脚　平城宮　6ABE区SD3715
6506 支　脚　大　阪　上田部遺跡水田跡
6507 支　脚　平城京　左京一条三坊SD650
6508 支　脚　大　阪　上田部遺跡水田跡
6509 支　脚　平城京　左京一条三坊SD650
6510 支　脚　平安京　西市跡SE20
6511 支　脚　平安京　西市跡SE20
6512 支　脚　平城宮　6AAO区SK2101
6513 支　脚　平城京　左京一条三坊SD650
6514 支　脚　平安京　西市跡SD12
6515 支　脚　兵　庫　吉田南遺跡河川1
6516 天　板　平城京　西市跡SE395
6517 天　板　平城宮　6ALF区
6518 天　板　兵　庫　吉田南遺跡河川1

図版66 雑　具

6601 脚　座　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6602 脚　座　平城宮　6AAG区
6603 脚　座　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6604 脚　座　平城京　左京一条三坊SD650
6605 台　座　平城宮　6AAF区SD3410
6606 台　座　平城宮　6AAB区SK820
6607 台　座　平安京　西市跡SE20
6608 台　座　平城宮　6AAI区SD4951
6609 台　座　奈　良　布留遺跡流路
6610 台　座　平城宮　6AAI区SD4951
6611 台　座　京　都　古殿遺跡遺物包含層
6612 台　座　平城宮　6AAO区SK2102
6613 台　座　奈　良　布留遺跡流路
6614 唐櫃脚　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6615 唐櫃脚　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6616 置　台　長岡京　右京三条三坊今里車塚古墳周濠
6617 置　台　長岡京　右京三条三坊今里車塚古墳周濠
6618 置　台　長岡京　右京三条三坊今里車塚古墳周濠
6619 高杯軸　滋　賀　湖西線関係遺跡ⅡH区
6620 台　座　平安京　西市跡SE20
6621 箱　平城京　左京一条三坊SC650
6622 箱　平城京　左京一条三坊SD650
6623 箱　平城京　左京一条三坊SD650
6624 箱　平城宮　6ABE区整地層
6625 箱　平城京　左京一条三坊SD650
6626 箱　平城宮　6ABE区整地層
6627 台　座　大　阪　上田部遺跡水田跡
6628 箱　平城宮　6AAA区SD2700
6629 箱　平城宮　6AAA区SD2700
6630 箱　平城宮　6AAA区SD2700
6631 箱　長岡京　左京三条二坊四町SD0251

図版67 部　材

6701 部　材　平城宮　6ADC区SE6166
6702 部　材　平城京　左京三条二坊六坪SD1525
6703 部　材　平城宮　6ADF区SE1596
6704 部　材　平城宮　6ADF区SE1596
6705 部　材　平城宮　6AAF区SK3137
6706 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6707 部　材　平城宮　6ALR区SD8600
6708 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6709 部　材　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
6710 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6711 部　材　平城宮　6AAB区SK820
6712 部　材　長岡宮　7AN5地区SD3100
6713 部　材　大　阪　上田部遺跡水田跡
6714 部　材　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
6715 部　材　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6716 部　材　平城宮　6AAF区SK3139
6717 部　材　平城宮　6AAF区SK3139
6718 部　材　平城宮　6AAC区SD3825
6719 部　材　大　阪　上田部遺跡水田跡
6720 部　材　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
6721 部　材　平城京　左京三条四坊七坪SK1796
6722 部　材　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
6723 部　材　平城宮　6AAB区SK820
6724 部　材　平城宮　6AAB区SK820

図版68 部　材

6801 部　材　平城宮　6ALF区SB8466
6802 部　材　平城宮　6ALF区SB8466
6803 部　材　平城宮　6ADF区SK1979
6804 部　材　平城宮　6ADF区SK1979
6805 部　材　平城宮　6ABE区SD3715
6806 部　材　平城宮　6ABE区SD3715
6807 部　材　平城宮　6ALF区SG5800B
6808 部　材　藤原宮　6AJE区SD105
6809 部　材　平城宮　6ALF区SG5800B
6810 部　材　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
6811 部　材　藤原宮　6AJF区SD105
6812 部　材　平城宮　6ALF区SG5800B
6813 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6814 部　材　兵　庫　八反長遺跡旧流路
6815 部　材　平城宮　6AAF区SD3297
6816 部　材　平城宮　6AAB区SK820
6817 部　材　平城京　左京八条三坊九坪SD1300
6818 部　材　平城宮　6AAF区SD3715
6819 部　材　平城宮　6ALS区SD4951
6820 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6821 部　材　平城宮　6AAC区SE3049
6822 部　材　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6823 部　材　長岡京　左京二条二坊六町SD1301
6824 部　材　三　重　下郡遺跡井戸
6825 部　材　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
6826 部　材　平城京　左京三条二坊六坪SD1525
6827 部　材　平城宮　6ABF区SD3715
6828 部　材　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
6829 部　材　平城京　左京一条三坊SD650
6830 部　材　平城京　左京一条三坊SD650

図版69　用途不明品

6901 用途不明品　平城宮　6ABE区SD3715
6902 用途不明品　平城宮　6ALF区SD5200
6903 用途不明品　平城宮　6ALF区SD5780
6904 用途不明品　平城京　左京一条三坊SD650
6905 用途不明品　平安京　西市跡SE03B
6906 用途不明品　藤原宮　6AJE区SD105
6907 用途不明品　平城京　左京一条三坊SD650
6908 用途不明品　平城宮　6ABE区整地層
6909 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6910 用途不明品　平城宮　6AAI区SD4951
6911 用途不明品　平城宮　6ABX区SD1900
6912 用途不明品　平城宮　6AAG区SD3410
6913 用途不明品　平城宮　6AAF区SB3322
6914 用途不明品　平城宮　6ABE区整地層
6915 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6916 用途不明品　平城宮　6AAC区SD2700
6917 用途不明品　平城宮　6ABF区SD3715
6918 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6919 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6920 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6921 用途不明品　平城宮　6ALR区SD8600
6922 用途不明品　平城宮　6AAC区SD2700
6923 用途不明品　平城宮　6ABE区整地層
6924 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
6925 用途不明品　兵　庫　八反長遺跡旧流路

図版70　用途不明品

7001 用途不明品　平城宮　6ABY区SD1900
7002 用途不明品　大　阪　上田部遺跡水田跡
7003 用途不明品　平城宮　6AAC区SD3035
7004 用途不明品　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
7005 用途不明品　平城京　左京八条三坊十坪SD1155
7006 用途不明品　平城宮　6ABR区SB7802
7007 用途不明品　大　阪　大蔵司遺跡A区溝6
7008 用途不明品　平城京　左京一条三坊SD650
7009 用途不明品　平城宮　6ALF区SG5800B
7010 用途不明品　大　阪　上田部遺跡水田跡
7011 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
7012 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
7013 用途不明品　藤原宮　6AJF区SD1901A
7014 用途不明品　平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485
7015 用途不明品　滋　賀　下寺観音堂遺跡SD01
7016 用途不明品　平城宮　6ALF区SG5800B
7017 用途不明品　平城宮　6ALR区SB8580
7018 用途不明品　滋　賀　湖西線関係遺跡VA区
7019 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
7020 用途不明品　奈　良　坂田寺跡SG100
7021 用途不明品　平城宮　6ABE区SD8161
7022 用途不明品　平城宮　6AAB区SK820
7023 用途不明品　藤原宮　6AJE区SD145

7024 用途不明品 滋　賀　久野部遺跡SD10

図版71　用途不明品

7101 用途不明品 平城京　左京一条三坊SD650

7102 用途不明品 滋　賀　伊井永田遺跡遺物包含層

7103 用途不明品 滋　賀　久野部遺跡SD10

7104 用途不明品 滋　賀　久野部遺跡SD10

7105 用途不明品 平城宮　6ABF区SB7802

7106 用途不明品 大　阪　上田部遺跡水田跡

7107 用途不明品 長岡京　左京四条三坊三町SD451

7108 用途不明品 藤原宮　6AJF区SD105

7109 用途不明品 平城宮　6ABE区SK3730

7110 用途不明品 平城京　左京一条三坊SD650

7111 用途不明品 平城宮　6ALR区SD9648

7112 用途不明品 難波宮　橋脚MP-2区SK10043

7113 用途不明品 平城宮　6ALR区SD3236

7114 用途不明品 平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485

7115 用途不明品 京　都　仁和寺南院跡池

7116 用途不明品 平城京　西隆寺跡SE130

7117 用途不明品 平安京　西市跡SX10

7118 用途不明品 平城宮　6AAO区SK870

7119 用途不明品 平城宮　6AAC区SD2700

7120 用途不明品 平城京　左京一条三坊SD650

7121 用途不明品 平城京　左京一条三坊十五・十六坪SD485

7122 用途不明品 滋　賀　久野部遺跡SD10

7123 用途不明品 平城宮　6ABR区SB7802

7124 用途不明品 平城京　左京二条二坊SD5785

7125 用途不明品 平城宮　6AAC区

図版72　用途不明品

7201 用途不明品 平城宮　6ABO区SK219

7202 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7203 用途不明品 藤原宮　6AJF区SD105

7204 用途不明品 藤原宮　6AJF区SD105

7205 用途不明品 藤原宮　6AJF区SD105

7206 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7207 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7208 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7209 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7210 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7211 用途不明品 平城宮　6AAC区SD2700

7212 用途不明品 平城宮　6AAC区SD2700

7213 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7214 用途不明品 藤原宮　6AJF区SD105

7215 用途不明品 平城宮　6ABF区SD3715

7216 用途不明品 平城宮　6AAC区SD3035

7217 用途不明品 長岡宮　7AN3A地区SD8701

7218 用途不明品 平城京　左京一条三坊SD650

7219 用途不明品 大　阪　大蔵司遺跡A区溝6

7220 用途不明品 大　阪　大蔵司遺跡A区溝6

7221 用途不明品 平城宮　6ABR区SB7802

7222 用途不明品 平城宮　6ABR区SB7802

7223 用途不明品 平城宮　6AAO区SK870

7224 用途不明品 平城宮　6AAB区SK820

7225 用途不明品 平城宮　6ABO区SK219

7226 用途不明品 平城宮　6ALF区SG5800B

7227 用途不明品 平城京　左京一条三坊SD650

7228 用途不明品 平城宮　6ABE区SD3715

7229 用途不明品 平城京　左京二条二坊SD5785

7230 用途不明品 平城宮　6ABR区SB7802

7231 用途不明品 平城宮　6AAI区SD3410

7232 用途不明品 平城宮　6AAI区SD4951

7233 用途不明品 平城宮　6ABR区SB7802

7234 用途不明品 平城宮　6ACU区SD1250

7235 用途不明品 滋　賀　鴨遺跡東地区遺物包含層

7236 用途不明品 平城京　左京三条二坊六坪SD1525

7237 用途不明品 平城宮　6AAC区SD2700

7238 用途不明品 平城宮　6ALF区SG5800B

7239 用途不明品 大　阪　上田部遺跡水田跡

7240 用途不明品 滋　賀　久野部遺跡SD10

図版73　用途不明品

7301 用途不明品 京　都　古殿遺跡遺物包含層

7302 用途不明品 平城京　西隆寺跡SX035

7303 用途不明品 平城宮　6AAO区SK2104

7304 用途不明品 平城宮　6AAO区SK2104

7305 用途不明品 平城宮　6AAB区SK820

7306 用途不明品 平城宮　6ADF区SK1979

挿　図

1 斧の名称…… 6
2 縦斧(ヨキ)…… 6
3 各種の大工道具…… 7
4 正倉院の墨壺…… 8
5 正倉院の刀子…… 9
6 正倉院の工具(1) ……10
7 正倉院の工具(2) ……11
8 刷毛の復原……13
9 鋤と鍬の名称……15
10 組合せ鋤の復原……16
11 鋤と鍬……16
12 馬鍬の復原……17
13 唐臼の明器……19
14 民具の田下駄……21
15 民具の糸巻……22
16 紡錘車……24
17 民具の一輪車……26
18 牛車……26
19 中世の漁夫……27
20 楯……29
21 檜扇の復原(1) ……30
22 檜扇の復原(2) ……30
23 檜扇・団扇・扇子・木履・草履……31
24 草鞋の名称……33
25 下駄をはく婦人……36
26 AⅡa型式の下駄 ……37
27 中世の木地師……39
28 正倉院の漆食器……40
29 食膳……40
30 正倉院の合子……42
31 木鉢で洗濯……46
32 曲物の綴方模式図……48
33 曲物の結合模式図……48
34 携帯用曲物……49
35 曲物の飯桶……50
36 糸紡ぎ・野菜摘み・野菜売り……51
37 水桶……52
38 酒売り・火桶・釣瓶……54
39 長方形曲物……55
40 水桶の台……56
41 把手と枠の復原……57
42 正倉院の食事具……61
43 擂粉木……64
44 正倉院の物指……65
45 正倉院の琴柱……67
46 各種の祭祀具(1) ……69
47 各種の祭祀具(2) ……70
48 斎串の型式分類……71
49 銅・鉄板の人形……74
50 正倉院の子日目利箒……94
51 燈台の復原……95
52 机三種……95
53 正倉院の榻足几……96
54 正倉院の二十六机……96
55 多足机と床几……97
56 正倉院の赤漆小櫃……97
57 三重県・滋賀県の木器出土遺跡…… 111
58 下郡遺跡木器出土地点…… 111
59 湖西線関係遺跡木器出土地点…… 112
60 野畑遺跡木器出土地点…… 112
61 穴太遺跡木器出土地点…… 112
62 下寺観音堂遺跡木器出土地点…… 113
63 矢倉口遺跡木器出土地点…… 113
64 下鉤遺跡木器出土地点…… 113
65 服部遺跡木器出土地点…… 114
66 久野部遺跡木器出土地点…… 114
67 光相寺遺跡木器出土地点…… 114
68 十里町遺跡木器出土地点…… 114
69 仏性寺遺跡木器出土地点…… 115
70 針江北遺跡木器出土地点…… 115
71 伊井永田遺跡木器出土地点…… 115
72 鴨遺跡木器出土地点…… 116
73 京都府の木器出土遺跡…… 116
74 長岡京跡条坊概念図…… 116

75 長岡京跡木器出土地点　宮域・左京…… 117
76 長岡京左京二条二坊六町遺構略図…… 117
77 長岡京左京三条二坊四・五町遺構略図…… 118
78 長岡京左京四条二坊九町遺構略図…… 119
79 長岡京跡木器出土地点(右京1) …… 120
80 長岡京跡木器出土地点(右京2) …… 121
81 平安京条坊概念図…… 121
82 平安京跡木器出土地点(1) …… 122
83 平安京跡木器出土地点(2) …… 123
84 平安京跡木器出土地点(3) …… 125
85 平安京跡木器出土地点(4) …… 125
86 仁和寺南院跡木器出土地点…… 126
87 尊勝寺推定地木器出土地点…… 126
88 大藪・中久世遺跡木器出土地点…… 127
89 中臣遺跡木器出土地点…… 127
90 鳥羽宮跡木器出土地点…… 128
91 下畑遺跡木器出土地点…… 130
92 定山遺跡木器出土地点…… 131
93 古殿遺跡木器出土地点…… 131
94 大阪府の木器出土遺跡…… 131
95 挾山遺跡木器出土遺跡…… 132
96 難波宮跡木器出土地点…… 132
97 前期難波宮と木器出土地点との関係…… 132
98 亀井遺跡木器出土地点…… 133
99 郡家今城遺跡木器出土地点…… 133
100 上田部遺跡木器出土地点…… 133
101 大蔵司遺跡木器出土地点…… 134
102 兵庫県の木器出土遺跡…… 134
103 吉田南遺跡木器出土地点…… 135
104 出合遺跡木器出土地点…… 135
105 上原田遺跡木器出土地点…… 135
106 辻井廃寺木器出土地点…… 136
107 八反長遺跡木器出土地点…… 136
108 栄根遺跡木器出土地点…… 136
109 山垣遺跡木器出土地点…… 137
110 姫谷遺跡木器出土地点…… 137
111 奈良県の木器出土遺跡…… 137
112 川原寺・坂田寺跡・飛鳥京跡木器出土地点 138
113 山田寺跡木器出土地点…… 138
114 和田廃寺木器出土地点…… 138
115 藤原宮跡木器出土遺構検出地区…… 139
116 藤原宮跡北限遺構略図…… 140
117 藤原宮跡大極殿北方遺構略図…… 140
118 藤原宮跡東面北門付近遺構略図…… 141
119 藤原宮跡西限遺構略図…… 141
120 藤原宮跡西方官衙遺構略図…… 142
121 藤原宮跡西方官衙南区遺構略図…… 142
122 藤原京跡木器出土地点…… 143
123 橿原遺跡木器出土地点…… 144
124 纒向遺跡木器出土地点…… 144
125 布留遺跡木器出土地点…… 145
126 白毫寺遺跡木器出土地点…… 145
127 平城宮跡木器出土地点…… 145
128 平城宮跡内裏地域遺構略図…… 146
129 平城宮跡宮内省大膳職地区遺構変遷略図… 146
130 平城宮跡内裏北外郭地区遺構変遷略図…… 148
131 平城宮跡内裏東外郭遺構略図…… 149
132 平城宮跡第２次大極殿東外郭遺構略図…… 149
133 平城宮跡第１次大極殿地域遺構変遷略図(1)
…… 150
134 平城宮跡第１次大極殿地域遺構変遷略図(2)
…… 151
135 平城宮跡第１次大極殿地域遺構変遷略図(3)
…… 152
136 平城宮跡朱雀門地区遺構略図…… 153
137 平城宮跡西南部遺構略図…… 153
138 平城宮跡西面大垣・玉手門地区遺構略図… 154
139 平城宮跡馬寮遺構略図…… 155
140 平城宮跡宮内省造酒司遺構略図…… 156
141 平城宮跡東院西辺地区遺構略図(1) …… 157
142 平城宮跡東院西辺地区遺構略図(2) …… 158
143 平城宮跡東院西辺地区遺構略図(3) …… 159
144 平城宮跡東入隅部遺構略図…… 160
145 平城宮跡東院東南隅遺構略図…… 160
146 平城宮跡南限遺構略図…… 162
147 平城京条坊概念図…… 162
148 平城京跡木器出土地点(1) …… 163
149 平城京跡木器出土地点(2) …… 163
150 平城京左京一条三坊十五・十六坪遺構略図
…… 164

151 平城京左京三条二坊十・十五坪遺構略図… 164
152 平城京左京三条二坊六坪遺構略図…… 165
153 平城京左京三条四坊七坪遺構変遷図…… 165
154 平城京左京五条二坊十四坪遺構変遷図…… 166
155 平城京跡木器出土地点(3) …… 167
156 平城京左京八条三坊九・十坪遺構略図…… 167
157 平城京跡木器出土地点(4) …… 168
158 平城京跡木器出土地点(5) …… 169
159 平城京跡木器出土地点(6) …… 170
160 和歌山県の木器出土遺跡…… 170
161 野田地区遺跡木器出土地点…… 171

表

1 府県別木器掲載点数表…… 2
2 留針寸法一覧……34

第Ⅰ章　序　　言

日本考古学で木器が研究対象になったのは，土器・石器・金属器・骨角器など他の遺物にくらべるとかなり遅れている。青森県是川遺跡の縄文時代木器などは1920年代からしられてきたとはいえ，全国的には木器の発見は断片的であった。木器の本格的な研究は1930・1940年代にはじまる。弥生時代の農具・食器などの木器が多量に出土した奈良県唐古遺跡・静岡県登呂遺跡がその引金であった。両遺跡の木器の検討をつうじて，土器・石器・金属器などではうかがいえない弥生時代の物質文化が解明され，木を素材とする器物の加工技術水準が決して低くなかったことが証明された。だが，当時では唐古・登呂遺跡はなお少数のまれな遺跡であり，各地での木器の様相が明らかでなかった段階では，研究に限界があった。木器は地下の滞水状態でしかのこらないという条件があり，一般的な集落・貝塚・古墳などが立地する乾地の遺跡では発見できないことが大きな制約になって，様式や形式の設定というところまで容易に到達しえなかったのである。

1960年代以降の大規模開発の多発化にともない，低湿地での開発行為が日常化し，それが発掘調査の対象になるにおよんで，各地における木器の出土量が急速に増大してきた。この緊急事態のなかで，木器をそのまま放置すれば形状が損傷し，消失してしまうおそれがあるため，木器に対する科学的な保存措置が焦眉の課題となった。1960年代の後半以降，ポリエチレングレコール法(P.E.G.)・真空凍結乾燥法・アルコールエーテル法などの保存技術がわが国で本格的に導入され，一応の成果をあげてきた。しかし，その反面において考古研究者はこの第1次的な処理におわれ，農具や祭祀具など一部の木器をのぞいて，ほとんどの木器がまだあまりよく研究されていないのが現実である。研究を困難にしている理由はほぼ，つぎの3点に要約できよう。

1　土器や石器などでは，食器や狩猟具・武器など比較的用途が限定されているのに対して，木器は材質が木であるという点が共通するだけで，その用途は多方面にわかれている。そのため，出土木器の用途を推測することに多くの研究時間を必要とし，部分の破片のみで用途を決定することが絶望的なときもしばしばある。2　木器は出土後できるだけ早く保存措置をほどこさなければ，変形し消失してしまうおそれがある。このため，出土直後に完璧な記録をとることが要請されており，この記録作業に大きな労力を費している現状。3　いまなお大多数の木器は水漬状態で保存しているのが実情であり，そのため取扱いがきわめて不便であり，遺物の比較検討を困難にしている。

近年，各地の発掘調査報告書のなかで，木器のしめる割合が次第に増加しつつある。そのなかで，一遺跡ないしは一地域ごとの木器研究はかなり向上している傾向がたどれるのである

が，都道府県の枠をこえた木器研究は上記の理由によりなお停滞しているといわざるをえない。かつて，1939年に出版された『弥生式土器聚成図録』は，その後の弥生土器研究の大きな指針となった。これと同じような全国規模の木器研究の実情をしめす図録の必要性が各地の発掘現場で感ぜられ，とりまとめの要望が当研究所によせられるようになった。当研究所ではそれにこたえるべく，全国の木器の大綱を樹立し，それを図録の形で出版する計画に着手した。とはいえ，一度に全国の木器資料を集積するのは至難のことであるから，全国をいくつかのブロックに区分して，年次をおって全国を網羅することにした。その第１回の試みが本書である。近畿地方を第１にとりあげたのは，縄文時代から奈良・平安時代にかけての木器資料がよくそろっており，実物の検討が容易だからである。また，古代篇として７世紀から12世紀までの木器をさきにとりあげたのは，当研究所が調査研究の主要な対象としている飛鳥・藤原京・平城京の遺物を中心にすれば，比較的短期間のうちに出版しうると判断したからにほかならない。

本書では７世紀から12・13世紀の近畿地方出土木器のうち1,347点を選択したものであり，各種の木器を包括しているのであるが，古代の木器の全体像を反映しているわけではない。これらの木器は川・溝・井戸・ごみ溜などに遺棄されたものであって，古墳の副葬品のように当時の葬送儀礼に対応して意図的に埋められたり，自然災害などで生活のある局面が瞬時に埋没した遺跡からの出土品でもない。一時の使用ののちにすてさるもの（箸とか祭祀具）や消耗率の高い木器（曲物とか下駄）などが中心であって，丁寧に取扱ったり，伝世する可能性が大きい貴重品（漆器などの工芸品）あるいは消耗率の低い耐久消費財（家具・調度品）の発見はきわめて少ない。

本書に集録した遺跡数は，三重県１個所，滋賀県14個所，京都府11個所，大阪府６個所，兵庫県８個所，奈良県13個所，和歌山県１個所である。このうち，都城遺跡である藤原宮・京，平城宮・京，長岡宮・京，平安京から出土した木器の点数が全体の72.8％をしめており，のこりの27.2％が地方官衙遺跡ないしは集落遺跡からの出土木器である。都城遺跡のうち平城宮からの出土点数がもっとも多く全体の36.6％をしめる(Tab. 1)。出土点数は発掘面積に比例し，調査期間の長い平城宮の木器が多数をしめるのはもっともであろうが，平城宮が木器の保存に良好な条件をそなえている点も看過しえないところである。

（府　県）	（掲載点数）	（百分比）
三　重	3点	0.22％
滋　賀	85	6.31
長岡宮・京	119	8.83
平安京	67	4.97
その他京都	83	6.16
大　阪	72	5.34
兵　庫	79	5.86
藤原宮・京	69	5.12
平城宮	493	36.60
平城京	233	17.30
その他奈良	30	2.23
和歌山	14	1.04
計	1,347点	100.00％

Tab. 1　府県別木器掲載点数表

つぎに編集の途中で気付いた点をいくつかあげてみよう。まだ出土例は少ないが，７世紀代の木器には古墳時代からの古い形態をとどめるもの(刳物・曲物・下駄など)と，この時期からはじまる新しい種類の木器(斎串・人形・漆器など)が同時に存在し，時代の大きな転換点にあることをしめしている。８世紀の木器には，馬鍬・唐臼など新種の農具があり，かなり普及していたようである。新式農具の出現は７世紀に遡る可能性があり，古墳時代の農法とことなる新式の農法が行われていることを示唆している。

都城遺跡の木器構成と地方官衙遺跡ないしは集落遺跡の木器構成とをくらべてもっともことなる点は，自明のことながら，都城遺跡には確実に農業生産の場であることをしめす馬鍬・唐臼・田下駄などの農具が存在しないことである。都城遺跡から出土する鋤・鎌などは，都市建設のための土木用工具であって，農具ではない。８・９世紀段階では地方においては櫛・漆器など高級品に類する遺物の出土例は少なく，都城遺跡に集中する傾向にある。木履の普及は以外とおくれ，藤原京や平城京の段階では発見されておらず各地で発見されるのは８世紀後葉以降のものである。

平城京の東市周辺から出土した漆器の製作用具，平城宮から出土した百万塔未成品は，官営

工房が宮域内や京域内に所在したことをしめす。一方，里長の館舎に想定しうる兵庫県山垣遺跡から出土した一連の農具が未成品であることは，農村での自給生産体制が依然として存続していたことをしめしている。都城と地方とをとわず出土する曲物や轆轤挽きの木皿などは，量産体制を示唆するところの規格性にとんでおり，広域を対象にする流通網の存在を暗示しているようである。漆器の椀杯類が大幅に地方で増加するのは11世紀からのことであり，それ以前に漆を塗らない挽物の椀杯類が流布した形跡はない。つまり，古代における食膳器の主流はあくまでも土器であって，かつて民俗学者が提唱したような，白木の椀杯が普及したという現象はみあたらない。

以上，編集に際して気付いたことを羅列したのであるが，こうした問題を解決することだけが本書の主題ではない。本書ではできるだけ多種類の木器を掲載することにつとめ，今後できるだけ多くの人々の協力をえて，用途を決定しえない木器を少しでもへらすことを最大の目的にしている。

府県をこえる木器資料の集成は，当研究所のスタッフのみでなしうるところでない。府県市町村の全面的な協力をえなければ不可能である。本書の編集を企画するにあたりその主旨を府県の担当機関と協議したところ快諾をえたので，「近畿地方出土木器の集成研究」という集会を発足させた。この研究会は各地調査機関の担当者が参画し，1983年３月から1984年７月までに，奈良国立文化財研究所・東大阪市立郷土博物館・高槻市立埋蔵文化財調査センターで６回にわたって開催し，これ以外にも個別の協議をかさねた。

図録作成の基本方針はつぎのとおりである。１　木器実測図，木器解説，木器出土遺跡の概略，木器出土遺跡地名表，文献目録を内容の骨子にする。２　掲載する図面は実測原図のコピーをできるだけ縮尺を統一して用いることにする。３　すでに報告されているもののほか，1983年度段階までに出土した未発表の重要な木器を可能なかぎりとりいれる。４　各地の関係機関で作成した資料にもとづき，当研究所埋蔵文化財センターが統括し，編集する。

図録作成の具体的な作業工程はつぎのとおりである。１　各調査機関は木器実測図から実物大，ないしは２分の１大のコピー原図をつくり，奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター（以下，奈文研埋文センターという）に提供。２　奈文研埋文センターではコピー原図を木器の種類別に分類し，掲載木器を選別。３　各調査機関では掲載木器の解説および木器出土遺跡の概略に関する文章を用意する。４　奈文研埋文センターは，掲載木器をできるだけ統一的な表現で製図する。５　木器の木取り，樹種などの資料不足のものについて再調査。６　木器出土地名表および木器出土文献目録をととのえる。７　奈文研埋文センターで以上の資料を統括し，出版する。

実際の作業は必ずしもこの順序で進まなかったが，基本的な資料がととのったのは1984年の７月である。奈文研埋文センターでは，田中琢センター長および佐原真研究指導部長の指導のもとに町田章と上原真人が最終的な編集を行った。また，原稿のワードプロセッサーによる浄書については若井明・長谷川陽美の両氏をわずらわし，英文目次は D. サッサー氏と岩永恵子氏が作成した。

本書の作成に対し，多忙ななかを積極的に作業を進行していただいた各地の機関および担当者は以下のとおりである。

三重県教育委員会文化課	伊藤久嗣・吉水康夫・山田　猛
滋賀県教育委員会文化財保護課	兼康保明・田中勝弘

京都府教育委員会文化財保護課	平良泰久
京都府山城郷土資料館	高橋美久二
向日市教育委員会管理課	山中　章
京都市埋蔵文化財調査センター	北田栄造
(財)京都市埋蔵文化財研究所調査部	百瀬正恒・中村　敦・岡田一男
大阪府教育委員会文化財保護課	井藤　徹
高槻市立埋蔵文化財調査センター	森田克行
東大阪市立郷土博物館	芋本隆裕
(財)大阪文化財センター	石神幸子・村上年生・山口誠治
(財)大阪市文化財協会	八木久栄
兵庫県教育委員会社会教育文化課	平田博幸
神戸市教育委員会社会教育課	奥田哲道
奈良県立橿原考古学研究所	藤井利章・河上邦彦
奈良市教育委員会文化財課	西崎卓哉
(財)元興寺文化財研究所	松田隆詞・内田俊秀
埋蔵文化財天理教調査団	置田雅昭・日野　宏・山内紀嗣
奈良大学文化財学科	酒井龍一
和歌山県教育委員会文化財課	吉田宣夫
岡山理科大学	鎌木義昌・亀田修一
奈良国立文化財研究所 平城宮跡発掘調査部	工楽善通・金子裕之・山崎信二・松村恵司・ 杉山　洋・岩永省三・花谷　浩
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	菅原正明・土肥　孝
埋蔵文化財センター	町田　章・山中敏史・上原真人・光谷拓実・ 松井　章

最後に，各地の個人および教育委員会など多数の人々の協力をえて本書はなりたっており，芳名を掲げて謝意をあらわす。

山本雅靖〔上野市教育委員会〕，山口順子〔(財)滋賀県文化財保護協会〕，栗東町文化体育振興事業団，中主町教育委員会，守山市埋蔵文化財センター，長浜市教育委員会，高島町歴史民俗資料館，今津町教育委員会，長岡京市教育委員会，野上丈助〔大阪府立泉北考古資料館〕，中井一夫〔奈良県立橿原考古学研究所〕，渋谷高秀〔(社)和歌山県文化財研究会〕

第Ⅱ章　遺物解説

この図録でとりあげる木器は近畿地方の古代遺跡から出土した総数1,347点の木器である。それらは1984年3月までにすでに報告されているもの，および未報告ではあるが使用が許されたものから代表的な実例を選別したものであって，出土品のすべてを網羅しているわけではない。一方，柱や井戸枠あるいは杭・橋脚など建築・土木に関連する大型の木材ははぶくが，井戸枠に転用した曲物などは本来の用途にしたがって収録している。

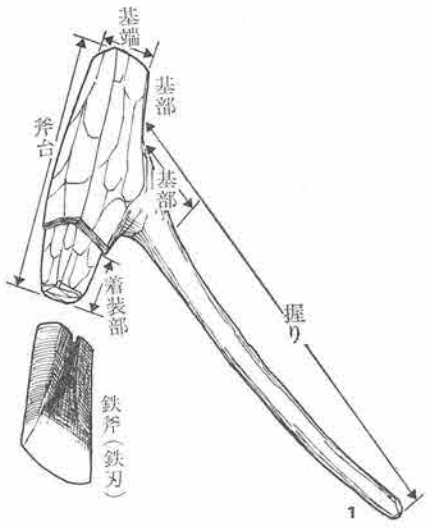
木器は生活のあらゆる分野にわたって使用されており，その分類は必ずしも容易ではない。また，出土木器の場合，形態から用途を決定できるものとできないものとがあり，分類を一層困難なものにしている。ここでは機能上の分類を中心にしながら，製作技法による分類を併用せざるをえず，つぎのような便宜的な分類を行っている。1 工具，2 農具，3 紡織具，4 運搬具，5 漁猟具，6 武器，7 服飾具，8 容器，9 食事具，10 籠編物，11 文房具，12 遊戯具，13 祭祀具，14 建築模型部材，15 雑具，16 部材，17 用途不明品。木器の名称については，民具などに用いられている一般的な名称を用いるが，一部には新たに命名したものもある。いくつかの木器について用途の比定を試みたが，当然のことながら誤認しているものもありうる。解説は，すでに報告書のあるものについては原則としてそれにしたがったが，用語を統一したり，要約したりしているので必ずしも報告書どおりではない。報告書のないものについては原稿を資料提供機関が用意し，それを編集した。木取り*についてはこれまでの報告書ではほとんど図示されておらず，今回新たに再調査したものが多い。樹種については報告のあるものはそれにしたがい，そうでないものは岡田一男（京都市埋文調査もの・兵庫県吉田南遺跡）・松田隆嗣（高槻市大蔵司遺跡・長岡京跡の一部）・山口誠治（大阪府亀井遺跡）・光谷拓実（その他全部）が新たに樹種同定を行った。なお，以下の記述で木器の年代をいう場合，原則として西暦であらわす。1世紀を細分していうときには，2分して8世紀前半・8世紀後半という場合と，3分して8世紀前葉・8世紀中葉・8世紀後葉という場合とがある。収録した木器の時代幅は，原則として7世紀から12世紀までとするが，鳥羽離宮跡をはじめとする若干の遺跡については13世紀以降のものもふくんでいる。

1　工　　具（PL. 1～3）

工具としては斧・木槌・掛矢・鑿・楔・墨壺・墨刺し・刀子・鉋・鑿・鋸・錐・刷毛・篦・木釘・飾金具形・叩板がある。多くは柄の類であり，それぞれの出土点数も多くない**。斧など手にとって用いる工具については，右利きの使用者が用いるものとして，使者側からみて前後

＊　木取りは実測図断面に年輪方向を模式的に描いてあらわし，原則として解説ではふれていない。

＊＊　中村雄三『道具と日本人』PHP研究所　1983年
成田寿一郎『木の匠』鹿島出版会　1984年



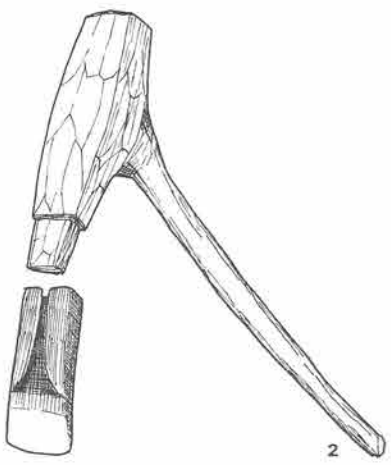


fig. 1　斧の名称　1；縦斧　2；横斧

fig. 2　縦斧（ヨキ）『粉河寺縁起』

左右などの部分名称を用いることを原則とする。これは，後出の鋤などの農具の場合についても同じである。

A　斧（*0101～0105*）　お　の

縦斧と横斧があるが，柄はいずれも木の幹と枝の股を利用し，枝から握りを幹から斧台をつくりだしたもの*。着装部の状況からすれば，すべて袋状鉄斧をとりつけたものである。また，斧台と握りを枘仕口で組合せたものはない。

0101　縦斧。握りは表皮を除く程度の加工にとどまり，外反する。斧台は基端の木口をほぼ直線にたちおとし，両側面を平滑に削る。着装部は基部よりも一段薄くして舌状に突出し，全体を朱色に塗った袋状曲刃鉄斧を装着する。全長 47.7 cm，握り径 2.0 cm 前後，斧台長 14.6 cm，着装部幅 2.8 cm，鉄斧長 7.0 cm，同刃幅 4.0 cm。アカガシ亜属。兵庫県辻井廃寺井戸02出土。8 世紀後半。水漬。姫路市教委保管。

0102　横斧の柄。全体を丁寧に削って加工。握りは基部をのこして折損する。斧台は板状に削る。着装部先端を欠損するが，斧台の下部で幅と厚味を減じており，鉄斧の着装部にあたるのであろう。なお，後面には二次的な刃痕と磨滅痕跡がある。残存長 8.7 cm，握り径 1.9 cm，斧台残存長 11.9 cm，同幅 4.0 cm，厚 1.8 cm。コナラ亜属。平城宮 6AAI 区SD4951**出土。8 世紀後葉。水漬。奈文研保管。

0103　横斧の柄。現状では握りの基部で欠損。握りの基端はもとの枝の太さをのこすが，それ以下は細めに削る。斧台は板状に加工し，基部と着装部とに明瞭な区別がない。基部は両側から削り，基端を直截する。着装部は両側から斜めに削ってややとがらす。斧台の前面は両側を薄くして中央部を厚くするが，後面は平滑面をなす。着装部の先端に擦痕があり，袋状鉄斧に挿入したもののようだが，短冊状鉄斧を着装部後面に緊縛して使用することも可能。斧台長 16.5 cm，同幅 3.2 cm，同厚 1.4 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABY区 SD1900 出土。8 世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0104　横斧。握りは基部をのこして欠損するが，表皮を除く程度の加工。斧台は握りとの付根部分をもっとも幅広にのこし，上下方向にやや幅をせばめる。斧台の基端を直截し，基部の後面は丸味をもたせて削る。基部と着装部の間にとくに段差をもうけずに，袋状曲刃鉄斧を装着する。鉄斧は袋部が深く，その合せ目を台部後面にだす。斧頭全長 28.3 cm，斧台基端幅 3.9 cm，同厚 2.5 cm，鉄斧長 13.5 cm，同基部幅 5.7 cm，同刃部幅 6.0 cm。広葉樹。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。兵庫県教保管。

0105　横斧の柄。握りは表皮を除いて丁寧に削って加工し，握りの中心部から斧台へうつる基部にかけてわずかに内弯する。斧台の後面はやや粗い面をのこして削平するが，両側面は平滑に削る。着装部は前面を削りこんで薄い舌状に加工。全長 51.7 cm，握り径 1.5 cm前後，斧台長 12.2 cm，着装部長 3.4 cm，同幅 2.4 cm，同厚 1.2 cm。カシ。長岡京左京二条二坊六町SD5101出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

B　木　　槌（*0106～0110*）　きづち

大半は頭と柄を組合せたもの。1 例だが，木の股を利用した小型のものがある。大小さまざまの形をとる。

0106　組合せ式の木槌。頭は柱状の角材に面取をほどこし，断面は八角形。一側面の中央か

＊　斧の名称については，佐原真「石斧論―横斧から縦斧へ」『考古論集―松崎寿和先生六十三歳記念論文集―』1977年　p.45～86』を参照。

＊＊　遺構を表示する記号は，SB；建物　SD；溝　SE；井戸　SK；土壙　SG；園池　SX；その他である。

ら長方形の孔を貫通させ，柄を挿入。柄は握りを断面隅丸方形に削り，基部を断面長方形につくっている。頭の両端木口面に敲打による窪みがのこっている。全長27.8 cm，頭長 13.2 cm，同径 6.1 cm。アカガシ亜属。平城京左京三条二坊十坪 SE877出土。8 世紀後葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0107　一木作りの木槌。細い幹を頭に，分岐した小枝を柄に利用したもので，柄の下半は欠損する。頭は樹皮を取り去る程度の加工。頭長 4.1 cm，直径 1.5 cm，柄残存長 3.6 cm，径 0.7 cm。ヤナギ属。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0108　組合せ式の木槌。頭は円筒形を呈し，一側面に縦長の長方孔をあけるが，貫通しない。柄は頭に挿入する基部を断面長方形とし，握りでは角をおとし，柄端に向けてやや細くする。全長 28.4 cm，頭長 7.9 cm，同径 6.0 cm，柄径 2.2×1.7 cm。樹種未同定。長岡宮 7 AN5地区SD3100出土。784年～794 年。水漬。京都府教委保管。

0109　組合せ式木槌の頭。表皮のついた円柱状を呈する。側面に柄を挿入するため方形孔をあけるが貫通していない。長 8.8 cm，径 4.5 cm，方形孔 1.3×1.1 cm，同深 2.1 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABO区SE311B出土。9 世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0110　組合せ式木槌の頭部。現在，縦の約 3 分の 1 を欠損するが，旧状をうかがうことは可能。円筒形の側面に柄を挿入する方形の孔を貫通させる。両端木口面は平滑面をなすが，打敲痕跡はない。長 12.2 cm，径 6.1 cm，方形孔径 2.3cm。シキミか。長岡京左京二条二坊六町 SD1301出土。784年～794 年。水漬。向日市教委保管。

C　掛　　矢（*0111・0112*）　かけや

後述する横槌と同じ形をとるが，大型で側面に著しく敲打痕跡をとどめるものを杭などで打込む掛矢にあてた。

0111　心持丸太材の約半分を頭とし，他の半分を細く削って柄をつくる。頭部に鋭利な刃物で刻まれた細線を多くとどめる。全長 35.3 cm，頭径 8.0×7.1 cm，柄長 13.5 cm 同径 4.1 cm。シキミ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0112　心持丸大材の約半分を頭とし，他の半分細く削って断面円形の柄をつくりだす。現状では縦に割れている。柄の末端を突帯風にやや太くのこす。頭の側面には多数の刃痕があり，著しく傷つけられている。刃痕は割った面にもあり，欠損後に加工台として転用したもの。全長33.4cm，頭径約8.0 cm，柄長17.3cm，同径3.6 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABO区SE272B出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

D　鍁（*0113*）　こ　て

0113　壁塗用の鍁に類し，厚めの板を鍁状に加工したもの。上面の両端をのこし，中央部の両側から深く削りこんで橋形の握り柄をつくりだす。下面は長軸・短軸方向ともに曲面をなし，著しく磨滅している。民具の苗代鍁に類似品がある*。長 25.8 cm，幅8.4 cm，高 3.0 cm。スギ。湖西線関係遺跡VD区大溝出土。7 世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。

E　楔（*0114～0116*）　くさび

丸大の原木を割りさいたり，器物などにはめる箍などを強固にしめつけたりするときに用いる楔にあてうるもの。

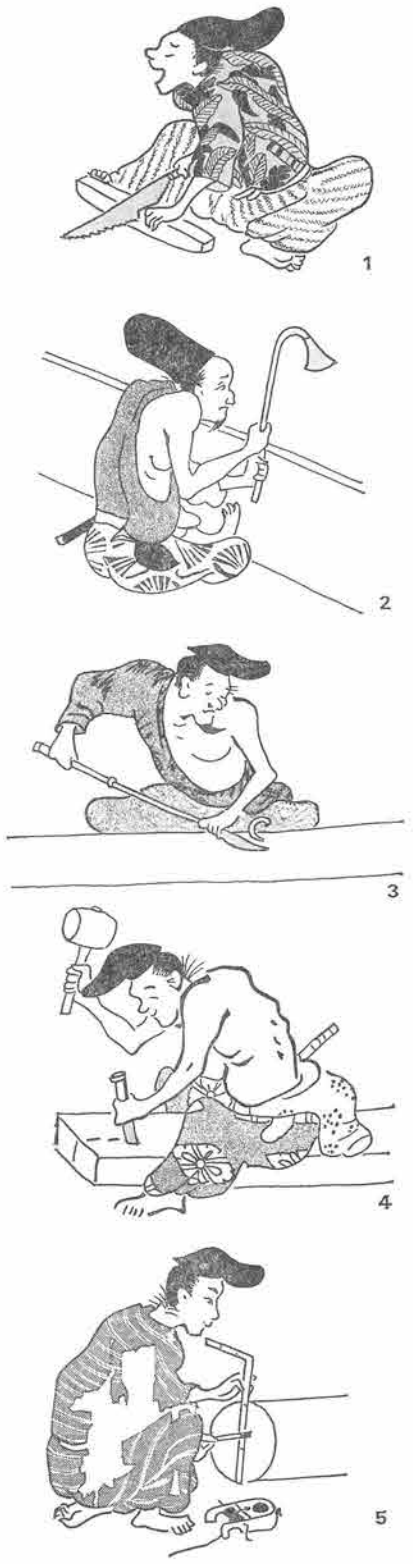


fig. 3　各種の大工道具
1；鋸　2；横斧(釿)　3；鉋　4；鑿と木槌　5；墨壺・墨刺し・曲尺　『春日権現験記』

＊　薗部澄・宮本常一『日本の民具』第2巻　慶友社　1965年　図版8

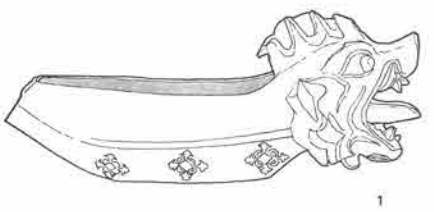
0114～0116　長方形の粗い割り面をとどめる木片の一端を両面から削って，斧頭状に加工する。長短大小の差はあるが，いずれも局部的な加工。刃にあたる部分や頭頂部分には顕著な使用痕跡がない。0114；長 19.9cm，幅 5.0 cm，厚 2.0 cm。0115；長 10.6 cm，幅 3.0 cm，厚 2.3 cm。0116；長 11.5 cm，幅 4.3 cm，厚 1.3 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

F　墨　　壺（*0117・0118*）　すみつぼ

糸・紐などで直線をひくときに用いる墨壺。2例あるが形をことにする。正倉院の小型墨壺が裁縫用に用いられているように，必ずしも木工具に限定する必要はない。

0117　角材を刳りぬいてつくる墨壺。現状では全体の約4分の1をとどめるにすぎないが，頭部を船首形に尾部を割尻形にする平面形が推測できる。頭部上面は中央部を高くし両端に向かってさがる曲面をなし，側面もまた曲面をなす。頭部上面の中央から壺孔をほりこむが，口縁部をやや直立させ，それ以下は底部の広い截頭円錐形を呈する。頭部の中心線上に前後から墨糸をとおす糸道をあけ，それぞれ壺につなぐ。なお前方の糸道には現在小枝が詰まる。頭部の両側から糸車を支える尾部を削り出すが，糸車の軸を通した軸受け孔を確認するにとどまる。軸受け孔の位置からみて糸車が径2cm内外の小型であったことがわかる。尾部の付根部分の上面から側面にぬける小孔があるが，機能は不明。壺の内面には縦方向の鑿痕がのこり，墨が多量に付着する。全長 19.4cm，復原幅 9.9 cm，現存高 3.6 cm，頭部長12.4 cm，壺径 3.3～5.1 cm。ヒノキ。平城宮6ABG区SD3715出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

0118　角材を刳りぬいてつくる墨壺。尾部の一部と糸車を欠く。頭部は面取りのある方形の立方体を呈し，上面中央部から底の広い截頭円錐形の壺をほりこむ。糸道は壺の中央部をわたって水平に貫通しており，頭部前面糸口の下方に糸ずれの痕跡がある。尾部は頭部下方から蕨手状に立上がり，頭部寄りの外側面から軸受け孔をあける。軸受け孔の位置からみて径2.5cm内外の糸車が想定できる。長 21.6 cm，幅 10.8 cm，高 9.1 cm，頭部長 13.2 cm，壺部口径 6.1 cm，同深 4.5 cm，同底径 8.0 cm。ヒノキ。兵庫県栄根遺跡河川北部出土。8世紀。P. E. G. 処理済。川西市教委保管。


1

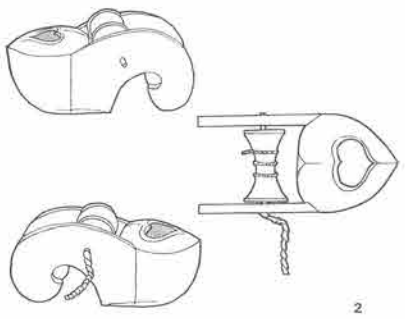

2

fig. 4　正倉院の墨壺
1；銀平脱龍船墨斗（正倉院事務所『正倉院の漆工』平凡社 1975年　図版376）
2；紫檀銀絵小墨斗（「正倉院残材調査報告」『書陵部紀要』29　1977年 p. 41～42）

G　墨 刺 し（*0119・0120*）　すみさし

木片を利用した墨刺し。いずれも即成のもので，粗雑。

0119　粗割りの面をのこす小木片を墨刺しとして利用したもの。長方形の薄い木片の一端を墨付部分とし，両面から削って刃をつけ，烏口のように刃先から切り目をいれる。刃先からの切り目は，墨がたまりやすくするためのもの。墨付部分には，現在も墨痕が付着する。なお，握りの先端は折損している。現存長9.6cm，幅1.0，厚0.4cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0120　粗割りの角棒の先端に両面から削って刃をつけた墨刺し。この例では墨付部分に墨痕をとどめるが，切り目はいれていない。長19.4 cm，幅 0.9 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

H　刀　　子（*0201～0218*）　とうす

鉄の刀身をとどめるものもあるが，多くは柄だけがのこる。柄は白木のものがすべてであ

り，漆塗りのものは出土していない。側面形によって3型式に大別できる。Ⅰ型式は柄の中央部分で刀背方向に曲折するもの，Ⅱ型式は棒状の柄の中央から柄頭寄りを刃側から斜めにそぎ落して柄頭を細くするもの，Ⅲ型式は柄元から柄頭まで直線の丸棒状に加工するものである。それぞれ精製・粗製のものがあるが，精製品は概してⅠ型式にぞくし，鎾(はばき)をともなうのもこの型式である。刀子には書刀として木簡などを削るものと工作用のものとの区別があろうが，遺物によって両者を識別することはできない。ただし，Ⅰ型式刀子は正倉院の伝世品に類似しており，官人が携帯する書刀にあててもさしつかえない。

0201　鉄の刀身をとどめるが柄頭が欠損している。刀身は平造りで刃部が鋭利で，かつよく使いこんでいる。茎は身とほぼ同じ長さで，上辺は身の刀背と直接につながり，刃の側を一段おとして関とする。柄の断面は楕円形を呈し，柄元木口の周囲に銅製の鎾を着装する。Ⅰ型式柄か。現存長 13.3 cm，刀身長 6.5 cm，同最大幅 0.8 cm，同厚 0.25 cm，茎長 6.2 cm，同径 0.7×0.3 cm，柄径 1.8×1.2 cm。ヒノキ。平城宮6ABQ区SD3765出土。8世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0202　精製のⅠ型式刀子柄。鉄の刀身を欠くが茎が柄中にのこる。柄元付近の断面は長方形に近く，中央部から柄頭にかけては楕円形に近い。長 16.6 cm，幅 1.9～1.5 cm，厚 1.1～1.3 cm。広葉樹。平城宮6AAH区SD3410出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0203　粗製のⅠ型式刀子柄。全体に整形が粗く，柄元の断面は楕円形を呈し，柄頭の断面は菱形。茎孔が浅く，未成品の可能性がある。長 14.5 cm，幅 1.4～1.2 cm，厚1.0 cm，茎孔長 2.6 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0204　精製のⅠ型式刀子柄。全面を丁寧に削って整形するが，断面は長方形に近い。茎を焼込んで柄に装着し，茎孔が焼焦げ先端が外側面に露出している。長 13.6 cm，幅 2.0～1.8 cm，厚1.2 cm，茎径(柄元)0.9×0.5 cm，同長 7.8 cm。広葉樹。平城宮6AAI区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

0205　Ⅰ型式刀子柄。刀身の一部がのこる。全体に腐蝕が進行し，細部の整形は不明。刀身は基部で欠損するが，平造りであったことがわかる。X線写真によって茎が柄の半分程度の長さであることが判明している。柄の断面は楕円形を呈し，鎾を着装したことをしめす段と錆がのこる。柄頭部を細くして一孔をあけるのは，紐を通すためのもの。現存長 14.9 cm，柄長 13.5 cm，同径 1.6×1.3 cm，茎長 7.1 cm。広葉樹。平城京右京八条一坊十一坪 SD920出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

0206　粗製のⅠ型式刀子柄。柄元に一段の切欠きをめぐらし，鎾をつけたことがわかる。柄元付近の断面は台形で，柄頭付近では隅欠きの長方形を呈する。茎孔は幅広く，全長の半分以上におよぶ。長 13.1 cm，幅 2.2～1.9 cm，厚 1.3～1.05 cm，茎孔長 7.9cm，同短径 0.5 cm。樹種未同定。平城宮6AAI区SD4100A出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

0207　精製のⅠ型式刀子柄。腐蝕が進み柄頭を欠損している。X線写真によって茎を確認し，柄元部分に木口から鎾をはめこんだ状況がうかがえる。柄元付近の断面は楕円形だが，中程からは卵形になる。現存長 10.8 cm，幅 1.7～1.4 cm，厚 1.1～0.9 cm。広葉樹。平城京右京八条一坊十一坪SD920出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

0208　精製のⅠ型式刀子柄。柄元部分が欠損している。柄頭付近に「四文」の針書きがあり，この刀子の値段を記したようである。現存長 10.2 cm，幅 1.3 cm，茎孔径 0.5×0.2 cm。カキか。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

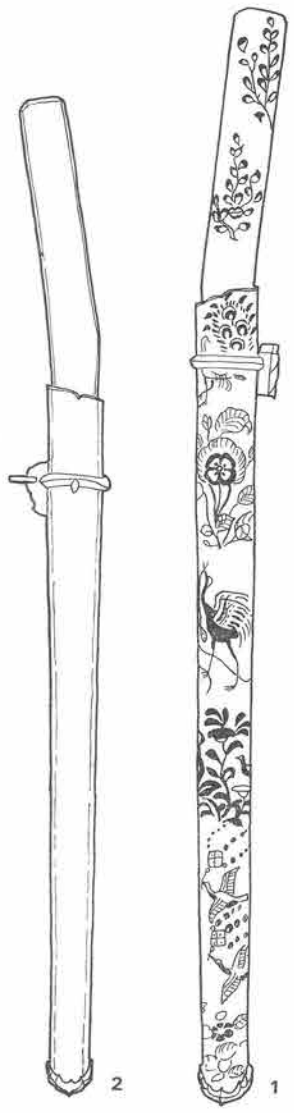


fig. 5　正倉院の刀子 1；緑牙撥把鞘刀子　2；金銅荘刀子（奈良国立博物館『昭和58年度正倉院展』1983年　図版43・44）

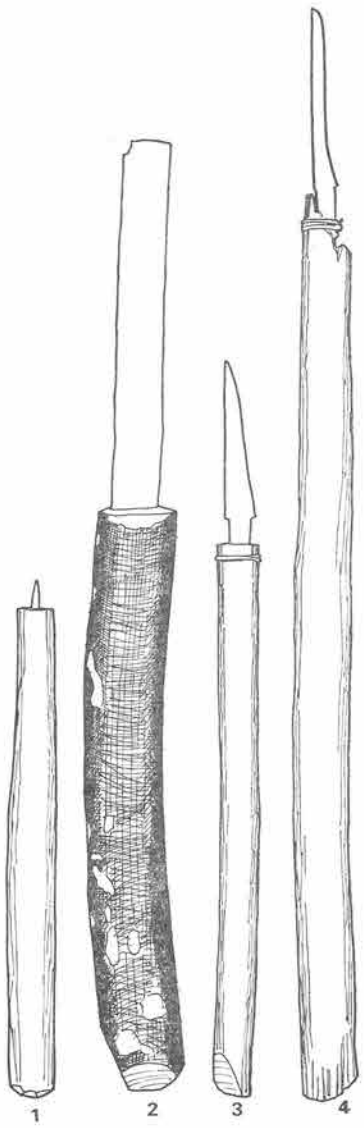


fig. 6　正倉院の工具(1)
1；錐　2；鋸　3・4；刀子（正倉院事務所『正倉院の木工』日本経済新聞社 1978年　図版177）

0209　精製のⅡ型式刀子柄。断面楕円形の棒状を呈し，中程から柄頭にかけての刃側を浅く削込み，柄頭をわずかに細くする。茎孔の断面はやや胴張りのある台形を呈し，短辺のほうが刃側になるようである。長14.2cm，径1.3×1.1cm，茎孔長4.3cm，同径0.5×0.25cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。奈文研保管。

0210　粗製のⅡ型式刀子柄。柄頭を欠損。茎孔を焼込んだ痕跡がある。柄の断面は隅欠きの長方形を呈し，粗く削って整形する。茎孔は柄元部分で断面三角形だが，下部では四角形。柄頭付近に紐孔をあけた痕跡がある。現存長15.9cm，茎孔長7.8cm，同径(柄元)0.9×0.32cm。広葉樹。平城京右京五条四坊三坪SE20出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

0211　Ⅲ型式刀子柄。断面は円形で，柄元木口から茎孔をあける。茎孔が他にくらべて浅いことから，他の工具柄の可能性もある。長16.4cm，径1.4cm，茎孔長2.3cm。広葉樹。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

0212　Ⅲ型式刀子柄。棒材の木口から茎孔をあける。茎孔は刀身の関をいれるためか，柄元部分の幅をひろげている。長11.5cm，径1.2×0.9cm，茎孔幅0.4cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

0213　Ⅲ型式刀子柄。断面が楕円形の柄で柄頭の刃側をそぎおとしている。刀身の基部が残存している。全長15.5cm，柄長14.1cm，径1.6×1.1cm，茎孔幅1.1cm。針葉樹。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

0214　Ⅰ型式刀子柄か。平造りの鉄刀身はよく使いこんでいる。柄の断面は卵形を呈し柄頭を欠いている。現存長15.7cm，刀身長7.8cm，柄径2.0×1.1cm。カシか。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

0215　Ⅲ型式刀子柄の刀子か。鉄刀身はほぼ完形であるが，柄は腐蝕が著しく柄頭が二次的に切断された模様。全長23.0cm，柄長11.6cm，径2.0×1.3cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784～794年。P. E. G. 処理済。向日市教委保管。

0216　樹皮のついた心持丸材を利用したⅠ型式刀子柄。中程から柄元にかけて削込みやや細くするが，柄頭にはなお樹皮がのこる。長11.2cm，径1.8cm，茎孔径0.7×0.2cm，同長7.6cm。広葉樹。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0217・0218　樹皮のついた心持丸材を利用したⅢ型式刀子柄。ともに鉄刀身をぬきとったために柄元が二次的に損傷する。0217；長12.1cm，径1.71×1.2cm，茎孔径0.5×0.4cm。同長5.2cm。広葉樹。0218；長13.3cm，径1.9×2.1cm，茎孔径0.6×0.2cm。同長6.7cm。広葉樹。以上，平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

Ⅰ　刀子鞘（*0219*）　とうすのさや

0219　内面をくりぬいた断面が弧形の板をあわせ，蔓の皮を細紐状に編みつけて固く締めあげたもの。鞘とする積極的な根拠はないが，柄としては茎孔が広すぎるので鞘に比定したまでである。長10.1cm，幅2.2cm，厚(復原)1cm内外。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

J　鉇　　柄（*0220*）　やりがんなのえ

0220　鉇の鉄身はしばしば発見されるが，柄をつけた状態の鉇は発見されていない。表皮をつけたままの心持丸木の一端を，対応する2面から削込み柄元をつくる。この際，一方を深く

他方を浅くして茎孔を柄軸の片方に寄せている。茎孔は焼込みで，断面は長方形。柄元の削込みに平行して刃をつけたらしい。柄頭は丸木の周囲にV字状の溝をいれて折り離したままである。表面は全体に磨耗し，剝離が著しい。茎孔と柄の形状から鉈の柄にあてた。長18.3 cm，径 2.4 cm，茎孔径 0.7×0.3 cm。同長 5.5 cm。広葉樹。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

K 鑿　　柄（*0221～0225*）　のみのえ

太目の心持丸木を柱状に切断し，一方の木口から断面が方形ないしはそれに準じる茎を焼込んで挿入した痕跡をとどめるものを鑿の柄にあてた。

0221　側面を丁寧に削って整形。いまは縦方向に割れた半分をとどめる。柄元には若干の磨滅痕があるが柄頭の木口面に敲打の痕跡はない。長 10.1 cm，径 4.1 cm，茎孔径一辺0.6cm。ツバキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0222　心持丸木の表皮を削った程度の粗い加工にとどまり，柄頭に蔓を巻きつけてひび割れを防止している。長14.9 cm，径 3.2 cm，茎孔 0.8×0.7 cm。ツバキ。平城宮 6AAG区SD3410出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

0223　柄の中程から柄元にかけて周囲を削込んで細くし，柄頭も同様に稜をおとして丸味をつける。柄頭から中程までの大い部分は樹皮を除く程度の加工にとどまる。表面は火をうけて部分的に炭化している。茎孔の断面は長方形を呈し，柄軸に対して平行せず，やや角度をつけている。長 12.3 cm，径 4.2×3.1 cm，茎孔径 0.6×0.3 cm。広葉樹。平城宮 6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0224　皮つきの丸材の両端をたちおとした加工にとどまる。いま縦に割れ全体の約3分の1程度をとどめ，割面に茎孔の痕跡がみとめられる。さきの報告では刀子柄にあてたが，茎孔の断面を方形にかんがえたほうがよく，また刀子柄としては太すぎるのであらためた。長 21.5 cm，径 5.0 cm，茎孔径 1.4 cm。アカガシ亜属。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E G. 処理済。奈文研保管。

0225　割材からつくる角棒状の柄。一方の木口から茎孔をあける。茎孔が長方形を呈していることからとりあえず鑿柄にあてた。長 18.1 cm，径 2.7×2.0 cm，茎孔径 1.2×0.7 cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

L 鋸　　柄（*0226・0227*）　のこぎりのえ

扁平な木柄の一木口から扁平な茎孔をあけたのがあり，鋸の柄にあてた。*

0226　割材からつくる扁平な木柄で，いま縦半分をとどめるにすぎない。断面は稜をおとした隅丸長方形を呈する。柄頭に突起をつくりだすがさほど明瞭ではない。扁平な茎を柄軸と平行に焼込みで挿入したらしく，茎孔が柄頭にまでおよんでいる。長 16.1 cm，幅 3.9 cm，現存厚1.2cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0227　割材からつくる扁平な木柄で，断面は楕円形を呈し，中程から柄頭にかけての一短側面を削込んで柄頭の幅を縮めている。焼込みで茎をいれたらしい三角形の茎孔をとどめている。長 17.2 cm，径 3.3×1.7 cm，茎孔 2.9×0.6 cm，同長 6.1 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SD9649出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

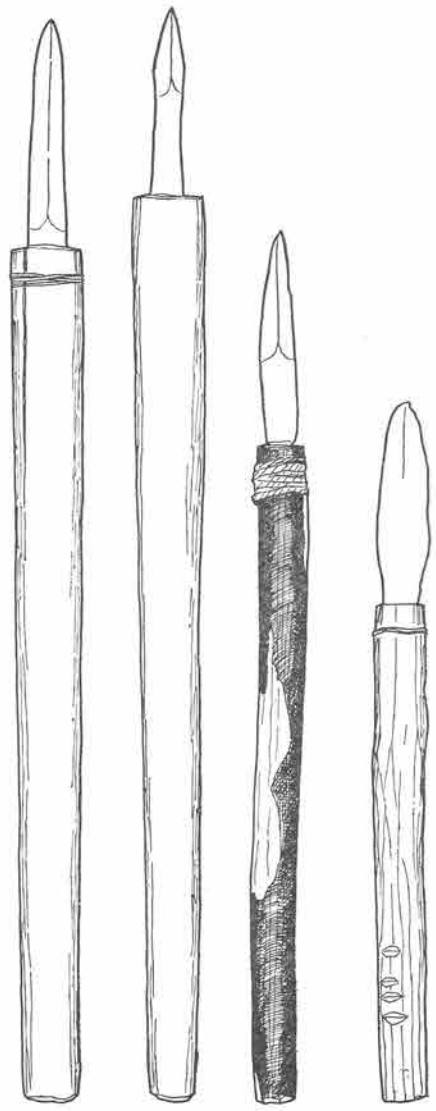


fig. 7　正倉院の工具(2)
鉈各種（前掲『正倉院の木工』図版177）

＊　吉川金次『鋸』法政大学出版局　1976年

M　錐（*0228～0234*）　き　り

丸棒状の木柄に錐身を挿入したもので，鉄の刃先をとどめるものもある。

0228　心持丸材を利用した螺子（ねじ）錐。鉄の錐身は断面を方形にし，柄元からみて右に3～4回転のねじれがある。柄頭は欠損。現存長22.2cm，柄径1.3cm，錐身長5.2cm，同径0.4cm。トネリコ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0229　心持丸棒の柄に四ツ目の錐身がのこる。柄頭は欠損している。現存長20.3cm，柄径1.1cm，錐身長7.3cm。トネリコ。平城宮6ABO区SE311A出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0230　割材の丸棒の柄に鉄の錐身がわずかにのこる。柄は柄元付近では6～7角形の断面にととのえているが，中程から上下にかけて使用によって磨耗し断面が円形に近くなっている。木柄は完形だが，鉄の錐身は断面方形の基部をとどめるにすぎない。現存長14.1cm，柄径1.1cm，錐身現存長(茎をふくむ)3.9cm，同径0.36×0.33cm。カヤ。平城京右京八条一坊十一坪SD920出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

0231　割材からつくる丸棒状の柄。柄元に責金具を着装した刳込みがある。菱形の茎孔をとどめ，茎を焼込んで挿入した痕跡がある。報告では刀子柄にあてたが改める。長12.6cm，径1.7×1.2cm，茎孔径約0.5cm，同長10.3cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0232　割材でつくる角棒状の柄。柄元に刳込みをめぐらし，縦割れが生じたため紐などで緊縛したようである。柄元付近から柄頭にかけては稜を削って丸味をもたせる。茎孔は長方形を呈し，焼込みの痕跡がある。長17.7cm，径1.5×1.2cm，茎孔径0.5×0.8cm。同長2.5cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0233　割材でつくる丸棒状の柄。両端の木口から断面方形の茎孔をあける。上下で錐身の形を違えたのであろうか。長13.7cm，径2.2cm，上方茎孔径0.6cm，同長6.4cm，下方茎孔径0.5cm，同長5.1cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

0234　割材でつくる丸棒状の柄。両端の木口は鋸で直截している。茎を焼込みで挿入した不整方形の茎孔をとどめる。長29.6cm，径1.2～1.0cm，茎孔径0.3cm，同長2.7cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

N　刷　　毛（*0301～0307・0336*）　は　け

柄の先に毛を植えつけた刷毛に想定しうるもの。扁平な板状の柄元に割目をいれて毛をはさんだ平刷毛の柄と，棒の先端に毛をたばねたらしい丸刷毛の柄とがある。漆が付着するものがあり，漆塗りに使ったことがわかるものもある。

0301　板材から握りを細くし柄元を幅広にした扁平な柄をつくり，柄元付近の両側にV字形の切欠きをいれる。柄元の端は二次的に切断されている。現存長12.2cm，幅2.2～0.7cm，厚0.4cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

0302　板材からつくる握りの細い柄。柄元には両側から上下二段の切欠きをいれ，紐などで緊縛したようだが，その押圧痕跡はない。柄元の木口面中央で長辺に平行する割目をいれ，この割目が柄元の中程までおよんでいる。現存長15.5cm，幅2.5～1.3cm，厚0.5cm。ヒノキ。平城宮6ALG区SD5785出土。8世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0303　板材からつくる握りの細い柄。幅広の柄元に糸でしばった状況をとどめる。柄元の木口から長辺に平行する割目をいれ，わずかに毛がのこっている。柄元に漆が付着しており，漆塗りの刷毛であることがわかる。現存長 15.7 cm，幅 1.3～0.6 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。

0304　扁平な細板の一端に割目をいれ，毛をうえる。全体に丁寧な削り整形をくわえ，握りは幅・厚さとも次第に減じ，箆状につくる。柄元の木口から毛をうえる割目をいれる。毛は脱落。柄元の両側に浅い切欠きをいれ糸を巻いて固定。糸は2本の原体を撚り合せる。糸巻きの付近に漆が付着している。長 19.3 cm，幅 1.6 cm，厚 0.8cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0305　角棒状の小木片を加工したもの。握りの半分は断面菱形にととのえ，のこりは粗削りのままの状態。柄元に細めの舌状突起をつくり，2条の刳込みをめぐらす。突起に毛をたばねて丸刷毛にしたものか。長 11.8 cm，幅 1.0 cm，厚 0.7 cm。突起長 0.5cm，同幅 0.5 cm。樹種未同定。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0306　角棒の一端を細く削りだしたもの。握りは粗い多面体に削り，柄頭を細くする。柄元に芯のような突起をつくりだしており，ここに毛をたばねて丸刷毛として用いたものであろう。長 21.5 cm，径 0.9 cm，突起長 2.5 cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8 世紀。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0307　板片を撥形に整形したもの。幅広の身を薄くし，櫛歯のような割目を無数にいれている。後述の箆と同じ形をとるが，刷毛の一種にあてておく。現存長 10.8 cm，幅 3.0～0.7 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

0336　板の一端を幅広にのこして身とし，他端に細い握りをつくりだす。身の一面に方形の刳込みをいれ，ここに毛をならべて揃え，その上から別の板で蓋する。つまり，必要に応じて刷毛の長さが調節できるのである。漆が付着している。長 16.9 cm，幅 3.1～0.7cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAD区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

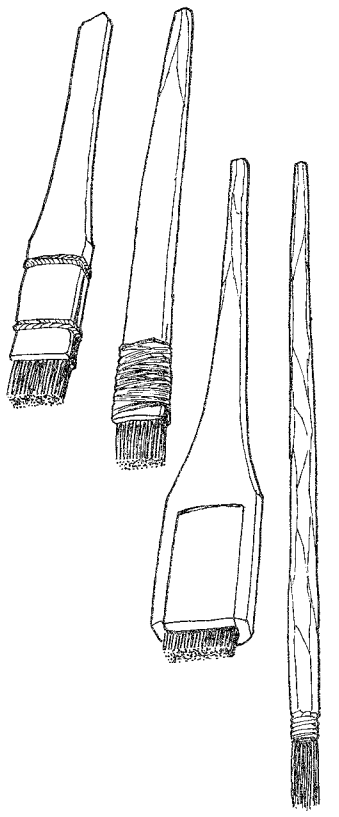


fig. 8　刷毛の復原

O　箆（*0308～0313*）　へ　ら

板片を撥形に整形し幅広の先縁に片刃状の刃をつけたもの。漆の付着するものがあり，漆塗用の箆であったことがわかる。なお，食事具の匙にあてたもののうちに，同形のものがある。

0308～0313　0308 を除く 5 点は漆入りの壺とともに発見された一括品であり，漆塗用の箆であることは間違いない。0308～0311 は身を幅広くし，握りとの境がはっきりしているが，0312・0313は身と握りの境がはっきりしない。いずれも漆が多量に付着している。0308；現存長 9.8 cm，幅 2.1～0.9 cm。厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD4100A出土。8 世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。0309；長 12.1 cm，幅 2.3～0.3 cm，厚 0.3 cm。0310；現存長 11.2 cm，幅 2.1～0.9 cm，厚 0.7 cm。0311；現存長 21.7 cm，幅 3.0～0.8 cm，厚 0.4 cm。0312；現存長 16.4 cm，幅 2.9～1.4 cm，厚0.6 cm。0313；長 24.1 cm，幅 1.0～0.55 cm，厚 0.7 cm。以上，ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪 SD1155 出土。8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。

P　木　　釘（*0314～0326*）　きくぎ

割材を整形して古代の鉄釘の形につくる木製品である。必ずしも釘にあてる確証はないが，

一応この部類にいれておく。

0314～0321　難波宮橋脚 MP-1区SK10043 から発見された一括品。頭の形状によって a・b の 2 類にわけられている。0314～0319・0321 は頭と軸との境がゆるやかなカーブを描く a 類で，0320は頭と軸との境が段をなすb類である。a 類はいずれもヒノキを用い，全長約 16～17 cm の大型品（a—1 類）と全長約 11～12 cm の小型品（a—2 類）に区別されている。b 類は 1 例にとどまるがスギを用いる。0314；現存長 16.6 cm，頭径 1.9×1.4cm。0315；長 15.6 cm，頭径 1.4×1.2 cm。0316；現存長 15.3 cm，頭径 1.9×1.1 cm。0317；現存長 15.6 cm，頭径 1.6×1.6 cm。0318；現存長 14.2 cm，頭径 1.7×1.5 cm。0319；現存長10.7 cm，頭径 1.4×1.5 cm。0320；現存長 8.5 cm，頭径 1.65×1.2 cm。 0321；現存長 9.4 cm，頭径 1.3×1.2 cm。7 世紀中葉。水漬。大阪市文化財協会保管。

0322・0323　ともに角棒の一端をとがらせて釘形にととのえる。 0322 はとくに頭をつくらないが，0323は頭部をのこして側面周囲をゆるく曲面をつけて削る。報告では鉄釘をつくるときの雛形としてあつかう。0322；長12.5 cm，頭径0.5 cm。0323；長10.4 cm，頭径 0.7cm。以上，樹種未同定。平城宮6ADF区SK1979出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0324　板片から角柱状の軸と側面が楕円形の大きな頭をつくる。 さきの諸例と形がことなる。現存長 6.6 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。 長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。 784年～794年。水漬。向日市教委保管。

0325・0326　軸を丸棒状につくり，頭と軸との間に段をもうける。0325；長 16.8 cm，頭径 0.9×0.6 cm，スギ。 京都府鳥羽離宮ND84-3-L-11SX07 出土。 0326；長 16.6 cm，頭径 1.1×0.9 cm。スギ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43落込み出土。以上，12世紀～13 世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

Q　木　　針（*0327～0331*）　きばり

薦編みや藁仕事などに用いた木針である。丸棒状のものと扁平なものとの区別がある。

0327　丸棒状の木針。 頭部に針耳をあけずに側面から切欠きをいれている。全体に反りがみられる。現存長12.8 cm，径0.9 cm。 ヒノキ。 平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。 723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0328～0331　小板片の一端を とがらして扁平に整形し頭部に針耳をあける。 針耳はいずれも刃物の先をよじってあける。精粗の別がある。0328；長10.9 cm，幅1.05 cm，厚 0.22 cm。ヒノキ。平城宮 6ALF区SD5780 出土。 8 世紀。真空凍結乾燥処理済。 奈文研保管。0329；長 14.4 cm，幅 1.5 cm，厚 0.29 cm。樹種未同定。平城宮6AAO区SK2101出土。750 年頃。真空凍結乾燥処理済。0330；長 13.2 cm，幅 0.9 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820 出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。0331；長 17.05 cm，幅 1.3 cm，厚0.4 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。 8 世紀前葉 。水漬。以上， 奈文研保管。

R　座金形・鋲形木器（*0332・0333*）　ざがねがた・びょうがたもっき

木釘に準じてとりあえず工具にいれておく。ともに金属品を模倣したものであり，報告では金属を製作するための雛形とみるが，実用に耐えないことはない。

0332　薄い円板を削って六花形につくり，中央に円孔をあけ， 一弁おきに 3 個の針孔をあける。表裏とも割り面をとどめているが， 周縁部は入念に面取りしている。 径 4.3cm， 厚 0.2

cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0333　縦木取りで笠形の頭部をつくりだした鋲をかたどるが，方柱形の脚部は欠損している。頭径 3.6×3.3 cm，現存高 1.8 cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

S　叩　　板（*0334・0335*）　たたきいた

板状の身に棒状の柄をつくりだしたもの。用途をきめがたいが，何ものかを叩く道具として工具のなかにいれておく。

0334　楕円形の身に断面が方形を呈する柄をつくりだす。身の片面は平坦であるが，他面には中央が窪む使用痕跡がみとめられる。長 20.6 cm，身現存幅 9.0 cm，同厚 1.2 cm，柄長 9 cm，同径1.9×1.5 cm。ヒノキ。和歌山県野田地区遺跡SD06出土。9世紀後葉～10世紀前半。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

0335　長方形の身に断面が方形に近い柄をつくりだす。身の先端と肩には鋸で切断した痕跡がある。叩いた痕跡がみとめられず，表裏両面に刃物痕跡を無数にとどめているので，作業台か俎として使った可能性もある。長 29.9 cm，身幅 10.6 cm，同厚 1.4 cm，柄長 13.6 cm，同径 3.5×2.8 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SD5780出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

2　農　　具（PL. 4～8）

農具のなかには土木用工具をふくむであろうが，両者を区分することはできない。耕具として鋤・鍬・えぶり・馬鍬・田下駄，収穫具として鎌，加工具として横槌・唐臼の杵・竪杵・木錘がある。ほかに箕があるが，これは籠編物(PL. 41)にいれた。

A　鋤（*0401～0403・0501～0506*）　すき

古代の鋤の出土例は弥生・古墳時代にくらべて少ない。一木で身と柄をつくる一木鋤と別木でつくる組合せ鋤とに大別できるのは古墳時代と同じ。一木の鋤では，身の肩部を左右を突出させ，それ以下の幅を狭めて縁を刃先状に薄くし，U字形の鉄鋤先をはめる着装部をつくりだす。これに対し，組合せ鋤には鉄鋤先を着装した痕跡はない。別木でつくる柄に想定されるものが各地で発見されている。耕作過程で両者を使いわけているのであろうか。

0401　一木鋤の未成品。身は長方形につくり後面がわずかに反りあがる。身の後面の肩部から中心にかけてT字状に厚くのこして，柄につづける。柄の握りはまだ粗削りの状態。把手はまだ孔をあけず，柄端と握りとの付根を厚くのこしている。全長 130 cm，身長 41.6 cm，同幅16.0 cm，同厚 3.2 cm，柄長 70.4 cm，同径 3.8 cm，把手長 26.4 cm，同幅 12.0～8.4 cm，同厚 8.4～4.8 cm。カシ。藤原宮6AJL区SE1105出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。

0402　一木鋤。身の肩部を左右を突出させ，以下を一段削込んで着装部をつくる。着装部の縁は両面から斜めに削込んで刃先状にととのえ，鉄の鋤先をつけたことをしめす。身の後面は平坦だが，前面は先端に向けてやや薄く削込む。柄は身から水平にのび，握りを丸棒状とし，把手を半環状につくる。身の両面，握り，把手は使用によって著しく磨滅。全長90.4 cm，身長27.7 cm，同幅 18.2 cm，同厚 3.1～1.2 cm，着装部長 20.7 cm，同最大幅 18.5 cm，握り長46.5 cm，同径 3.3×3.0 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABE区SD3765出土。8世紀前葉。P. E.

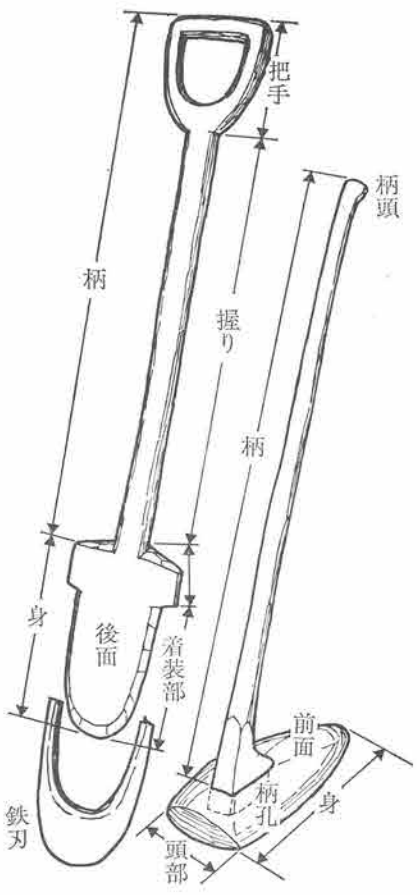


fig. 9　鋤と鍬の名称

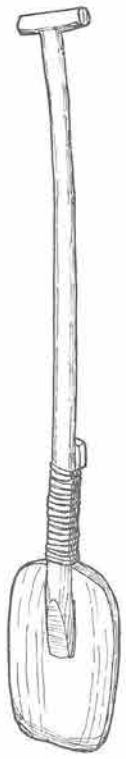


fig. 10　組合せ鋤の復原

G. 処理済。奈文研保管。

0403　一木鋤。身の後面は平坦だが，前面は中央に鎬をとおす。身の下部約３分の１が着装部。肩部は鋤の柄軸に直交するが，使用者からみた左肩がやや低い。柄の握りの断面は方形に近く，把手は長方形に近い形をとり把手孔をあけていない。未成品の可能性がある。全長94.5 cm，身長 37.5 cm，同幅 17.7 cm，同厚 2.9 cm，着装部長 15.5cm，同幅 12.9 cm，握り長 45.7 cm，同径 3.2×2.3 cm。アカガシ亜属。兵庫県山垣遺跡東堀出土。８世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

0501　一木鋤だが，柄の付根付近で二次的に切断。身の後面の肩部から中心にかけてT字状に厚くのこし，柄につづける。肩部上面は使用者からみた左肩が若干さがる。現存長33.1 cm，身部長 24.0 cm，同幅 19.2 cm，同厚 3.0 cm，着装部長 15.3cm，同幅 15.3 cm，握り径 3.3×2.9 cm。カシ。難波宮下層方形土壙出土。７世紀中葉。水漬。大阪市文化財協会保管。

0502　組合せ鋤の身の破片。肩部と先の一部を欠く。身は薄くて長い舌状にかたどり，縁を薄くし，中央に縦長の長方形孔をあける。長方形孔は別木の柄を装着する柄孔。現存長 33.2 cm，幅 14.4 cm，厚 1.1 cm，長方形孔 7.9×2.7 cm。カシ属。京都府大藪遺跡ND83-4-F-11流路出土。９世紀前半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

0503・0504　ともに組合せ鋤の身。0503 の身は下部の平面が逆三角形に近い。刃部の両側の上部からコ字形の刳形をいれて幅を狭める肩部と，肩部の中心から上方にのびる柄受け棒からなる。刃部は縁を薄くし，よく磨滅している。肩部は左右に下がり，両端がわずかに突出する。両側の刳形を結ぶ身の中央に長方形の柄孔を斜めにあけ，身の後面に対して30度の角度を保つ。柄受け棒は肩部の中心からのび，後面は平坦面をなし，２個所に縦長の長方形の枘穴がある。柄を固定させるためのものか。前面は両側の稜をおとし，頭に突帯を削りだす。全長 30.9 cm，身長 16.9 cm，同現存幅 13.6 cm，同厚 1.6 cm，柄孔 5.1×3.0cm，柄受け棒長13.7 cm，同幅 4.1 cm，同厚 1.15 cm。0504 は平面形が隅丸長方形の身に柄受け棒をつくる。身の後面は凹面をなし，両側縁が高く，その中央上寄りに後面に対して約30度角をもつ方形の柄孔をあける。肩部は左右に弧を描いて下降する。柄受け棒は肩部の中心から上方にのび，方柱状にかたどり，その前面の頭に突帯をつくりだす。全長 29.6 cm，身長 17.6cm，同幅 14.5 cm，同厚 1.4 cm，柄孔 4.3×2.6 cm，柄受け棒長 12.0 cm，同径 2.0×1.9 cm。以上，樹種未同定。大阪府挟山遺跡SD7710出土。８世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。泉北考古資料館保管。

fig. 11　鋤と鍬　『石山寺縁起』

0505　組合せ鋤の柄。心持丸木材。一端を折損するが，残存の端部では一面から削込んで平坦面となし，他面に突帯を削りのこす。平坦面を鋤の着柄軸にあて紐などを巻いて鋤身に固定したものとかんがえ，組合せ鋤の柄に想定した。現存長 30.5 cm，径 2.4 cm。ヒノキ。滋賀県下寺観音堂遺跡SD02出土。７世紀後半～８世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

0506　組合せ鋤の柄。心持丸木材。一端を折損。先端の一面に突起をのこし，上方部に反りをもたす。突起のある面の上部はもとの木肌面をのこすが，それ以外の面は粗い削りで整形。0505と同じ理由から柄に想定した。現存長36.5cm，径3.5×3.3 cm。シデ類。和歌山県野田地区遺跡SD04出土。11世紀中葉。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

B　鍬（*0507*）　くわ

鍬の出土例も少ない。大阪府上田部遺跡からは鍬の柄に想定しうるものが出土している。鋤

の形態が古墳時代のものを踏襲していることからすれば，鍬類の形態も想像可能であるが，0507の例は中世の形態をとっており，その初現の時期が何時にあるかが問題となる。

0507　割板材からつくる鍬の身。平面形を半楕円形にかたどり，中央を厚く縁を薄くする。頭部上端面は弧面をなし，使用者側からみて右側にやや傾く。中央上寄りに平面形が台形の柄孔をあけ，前面に対して70度の着柄角度をもつ。柄孔の幅は前面より後面のほうが広く，後面から柄を挿入する。長 19.1 cm，幅 13.6 cm，厚 3.6 cm，柄孔長 4.7 cm，同上辺 2.5 cm，同下辺4.8 cm。アカガシ亜属。京都府定山遺跡DL51区出土。12世紀。水漬。京都府教委保管。

C　えぶり (*0508*)

0508　水田を平らにならしたり，穀物の乾燥時に平坦にならすえぶり。身を割板材からつくる。一直線の下縁に山形の歯をつくりだし，両肩に丸味をつける。中央上寄りに横長の柄孔をあけ，前面に対して70度の着柄角度となる。歯は両面からの切込みによってつくりだし，歯先がかなり磨耗している。長 42.7 cm，幅 12.8 cm，厚 1.6 cm，柄孔 13.0×6.9 cm。アカガシ亜属。兵庫県山垣遺跡東堀出土。8 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

D　馬　　鍬 (*0601～0603*)　まぐわ

耕起した水田の土をくだくのが馬鍬。角材の台木に歯をうえ，柄と引棒をとりつける。牛に引かせて使用するのであろうが，いまのところ引棒は発見されていない。

0601・0602　0601 は台木上面と両側面を平坦に削り，下面には両端から浅い刳形をいれる。上下に貫通する方形孔 10 孔をほぼ等間隔にあけ，歯をうえる。両端から 3 孔目と 4 孔目の歯孔の間にも方形孔をあけて，柄を挿入する。両端から 1 孔目と 2 孔目の歯孔の間に側面で貫通する方形孔をあけるが，これは引棒をはめる孔。歯は基部を方柱状にし，それ以下を剣先状にとがらせ，前進方向の面に鎬をつける。台木にうえた歯には基端の木口面から楔を打込んで固定する。柄は股木を利用したもので，枝の末端部を台木に挿込み幹を把手にあてる。長 99.5 cm，高 77.0 cm，歯長(挿入部分を除く)32.5 cm，同径 3.0×2.5 cm 前後，柄長 49.5 cm，同径 3.0 cm 前後。アカガシ亜属。0602もほぼ同じ構造であるが，やや大型で柄孔が側面で貫通している点がことなっている。長 115.5 cm，台木上面までの高約 41.3 cm，台木径8.5×8.0 cm，歯現存長 38.5 cm，同径 4.2×2.5 cm 前後。アカガシ亜属。以上，大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

0603　馬鍬の台木に 10孔の歯孔を貫通させる。側面に柄孔と引棒の孔を貫通させるが，ともに若干傾きをもたせる。長 103.2 cm，径 10.0×7.1 cm。樹種未同定。兵庫県吉田南遺跡河川 1 出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

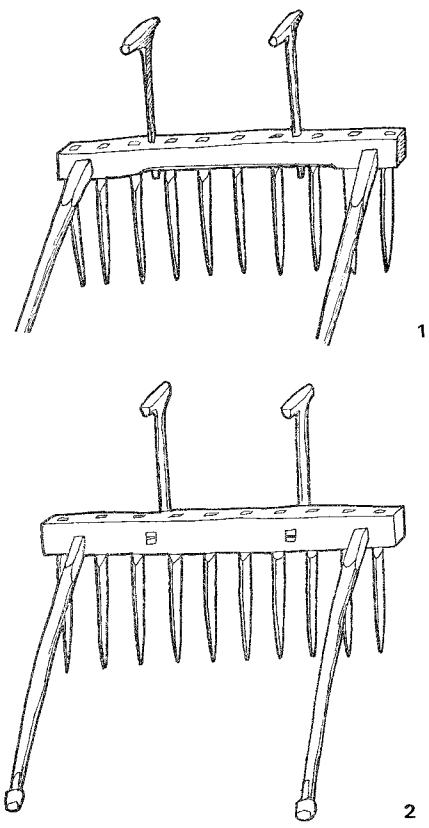


fig. 12　馬鍬の復原
1；0601　2；0602

E　鎌 (*0701～0710*)　か　ま

棒状の柄が一般的であり，刃を着装する遺例は少ない。割材からつくり断面が楕円形を呈する。一般的には柄尻の腹面側にすべり止めの山形の突起をつくりだし，柄元の側面から幅の狭い縦長の柄孔を斜めに貫通させて刃の着装孔とする。鉄の鎌身がのこる例では，腹面から着装孔に鎌身の基部を挿入し基部の上端を一方に折曲げて柄に固定している。着装孔の上下に釘孔をあけ木釘を埋めこむのが通例だが，これは鎌身を固定するためではなく，使用時の鎌身の上下運動によって柄頭に縦割れが生じることをさけるためであろう。形態によってわけると柄の

握りがまっすぐなものと，刃先の側に屈曲するものとがあるが，前者が古い形態。

0701　柄元部分を欠く。握りはまっすぐで，柄尻に山形の突起をつくる。全体は粗く削って整形し，稜角に面取りをほどこすが未成品の可能性がある。現存長27.1cm。握り径 1.6 cm，アカガシ亜属。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0702　柄元に着装孔を貫通し，握りを細くし，柄尻を幅広にする。全体を細身に削って仕上げ，握りの断面は楕円形を呈する。着装孔は斜め方向にあけ，その上下に2対4個の釘孔をあける。長 33.3cm，幅 2.7 cm，厚 1.4 cm，着装孔長 3.6 cm，同幅 0.2 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0703　棒状の柄。柄元の着装孔は木口面から鋸びきであけ，釘孔はない。柄尻では腹面を深くえぐって鉤形の突起をつくりだす。削り整形は全体に粗く，断面は長方形を呈する。柄元に「×」印の刻みをいれている。頭部は二次的に切断されている可能性があり，加工が粗雑なことからすれば未成品かもしれない。現存長27.9 cm，幅 2.6 cm，厚 1.5 cm。アカガシ亜属。平城宮6ADF区SE1627埋土出土。12世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0704　柄元部分をうしなう。柄尻に山形の突起をつくり，全面を丁寧に削って，握り付近の断面は楕円形。柄の背面を若干内反り気味に削り，折損部に釘孔1孔がある。現存長 30.4 cm，握り幅 3.0 cm，厚 2.2 cm。アカガシ亜属。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0705・0706　ともに柄尻の断片。0705 の加工は丁寧で卵形の断面形をとる。現存長 8.9 cm，幅 2.7 cm，厚2.0 cm。アカガシ亜属。0706：現存長 11.8cm，径2.7×2.2 cm。サカキ。以上，大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

0707　柄尻をかく。柄元は幅をひろげて背面側に屈曲し，腹面側を内反りに削る。着装孔の上部に2個，下部に1個の釘孔がある。現存長 26.9 cm，幅 4.6～2.4 cm，厚 1.4 cm。アカガシ亜属。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G.処理済。高槻市埋文保管。

0708　柄元の断片。心持板材からつくったもので，円頭形を呈し周縁を面取りでととのえる。着装孔をとどめ，上下に2個1対の釘孔をあけ，上の釘孔には木釘がのこる。現存長8.3cm，幅 4.7～2.6 cm，着装孔現存長 5.0 cm，同幅 0.25 cm。コナラ亜属。平城宮6ABE区SD3765出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0709　完形の鎌。鉄の刃部は大さく弯曲した弦月形。柄は側面形で「く」の字形にかたどり，柄尻は腹面を削りのこして鉤形に突起させる。柄元に着装孔をあけ，刃の基部を挿入し，背面に出た基端を折曲げ，木の楔をさしこんで固めている。着装孔の上に2本，下に1本の鉄鋲を打込む。刃部長 14.5cm，同幅 3.6 cm，同背厚 0.3 cm，柄長 33.1 cm，同幅2.4 cm，同厚 1.7 cm，着装孔長 4.5 cm，同幅 0.5 cm。アカガシ亜属。平城宮 6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0710　柄尻の断片。辺材を用いた棒状の柄で，柄尻に山形突起がある。全面を丁寧に削り，面取りを施し八角形の断面形をなす。握りの背面と使用者側からみて右側面には，主軸にたいして直交する数段の刻目がある。現存長 14.9 cm，厚 1.8 cm。カシ。奈良県布留遺跡FM20b3区出土。8世紀後葉～9世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。天理調査団保管。

F　鉈　　柄（*0711*）　なたのえ

鎌柄と基本的に同じ構造をとる柄であるが，つくりが堅牢で刃の着装位置が上部によってい

る。このことから刃の着装法が鎌に似る鉈の柄にあてたまでで，確証はない。

0711　柄は全体に反りをもち背面が内弯する。断面形は柄元で楕円，握りで円形を呈する。柄尻に山形の突起をつくり，その上部腹面にも円筒状の突起をつくる。手のすべりを上下でとめる工夫であろう。柄元の側辺を貫通する着装孔をもうけるが，柄軸に対して130度の角度をもち，上下に各1孔の釘孔をあけている。報告では鋸柄にあてたが改める。長 29.8 cm，幅 2.5 cm，厚 1.9 cm，着装孔長 7.5 cm，同幅 0.4 cm。アカガシ亜属。平城京左京一条三坊 SD650 出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

G 横　　槌（*0712～0716*）　よこづち

円柱形の身と棒状の柄とからなる工具で，藁などを打つ横槌に想定しうるもの。身の大小や形状に差異があり，用途を必ずしも農具に限定しえないが，同形のものをあつめた。*

0712　小型の横槌。柱状材の約半分を削り細めて柄にあてる。全面を丁寧に削り，薄い焼焦げが全体を覆うのは強化のためであろうか。長 13.2 cm，身径 3.2 cm，柄径 1.7 cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

0713　中型の横槌。割材からつくるが，全体に腐蝕が進行しており加工痕跡など不明。長 23.7 cm，身径 4.8 cm，柄部径 2.8×2.45 cm。アカガシ亜属。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

0714　中型の横槌。心持丸大材からつくり，身と柄が明瞭にわかれる。身の断面はおよそ六角形につくるが，対応する2面に敲打による窪みがつき，この面で使用したことがわかる。長29.4 cm，身径 6.0 cm，柄径 3.0 cm。ケヤキ。和歌山県野田地区遺跡SD07出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

0715　大型の横槌。割材を用い，身から次第に削り細めて柄をつくり，柄尻を太く削りのこす。身の周側面は使用によって著しく窪む。長 31.8 cm，身径 9.1 cm，柄径 2.5 cm。アカガシ亜属。平城京左京三条二坊六坪SD1560出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0716　小型の横槌。加工していない丸太材を利用したもので，身にはなお樹皮がのこる。棒状に細める柄の柄尻は欠損。現存長16.8 cm，身径 4.7 cm，柄径 2.4 cm。広葉樹。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

H 唐臼の杵（*0717・0718*）　からうすのきね

長手の角材のほぼ中央に軸をとおして，これを縦の軸木で支え，一端に杵をとりつけ，他端を足で踏み軸木のテコを利用して脱穀・精白する唐臼。

0717・0718　心持丸大材を用い，全長の約半分で身と柄にわける。身の周側面は樹皮を除く程度の加工にとどまり，頭部を丸くし顕著な使用痕跡がのこる。柄は方柱状にかたどる。0718は現在のところ出土後の火災によって柄が著しく収縮している。0717；長 53.8cm，身径 8.7 cm，柄径 4.5 cm。ツバキ。0718；長 57.3 cm，身部径 10.3 cm，現存柄径4.1 cm。サカキ。以上，大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

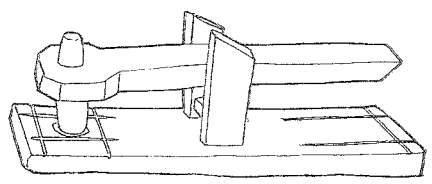


fig. 13　唐臼の明器　中国唐三彩（水野清一『唐三彩』陶磁大系35　平凡社　1977年　図版95）

I 竪　　杵（*0719・0720*）　たてぎね

木臼と対になる竪杵は，丸材の中央部を細くして握りとし両端で搗く道具。出土例はいまのところ2点にとどまり，ほかに擂粉木に再利用したものがある(4329)。

＊　この種の木器はしばしば砧ともよばれてきたが，多種の機能があるので「横槌」という。（渡辺誠「御山千軒遺跡出土木製品の民具的研究」『東北新幹線関連遺跡発掘調査報告VI』　福島県教育委員会・日本国有鉄道　1983年　p. 45～50）

0719　竪杵の断片。心持丸太材でつくる。一端を削って球面状につくるが，この部分は著しく磨滅している。他端は2次的に切断している。現存長 37.9 cm，径 8.0×7.0 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723 年項。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0720　竪杵の未成品。心持丸大材を用い，両端の木口面を平坦にととのえ，中央部を2方から細く削込んで握りをつくる。木口や握りには釿(ちょうな)ハツリの痕跡がはっきりとのこり，身の一部になを樹皮をとどめているため，未成品とみとめられる。長107.0 cm，身径 10.0～9.5 cm，握径3.6 cm。ツバキ。兵庫県山垣遺跡東堀出土。8 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

J　木　　錘（*0801～0813*）　きのおもし

木材片を利用して錘にしたもの。材の一個所に孔をあけて紐をとおすものと，材の中央を細くして紐を結ぶものとに大別できる。後者は蓆編みなどに用いられる「槌の子」の類。*

0801・0802　丸太材の両端を切断し，その約3分の1を割りとり，材のほぼ中程の丸木面から割面にかけて方孔を貫通させたもので，丸木面にはなお樹皮がのこっている。0801；長 17.1 cm，幅 6.3 cm，厚 3.4 cm。0802；長15.4 cm，幅6.7 cm，厚3.0 cm。以上，アカガシ亜属。平城宮6AAP区SE7900出土。8 世紀後葉～9 世紀前葉。P. E. G.処理済。奈文研保管。

0803・0804　割材の丸棒を縦に 4分割した小片を用い，中央部の周囲に刳込みをほどこしたもの。両端木口面には鋸で切断した痕がのこる。0803；長7.5 cm，幅 1.5 cm，厚1.4 cm。0804；長 7.4 cm，幅1.3 cm，厚1.2 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAO区SK2101出土。750 年頃。水漬。奈文研保管。

0805～0812　0805 が割材を用いるほかは，すべて丸木材を用いる。柱状の丸材の両端に丸木面をのこし，中央に向かって両方から円錐形状に削込む。いずれも粗雑な加工であり，いわゆる「槌の子」である。0805；長 10.5 cm，径 3.7～1.6 cm。ツバキ。平城京左京八条三坊九坪SD1300出土。8 世紀後半～9 世紀前葉。水漬。0806；長 13.7cm，径 5.2～3.0 cm。シキミ。平城宮6AAP区SE7900出土。8 世紀後葉～9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。0807；長 15.0 cm，径 5.8～2.8 cm。アカガシ亜属。平城宮 6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。以上，奈文研保管。0808；長 22.1 cm，径 3.9～3.1 cm。樹種未同定。0812：長 14.5 cm，径4.0 cm。アカガシ亜属。以上，滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。0809；長 16.7 cm，径 5.5～2.6 cm。0810；長16.0 cm，径5.1～1.8 cm。0811；長 17.2 cm，径 4.9～3.0 cm。以上，ヤブツバキか。兵庫県吉田南遺跡SD11（0809），河川 1（0810・0811）出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

0813　小型の精製品で，割材を用い上記の諸例とは形がことなり偏平につくる。長 5.2 cm，径 4.6 cm。コナラ亜属。兵庫県上原田遺跡SE03出土。8 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。兵庫県教委保管。

K　田下駄（*0814～0826*）　たげた

深田などで農作業を行うとき，身体が泥中に沈下するのを防ぐため足にはいた履物，広義の田下駄は板型(ナンバ)，下駄型(タゲタ)，枠型(オオアシ)に大別されている。** なお，後述する下駄の項であつかった1例（2314）も田下駄にぞくする可能性がある。

0814・0815　足板だけで単独に用いる下駄型。割板から下駄の歯を欠いた形をつくる。鼻緒孔3孔をあけるが，前壺が左右の一方にかたよる。0814；長 19.1 cm，幅 8.5 cm，厚 1.0

＊　渡辺誠　前掲書　p. 33～45
同「もじり編み用木製錘の考古資料について」『考古学雑誌』第66巻第4号　1981年　p. 38～54

＊＊　中村たかを『日本の民具』弘文社　1981年　p. 163～174

cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡 SD10 出土。7 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。0815；長 20.6 cm，幅 10.9 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。滋賀県光相寺遺跡溝出土。8 世紀後半。水漬。中主町教委保管。

0816・0821～0824 足板の前後に木釘孔をあけて枠にとりつけた枠型。いずれも粗製。鼻緒孔を 3 孔あけるが前壺が，左右の一方にかたよるものと中央にあけるものがある。0816は両端にそれぞれ 3 本の木釘をとどめる。長 30.6 cm，幅 11.0 cm，厚 1.6 cm。スギ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。0821は上端に 1 孔，下端に 2 孔をあける。長 36.3 cm，幅 10.7 cm，厚 2.2 cm。スギ。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。0822 は，前壺の上方に 1 孔をあけるにとどまる。長 41.7 cm，幅 14.4 cm，厚 1.0 cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。0823 の鼻緒孔と枠取付孔前後各 2 孔は方形を呈する。長 49.0 cm，幅 15.0 cm，厚 2.4 cm。モミ。水漬。0824 は前縁の両隅をおとし，後の両側に切欠きをいれる。枠の取付孔は前後に各 1 孔あける。長 51.3 cm，幅 17.6 cm，厚 2.0 cm。スギ。水漬。以上，兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

0817～0820・0825 枠型のうち足板両端の左右から三角形の切欠きをいれ，縄などで枠の横木にしばりつけて固定したもの。0825が 2 個一対の切欠きいれるほかは，いずれも切欠きは 1 個である。0817；長 37.5 cm，幅 12.1 cm，厚 2.1 cm。ヒノキ。滋賀県仏性寺遺跡遺物包含層出土。8 世紀～9 世紀。自然乾燥。滋賀県教委保管。0818；長 52.0 cm，幅 12.5 cm，厚 1.7 cm。スギ。0825；長 56.4 cm，幅 13.7cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。以上，兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。0819；長 42.1 cm，幅 11.2 cm，厚 1.2 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。0820；長 42.2 cm，幅 9.7 cm，厚 1.5 cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡 SD10 出土。7 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

0826 足板をとりつける枠の縦木にあたるもの。角棒に横木をはめる枘孔をあける。現存長 27.3 cm，径約4.2 cm。コウヤマキ。大阪府亀井遺跡SX4001出土。7 世紀後半。水漬。大阪文化財センター保管。

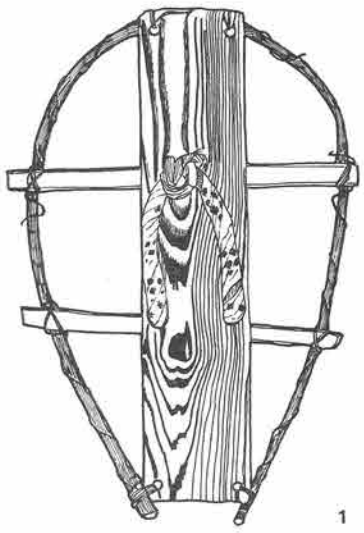


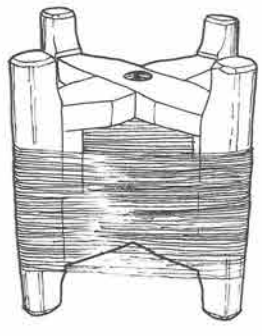
fig. 14 民具の田下駄
1；千葉県 2；岩手県（宮本常一『日本の民具』第2巻農村 慶友社 1965年 図版2・5）

3 紡 織 具 (PL. 9～11)

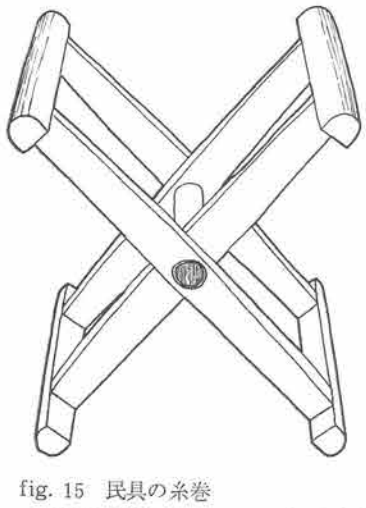
紡織具の中心は糸巻類と紡輪であって，二三の例をのぞくと織機の出土例は乏しい。

A 糸 巻 (*0901～0918・1001～1018*) いとまき

糸巻の構造は数本の枠木とそれを固定する横木，横木の心にとおす軸棒からなる。軸棒をつけた状態で発見された例はなく，また多くの木製品のなかから軸棒に該当するものを見出していない。構造によってA・Bの 2 型式に大別できる。A型式は，枠木が 4 本からなり，それぞれの枠木の両端から内寄りの腹面に 2 個所の枘孔をあけてここに横木を結合する。2 個所の横木はそれぞれ 2 枚の板を十字形に相欠きでかみあわせ，中心に軸孔をあけ，四方の端を棒状に削る。出土品の糸巻の大多数はこの型式をとる。B型式は 6 本の枠木からなり，それぞれの枠木の両端から内寄りの腹面に 2 個所の切欠きをいれる。つまり，枠木と六角形の 1 枚板の横木とは相欠きの仕口で結合するのである。B型式糸巻はいまのところ 1 例しか発見されていな



1



2

fig. 15　民具の糸巻
1；長野県諏訪郡　2；不明（文部省史料館『史料館所蔵民族資料図版目録』第3巻　1970年　40-6，46-1）

い。枠木の形状はおよそ4つに大別できる。Ⅰは断面が円形に近い棒状につくるもの。Ⅱは枠木の腹面を平坦にして断面がカマボコ形を呈し，横木の結合部から両端に向かって斜めに削込むもの。ⅢはⅡの2個所結合部間に浅い刳形をいれるもの。ⅣはⅢの形態をとるが，両端の側面形を刀身形にとがらしたもの。枠木の長さによって，長さ16 cm前後の小型，長さ24～28 cm前後の中型，32 cm 以上の大型に区分できるようであるが，枠木の大小は横木の長さできまる糸巻の直径にかならずしも相関していない。なお，横木を結合する枘孔は一般的には鼠刃錐で円筒形にあけるが，ときには普通の三ツ目ないしは四ツ目錐であけるものもある。大型の場合は横木も大きく，枘孔だけでなく枠木の側面から釘孔をあけて木釘を打込んで固定している。

上記の糸巻およびその部材は一般的なものだが，それらとは別の長い横木が各地から出土している。また横木の形態をとりながら，心に軸孔をあけないものもある。ここでは糸巻の部類に包括したが，用途がことなる可能性がつよい。

0901　現在，2本の枠木と一枚板の横木をとどめるBIV型式の糸巻。枠木はやや扁平な材を用い，外面に丸味をもたせて削り，背面の線が上下まっすぐにとおる。腹面から横木をかみあわせる長方形の刳形を2個所にいれる。横木は正六角形の小板で，各稜角に切欠きをいれ中心に軸孔をあける。枠木長 16.6・16.2 cm，同幅 0.6 cm，同厚 1.4 cm，横木径 5.0 cm，同厚 0.4 cm，糸巻復原直径約 6 cm。ヒノキ。 平城宮 6AAB区SK820 出土。747 年頃。真空凍結乾燥法処理済。奈文研保管。

0902　AⅣ型式の糸巻。 2枚の横木と2本の枠木が組合さった状態で発見された。枠木の腹面中央にV字形の切欠きをいれる。小型。枠木長 15.7 cm，同幅 1.1 cm，同厚 1.4 cm，横木長 9.9～9.3 cm，同幅 2.8～2.4 cm，同厚 0.7 cm，糸巻復原直径 10.8 cm。樹種未同定。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

0903　AⅣ型式の糸巻。3本の枠木に2組の横木を結合した状態で出土した。 枠木の結合部間の腹面に側面形が花弁形になる刳形をいれ，稜角に面取りをほどこす。結合部から両端にかけては， 2段の刳形をいれるものと段をもうけないものとの別がある。 中型糸巻の優品。枠木長 24～23.7 cm，幅 1.2 cm，厚 1.8 cm，横木長 10.6～10.3 cm，幅 1.8 cm， 厚 0.8 cm，軸孔径 0.8 cm，糸巻復原直径 11.7 cm。ヒノキ。平城宮 6AAB区SK820 出土。 747年頃。 真空凍結乾燥法処理済。奈文研保管。

0904　AⅢ型式の糸巻。 2本の枠木に上下2組の横木を結合した状態で出土した。枠木の結合部間の刳形が浅い。中型にぞくする。枠木長 26.8 cm，同幅 1.6 cm，同厚 1.9 cm， 横木長 10.6cm，同幅 2.3 cm 前後，同厚 1.3 cm，軸孔径 0.9 cm，糸巻復原直径 11.4 cm。ヒノキ。奈良県坂田寺跡SG100出土。7 世紀中葉。水漬。奈文研保管。

0905　AⅢ型式の糸巻。 4本の枠木と3枚の横木が結合状態で出土した。枠木の結合部を突出させて削る。枘孔は方形にあけ，その上下方向の各辺を2段彫りにしている。枘孔位置の一側面から木釘孔をあける。横木は腐蝕が進みかなり変形しているが，枠木との結合部の断面は長方形を呈し，木釘孔を貫通させている。大型である。 枠木長 30.8 cm， 同幅 2.6 cm，同厚 3.4 cm， 結合孔一辺 1.1 cm 前後， 横木長 14.1 cm，同幅 4.6 cm，同厚 1.2 cm 前後，軸孔径 2.3 cm 前後，糸巻復原直径 17.5 cm。樹種未同定。滋賀県服部遺跡土壙出土。 9 世紀後葉～10世紀。P. E. G. 処理済。守山市教委保管。

0906　AⅢ型式の糸巻。2本の枠木と破片の横木1枚がのこる。 枠木の結合部枘孔は長方形で，一側面から木釘孔をあけ，横木をのこす枘孔では角木釘を打込んでいる。1枘孔には横木

の先端との間に詰めた小さな楔をとどめている。なお，横木の結合位置を決めたらしい刻線が枘孔の中央両側に直交している。横木はかみあわせ部分から両端に向けて幅を狭め，先端を出枘をつくりだしている。大型にぞくする。枠木長 32.2 cm，同幅 2.4 cm，同厚 3.0 cm，結合枘孔 2.3×1.0 cm，横木厚 2.5 cm，軸孔径約 2.0 cm，糸巻復原直径 18.0 cm。スギ。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

0907～0909・0912・0915～0918 AⅢ型式の枠木。背面がとがるもの，丸くするもの，角張るものなどがあるが，0918 をのぞくほかは中型にぞくする。0909 は結合部枘孔に木釘を打込む。0915・0916 は同一部材であるが，枘孔の１つに角孔がある。0917は枘孔が背面を貫通している。0918 は断片であるが，長方形の枘孔に切断された横木の先端と楔をとどめている。0907；長 24.0 cm，幅 1.1 cm，厚 1.5 cm。ヒノキ。平城宮 6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。0908；長 22.4 cm，幅 1.65 cm，厚 2.6 cm。ヒノキ。平城京西隆寺跡SX033出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。0909；現存長 21.1 cm，幅 1.4cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。平城宮 6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。0912；現存長 17.4 cm，幅 1.7 cm，厚 1.6 cm。ヒノキ。伝飛鳥板蓋宮 SD6612 出土。7 世紀中葉。水漬。橿考研保管。0915；長 24.1 cm，幅 1.5 cm，厚 1.2 cm。0916；長24.9 cm，幅 1.5 cm，厚 2.2 cm。0917；長 24.9 cm，幅 1.3 cm，厚 1.6 cm。以上，ヒノキ。平城宮 6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。0918；現存長 25.2 cm，幅 1.7 cm，厚 2.4 cm。ヒノキ。奈良県白毫寺遺跡池１出土。8 世紀後半。水漬。橿考研保管。

0910 AⅣ型式の枠木。同一部材２本のうちの１本で，２枚の横木をもとどめる。２個所の結合部間は浅い平坦面をなす。中型。長29.1 cm，幅1.0 cm，厚1.4 cm。糸巻復原直径11 cm。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

0911 AⅣ型式の枠木。扁平な板材からつくり，結合部が大きく突出している。長27.0cm，幅 0.8 cm，厚 2.7 cm。ヒノキ。平城京西隆寺跡 SX037出土。８世紀にあてるが７世紀もしくは古墳時代に遡る可能性ある。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0913 AⅠ型式の枠木。断面８角形棒の上下２個所に枘孔をあける。枘孔は方形で１孔には横木の先端がのこっている。長 28.1 cm，径 1.3 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

0914 AⅡ型式の枠木。背面を丸く面取りし，断面をカマボコ形にととのえ，結合部間が平坦面をなす。枘孔は円形で貫通し，断面四角の横木先端がのこる。長 23.9 cm，幅 1.7 cm，厚 1.5 cm。スギ。平城宮6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1001～1007 糸巻の横木。中小のA型式糸巻にともなうもの。板の中央を幅広くのこし両端を棒状に削りだして枝部をつくる。もっとも小さなもので長さ8.1cm，大きいもので12.0cmあり，大小さまざま。相欠き仕口の かみあわせ部分の中央にあける軸孔は おおむね鼠刃錐であけるのがつねであるが，1003・1004は刃物の先であけている。1001；長 8.1 cm，幅 2.1 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城宮 6ABE区SD3715 出土。８世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。1002；現存長 8.2 cm，幅 1.5 cm，厚 0.95 cm。ヒノキ。藤原京紀寺跡SK04出土。7 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。橿考研保管。1003；長 8.8 cm，幅 1.8 cm，厚 0.7 cm。平城宮6AFI区SD1525出土。8 世紀前半。1004；長 9.3 cm，幅 1.8cm，厚 0.6 cm。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。1005；現存長 10.2cm，幅 2.6 cm，厚 0.9 cm。平城宮6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。以上，ヒノキ。P. E. G. 処理済。奈文研保管。1006；長 10.0

cm，幅 2.7 cm，厚0.8 cm。ヒノキ。藤原京紀寺跡SK04出土。7 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。橿考研保管。1007；現存長 12.0 cm，幅 3.4 cm，厚 0.8 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1008～1010　糸巻の横木のように細板の中央に相欠き仕口をほどこすが，その両端に長い枝部をつくりだす。かならずしも糸巻に限定できない。1008は一端が2次的に切断されたもののようである。相欠き仕口の中央に1孔をあけ，その両端にもそれぞれ1孔づつあけている。長 16.2cm，幅 1.3 cm，厚 0.6 cm。樹種未同定。平安京西市跡 ND73-2-L-54 SE03B 出土。9 世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。1009は相欠き仕口の中心に軸孔をあけず，両端も角棒状を呈する。横木の未成品か。長 12.6 cm，幅 2.05 cm，厚 0.95 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD 4951 出土。8 世紀後葉。水漬。奈文研保管。1010は一端が二次的に切断されている模様。相欠き仕口に2孔をあけるがともに小さく，かつ中心をはずれているので，軸孔になりえない。枠木へつなぐ棒状部が長く，一般の横木にくらべて異形である。長 22.5 cm，幅 2.6 cm，厚 1.0cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

1011～1015　細板でつくる横木の大型品。完形品を欠くが，いずれも相欠き仕口の中心に軸孔をあけ，枝部は長くて扁平である。1012は枝部の端に2個の小孔をあけるが，用途にかかわるものか否か不明。紡織具で用途をきめるならば，糸車のツム(錘)の横木にあてることができよう。1011；現存長 42.5 cm，幅 3.5 cm，厚 0.9 cm。樹種未同定。兵庫県吉田南跡遺河川1出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。1012；現存長 26.3cm，幅 3.3 cm，厚 1.3 cm。樹種未同定。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G.処理済。京都府教委保管。1013；現存長 17.0 cm，幅 3.1 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。1014；現存長18.4 cm，幅 4.6 cm，厚 1.6 cm。モミ。奈良県布留遺跡 FM20b4区出土。8 世紀後半～9 世紀。アルコール・エーテル法処理済。天理教調査団保管。1015；現存長 33.0 cm，幅 5.2 cm，厚 1.5cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡B区自然流路出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

1016・1017　大型の糸巻A型式の横木。1016 は枝部の端を長方形にし，側面に木釘を打込んだ痕がある。長 17.7 cm，幅 2.8 cm，厚 1.5 cm。ヒノキ。平城宮 6AAC区SD2700 出土。8 世紀。水漬。1017 は枝部の先端に枘をつくる。現存長 17.3 cm，幅 6.3 cm，厚 1.9 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

1018　横木の形をとるが，相欠き仕口をほどこし4個の小孔をあけ紐で他の部材と結合したようである。両端に向かって幅を狭める。片面に面取りをほどこす。現存長 15.2 cm，幅 4.4 cm，厚 0.6 cm。樹種未同定。平城宮6ALS区SD4951出土。8 世紀後葉。奈文研保管。

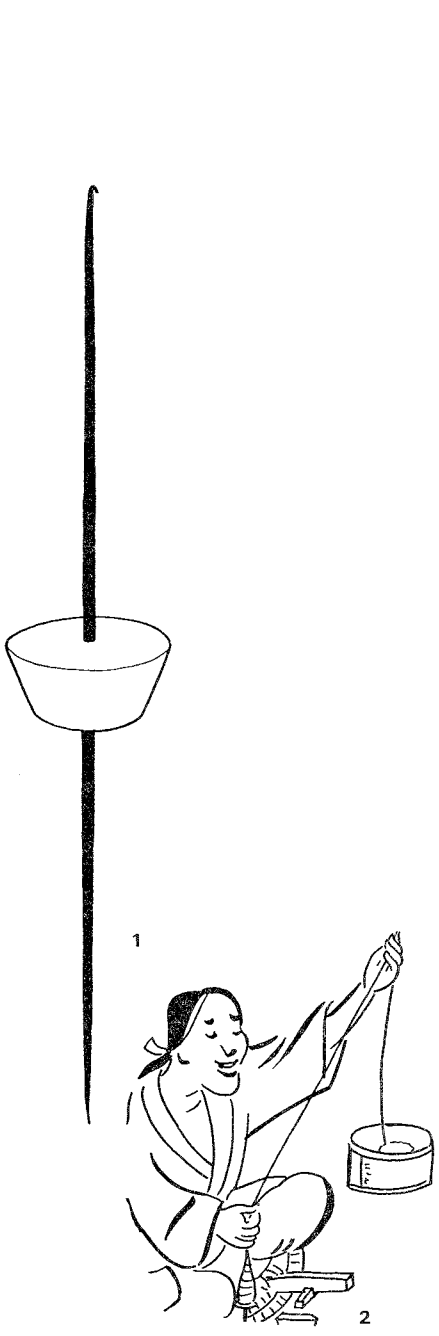


fig. 16　紡錘車
1；民具（前掲『日本の民具』図版133）
2；『信貴山縁起』

B　紡　　輪（*1101～1107*）　つ　む

円板の中心に糸巻棒をとおす紡錘車。1例(1105)をのぞいて糸巻棒をとどめるものはなく，すべて紡輪のみである。全般的にみて粗い整形で，割板面をとどめるものが多い。

1101～1107　1102 は上面に面取をほどこす精製品。1105 は二次的に切断された軸棒をとどめる。1106・1107 はこの種のものでは大型にぞくする。1101；径 4.1 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753 年頃。P. E. G. 処理済。1102；径 4.3 cm，厚 1.3cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。1103；径 5.9 cm，厚 1.6 cm。スギ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。水漬。高

槻市埋文保管。1104；径6.0 cm，厚 0.6 cm。1105；径 6.0 cm，厚 0.8 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。 1106；径 8.2 cm，厚0.9 cm。樹種未同定。平城宮6AAF区SD3154出土。747年頃。P. E. G.処理済。1107；径 9.5cm，厚 2.2cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8 世紀中葉。水漬。以上，奈文研保管。

C 織　　機（*1108～1112*）　しょっき

織機の機台とみとめられるものは，いまのところ見出していないが，付属部品が若干発見されている。部品には 1108～1110 のような小型のものと，1111・1112 のような大型のものがあり，両者は無機台と有機台の違いをしめしているのかもしれない。

1108　角棒の両端に節をつくる。経巻具ないしは布巻具にあたるか。長 34.2 cm，径 1.5×1.6 cm。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。 8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

1109　断面菱形の身の両端に枘状の突起をつくりだしたもの。突起は端に近づくにつれて厚みを減じ，木口面から割目をいれ，一部に紐ずれとおもわれる溝状の窪みがみとめられる。全体に丁寧な仕上げであるが，加工痕は不明瞭で擦痕などもみとめられない。経巻具ないしは布巻具であろうか。復原長約 38.0 cm，身長 31.3 cm，同幅 3.6 cm，同厚 1.8 cm。ヒノキ。大阪府亀井遺跡SX4001出土。7 世紀後半。水漬。大阪文化財センター保管。

1110　丸木材を平らに削ったもので，身の両端に枘をつくりだす。身の一面には両端から内方にかけて削込み，中央部がもっとも薄い。枘部分の断面は扁平で丸味をおびる。経巻具ないしは布巻具であろう。現存長 29.5 cm，身長 26.2 cm，同幅 3.4 cm，同厚 1.6 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1111　刀抒(緯打具)である。全体を鰹節状にかたどり，表面及び刃部には，経糸の擦痕が明瞭にみとめられる(4 cm あたり 39 本)。片面の中央には断面楕円形に刳った孔があって，なかに緯管をはめたようにしてある。刳孔の両側には緯管を固定する小さな留釘の孔がある。また，刳孔の長辺中央には緯を通す小孔がある。両端は緯入れ運動に適するように薄く鋭角にできている。現存長 69.0 cm，幅 7.7 cm，厚 3.3 cm。アカガシ亜属。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。水漬。高槻市埋文保管。

1112　布巻具。割材を用い，両端に枘をつくりだし，身の両端腹面を高く突出させる。背面は丸味をおび，腹面を平坦にしている。長 78.2 cm，幅 6.1 cm，厚 7.0 cm，突起間長 41.0 cm。コウヤマキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年。水漬。高槻市埋文保管。

4 運 搬 具（PL. 12）

運搬具としては，車輪・軛などがあるが，出土例が少ない。

A 車　　輪（*1201～1207*）　しゃりん

1木からつくるものと組合せのものとがある。

1201　丸木を輪切にしてつくった車輪。輪の部分は中心から外側へと時計回りで平坦に鋲(らような)ではつる。軸受け部は両面中央で円筒状に突出させ，その表面は上から下へと時計回りで鋲ではつっている。軸孔は正円筒形を呈し，内面に著しい磨耗痕跡をとどめる。直径59.5～55.0cm，輪部の厚 10.0～5.2 cm，軸受け部外径 18.6 cm～15.5 cm，同厚 29.6 cm，軸孔径 8.4 cm。マ

fig. 17　民具の一輪車　鹿児島県揖宿郡（小野重朗『南九州の民具』慶友社 1969年　p. 230）

ツ。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

1202　厚い板を輪状に削りだし，断面は長方形を呈する。両端は木目にそって割れ，旧状をとどめていない。外周の曲率が不均等なので，正円にならないが，推定直径は 120 cm 程度。おそらく円周を4分割程度にわけて組合せた車輪であろう。現存長 78.2 cm，厚5.4 cm，幅 11.3 cm。樹種未同定。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1203～1207　組合せ車輪の断片。1204・1205 は一端に出枘をつくりだし，中央に長方形孔をあける。彎曲する外面はほぼ平坦で，内面の中央に鎬をとおし，断面は5角形となる。1203・1206・1207 は一端に入枘をつくり，内外面ともに平坦である。出枘と入枘とつないで輪とし，長方形の孔に輻を挿入したものとかんがえられる。1203；現存長 13.7 cm，幅 5.4 cm，厚 2.7 cm。1204；現存長 13.8 cm，幅 5.3 cm，厚 2.3 cm。1205；現存長 16.0 cm，幅 4.9 cm，厚 3.05 cm。1207；現存長 14.7 cm，現存幅 4.2 cm。以上，アカガシ亜属。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。1206；現存長 14.0 cm，幅 4.1 cm，厚 5.9 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABF区SD3715出土。8世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。

B　軛（*1208・1209*）　くびき

fig. 18　牛車　『扇面古写経』

軛としては形態をことにする2種類がある。

1208　牛車などに用いる軛。軛にむながい棒2本と柱状の連結部材がつく。軛は木の股を用い，枝を切りとった山形の幹をあてる。中央寄りの2個所に上下に貫通するむながい棒の挿入孔をあけ，両端の側面に連結部材の挿入孔をあける。むながい棒をの挿入孔は上端が狭く，下端が広い。長 84.4 cm，直径 7 cm。ヤマグワ。むながい棒は木の枝を利用したもので，樹皮をとどめる。一方の棒では端寄りに枝をのこし，他方の棒は直径の太い木本を上にし下端に紐を縛る際のすべり止めにする突帯を削りだす。長 61.1 cm，径 2.9～2.2 cm。ツバキ。連結部材はむながい棒に対して直角で挿入。四角柱状につくり，頭を四角の鉄頭状に削りのこす。身のなかほどに 貫通する円孔をあけるが，轅とつなぐための装置。長 26.3 cm，幅3.8 cm，厚 1.8 cm，頭径 4.7×3.0 cm。藤原宮6AJL区SK1380出土。694年～709 年。水漬。奈文研保管。

1209　心持材をたわめて鞍骨の形につくる。外面を粗く削って断面を方形にする。中央の屈曲部と左右両端は，比較的丁寧に削る。ところどころに紐ずれの擦痕や磨耗痕がみられる。居木ないしは横木をつけた痕跡はなく，鞍ではない。復原高 31.5 cm，復原幅 40.0 cm，厚 3.8 cm。広葉樹。平城宮6ADC区SK6509出土。11 世紀後葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5　漁猟具（PL. 13）

狩猟具と武器との区別は 出土品でみるかぎり 曖昧であり，かつ 両者ともに発見例にとぼしい。漁猟具として攩網・浮子・箆形木器・櫂に比定しうるものがある。

A　攩　　網（*1301・1302*）　た　も

1301　心持丸木をたわめて攩網の枠にしたもの。末の部分は二次的に切断されているが，木本の部分には柄に着装するため側面を削って反(かえ)りを つくりだす。長 84.5 cm，径 2.4 cm 内外。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

1302　二股に分枝する小枝を利用した攩網。柄部と輪状の網枠からなる。全体に樹皮をとっ

た程度の簡単なつくり。柄は枝の屈曲をなおとどめ，上面に刻目をいれるのはすべり止めか。枠は2方向に分枝する小枝をたわめ，先端をくくり合せたもののようである。柄長35.8cm，径1.5cm前後。マツ属。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

fig. 19　中世の漁夫
『彦火々出見尊絵巻』

B　浮　　子（*1303・1304*）　う　き

1303・1304　いずれも両端をとがらせた紡錘形を呈し，釣用の浮子にあてられている。1303の一端は現代の釣浮子のようにやや細身。長12.0cm。ヒノキ。1304は加工が粗く，おそらく半製品。長10.0cm。樹種未同定。以上，滋賀県湖西線関係遺跡VD区pit51・VD区大溝出土。7世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。

C　箆形木器（*1305*）　やすがたもっき

1305　割材からつくる棒の先端をとがらしたもので，かりに箆のように魚を刺突する道具にあてる。長66.7cm，径1.6〜1.0cm。ヒノキ。兵庫県上原田遺跡SE03出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。兵庫県教委保管。

D　櫂（*1306*）　か　い

1306　櫂に想定しうるもので，柄と水かきとからなる。水かきの先縁を片面から削って薄くする。他面は水かきの基部と先端部を除いて細部の整形をくわえていない。現存長72.0cm，幅12.0cm，厚2.6cm。樹種未同定。滋賀県湖西線関係遺跡VD区大溝出土。7世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。

6　武　　器（PL.13・14）

狩猟具ないしは武器としては，丸木弓・鳴鏑・刀などがあり，鳴鏑の1部や楯は儀杖用のものであり実戦用ではない。

A　丸木弓（*1307〜1310*）　まるきゆみ

丸木弓の断片。いずれも一端に弭（ゆはず）をとどめるところから丸木弓にあてる。丸木の灌木を用い，先端を両側から削込んで枘状の弭をつくりだす。弭付近のほかは，樹皮をとりさる程度の整形にとどまる。1307；現存長18.2cm，径0.9cm，カヤか。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。1308；現存長30.8cm，径1.9cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。以上，P. E. G. 処理済。1309；現存長32.3cm，径2.0〜1.8cm。広葉樹。平城宮6ABO区SE311B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。1310；現存長46.7cm，径3.6〜2.8cm。スギか。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7世紀前葉。P. E. G. 処理済。滋賀県教委保管。

B　鳴　　鏑（*1311・1312・1317*）　なりかぶら

発射時に快音を発する鳴鏑の断片。

1311　心持材を刳りぬいて8面体のイチジク形にかたどる八目鏑。内部を中空にして上下に

鏃の茎をとおす孔をあける。8面のそれぞれの上寄りに円孔をあけ，基部に溝をめぐらす。長4.5 cm，径 2.55 cm，厚0.5 cm。広葉樹。平城宮6AAF区SD3297出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

1312　イチジク形の球体にかたどる二目鏑。内部を中空にして鏃の茎孔を上下とおす。円孔は側面のなかほどに相対して2個あける。上縁部を段状にして突出させ，この辺りから上面にかけて黒漆塗りをとどめている。現存長3.7 cm。径2.65 cm。ヒイラギ。藤原宮6AJF区SD105出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。

1317　心持丸木から，7面体の算盤珠状にかたどる。内部を刳りぬく。下面から鼠歯錐によって円筒孔をあけ，その中程を丸形に刳りぬき7面の中央稜線からあけた円孔と連続させる。茎孔が貫通していないので，儀仗用の鳴鏑とみられる。長4.7cm，径3.4cm。広葉樹。平城宮6AAD区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

C　鞘尻金具形（*1313*）　さやじりかなぐがた

1313　鞘尻金具に似た木製品。現状では縦半分を欠損している。縁を花弁形にかたちどり，2段の法をつける。内面には半楕円形の刳込みをいれる。漆の付着はなく白木であり，半成品の可能性もある。長 3.4 cm，復原幅 2.7 cm，厚 0.8 cm。サカキ。平城京右京九条一坊四坪SD950出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

D　刀（*1314～1316*）　かたな

本格的な大刀の出土例はなく，刀身をとどめるものも包丁かもしれない。

1314　刀の柄頭の断片で二次的に切断されている。方頭を呈し，責金具を模倣した突帯をつくりだし，その柄頭側に円孔を貫通させ紐孔とする。白木ではあるが木口面の陵角に磨滅痕跡があり，実用品とおもわれる。刀身の着装は把の背面から溝をほり，ここに茎をおとしこんだのであろうか。現存長5.6 cm，幅3.0 cm，厚1.85 cm。ツブラジイ。平城宮 6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

1315　鉄の刀身をとどめる小刀。平造り刃身に断面卵形の柄をつける。柄は1木の割材で，柄元に鎚をはめ，中央に1本の目釘をうつ。柄頭はわずかに刀背方向に反りあがり，紐孔をあけている。本来は柄全体に黒漆をかけたものらしく，部分的に，漆塗面をとどめる。X線検査によると目釘2孔が茎にあいており，1孔が使われていないことがわかる。現存長 30.8 cm，刃幅 2.7 cm，同厚 0.4 cm，柄長 12.8 cm，同径 3.3×2.4 cm。ケヤキ。平城京右京八条一坊十一坪SD920出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

1316　二枚合せの鞘に想定しうるもの。一方の端の内寄りに6個の小孔をあける。内面は粗い刳りぬきにとどまり，細かな調整を行っていない。外面は縦方向に丁寧に削り，中央に墨痕がある。小刀の鞘か。長 28.5 cm，幅 3.2 cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町 SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

E　楯（*1401*）　たて

1401　平城宮の井戸枠に転用されていた15枚の楯うちの一枚。長方形をした一枚板からなり，ヒノキの板目板を用いる。15枚は長さも幅もほぼ同じ大きさでそろえる規格品である*。頂部を山形につくりだし，表側は中央部を厚く，両側をやや薄くして鎬をつける。鎬をはさんで中央

＊　坪井清足「隼人の楯」『日本民族と南方文化』平凡社　1968年　p. 297～306

部に把手を固定するための２孔一対の結合孔を上下に四孔をあけており，山形頭部の木口面には小孔が多数ある。この小孔は木口から背面に斜めに錐で穿孔している。裏面は平坦面に仕上げ，上・下両端に寄った二個所に桟をはめこむための横位の溝をほりこむ。溝内には両端と中央部に桟をとりつけるための一対ないしは４孔１組の結合孔を数個所にあけ，なかには木釘が折れてのこるものがある。楯の両面は鉋で丁寧に削って仕上げている。完形品の楯をふくめてすべてのものが木目に沿って割れており，使用中に破損したため，割れ目の両側の随所に紐で結縛するための補修孔があけられ，紐がのこるものもある。表面には墨線で逆Ｓ字文と鋸歯文を描き，全面を白土・墨・ベンガラの彩色で埋める。楯の上端と下端に黒色の鋸歯文５個を配し，その内側に赤色の鋸歯文を平行さす。逆Ｓ字文は楯の主文であり，上下の鋸歯文の間に大きく配している。黒帯で上方の巻込みが小さく，下方の巻込みを大きく両端が楯の両側に接するほどに描く。つぎに上方の黒帯の外側に平行して赤帯を描くが，下方では赤帯が黒帯の内側で平行することになる。最後に上下の鋸歯文と逆Ｓ字文の間にのこる空間部分に白色を塗ることによって逆Ｓ字文の巻込みが黒・赤・白の三色文としての効果をあげることになる。上端内方の鋸歯文のあり方は個体ごとに多少のちがいはあるが，原則的には同じとみられる。本例では裏面に「几人」「山卩長」「此者近水海□」の刻書と「山」の墨書がある。『延喜式』隼人式によって隼人が儀杖用に使ったことがわかる。長152.2 cm，幅48.0 cm，厚 2.6 cm。ヒノキ。平城宮6ADH区SE1230出土。８世紀前半。自然乾燥。奈文研保管。

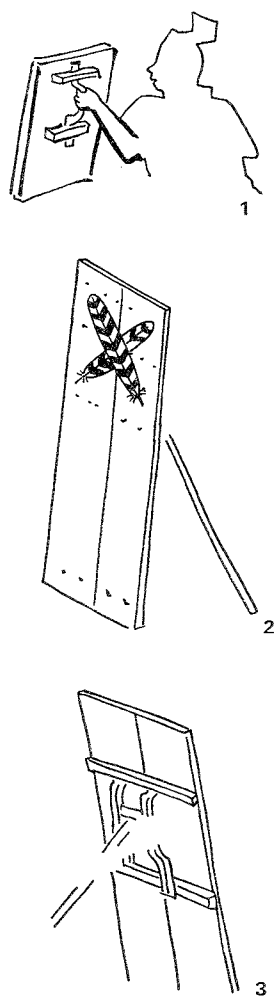


fig. 20　楯
1；『法然上人絵伝』
2・3；『春日権現験記』

7　服飾具（PL. 15～23）

服飾具とみとめられるものには，檜扇・櫛・留針・草鞋・木履・下駄などがある。

A　檜　　扇（*1501～1506・1601～1605・1701～1709*）　ひおうぎ

糸柾ヒノキの薄板を綴合せて扇にしたもの。分解した破片の出土例は比較的多いが，全形をうかがえるものは少ない。保存良好なものからすると，一般には中央から左右に向けて長さを減じる11枚ほどの骨を要と綴紐（とじひも）によって綴合せており，全開時には60度内外に開く。これをかりにA型式とよぶが，要（かなめ）の孔が１孔のもの（Ⅰ式）と２孔のもの（Ⅱ式）とに区分することができる。また，要の孔は１孔だが，綴目をいれずに骨の末の両側にV字形切込みをいれて綴合せたものがあり，これをⅢ式とする。ここでは骨の下方の両側に切込みをいれて装飾するものから，装飾をくわえずにただ本の幅を細くするものへの順序でならべた。なお，側の切込み，綴目，要孔などは骨を重ねた状態でいれたようである。いまのところ１例しかしられていないが，全開すると円形になるものがあり，これをB型式とよんでおく。いわゆる檜扇の形をとるが，骨が厚くて別の用途を想定しなければならないもの，扇子の骨にあたるものもこの項にふくめる。なお，樹種を記さないものはすべてヒノキ。

1501　AⅠ型式の檜扇。骨が11枚で完形。図示の左から５・６枚目の中央骨２枚がもっとも長く，その左右の骨は次第に長さを減じ，広げたときの形は先縁が半楕円を描く。骨の下端は半円形にそろえ，要の孔を１孔あける。要付近の両側縁にV字形と弧形の切込みを交互にいれて飾る。中央骨での半分から上寄りの位置で，綴合せの切目２個をいれる。これは骨ごとの長さと関係なく下端が同一の長さを保つため全体では一直線にそろう。厚 0.1 cm 弱，本幅 2.0 cm 内外，末幅 3.0 cm内外，最大長 32.3 cm，最小長 22.6 cm。平城宮6AAB区SK820出土。

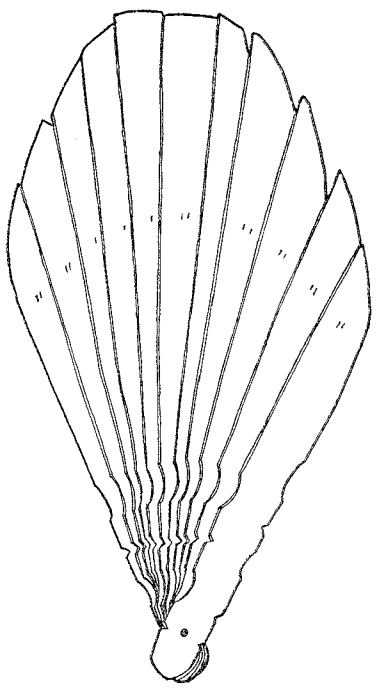


fig. 21　檜扇の復原(1)　1501

747 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1502　AⅠ型式檜扇の2片のうち1枚。一方の側に花頭形の切込みをいれる。現存長 14.7 cm，幅 3.4～1.8 cm，厚 0.13 cm。平城宮 6ABE区SD5505 出土。8 世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1503　AⅠ型式檜扇。4片をとどめる。全形をうかがえるのは，末が方頭形を呈する中央骨である。両側縁にV字形・弧形・花頭形の切込みをいれる。長 32.5 cm，幅 2.7～1.8 cm，厚 0.11 cm。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1504　AⅡ型式檜扇。4枚をとどめる。本を卵形にかたどり，その上部の側縁にV字形の切込みをいれる。要孔は2孔，綴目は刃物の先による切目ではなく，錐のようなものであけたらしく円形。全形をうかがいうるのは刀身形の端骨である。現存長 23.2 cm，復原幅 3.5～2.7 cm，厚 0.1 cm内外。平城宮6AAA区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1505　AⅠ型式檜扇の1枚。末を圭頭状にかたどり，一側縁にV字形の切込み2個をいれ，本の幅を狭める。側骨。長 26.3 cm，幅 3.3～1.5 cm，厚 0.13 cm。平城宮6AAA区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1506　AⅠ型式檜扇の6枚。全形がわかるのは，末を方頭形につくる中央骨。下方の1側縁に1個の弧形切込みをいれ，他側縁に6個のV字形切込みをいれる。復原長34.5 cm，幅 3.2～2.6 cm，厚 0.1 cm 内外。平城宮6AAA区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1601　AⅠ型式檜扇の側骨4枚。末を刀身形にかたどり，本は両値縁を削って幅を縮める。長 30.4～24.8 cm，幅 3.0～1.8 cm，厚 0.13 cm 内外。平城宮 6ABR区SB7802 出土。753 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1602　AⅡ型式檜扇の7枚。小型品である。本の両側縁を削込んで幅を縮める。山形の末をとどめるものがあり，中央骨らしい。要の2孔の間に 0.3 cm 幅で変色しない部分があり，糸で2孔をとじた痕跡とおもわれる。長20.6～19.0 cm，幅 2.7～1.5 cm，厚0.1 cm 内外。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

1603　AⅢ型式檜扇，8枚をとどめる。全形がうかがえる2枚では末の両側にV字形切込みをいれ，綴目孔を欠く。側の切込みに紐をからませて骨を綴合せたのであろう。中程から本にかけては両側から削って幅を狭める。要孔に木釘状のものをのこすものがある。長 34.1 cm，幅 3.7～1.8 cm，厚 0.1 cm 強。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1604　AⅠ型式檜扇，中央骨の1枚。綴目の有無不明。本の幅を狭めている。長 32.7 cm，幅 3.2 cm，厚 0.1 cm 強。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

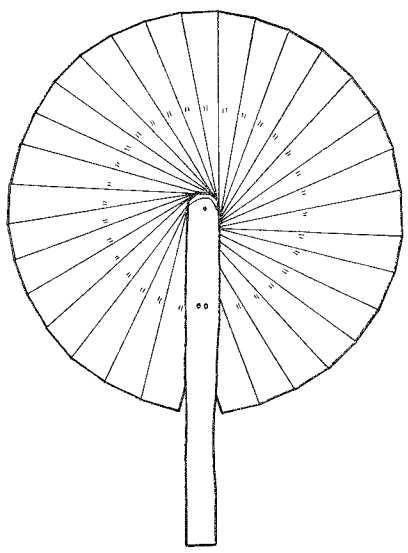


fig. 22　檜扇の復原(2)　1605

1605　B型式檜扇。2枚の親骨と 23枚の子骨がのこる。親骨は厚手の細板状を呈し，本の両隅を切落し要孔をあけ，その上寄りに錐であけた一対の綴目がある。骨の中程から末にかけてやや幅を狭めて，方頭形にかたどる。子骨は短冊形を呈し，すべて同形同大で，ほぼ中央に一対の綴目をいれる。末の幅を本よりも若干広くし，本の両隅を切落している。この檜扇の構造は，2枚の親骨で子骨をはさみ，要孔と綴目で綴合せたもののようである。全開すると骨は円形にひらき，親骨の末を柄にする団扇状の形をとる。復原によれば31枚の小骨が必要。親骨長 27.4cm，幅 2.6 cm，厚 0.3 cm 内外。子骨長 16.9 cm，幅 3.0～2.4 cm，厚 0.1 cm弱。平城宮6AAA区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

1701　AⅠ型式檜扇の5枚。本の幅を若干幅を縮め，本の両隅を切落す。全長をとどめる3枚では，綴目を見出すことができない。綴目なしで綴合せたのであろう。長 24.6 cm，幅 2.6

～1.9 cm，厚 0.1 cm 内外。平城京左京五条二坊十四坪SE03出土。8 世紀後葉。真空凍結乾燥処理済。奈良市埋文保管。

1702 AⅡ型式の檜扇。骨 11枚すべてそろうが，下半分をとどめるにすぎない。本は円頭状につくり，両側から削って幅を狭くする。現存長 14.4 cm，幅 1.7～1.2 cm，平安京西市跡 ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

1703 AⅢ型式の檜扇。骨は 11枚で完形品とみてよい。末の形は中央骨から左右に向け次第に大きく隅をおとす。本は両隅を切落す。綴目をあけていない。長 27.3～21.7 cm，幅 2.6～2.0 cm 内外，厚 0.1 cm 強。滋賀県十里町遺跡土壙出土。8 世紀後葉～9 世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。長浜市教委保管。

1704～1707 ともに本の部分の断片。1707はやや厚手で扇子の親骨か。1704；長 13.1cm，現存幅 0.9cm，厚 0.1 cm 強。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。1705；現存長 6.8 cm，幅 1.5 cm，厚 0.2 cm。スギ。奈良県白毫寺遺跡池 1 出土。8 世紀後半。水漬。橿考研保管。1706；現存長 9.7 cm，幅 1.4 cm，厚 0.2 cm。1707；長 14.9 cm，幅 1.1 cm，厚 0.4 cm。以上，平安京左京四条一坊五・六町ND64-3-J-15 SE01出土。12 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

1708 檜扇形の木製品。一般の檜扇とは用途をことにするものとおもわれるが，形態が檜扇に類似しているので，ここにかかげた。4 枚の板目の薄板を檜扇のように連綴して用いる。薄板を粗く削って仕上げ，部分的には製材時の割り面をとどめる。薄板の下端は直截し，下部に要孔を錐であける。薄板の中央より上寄りに綴孔をうがち，上端は山形にかたどり，下部の一側縁に刳形をいれる。

薄板の表裏には墨書がある。下部の刳形のある側縁を右向きになるようにして各板を配列すると，各板の綴孔の上方に墨書の「＝」が横にならぶ。また，綴孔の下部におのおの意味不明の文字を墨書する。うち一枚はその字にかさねて一字を増している。要孔の周囲を「○」でかこむ。反対側の面には一枚のほかは墨書がない。墨書する一枚は，上から「賛」を扁，「吉」を旁とした字を 4 字，「伎」字を 4 字，「団」字を 2 字，合計 10 字を縦書きに，下部の孔の周囲を「○」でかこむ。このような墨書の状況から判断すると，下部の孔を「○」印でかこむ面が，数枚の薄板を重ねたときの上・下面となり，一種の親骨的役割を果しているらしい。それに準じて各薄板を広げると，「＝」および意味不明の墨書が一面に揃う。以上のことから，この具が紐で連綴し檜扇のように開閉する具であることが推される。文字は意味をなさず，粗製で実用に耐えないことからすれば，祭祀具の一種であろうか。長21.0cm，幅 1.8 cm 前後，厚 0.3 cm 前後。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

1709 扇子の骨 4 枚のこる。要がのこり，本来の 6 枚骨のうち両側の親骨がうしなわれたことになる。下部の両側面に切込みがある。長 33.6 cm，幅 1.6 cm，厚 0.4 cm。スギ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43 SD04出土。12世紀～13世紀。水漬。京都市埋文研保管。

fig. 23 檜扇・団扇・扇子・木履・草履 『年中行事絵巻』

B 櫛（*1801～1817*） くし

ツゲないしはイスノキの板片の一側縁から細い歯を挽きだし，表面を平滑に研ぎあげた横櫛が一般的で，各地での出土例も少なくない。多くは断片であり完形のものは少ない。7 世紀～10世紀ごろの横櫛は長方形のものＡ型式と半円形のものＢ型式に大別でき，Ａ型式は肩部が角張るＡⅠ型式と，肩部に丸味をもたすＡⅡ型式にわけることができる。Ｂ型式の発見例は少な

く完形品をみないが，概して精製品であり，脊の断面が柳葉形を呈している。7世紀にはAⅡ型式の横櫛はまだ出現しておらず，歯も概して粗く，3cmあたり21～24枚を挽きだす。8世紀以降になると，歯が細くなり，平城宮6ABO区SE311A・SE311B・SE282から出土した良好な資料34点では，3cmあたり平均歯数は32枚であり，もっとも細かいもので38枚になっている。*歯の挽きだし位置をきめる切通し線は，背の上縁に平行して曲線を描くものと上縁に関係なく直線にひくものとがある。以上のほかに，上下に歯を挽きだした縦長の櫛があるが，発見例が少ないので，型式をたてていない。

1801～1806　AⅠ型式の横櫛。1801；幅12.2cm，高5.45cm，厚1.2cm。イスノキ。藤原宮6AJG区SE1105出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。1802；幅11.5cm，高3.9cm，厚0.65cm。1803；幅10.9cm，高4.0cm，厚0.7cm。以上，イスノキ。真空凍結乾燥処理済。平城宮6ABO区SE311B出土。9世紀前葉。奈文研保管。1804；幅11.1cm，高4.0cm，厚0.7cm。樹種未同定。平安京西寺跡ND74-3-E34 SE01出土。9世紀前半。水漬。1805；幅9.1cm，高2.9cm，厚0.7cm。樹種未同定。平安京西市跡ND74-1-I-51 SE03出土。9世紀前半。P. E. G.処理済。以上，京都市埋文研保管。1806；幅2.4cm，高1.9cm，厚0.4cm。イスノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

1807～1814　AⅡ型式の横櫛。1807；幅12.2cm，高3.6cm。樹種未同定。平城京左京三条四坊七坪SE1801出土。8世紀後半。水漬。1808；幅11.8cm，高3.4cm，厚0.7cm。1809；幅11.9cm，高4.3cm，厚0.8cm。以上，イスノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。1810；幅15.7cm，高4.2cm。樹種未同定。平安京西市跡ND74-1-I-51 SE03出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。1811；現存幅8.6cm，高3.9cm，1812；現存幅9.3cm，高4.8cm，厚0.8～0.6cm。以上，樹種未同定。長岡宮7AN3A区SD8701出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。1813；幅8.9cm，高3.5cm，厚0.55cm。1814；幅5.5cm，高2.4cm，厚0.4cm。以上，イスノキ。平城宮6ABO区SE311A出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

1815・1816　B型式の横櫛。1815；現存幅3.0cm，高3.43cm，厚0.46cm。1816；現存幅3.5cm，高4.5cm，厚0.7cm。樹種未同定。以上，平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

1817　縦櫛。縦長の板材の木口の両端から歯を挽きだし，中央の両側辺を弧状に抉って握り部分とした両用の櫛である。うち一方を太く長く，他方をうすく短くつくる。歯の切通し線は両方とも直径9.4cmの正円弧に刻んでおり，歯の先端は両端とも剣先状にとがる。短い歯の方は先端を一直線にそろえており，一部欠失するが幅6.8cmに復原でき，3cm幅につき18本の歯を挽きだしている。歯の長さは中央で2.2cm，両端で1.4cmである。長い方の歯は左右とも両端を欠き，現状では10本の歯がのこるが，本来は13本あったものと推測される。中央7本は先端をそろえ，両端各3本は順次長さを減じたようである。歯の密度は3cmにつき6本で，鋸で挽きだしたのち削って稜をおとしている。細い歯の切通し線から1.8cm握り寄りの中央に直径0.5cmの円孔をあけている。長20.4cm，握り部幅3.8cm，厚1.1cm。モッコク。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

C　留　　針（*1901～1937*）　とめばり

一端もしくは両端をとがらした細長い棒状の具。被りものを髷にとめる木針とかんがえられ

＊　『平城宮発掘調査報告Ⅳ』p. 34

るものもふくむが，すべてが服飾に関するものとはいえない。形状からつぎの3型式にわかれる。A型式：頭部を鋲頭状につくるもの。B型式：頭部を細板状につくるもの，C型式：頭部に加工をくわえないもので，身を扁平につくるCⅠ型式と丸棒状につくるCⅡ型式にわかれる。D型式：両端ともにとがらすもの(Tab. 1)。

1901～1911 A型式の留針。1901～1906は整った鋲頭をつくる。1908～1911は半成品か，ともに身が太くて身の削りが粗雑。1907・1910・1911は鋲頭の部分が身部の径よりも小さい。

1936・1937 B型式。1936は全長の約5分の2を細い板状の頭部とし，身部は断面楕円形の細棒につくる。頭部には3条の刻線をめぐらし，刻線の下部に両面ともに，被りものをつけ弓状のものを手にする横向き男子の立像を墨描きし，細棒の付根に墨で2線めぐらす。一面には2線の下に1字を書くがよめない。1937は頭部の周縁から刻込んで人頭の側面形をあらわしているようである。

1924～1935 CⅠ型式。1924の先が鋭くとがる以外は，身部の下半を薄い篦状につくる。1925は丁寧な加工で頭部を棒状にする。さきの報告では鏃形にあてたが改める。1926は頭部の両側から切込みをいれる。

1912・1918～1923 CⅡ型式。1912は精製品で頭部に漆塗りの痕跡をとどめ，やや大きいので留針でないかもしれない。1918～1923はともに粗製で身の先端にのみを調整する。

1913～1917 D型式。1913は一端を欠くが先細りになるのでこの型式にいれる。一端を鋭くとがらし，上部に2段の刻線をめぐらした精製品。1914～1917は中央部を丸棒状にのこし，両端に向かって次第に細くする。

C 草　鞋（*1938～1943*） わらじ

藁細工の履物。近年出土例を増している。はき古したものを棄てたため，概して大きくのびきっている。また紐などの付属物の見分けがつけがたく，原形をとどめるものはまれである。図示したのは比較的良好なもの。ヒモ(紐)・カエシ・チ(乳)などを完全にとどめていないため，草鞋にあてる積極的な根拠がとぼしい。草履のスゲ尾や足半(あしなか)の芯縄を利用した鼻緒痕跡がみられないことから草鞋にあてた。

1938～1943 1938・1943には芯縄をのばしたヒモがみられないが，台の尾端に踵を受けるカエシの基部らしきものがあり，左右にチらしきものがみとめられる。1940では経の芯縄を台の尾端で二個のワナを交叉させているようである。1938；長 27.4 cm，幅 8.7 cm。平城宮6A CU区SD1250出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。1939；現存長 22.7 cm，幅 8.3 cm。アルコール・エーテル法処理済。1940；長 25.7 cm，幅 9.0 cm。破損。1941；現存長 22.5 cm，幅 9.0 cm。破損。1942；現存長 23.1 cm，幅 9.6 cm。破損。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。向日市教委保管。1943；現存長 16.0 cm，現存幅 8.3 cm。奈良県山田寺跡SD531裏込め出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

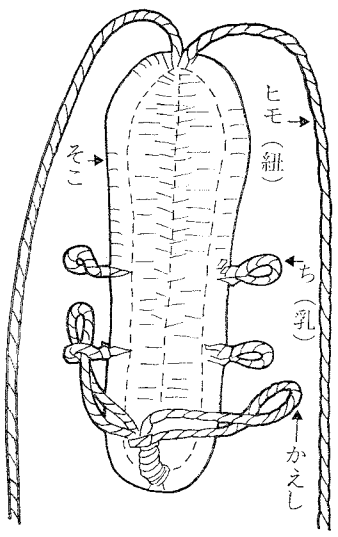


fig. 24 草鞋の名称（宮本馨太郎『かぶりもの・きもの・はきもの』民俗民芸叢書24 1968年 p. 200）

D 木　履（*2001～2009*） きぐつ

木心をさけた板目材を刳りぬいてつくり，被甲から踵にかけてをおおう短履で爪先は反りあがる。発見例はいずれもはき古るしたもので，踵裏がいちぢるしく磨耗している。歯のつくものA型式とつかないものB型式に大別できる。大中小の区別がある。漆をかけたり，内に布をあてた痕跡をとどめるものはない。足の左右の区別があったか否かは不明。*

＊ 山中章「木沓」『向日市埋蔵文化財調査報告集』第7集 1981年 p. 132～133

番号	型式	寸法 長	幅	厚	樹種	出土遺跡	時期	処理	保管場所
		cm	cm						
1901	A	13.1	0.5		ヒノキ	平城京左京八条三坊九坪SD1300	8世紀後半～9世紀前葉	真空凍結乾燥	奈文研
1902	A	12.5	0.6		ヒノキ	平城宮6AAI区SD4951	8世紀後葉	〃	〃
1903	A	11.3	0.35		ヒノキ	平城宮6ALF区SD5780	8世紀	〃	〃
1904	A	7.4	0.5		ヒノキ	平城宮6AAC区	8世紀	〃	〃
1905	A	(5.2)	0.7		ヒノキ	平城宮6ALG区SD5788	8世紀中葉	〃	〃
1906	A	(9.0)	0.5		ヒノキ	平城京左京八条三坊十坪SD1155	8世紀中葉	〃	〃
				cm					
1907	A	(2.7)	0.7	0.6	サカキか	長岡京左京二条二坊六町SD1301	784年～794年	水漬	向日市教委
1908	A	(9.4)	0.7		モミ	平安京ND73-2-L-54 SE03B	9世紀後半	〃	京都市埋文研
1909	A	(7.4)	0.9		ヒノキ	兵庫県八反長遺跡旧流路	9世紀前葉	〃	兵庫県教委
1910	A	(15.45)	1.2		ヒノキ	平城宮6AAG区SD4951	8世紀後葉	〃	奈文研
1911	A	(13.3)	1.1		ヒノキ	平城京右京九条一坊四坪SD950	8世紀中葉	P. E. G.	〃
1912	CⅡ	14.4	0.9		ヒノキ	平城宮6ALF区SG5800B	8世紀後葉～9世紀前半	水漬	〃
1913	D	(10.0)	(0.35)		ヒノキ	平城宮6AAI区SD4100A	8世紀中葉	真空凍結乾燥	〃
1914	D	13.4	0.75		ヒノキ	平城宮6AAB区SK820	747年頃	〃	〃
1915	D	20.7	0.5		樹種未同定	平安京左京四条一坊五・六町SD01	12世紀～13世紀	水漬	京都市埋文
1916	D	15.7	0.6		〃	滋賀県湖西線関係遺跡	〃	〃	滋賀県教委
1917	D	15.3	0.6		〃	〃	〃	〃	〃
1918	CⅡ	14.7	0.5		〃	〃	〃	〃	〃
1919	CⅡ	11.8	0.6		〃	〃	〃	〃	〃
1920	CⅡ	11.3	0.6		〃	〃	〃	〃	〃
1921	CⅡ	10.7	0.5		〃	〃	〃	〃	〃
1922	CⅡ	15.5	0.6	0.3	〃	平安京左京四条一坊五・六町SD01	〃	〃	京都市埋文
1923	CⅡ	10.9	0.7		〃	平城宮6AAI区SD3410	8世紀後半		奈文研
1924	CⅠ	11.6	0.9	0.6	ヒノキ	平城宮6ABF区SD3715	8世紀後半	水漬	〃
1925	CⅠ	15.1	0.8	0.2	ヒノキ	平城宮6ABE区SK3730	8世紀前葉	P. E. G.	〃
1926	CⅠ	18.1	1.2	0.5	ヒノキ	平城京左京一条三坊SD650	9世紀前半	〃	〃
1927	CⅠ	19.4	1.1	0.8	ヒノキ	平城宮6AAB区SK820	747年頃	真空凍結乾燥	〃
1928	CⅠ	16.2	1.1	0.5	ヒノキ	平城宮6ABE区SD3715	8世紀後半	P. E. G.	〃
1929	CⅠ	15.9	1.5	0.9	ヒノキ	長岡京左京二条二坊六町SD1301	784年～794年	水漬	向日市教委
1930	CⅠ	15.3	1.1	0.5	ヒノキ	平城宮6ABF区SD3715	8世紀後半	〃	奈文研
1931	CⅠ	14.8	1.0	0.8	ヒノキ	平城宮6ALG区SD5785	8世紀前半	P. E. G.	〃
1932	CⅠ	14.7	1.05	0.5	ヒノキ	平城宮6ACC区SD3825	8世紀後半	水漬	〃
1933	CⅠ	12.3	1.1	0.5	ヒノキ	藤原宮6AJF区SD105	694年～709年		〃
1934	CⅠ	13.8	1.1	0.5	ヒノキ	平城宮6ACC区SD3825	8世紀後半	水漬	〃
1935	CⅠ	12.5	1.1	0.5	ヒノキ	長岡京左京二条二坊六町SD1301	784年～794年	〃	向日市教委
1936	B	16.9	1.4	0.3	ヒノキ	平城宮6AAB区SK820	747年頃	真空凍結乾燥	奈文研
1937	B	(12.4)	2.3	0.8	ヒノキ	平城宮6ALS区SD4951	8世紀後葉	〃	〃

（　）内は現存寸法

Tab. 2　留針寸法一覧

2001　A型式の小型木履。爪先の木口を平坦面にし，被甲の先縁と内縁にそって刻線で縁取る。裏の爪先寄りに前歯がのこる。踵がすり減る。長21.5 cm，幅8.7 cm，高 5.6 cm。ヒノキ。平城京左京二条五坊北郊遺跡井戸出土。8世紀後半。P E. G. 処理済。橿考研保管。

2002　A型式の中型木履。部分的に欠損するが全形がうかがわれ，土圧で少し扁平になっている。裏の前後2個所に歯をつくるが，後歯ののこりは悪い。被甲の先縁と内縁に刻線の縁取りをいれ，中央で両者を2本の刻線でつなぐ。両側面の中程に対応する1孔をあけた痕跡があり，紐を通して使ったことを示唆する。長27.45 cm，幅11.7 cm，高4.6cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年頃。水漬。向日市教委保管。

2003　B型式の中型木履。底部の断片。爪先木口面を平坦につくったようである。仕上げは丁寧だが，埋没中の土圧により全体にややゆがむ。長 27.5 cm，幅 10.5 cm，現存高4.9 cm。樹種未同定。京都府大藪遺跡ND83-4-F-11流路出土。9 世紀。破損消失。

2004　B型式の中型木履。底部の断片で，被甲と踵の側壁をわずかにとどめる。爪先の木口は平坦面をなす。長 27.1 cm，幅 10.2 cm，高 6.0 cm。ケヤキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

2005　B型式の中型木履。踵の裏がぬけるが，他はほとんどのこっている。爪先木口を平坦にし，被甲の先縁と内縁にそって刻線をほどこし，中央に 2 本の刻線をいれてつなぐ。被甲の外面に刃物でつけた傷がのこる。長 25.9 cm，幅 11.0 cm，高 6.3 cm。樹種未同定。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2006　B型式の大型木履。踵裏を欠くがほぼ完形。爪先を丸く仕上げる。被甲部の内縁と中央に 1 本と 2 本の刻線をいれる。復原長 32.0 cm，幅 12.6 cm，高 7.1 cm。樹種未同定。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2007　A型式の中型木履。側壁の一部を欠くが完形で，細身につくる。爪先木口を平坦にし被甲の内縁と中央に刻線をいれる。他にくらべて踵の壁が厚い。長 28.3 cm，幅 6.9 cm，高 5.6 cm。樹種未同定。滋賀県矢倉口遺跡SE02出土。8 世紀中葉。水漬。滋賀県教委保管。

2008　B型式の中型木履。底部断片。内面に左親指の磨耗痕跡がある。現存長 26.2 cm，現存幅 10.0 cm，現存高 1.2 cm。樹種未同定。滋賀県野畑遺跡 SE03 出土。9 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2009　B型式の木履片。爪先の底がのこる。現存長 11.5 cm，現存幅 8.7 cm，現存高 5.0 cm。スギ。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層出土。8 世紀中葉。水漬。今津町教委保管。

E　下　　駄 (*2102～2116・2201～2218・2301～2314*)　げ　た

下駄は台と歯とを一木からつくる連歯下駄である。台と歯を別材にして枘で組合せる差歯下駄は中世にならないとあらわれない。下駄は鼻緒孔の位置によってつぎのA～Cに区分することができる。A；前壺を左右のいずれかの一方によせてあけ，前・後壺とも歯の外側にあけたもの，B；前壺を左右いずれかにかたよせ，後壺を後歯の前にあけたもの，C；前壺を台の中央にあけ，後壺を歯の内側にあけたものにわかれる。つぎに歯のつくり方からするとつぎのように区分できる。Ⅰ；台の両側から少し内寄りから歯をつくり，前・後歯ともに側面からみて外開きにつくりだすもの。Ⅱ；台と同じ幅で，縦断面が台形ないしは方形の歯をつくもの。Ⅲ；歯の下辺幅を台の幅よりも広くするもの。Ⅳ；歯の下辺幅を広くするとともに，歯の四隅の角をおとして平面形を隅丸方形にするもので，この場合には台裏の周縁に面取りをほどこす。Ⅴ；前後の歯を台の両端によせたもので，この場合には前壺が前歯の後にあくことになる。歯は鑿でほりだしたり鋸で挽いてつくる。さらに，下駄の平面形によって，a；長方形ないしは隅丸長方形，b；長さに対して幅がせまく前端と後端が半円形を呈するもの，c；小判形，d；前後の端を弧形にするが，前幅よりも後幅をせまくするもの。e；前後の端を直線にするが，前後の歯から両端にかけて次第に幅を狭めるものに分類できる。以下ではＡⅠa型式などとよぶことにする。

図版の配列は平面形によっているが，これは時代の前後を必ずしもしめしていない。だが，鼻緒孔の配置と歯のつくり方は時代の変遷を反映する。鼻緒孔は刃物や錐であけたものが多い

fig. 25　下駄をはく婦人　『扇面古写経』

が，いわゆる焼火箸つまり先を熱した鉄棒であけたものもある。台の上面には使用に際しての足裏による磨滅痕がよくのこっている。平城京左京一条三坊SD650では計測可能な下駄が40点あり，長さによって5類にわけた。そこでは長さ18～24 cmのものが全体の 65 %をしめており，9世紀前半代の一般的な大きさとみとめられている。*

2101　BⅠa 型式。板目材を用い，木裏を台の上面にあてる。鼻緒孔は鑿のようなものであける。前壺は前歯をさけて斜めにあけるが，台の中心をはずして左右に各1孔あけている。おそらく使用途中で，左右の足のいずれかに変更したためにもう1孔をあけたもののようである。長 23.5 cm，幅 12.2 cm，高 3.8 cm。樹種未同定。滋賀県光相寺遺跡溝出土。8世紀後半。水漬。中主町教委保管。

2102・2103　BⅤa 型式。一足揃って発見された珍しい例。板目材の木表を台の上面にあて，下面の両端に歯をほりだし，露地下駄の形をとる。台の上面には左右の足跡がくっきりとのこり，後歯を消失するほどに使いこんでいる。長20.7 cm内外，幅9.8 cm内外，厚 3.2 cm内外。ヒノキ。長岡京右京三条三坊五町旧流路出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。長岡京市教委保管。

2104　BⅣa 型式。板目材の木裏を台の上面にあてる。前歯を欠くが，後歯には鑿で下幅を広くほりだした痕跡がよくのこる。台の上面には左足跡，焼焦，刃物痕などがのこっている。長 21.4 cm，幅 9.7 cm，高 4.8 cm。ヒノキ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2105　BⅡa 型式。柾目材からつくる。歯は鑿でほりだし，前後の歯の中間と後歯の後側をが厚くほりのこす。長22.3 cm，幅10.7 cm，厚3.5 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

2106　CⅣa 型式。板目材の木表を台の上面にあてる。歯は鑿でほりだす。長 18.1 cm，幅 9.5 cm，厚 4.4 cm。スギ。平城宮6AAI区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

2107　AⅠb 型式。柾目材でつくる。両端とも円形だが，上からみて先の右隅を少し削込んでいる。鼻緒孔は鑿で長方形にあける。歯は鑿で側面からみて外開きにほりだす。長26.2 cm，幅 10.3 cm，高 3.9 cm。ヒノキ。大阪府亀井遺跡SX4001出土。7世紀後半。アルコール・キシレン樹脂処理済。大阪文化財センター保管。

2108　BⅡb 型式。柾目材からつくる。歯は鑿でほりだし，歯は台幅のわずかに内寄りからはじまり，歯の向かいあった内側面はとくに斜めにほりこむ。長25.0 cm，幅11.7 cm，高4.6 cm。ヒノキ。奈良県川原寺下層暗渠。7世紀中葉。P. E. G.処理済。奈文研保管。

2109　BⅡb 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。磨耗が著しい。長 22.8 cm，幅 9.7 cm，高 2.0 cm。ヒノキ。奈良県白毫寺遺跡 SD02 出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。

2110　CⅢb 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。歯は鑿でほりだす。長 21.8cm，幅 7.8 cm，高 3.1 cm。クリ。奈良県白毫寺遺跡池1出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。

2111　CⅡb 型式。板目材の木裏を上面にしてつくる。磨耗が著しく後歯が完全にすりへっている。長 18.8 cm，幅 8.3 cm，高 1.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

2112　CⅡb 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。歯と歯の間を厚くほりのこし，前壺が歯に切込んでいる。長 18.4 cm，幅 7.6 cm，高 2.4 cm。樹種未同定。兵庫県出合遺跡井戸出土。8世紀。P. E. G. 処理済。瀬戸内考古学研究所保管。

＊　『平城宮発掘調査報告Ⅵ』p. 92

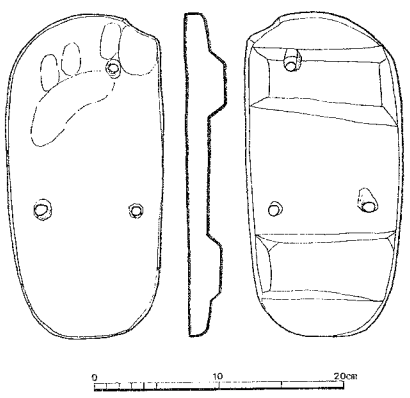


fig. 26 AⅡa型式の下駄
兵庫県山垣遺跡東堀出土 8世紀前葉

2113 BⅡc型式。板目材の木表を上面にする。歯と歯の間を厚くほりのこす。長 20.6 cm, 幅 11.5 cm, 高 3.7 cm。ヒノキ。飛鳥京跡SX8201出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。

2114 CⅡb 型式。柾目材を用いてつくる。歯と歯の間が薄い。長 21.5 cm, 幅 10.1 cm, 高 3.0 cm。樹種未同定。長岡京右京七条一坊十三町恵解山古墳周濠出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。長岡京市教委保管。

2115 CⅡc型式。柾目材からつくる。歯を台に対して若干斜めにほりだす。鼻緒孔は方形。台の中央部が厚く両端が薄い。台上に左足痕と刃物痕がつく。長 22.0cm, 幅 11.8 cm, 高3.6 cm。ヒノキ。和歌山県野田地区遺跡 SD05 出土。10 世紀後半～11 世紀前半。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

2116 CⅡc 型式。板目材。後壺に鼻緒の繊維がのこる。長 21.5 cm, 幅 10.8 cm, 高 5.0 cm。樹種未同定。京都府下畑遺跡SE01出土。12 世紀～13 世紀。水漬。京都府埋文保管。

2201 CⅣb 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。歯は鑿でほりだし，下辺の左右が外方に張出す。台の下面に面取りをほどこしている。長 22.0 cm, 幅 7.5 cm, 高 3.4 cm。クリ。平城宮6AAO区SE272B出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2202 CⅡb 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。鼻緒孔は方形。長 19.4 cm, 幅 8.2 cm, 高2.0 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

2203 BⅢd 型式。板目材の木表を上面にしてつくる。台の周側面は粗削りの状態。歯は鑿でほりだす。長 16.8 cm, 幅 7.5 cm, 高 2.7 cm。マツ亜属。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2204～2206 CⅣb型式。いずれも幅のせまい台である。両端に丸味をもたせ下辺の広い歯をつくりだし，台の中央を厚くし，周縁部を薄くする。2204は板目材の木裏を上面とする。長 17.9 cm, 幅 7.6 cm, 高 3.7 cm。樹種未同定。2205 は板目材の木表を上面とし，台の上面から２本の鉄釘を打込んで前歯を補修する。長 16.7 cm, 幅 7.9 cm, 高 4.1 cm。樹種未同定。2206は板目材の木裏を上面とする。現状で歯が台の内側にのこるが，本来は下辺が台幅よりも広かったとかんがえⅣ式にいれる。長 19.0 cm, 幅 7.4 cm, 高 3.2 cm。ケヤキ。以上，平安京西市跡 ND73-2-L-54 SE03B出土。9 世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

2207 CⅡb 型式。小型の下駄。板目材の木表を上面にする。台の中央部を厚くし。周縁部を薄くする。長13.0 cm, 幅 5.6 cm, 高 1.9 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

2208 BⅡb 型式。小型の下駄。板目材の木裏を上面にする。台が厚く，前歯をやや斜めにほりだしている。長 12.0 cm, 幅 5.7 cm, 高 2.9 cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2209 CⅡd 型式。小型の下駄。歯は鋸で挽きだす。台下面の前後を斜めに削る。長 12.8 cm, 幅 7.0 cm, 高 2.8 cm。スギ。長岡京左京四条二坊九町SD1502出土。9 世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

2210 BⅡd 型式。板目材の木裏を上面にする。台の前縁を隅切風にし後縁を半円形にかたどる。台の上面に右足の痕跡がはっきりとのこる。長 27.2 cm, 幅 11.4 cm, 高 2.8 cm。スギ。兵庫県吉田南遺跡SD11。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

2211・2212 BⅡd 型式。2211 は板目材の木表を上面にする。台の前後縁ともに半円形に

かたどり，台の上面に右足の痕をとどめる。長 26.4 cm，幅 12.7 cm，高 2.6 cm。ヒノキ。2212 は板目材の木表を上面にする。台の前縁を隅切風にし後縁を半円形にかたどる。長 27.4 cm，幅 12.5 cm，高 5.1 cm。樹種未同定。以上，京都府中久世遺跡ND83-4-A-42流路出土。7 世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。

2213～2215　CⅢd 型式。2213 は板目材の木裏を上面にする。鼻緒孔は 壺錐であけたらしい。長 21.8 cm，幅 10.6 cm，高 3.0 cm。スギ。2214 は板目材の木裏を上面にする。歯の保存がよく原形に近い高さをとどめる。長 21.2 cm，幅 13.5 cm，高 5.7 cm。サクラ亜属。2215 は板目材の木表を上面にする。長 22.5 cm，幅 10.5 cm，高 6.1 cm。クリ。以上，平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2216　BⅢd 型式。板目材の木表を上面にする。歯を前後とも長軸に直交せず斜めにほりだし，後壺の 2 孔も斜めになる。長 23.6 cm，幅 10.4 cm，高 5.4 cm。センダン。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

2217　BⅢd 型式。柾目材でつくる。台の両端は鋸で切断し隅を斜めに削りおとす。歯も鋸で挽きだすが長軸に直交せず斜めになる。後壺も歯にしたがって斜めに配する。長 19.7 cm，幅 9.4 cm，高 3.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD3410出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

2218　CⅢd 型式。前歯の補修のため上面から鉄釘 2 本を打込んでいる。長 22.4 cm，幅 10.3 cm，高 5.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD4951出土。8 世紀後葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

2301～2303　CⅢd 型式。2301 は板目材の木表を上面にする。歯は鋸で挽きだす。わずかに歯の四隅を削りおとす。長 24.4 cm，幅 10.0 cm，高 3.4 cm。スギ。2302 は板目材で木表を上面にする。台の後端がとがり気味。歯は鑿でほりだしわずかに外傾する。鼻緒孔は方形。長 22.5 cm，幅 9.6 cm，高 4.8 cm。ヒノキ。2303は板目材で木表を上面にする。長 22.2cm，幅8.9 cm，高2.3 cm。ヒノキ。以上，平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2304　CⅡd 型式。板目材の木表を上面にする。長 18.3 cm，現存幅 6.6 cm，高 3.1 cm。ヒノキ。奈良県橿原遺跡井戸 9 出土。7 世紀～8 世紀。自然乾燥。橿考研保管。

2305・2306　CⅢd 型式。ともに板目材の木裏を上にする。2305；長 17.3cm，幅 8.2cm，高 3.3 cm。樹種未同定。2306；現存長 16.5 cm，幅 8.1 cm，高 4.0 cm。ケヤキ。以上，平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

2307　BⅢd 型式。板目材の木表を上面にする。歯を鑿でほりだした痕跡をよくとどめる。長 17.7 cm，幅 10.7 cm，高 5.3 cm。スギか。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2308　CⅢd 型式。柾目材の木を用いる。長 19.5 cm，現存幅 8.7 cm，高 2.2 cm。ヒノキ。和歌山県野田地区遺跡SD07出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

2309　CⅢd 型式。板目材の木裏を上面にする。長 20.5 cm，幅 10.3 cm，厚 3.2 cm。ヒノキか。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

2310　BⅡe 型式。板目材の木裏を上面にする。台の前後両端をほぼ直線にし，中央部分から両端に向かって幅をせまくする。後歯を後端寄りにつくり，後壺が前歯と後歯の中間に位置する。前壺が前歯に切込んでいる。長 30.0 cm，幅 13.5 cm，高 2.8 cm。スギ。滋賀県光相寺遺跡溝出土。8 世紀後半。水漬。中主町教委保管。

2311　CⅡe 型式。柾目材でつくる。歯は鑿でほりだす。2310 と同じ形をとり，しかも大型なので一般の下駄とは用途をことにするのであろうか。長 26.0 cm，幅 10.6 cm，高 5.8 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。

2312　CⅢd 型式。板目材の木裏を上面にする。歯は鑿でほりだし，鼻緒孔は先を熱した鉄棒であけたらしいが，前壺が小さい。長 17.9 cm，幅 8.4 cm，高 1.6 cm。ヒノキ。京都府古殿遺跡遺物包含層。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

2313　CⅢb 型式。板目材。前壺が小さい。長 21.9 cm，幅 9.8 cm，高 4.4cm。樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43 SD04出土。12世紀～13世紀。水漬。京都市埋文研保管。

2314　歯をつくらず，一般の下駄とは形がことなる。下駄型の田下駄である可能性がつよい。小判形の平面形をとる台は縦に 2 分しており，これを結合するための孔を 3 個所に穿つ。裏面にはこの結合孔を含んだ長方形のえぐりが認められ，結合紐が磨擦によって切れることをふせいでいる。これが本来の加工なのか，それとも補修なのか明らかにしがたい。前壺を右にかたよせており，左足用であることがわかる。長 30.5 cm，幅 15.6 cm，厚 2.3 cm。樹種未同定。滋賀県湖西線関係遺跡 VD 区大溝出土。7 世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。

8 容　器（PL. 24～40）

容器の主流をなすのは，食器・調理具であろうが，その形態だけで用途を限定するのが困難なものがある。ここでは製作技法の違いによって挽物・刳物・曲物に区分した。一方，容器類の付属品，あるいは付属部材に想定しうる把手・枠・蓋・栓などもここにふくめる。

A 挽　物（*2401～2449・2501～2514・2601～2608・2701～2709・2801・2802*）　ひきもの

木材を刳っておよその形をととのえ，轆轤によって整形した容器。材の横断面，すなわち木口を器の口縁部にあてる縦木取りと，材の縦断面を口縁部をあてる横木取りとがあるが，いずれも木心をさけるのが普通である。轆轤仕上げの状態で加工を終了するものを白木作りといい，轆轤仕上げののちに漆をかけたものが漆器である。白木作りは概して製作が粗く，裏面に轆轤の爪痕をとどめたものがある。漆器には木地に直接漆をかけるものと，木地に布を着せてから漆をかけたものがあるが後者は少数である。奈良・平安時代の漆器の大半は内外ともに黒漆をかけるが，時期が下るにしたがって朱漆塗りが増加する傾向がある。*食器類の形態はおおむね土器や陶器と一致しており，奈良・平安時代の土器の呼称に準じることにする。

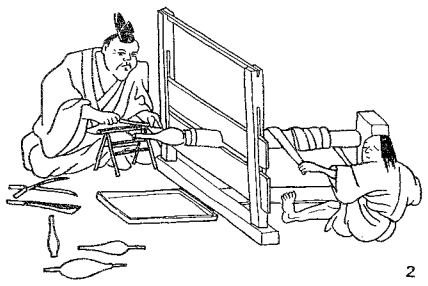


fig. 27　中世の木地師
1；『七十一番職人歌合絵巻』
2；『東北院職人歌合絵巻』　三熊思考本

2401　広く開く口縁部に低い高台をつけた杯Bで，須恵器の杯の形をとる。厚い底部と余り外傾しない口縁部とからなり，底部外縁に断面三角形の低い高台をつくる。内面と高台部とに轆轤目がみられ，とくに底部内面の凹凸の轆轤目は顕著。器の内外に生漆と下地粉を混合した下地塗りをほどこし，そのうえから黒漆をかける。横木取り，柾目。口径 13.8 cm，高 4.2 cm。ケヤキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2402　杯B。灰釉陶器の杯に類似する。全体に薄手のつくり。薄い底部と外傾し端部が外反する口縁部とからなり，底部外縁に斜めに立上がる高台をつくる。下地塗りはなく，素地に直接黒漆をかける。高台内面に鉄銹が付着している。黒漆を塗ったのちの乾燥中についたものらしい。横木取り，柾目。復原口径 13.2 cm，高 2.8 cm。モクレン科。平城京左京一条三坊

＊　小林行雄『古代の技術』塙選書　1962年
p. 111～176
橋本鉄男『ろくろ』法政大学出版局　1979年
「漆製品出土遺跡地名表Ⅰ」『埋蔵文化財ニュース49』奈文研　1984年

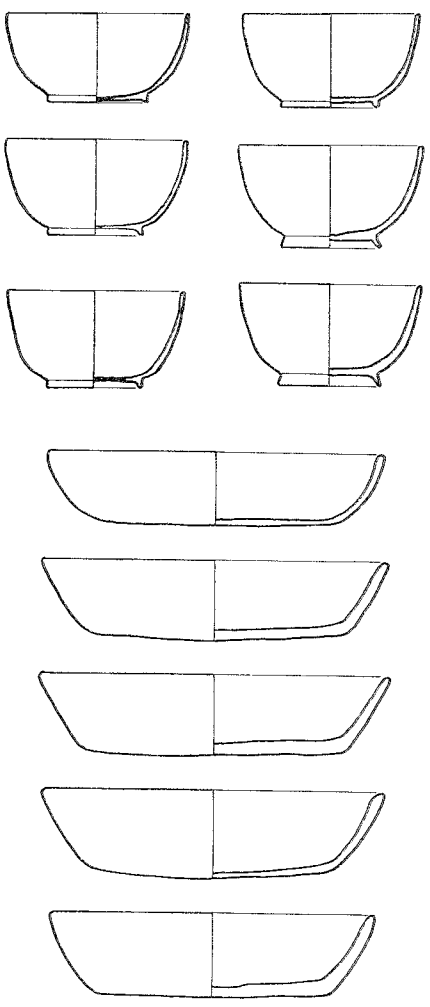


fig. 28　正倉院の漆食器
（前掲『正倉院の漆工』実測図3・6　1：4）

SD650出土。9世紀前半。水漬。奈文研保管。

2403　皿B。平坦な底部と外反する口縁部とからなり，底部外縁に高台をつくる。薄手の器で，器壁の厚さは 1.12 mm にすぎない。口縁端部は大きく外反し，底部外縁に直立する高い高台をつくる。全体に布着せし，その上に黒漆をかける。内面に顕著な使用痕跡がのこり，磨りガラス状の曇りを呈する。横木取り，柾目。口径 21.6 cm，高 3.6 cm。ケヤキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。水漬。奈文研保管。

2404　口縁端部が小さく外反する。底部外縁は刳りぬいていない。底部外面以外は下地塗りを行い，全体に黒漆をかける。底部外面の一部に朱漆が付着している。横木取り，板目。口径 15.0 cm，高 2.9 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G 処理済。奈文研保管。

2405　皿B。灰釉陶器の形をとる。高台は疑高台で外面が四面をなす。素地の上に下地塗りを行い，全体に黒漆をかける。外面中央に黒漆で「辛」の字をかく。横木取り。口径 20.0 cm，高3.2 cm。樹種未同定。平安京右京西市跡ND73-2-L-54 SD12出土。9世紀中葉。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

2406　皿A。平坦で広い底部と短い口縁部とからなる。全体に黒漆をかけるが，底部内面では漆塗のうえから轆轤目がよくわかる。横木取り。口径 20.0 cm，高 2.5 cm。カツラ。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。8世紀後半～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

2407・2408　皿A。木心のうえに布着せし，内外ともに黒漆をかける。2407 の底部外面には，使用による磨滅痕跡がある。横木取り。口径 18.6 cm，高 2.7 cm。広葉樹。平城宮 6AAI 区 SD3410 出土。8世紀後半。水漬。2408は横木取り，柾目。口径 17.0 cm，復原高 2.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3050出土。8世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。

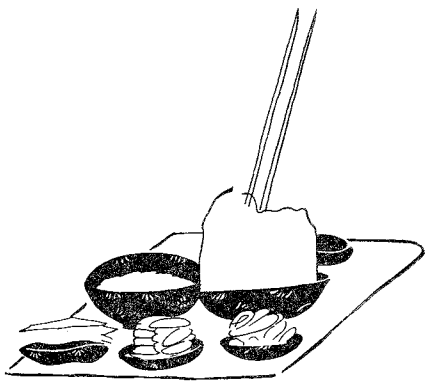


fig. 29　食膳　『病草子』

2409・2410　皿A。木心のうえに外面全体と口縁内面のなかほどまで麻らしい布着せを行ったのち全体に黒漆をかける。2409は底部内面に刃物による損傷がある。横木取り，板目。口径18.5 cm，高 1.9 cm。樹種未同定。P. E. G.処理済。2410は横木取り，板目。口径 19.2 cm，高1.8 cm。ケヤキ。水漬。以上，平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。奈文研保管。

2411　皿A。素地に直接，厚く黒漆をかける。柾目板を横木取りにとる。口径 12.4 cm，高 1.8 cm。ケヤキ。平安京右京三条三坊十町木棺墓出土。10世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

2412　小型の皿A。口径 9.1 cm，高 1.4 cm。樹種未同定。滋賀県湖西線関係遺跡ⅣD区出土。12世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。

2413　小型の皿。内面と口縁部外面を轆轤挽きし，低い台をつくりだす。底部外面に鑿ハツリの痕跡がある。内外ともに黒漆をかける。口縁部対称位置の内外にわたって，朱漆を筆先によって点描している。口径 9.6 cm，高 1.3 cm。樹種未同定。京都府下畑遺跡SE01出土。12世紀～13世紀。水漬。京都府埋文保管。

2414　椀A。内弯する口縁部と偏平な底部とからなる。素地に下地塗りしたのち全体に黒漆をかける。横木取り，柾目。口径11.9 cm，高 5.0 cm。広葉樹。平城宮6AAF区SK3137出土。770 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2415　椀A。白木の挽物椀で，底部の状況は不明。縦木取り。口径 10.2 cm，復原高 4.5 cm。カヤ。長岡宮7AN5地区SD3100出土。784年～794年。水漬。京都府教委保管。

2416・2417　椀B。低い高台がつき，口縁部はわずかに内弯している。2416 は内外ともに朱漆をかけ，底部外面に黒漆をかける。内面に塗りむらが目立つ。横木取り，板目。口径13.2

cm，高 3.4 cm。ケヤキ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-L-12 SD07出土。14 世紀～15 世紀。P. E. G. 処理済。2417 は内面と口縁部外面に朱漆をかけ，底部外面に黒漆をかける。横木取り，柾目。口径 11.2 cm，高 2.9 cm。サクラ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-41 SD11B出土。14 世紀～15世紀。以上。水漬。京都市埋文研保管。

2418　高台付きの小椀。内外ともに黒漆塗り。外面の一部に朱漆の上絵らしきものがある。轆轤目がよくのこる。横木取り。口径 8.8 cm，高 2.7 cm。樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-44 第 3 トレンチ濠第 9 層出土。12世紀～13 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

2419　高台付きの小椀か。底部が小さく，口縁部が外反する。全体に布着せしたのちに上塗りを行う。内朱，外黒。外面の一部に朱漆が付着している。横木取り，柾目。口径8.6cm。ケヤキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2420　佐波理形の椀。口縁部を少しく外反させ，器壁外面の中位に節状の稜線をめぐらす。底部の外縁に断面が三角形に近い高台をつくりだす。素地に下地塗りをほどこしたのち全体に黒漆をかける。木心をさけた縦木取り。口径 13.8 cm，高台 7.0 cm。樹種同定不能。長岡京左京二条二坊六町SD5102出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

2421　蓋付きの椀か。印籠抉りにした口縁をもつ。内外面に下地として麦漆を塗り，布着せののちに墨をいれた黒漆を塗っている。縦木取り。口径，高さともに不明。ホオノキ。平城宮6ABO区SE311B出土。9 世紀前葉。水漬。奈文研保管。

2422　高台付きの椀か。口縁部を外反させ，内面に朱漆，外面に黒漆をかける。縦木取り。口径 15.0 cm。平安京右京西市跡ND73-2-L-54 A区第 5 層出土。9 世紀中葉。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

2423　高台付きの大椀。高い高台をつける。下地塗りをほどこさず，内朱外黒の漆をかける。外面の下縁下部に横方向で朱文字 2 字をいれるが，判読不能。横木取り。復原口径 17.5 cm。復原高 6.7 cm。ケヤキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2424　高台付きの椀。口縁部がわずかに外反し，底部外縁に断面台形の高台をつくる。全体に黒漆をかけ，内面と体部外面に朱漆をかけるが口縁端部のみを黒く塗りのこしている。底部内面中央に朱漆で「△」印をかく。横木取り，柾目。口径 13.7 cm，高 4.3 cm。ケヤキ。京都府鳥羽離宮跡ND84-L-12 SD07出土。14 世紀～15 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

2425　高台付きの椀。口縁部は垂直気味に立上り，端はとがり気味におわる。高台は擬高台で，外縁に凹線をほり中央部を少し窪ませる。底部外面には漆をかけず，それ以外に黒漆をかける。底部外面中央に「十二」の線刻字がある。横木取り。口径 15.5 cm，高 5.8 cm。トチノキ。京都府古殿遺跡Dトレンチ SD01 出土。12 世紀～13 世紀。水漬。京都府教委保管。

2426　高台付きの椀。口縁部は斜めに立上り，外開きの高台をつくりだす。内朱外黒の漆塗りで，器壁外面の相対する 2 個所に朱漆による文様痕跡をとどめる。木心をさけた横木取り。口径 13.6 cm，高 6.5 cm。樹種未同定。滋賀県野畑遺跡SE01出土。8 世紀後葉～9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。滋賀県教委保管。

2427～2430　高台付きの椀。口縁部はわずかに内弯し，底部に円盤状の擬高台をつくりだす。底部外面の外縁に凹線をいれ中央を窪めるものもあるが，ともに白木の状態。底部外面を除く部分に黒漆をかけ，口縁部の相対する 2 方の内外ともに朱漆の点描をほどこしている。いずれも横木取り。2427；口径 14.1 cm，高 5.1 cm。2428；口径 15.0 cm，高 4.8 cm。2429；口径 16.0 cm，高 5.5 cm。2430；口径 15.1 cm，高 4.7 cm。以上，樹種未同定。京都府下畑

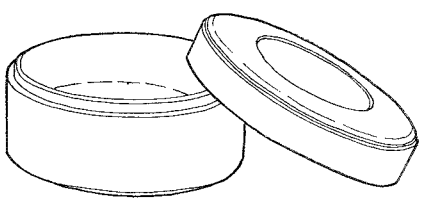


fig. 30　正倉院の合子　（前掲『正倉院の木工』図版71）

遺跡SE01出土。12世紀～13世紀。水漬。京都府埋文保管。

2431・2432　高台付きの椀。口縁部は斜めに立上り端部でかすかに外反し，底部に中窪みの擬高台をつくる。下地加工をほどこさずに，底部外面を除く他の部分に黒漆をかける。2431；口径 15.7 cm，高 5.0 cm。トチノキ。2432；口径 16.1 cm，高 6.0 cm。ケヤキ。以上，京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43 SD04出土。12世紀～13世紀。水漬。京都市埋文研保管。

2433　合子の身。直立する器壁に上底風の底をつくる。器壁外面には5条の凸帯を挽きだし，口縁端部に印籠抉りをほどこす。全体に黒漆をかけている。径 9.1 cm，高 2.3 cm。横木取り。樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-H-52 SD01B出土。14世紀～15世紀。水漬。京都市埋文研保管。

2434　小型の薬壺。扁球形の体部に直立する短い口縁と低い高台をつけた小型の壺。X線写真の調査によって，口縁部と体部を別々に挽き，接合したことがわかる。肩部は水平面をなして幅が狭く，胴部との境に稜がつく。内外全面に黒漆をかける。素地や下地加工については不明だが，木胎に布着せしたものではなさそうである。外観では傷やひび割れがみえないが，X線写真で口縁にひび割れがあり，素地の製作時に生じたものとおもわれる。心去り材の縦木取りか。径7.0 cm，高 3.75 cm。樹種同定不能。平城京左京八条三坊九坪 SE1230 出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

2435　小型の薬壺。扁平な体部に直立する口縁と大きく外方に広がる高台とをつくる。漆をかけない白木作りであり，轆轤目をよくとどめている。横木取り。径 5.9 cm，高 2.7 cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

2436　托付壺。托の上に扁平な小壺をのせた状態を1木から挽く。壺の口縁部は内弯し，底部に裾広がりの高台風突帯をめぐらす。托は口縁部がわずかに斜めに立上がり，中窪みの擬高台をつくりだす。全体に黒漆をかけるが，壺の内面に漆がこびりつく。心去り材を縦木取りしたもののようである。これを鉄鉢（底の尖った鉢）をのせる托にあてるかんがえもある*。径8.5 cm，高 4.8 cm。樹種同定不能。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。8世紀後半～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

2437　蓋。木心が腐蝕するが，内外の漆面がよく保存された状況で出土した。縁部内面の内寄りに反（かえ）りをつけ，頂部に宝珠つまみをつくる。木心のうえに布着せし全体に黒漆をかける。横木取り。径 16.5 cm，復原高 2.0 cm。樹種同定不能。平城京 左京三条二坊六坪SD1525出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済，漆補修。奈文研保管。

2438　蓋。縁部内面の内寄りに反りをつけ，頂部に宝珠つまみをつくる。内外とも木心のうえから直接黒漆をかける。横木取り。径18.0 cm，復原高3.7 cm。広葉樹。平城宮 6AAI区SD 3410出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

2439　蓋。縁部内面の内寄りに反りをつけ，頂部に宝珠つまみをつくる。いま反りの部分を欠損。内外ともに木心のうえに直接黒漆をかける。横木取り。使用中に二つに破れたらしく布と漆で補修している。径18.6cm，復原高2.6 cm。ケヤキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

2440　蓋。笠形の頂部に輪状のつまみをつけ，縁端部内面の内寄りに低い反りをつくる。頂部と縁部との境に稜線をほどこす。内外ともに下地加工を行わず，直接黒漆をかける。縦木取り。径 14.4 cm，高 2.0 cm。トチノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。水漬。奈文研保管。

＊　楢崎彰一氏の教示

2441　蓋。外面の頂部を一段高い円板状につくり，縁部がゆるやかに下る。縁部の内面には直立する輪状の反りをめぐらす。反りの内側は平坦面をなす。木目をつぶす程度に薄く下地を塗り，鉄でくろめた漆をかけている。縦木取り。径 13.6 cm，高 2.2 cm。ヒノキ。平城宮 6ABO区SE311B出土。9 世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

2442　蓋。頂部から縁部までほぼ水平にし，頂部を円板状に一段高くし，中央につまみをつくるのであろう。縁部の内面に直立する反りをつくる。全体に下地塗りを行うが，頂部外面で厚く，反りの部分では薄い。全体に黒漆をかける。つまみは欠損。縦木取り。径5.7 cm，現存高 1.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2443　蓋。平坦な頂部と直立する縁部からなる。縁端部内面に段をつくり，合せ口とする。頂部から縁部への移行部はまるく削る。木心に直接黒漆の上塗りを行うが，とくに縁端部が厚い。粗い轆轤目が漆膜をとおして観察できる。頂部の中央は 2 次的に刳りぬかれているが，本来は宝珠つまみがつくのであろう。横木取り，板目。径 20.9 cm，現存高 3.1 cm。クスノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2444　蓋。平坦な頂部に直立する縁部をつくる。漆をぬらない白木の挽物。心持材の縦木取り。径 9.4 cm，高 1.3 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2445　蓋。直立する縁部と曲面を描く頂部とからなり，その境に稜線がはいる。腐蝕が著しいため判然としないが，轆轤挽きの白木製品であろう。横木取り。板目。径 13 cm 内外，高 3 cm 内外。ヒノキ。平城宮6ABE区SA3777出土。753 年頃。水漬。奈文研保管。

2446　蓋。直立する高い縁部と平坦な頂部とからなる。全体に黒漆をかける。横木取り。径 10.0 cm，高 5.0 cm。トチノキ。長岡宮7AN5地区SD3100出土。784 年～794 年。水漬。京都府教委保管。

2447　蓋。笠形の頂部に高い縁部をつくる。いわゆる印籠蓋。頂部に宝珠形つまみがつくのであろう。下地加工はないが，黒漆の上塗りは内外ともに厚い。縦木取り。径 11.9 cm，現存高 8.5 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2448　高杯。脚部と杯部の一部をとどめる。脚部の裾端は斜めに立上がり，外面の内寄りに段がつく。内面は凹面をなす。脚部と杯部の曲折部に凹線をめぐらす。全体に黒漆をかける。縦木取り。脚部径 7.5 cm，現存高 5.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK3137出土。770年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2449　高杯。白木の挽物。杯部の口縁が斜めに立上り，底部との境に段がつく。脚部は裾端を欠き，内刳りをいれていない。未完成品の可能性がつよい。横木取り，板目。復原口径18.2 cm，高9.1 cm。トチノキ。平城京左京八条三坊九坪SD1300出土。8 世紀後葉～9 世紀前葉。水漬。奈文研保管。

2501　壺。高台をつけた底部と体部の下半分をとどめる。鉢形になる可能性もある。木地の腐蝕が著しい。底部は厚く，轆轤目が顕著。下地加工はほどこさず，内外に黒漆を直接かける。内面の漆塗りは外面にくらべて粗い。縦木取り。現存径 22.7 cm，現存高 8.7 cm。広葉樹。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

2502　壺。平底にやや外開きの体部をつけ，相立する口縁に蓋受け部をつくる。白木作り。縦木取り。樹種未同定。径 12.3 cm，高 5.9 cm。長岡京左京四条三坊三町ND93-4-A-54 SD 451出土。784年～794年。水漬。京都市埋文研保管。

2503　壺。広口短頸の小壺。短く外にふんばった高台がつく。須恵器に同じ形態のものがある。白木作り。心持材を縦木取り。径 12.1 cm，高 9.1 cm。マツ属(二葉松類)。平城宮6AAF区SD3297出土。8 世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

2504　鉢。平底の円筒形につくる。体部外面は轆轤挽き。底部外面は釿ハツリ。内面は刳りぬきで整形。体部中位に 1 円孔をあける。白木作り。心去り材を縦木取り。口径 15.1 cm，高 12.0 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK3137出土。770 年頃。水漬。奈文研保管。

2505　鉢。平底に体部が直立する浅い鉢。底は厚く側壁は薄く丁寧な調整である。白木作り。縦木取りか。径 21.0 cm，高 7.5 cm。トチノキ。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。8 世紀後半～9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2506　蓋。平坦な頂部にやや外開きの縁部をつくり，それぞれに 2 条 1 対の細刻線をめぐらす。頂部は欠損するが，つまみがついた可能性がある。また，縁部の細刻線の間に 1 円孔をあけている。白木作り。縦木取り。径 10.0 cm，現存高 6.1 cm。サクラ亜属。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。8 世紀後半～9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2507～2512　高台付きの皿。平坦な底部に低い口縁部がつく。明瞭に高台をつくりだすものと，底部外面を轆轤挽きしない擬高台とがある。特殊な 2511 をのぞく皿類は後述の高台のない皿をふくめて，直径によりA・B・C・Dの 4 類に区別でき，高台のつくものはA類（径 29 cm 内外）にはいる。いずれも白木作りで横木取り。2507 は直立する高台をつけ，内面に刃物痕がつく。復原口径 27.3 cm，高 2.1 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。2508 は内外ともに轆轤目がよくのこる。径 27.8 cm，高 2.8 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。水漬。向日市教委保管。2509 は外にふんばった低い高台がつく。復原径 29.2 cm，復原高 2.7 cm。ケヤキ。奈良県坂田寺跡SG100出土。7 世紀中葉。水漬。奈文研保管。2510 は口縁部を内面からわずか外開きにつくり，内面中央に低い円圏を挽きだす。この円圏の直径は皿の半径と等しい。底部外面には縁にそって低い高台をつくる。椀などの受け皿である。径 22.8 cm，高 1.6 cm。トチノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。2511は埋没時に変形しているが，もとは円形とみられる。内刳りを行わない擬高台がつく。轆轤挽きは内面から高台底部の縁にまでおよび，底部外面の大半は釿ハツリであり，中央に轆轤の爪痕がのこる。高 2.0 cm。トチノキ。平城宮6AAF区SK3137出土。770 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。2512 は低い高台がつき，底部外面中央に「＋」の焼印をおしている。径 29.7 cm，高 2.1 cm。トチノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。

2513　木皿か。浅い皿形をとるが通常のものとことなる。低い口縁部はわずかに外反し，底部外面の中央に円形の刳込みをいれる。轆轤整形は内外におよぶが刳込み部分は削りの加工にとどまる。皿にするよりも組合せ式高杯の杯部にあてたほうがよいかもしれない。白木作り。横木取り。口径 19.4 cm，高 1.75 cm。樹種未同定。平城宮6AAF区SD3154出土。747 年頃。水漬。奈文研保管。

2514　高台のつかない皿B類(径 24 cm 内外)。この種の器では器の内面から口縁部外面にかけて轆轤挽きし，底部外面は釿ハツリなど粗い加工にとどまる。このことから，底部外面には轆轤の爪痕をのこす例が多い。轆轤の爪痕は長さ 1 cm 内外で中央と上下左右に計 5 個ある。一方，底部の内外面に刃痕を無数にとどめるものも少なくない。また，基本的には横木取りで

ある。復原径 5.7 cm，高 3.0 cm。ケヤキ。平城宮6ALF区SD5200出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2601～2603　高台のつかない皿B類。2601 は復原径 24.1 cm，高 2.0 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784 年～794 年。水漬。向日市教委保管。2602 は口縁部外面に記号風の墨書がある。径 23.4 cm，高 1.9 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SD3297出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。2603 は径 23.4 cm，高 2.3 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1501出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

2604～2608・2701　高台のつかない皿C類(径 21 cm 内外)。2604 は径 21.8 cm，高 1.5 cm。ヒノキ。平城京西隆寺跡 SX035 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。2605 は全体に薄い黒漆か柿渋をかけたようである。径 21.7 cm，高 1.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。2606 は径 21.7 cm，高 1.4 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。水漬。高槻市教委保管。2607 は径 21.7 cm，高 1.6 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。2608 は径 21.6 cm，高 1.4 cm。ヒノキか。長岡京右京三条三坊今里車塚古墳周濠出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。2701 は底部外面に「ト」に円圏をめぐらした意味不明の焼印をおす。径 21.1 cm，高 1.4 cm。ケヤキ。平城京左京一条三坊SD 650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2702～2709・2801・2802　高台のつかない皿D類（径 18 cm 内外)。2702 は径 18.9 cm，高 2.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SD3113出土。8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。2703 は径 19.0 cm，高 1.2 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。2704 は径 18.8 cm，高 1.0 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。2705 は径 18.6 cm，高1.0cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。2706は径18.4 cm，高 1.4 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。2707 は径 17.8 cm，高 1.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。2708 は径 17.8 cm，高 1.2 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。2709 は径 18.4 cm，高 1.4 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。2801は径17.2 cm，高 1.2 cm。ヒノキ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。2802 は径 16.4 cm，高 1.8cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

B 刳　物 (*2803～2807・2901～2909・3001～3010*)　くりもの

材を刳りぬいてつくる容器。原則としては轆轤の回転が利用できない角形や楕円形の器であるが，円形の器もある。漆をかけるものはまれで，大多数は漆をかけない白木作り。横木取りの鉢などでは木裏面を口縁部にあてることを原則にしているようである。

2803～2807　皿。内外を粗い削りでととのえる。内外に刃痕をとどめる例が多い。轆轤にかける前の製品であろうか。2803 は径 20.3 cm，高1.5 cm。2804は底部外面に「三」の焼印らしきものがある。径 20.5 cm，高 1.2 cm。2805 は径 20.5 cm，高 1.0 cm。2806 は径 23.0

fig. 31　木鉢で洗濯　『扇面古写経』

cm，高 1.5 cm。以上，ヒノキ。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層出土。8 世紀中葉。自然乾燥。今津町教委保管。2807 は底部外面に墨で習書している。径 25.5 cm，高 1.5 cm。スギ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2901　鉢。平面形が円形に近い平底の浅鉢である。内面は底から口縁まで横方向に削って一段に仕上げ，外面は立上り部から 2 段に削りあげる。やや厚目の口縁部は上面と外側面を平坦に調整するほかは，内外ともに粗削り面をとどめる。板目材から横木取り。径22.3 cm，高4.6 cm。樹種未同定。平城宮6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2902　角鉢。方形の枡形に刳りぬいたもの。木口方向の一辺に把手の立上り部がのこる。器壁は厚く，底部内面に刃痕がついている。横木取り。径 15.8 cm，高 8.6 cm。ヒノキ。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7 世紀前葉。P. E. G. 処理済。滋賀県教委保管。

2903　片口鉢。器壁の一部をわずかに外傾させ，口縁部を一段低くして注口をつくる。注口の対称位置の口縁部に 1 孔をあける。現状では木栓でふさいでいるが，元来は柄をつけるためのものであろうか。内面に小さく焼焦げた痕跡がある。横木取り。径 15.0 cm，高 7.4 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

2904　角鉢。断面が台形を呈する浅い鉢である。口縁部外面はやや垂直に立上ったのち，傾斜して底部へ移行する。内面は斜めに削込み，底は平坦面をなす。口縁部木口方向の一隅に突起をつくり，上面からあけた孔に樺皮がのこる。本来は対角線上の隅にも対応する突起があり，樺皮巻きの把手をつけたのであろう。全体に粗い加工で，内面に刃痕がのこる。横木取り。長 19.0 cm，高 4.4 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SB7802出土。753 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2905　盤。平面形が円形で，平底に近い丸底がつく。内面が平坦な底にやや外開きの口縁が立上る。端部は丸くおさまり，突帯状に口縁をめぐる。口縁部外面の底部との境に 1 本の突帯をめぐらす。ただし，小破片からの推測のため復原は絶対的でない。横木取り。復原径 29.4 cm，復原高 5.6 cm。ケヤキか。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。兵庫県教委保管。

2906　楕円形槽。平面形は楕円形を呈し，内外とも平坦な底部から口縁部が斜めに立上る。短辺の両端に幅の狭い把手をつくりだす。横木取り。長 64.0 cm，高 11.9 cm。ケンポナシ。平城京左京九条三坊十坪SD1300。8 世紀後半～9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

2907・2908　円形鉢。ほぼ同じ形をとる平面形が円形の鉢。ともに内面に多数の刃痕があり調理用の器であることがわかる。2907は口縁の上部が厚く，破目を修理した補修孔がある。径 36.7 cm。2908 は口縁部を短く外に折り，厚い底部につながる。器の内外ともに明瞭な加工痕跡がみとめられる。横木取り。径 36.5 cm，高 15.6 cm。以上，クスノキ。兵庫県吉田南遺跡出土河川 1 (2907)・SD11 (2908)。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

2909　袋形容器。断面がほぼ楕円形になる心持材を縦木取りし一端粗く削ってまるくし，他端はやや斜めに切断し，その部分から内部を粗くえぐりとった容器状のもの。長軸にそって向かいあう位置の口縁に各 1 孔をあける。用途不明。径 6.0 cm，高 4.8 cm。エゴノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3001　長方形盤。腐蝕が進行してのこりがよくない。平面形は長方形で，長側面にくらべて短側面の傾斜がゆるやかであると推定される。両側面の上端は，幅の狭い面をつくる。横木取り。復原長 32.7 cm，復原幅 23.5cm，高 5.5 cm。ヒノキ。難波宮橋脚MP-2区SK10048出土。

7世紀前半。水漬。大阪市文化財協会保管。

3002　長方形盤。板材の内外とも平坦な底部から口縁部が斜めに立上る。口縁端部は長辺が薄く短辺が厚い。内外ともに釿ハツリによる加工痕をよくとどめている。横木取り。長 45.0 cm，幅30.1 cm，高7.4 cm。スギ。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層出土。8世紀中葉。水漬。今津町教委保管。

3003　長方形槽。心去りの割材を刳りぬいた槽(ふね)。両端木口は釿で粗く削り，平滑にととのえる。下面の四稜は面取りするが，両端の木口の下部は内方にむけて斜めに削り，下面は船底形を呈する。平面形が平行四辺形の刳りぬきを上面からいれる。内壁の四面は法をとり，とくに木口面の法には長い鑿の刃痕をとどめる。器壁の4隅には鑿で4孔をあける。3孔は外側面から内面の3隅に貫通，1孔は上面の一端から外側面に貫通する。縄などで吊すためのものか。横木取り。長 62.8 cm，幅21.1cm, 高 10.0 cm。ヒノキか。平城宮6AAO区SK2102出土。729年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3004　長方形槽。槽の断片。平坦な底部から口縁部が斜めに立上る。木口面の口縁が厚い。横木取り。高 9.2 cm。スギ。滋賀県 下寺観音堂遺跡SD06出土。7世紀後半～8世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

3005　円形浅鉢。平面形が円形で口縁と底との境がはっきりしない「ホウラク」のような浅い器である。口縁端部が厚く，側面が直立している。内面には鑿ハツリ，釿ハツリの加工痕をとどめる。底の中心に方形の孔があいており，高杯の杯部になる可能性がある。横木取り。径 52.4 cm，高 6.0 cm。スギ。滋賀県光相寺遺跡溝出土。8世紀後半。水漬。中主町教委保管。

3006　円形鉢か。平底に口縁の立上り部をのこす器の断片。外面は腐蝕しているが，内面に黒漆塗りの痕跡をとどめる。横木取り。現存高3.4cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3007　楕円形鉢。平底から口縁部が斜めに立上る楕円形の器。内面の刳込みには曲面をもたせ，口縁端部を厚くする。端部の上面は平坦で外縁に面取りをほどこす。外面には釿ハツリの痕がよくのこる。横木取り。現存長 53.6cm，現存幅 35.9 cm，高 10.6 cm。ヒノキ。奈良県布留遺跡出土。8世紀後半～9世紀。アルコール・エーテル法処理済。天理教調査団保管。

3008　円形鉢。平底から低い口縁部が斜めに立上る円形の器である。口縁部は厚く，左右一対の円柱状把手を木口方向に突起させている。横木取り。復原長65.0 cm，幅 49.5 cm，高8.1 cm。ケヤキ。兵庫県吉田南遺跡SD11出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

3009・3010　大型刳物の断片。3009 は横木取りの白木作り。厚 2.0 cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。3010 は内外に黒漆をかける。厚 1.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SD3410出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

C　円形曲物 (*3101～3116・3201～3218・3301～3311・3401～3414*)

えんけいまげもの

曲物とは薄板を円筒形に曲げて，両端の重合せ部分を樺皮紐で綴合せて側板とし，これに蓋板ないしは底板を接合した容器の総称。円形・楕円形・長方形など平面形をことにするものがある。側板は重合せ部分で綴合せるが，その方法は木目と直交する縦方向に数段の切目をあけ，ここに樺皮紐をとおして綴合せる。高さや直径の違いによって各種の綴じ方があるが，ここではつぎのような表記をとることにした。まづ側板の外面にあらわれる樺皮綴じを1列綴じ

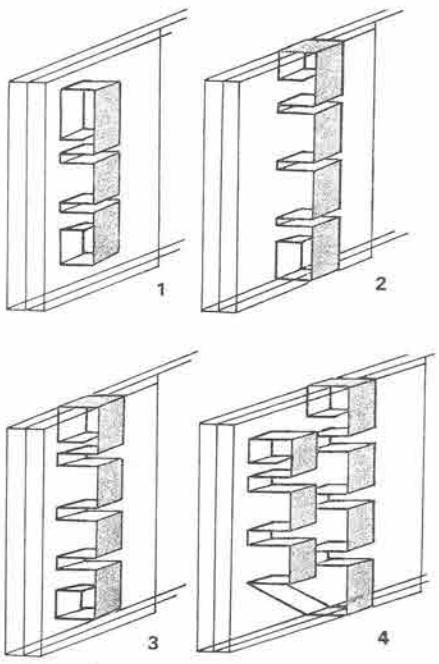


fig. 32　曲物の綴方模式図
1；1列内3段綴じ　2；1列外4段綴じ
3；1列上外下内4段綴じ　4；2列前外4段後内3段綴じ

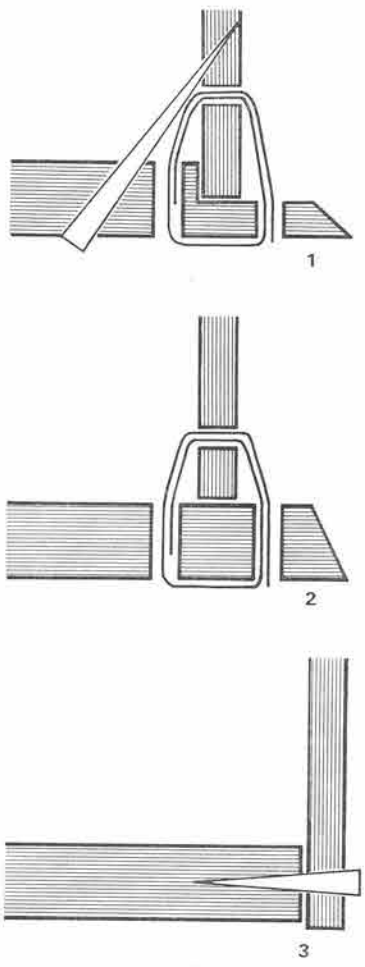


fig. 33　曲物の結合模式図
1；樺皮結合曲物A
2；樺皮結合曲物B
3；釘結合曲物

と2列綴じとに区分する。1列にしろ2列にしろそれぞれの列が何段の樺皮綴じで構成されているかによって，2段とか3段とよびわける。つぎに樺皮綴じの綴じはじめと綴じ終りが，側板の上下縁外側なのか，それとも上下縁の内側かによって，前者を外綴じとよび，後者を内綴じとよびわける。また上下縁のいずれか一方が外綴じで一方が内綴じの場合は例えば上外下内綴じとよぶことにする。このようにして以下では，1列内3段綴じ，1列外4段綴じ，1列上外下内3段綴じなどとよびわける。2列の場合には側板外面の端に近いほうを前列とし，遠いほうを後列として例えば前上外下内3段後内2段綴じとよぶことにする。

出土例の多い円形曲物は，製作技法からつぎの2種類に大別できる。1は円板のうえにひとまわり小さい側板をあてて，円板に2孔1対，側板に1孔の結合孔をあけ，樺紐で結合したもので，樺皮結合曲物とよぶ。樺皮結合曲物では，円板内面の周縁を一段低くつくり，ここに側板をたてて樺皮紐あるいは樺皮紐と木釘で結合するもの(樺皮結合曲物A)と，低い段をつくらさずに樺皮紐のみで結合するもの(樺皮結合曲物B)があり，技法的には前者が古い。2は円板を側板の内側にはめこみ，側板の上から木釘を打込んで結合したもので，釘結合曲物とよぶことにする。古代には主として前者が蓋，後者が身に用いられたようである。釘結合曲物の場合，側板を円筒形に曲げるため，内面にケビキをいれるのがつねである。ケビキは側板の上下縁に対して縦平行線にいれるもの，斜平行線のもの，この両者を組合せて斜格子にいれるものに大別できる。円形曲物は直径によって，分類することが可能であるとともに，側板の高さによって分類することが可能である。用途を限定しうるものは少ないが，柄を着装した柄杓が用途のわかるものである。材料は一般的にヒノキ板を用いており，樹種をとくに明示しないものはすべてヒノキである。以下の曲物もすべて同じ。

3101～3105　蓋板の周縁に低い段をめぐらして，側板を結合した樺皮結合曲物A。3101は周縁に鋭角の低い段をめぐらし，2個所に樺皮結合の痕跡をとどめる蓋板片。結合孔に樺紐と木釘がのこる。復原径18.8cm，厚1.0cm。奈良県和田廃寺遺物包含層出土。7世紀。水漬。奈文研保管。3102は蓋板の縁ぞいに浅い溝をほりこんで側板を結合する。側板の綴合せは2個所で行い，2列前下外上内1段後上外下内1段綴じと1列下外上内1段綴じである。蓋板の結合孔は円周を均分する4個所にあり，樺皮紐と木釘で結合する。木釘は蓋板上面の内側結合孔から側板まで斜めに打込んで，樺皮紐のゆるみをとめている。径19.2cm，高3.0cm。藤原宮6AJA区SD170出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。3103は蓋板周縁に直角の低い段をめぐらす。側板の綴合せは1個所で，2列前外1段後上外下内1段綴じである。蓋板の結合孔は円周を均分する4個所にあり，樺皮紐と木釘で結合。径19.1cm，高3.7cm。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3104は蓋板の破片，周縁に鋭角の低い段がある。厚0.7cm。藤原京左京七条一坊二坪SE2270出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。3105は蓋板周縁に直角の低い段めぐらす。側板の綴合せは2個所で行い，2列前外4段後上外下内1段綴じと1列下外上内3段綴じである。蓋板の結合孔は3個所にあり，樺皮紐と木釘を用いる。1対の結合孔は蓋上面から低い段をはずした内寄りにあけるが，外側の孔は低い段に向かって斜めにあけている。木釘は内側の孔の上面から打込み樺皮紐のたるみをとめている。径19.9cm，高4.9cm。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

3106～3116　蓋板の周縁に低い段をめぐらさない樺皮結合曲物B。3106は側板を欠く。蓋板の円周を4等分して結合孔を配置する。使用途中に割れたらしく，中央部の2個所に補修孔

fig. 34　携帯用曲物　『餓鬼草子』

がある。径 19.6 cm，厚 0.6 cm。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3107，側板の綴合せは2個所で行い，2列前下外上内1段後内1段綴じと1列内1段綴じである。結合孔は円周に対して4個所不均等にあける。径 19.9 cm，高 2.4 cm。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。3108，側板ののこりがわるく綴合せ個所不明。蓋板内面に側板位置を決める針書き刻線がめぐる。結合孔は4個所均等に配されている。径 19.7 cm，高 2.7 cm。平城宮6AAI区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。奈文研保管。3109，側板の綴合せは1個所2列しかのこらず，2列前下外上内1段後内1段綴じである。蓋板内面に針書き刻線がまわり，それにそって結合孔が5個所に均等に配置されている。径 20.5 cm，高 2.9 cm。平城宮6AAG区出土。8世紀。水漬。奈文研保管。3110，側板の綴合せは 2個所，2列前内2段後内1段綴じと 2列前上外下内 1段後内1段綴じである。結合孔は4個所で不均等に配する。径 19.4 cm，高 6.0 cm。長岡京左京二条二坊六町 SD 1502出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。3111，側板の綴合せは1個所，1列外3段綴じである。蓋板内面に刻線がめぐり，それにしたがってほぼ均等に4個所の結合孔がある。径 16.9 cm，高 5.4 cm。平城京左京一条三坊 SD650 出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3112，側板を欠く蓋板の破片。3個所に結合孔があり樺皮をとどめる。径 17.5 cm，厚 0.6 cm。和歌山県野田地区遺跡SD07出土。9世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。和歌山県教委保管。3113，蓋板の破片で，2個所に結合孔をとどめる。内面に刃痕が無数につくが，これは破損後につけられたようである。径 39.8 cm，厚 1.0 cm。アルコール・エーテル法処理済。3114，蓋板の破片で，1個所に結合孔をとどめる。復原径 18.4 cm，厚 0.4 cm。水漬。以上，平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。京都市埋文研保管。3115，側板を欠く。蓋板の中心に1孔をあけ，外縁を薄くし，5個所の結合孔を均等に配する。径 14.5 cm，厚 0.6cm。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3116，蓋板の破片。保存が悪く不確実だが，楕円形になる可能性がある。2個所に結合孔をとどめる。復原径 16.4 cm，厚 0.4 cm。平城宮6AAO区SK2101出土。750年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3201～3205　釘結合曲物のうち高さ 2.5 cm 内外のものである。木皿風に用いたのであろう。3201，側板の綴合せは1個所で，1列外2段綴じである。結合木針は3個所で不均等に配する。径 11.4 cm，高 2.1 cm。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3202，側板の綴合せは2個所，2列前外2段後内1段綴じと1列内2段綴じである。径 15.0 cm，高 2.0 cm。平城宮6ADI区出土。8世紀。水漬。奈文研保管。3203，側板の綴合せ2個所，2列前外2段後上外下内2段綴じと1列下外上内2段綴じ。結合孔は6個所，ほぼ均等に配する。底部外面に針書刻線が多い。径 17.3 cm，高 2.4 cm。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3204，側板の綴合せ1個所，1列上外下内2段綴じである。結合孔は5個所，ほぼ均等に配する。径 17.5 cm，高 2.6 cm。平城宮6AAC区SD3035出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。3205，側板の綴合せ1個所，1列外3段綴じである。結合孔は5個所，ほぼ均等に配する。径 18.6cm，高 2.2 cm。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

3206　側板だけがのこる。綴合せ1個所，1列外2段綴じである。木釘孔が 14個所，およそ上下2段にあけており，底板を補修した可能性がある。径 22.2 cm，高 3.4 cm。平城京右京五条四坊三坪SE20出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

1

2

3

fig. 35　曲物の飯桶
1・2；『春日権現験記』
3；『一遍上人絵伝』

3207　側板の下部にもう1重の箍(たが)をはめた釘結合曲物。箍の綴合せ不明。側板の綴合せ1個所，1列上外下内2段綴じである。結合孔は箍のうえからあけ，4個所。径 10.4 cm，高 3.8 cm。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

3208～3210　箍つき釘結合曲物のうち，高さ 5.5 cm 内外のもので，箍をはめるものがある。3208，箍の綴合せは2個所だが，1列外2段綴じと2列前内1段後内1段綴じを1本の樺皮でつないで綴じる。側板は内面に斜平行線のケビキをいれて曲げる。綴合せは2個所で，2列前外4段後内1段綴じと2列前内1段後内1段綴じであり，端の綴紐にそって綴目の位置をきめた刻線がある。箍に角孔をあけ2個所で底板を結合するが，側板からの木釘数は不明。径18.6 cm，高 5.8 cm。京都府大藪遺跡ND83-4-F-11流路出土。9世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。3209，箍の綴合せは1個所で，2列前内1段後下外上内2段綴じである。側板の綴合せは1個所で，2列前外4段後内1段綴じ。また綴紐とは別に側板に樺皮を1段とおしている。径 14.5 cm，高 5.5 cm。平城宮6ABB区出土。8世紀。水漬。奈文研保管。3210，箍の綴合せは1個所，1列内1段綴じ。側板の綴合せは1個所，2列前上外下内3段後下外上内 3段綴じである。結合孔は7個所で，ほぼ均等にめぐる。底板の内外面に無数の刃痕がつく。内面全体に柿渋様の黒塗りをほどこす。径 20.7 cm，高 5.3 cm。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3211～3213・3215・3216　釘結合曲物で高さ 6.0 cm 内外のもの。箍のつくものとつかないものがある。3211，側板の綴合せは2個所，2列前外4段後内1段綴じと1列内2段綴じであり，内面に斜格子のケビキをいれる。結合孔は4個所で，底板の中央に1対の結合孔をあけ樺皮をとどめる。中央の結合孔をはさんで，それぞれ1対の木釘孔（1孔には内から木釘がのこる）がある。杓子柄か蓋の把手をつけたのであろうか。径 13.5 cm，高 5.9 cm。奈良県布留遺跡FM20b2区出土。8世紀後葉～9世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。天理教調査団保管。3212，側板の綴合せは1個所，2列前上外下内3段後内1段で，重複部分の内面のみに斜格子のケビキをいれる。外面の綴合せ部に端の位置をきめた刻線がある。結合釘穴は6個所，不均等に配する。径 16.6cm，高 5.9cm。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3213，側板の綴合せは1個所，1列外4段綴じであり，内面に縦平行線のケビキをいれる。結合釘孔は5個所，ほぼ均等にめぐる。径 18.0 cm，高 6.3 cm。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。奈文研保管。3215，内面に漆が付着しており，漆塗り用の曲物。側板の綴合せは1個所，1列外3段綴じであり，重複部分の内面のみに斜平行線のケビキをいれる。結合釘孔は5個所，ほぼ均等にめぐる。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。径 17.8 cm，高 6.4 cm。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。3216，箍がつく。箍の綴合せは2個所で行い，1列外2段綴じと1列内1段綴じの樺皮紐とを連続している。側板の綴合せは2個所，1列下外上内2段綴じと1列内2段綴じである。結合釘穴は4個所で，ほぼ均等にめぐる。底の内面に刃痕がつく。径 21.4 cm，高 6.4 cm。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。兵庫県教委保管。

3214・3217・3218・3301　釘結合曲物の高さ 7 cm 内外のもの。3214，側板の綴合せは1個所，1列外3段綴じであり，重複部の内面に斜平行線のケビキをいれる。結合釘孔は5個所，ほぼ均等に配する。内面に厚く漆が付着している。径 17.1 cm，高 6.8 cm。平城京左京一条三坊十五坪SE495出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3217，側板の綴合せは1個所，2列前上外下内3段後内1段綴じで，重複部分の内側に縦平行線のケビキを行う。結

合釘孔は6個所，ほぼ均等に配する。内面は柿渋を塗ったような黒色を呈する。径17.5cm，高 7.0cm。平城宮6ADD区SB5955出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3218，側板の綴合せは1個所，2列前外7段後内2段綴じであり，内面の全面に縦平行線のケビキをほどこす。結合孔は7個所，不均等に配している。底板の内外面に刃痕がつく。径 22.0cm，高 7.2cm。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。3301，底板を欠く。側板の綴合せは1個所，1列外3段綴じであり，内面に斜格子のケビキをいれている。結合釘孔は7個所，不均等に配する。径12.3cm，高0.8cm。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

3302～3305　釘結合曲物で高さ10.0cm内外のもの。3302，底板を欠いているが箍をとどめる。箍の綴合せは2個所，1列外2段綴じと1列内1段綴じとを1本の樺皮で連続して綴じている。側板の綴合せは2個所，2列前上外下内5段後内4段綴じと1列上外下内4段綴じで，内面に斜格子のケビキをいれる。側板からの結合釘孔は2個所とおもわれる。箍からの結合釘孔は6個所，ほぼ均等にめぐる。内面全体に黒い柿渋状の塗装を行う。径 14.7cm，高 10.0cm。平城京右京五条四坊三坪SE20埋土出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。3303，側板の綴合せは1個所，1列外7段綴じである。内面に縦平行線のケビキをほどこす。底板との結合釘孔は4個所，不均等に配する。口縁部にも釘孔がある。径 17.4cm，高 10.5cm。滋賀県針江北遺跡SK10出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。3304，底板を欠くが，口縁部に箍をはめている。箍の綴合せは2個所，2列前内3段後内1綴じと1列内2段綴じで，とくに側板との結合は行っていない。側板の綴合せは1個所，1列外5段綴じで，内面に斜格子のケビキをほどこす。結合釘孔は6個所，ほぼ均等にめぐる。使用時に側板にひび破れが生じたらしく，ひび割れにそう6個所で，上下ともに数個の切目を矢印状にいれて補修を行うが，補修の樺皮紐などはのこっていない。径 22.2cm，高9.5cm。平城宮6ADF区SE1596出土。11世紀～12世紀。水漬。奈文研保管。3305，補修をうけた曲物。側板を2重にめぐらすが，外周の側板は内周の側板と箍との間に挿込み，内周の側板とはとくに綴合せていない。内周側板の綴合せは1個所，1列下外上内3段綴じで，内面に斜格子のケビキをほどこす。箍の綴合せ不明。底板との結合孔は，補修以前のもの，内側板を結合するもの，箍を結合するものの3種あり，最終的な箍からの結合釘孔は不均等に13個所めぐっている。径 24.3cm，高 10.6cm。平城宮6AAC区SE2600出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

3306・3308～3311・3401・3402　釘結合曲物で高さ13～15cm前後のもの。箍をはめるものとはめないものがある。3306，側板の綴合せは1個所，2列前外7段後内1段。箍の綴合せは2個所，1列内1段綴じと1列上外1段綴じである。底板との結合孔は9個所，いずれも箍から打込んだ木釘でとめる。内面全体に黒漆をかける。径 24.4cm，高 13.1cm。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3308，側板の綴合せは1個所，2列前上外下内4段後内1段綴じで，内面に斜格子のケビキをいれる。箍の綴合せ1個所，2列前外2段後内1段綴じ。底板との結合が箍から不均等に打込む16本の木釘で行う。径 29.5cm，高 14.3cm。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3309，側板を2重に綴合せたもの。内周の側板の綴合せは1個所，2列前外5段後内3段綴じで，内面に縦平行線のケビキをいれる。外周の側板は上下2枚にわかれている。破損しているが，上下外側板とも2列前外3段後内2段綴じで綴合せたようである。底板との結合は外周下段の側板から12本の木釘を不均等に打込んで行う。径 19.8cm，高13.9cm。

fig. 36　糸紡ぎ・野菜摘み・野菜売り
1；『春日権現験記』
2；『信貴山絵巻』
3；『直幹申文絵詞』

平安京西市跡 ND73-1-I-51 SE03出土。 9 世紀後半。 P. E. G. 処理済。 京都市埋文研保管。3310，箍をはめる。箍の綴合せは 1 個所，前外 3 段中内 1 段後内 1 段綴じ。側板の綴合せは 1 個所，1 列上外下内 9 段綴じだが，これとは別に 1 列内 2 段綴じがある。後者は樺皮の幅が広く外面でゆとりをもたせて綴合せているので 1 種の把手だろう。側板の内面には縦平行線のケビキをいれ，部分的に斜平行線のケビキをくわえる。底板と結合する木釘は 6 個所，ほぼ等間隔に配する。径 15.8 cm，高 13.8 cm。平城京左京一条三坊SD650出土。 9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3311，側板の綴合せは 1 個所，2 列前外 7 段後内 5 段綴じで，内面に斜格子のケビキをいれる。底板と結合する木釘は 4 個所，不均等に配する。径 15.9 cm，高 14.8 cm。平城宮6ALR区SD3236出土。775 年頃。水漬。奈文研保管。3401，側板の上下に箍をはめる。箍は上下とも幅広で，ともに綴合せ 2 個所，1 列外 3 段綴じと 1 列内 1 段綴じである。側板の綴合せは 1 個所，2 列前内 3 段後下外上内 4 段綴じで，内面に縦平行線のケビキをいれている。底板を結合する木釘は 6 個所，ほぼ均等に配する。径 21.0 cm，高 15.9 cm。平安京西市跡ND74-1-I-51 SE03出土。 9 世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。3402，側板の上下に箍をはめる。上箍はとくに樺皮で綴合せず，4 個所から木釘を打込んで側板に固定。下箍は 1 列外 3 段綴じである。側板の綴合せは 1 個所，2 列前上外下内 4 段後内 3 段綴じである。下の箍の下部に上下 2 段の木釘孔27があり，箍から底板を釘どめしたのが，当初のものと補修時のものとがのこったもののようである。内面全体に柿渋が付着しているようである。径 20.4 cm，高 14.0 cm。平城宮6ADD区SE7110出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3307・3403～3414　釘結合曲物で径 25 cm，高 20.0 cm 以上のもので，原則として箍をはめている。多くは井戸の俗に目玉とよばれる下枠あるいは井戸枠に転用されたもので，底板をぬいている。3307，側板の綴合せは 1 個所，1 列上外下内 9 段綴じのようであり，綴合せ位置をきめた刻線がある。側板内面に斜格子のケビキをいれ，黒漆を薄くかけている。底板は欠損し，木釘数不明。径 25.0 cm，高 20.0 cm。 平城京左京一条三坊SD650出土。 9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3403，側板の綴合せは 1 個所，2 列前内 4 段後内 2 段綴じで，内面に斜格子のケビキをいれる。底板を欠くが側板の下縁に11個所の木釘孔がある。径36.0 cm，高 20.0 cm。滋賀県針江北遺跡SE01出土。 9 世紀後葉～10 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。3404，下縁に箍がつくが，底板は井戸枠に転用したために除去されている。箍は 1 列内 2 段綴じ。側板の綴合せは 1 個所で，2 列前外 7 段後内 2 段綴じであり，内面に縦平行線のケビキをいれる。径 42.8 cm，高 20.7 cm。兵庫県吉田南遺跡河川 1 出土。 8 世紀後半～ 9 世紀。水漬。神戸市教委保管。3405，上下縁に箍をはめる。井戸枠に転用したため，底板を除いている。側板の綴合せは 1 個所で，2 列前上 4 段後下 4 段綴じであり，内面に縦平行線と斜格子のケビキをいれる。上箍は 4 個所で側板に木釘どめにし，下箍は19個所で木釘を打込んで底板と結合する。径37.0 cm，高 20.8 cm。大阪府郡家今城遺跡SE06出土。 8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。3406，上下縁に箍をはめる。上箍は 1 列外 2 段綴じであり，4 個所から木釘を打込んで側板に結合する。下箍は内 1 段綴じで，5 個所から木釘を打込んで底板に結合している。側板の綴合せは 1 個所で，2 列前上外下内 5 段後内 6 段綴じであり，内面に縦平行線のケビキをいれる。内径29.6 cm，高 23.3 cm。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。 8 世紀後半。水漬。奈文研保管。3407，上下縁に箍をはめる。上下の箍はともに 1 列外 3 段綴じで綴合せ，上箍に 7 個所，下箍に10個所の木釘孔がある。側板の綴合せは 1 個所，2 列前上外下内 5 段後内 3 段綴じで，内面に縦平行線と斜平行線のケビキをいれる。井戸に転用したので底板を

1

2

3

fig. 37　水桶
1・2；『春日権現験記』
3；『信貴山縁起』

ぬいている。径 37.6 cm，高 23.8 cm。藤原宮6AJK区SE3442出土。 8 世紀。水漬。奈文研保管。3408，上下縁に箍をはめた押圧痕跡をとどめる。側板の綴合せは 1 個所，1 列内 7 段綴じに推測できる。上縁に 7 個，下縁に 4 個の釘孔がある。 井戸の下枠に転用。 径 36.8 cm，高 26.3 cm。平城宮6ABB区SE551出土。 9 世紀か。水漬。奈文研保管。3409，下縁に箍をはめた押圧痕跡がある。 側板の綴合せは 1 個所， 2 列前内 3 段以上後内 3 段以上の綴じであり，内面に縦平行線と斜平行線のケビキをいれる。下縁に木釘孔があるが，井戸に用いたため底板をぬいている。径 41.8 cm，高 28.6 cm。長岡京左京四条二坊九町SE2714出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。3410，一方の縁を欠いており，図で下縁にするのが上縁になる可能性がある。側板の綴合せは 1 列外12段綴じであり， 内面に縦平行線のケビキをいれる。 径 39.5 cm，現存高 37.5 cm。兵庫県吉田南遺跡河川 1 出土。 8 世紀後半～ 9 世紀。水漬。神戸市教委保管。3411，上部を欠損し側板の綴合せ方法は不明。側板の内面に縦平行線と斜格子のケビキをいれる。下縁に箍がのこり，その綴合せが 2 列外 3 段綴じと 1 列内 1 段綴じであったことがうかがわれる。また，箍から打込んだ木釘孔が存在する。径 57.5 cm，現存高 13.8 cm。長岡京左京四条二坊九町SE2708出土。784 年～794 年。水漬。向日市教委保管。3412，上下に箍をはめる。箍の綴合せは，ともに 2 個所にあり， 2 列前外 2 段後内 1 段綴じと 1 列内 2 段綴じである。側板の綴合せは 1 個所， 1 列外 8 段綴じで，内面に縦平行線と斜平行線のケビキをいれる。下の箍に底板を結合した木釘がのこる。径 43.4 cm，高 30.0 cm。奈良県纒向遺跡井戸 14 出土。11世紀後半。水漬。橿考研保管。3413，上下縁に箍をはめる。上下の箍はともに 2 個所で綴合せ， 1 列外 3 段綴じと 1 列内 1 段綴じである。側板の綴合せは 1 個所， 2 列前上外下内 7 段後内 6 段綴じで，内面に縦平行線と斜平行線のケビキをいれる。上箍に 8 個所，下箍に12個所の木釘孔があり，下縁に底板がはめられていたことがわかるとともに，側板内面に底板の押圧痕跡をとどめる。径 47.5 cm，高 37.2 cm。平城京左京五条一坊四坪SE1081出土。 8 世紀中葉。水漬。奈文研保管。3414， 4 段の箍で強化し，側板と箍の間に 3 個所に板の添木を挿入している。箍の綴合せはいずれも 2 個所で， 2 列前内 3 段後内 1 段綴じと 1 列内 2 段綴じである。 側板の綴合せは 1 個所， 1 列内 8 段綴じで， 内面に縦平行線と 斜平行線のケビキをいれる。最下段の箍に24個所にわたる木釘孔があり，底板をはめたことがわかる。井戸枠に転用。径 47.3 cm，高 37.0 cm。奈良県纒向遺跡井戸 3 出土。11世紀後半。水漬。橿考研保管。

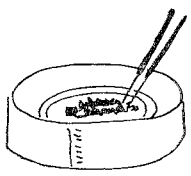
D　曲物柄杓（*3501～3509*）　まげもののひしゃく

円形曲物を身にして棒状の柄をとりつけたもの。身はいずれも釘結合の曲物。発見例は比較的少ないが，大小さまざまの形態をとる。

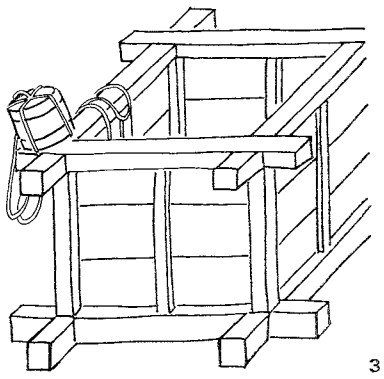
3501・3507　同一個体の身と柄。 身の側板の綴合せは 2 個所， 1 列外 8 段綴じと 1 列内 3 段綴じであり，内面に縦平行線のケビキをいれる。側板重合せ部分の上寄りに方孔をあけ柄孔にするが，柄の先端を挿入する孔は貫通していない。身の下縁に箍をつける。箍の綴合せは 2 個所， 1 列内 2 段綴じと 1 列内 1 段綴じで，外面で両者をつなぐ。底板との結合は，箍の外面から 4 個所に打込んだ木釘によって行う。柄はヒノキの割材からつくる扁平な細棒で基部の先端をとがらせ，側板内側の位置に孔をあけ木釘を打込んで身に固定する。身径 14.6 cm，同高 13.1 cm， 柄長 65.8 cm，同幅 2.0 cm，同厚 1.2 cm。平城宮6ABO区SE311B出土。 9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3502　曲物の身のみをとどめる。側板の綴合せは 1 個所， 1 列外 6 段綴じで， 内面に縦平行

1



2



3

fig 38　酒売り・火桶・釣瓶
1；『長谷雄草紙』
2・3；『春日権現験記』

線のケビキをいれる。側板の対応位置に長方形の柄孔をあけるが，上寄りの孔が大きく中位の孔が小さい。底板との結合は6個所から打込んだ木釘によって行う。径15.5cm，高11.6cm。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3503　身のみをとどめる。側板の綴合せは1個所，2列前上外下内5段後内3段綴じで，対応位置に長方形円形の柄孔をあけるが，一方は大きくて上寄りにあり，他の一方は小さく中位にある。側板外面の中位に朱塗の線が半周している。底板との結合は4個所から木釘を打込んで行う。径15.6cm，高14.5cm，平城京左京三条二坊十坪SE877出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3504　曲物の身のみをとどめる。側板の綴合せは1個所，2列前上外下内4段後下外上内4段綴じで，内面に斜格子のケビキをいれる。底板を欠損しているので，側板との結合方法は不明。側板の口縁部に箍をはめる。箍の綴合せは1個所，2列前外2段後内1段綴じであり，3個所から木釘を打込んで側板に固定。柄孔はともに方形を呈するが，口縁の箍からあけたほうが大きく，側板の中位にあけた孔が小さい。径23.0cm，高12.5cm。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。奈文研保管。

3505　曲物の身のみをとどめる。側板の綴合せは1個所，2列前上外下内4段後内3段綴じで，内面に縦平行線のケビキをいれる。柄孔は長方形と円形で，前者は大きく上寄りにあけ後者は小さく中位からわずか下にあけている。側板との結合は4個所から打込んだ木釘によって行う。なお内面全体に柿渋を塗っている。径14.6cm，高12.9cm。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

3506　身の側板と箍の破片から復原したもの。側板の綴合せは1個所，1列上外下内2段綴じであり，内面に縦平行線のケビキをいれる。箍の綴合せおよび底板との結合法不明。箍の中位と上寄りに円形の柄孔があり，それによって底寄りのほぼ水平に位置に柄を着装したことがわかる。復原径12.6cm，高6.1cm。平城京右京五条四坊三坪SE20出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

3508　柄の断片。割材を偏平な細棒に加工したもの。柄の先端をとがらし，身の側板内側にあたる部分に釘孔をあけており，径12cm内外の身につけられていたことがわかる。現存長29.2cm，幅2.0cm，厚1.2cm。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

3509　柄の断片。割材を丸棒状に加工したもの。曲物の身にはめる部分を細く削り，先端をさらに細める。着装部分の先端と基部に身の側板にとりつけた痕跡をとどめる。現存長35.0cm，握部径1.0cm。平城京左京三条四坊七坪SK1796出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

E　楕円形曲物（*3601～3609*）　だえんけいまげもの

樺皮紐結合曲物の1種で，楕円形の板に低い側板を結合したもので，一般に折敷（おしき）とよばれるもの。板を底にして各種の品物をのせたものであり，蓋になる可能性は少ない。円形曲物の場合と同じく，底板の周縁に低い板をめぐらして側板を結合する樺皮紐結合曲物Aと段をつけない樺皮紐結合曲物Bとに大別でき，前者のほうが古い技法である。

3601　楕円形曲物の側板である。綴合せは1個所，2列前内1段後内1段綴じである。四隅の屈曲部内面に斜平行線のケビキをいれ，下縁に底板を結合した紐孔が8個所，ほぼ均等に配

されている。上縁を欠くが樺皮綴じから高さが推測できる。井戸の下枠に転用されていた。長径 69.4 cm，短径 37.2 cm，復原高 8.6 cm。平城京左京五条二坊十四坪SE02出土。8 世紀中葉。凍結乾燥処理済。奈良市埋文保管。

3602　樺皮紐結合曲物Ｂ。一部を欠損するが全形をうかがうことは可能。側板の綴合せは１個所，２列前内１段後内１段綴じである。側板と底板との結合樺皮はすべてのこり，６個所で結合する。長径 22.6 cm，復原短径 14.0 cm，高 3.3 cm。兵庫県吉田南遺跡SD11出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

3603・3604　ともに樺皮紐結合曲物Ｂの底板片。結合孔があり樺皮紐をとどめているものもある。3603；結合位置をきめた刻線がある。現存長 24.4 cm，現存幅 3.2 cm。平城京右京九条一坊四坪SD950出土。8 世紀中葉。P. E. G. 処理済。3604；現存長 31.1 cm，現存幅 3.0 cm。平城宮6ABX区SD1900出土。8 世紀前葉。以上，奈文研保管。

3605～3609　ともに樺皮紐結合曲物Ａの底板片。いずれも大型品で，修理したことをしめす結合孔をとどめるものがある。3605は二次的に転用され，一部に切込みをいれたり，紐孔や補修孔に目塞ぎの埋木を行う。現存長 44.5 cm，現存幅 19.4 cm，厚 1.4 cm。平城宮 6ABY区SD1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3606は結合孔に樺皮紐をとどめる。現存長55.4 cm，現存幅 5.9 cm，厚 1.1 cm。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。3607；現存長 57.3 cm，現存幅 10.4 cm，厚1.1 cm。和歌山県野田地区遺跡SD07出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。3608・3609は同一個体の破片らしいが接合できない。表面に無数の刃痕をとどめる。長 67.4 cm，幅 20.4 cm 以上，厚 1.1 cm。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層。8 世紀中葉。水漬・自然乾燥。今津町教委保管。

F　長方形曲物（*3601～3612・3710～3709*）　ちょうほうけいまげもの

長方形の底板に低い側板を結合したもの。つくり方は基本的には楕円形曲物とかわらず，樺皮結合曲物Ａ・Ｂの別がある。いわゆる折敷（おしき）・折櫃（おりうず）とよばれるもの。

3610　完形の樺皮紐結合曲物Ｂである。側板の綴合せ１個所，２列前上外下内２段後内１段綴じである。内面四隅に深い斜格子のケビキをいれる。各辺の中央および四隅の計８個所に結合孔をあけ，底板の一対の孔とを樺皮紐で結合。底板は２枚の板を矧合せる。長 35.1 cm，幅 28.6 cm，高 10.4 cm。平城宮6AAB区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

3611　樺皮紐結合曲物Ａの底板片。結合孔と樺皮紐をとどめる。現存長 36.0 cm，現存幅 9.1 cm，厚 0.9 cm。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

3612　樺皮紐結合曲物Ｂの底板片。結合孔と樺皮紐をとどめ，矧合せの結合孔が２個所にある。長 36.4 cm，現存幅 18.5 cm，厚 0.7 cm。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀。水漬。兵庫県教委保管。

3701・3702　側板のほぼ完形品。樺皮紐による綴合せは，側板端の上下縁にＶ字形の切欠きをいれるにとどまり，綴目をあけていない。内面の四隅に縦平行線のケビキをいれるが，底板との結合孔を欠いている。底板を落とし込んだものか，底板を結合する以前の未完成品なのか不明。3702は側板を２重にし，綴合せ部分では３重になる。3701；長45.0 cm，幅32.2 cm。高4.2 cm。奈良県坂田寺跡SG100 出土。7 世紀中葉。水漬。奈文研保管。3702；長 42.2 cm，幅29.2 cm。兵庫県吉田南遺跡河川１出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。

3703～3705　樺皮紐結合曲物Ｂの底板片。樺皮紐をとどめる結合孔がある。3703は側板と

fig. 39　長方形曲物
1；『春日権現験記』　2；『病草子』　3；『鳥獣戯画』　4・6；『粉河寺縁起』　5；『扇面古写経』

の結合は長辺で3個所，短辺で1個所のようである。現存長34.5cm，幅32.2cm，厚0.4cm。3704は側板との結合は各辺とも2個所，計8個所で行ったようである。長35.6cm，現存幅23.5cm，厚0.6cm。以上，平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。3705は2片にわかれる同一個体のようだが，接合できない。現存長30.0cm，現存幅26.3cm。奈良県和田廃寺跡SX100出土。13世紀。水漬。以上，奈文研保管。

3706　樺皮紐結合曲物Aの底板片。一対の側板結合孔の内側孔に外面から木釘を打込んでいる。礎板に転用されており，接合できないが，各辺2個所で結合したようである。復原長36.5cm，復原幅32.5cm，厚1.0cm。平城宮6AAG区出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

3707　樺皮紐結合曲物Bの完形品。側板の綴合せは1個所，2列前上外下内1段後内1段綴じ，内面の四隅に縦平行のケビキをいれる。底板は方形で，各辺2個所計8個所で樺皮紐結合を行っている。一辺長32.2cm，高3.3cm。平城宮6ABO区SE311B出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3708・3709　樺皮紐結合曲物Bの底板片。結合孔と樺皮紐がのこる。3708；長58.4cm，現存幅11.3cm，厚0.7cm。和歌山県野田地区遺跡SD06出土。9世紀後半～10世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。和歌山県教委保管。3709；長52.4cm，現存幅11.3cm。平城京左京一条三坊SD650出土。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

G　把手・枠（*3801～3816*）　とって・わく

容器類の把手や枠に想定できるものがある。それらはすべて組合せ状態で発見されたものでなく，あくまでも推測の域にとどまる。

3801～3811　把手に想定しうるもの。細板の両端を出枘風に細めたもの，木釘孔や枘孔をあけたもの，中央部に抉りをいれたものなど，様々の形をとる。両端を手桶の支柱のような枠材に挿入したもののようである。いずれも粗製品。3801；長15.2cm，幅1.7cm，厚0.8cm。ヒノキ。3802；長16.2cm，幅1.8cm，厚0.8cm。ヒノキ。以上，藤原京右京七条一坊二坪SE2270出土。694年～709年。水漬。3803；長25.0cm，幅2.05cm，厚1.2cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK3139出土。770年頃。P. E. G. 処理済。3804；長27.9cm，幅3.3cm，厚1.3cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。3805；長28.0cm，幅3.9cm，厚1.4cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SK2101出土。750年頃。水漬。3806；長27.0cm，幅3.0cm，厚0.8cm。ヒノキか。平城宮6AAF区SK3139出土。770年頃。P. E. G. 処理済。3807；長29.0cm，幅3.3cm，厚1.0cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SK2101出土。750年頃。水漬。3808；長23.6cm，幅4.3cm，厚0.9cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。3809；長28.0cm，幅3.4cm，厚2.3cm。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。3810；長35.5cm，現存幅3.5cm，厚1.1cm。樹種未同定。水漬。3811；長30.3cm，幅4.8cm，厚1.5cm。スギ。アルコール・エーテル法処理済。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。向日市教委保管。

3812・3813　具体的な根拠はないが，同形の部材を十字に組合せたものを2組つくり曲物の底と蓋におき，4方を紐などで固定する一種の枠木ではあるまいか。3812；長31.2cm，幅2.9cm，厚1.6cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SE311B出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。3813；長52.0cm，幅8.0cm，厚1.3cm。ヒノキ。平城京6ABQ区SE9210出土。10世紀。P.

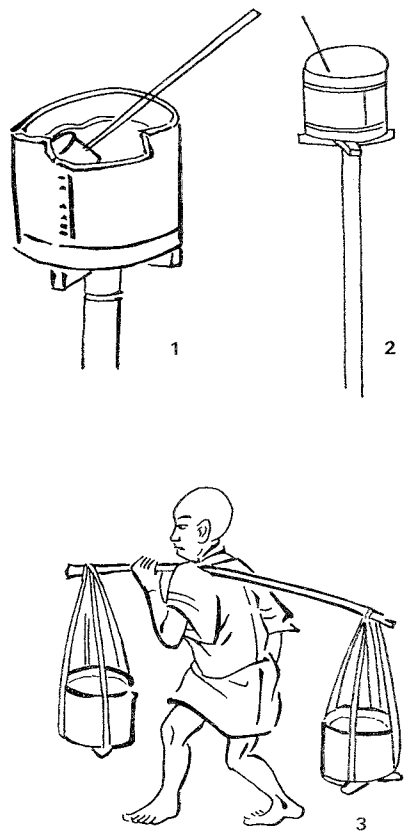


fig. 40　水桶の台
1；『病草子』
2・3；『法然上人絵伝』

E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

3814　蔓巻の把手。甕形土師器にこの種の把手をつけたものがある。５～９本の蔓を心にしたうえからコイル状に巻いたもの。両端の構造不明。現状幅 33.5 cm，高 16.0 cm，径 2.0×1.4 cm。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。奈文研保管。

3815　曲物容器の枠に想定するもの。２枚の長方形の材からなる。それぞれの両端に方孔をあけ，その内側上面に弧状の溝をほりこむ。この材を２枚中央で相欠きをいれて組合せ，中心に六角形の孔をあける。２枚の組合せの入隅部分にはあたかも紐でしばったために生じたような押圧痕跡があり，両端の方孔部分の上下面にも横方向に押圧痕跡がある。おそらく両端の溝のなかに箍をつけた曲物容器の側板をはめこみ，方孔に縦の枠木をはめこんで木栓でとめたものであろう。１本の長 28.3 cm，幅 3.2 cm，厚 1.7 cm。スギ。平城宮6ABO区SE311A出土。８世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

3816　3815 と同様のもの。材の両端を出枘状につくり，相欠の中央に孔をあけていない点がことなる。同時に角材の両端に枘孔をあけたものが出土しており，これと組合さる可能性がつよい(6824)。現存長25.2 cm，幅2.7 cm，厚 1.7 cm。アカガシ亜属。三重県下郡遺跡井戸出土。９世紀前半。上野市教委保管。

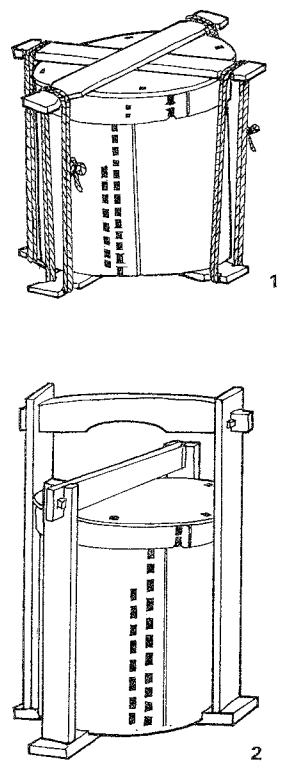


fig. 41　把手と枠の復原

H　蓋　　板 (*3901～3920・4001～4019・4025・4026・4032*)　ふたいた

土器類などの容器の蓋としてに用いたものに想定する。形態や大小はさまざまであり，概して粗製品である。

3901～3906　平面隅丸方形にかたどるもの。加工は周縁をととのえる程度にとどまり，表裏の区別はない。3901；長19.4 cm，幅19.0 cm，厚1.1 cm。スギ。3902；長 18.3 cm，幅 14.5 cm，厚 1.5 cm。スギ。以上，平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。凍結乾燥処理済。3903；長 18.6 cm，幅 14.2 cm，厚 1.3 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。９世紀前半。P. E. G. 処理済。3904；長 18.0 cm，幅 14.3 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。以上，奈文研保管。3905；長 15.2 cm，現存幅 6.9 cm，厚 0.5 cm。スギ。和歌山県野田地区遺跡 SD04 出土。11世紀中葉。アルコール・エーテル法処理済。和歌山県教委保管。3906；長 15.7 cm，現存幅 5.6 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。９世紀前半。水漬。奈文研保管。

3907～3920　円板状のもの。3912 は唐草文風の文様を墨で描き，3918 にも表裏に墨描き文様がある。3910・3913は曲物の底板を転用したもの。3914は片面を甲高にととのえて，表裏の区別をつけたようである。3907；径20.5 cm，厚0.6 cm。ヒノキ。P. E. G. 処理済。3908；径 17.7 cm，厚 0.9 cm。スギ。真空凍結乾燥処理済。以上，平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。奈文研保管。3909；径 17.6 cm, 厚 0.5 cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。水漬。向日市教委保管。3910；径 15.8 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。９世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3911；径 16.2 cm，厚 0.8 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784 年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。3912；現存径 15.6 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮 6AAC区SD3050出土。８世紀後半。水漬。奈文研保管。3913；径 13.5 cm, 厚 0.7 cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。９世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。3914；径 11.1 cm，厚1.0 cm。樹種未同定。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

3915；径10.9cm，厚 1.6cm。クスノキ。平城京右京九条一坊四坪SD950出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。3916；径 9.4cm，厚 0.5cm。樹種未同定。3917；径 9.0cm，厚0.7cm。ヒノキ。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。3918；現存径 7.0cm，厚 0.4cm。ヒノキ。藤原宮6AJK区SD260出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。3919；径 6.4cm，厚 0.4cm。樹種未同定。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。奈文研保管。3920；径 6.4cm，厚 1.3cm。スギ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

4001～4004　円板の中央にやや大きめの円孔をあけたもの。4004が竹管を樺皮で固定していることからうかがわれるように，棒状のつまみを縛りつけたらしい紐孔をとどめる。4001～4003は轆轤挽きの皿を蓋に転用したもの。中央に孔をあけることから蒸器のサナに比定することも可能である。4001；現存径 17.4cm，厚 0.6cm。樹種未同定。京都府大藪遺跡流路出土。8世紀後葉～9世紀。P. E. G. 処理済。山城資料館保管。4002；径 18.6cm，厚 1.0cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4003；現存径 21.6cm，厚 0.7cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。4004；径 15.8cm，厚 0.8cm。ヒノキ。奈良県白亳寺遺跡池1出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。

4005～4007　円板に1対ないしは2対の紐孔をあけたもの。紐ないしは棒材を固定して把手をつけたのであろうか。4005；径 15.5cm，厚 0.6cm。ヒノキ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。4006；径 12.8cm，厚 0.6cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。4007；径 5.5cm，厚 0.6cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

4008～4017　円板の中心に孔をあけたもの。上面にを甲高にしたり(4009)，縁を薄く削込んだもの(4008・4010)があり，ときには上面に放射状の針書き刻線いれるもの(4011～4013)がある。円形曲物の底板を転用するものが多い。これも，樺皮紐などを孔にとおしてつまみにしたのであろう。一方，蒸器のサナにあてる説もある。4008；径 12.2cm，厚 0.9cm。樹種未同定。長岡宮7AN5地区SD3100出土。784年～794年。水漬。京都府教委保管。4009；現存径 16.9cm，厚 1.7cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。4010；径 15.1cm，厚 1.0cm。アカガシ亜属。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。4011；裏面に墨書の文字があるがよめず。径 16.5cm，厚 0.95cm。樹種未同定。平城宮 6AAI 区 SD3410 出土。8世紀後半。水漬。4012；現存径 15.2cm，厚 1.1cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。4013；現存径16.8cm，厚 0.6cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54A区第5層出土。9世紀中葉。水漬。京都市埋文研保管。4014；径 16.4cm，厚 0.6cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。4015；径 14.4cm，厚 0.7cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊九坪SD1300出土。8世紀後半～9世紀前葉。水漬。以上，奈文研保管。4016；径 9.9cm，厚 0.9cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54B区SK15出土。9世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。4017；径 9.5cm，厚 1.2cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

4018　轆轤挽きの蓋で，つまみを欠損したものにあてる。小型高杯の台脚にあてことも可

能。上面に轆轤目がよくのこり，内面に轆轤の爪痕をとどめる。径 5.4 cm，現存高 1.6 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8世紀後葉～9世紀前半。水漬。奈文研保管。

4019 楕円形で上面を甲高につくる蓋。下半部は径をせまくして，容器の本体にはめこむようにつくる。長径 7.6 cm，短径 6.6 cm，高 2.02 cm。スギ。平城宮6ALF区SD5780出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

4032 楕円形の板片。一応，置蓋にあてる。長径 5.2 cm，短径 3.5 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

4025・4026 柱状ないしは円板の内面に刳込みをいれたもの。4025 は柱状材の一木口から轆轤挽きで円筒形の刳込みをいれ他の木口面に轆轤の爪をとどめる。4026は断面V字形の圏状の刳込みをいれる。ともに，一種のかぶせ蓋に想定しておく。4025；径8.7 cm，高6.0 cm。ヒノキ。平安京西寺跡ND74-3-E-34 SE01出土。9世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。4026；径17.8 cm，厚 1.2 cm。スギ。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

I 栓（*4020～4024・4027～4031*） せ ん

壺や瓶の栓にあてうるもの。轆轤で挽くものもある。

4020～4022 棒材の一端ないしは半分を細くする。瓶などの栓にあてる。4020；長10.7 cm，上部径 3.2 cm，下部径 2.1 cm。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8世紀後葉～9世紀前半。水漬。4021；現存長 12.9 cm，上部径 2.3 cm，下部径 1.3 cm。ヒノキか。平城宮6AAE区SD3410出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。4022；現存長 7.2 cm，上部径 1.9 cm，下部径1.2 cm。広葉樹。平城宮6AAI区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。以上，奈文研保管。

4023・4024 轆轤挽きで断面が台形の円板をかたどる。栓の一種に想定しておく。4023；径6.4 cm，厚 3.1 cm。4024；径 6.3 cm，厚 2.5 cm。以上，マツ属。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。向日市教委保管。

4027～4031 割材を円柱状に加工し，一端の木口面を轆轤挽きし，中心に乳頭状の突起をつくる。栓の一種に想定している。しかし，轆轤挽きが下部におよんでいないことから，轆轤挽きで生じた屑の可能性もある。4027；高 4.2 cm，径 4.0 cm。サカキ。4028；高 4.2 cm，径 4.0 cm。サクラ科。以上，平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。4030；高 8.8 cm，径 3.9 cm。樹種未同定。平城宮6AAG区SD3410出土。8世紀後半。4031；高 9.0 cm，径 4.0 cm，サカキ。平城宮6AAO区SK870出土。8世紀後半。以上，P. E. G. 処理済。奈文研保管。4029；高5.6 cm，径 6.4 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。P. E G. 処理済。向日市教委保管。

9 籠 編 物（PL. 41）

竹などで編みあげた籠編物の出土例は決して少なくない。多くの場合は断片であり原形を知りうるものは多くない*。一般に脆弱であることから，保管中に変形することもしばしばである。このほかに席・円座などの編物も出土しているが実測に耐えうるものは少ない。

4101 角皿形の籠。竹の表皮をとりさった竹条2本（各幅 0.4 cm）で編む。底部は2本寄せの四つ目編で方形にととのえ，四辺に割竹を配して竹条を巻きつけて固定し，一種の高台をな

＊ 小林行雄『古代の技術』p. 159～186 日本工芸技術協会『竹編組 デザイン資料』1967年

す。口縁部は底からの竹条で笊目編みし，6段を編む。縁の仕上げは明らかでないが，2本の竹条をあてがいそれを心にして底からの竹条を折曲げ，そのうえから2本の紐状のものを交差させて固定したもののようである。復原径 25.6 cm，復原高 3.4 cm。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

4102　長方形の皿形の籠。底は幅 0.4 cmの帯状にととのえたヤナギを用い，2本潜りの網代編みで長方形につくる。底の四辺にヤナギの小枝をあて竹条でとめる。口縁部は底からのびるヤナギの数を減し六ツ編みで4段に編みあげる。縁はヤナギ3本に底からのヤナギをからませて編む。底部径 42×13 cm以上。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

4103　長楕円形の笊。竹条で底から口縁にかけて，2本潜り2本送りで笊目編みにする。ふちは矢筈巻きでととのえている。長径約 31 cm，高 6 cm。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709 年。水漬。橿考研保管。

4104　長方形の籠。幅 0.5 cm の表皮をとりさった竹条を用いる。底は2本寄せで，2本潜り2本送り二間網代に編み，底の四隅をわずかに突出さす。口縁部は竹条で編み3本潜り2本送りの網代編みである。縁は竹条を内に曲げ，樹皮を2段に巻きつけて固定。長 33.2 cm，幅16.4 cm，高 5.2 cm。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

4105～4107　六つ目編みの籠。4105は幅 0.4 cm の竹条を用いて小型の円筒形に編む。口縁は竹条を束ねて固定しているようである。径 10.0 cm，高 25.0 cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。4106 は幅 0.5 cm の竹条を二本寄せで編む。縁は竹条を束ねそのうえから樹皮を巻きつけて固定する。現存径 35.0 cm，現存高 21 cm。平城宮 6AAF区SK3137出土。770年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4107 は幅 0.7 cm 程度の竹条で円筒形に編む。現状では円形の底部がのこる。底径約 21 cm。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。奈文研保管。

4108　箕。幅 4～5 mm の竹条を緯にして幅 1.5～2 mm 内外の竹条を「ござ目」で編む。周縁の枠と「ござ目」編みとの結合法は，U字形にたわめた上下2本の枠木の間にござ目編みをはさみ込み，そのうえから樹皮を巻いて固定したものである。幅 83 cm，長約 65.4 cm。滋賀県穴太遺跡遺物包含層出土。7世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

10　食 事 具（PL. 42・43）

食物の調理や食事をとるときに使う道具。刳物の匙およびそれに類するもののほかに，板片を削ってつくる粗い加工の匙形・杓子形木器もふくめた。また，板を小割りにしてつくった箸や擂粉木，俎にあてうるものもある。多くは形態がのちのものと類似することから，食事具にあてたまでで食事具以外の用途も当然考慮しなければならない。

A　刳 物 匙（*4201～4209*）　くりもののさじ

身の上面が受皿ふうになるものをあつめた。4201 は瓢(ひさご)の杓，4206 は汁杓子であるが，便宜上ここにいれる。柄と身からなり，柄を斜め上方に向けるものと水平につくるものとがある。また，身の上面基部のみが曲面をなすものと，上面全体が曲面をなすものとがある。4210以下の木器とことなり，基本的には広葉樹材を用いている。

4201　瓢の1方の側を大きく切りとって器の口縁部とし，さらに，蓼部に孔をあけて木柄を

挿入して杓としたもの。杓部長径 12.8 cm，高 9.0 cm，口縁部長径 9.5 cm。ヒョウタン。平城宮6ABO区SE311B出土。9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

4202 身の半分をとどめるにすぎず，柄は折損。身の平面形は長楕円形を呈し，基端に柄の付根がわずかにのこる。一般の汁杓子とことなり，柄に移行する頚部付近を襟状に高くするほかは，身の中央部を厚くし周縁に向かって次第に薄くし，外縁の鋭利な鋤先のようにつくる。削りによる整形後，トクサのようなもので磨研したようである。身部長 18.5 cm，厚1.1 cm。ツバキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

4203 身は長楕円形を呈し浅い弧面をなす。身の縁から水平に柄をつくりだすが，二次的に切断されている。現存長 11.0 cm，現存幅 2.2 cm。ヒノキ。平城宮6AAH区SD4951出土。8世紀後葉。奈文研保管。

4204 黒漆塗り匙。木葉形の身に 40度ほどの角度をもった共作りの柄がつく。柄の端は折損し，身の先端も欠ける。大きさ，形状ともに正倉院の佐波理匙によく似ている。現存長 8.9 cm，幅 4.4 cm，厚 0.66 cm。樹種未同定。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

4205 黒漆塗りの匙。柄は上半を欠き，基部の折曲部をとどめる。柄と身の境ははっきりせず，漸次身に移行する。身は卵形を呈し，上面を弧面に刳りぬく。整形が粗く削り痕跡を顕著にとどめるが，全面に黒漆をかけている。現存長 17.0 cm，幅 6.5 cm。ミズキ。京都府古殿遺跡Dトレンチ SD01出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

4206 樹皮つきの心持材でつくる縦木取りの汁杓子。柄は折損。身の平面形は楕円形。外面下半は刃幅の広い刃物で粗く面取りする。内面は幅の狭い丸鑿で丁寧に刳る。柄の断面は方形。未完成品か。身部長 9.6 cm，同幅約 6.0 cm，同高 4.9 cm。イスノキ。平城京右京二条二坊十六坪SE540出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

4207 卵形の長円形を呈し上面を浅く窪めた身に柄をつくる。粗い整形。長 16.0 cm，身部幅 3.2 cm。ヒノキ。藤原宮 6AJE 区 SD105 出土。694年～709 年。水漬。橿考研保管。

4208 細長い身の粗製匙。身の上面を浅く窪めるが，先縁が欠損する。長 24.0 cm，身部幅 2.7 cm，同厚 1.4 cm。スギ。平城宮6ABR区 SK3784出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

4209 隅丸長方形に近い身に細い柄がつく。身の上面は丸鑿で刳るが，縁は立上らない。出土後，火災のため著しく原形を損じたが写真から復原。復原長約 33.0 cm，身幅 7.2 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

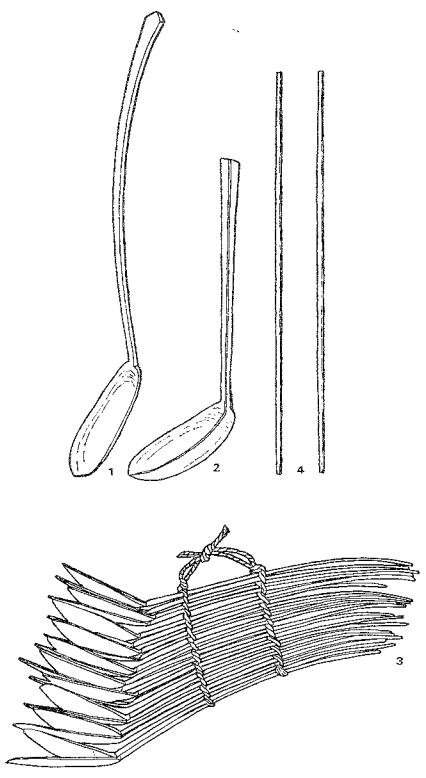


fig. 42 正倉院の食事具
1；金銅匙 2；佐波理匙 4；金銅箸（正倉院事務所『正倉院の金工』日本経済新聞社 1976年 図版97～99）

B 匙形木器（*4210～4229・4234～4244*） さじがたもっき

小さな細板を削ってつくる匙形の木器。いずれも粗製品で顕著な使用痕がなく，長期にわたって使用したものではなさそう。身の形態から3型式に区分できる。A型式は身の先縁を一直線にするもの，B型式は先縁を半円形にするもの，C型式は身の先縁が半円形を呈するが身の幅が狭く長細いものである。

4210～4216 B型式の匙形木器。先縁は半円形，身の側縁から頸部に移る折曲点は稜角をなし撥形の頸部をつくる。頸部は次第に幅を狭めて真直ぐな柄に移行する。4210・4211 は精製品の部類にぞくし，表面は平滑にし，裏面はわずかに甲高にして先縁を薄くする。4210；長 15.8 cm，身幅 2.6 cm。4211；長 15.7 cm，身幅 3.6 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。4212；現存長 9.6 cm，身幅 2.4 cm。

スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。4213；現存長 8.7 cm，身幅 2.5 cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。4214；現存長 19.1 cm，身幅 3.5 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。4215；長 18.6 cm，身幅 4.1 cm。アスナロか。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。4216；現存長 21.0 cm，身幅 4.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

4217～4229　A型式の匙形木器。細い板の一端を身とし，頸部から次第に幅を狭めて柄をつくり，仕上げは粗い。身の先縁は片刃の鑿状につくり，なかには切断が不十分で削りのこすものがある。身の両側縁はとくに整形せず割り面をのこすものが多い。身の両面とも平坦で表裏の区別がない。身に使用時の顕著な磨滅痕跡をとどめるものもあるが，身の先縁に刃物で切り目をいれたのち手で折りとった形跡のこすものがあり，一時的な使用に供されたもののようである。4222には漆が付着しており，漆塗りの篦として使われたことがわかる。4217；長22.2 cm，身幅 1.9 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。4218；長 9.0 cm，身幅 1.1 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。4219；長 14.4 cm，身幅 2.6 cm。コウヤマキ。平城宮6AAH区SD4951出土。8 世紀後葉。水漬。4220；長 11.6 cm，身幅 1.9 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753 年頃。P. E. G. 処理済。4221；現存長 6.9 cm，身幅 1.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。4222；現存長 11.8 cm，身幅 1.6 cm。樹種未同定。平城宮6ABR区SD3765付近出土。8 世紀前葉。水漬。以上，奈文研保管。4223；長 14.7 cm，身幅 3.8 cm。ヒノキ。4224；現存長 11.7 cm，身幅 2.5 cm。ヒノキか。水漬。4225；長 18.1cm，現存身幅 2.3 cm。スギ。アルコール・エーテル法 処理済。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。向日市教委保管。4226；長 19.8 cm，身幅 2.6 cm。スギ。平城宮6ALF区SA9063出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。4227；現存長 20.2 cm，身幅 3.2 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。真空凍結乾燥処理済。4228；現存長 9.6 cm，身幅 2.0 cm。ヒノキ。藤原宮6AJB区SD170出土。694年～709年。水漬。以上，奈文研保管。4229；長 25.9 cm，身幅 5.0 cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

4234～4244　C型式の匙形木器。身は扁平に削り先縁を柳葉形にとがらし，両側縁を薄くする。身と柄の境は不明瞭で，頸部の幅を次第に狭めて柄とする。4234；現存長 17.2 cm，身幅3.8 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。4235；現存長 17.8 cm，身幅 3.6 cm。スギ。平城宮6ABR区SB7802出土。753 年頃。P. E. G. 処理済。4236；長 31.5 cm，身幅 3.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。4237；長 31.0 cm，身幅 4.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。4238；現存長 35.6 cm，身幅 3.1 cm。スギ。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。4239；現存長 32.7 cm，身幅 2.2 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。4240；長 32.9 cm，身幅 2.4 cm。スギ。4241；長 30.5 cm，身幅 2.0 cm。針葉樹。以上，京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。4242；長 22.3 cm，身幅 2.2 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出

土。694年～709年。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4243；現存長23.3cm，身幅1.2cm。スギ。4244；現存長 20.0cm，身幅 1.2cm。スギ。以上，京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

C 杓子形木器（*4230～4233・4301～4319*） しゃくしがたもっき

いわゆる「めししゃくし」に類似する形をとる。身の先縁を一直線につくるA型式と，先縁を半円形につくるB型式に大別しうる。A型式は大きさによって細分できる可能性があり，B型式は身が狭くて柄の長いもの(4301・4302)など明らかに撹拌用とおもわれるものを区別しなければならないが，いまのところ細分しない。

4230～4233・4301～4306・4309～4314 B型式の杓子形木器。身の周縁を薄くする。柄の長短，身が長くて幅狭のもの，身が短くて幅広のものなどに区分できるようであるが，ここでは細分しない。4230；長 24.0cm，身幅 8.8cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。4231；長23.4cm，身幅 4.25cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。4232；長 26.3cm，身幅 4.4cm。ヒノキ。和歌山県野田地区遺跡SD04出土。11世紀中葉。アルコール・エーテル法処理済。和歌山県教委保管。 4233；現存長 33.0cm， 身幅 5.2cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。4301；長 97.9cm，身幅 5.0cm。スギ。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。4302；長43.3cm，身幅 3.8cm。スギ。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。4303；長34.0cm，身幅4.8cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。8世紀後半。水漬。4304；長 29.2cm，身幅 5.3cm。スギ。平城宮6ACC区SD3825出土。 8世紀後半。水漬。4305；長 29.7cm，身幅 4.7cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SK219出土。762年頃。自然乾燥。4306；長35.6cm，身幅6.5cm。 ヒノキ。 平城宮6AAC区SD3035出土。 8世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。4309；長35.4cm，身幅9.0cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。 9世紀後葉～10世紀前葉。 水漬。 滋賀県教委保管。 4310； 長 27.3cm， 身幅 7.9cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。 9世紀前半。 P. E. G. 処理済。奈文研保管。4311；長25.0cm，身幅6.5cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。4312；長 27.7cm，身幅 6.25cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。 アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。4313；長26.8cm，身幅8.3cm。樹種未同定。京都府下畑遺跡SE01出土。12世紀～13世紀。水漬。京都府埋文保管。4314；長21.6cm，身幅6.9cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

4307・4308・4315～4319 A型式の杓子形木器。一般には身幅が狭いが，4318・4319のような大型の器には身幅の広いものあり，用途もことなるとおもわれる。いずれも粗い加工である。4307；長 31.6cm，身幅 5.8cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4308；現存長 17.5cm，身幅 4.8cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法 処理済。向日市 教委保管。4315；現存長 48.7cm，身幅 11.9cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SE1350出土。8世紀後葉。P. E. G. 処理済。4316；現存長 58.5cm，現存身幅 14.5cm。スギ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。4317；長 69.2cm，身幅 14.9cm。ヒノキ。平城宮

6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。4318；長 51.0 cm，身幅 25.2 cm。ヒノキ。4319；現存長 32.5 cm，現存身幅 17.4 cm。ヒノキ。以上，平城宮6ABR区SB7802出土。 753年頃。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

D　異形杓子（*4320*）　いけいしゃくし

4320　板材を杓子形にかたどったものだが，全体に厚さが均等で，先端に大きなU字形の刳込みをいれ二股につくる。フォーク状の形をとり，必ずしも食事具に限定できないがとりあえずここにおく。現存長 31.4 cm，現存身幅 8.3 cm。スギ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

E　箸（*4321～4326*）　はし

4321～4236　ヒノキないしはスギの木片を小割りにしたのち，棒状に整形したもの。細い丸棒に削るものであるが，削りはきわめて粗雑で本と末の区別はない。平城宮6AAB区SK820出土の完形品302本を計測したところによると，いずれも直径 0.5 cm内外で，最大の長さ24cmから最小の長さ 14 cm までのばらつきがある。うち長さ 22～17 cm の箸が全体の 80% を占める。なかでも，長さ 20～21 cm のものが最も多くこれが標準的な長さであったことがわかる。*＊* 使用の痕跡は明瞭でなく，製作の粗雑さを考慮すると，現代の割箸のように一時的に使用されすてられたもののようである。一方，箸の属性として「神の呪を達成する」という祭器としての役割りがあるという見方が提起されている。*＊＊* 4321；長 24.0 cm，径 0.6 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。4322；長19.0 cm，径0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。4323；長 21.3 cm，径 0.6 cm。樹種未同定。4324；長 21.5 cm，径 0.5 cm。樹種未同定。以上，平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。 9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。4325；長 21.1 cm，径 0.4 cm。樹種未同定。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。4326；長 25.0cm，径 0.7 cm。樹種未同定。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12 世紀～13 世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

F　擂粉木（*4327～4329*）　すりこぎ

4327～4329　丸棒材の一木口面が凸レンズ状に擂りへっているものをあてた。4329 は竪杵を転用した大型品だが，先端に紐で吊すための孔をあけ，全体に刃物痕が多くあるのでここにいれる。4327；現存長 21.6 cm，径 3.5 cm。 樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。 7 世紀前葉。水漬。4328；長 29.5 cm，径 2.7 cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。以上，滋賀県教委保管。4329；長 48.7 cm，径 8.1 cm。樹種未同定。兵庫県吉田南遺跡河川 1 出土。8 世紀後半。水漬。神戸市教委保管。

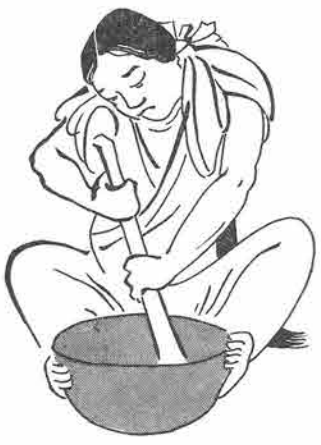


fig. 43　擂粉木　『病草子』

G　俎（*4330*）　まないた

厚い長方形の板に刃物痕のついたもの。長 24.6 cm，幅 17.0 cm，厚 3.2 cm。広葉樹。兵庫県吉田南遺跡河川 1 出土。8 世紀後半～9 世紀。水漬。神戸市教委保管。なお，専用の俎とは別に曲物の蓋板，底板，あるいは木皿などの表面に刃物痕をとどめるものが多く，それらが俎として常用あるいは転用されていたことがわかる。

＊　『平城宮発掘調査報告Ⅶ』p. 120

＊＊　益田勝美『古事記』古典を読む10　岩波書店　1984年　p. 13

11 文房具（PL. 44）

文房具のうち，木製のものとして，算木・物指・版木・筆管・木印が確かめられる。ほかに，木簡・付札や題籤の類があるが，それらについては集録していない。

A 算　　木（*4401～4404*）　さんぎ

角柱状の小木片の四面に木理を横断する刻線をそれぞれ1・2・3・4本，あるいは1・2・3・6本いれた計算用具。内山昭の研究によってわが国における改良型算木にあてられている。つまり，中国伝来の和算用算木ならば5本の算木を使うのであるが，改良型の場合（1～4本刻み）では刻みをいれない第2の算木を5としてもちいることによって1～9の数をあらわすことができるという*。

4401　両木口を方錐形の原状にした寸詰まりの方柱の四面に，1本，2本，2本以上の刻線をいれる。1面が完全に欠損し，他の1面の半分が欠損しているが，大きさからみて1・2・3・4の刻線を刻んでいたのであろう。長2.05cm。径1.30cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD105出土か。694年～709年。水漬。橿考研保管。

4402　面取りした角棒の両木口を方錐形にかたどり，四面に1・2・3・4本の刻線を刻む。長 6.3cm，幅1.1cm，厚1.0cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK3139出土。770年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

4403　角棒の両木口を方錐形にかたどり，四面に1・2・3・6本の刻線を刻む。長5.3cm，幅 0.95cm，厚 0.85cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

4404　小さな板切を利用。四面に1・2・3・4本の刻線を刻む。3個所に貫通する孔を錐であけているが，算木に加工する以前のものか。長 3.85cm，幅 0.7cm，厚 0.46cm。ヒノキ。平城宮6ALG区SD5788出土。8世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

B 物　　指（*4405～4411*）　ものさし

長さを計る用具。扁平な細板に刻線ないしは墨線で目盛りをうったもの。1分刻みの精巧なもの，5分刻みのもの，1寸刻みのものがある。時期によって尺の伸縮があろう。また，常用のものと一時の使用のため仮りにつくったものとの間には，当然精粗の差がある**。

4405　扁平で細長い板に目盛りを刻む。表裏と1側面に黒漆塗りがのこっており，他の部材を転用したものとおもわれる。1側面と両端を欠損するが，目盛り間隔のわかる3個所では，2.85・2.87・2.88cmとなり，1寸刻みの尺であることがわかる。現存長 14.7cm，現存幅2.3cm，厚1.2cm。ヒノキ。奈良県和田廃寺遺物包含層出土。7世紀。水漬。奈文研保管。

4406　細長い板の上面をやや甲高にして，両側に分刻みの目盛りをいれる。両側縁にそれぞれ2本の刻線を平行していれ，内側の線に5分目盛り刻線の頭をそろえ，外側の線に1分目盛り刻線の頭をそろえる。そして，寸刻みの刻線が両側縁を横断する。一端から5寸目の2本の5分目盛り線の間にコンパスで針描きした円を2個いれ，1尺目のところでは1分目盛り線と5分目盛り線との1個の円をいれている。1尺5分のところで折れているが，もとはもう少し長かったようである。表裏とも削り痕跡はなく磨研によって仕上げ，細い目盛りには墨をいれ

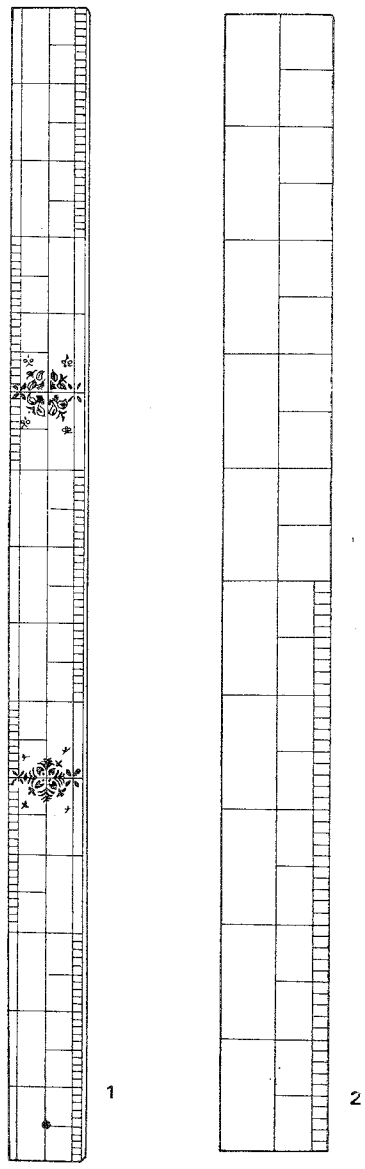


fig. 44　正倉院の物指
1；木尺　2；斑犀尺

＊　内山昭『計算機歴史物語』岩波新書　1983年　p. 151～154

＊＊　奈良時代の尺については，樫本杜人「奈良時代の尺度について」『朝鮮の考古学』同朋舎　1980年　p. 360～371を参照。

ている。測定可能な個所で目盛りをはかると，寸では 2.941 cm ～ 2.9688 cm のばらつきがあり(平均 2.95187 cm)，5分では 1.4291～1.5027 cm のばらつきがある。長 30.9 cm，厚 0.4 cm。ウツギ。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

4407　長さ1尺の物指とすれば，ちょうど真中で折れている。1寸ごとの目盛りが刻まれているが，太い方の刻線の側での実長は2.8・3.2・2.9 cmをはかり，一定しない。5寸をあらわす目盛りには「米」印を刻んでいる。裏面にも細い目盛りがあるが，表面の目盛りとはわずかにずれている。現存長 15.6 cm，幅 2.0 cm，厚0.8 cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

4408　細板の一面に5分刻で刻線の目盛りをいれた1尺の物指。寸目盛りは全幅を横断するが，5分目盛り幅の約3分の1である。寸目盛りは3.1と3.0 cmとがあるが，3.1 cm のほうが多い。長 31.0 cm，幅 2.0 cm，厚 0.9 cm。樹種未同定。京都府仁和寺南院跡ND63-1-H-14池出土。11世紀～12世紀。水漬。京都市埋文研保管。

4409　板目材を削って整形し，片面に刻線を入れた物指。一端をうしない全体に腐蝕が著しい。目盛りを示す刻線は幅・深さとも 0.5 mm 程度で，現在7本のこる。刻線の間隔は平均 2.94 cm となり，1寸刻みで7寸のこっていることになる。現存長 22.4 cm，幅 2.6 cm，厚 0.8 cm。広葉樹。平城京左京一条三坊SD650。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

4410　細長い薄板に目盛りをいれる。現状では2片になり，つながらないが，元来は同一物であった可能性がつよい。目盛りは墨線で描き，太さは一定しない。1片は寸刻みであり，もう1片は寸目盛りの間に5分目盛りを描くところがある。寸の長さは 2.95～3.1 cm のばらつきがある。目盛りとかさなって墨書がある。現存長 17.4 cm・14.8 cm，幅 2.3 cm・2.6 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。平城宮6AAF区SD3297出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

4411　折敷の側板を利用した物指。現在木理方向で3片に割れ接合しないが，同一品とみられる。両端に隅をまげるケビキをとどめる。一面には文字を他面には目盛りを墨書きする。目盛りは木理に直交する太さ 0.1 cm 前後の墨罫。その間隔は 4.65～4.3 cm のばらつきがあり，10目盛りをとどめる。1寸5分目盛りのようである。現存長51.5 cm，幅 6 cm 以上，厚 0.5 前後。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。水漬。奈文研保管。

C　版　　木 (*4412*)　はんぎ

4412　長方形の厚手の板に騎馬像をシルエット風にほりこんだもの。板の片面上部に被りものの紐をなびかせた人物が疾走する馬にのる像をほりだすが，輪廓にのみとどまり細部はほりあげていない。また，像の周辺部だけをほり窪める。1側面の中程と他側面の下寄りに断面V字形の溝をほりこみ，同位置の裏面に円形の窪みをあける。馬の後足が削りとられているので，製作途中で失敗したものであろうか。これを版木にあてる理由は，彫刻面が平坦であり，左右の溝を摺り位置をきめる目安にかんがえることによる。長 11.8 cm，幅 6.2 cm，厚 2.65 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

D　筆　　管 (*4413*)　ひっかん

4413　一端に節をとどめる竹管。節のない端に筆毛をはめたらしく，内縁に刃物で刳りを加えて内径を広げている。筆毛はのこっていない。建物の戸口に埋られた須恵器壺に墨挺1丁・和同開珎4枚・絹布とともにおさめられていた。文献史料からして胞衣(えな)をいれたものとかんが

えられている。長 14.9 cm，径 1.2 cm。マダケ。平城京右京五条四坊三坪SX030出土。750年頃。真空凍結乾燥処理済。奈良市教委保管。

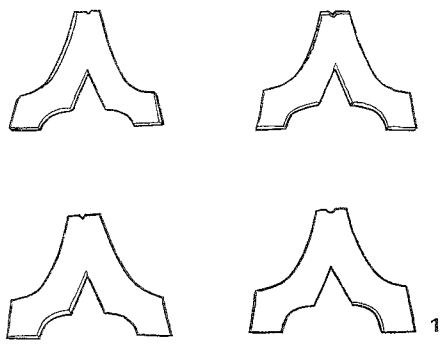
E 木　　印（*4414・4415*）　もくいん

4414　下部を断面８角形の柱状とし上部を円錐形にかたどる。柱状の木口の印面に「木」字を円で囲った陰刻をほどこす。つまみとなる円錐形の頂部付近の側面に小さな円孔を貫通させている。朱肉ないしは墨の付着はない。高 7.9 cm，印面長径 3.2 cm，同短径 2.7 cm。ヒノキ。平城京6AAA区SD2700出土。８世紀。水漬。奈文研保管。

4415　銅印に似た扇形の鈕をつくりだす。印面は方形を呈し，周縁と文字を陽刻する。印面の下半分を欠失するが，「里」字に判読できる。高 5.3 cm，印面長辺 3.8 cm，同短辺 3.3 cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。９世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

12 遊 戯 具（PL. 45）

遊戯具には琴柱と独楽・木とんぼ*がある。琴の本体は琴柱の大きさや正倉院の伝世品からみて，かなりの大型品の琴にぞくしたようである。７世紀以降の琴は共鳴板をそなえた構造と板造りのものとがあった。前者は正倉院の伝世品や福岡県沖の島遺跡の金銅製雛形，および出土品琴柱の形からみていくつかの区別があったようである。後者の例として，兵庫県山垣遺跡からは板造りの琴と思われるものが出土し，奈良県稗田遺跡からは雛形の琴に比定しうる遺物が出土している。**



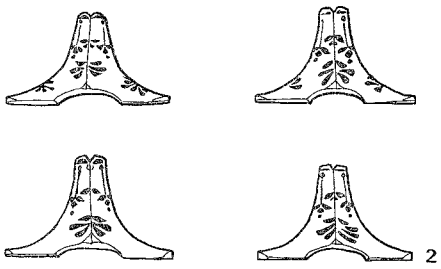


fig. 45　正倉院の琴柱
1；金泥絵新羅琴　2；金箔押新羅琴（前掲『正倉院の木工』図版147・148）

A 琴　　柱（*4501～4519*）　ことじ

琴柱は大きく２型式にわかれる。A型式は，等脚台形の両斜辺を途中から垂直に断ち落した六角形を基本形とし，上底に弦受けの溝をつけ，下底中央を三角形に切欠いて双脚につくる。B型式は等脚台形を基本形にし，上底にはA型式と同様に弦受けの溝をつけ，下底中央に三角形や半円形の切欠きをいれて双脚とする。

時期的にはA型式が古く，５世紀代に遡る。７世紀前半の奈良県坂田寺跡出土例は８世紀代のA型式琴柱の原型となるもので，下底に三角形の切欠きをいれるものと台形の切欠きをいれるものがある。８世紀以降のA型式琴柱では，下底に三角形の切欠きをいれるものが主体となり，同時に上底の幅が狭くなる。なかには上底が弦受け溝の幅分だけのものもある。一方，両斜辺の立上り部を弧形にかたどるものもある。B型式琴柱は８世紀に出現する。下底部を半円形に切欠いたのち，その中央にさらに三角形の切欠きをいれた例がある。この種の切欠きの形は正倉院に現存する新羅琴の琴柱に類似している。８世紀以降では，２型式を通じて切欠きが大きくなり，4505 や 4507 のように，わずかではあるが，下底の両端を結ぶ線が弧を描いていることは，琴本体の上面が円弧を描いていたことをうかがわせる。一方，弦受け部分を次第に薄くするもののほか，橋形のものなど上記の２型式にぞくさない異形のものもある。大多数は横木取りだが，4519 は縦木取りである。

4501～4505・4511　B型式の琴柱。4503・4504は三角形の切込みが深く，繊細なつくりである。4505・4511は斜辺が丸味おび，円弧とそれに三角形を組合せた切欠きをいれる。4501・4502は下底方向にかけて薄くしている。4501；幅 4.3 cm，高 1.9 cm，厚 0.4～0.4 cm。ヒノ

＊　松村恵司「平城宮出土の木とんぼ」『考古学ジャーナル』237号　1984年

＊＊　奈良県教育委員会「稗田遺跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報　1976年度』1977年　図版5-3

キ。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。4502；幅 3.9 cm，高 2.8 cm，厚 0.45 cm。ヒノキ。平城宮6AAH区SD3410出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。4503；幅 3.4 cm，高 1.9 cm，厚 0.41 cm。4504；現存幅 2.6 cm，高 2.3 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAI区SD4100A出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。4505；幅 3.5 cm，高 2.7 cm，厚 0.7 cm。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。4511；幅 6.3 cm，高 3.6 cm，厚 1.5 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

4506～4510・4515・4516・4519　A型式の琴柱。両側辺が直立もしくはそれに近いもの(4507・4509・4513・4515・4516・4519)と内傾するもの(4506・4512・4514)がある。4508は側辺が円弧形となる。4516・4519のように9世紀の例では幅に対して高さが高くなる傾向にある。4506；幅 4.3 cm，高 2.4 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。真空凍結乾燥処理済。4507；幅5.8 cm，高 3.8 cm，厚 1.5cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD4100A出土。8世紀中葉。水漬。4508；幅4.9 cm，高 3.0 cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。P. E. G. 処理済。4509；幅 4.9 cm，高 3.3 cm，厚 0.7cm。ヒノキ。平城宮6ALG区SD5785出土。8世紀前半。P. E. G.処理済。4510；現存幅6.4 cm，現存高 2.7 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。4512；幅 3.5 cm，高 1.6 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。奈良県坂田寺跡SG100出土。7世紀中葉。水漬。以上，奈文研保管。4513；幅 4.4 cm，高 2.3 cm，厚 0.35 cm。4514；幅 3.3 cm，高 1.8 cm，厚 0.5 cm。以上，ヒノキ。藤原京紀寺跡SK004出土。7世紀後葉。アルコール・エーテル法処理済。橿考研保管。4515；幅 5.1 cm，高 2.0 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。奈良県坂田寺跡SG100出土。7世紀中葉。水漬。奈文研保管。4516；幅 3.3 cm，高 2.6 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町 SD1301 出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。4519；幅 2.7 cm，高 3.2cm，厚 0.6 cm。樹種未同定。平安京左京四条四坊一町ND64-3-F-44 土壙出土。9世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

4517・4518　異形の琴柱。弦受けの溝をつけていないので，琴柱以外のものである可能性もある。4517は両脚に長方形の孔をあけている。4517；幅 5.9 cm，高 1.4 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結 乾燥処理済。奈文研 保管。4518；幅 7.1 cm，高 1.1 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

B　独　　楽（*4520～4527*）　こ　ま

棒に布裂などをつけた鞭で打ってまわす鞭独楽である。樹皮を剝いだ広葉樹心持材の一端木口を平坦にし，他端を弾丸状に削りあげ，先端を乳頭状に突出させる。

4520～4527　軸棒をつけないのが一般的であるが，4524 は先端に鉄心を打込んでいる。また，4524・4525 は上面に擂鉢状の刳形をいれる。4527の上面には墨を塗っている。4520 ；径 3.5 cm，現存高 4.4 cm。アカガシ亜属。平城京左京三条四坊七坪SK1796出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4521；径 3.0 cm，高 5.0 cm。ヒイラギ。平城京左京五条二坊十四坪SE03出土。8世紀後葉。真空凍結乾燥処理済。奈良市埋文保管。4522；径 4.5 cm，現存高 5.0 cm。アカガシ亜属。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。4523；径4.1 cm。現存高6.6cm。アカガシ亜属。平城宮6ABQ区SE9210出土。10世紀。水漬。4524；径 3.2 cm，

高 4.6 cm。針葉樹。平城宮6ACU区SG10240出土。 8 世紀後半。水漬。 以上， 奈文研保管。4525；径 4.4 cm，高 4.9 cm。樹種未同定。平安京西寺跡ND74-3-E-34 SE01出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。 4526；径 3.5 cm，高 5.9 cm。ツバキ。藤原宮6AJE区SD145出土。694年～709年。水漬。4527；径 3.6 cm，高 4.8cm。アカガシ属。藤原宮6AJK区SE1205出土。694年～709年。水漬。以上，奈文研保管。

13 祭 祀 具（PL. 46～62）

祭祀具の出土量は比較的多い。しかし，出土地が普遍的でなく，以下にのべるように種類によって出現の年代が前後するので，全般的な把握は容易でない。木製の祭祀具の基本形態は，実際の器物や禽獣を抽象化したものであり，一般に形代（かたしろ）とよばれているものである。概して1回限りの使用ののち，遺棄されたもの。斎串（いぐし）・人形（ひとがた）・馬形・鳥形・刀形・刀子形・鎌形・下駄形・船形・陽物形などに分類される。多くは板を切りぬいてつくる平面的な形態をとるが，人形の1部や舟形・陽物形には立体的に表現するものがある*。このほか，奈良県稗田・若槻遺跡からは8世紀の絵馬が出土しているのが注目される。木器の祭祀具に類するものは，土・石・金属製品にもあり，祭祀具としてはこれら全体に立脚して考慮しなければならない。

木製祭祀具は，刀(剣)形・鳥形・舟形・陽物形・木偶（でく）などのように，弥生・古墳時代以来の伝統にもとづくものと，人形・馬形および斎串のように7世紀に新たに出現するものとにわけることができる。後者のうち，人形は中国の道教的思想にもとづく新たな祭祀具で，奈良・平安時代の木製祭祀具の中心的存在である。

人形は，罪穢や悪気を移し，流れに投げすてる祓いがその一般的な使用法であった。奈良時代における祓いの代表は，6月と12月の晦日に宮中で行われた大祓である。730 年頃の大祓の跡をとどめる平城宮壬生門跡，あるいは長岡京・京都府中久世遺跡などの発掘によって，祓いの人形は，つくりや表現が同巧のものを2枚・3枚と組みにして使用したことがあきらかになった。8世紀後葉から，全長が 1 m を超す等身大のもの，その半分程度のもの，小型のものと，大・中・小と大きさをことにする人形を数枚組合せて使うことがはじまる。10世紀末の円融天皇の天禄3年 (970) 12月の河臨御禊では，七瀬ごとに等身人形1枚と5寸の木・錫・鉄人形各1枚を組合せて用いている。

馬形は水神への祈願に流れに投じたとする見方が一般的だが，水野正好の説では行疫神の乗物である**。山形県俵田遺跡では，壺に入れた人形の周囲から木製馬形や斎串が出土し，使用状態の一端をしめす***。『延喜式』大祓祝詞などによると，一触一吻した人形を四国（よくに）の占部が祓所（はえどころ）に解除（はらえ）することがみえている。俵田遺跡の状況は，この祓所にあたり，馬形は罪穢を負った人形を他界へはこぶために人形の傍らに立てられたのであろう。滋賀県尾上遺跡では，馬形に「黒毛祓」と墨書したものが出土している。

斎串は結界をあらわし，外部の悪気を遮断するとともに，人形の負った罪穢を外に漏らさぬ役割を果したのであろう。このことから明らかなように，馬形や斎串も複数で用いられ，斎串は人形と同様に大・中・小と組合せることもあった。

鳥形は，尾の部分に小孔をあけ，あるいは側辺を裂いて細棒上に挿し立てたものがあり，さきの平城宮壬生門跡の発掘でも 207 点の人形にともなっていることから馬形と同じ運搬の機能をもったのではないかとおもわれる。日本神話の中では，鳥は魂を他界へ運ぶ役割を担ってい

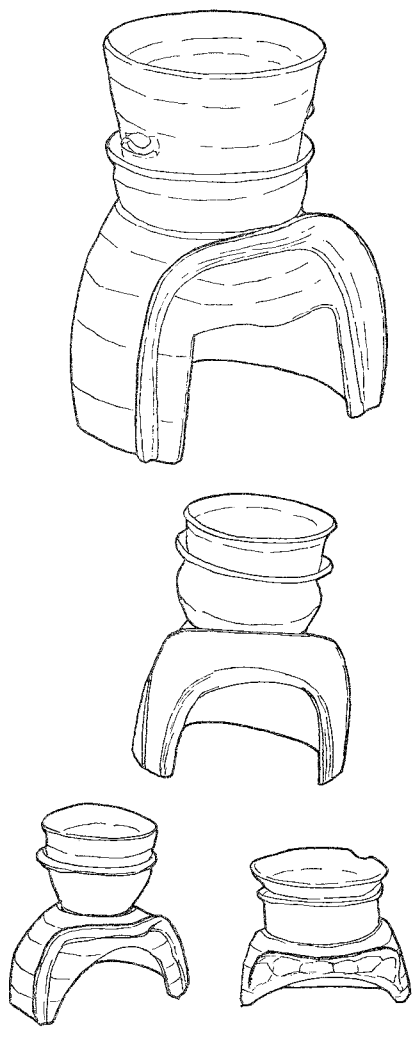


fig. 46 各種の祭祀具(1)
土製の竈形（平城京左京八条一坊十一坪ＳＤ920出土）

＊ 金子裕之「古代の木製模造品」『研究論集Ⅵ』奈文研学報38 1980年 p. 1～28

＊＊ 水野正好「祭礼と儀礼」『古代史発掘』10 講談社 1974年 p. 136～147

＊＊＊ 山形県教育委員会『俵田遺跡第2次発掘調査報告書』山形県文化財調査報告書77集 1984年

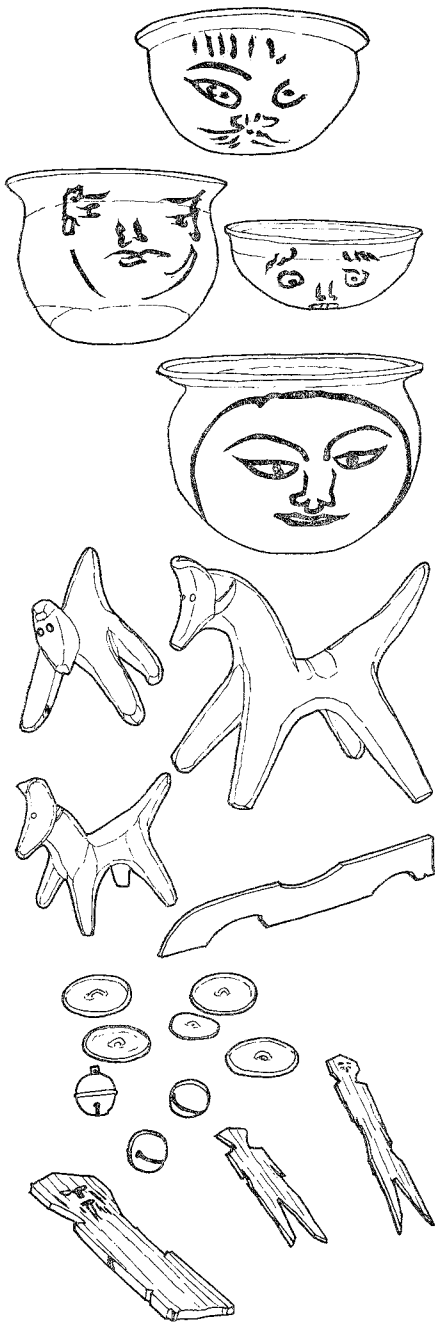


fig. 47　各種の祭祀具(2)
上から人面土器　土馬形　木馬形　銅鏡　銅鈴　木人形（平城京左京八条一坊十一坪ＳＤ920出土）

る。壬生門跡の発掘でやはり人形にともなって舟形も発見されており，馬形や鳥形と同じ機能をかんがえてよいだろう。剣形や刀形は，武器としての機能によって，祓の場で罪穢や悪気を打断ち，遮ったのであろう。武器の一種の鍬形も同じであろう。

A　斎　　串（*4601～4628・4701～4735・4801～4824*）　いぐし

細長い薄板の両端をとがらせ，側面に切込み(削りかけ)などをほどこした串状品。多くの場合，加工は周縁の形を粗くととのえる程度におわり，丁寧な加工は行わない*。薄板の両端の形状によって，つぎの４型式に区分できる。Ａ型式は板材の両端をそれぞれ一側面から鋭く斜めに切落したもの。Ｂ型式は細長い板材の両端を圭頭状につくる。Ｃ型式は細長い板材の上端を圭頭状にして下端を剣先状につくる。Ｄ型式は上記の３型式にぞくさないもの。

他方，板材の側面からの切込み方によって８式に分類できる。Ⅰ式は切込みをいれないもの。Ⅱ式は側面を割裂くように上端木口から割目をいれるもの。Ⅲ式は上端近くの側面の左右１個所に切込みをいれるものを主とし，上端の斜辺から切込むものもふくむ。Ⅳ式は上端近くの側面の左右２個所以上に切込みをいれるもので，この場合１個所の切込み回数は１回。Ⅴ式は側面の左右２個所以上に切込みをいれるもので，この場合１個所の切込み回数が４～５回におよぶことがある。Ⅵ式は両側面の左右対称位置を三角形に切欠くものである。Ⅶ式はⅢ式とⅥ式が組合さったものである。Ⅷ式はⅤ式とⅥ式とが組合さったもの。

うえのような形状と切込みの手法とを組合せて，ＡⅠ型式・ＢⅡ型式などと斎串をよびわけることにする。Ａ型式は６世紀後半から出現するといわれており，Ｂ型式やＣ型式の一部は７世紀第Ⅲ四半期に出現，８・９世紀にはＣ型式が展開する。斎串の寸法は，８世紀の平城宮・京の出土例では全長14～23 cm 前後のものが一般的。９世紀前葉の兵庫県姫谷遺跡では全長が１m 前後の長大な斎串(4723～4814)が出現している。後述の人形と同じく，小型品と超大型品の区別が存在したのであろう。なお，姫谷遺跡の例のなかには斎串の中心付近に釘を打ちつけた痕跡のあるものがあり，斎串をたてるために柱などに釘どめしたことがわかる。

4601～4606　ＡⅠ型式の斎串。細板の両端を一側面から削って鋭くとがらす。4601；現存長24.9 cm，幅 1.6 cm，厚 0.2 cm。4602；現存長 22.3 cm，幅 1.9 cm，厚 0.1 cm。以上，ヒノキ。難波宮橋脚MP-1区 SK10043出土。７世紀前半。水漬。大阪市文化財協会保管。4603；長17.3 cm，幅 1.3 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。藤原宮6AJM区 SD260出土。694 年～709 年。水漬。奈文研保管。4604；長 21.3cm，幅 2.0cm，厚 0.4cm。ヒノキ。長岡京左京三条二坊四・五町SD0210出土。８世紀後半(784年以前)。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。4605；長 15.3 cm，幅1.9cm，厚0.34 cm，4606；長15.7 cm，幅2.0 cm，以上，スギ。兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。９世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。

4607・4608　一端を欠くが，ＢⅠ型式の斎串であろう。4607；現存長19.1cm，幅1.8cm，厚 0.1 cm。ヒノキ。4608；現存長 15.2 cm，幅 1.9 cm，厚 0.3 cm。以上，ヒノキ。難波宮橋脚MP-1区SK10043出土。７世紀前半。水漬。大阪市文化財協会保管。

4609・4610　ＣⅠ型式の斎串。4609；長 26.1 cm，現存幅 2.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。藤原京右京七条一坊二坪SE2270出土。694年～709年。水漬。4610；長 26.2 cm，幅 3.7 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ALS区SK5104出土。８世紀前葉。水漬。以上，奈文研保管。

4611　ＣⅡ型式の斎串。長 23.1 cm，幅 3.9 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。藤原宮6AJB区SD2300出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。

＊　黒崎直「斎串考」『古代研究』10号　1976年　p. 23～37
　兼康保明「井戸における斎串使用の一例―滋賀県高島郡高島町 鴨遺跡の 井戸」『古代研究』19号　1980年　p. 61～67

4612～4617・4619・4620・4622～4625・4627・4628 CⅢ型式の斎串のうち，両側の切込みがそれぞれ1回のもの。4619のように両側縁の上端から切込む場合，4627のように若干下から切込む場合，4627のように若干下から切込む場合がある。4620は頂部から割目をいれている。4612；長 19.4 cm，現存幅 3.1 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ADH区SE1247出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。4613；長 14.8 cm，幅 2.4 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。以上，奈文研保管。4614；長 17.0 cm，幅1.7 cm，厚 0.2 cm。4615；長 16.9 cm，幅 1.7 cm，厚 0.2 cm。以上，ヒノキ。藤原宮 6AJM区SD260出土。10世紀。水漬。奈文研保管。4616；長 18.6 cm，幅 2.1 cm，厚 0.1 cm。4617；長 16.6 cm，幅 2.5 cm，厚 0.25 cm。以上，樹種未同定。長岡京左京四条三坊六町SE80出土。784年～794年。水漬。京都市埋文研保管。4619；長 27.0 cm，幅 3.6 cm，厚 0.2 cm。樹種未同定。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4620；長 15.4 cm，幅 1.8 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。4622；長 20.3 cm，幅 2.5 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。平城宮6ACP区SE5320出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。4623；長 19.0 cm，幅 2.5 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊十坪SE877出土。8世紀後葉。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。4624；長 19.4 cm，幅 1.9 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。長岡京左京三条二坊四・五町SD0210出土。8世紀後半(784年以前)。水漬。京都府教委保管。4625；長 18.3 cm，幅 2.5 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。4627；長 35.0 cm，幅 2.2 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。滋賀県仏性寺遺跡遺物包含層出土。8世紀～9世紀。水漬。滋賀県埋文保管。4628；長 30.9 cm，幅 3.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

4618・4621・4626 BⅢ型式の斎串。4621はかろうじて圭頭をたもつ。4618は下端を鋭くとがらす。4618；長 11.7 cm，幅 2.3 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層出土。8世紀中葉。水漬。今津町教委保管。4621；長16.5 cm，幅 2.4cm，厚 0.2cm。ヒノキ。京都府中臣遺跡ND85-2-F-33 SE01出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。4626；長 21.5 cm，幅 2.1 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半（694年以前)。水漬。奈文研保管。

4701～4723 CⅢ型式の斎串のうち，両側からの切込みが2回以上のもの。4714・4722は上端木口から割目をいれている。4701；現存長14.3 cm，幅 1.7 cm，厚 0.15 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。4702；長 15.0 cm，幅 2.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京左京四条一坊五・六町ND64-3-J-15 SE07A出土。9世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。4703；長 15.8 cm，幅 2.1 cm，厚 0.35 cm。ヒノキ。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。兵庫県教委保管。4704；長 16.5 cm，幅 1.6 cm，厚 0.2 cm。樹種未同定。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。4705；長 20.7 cm，幅 1.95 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。4706；長 19.0 cm，幅 2.7 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6ADH区SE1247出土。8世紀後半。P. E. G.処理済。4707；長 19.1 cm，幅 2.6 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。4708；長 20.2 cm，幅 2.5 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京左京三条四坊七坪SE1801出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。4709；

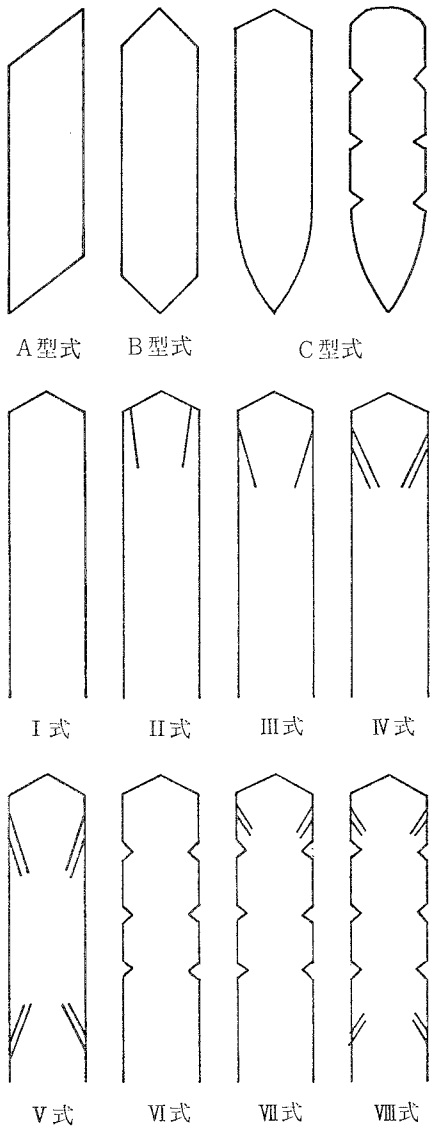


fig. 48 斎串の型式分類

長20.3 cm，幅1.7 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。4710；長 20.4 cm，幅 1.7 cm，厚 0.1cm。樹種未同定。長岡京左京三条二坊四・五町SD0210出土。8世紀後半(784年以前)。水漬。京都府教委保管。4711；長23.5 cm，幅2.3cm，厚0.5cm。ヒノキ。三重県下郡遺跡井戸出土。9世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。上野市教委保管。4712；長 31.6cm，幅 2.9cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。4713；長 27.2 cm，幅1.9 cm，厚 0.35 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。4714；長 21.4 cm，幅 2.2 cm，厚 0.55 cm。樹種未同定。兵庫県出合遺跡井戸出土。8世紀後半。P. E. G.処理済。瀬戸内考古学研究所保管。4715；長 22.0cm，幅 1.6 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SE311A出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。4716；長 19.8 cm，幅 1.5 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。京都府中臣遺跡ND85-2-F-33 SE01出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。4717；長 18.0 cm，幅 2.0 cm，厚0.1cm。ヒノキ。滋賀県野畑遺跡SE003出土。9世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。4718；長 17.7 cm，幅 2.8 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京左京四条一坊五・六町ND64-34-J-15 SE07A出土。9世紀前半。水漬。京都市埋文研保管。4719；長 17.3 cm，幅 1.9 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。4720；長 17.5 cm，幅 0.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。以上，滋賀県鴨遺跡西地区井戸出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。4721；長 16.3 cm，幅 2.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京左京四条一坊五・六町ND64-34-J-15 SE07A出土。9世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。4722；長 15.4 cm，幅 2.2 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SE272B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。4723；長 61.3 cm，幅 2.8 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。

4724・4725　CⅣ型式の斎串。4724；現存長 14.7 cm，幅 2.3 cm，厚 0.35 cm。ヒノキ。藤原宮6AJB区SD170出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。4725；長21.1 cm，幅2.5 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

4726～4728　BⅣ型式の斎串。4726は上端木口に割目をいれる。4726；長 16.4 cm，幅 2.0 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ACP区SE5320出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。4727；長 20.4 cm，幅 1.3 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半（694年以前)。水漬。4728；現存長 12.6 cm，幅 1.1 cm，厚 0.4 cm。スギ。平城京左京三条四坊七坪SX15出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

4729～4732　CⅤ型式の斎串のうち，上下の切込みが1対のもの。4729；長 18.5 cm，幅 2.6 cm，厚 0.15 cm。ヒノキ。平城宮6ACP区SE5320出土。8世紀後葉～9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。4730；長 24.8 cm，幅 1.9 cm，厚 0.1 cm。ヒノキ。4731；長 25.1 cm，幅 1.8 cm，厚 0.1 cm。ヒノキ。以上，藤原京右京七条一坊二坪 SE2270 出土。694 年～709 年。水漬。4732；長 24.5 cm，幅 2.7 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半(694年以前)。水漬。以上，奈文研保管。

4733～4735　CⅤ型式の斎串のうち，上下の切込みが2対のもの。4733；現存長 16.8 cm，幅 1.1 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4734；現存長 23.3 cm，幅 1.7 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平安京左京四条一

坊五・六町ND64-34-J-15 SE07A出土。9世紀前半。水漬。4735；現存長33.1cm, 厚0.2cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。以上，京都市埋文研保管。

4801・4802 D型式の斎串。一端を円頭形にし，他端を剣先形にとがらし，両側に深い三角形の切欠きをいれる。4801；長22.6cm，幅3.7cm, 厚0.5cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。4802；長20.8cm, 幅3.0cm, 厚0.25cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

4803～4806 CⅥ型式の斎串。4803；現存長17.9cm，幅2.2cm，厚0.3cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。奈文研保管。4804；長28.9cm，幅2.7cm，厚0.15cm。樹種未同定。平城京左京五条二坊十四坪SE03出土。8世紀後葉。水漬。奈良市埋文保管。4805；現存長26.2cm，幅2.0cm，厚0.18cm。4806；現存長31.1cm，幅1.7cm，厚0.15cm。以上，ヒノキ。長岡京左京四条三坊六町SE80出土。784年～794年。水漬。京都市埋文研保管。

4807～4811 D型式の斎串。4807～4809は，一端を方頭形にかたどり，他端を剣先状にとがらせ，両側に粗い間隔をおいて小さな三角形の切欠きをいれる。4810は4811と同一個体の可能性もある。一端を円頭形にかたどり，両側に5個を1単位とする小さな切欠きを密にいれるが，左右対称にはならない。4807；現存長31.2cm，現存幅2.6cm，厚0.2cm。4808；現存長25.8cm，幅1.7cm，厚0.25cm。4809；現存長21.2cm，幅1.8cm，厚0.3cm。以上，ヒノキ。京都府中臣遺跡ND85-2-F-33 SE01出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。4810；現存長17.1cm，幅2.7cm，厚0.5cm。4811；現存長22.0cm，幅2.1cm，厚0.5cm。以上，樹種未同定。兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。

4812 CⅤⅢ式の斎串。長29.6cm，幅2.0cm，厚0.1cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。同型式のものが平城京右京八条一坊SD920から出土しており，出現が8世紀後葉に遡る可能性がある。

4813・4814 CⅧ型式の斎串。4813は圭頭の頂部から割目をいれる。長33.2cm，幅2.0cm，厚0.7cm。樹種未同定。平城京右京北辺三坊一坪SE237出土。9世紀。水漬。奈文研保管。4814；長60.6cm，幅2.8cm，厚0.3cm。ヒノキ。兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9世紀前葉。P. E. G 処理済。日高町教委保管。

4815～4817 同一個体の楕円形曲物の底板を転用したものらしい。両側に三角形の切欠きをいれているので，D型式の斎串にあてる。4815；現存長37.1cm，幅5.1cm，厚0.8cm。4816；長40.7cm，幅6.3cm，厚0.8cm。4817；現存長26.2cm，幅5.3cm，厚0.9cm。以上，ヒノキ。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9世紀。水漬。兵庫県教委保管。

4818・4819 圭頭の木片の両側に不規則な切欠きをいれたもので，D型式斎串にいれておく。4818；長18.7cm，幅1.5cm，厚0.2cm。樹種未同定。滋賀県湖西線関係遺跡ⅤD区大溝出土。7世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。4819；現存長24.4cm，幅2.8cm，厚0.2cm。樹種未同定。兵庫県吉田南遺跡SD11出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

4820・4821 両側から切欠きをいれる。B型にぞくしⅦ式の原形らしい。表裏とも丁寧に削る。4820；現存長26.2cm，幅2.1cm，厚0.3cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半(694年以前)。水漬。4821；長27.5cm，幅1.8cm，厚0.3cm。ヒノキ。平城宮6

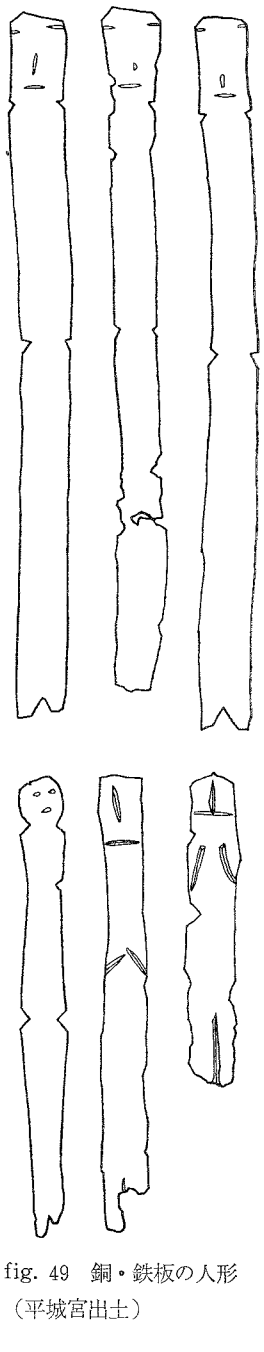


fig. 49　銅・鉄板の人形
（平城宮出土）

ACU区SD1250出土。8世紀前半。水漬。以上，奈文研保管。

4822　C型式の斎串，一端を円形にかたどり，他端をとがらす。全体を平滑にととのえる。現存長 11.4 cm，幅 2.2 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。長岡京左京三条二坊SD0254出土。784年～794年。水漬。京都府教委保管。

4823　D型式の斎串，短冊型木片の両側に三角形の切欠きを密にいれる。斎串でないかもしれない。長 19.5 cm，幅 1.8 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。奈文研保管。

4824　D型式。一端から割目をいれ，他端をとがらせ，一稜角から削りかけをいれる。長25.1 cm，幅 0.9 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

B　正面全身人形（*4901～4930・5001～5007・5101～5123・5201～5210・5301～5311*）　しよんめんぜんしんひとがた

人形は短冊状の板を切りぬいてつくる扁平な人形と，棒状の材を用いて立体的に表現する立体人形に大別できる。立体人形は木偶ともよばれるもので，出土例が少なく個体差も大きい。それに対して，扁平な人形には斉一性があり，時代的な変遷をたどるようである。扁平な人形は人の正面全体を表現する正面全身人形，側面の全体をあらわした側面全身人形，顔面もしくは頭部のみをあらわす顔人形とに区分することができる。*

正面全身人形は出土数からみるとかなり一般的な遺物であり，時代と地域によって型式差がみとめられるが，まだ決定的な編年は確立していない。ここではとりあえず，形態と製作技法によってA～C型式にまずわける。A型式は円頭・圭頭・梯形頭などの頭部と肩部とを画するV字形の切欠きをいれ，両側面から切込みをいれて両腕をあらわし，下端の木口から深い切欠きをいれて両足をあらわしたものである。B型式は手の表現を欠くもので，腰部の両側に三角形の切欠きをいれて胴と脚を区別するものと，切欠きをいれないものとがある。C型式はA・Bの2型式にぞくさないもので，頸の切欠きのないものや細板状のものである。時期的にはA型式からB型式へと変化する。頸部に入れるV字形の切欠きの形は二つにわかれる。Ⅰは2辺の長さが等しい切欠きで，頬がふくらみ撫で肩の表現となる。Ⅱは一辺が長く一辺が短い切欠きで，頬がやせ怒り肩の表現となる。時期的には前者が古い。足を表現する切欠きには，a；V字形切込みと，b；コ字形切込みをいれて折りとるものとがあり，前者の出現が早い。

この種の人形の特色は，丁寧に削って平滑にした表面に墨もしくは刻線で目鼻口を表現することにある。顔の描写には写実的に被りものや鬚（あごひげ）まで描写するもの，目鼻口の存在のみをしめす粗い描写のもの，目鼻口を全く描かないものがある。一方，胴部に祈祷者の姓名や，祈祷する疾病を記すものがあるが，少ない。また，目や心臓の位置に釘を打ったものもある。使途としては病気の祓いや呪咀が想定され，単体で用いられる場合と，2枚以上の複数で用いた場合がかんがえられる。大きさは7・8世紀では15～18 cm 程度のものが主である。8世紀末から9世紀の時期になると大型化し，1m を越す超大型品も出現し，斎串の大型化と対応している。なお，材料の樹種を明記しないものはすべてヒノキである。

4901～4910・4917　AⅠa型式の正面全身人形のうち，頭を丸くあらわすもの。4901は丸く描いた左眼を塗りつぶし，胸に墨痕をいれる。4903は両眼を刃先でえぐってあらわす。4906は胴に呪符のような符号をかく。4909は刻線で目鼻口を描く。4907「右目病作（やまいおこる）」「今日」「今」

＊　金子裕之「歴史時代の人形」『神道考古学講座3巻』雄山閣出版　1981年　p. 200～217
笠井敏光「平安時代の木製人形について」『京都考古』20号　1976年　p. 209～213
水野正好「等身の人形代」『京都考古』21号　1976年　p. 217～226

の文字を背面にかき，眼病の治癒を祈願したことをしめす。4901；長14.3cm，幅2.1cm，厚2.5cm。樹種未同定。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。4902；長15.3cm，幅2.3cm，厚0.5cm。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半(694年以前)。4903；長16.1cm，幅3.1cm，厚0.4cm。藤原宮6AJH区SD501出土。694年～709年。水漬。4904；長10.1cm，幅2.7cm，厚0.25cm。平城宮6ALS区SD4951出土。8世紀後葉。真空凍結乾燥処理済。4905；長14.7cm，幅2.5cm，厚0.3cm。平城宮6ABE区SD3765出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。4906；現存長9.7cm，幅2.5cm，厚0.3cm。スギ。平城宮6ALS区SD5050出土。8世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。4907；長11.0cm，幅2.8cm，厚0.2cm。平城宮6AAD区SD2700出土。8世紀。水漬。4908；長18.2cm，幅2.9cm，厚0.4cm。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。4909；長18.4cm，幅3.2cm，厚0.25cm。スギ。滋賀県服部遺跡SD05出土。8世紀後葉。アルコール・エーテル法処理済。守山市教委保管。4910；長9.1cm，幅2.0cm，厚0.2cm。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。4917；長31.2cm，幅4.8cm，厚0.4cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

4911・4914 AIb型式の人形で，頭部を台形にかたどるもの。4911は表の胴部に符号様の文字を墨書きしており，そのうち「女　依　死廿」がよめ，背面面の肩部に墨痕があり腰部に「重病受死」と墨書している。長15.2cm，幅2.2cm，厚0.2cm。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。4914は顔面の墨描きがない。長18.8cm，幅2.5cm，厚0.5cm。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

4912・4913 AII型の人形で，呪咀に用いたもの。4912は円頭につくり，胴部以下を欠くが，胸に鉄釘を打込む。現存長16.3cm，現存幅3.3cm，厚0.55cm。平城宮6ACU区SG10240出土。8世紀後半。水漬。4913はAIIa型式，胴部の表裏に同じ文字を墨書し，表の文字は「坂部秋□〔近か〕」とよめる。両眼と胸に木釘を打つ。長15.2cm，幅2.3cm，厚0.4cm。平城宮6ABO区SE311A出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。

4915・4918・4919・4924・4925・4927・4928 AIa型式の人形で，頭頂部を山形にとがらす。4918・4919と同じものが別に数点出土しており，複数の人形をもちいて祭祀したことをうかがわせる。4925は顔面に錐の刺突痕跡をとどめる。4915；長18.7cm，幅3.2cm，厚0.3cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。4918；長21.6cm，幅2.4cm，厚0.2cm。平城宮6AAC区SE2600出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。4919；長22.1cm，幅2.4cm，厚0.4cm。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。4924；現存長18.2cm，幅3.5cm，厚0.5cm。長岡京左京三条二坊四・五町SD0210出土。8世紀後半(784年以前)。水漬。京都府教委保管。4925；長13.7cm，幅3.1cm。厚0.3cm。平城宮6ALS区SD4951出土。8世紀後葉。真空凍結乾燥処理済。4927；長15.1cm，幅2.5cm，厚0.2cm。藤原宮6AJB区SD170出土。694年～709年。水漬。以上，奈文研保管。4928；現存長14.1cm，幅2.1cm，厚0.2cm。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

4916・4926 BI形式の人形のうち，頭を山形にするもの。4916は腰部に切欠きをいれる。4926はBIa型式。4916；現存長15.3cm，幅2.0cm，厚0.5cm。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。4926；長11.0cm，幅1.9cm，藤原宮6AJM区SD260出土。10世紀。水漬。以上，奈文研保管。

4920～4923　ＡＩｂ型式の人形で，頭を山形にするもの。4920；長 18.7 cm，幅 2.9 cm，厚 0.4 cm。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。4921；現存長 18.2 cm，幅 2.1 cm。京都府中久世遺跡ND83-4-A-45 SD01出土。９世紀。水漬。京都市埋文研保管。4922；長 16.8 cm，幅 2.7 cm，厚 0.3 cm。4923；長15.6 cm，幅 2.8 cm，厚 0.3 cm。以上，平城宮6AAC区SD2700出土。８世紀。水漬。奈文研保管。

4929　ＡＩ型式の人形で，頭を山形にするものか。現存長 9.0 cm，厚 0.4 cm。平城宮6ABG区SD3715出土。８世紀後半。水漬。奈文研保管。

4930　Ｃ型式の人形。頭を山形にし，腕の切込みをいれるが，頸の切欠きをいれていない。顔面には刻線で眼鼻口をいれる。現存長 6.8 cm，幅 1.5 cm，厚 0.3 cm。藤原宮6AJM区SD260出土。10 世紀。水漬。奈文研保管。

5001・5003　大型のＡＩｂ型式の人形で，ともに円頭にかたどる。5001 は目・鼻・髣髴（ほほひげ）とともに，胴部に縦曲線を墨描きする。長 78.3 cm，幅 4.6 cm，厚 0.5 cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。5003；長 122.2 cm，幅 11.0 cm，厚 0.8 cm。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。８世紀後半～９世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5002・5004～5007　大型のＢＩ型式人形で，ともに円頭にかたどる。5004・5007 はＢＩａ型式であり，5002・5006 をＢＩｂ型式に復原した。5002 は腕位置から腰にかけての側縁に弧形の切欠きをいれる。顔の墨描は写実的である。現存長 126.2 cm，幅 15.8 cm，厚 0.6 cm。平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。８世紀後半～９世紀前葉。水漬。奈文研保管。5004 は頭を欠くが円頭であろう。腰の両側にＶ字形の切欠きをいれ，爪先をかたどっている。長59.1 cm，幅 5.5 cm，厚 0.4 cm。5005は縦に破れているが，頸部と胸部に釘を打った痕がのこる。現存長 54.6 cm，幅4.7 cm，厚1.0 cm。スギ。以上，滋賀県下鈎遺跡大溝出土。９世紀～12世紀。自然乾燥。栗東町教委保管。5006は顔面に髪・目・鼻・口を墨で描き，腰部に切欠きをいれる。現存長 62.9 cm，幅 7.7 cm，厚 0.7 cm。京都府定山遺跡DL51区出土。12 世紀。水漬。京都府教委保管。5007は顔面に墨描きがない。腰の両側に切欠きをいれ，脚部では腿・膨ら脛・爪先まで表現している。長 85.8 cm，幅 9.7 cm，厚 0.7 cm。和歌山県野田地区遺跡SD06出土。９世紀後葉～10世紀前半。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。

5101・5102　ＡⅡａ型式の人形。頭頂部を台形にかたどり，目・鼻・口・鬚を墨描きする。5101；長 12.1 cm，幅 1.8 cm，厚 0.1 cm。平城宮6AAC区SD2700出土。８世紀。水漬。奈文研保管。5102；長 16.4 cm，幅 1.9 cm，厚 0.1 cm。長岡京左京三条二坊SD0251出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

5103・5104・5117・5118　ＡⅡｂ型式の人形。5103・5104 が頭頂を台形にし，5117・5118は頭頂を山形につくるが，その大きさと墨描きで被りもの・眼・鼻・髭（くちひげ）・鬚をあらわした顔の表情は同じである。ともに京都府久世遺跡で発見された一括品で，一度の祭祀に複数の人形を用いたことの例。5103；現存長 14.4 cm，幅 2.2 cm，厚 0.3 cm。5104；現存長 11.6 cm，幅 2.0 cm，厚 0.2 cm。5117；現存長 18.8 cm，幅 2.5 cm，厚 0.3 cm。5118；長 19.0 cm，幅 1.0 cm，厚 0.2 cm。以上，京都府中久世遺跡ND83-4-S-45 SD01出土。９世紀。水漬。京都市埋文保管。

5105・5111・5119　ＢⅡ型式の人形。5105 はＢⅡａ型式で，頭頂を直線にし，腰に切欠きをいれず，顔面に墨描きを行っていない。長 11.9 cm，幅 2.4 cm，厚 0.3 cm。スギ。平安

京左京四条一坊五・六町 ND64-3-J-15 第Ⅰトレンチ3層出土。10世紀。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。5111はBⅡb 型式で，頭頂を山形にし，粗く眼・鼻・口を墨描きするが，腰の切欠きをいれてない。長15.6 cm，幅 2.7 cm。スギ。長岡京左京三条二坊六町SD1301出土。784年～794 年。水漬。向日市教委保管。5119 はBⅡa 型式で，頭頂を三角形とし，腰の両側に切欠きをいれる。墨描きによる顔面の表現はない。長13.0 cm，幅 2.2 cm，厚 0.2 cm。和歌山県野田地区遺跡 SD07 出土。9 世紀前葉。アルコール・エーテル法処理済。和歌山県教委保管。

5106 AⅡ型式人形の頭部破片か。眉・眼・鼻・口・鬚を墨描きする。現存長 6.7 cm，現存幅 2.0 cm，厚 0.2 cm。平城京左京八条三坊九坪SD1300出土。8 世紀後半～9 世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5107～5110 AⅡb型式の人形で，頭頂を山形にかたどり，腕は2回の切込みで表現する。5107～5109は眉・眼・耳・鼻・口・髭・鬚の墨描きが共通し，胸に乳房らしい二つの丸を描く点も同じである。5107；長 22.7 cm，幅 3.1 cm，厚 0.2 cm。5108；長 22.0 cm，幅 3.2 cm，厚 0.3 cm。スギ。5109；現存長 19.7 cm，幅 3.6 cm，厚 0.3 cm。5110；長18.5 cm，幅 2.4 cm，厚 0.2 cm。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

5112 AⅡa 型式の人形。頭頂を山形にかたどり，粗く顔面を墨描きする。長 10.0 cm，幅 1.5cm，厚 0.1cm。長岡京左京三条二坊SD0251出土。784年～794年。水漬。京都府教委保管。

5113 AⅠb 型式の人形。頭頂を山形にかたどる。被りもののほかに上衣と脛を墨線であらわしている。長 15.5 cm，幅 1.9 cm，厚 0.2 cm。大阪府大蔵司遺跡A区溝6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

5114 AⅠb 型式の人形。頭頂を山形にかたどり，眉・眼・鼻・口を墨描きする。長 19.3 cm，幅 1.8 cm，厚 0.3 cm。京都府中久世遺跡ND83-4-A-45 SD01出土。 9 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

5115・5116 AⅡb型式の人形で，頭頂を山形にかたどり，眉・眼・鼻・口を墨描きする。5115；長 22.3 cm，幅 2.9 cm，厚 0.3 cm。5116；長 21.9 cm，幅 3.0 cm，厚 0.4 cm。以上，京都府中久世遺跡ND83-4-A-45 SD01出土。9 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

5120～5123 大型のAⅡb型式の人形。頭頂は低い台形にかたどり，腕の切込みは数回行い胴部を長くする。胴・鼻・口は刻線であらわすが，全体の形状とあいまって，4 枚とも共通している。一時につくられたものであろう。5120；現存長 29.6 cm，幅 5.0 cm，厚 0.6 cm。樹種未同定。5121；現存 35.5 cm，幅 4.0 cm，厚 0.3 cm。5122；現存長 50.3 cm，幅 4.6cm，厚 0.6 cm。5123；現存長 60.6 cm，幅 4.6 cm，厚 0.6 cm。以上，兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。

5201・5202 大型のAⅡa 型式の人形。頭頂を丸くかたどる。眉・眼・鼻・口を墨線で描く。5201 は左肩と腹に墨痕がある。5202 は顎以下に墨痕があり，乳房と臍を丸であらわしているようである。5201；長 33.4 cm，幅 3.5 cm，厚 0.4 cm。平城宮6AAF区SD3297出土。8 世紀後半。5202；長 46.7 cm，現存幅 4.0 cm，厚 0.8 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

5203・5207 大型のAⅡb 型式の人形。頭をゆるい円弧であらわし，脚の先を切先状にとがらす。5203 は被りもの・眉・鼻・口を刻線であらわすが，5207 は顔面の表現を行っていな

い。5203；長 29.6 cm，幅 3.6 cm，厚 0.5 cm。5207；長 29.1 cm，幅 3.4 cm，厚 0.7 cm。以上，スギ。京都府定山遺跡DL51区出土。12 世紀。水漬。丹後資料館保管。

5204～5206　AⅡ型式の人形。ともに円頭にかたどる。5204 はAⅡb 型式。現存長 15.7 cm，幅 2.8 cm，厚 0.3 cm。和歌山県野田地区遺跡SD06出土。9 世紀後葉～10 世紀前半。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。5205 は髪・眉・目・鼻・口・鬚を墨描きする。現存長13.8 cm，幅 2.3 cm，厚 0.2 cm。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。5206は頸が長く杓子のような頭をかたどり，眉・眼・口を刻線であらわす。頸と胸部に墨痕がある。現存長 29.3 cm，幅 4.5 cm，厚 0.8 cm。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

5208～5210　大型のBⅡa 型式の人形。頭頂を弧状にかたどる。5210 は頭頂に墨を塗り足を切りぬいて表現している。5208；長 104.0 cm，幅 9.8 cm，厚 0.5 cm。和歌山県野田地区遺跡SD06出土。9 世紀後葉～10 世紀前半。P. E. G. 処理済。和歌山県教委保管。5209；長112.7 cm，幅 11.8 cm，厚 0.5 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。P. E. G. 処理済。9 世紀前半。5210；復原長 153.2 cm，現存幅 5.6 cm，厚 0.4 cm。藤原宮6AJM区SD260出土。10 世紀。水漬。以上，奈文研保管。

5301　AⅡa 型式の大型人形。頭頂を山形にとがらし，脚の先端を切先状にとがらす。眉・眼・鼻・髭・鬚を墨描きする。右胸に太陽形，胸部に肋骨状の墨線をいれている。長 84.0 cm，幅 7.4 cm，厚 0.9 cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

5302　AⅡb 型式の大型人形。頭部を髷のように切りぬき，腕の切込みが深く，脚が短かい。眼・鼻・口・鬚を墨描きし，腰部にも墨痕がある。長 55.4 cm，幅 6.7 cm，厚 1.2 cm。スギ。長岡京左京三条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

5303　AⅠa 型式の人形。頭部を切りぬいて被りものと両耳をあらわす。被りもの・耳・眉・眼・鼻・鬚を墨描きし，墨線で胴と腕とをわけ，臍と陰部を描く。両脚にまたがって「複」らしい文字をかく。長 15.7 cm，幅 2.7 cm，厚 0.3 cm。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5304　BⅠa 型式の人形。頭部を円くあらわし脚部に腿・脛・足を表現する。墨で帽子・眉・眼・口・耳・顎を描き，胸で両手をあわし胸から腕にかけて体毛のような墨点をいれる。長 17.7 cm，幅 3.0 cm，厚 0.4 cm。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。

5305・5306　AⅡb 型式の人形。頭部を切りぬいて被りものをあらわす。腕の切込みは 2 回。被りもの・眉・眼・鼻・口・耳を墨描きし，胸の乳房位置に円を描く。5306は胴部にも墨線を描いている。5305；長 22.1 cm，幅 3.4 cm，厚 0.3 cm。5306；現存長 16.3 cm，幅 3.3 cm，厚 0.4 cm。以上，長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

5307・5308　AⅡb 型式の人形。頭頂をとがらし，頸が長い。顔面に刻線で眼・鼻・口をあらわし，2 回以上の切込みをいれて腕をあらわす。5307は脚部を内に曲げ，腿・脛・足を区別する。長 46.7 cm，幅4.2cm，厚0.7cm。スギ。5308；長 40.8 cm，幅 4.1 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。以上，兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9 世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。

5309　AⅡ型式の人形。頭部に被りものをあらわし，両腕を深い切込みであらわす。現存長

34.0 cm，幅6.0 cm，厚 0.5 cm。長岡京左京四条三坊三町ND93-4-A-54 SD451出土。784年～794年。水漬。京都市埋文研保管。

5310・5311 C型式の人形。薄い細板を用い，頭部に墨を塗り，眉・眼・鼻・鬚を墨描きし，その下部に「公」のくずしらしい墨書がある。5310；長 13.5 cm，幅 0.9 cm，厚 0.1 cm。カヤ。5311；長 13.5 cm，幅 0.7 cm，厚 0.1 cm。カヤ。以上，平安京左京四条一坊五・六町ND64-3-J-15 SE01出土。12 世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

C 側面全身人形（*5401～5411*） そくめんぜんしんひとがた

板片を胴・腕・脚などを別々に切りぬき，それを組合せてつくる組合せ人形と側面全身を細板から切りぬいたものとがある。樹種を明記しないものはすべてヒノキである。

5401 偏平な板を削り，頭に被りもの，顔に眉と鼻を切りぬいた組合せ人形。上体をわずかに反らせ腰以下は２本の脚を簡潔に表現。左右の肩に当る位置に木釘が各２個所ある。腕をとりつけたのであろう。腹部には穿孔があり，細棒(木釘か)の一部がのこる。人形を動かす装置の一部であろうか。長 50.5 cm，幅 5.8 cm，厚 0.7 cm。平城京左京九条三坊九坪SD1300出土。８世紀後半～９世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5402・5403 細板から胴・腕・脚を別々につくる組合せ人形。頭と胴 (5402)とは一枚板から切りぬく。頭部では被りもの・鼻・顎・首筋を切りぬき，眉・眼・口・髭・鬚・耳・髪を墨描きであらわす。胸部と胴下部にそれぞれ１孔をあける。長9.2 cm，幅 2.0 cm，厚 0.3 cm。腕(5402)は肘の曲りを表現する細板で，両端に穿孔がある。腕の一端は胴にとりつけ，他端を糸などで吊すのであろうか。長 5.7 cm，幅 0.7 cm，厚 0.3 cm。脚(5403)は脛を屈曲させ，足を切りぬき。基部に穿孔がある。両脚とものこっている。長 8.2 cm，幅 1.5 cm，厚 0.4 cm。平城宮6AAI区SD3410出土。８世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5404 組合せ人形の脚。板片を削り腿から足先まであらわす。脚は直線的につくり，中央やや下よりに弧状の切欠きをいれて膝をあらわし，足先を斜めに削りだす。上端に円孔がある。これは胴につなぐためのもの。長 12.2 cm，幅 0.9 cm，厚 0.7 cm。スギ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5405 側面全身を一枚の細板から切りぬく人形。頭部は後頭部の側縁を削って先端をとがらせる。この部分には墨痕が表裏に薄くのこり，被りものをあらわす。顔は台形に突出する。背部にはゆるやかなV字形に抉り，下端をとがらせている。長 15.9 cm，幅 2.1 cm，厚 0.5cm。平城宮6ABE区SD3715出土。８世紀後半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5406～5408 側面全身を一枚の細板から切りぬいた人形。頭部に鼻口をあらわし，切欠きをいれて頸と肩をあらわす。両脚は前向で，下端から逆 V 字形の切欠きをいれてあらわす。5406；長 41.6 cm，幅 3.6 cm，厚 0.8 cm。長岡京左京三条二坊四・五町SD0210流路出土。スギ。10世紀か。P. E. G. 処理済。山城資料館保管。5407；長 17.7 cm，幅 2.6 cm，厚 0.5 cm。スギ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43落込み出土。5408；長 22.2 cm，幅 2.2 cm，厚 0.5 cm。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43 SX07出土。以上，13世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

5409 薄板から左向きの横顔を切りぬいたもので，後頭部をまるく，前頭部に切込みをいれて被りものをあらわす。上面に墨で冠りもの・眉・目・耳などを描くが，額以下の部分は現在欠失。下面に「養」の墨書があり，木簡を転用したもの。現存長 6.4 cm，現存幅 2.5 cm，

厚 0.3 cm。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5410・5411　必ずしも側面全身人形ときめがたいが，とりあえずここに入れておく。5410は後頭部を接合する顔の側面形をあらわしたものであろうか。長 8.4 cm，幅 1.5 cm，厚 0.5 cm。5411 は薄板の一足面を切欠いて目・鼻・口を表現し，他側面の上端を丸くして頭をあらわし，墨で目や髭をあらわした横顔の人形とみておく。長 9.9 cm，幅 2.8 cm，厚 0.4 cm。スギ。以上，長岡京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

D　顔　　形（*5412～5417*）　かおがた

上記の人形以外で，顔面を表現するものをまとめる。個体差が著しく，用途も当然ことなるのであろう。樹種を明記していないものはすべてヒノキである。

5412　仮面形。木彫の仮面の形をとるが，眼孔がなく，実用にたえない。仮面にしても，額につけたものだろう。内側に空洞がある倒卵形の板を削って，人面をほりだす。額にそって1条の溝をめぐらせ，頭頂にV字状に切欠くのは，頭巾をかぶる表現か。額の溝の中央にかけて弧状にほりこんで鬚をあらわす。この彫込は眉の表現をもかねるらしく，目の上のほりは大きい。目は上・下の瞼を表現し，瞳を小さくえぐる。耳は弧線であらわす。右耳から右頬にかけてゆがむのは原材自体のゆがみ。鼻下の上半は低くし，下半を高め，その中央に人中をほる。唇は弓なりのほりと真直ぐな短いほりで表現。削り細めた顎の下端近くに横位の溝をほる。以下は鬚としてあらわすか，装着用の溝にあてたのであろう。長 16.6 cm，幅 8.6 cm，厚 1.7 cm。平城宮6AAA区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

5413　墨画人面板。墨で巧みに男性の笑顔を描く。眉は太く弧をえがき，目もしなやかに弓なりに細める。鼻は太く，小鼻小さく，鼻孔をつらねる弧線は下に大きく突出する。鼻梁には，笑いを生じた縦皺2線をいれる。髭は細く丹念に20本ほど引く。笑って開いた口から下の歯数本がのぞく。髯は頼りない線を5本ひくのみ。裏面には，縦線と斜め弧線1本とを交互に描いて散髪をしめし，下半に「神護景雲」（767年～770年）の墨書がある。舞楽面に類似のものがあり，本例も舞楽に関するものであろうか。長 11.8 cm，幅 11.4 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ACU区SD1250出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

5414　横向きの頭を切りぬいたもの。後方に立つ烏帽子・鼻・顎・後髪を切りぬき，長目の下端に出枘をつくる。板面に烏帽子の下縁をあらわす2本の刻線をいれ，中央の顎にあたる部分に2孔をあけ目釘をうっている。おそらく，他の部材と組合せて使うのであろう。長 27.7 cm，幅 8.6 cm，厚 0.4 cm。スギ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-43 SD04出土。12 世紀。水漬。京都市埋文研保管。

5415・5416　ともに破片で大型の正面全身人形の断片の可能性もあるが，通常のものと形態をことにしており，とりあえずここにおく。5415は丸頭をあらわす。墨点で髪をあらわし，眉・目・鼻・髭・口・顎・耳を墨描きしている。現存長 16.7 cm，現存幅 5.8 cm，厚 0.25 cm。5416は墨で頭髪。美豆良・眉・目・口・顎を描く。頭頂部に3本の突起があり，表裏に3線を描く。現存長 12.7 cm，幅 4.5 cm，厚 0.4 cm。以上，平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5417　人面板。円板に目・口を刳りぬき，鼻はまわりをほりこんで浮彫りにする。顎に弧形の刳込みをいれ，顔面の周像に2孔の釘孔がのこる。部分的に漆痕跡があり，もとは全面に漆

をかけていたこともかんがえられる。長6.5 cm，現存幅3.7 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。平安京左京八条三坊九町No. 74淡灰色シルト層出土。11世紀。水漬。京都市埋文研保管。

E 立体人形（*5501～5516*） りったいひとがた

多くは棒状の材の一端に人の頭部を粗く彫刻したもので，衣服まで表現するものはきわめて少ない。また自然木の枝に人頭をつくるものもある。板状の人形に対して出土例が少なく，個体差も大きいのでここでは細分していない。樹種を明記していないものはすべてヒノキである。

5501 割材に人の頭を粗く彫る。被りものと頸部をあらわすが，それ以外は粗削りのまま。高 13.3 cm，径 1.9×1.6 cm。藤原宮6AJB区SD2300。694年～709年。水漬。奈文研保管。

5502 断面半円形の割材に，頭と胴をほる。上衣の前合せを刻線であらわし，左肩以下に横位の刻線をいれる。高 15.8 cm，径 1.9×1.2 cm。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。8世紀前葉。水漬。奈文研保管。

5503 自然木の枝を利用したもの。枝の本を頭部にあてて下ぶくれの丸い頭をほりだす。両眼は大きく下り目にほり，瞼と目玉を区別する。鼻は比較的小さくて低く，口は横に長い刻線であらわす。頸をほりだし，胸前に2本の短小な腕を出す。後頭部に墨をぬっている。頸と腕以下は樹皮を除くにとどまり，それ以上の加工をくわえない。高 26.2 cm，径 4.8×3.9 cm。マツ属（二葉松類）。平城宮6AAC区SE2600出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5504 角材の一端寄りに断面台形の溝をめぐらし，人の頭をあらわし，頭部木口の稜角を削りおとす。胴下部の四角に浅い抉りをいれて腰をあらわす。溝や枘の仕口がのこっており，転用材を用いて人形にしたことがわかる。全体の加工はきわめて粗雑。現存高34.9 cm，径 4.5×3.9 cm。モミ。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

5505 断面カマボコ形の割材を加工したもの。一端を丸くかたどりその下部の両側から切込みを入れて頸をあらわす。平滑面の上寄りに横位の溝をいれている。また下端の両側からV字形の切込みをいれている。高 15.2 cm，幅 2.1 cm，厚 0.8 cm。モミ。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。

5506 心持ちの小枝を縦割にしたもの。一端をとがらし「く」字形に削りのこし被りものをあらわす。それ以下を平滑面とし，突出部の下で目のような2個の刻みをならべ，中程の両側から切込みをいれて手をあらわす。現存高 12.0 cm，幅 1.1cm，厚0.6cm。シイ。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。

5507 柱状の小木片を加工したもの。刻目をいれて頭部と胴部とを区分し，正面の頸を少しとがらせ胴部の下半を細くする。前頭部から後頭部にかけ墨をぬって禿ふうの頭髪をあらわし，顔面には眉・目・鼻・口を墨描きする。胴部には手足を表現せず，正面に記号風の二字を墨で縦書する。下部に貫通する孔をあけている。長 6.3 cm，径 1.1×0.9 cm。樹種未同定。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5508 扁平な割材の一端を頭とし，切欠きをめぐらして頸をあらわす。顔面は隅丸長方形に似て，低い鼻と目・口を刻み，下端の側面に切欠きをいれる。左目と鼻の一部に墨痕がある。高 15.0 cm，幅 1.9 cm，厚 1.4 cm。兵庫県吉田南遺跡 SD11出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

5509 扁平な割材の一端を丸い頭にかたどり，目・鼻・口を刻す。肩部から両腕がのび，胸前で合掌するらしい刻線があるが不明瞭。現存高 15.3 cm，幅 1.8 cm，厚1.0 cm。平安京西寺

跡ND74-3-E-34 SE01出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

5510　割材の一端に球形の頭部をつくる。目・鼻・口をほり，髪は墨でえがく。体部の表現は粗く，胸に「秋野方」の墨書がある。高14.5cm，径3.0cm。平安京左京四条一坊五・六町ND64-3-J-15 SE07A出土。9世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

5511　扁平な割材を加工したもの。一端に烏帽子をつけた頭部をかたどり，目・鼻をほる。首をやや細くし，体部はほぼ長方形を呈する。高 12.2 cm，幅 1.7 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-L-12 SD10出土。13世紀。水漬。京都市埋文研保管。

5512　頭部の断片。断面が菱形の四角を面取りした形を呈する棒材の一端にあたる。被りもの・目・口を刻線であらわす。現存高 4.0 cm，径 1.1 cm。藤原宮6AJE区SD105出土か。694年～709年。水漬。橿考研保管。

5513　断面菱形の小木片を用い，その上半部に人の頭をあらわす。被りもの・目・鼻・口を稜角に刻んだ溝によって表現する。高 4.3 cm，径1.2×0.9 cm。平城宮6AAF区SK3264出土。755年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5514　小木片を用いて，卵形の頭部とその下に頸をほりだしたもの。目鼻口などの表現はない。高 3.2 cm，径 1.3×0.7 cm。平城宮6AAI区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

5515　木片に被りもの・眉・鼻・耳を刀子様の刃物でほる。高 7.4 cm，径2.7 cm。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。P. E. G. 処理済。向日市教委保管。

5516　小木片に，人の頭部をほる。被りものをほりだし，目鼻を墨線で描き口を刻線であらわす。頸以下を丸棒状に削りだしている。長 9.5 cm，幅 1.0 cm，径 1.0 cm。京都府尊勝寺推定地ND65-3-A-15溝出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

F　刀　　形（*5601～5617*）　かたながた

刀をかたどった形代で細板を粗く削ってつくる。いずれの場合も鞘からぬいた抜身の状態で表現しており，刃物の厭勝を意図するようである。刀とつぎの刀子とは形態で酷似し，区別が困難であるが，ここでは小型のもので鉾（かます）切先をなさないものを刀子にあて刀と区別した。刀は必ずしも実際の刀を忠実に模倣したものでなく，大きさや形態はかなりデフォルムされている。出土例が少ないこともあわせて，ここではA型式；柄と刀身を表現するものと，B型式；柄を表現せず，刀身と茎のみをかたどるものとに区別するにとどめる。

5601・5602　A型式の刀形。細板を切りぬいて長方形の鍔と柄頭をあらわし，その間に屈曲する柄間をつくる。刀身のつくりは粗く刃や刃先は表現しない。5601；現存長 64.6 cm，幅 3.2 cm，厚 0.4 cm。5602；現存長 28.1 cm，幅 3.3 cm，厚 0.5 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAI区SD4100A出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

5603　A型式の刀形。刀身と柄をはっきりと区別し，柄元の幅を広くし柄間の内側に弧形の刳込みをいれ，頭椎風の柄頭をつくる。刀身では刃をのぞく鎬から刀背にかけて墨でぬり，柄には紐巻きの状態を墨線で描く。現存長 20.0 cm，幅 2.2 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。藤原京右京八条一坊SD104出土。7世紀後半。水漬。奈文研保管。

5604　A型式の刀形。刀身と柄の境が不明確。刃身は一面の片側を薄く削って刃をつける。柄間は幅を狭め，柄頭を円頭形にあらわす。現存長 36.3 cm，幅 3.0 cm，厚 0.5cm。スギ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5605　A型式の刀形。刀身と柄の境を少しひろげて鍔をあらわし，柄間を細めて円頭形風の

柄頭をつくる。鍔と刀身の2個所に円孔があくが，板を刀形に加工する以前のもの。 長 53.2 cm，幅2.4cm，厚0.5cm。ヒノキ。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

5606 A型式の刀形。先端を斜めに削りおとして舒切先にするが， 刃をつけていない。柄と刀身との間の両側を台形に削りのこして鍔をあらわす。柄は両側縁を若干内弯気味に削り，柄頭は撥形に近い。長 36.4 cm，厚 0.6 cm。スギ。 平城京左京一条三坊SD650出土。 9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

5607 A型式の刀形。短くて幅広の刀身に， 鍔つきの柄をあらわす。 柄間はわずかに屈曲し，柄頭を円頭形にかたどる。蕨手刀のようにもみえる。長17.3 cm，幅2.0 cm，厚0.25cm。ヒノキ。平城宮6AAY区SD1250出土。730年頃。水漬。奈文研保管。

5608 A型式の刀形。刀身を薄く削って墨を塗り柄と区別する。 柄は真直ぐのび柄頭を丸くするにとどまる。鍔はない。現存長 17.7 cm，幅 4.1 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5609 A型式の刀形。刀身は柄より細身につくり柄との境に段をつける。 鍔の表現を欠いている。身は鎬造りで切先に刃をつけ，鎬地に墨を塗る。柄は少しく尻上りにかたどる。柄元に責金具らしい墨描きの太線をいれ，柄間に紐巻きをあらわす斜線をひき，その柄頭付近に鳩目か目釘孔らしい円を描く。柄頭には全面に墨を塗り，金具をあらわしている。長29.8 cm， 幅 1.7 cm，厚 0.45 cm。ヒノキ。 平城京左京九条三坊十坪SD1300出土。 8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。奈文研保管。

5610 A型式の刀形。 刀身は柄よりも細身につくる。刀身は鎬造りで切先に刃をつける。柄は真直ぐに通し， 稜角に面取りをほどこし柄端に 丸味をもたせる 程度の加工にとどまる。 長 24.4 cm，幅 2.7 cm，厚 0.8 cm。モミ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

5611 A 型式の刀形。 5610 とほぼ同じつくりだが， 刀身と柄の境に段をつくる点が ことなる。現存長 15.5 cm，幅 2.3 cm，厚 1.6 cm。ヒノキ。兵庫県吉田南遺跡 SD11 出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

5612 細板の半分を刀身とし，のこりを柄にあてる。 加工は柄の一側面を削って舒切先と細身の刀身をかたどるにとどまる。長 15.7 cm，幅 1.8 cm，厚 0.8 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5613～5615 B型式の刀形。 切先の刀身下端の中央に細長い茎をつくりだす。 両面もしくは片面に鎬をとおして，刃をつけている。5613；長 28.8 cm，幅 2.4 cm, 厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ACU区SD1250出土。8世紀。水漬。5614；長 24.8 cm，幅 2.1 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。5615；長 17.1 cm， 幅 1.4 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。 7世紀後半(694年以前)。水漬。以上，奈文研保管。

5616・5617 現代の包丁の形に似て， これまでの刀形とは形をことにしている， 別の型式になる可能性もあるが，とりあえずB型式の刀形としておく。ともに刀身の背をわずかに弧形にかたどり，切先をとがらす。刀背と茎の片側とをそろえる，関が曲線をえがく。5616；現存長25.0cm，幅 4.2 cm，厚0.7 cm。水漬。5617；長30.9 cm，幅2.3 cm，厚0.7cm。P. E. G. 処理済。以上，スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。向日市教委保管。

G　刀子形（*5618～5621・5711～5721*）　とうすがた

刀子形は，その形態によって大きく三つに区分することができる。A型式は細板の片側を削って刀身と柄をあらわすもので，刃をつけるものとつけないものがある。全体に粗雑なつくりで，割裂き面などの粗面をとどめるものが多い。もっとも一般的な型式。B型式は刀身と柄との間に段をつけ，身と柄を明瞭に区別するもの。C型式は柄をつけない刀身のみをかたどるもので，柄のかわりに茎をあらわす。

5618～5621　A型式の刀子形。全体の約半分を刀身にあて，鎬をとおし，刃をつくりだす。5618；長24.0 cm，幅 1.4 cm，厚 0.7 cm。スギ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。5619；長 22.5 cm，幅 1.9 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SK2101出土。750 年頃。水漬。5620；長19.7 cm，幅 1.3 cm，厚 0.3 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。5621；長18.8 cm，幅 1.6 cm，厚 0.6 cm。スギ。奈良県白毫寺遺跡池1出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。

5711・5716～5721　A型式の刀子形。5711；長15.0 cm，幅 1.5 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694年～709年。P. E. G. 処理済。5716；長18.3 cm，幅 1.3 cm，厚 0.7 cm。樹種未同定。平城宮6ALS区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。5717；長15.4 cm，幅 1.6 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。5718；長 16.1 cm，幅 1.5 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694年～709年。P. E. G. 処理済。5719；長 15.3 cm，幅 1.2 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。5720；長14.4 cm，幅1.7 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。5721；長 17.0 cm，幅 1.6 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

5712・5713　C型式の刀子形。5712は刃を薄くし，実用の鉄刀子をかなり忠実に模している。5713は刀身が短く，茎が長いので鑿のような別の刃物を表現した可能性もある。5712；長14.2 cm，幅 1.7 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。5713；長 9.9 cm，幅 1.9 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。平城宮6ACP区SD5280出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。

5714・5715　B型式の刀子形。5714は刀身を一段薄くし，真直ぐ通る柄をかたどる。5715は柄の内側が弧状を呈する角形の古いタイプの柄を表現している。5714；長 14.7 cm，幅 1.7 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。5715；現存長 14.9 cm，幅 1.7 cm，厚 0.7 cm。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

H　剣　　形（*5701～5710*）　けんがた

剣形に比定するものは，刀形や刀子形ほど定型化していない。ここでは，細板の両側に刃をつけ，切先を山形にとがらすもの，古墳時代の石製模造品の剣のように剣身を抽象的にかたどるものなどをあつめた。

5701　上半を剣身状の諸刃とし，下半には刃をつけていない。現存長 39.7 cm，幅 2.5 cm，厚 1.0 cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文

5702 剣身をあらわしたものの断片で，剣先を欠く。剣身中央に鎬をとおし，関部を削込み，柱状の茎をつくりだす。現存長24.0 cm，幅 3.9 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。奈良県布留遺跡FM20c3区出土。8世紀～9世紀前半。アルコール・エーテル法処理済。天理教調査団保管。

5703・5706・5708 木片を木葉形にかたどったもので，剣身を抽象化したものとみておく。5708 の基部には小孔をあける。5703；長 9.9 cm，幅 1.7 cm，厚 0.2 cm。樹種未同定。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。5706；長 12.4 cm，幅 2.7 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6ALS区SD5100出土。8世紀前半。水漬。以上，奈文研保管。5708；長 12.2 cm，幅 2.2 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

5704・5707 着柄の剣を象徴的にかたどったものとみる。剣身を幅広の木葉形にかたどり，5704 では柄を三角形に類似する形にあらわし，5707 では柄元・柄間・柄頭をあらわす柄をつくりだしている。5704；長 6.1 cm，幅 2.2 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD145出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。5707；長 9.9 cm，幅 1.8 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

5705・5709・5710 細板の先端を剣先状にとがらせたもの。5705；長16.4 cm，幅2.4 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。兵庫県出合遺跡井戸出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。瀬戸内考古学研究所保管。5709；長 18.7 cm，幅 1.7 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。5710；長22.0 cm，幅1.7 cm，厚1.0 cm。ヒノキ。京都府仁和寺南院跡ND63-1-H-14池出土。11世紀。水漬。京都市埋文研保管。

I 鏃　形（*5722～5743*） やじりがた

5722～5743 実用の鉄鏃を比較的忠実に模している。三角形式柳葉形の身に茎をつくりだすものが多く，なかには篦被（のかずき）を付したものとおもわれるものもある(5734・5735)。一方，少数ではあるが，矢柄をふくむ矢の全形をかたどるものがある(5741～5743)。5722；長 14.0 cm，幅 2.1 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。滋賀県湖西線関係遺跡ⅡH区出土。7世紀後半。水漬。滋賀県教委保管。5723；現存長 8.4 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6AFJ区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。5724；長 16.3 cm，幅 1.4 cm，厚 0.3 cm。5725；現存長 9.6 cm，幅 1.4 cm，厚 2.25 cm。以上，ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。5726；長 10.2 cm，幅 1.1 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。5727；現存長 8.3 cm，幅 1.1 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6ACC区SD3825出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。5728；現存長 4.8 cm，幅 3.5 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。5729；現存長 7.3 cm，幅 3.3 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SD3297出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。5730；長 8.7 cm，幅 1.6 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SD5780出土。8世紀。真空凍結乾燥処理済。5731；現存長 8.6 cm，幅 1.8 cm，厚 0.5 cm。スギ。平城宮6ABE区整地層出土。710 年頃。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。5732；長 6.0 cm，幅 2.6 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。5733；現存長 12.0 cm，現存幅 1.4 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。5734；長 12.4 cm，幅 2.1 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。真空凍結乾燥処理済。5735；現存長 7.0 cm，幅 2.3 cm，厚 0.4 cm。ヒ

ノキ。平城宮6AAA区SD10550出土。8世紀。水漬。5736；長6.9cm，幅1.0cm，厚 0.3cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。P.E.G.処理済。5737；現存長9.3cm，幅0.6cm，厚 0.3cm。樹種未同定。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。水漬。5738；長 11.5cm，幅 0.6cm，厚0.3cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P.E.G. 処理済。5739；現存長 11.0cm，径 2.0cm。広葉樹。平城宮6AAG区SD3410出土。8世紀。水漬。以上，奈文研保管。5740；現存長 14.0cm，径 1.2cm。針葉樹。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。5741；現存長 16.7cm，径 1.1cm。ヒノキ。平城京西隆寺跡出土。8世紀。P.E.G.処理済。5742；長36.5cm，径 1.5cm。樹種未同定。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P.E.G.処理済。5743；現存長11.6cm，幅 1.9cm，厚 0.5cm。ヒノキか。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P.E.G. 処理済。以上，奈文研保管。

J　鉇　　形（*5801*）　やりがんながた

5801　細板の先端をとがらし，一面から刃をつけたもの。若干内反りになっており，鉄製の鉇をかたどったものであろう。ただし，基部の木口から割目をいれており，木針である可能性もすてがたい。現存長 19.4cm，幅 1.8cm，厚 0.5cm。モミ。平城宮6AAI区SD4100A出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

K　鎌　　形（*5802・5803*）　かまがた

柄をかたどったものと，鉄刃をかたどったものがある。

5802　鎌形の柄。細板から全体をく字形に近い形にととのえる。柄尻は山形に削りのこす。柄元は先端をとがらし，木口面から刃を挿入する縦の割目をいれている。現状では，刃はなく目釘孔も略されているが，本来は木の刃を挿入して用いたものであろう。長 11.8cm，幅 1.3cm，厚 1.1cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P.E.G. 処理済。奈文研保管。

5803　鎌の刃形。細板を鎌の刃にかたどったもので，やや内弯する刃をつくりだし，先端を鋭くとがらす。刀背にも若干の面取りがある。基部が変色していないので，使用時には柄に着装されていた可能性がある。なお，報告では篦にあてている。長17.7cm，幅2.1cm，厚0.5cm。樹種未同定。長岡宮7AN5区SD3100出土。784年～794年。水漬。山城郷土資料館保管。

L　鉈　　形（*5804*）　なたがた

5804　円筒状の柄に曲刃の刃先をつけた形をあらわす。いまのところ，鉈をかたどったものとしておく。長 14.9cm，径 2.5cm。アカガシ亜属。兵庫県上原田遺跡SE03出土。8世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。兵庫県教委保管。

M　下駄形（*5805*）　げたがた

5805　楕円形に近い板に鼻緒孔のような配置で孔をあけたもの。下駄をかたどったものにあてる。板材の両端を直線にし，両側縁を外反りに小判形にととのえる。一方の木口縁中央に1孔，両側縁中央に各1対の孔を錐であける。長 12.9cm，幅 6.3cm，厚 1.0cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P.E.G. 処理済。奈文研保管。

N 鋤　形（*5806～5808*）　すきがた

5806～5808　一木鋤をかたどったもの。先のとがった鋤身に柄をつくり，柄の先端に把手を表現するものもある。5806；長 10.7 cm，幅 1.8 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。5807；長 18.5 cm，幅 3.6 cm，厚 0.45 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。5808；長 22.2 cm，幅 2.5 cm，厚 0.5cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

O 舟　形（*5809～5816*）　ふねがた

舟形は角材や半截の丸木に船槽を刳りぬいてつくる。丸木舟形と丸木舟に甲板を設けた準構造船形とがある。後者はいまのところ近畿地方で発見されていない。丸木舟形には船首と船尾をとがらせたものと，船首と船尾を四角や隅丸方形に作る例がある。ここでは，とりあえず前者をA型式，後者をB型式とする。

5809～5811　B型式の舟形。5809 は全体を長細くあらわし，舟底の両端近くに小孔とこれに挿入した細棒の痕跡がある。舟形を用いるとき両端を細棒で支えたのであろう。5811 は舟槽が深い。5809；長 31.5 cm，幅 1.5 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。平城宮6AAY区SD1250出土。8 世紀。水漬。5810；長 15.6 cm，幅 1.9 cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694 年～709 年。水漬。以上，奈文研保管。5811；長 13.5 cm，幅 2.3 cm，厚 2.8 cm。樹種未同定。平安京左京四条一坊五・六町ND64-3-J-15 SK03出土。9 世紀。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

5812～5815　A型式の舟形。5812 は船先を方形にかたどるが，舟槽は尖頭形にほりこむ。5813・5815 は船先で底部が一段高くなり，5814 には桟をおとした溝を舷側の両側にあけている。5812；現存長 9.1 cm，幅 2.0 cm，厚 0.9 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。5813；長 17.4 cm，幅 3.2 cm，厚 1.7 cm。5814；現存長 10.0 cm，幅 2.0 cm，厚 0.8 cm。以上，樹種未同定。京都府 鳥羽離宮跡ND84-3-G-44 SX10出土。12 世紀～13 世紀。水漬。京都市 埋文研保管。5815；現存長 7.1 cm，現存幅 3.2 cm。ヒノキ。難波宮橋脚MP-2区SK10043出土。7 世紀前半。水漬。大阪市文協保管。

5816　B型式の舟形。舟形としては大型にぞくする。舷側の 3 個所に相対する溝を切欠いているので，桟をわたしたことがわかる。また舟首と舟尾の片側に穿孔するが意味不明。舟底のほぼ中央および一端に枘穴をあけており，帆柱を立てた可能性がある。この舟形は平城宮東院の園池から出土したものであり，実際に水に浮かべたものとおもわれる。長 55.8 cm，幅 11.3 cm，厚 5.5 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

P 馬　形（*5901～5918*）　うまがた

馬形は裸馬をあらわしたA型式と，鞍をかたどるB型式に大別できる。ともに，きわめて抽象化しており，耳をかたどるものはまれで，四足は表現の対象外である。板の周辺を切りぬいて形をととのえるのは一般的だが，なかには墨で目や体毛をあらわすものもある。

A型式馬形のうち，細板の上辺に1個所，下辺に2個所の切込みをいれ，胴と頭もしくは尾をしめしたらしいものや，背をあらわす切欠きと頭と頸の境をあらわす切欠きをいれるものなど，きわめて簡略な表現をとるものをAⅠ型式とする。上辺と下辺の切込みあるいは墨描きによって，頭・胴・尾の違いが識別できるものをAⅡ型式とする。B型式は，上辺にいれる二個の切欠きによって鞍の存在を示すものをBⅠ型式とする。一方，鞍の前後輪を突出させ，その間を凹めたより写実的なものをBⅡ型式とする。

5901～5908　BⅡ型式の馬形。5903・5907には刃物の先で目をほりこんでいる。5903・5904・5907は下辺を弧状に削り，他は一直線に削る。5906は耳，5908は尾を表現する。5901；長29.0cm，幅4.7cm，厚0.4cm。スギ。5902；現存長14.7cm，幅2.9cm，厚0.6cm。スギ。5903；長25.6cm，幅5.7cm，厚0.5cm。ヒノキ。5904；長16.6cm，幅3.5cm，厚0.7cm。ヒノキ。5905；長23.4cm，現存幅3.9cm，厚0.4cm。ヒノキ。5906；長17.3cm，幅3.6cm，厚0.5cm。スギ。5907；長17.6cm，幅3.6cm，厚0.5cm。ヒノキ。5908；長18.8cm，幅2.9cm，厚0.5cm。ヒノキ。以上，兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9世紀前葉。P.E.G処理済。日高町教委保管。

5909・5914　BⅠ型式の馬形。5909は頭部を短く，尾を長くあらわし，上面に刃物痕がついている。5914は尾をあらわしていないが，表裏に目や体毛を墨描きしている。5909；長12.2cm，幅2.6cm，厚0.25cm。ヒノキ。藤原宮6AJB区SD170出土。694年～709年。水漬。5914；長14.2cm，幅2.9cm，厚0.3cm。樹種未同定。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

5912・5915・5917・5918　AⅠ型式の馬形。5912・5915は左右対称形につくり，頭と尾を区別しがたい。5917・5918は下辺の切欠きによって頭と頸とを区別している。5912；長16.3cm，幅2.7cm，厚0.7cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半（694年以前）。水漬。奈文研保管。5915；長16.3cm，幅3.7cm，厚0.5cm。樹種未同定。京都府大藪遺跡ND83-4-F-11流路出土。9世紀前半。P.E.G.処理済。京都市埋文研保管。5917；長8.2cm，幅1.4cm，厚0.15cm。5918；長13.8cm，幅2.5cm，厚0.5cm。以上，ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P.E.G.処理済。奈文研保管。

5910・5911・5913・5916　AⅡ型式の馬形。5910・5911・5913は背を窪め，5910・5913は切欠きで頭・胴・尾をあらわす。5911は墨描きで目や立髪・手綱らしきものをあらわす。5910；長16.9cm，幅2.3cm，厚0.55cm。ヒノキ。平城京右京八条一坊十一坪SD920出土。8世紀後葉～9世紀前葉。水漬。5911；長13.5cm，幅2.3cm，厚0.12cm。ヒノキ。平城宮6AAY区SD1250出土。8世紀。水漬。5913；現存長10.8cm，幅1.8cm，厚0.4cm。ヒノキ。平城宮6AAD区SD2700出土。8世紀。水漬。以上，奈文研保管。5916；現存長19.0cm，幅3.7cm，厚0.4cm。樹種未同定。京都府大藪遺跡ND83-4-F-10 SD01出土。8世紀後半～9世紀。水漬。京都市埋文研保管。

Q　牛　　形（*5919*）　うしがた

5919　4足の獣形をかたどる。鼻が突出し，刻線で口をあらわす。胴は太くそれに短い足をあらわす。鼻先に孔をあけ木片をとおし，足部にも円孔をあけている。同時に小板片を「く」字形に加工し，両端に孔をあけ木片を挿したものが出土している。鼻先と胴部に墨痕がある。鼻の木片を鼻輪とし，足の孔に軸をとおし車輪をつけ，く字形の木片を軛として肩にのせる

と，牛車が想定できる。玩具かもしれない。牛形；長 13.7 cm，幅 5.3 cm，厚 1.3 cm。軛；長7.7 cm，幅 1.0 cm，厚 0.4 cm。樹種未同定。京都府仁和寺南院跡ND63-1-H-14池出土。12世紀。水漬。京都市埋文研保管。

R 鳥　形 (*6001～6021*)　とりがた

鳥の形に板を切りぬいたもの。鳥の全形をあらわしたものをA型式とよび，鳥の部分をあらわしたものをB型式とよぶことにする。

A型式鳥形のうち比較的写実的に切りぬき，ときには墨描きなどで目や羽をあらわすものをAⅠ型式鳥形とするが，それには鷹や水鳥に比定しうるものもある。鳥形がきわめて粗雑に表現され，AⅠ型式の存在からして鳥形であろうと推測できるものをAⅡ型式鳥形とする。A型式の鳥形はおおむね側面形で表現されており，体部にヒゴなどを挿入した痕跡をとどめるものや，尾羽根にあたる端部側面に割目をいれ，何物かに挿した痕をしめすものもある。B型式鳥形は，組立式の鳥形の部品とみられる。いまのところ頭・脚・翼に相当するものがある。

6001　AⅠ型式鳥形。翼から尾羽根にかけての破片で頭部から胸部にかけてを欠損している。周縁を翼をたたみ尾羽根を下にさげた状態にかたどり，一枚一枚の羽を墨線によってあらわしている。墨描きは片面だけである。現存長 16.8 cm，現存幅 4.0 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。藤原宮6AJB区SD2300出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。

6002　B型式鳥形。鳥の頭をかたどる。両面に嘴・目・羽毛を墨描きする。猛禽の類であろう。長方形の頸以下に墨痕を欠くので，この部分を別材でつくった胴体に挿しこむのであろう。長 5.5 cm，現存幅 1.4 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6003　AⅠ型式鳥形。嘴の短い小鳥らしい鳥の側面を切りぬく。目・嘴・翼を墨描きであらわす。長 6.7 cm，幅 3.4 cm，厚 0.6 cm。ヒノキか。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

6004　AⅠ型式鳥形。嘴と頸の短い鳥の側面形をかたどり，目や羽根の一部を墨描きであらわす。長 7.8 cm，幅 2.3 cm，厚 0.5 cm。樹種未同定。兵庫県出合遺跡井戸出土。8 世紀後半。真空凍結乾燥処理済。瀬戸内考古学研究所保管。

6005　AⅠ型式鳥形。卵形の体部から，長い頸と嘴をつくりだした水鳥の形。尻に木釘様のものを打込んだ痕跡がある。長 10.0 cm，幅 2.4 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAY区SD1250出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

6006　AⅠ型式鳥形。木葉形の体部から，長い頸と嘴をつくりだした水鳥の形。長 13.8 cm，幅 4.7 cm，厚 0.65 cm。樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-44 SX10出土。12 世紀～13世紀。水漬。京都市埋文研保管。

6007～6014　AⅡ型式鳥形。6008・6009 は長方形の板に頭部のみを切りぬく。6010・6012～6014は胸部あたりにヒゴを挿入した痕跡をとどめる。6007；長 12.8 cm，幅 3.2 cm，厚 0.7 cm。スギ。平城宮6AAI区SD4951出土。8 世紀後葉。水漬。奈文研保管。6008；長 8.8 cm，幅 3.2 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756 年頃。水漬。6009；長 12.3 cm，幅 2.1 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。6010；長 9.0 cm，幅 3.1 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD5564出土。757年頃。P. E. G.処理済。6011；現存長 9.0 cm，幅 3.1 cm。ヒノキ。平城宮6ACC区SD3825

出土。8世紀後半。水漬。6012；現存長 14.2 cm，幅 3.5 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。以上，奈文研保管。6013；現存長 15.7 cm，現存幅3.2 cm，厚 0.7 cm。平安京西寺ND74-3-E-34 SE01出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。6014；長 21.3 cm，幅 3.1 cm，厚 1.2 cm。スギ。京都府定山遺跡DL51区出土。12世紀。水漬。丹後資料館保管。

6015～6018　AⅡ式鳥形。細長い板材から頸の長い水鳥をかたどる。6015 には体部に貫通するヒゴ孔をあけている。6015；現存長 35.2 cm，幅 2.3 cm，厚 0.4 cm。スギ。兵庫県姫谷遺跡旧河川出土。9世紀前葉。P. E. G. 処理済。日高町教委保管。6016；長 26.7 cm，幅 1.6 cm，厚 0.4 cm。スギ。平城宮6ABE区SD8161出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。6017；現存長 20.8 cm，幅 2.0 cm，厚 0.4 cm。平城宮6AAI区SD4951出土。8世紀後葉。水漬。奈文研保管。6018；長 25.3 cm，幅 2.0 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡B区自然流路出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6019　B型式鳥形。鳥の頭をかたどる。頭部に曲がった嘴と小さな突起を削りだし，目を刃物で切りぬいた猛禽の形をあらわす。顎と頸部の基部に切欠きをいれており，基部の切欠き部分までを胴部に挿入したのではあるまいか。長 11.5 cm，幅 3.0 cm，厚 0.9 cm。スギ。平城宮6ALR区SD3236出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

6020　B型式鳥形。鳥の脚をかたどる。上端を長方形に削りのこし，以下を丸棒状に削って脚をつくる。中央に2本の突線をめぐらし関節をあらわす。爪は大きく外反する。前爪は2度内彎し，蹴爪は大きい，ともに先端をとがらす。上方の突起は体部につなぐためのものであろう。長 15.3 cm，幅 2.3 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6021　B型式鳥形。鳥の翼を広げた形をとる。板に曲面をもたせ，内外を丁寧に削る。付根は厚く平坦面をなし，釘孔がある。長 15.7 cm，幅6.4 cm，厚 1.5 cm。ヒノキ。平城京法華寺旧境内SD03出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

S　陽物形（*6101～6113*）　ようぶつがた

男性の生殖器をかたどったもの。樹皮をとり去った心持丸木の棒ないしは割材の棒の一端を亀頭形に加工する。基端に溝をめぐらし，紐などを巻きつけたことをうかがわせるものもあるが，基部に加工をくわえないものもある。出土例では，心持丸木のものと割材のものとが相半ばするが，前者のほうが概して写実的である。

6101～6108・6113　心持丸木のもの。6101；長 15.3 cm，径 2.9 cm。サカキ。6102；長 14.2 cm，径2.5 cm。ツバキか。以上，滋賀県湖西線遺跡出土ⅡH・VA区。9世紀～13世紀。水漬。滋賀県教委保管。6103；長18.3 cm，径3.0 cm。アカガシ亜属。平城宮6AAO区SE311B出土。9世紀前葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。6104；長 12.3 cm，径 3.0 cm。6105；長 12.6 cm，径 2.3 cm。以上，樹種未同定。京都府中久世遺跡ND83-4-S-45 SD01出土。9世紀。水漬。京都市埋文研保管。6106；長 14.0 cm，径 2.7 cm。ツバキか。滋賀県湖西線遺跡IVD区出土。9世紀～13世紀。水漬。滋賀県教委保管。6107；長 8.8 cm，径3.1cm。ツバキ。平城京左京三条二坊十五坪SE967出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。6108；現存長 9.4 cm，径 1.1 cm。ヤナギ属。奈良県白毫寺遺跡池1出土。8世紀後半。水漬。橿考研保管。6113；現存長 19.4 cm，径 5.5 cm。樹種未同定。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12

世紀～13世紀。 P.E.G. 処理済。京都府教委保管。

6109～6112 割材からつくるもので，必ずしも断面が円形にならず，一般に粗雑なつくりである。6109；長 12.0 cm，径 1.4×1.1 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P.E.G. 処理済。奈文研保管。 6110；長 18.0 cm，径 3.5×2.8 cm。6111；長 14.5 cm，径 3.6×2.7 cm。6112；長 12.9 cm，径 3.5×2.8 cm。以上，樹種未同定。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

T 仏具他 (*6201～6214*) ぶつぐ

6201 百万塔未成品。心をはずした割材からつくる。横軸轆轤によって塔身に三重の屋蓋を挽きだすが，全体に腐蝕し加工痕跡がはっきりしない。三重目の頂部には陀羅尼経をいれ，相輪をはめこむ孔はまだ刳りぬかれておらず，轆轤の削り痕がのこる。基壇底面に轆轤爪痕跡があり，その中心部は粗加工にとどまる。陀羅尼経の収納孔をあける前に，屋蓋に欠損を生じ廃棄したのであろう。なお平城宮6AAD区SD2700から屋蓋片が出土している。* 高 14.4 cm，径 10.6cm。ヒノキ。平城宮6ACC区SD3825出土。8世紀後半。P.E.G. 処理済。奈文研保管。

6202 火焔宝珠。板を火焔宝珠形に加工したもの。下辺に三枚の蓮弁をあらわし，そのうえに球形の宝珠，その周囲に立上る火焔を刻む。蓮弁と宝珠とは墨の輪郭であらわし，火焔部分は赤色の顔料を塗る。中央蓮弁の下に小さな枘をつくり，宝珠中央部分に1対の小孔をあけ，何物かをとりつけた模様。現存長 14.0 cm，幅 11.0 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6203 物忌札。短冊形の薄板の頭部を圭頭状につくり，表面を丁寧に削って上寄りに「物忌」と墨書する。** 現存長 14.1 cm，幅 3.4 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。水漬。奈文研保管。

6211 物忌札。細板の一端を圭頭にかたどり，他端に向って細める。上部の表裏に「固物忌」の墨書がある。長 17.1 cm，幅 0.3 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。平安京左京六条一坊八町ND74-1-B-55 SE03出土。11世紀後葉。水漬。京都市埋文研保管。

6204 飛雲形。板を飛雲の形に切りぬく。二つの雲が派出する様をかたどる，先の雲は折損している。雲は連弧の渦巻状頭部から長い尾をひき，片面にその輪郭を墨で描く。厨子などの付属品か。現存長 27.0 cm，幅 7.0 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAY区SD1250出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

6205・6206・6213・6214 車輪形。円板の中心に軸受孔をあけ，輪と輻は粗い墨描きで表現する。輻は8本以上で，軸受孔から放射状にのびる。仏具の輪宝か，それとも6206はさきにのべた牛形(5919)と共伴しているので牛車の車輪になる可能性もある。6205；径8.0cm，厚 0.7 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。6206；径 8.5 cm，厚 0.4 cm。京都府仁和寺南院跡ND63-1-H-14池出土。11世紀～12世紀。6213；径 6.6 cm，厚 0.5 cm。6214；径 11.4 cm，厚 7.0 cm。以上，樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-53 SD01出土。12世紀後葉。水漬。京都市埋文研保管。

6212 絵馬か。板に楽人2人を黒と朱で描く。ともに被りものをつけ，赤色を混える上衣を着る。向って左側の人物は笛を，右側の人物は笙を奏する。報告では板戸の絵画とするが，横位の板に描くので，絵馬の可能性がある。現存長21.2 cm，現存幅 6.3 cm，厚 0.8 cm。樹種未同定。京都府鳥羽離宮跡ND84-3-G-53 SD01出土。12世紀後葉。水漬。京都市埋文研保管。

＊ 成田寿一郎「百万塔製作技術の実験的研究Ⅰ・Ⅱ」『民具マンスリー』13巻10号 p. 1～14，同14巻2号 p. 1～13 1981年
工楽善通・金子裕之「百萬塔の調査から」『伊珂留我』1号 小学館 1983年 p. 16～23

＊＊ 難波俊成「物忌札」『日本仏教民俗基礎史料集成』第4巻（元興寺極楽坊Ⅳ）中央公論美術出版 1977年 p. 32～42
奥野義雄「物忌札とその世界」『どるめん』No. 18 1978年 p. 25～42

6207～6210　木彫像。板材から立像を粗くほりあげたもの。6207は台座に立つ仏像で，右腕を欠いている。頭に髷をのせ，眉と目を刻むが，それ以外の細部は表現されていない。高10.0cm，径2.9cm×2.0cm。樹種未同定。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9世紀後葉～10世紀前葉。滋賀県教委保管。6208は台座のうえで，頭に冠をのせ法衣をつけ，両手を胸前で組む男子像。高 9.2cm，径3.2×1.0cm。樹種未同定。6209は台座のうえで，ふっくらした髪をゆい，ゆったりとした衣服をつけ，両手を胸前で組む女子像。高 9.8cm，径 3.2×1.5cm。ヒノキ。以上，京都府鳥羽離宮跡ND84-3-L-12 SD11B出土。6210は，長髪をたらし，長袖の上衣を着け袴をはき，腰をしめた女子像。高 12.2cm，径 4.9×3.2cm。ヒノキ。京都府鳥羽離宮ND84-3-L-12 SD07出土。以上，14世紀～15世紀。水漬。京都市埋文研保管。

14　建築模型部材（PL. 63）

建築模型の部材の組物が，ごくまれに発見されることがある*。6301・6302・6305～6311は平城宮6ABR区SB7802出土の一括品であり，実物を10分の1に縮小した模型部材である。部材はいずれも節がなく木目のこまかい柾目のヒノキ材を用いる。753年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6308　枠肘木。柱上の大斗にのる肘木で，これと直交する肘木との仕口をもつ。仕口は相欠き。一方の木口内方に繋ぎがのびまた他方にも同じような繋ぎがあって，折損した跡が認められる。この繋ぎでは肘木と肘木とを連結するもので，たぶん同高に入る一方向の肘木は一木からの造り出しであろう。この肘木の場合は両端に繋ぎが入るので，隅部分ではなく中柱位置のものとなる。現存長23.3cm，肘木部分の長14.7cm，高3.0cm，幅2.5cm，上端に3個の巻斗をとめる丸太枘穴がほられ，両端の丸太枘穴心々は12.6cm，太枘穴径1～1.2cmである。繋ぎは高 1.3cm，幅1.2cmで，壁板をうけるとともに組物を固定するものとかんがえられ外部へは出ない。繋ぎの長さからみてこの間の柱間寸法は 23.3cm 以上である。

6309　通肘木。現存長30.5cm，肘木部分の長さは相欠き仕口外面から11.7cm，高3.1cm，幅 2.3cm。一方を肘木につくり，他方は長くのび，側通りの一段目通肘木と認められ，柱上の三斗でうける。相欠き仕口から内方は仕口底で割れているが，残存する仕口は，45度方向の隅行肘木のための浅い切欠き仕口と，直交する肘木のためのやや深い仕口とがあり，隅行肘木および他面の通肘木とこの肘木が組合って一番下木となることがわかる。仕口底に小木釘痕があり，方斗を通して下の枠肘木へとめている。先端に巻斗をうける丸太枘穴があり，柱心からの出は 12.0cmとなる。中間の一手先目の位置には巻斗の太枘穴はなく，心から内方 17.5cmの間には仕口がないらしい。

6310・6311　尾垂木受け通肘木。2丁あり，隅力肘木の仕口の方向は左右逆勝手である。先端は斜めに削って尾垂木をうけ，丸太枘孔を垂直にほる。1丁には太枘がのこる。木口の勾配は1丁が10分の5.2，1丁は10分の6でやや差があり，相欠き仕口外角から先端上端角までの出も8.0と 8.4cmとなる。1丁は仕口の途中で折損するが，他方は下端の仕口底の部分が仕口心から内方に約 18.0cm残存する。この部材はいずれも下段通肘木のうえに通る横架材の隅の部分で，他の奈良時代および平安時代初中期の三手先ではこの部材内方を肘木につくるのにたいし，これは通肘木となっている。

6301　尾垂木上斗。長 4.1cm，幅 4.0cm，現存高（敷面高）2.3cm，斗繰高 1.5cmで，上

＊　『小建築の世界』飛鳥資料館図録第12冊 1984年

角の耳を欠損し，中央に丸太枘孔が抜き通る。下端は後に圧縮されて変形しているが，木目の状況から見てはじめから隅行方向に斜めに削られていたものとおもわれる。そうすれば，隅尾垂木のような隅行の斜め材の上におかれたことがかんがえられる。この斗は他の斗と同方向に鬼斗風に用いられているので，建物本体と45度の方向に出る隅尾垂木とは平行にならず，斗尻角が尾垂木からはみだすことになり，一般の斗と同手法である。本来は尾垂木上端に渡腮の仕口をつくり，斗尻の両脇は水平に納めるはずであるが，雛形なので仕事を略したのであろう。太い丸太枘を立てているので滑りだすおそれはない。巻斗もこれと同寸法とかんがえられる。

6302　尾垂木上斗。斗（6301）より１まわり大きく長4.6 cm，幅4.5 cm で，中央に丸太枘孔が抜き通り，上端の一角にのみ耳がのこるが，この方斗がうけた材は角材でなく円形断面の材とみられるので，丸桁の隅の組手をうけたものとかんがえられる。斗繰はごく１部しかのこらず，下端を欠取り，さらに耳の反対側の半分は下端を斜めにそいでいる。本来，三手先の隅では隅尾垂木上の三斗には方斗はおかず，二重尾垂木をいれて直接丸桁の組手をうけているが，この雛形では二重尾垂木上に斗繰のほとんどつかない方斗をかいもののようにいれていたらしい。この斗も下の斗と同方向に鬼斗のように用いられている。

6307　入側束。現状では肘木・通肘木よりもやや細い野材で，下端は水平に上端は斜めに削っていずれも長い丸枘をつくる。上端勾配は尾垂木受け通肘木の木口勾配とあい，力肘木の柱筋内方に立って，直接尾垂木下端をうけたものと認められる。現存長13.5cm，径2.4×3.2cm。

6306　天井組子断片。小さな断片で，一端近くに相欠き仕口底らしい痕跡がかすかにのこる。小片のためもとの用途は確定できないが，軒天井の組入天井組子とみてもよかろう。現存長 6.8 cm，幅 1.4 cm。

6305　両端に丸枘孔らしい痕跡をのこす盤状の部材は，現存長 14.5 cm，幅 3.6 cmの野材で，両端は折損。厚みは現存最大 1.7 cmであるが，１方で薄くなり，後に割られた可能性が大きい。これは幅広い面を柾目とし，両端の丸枘孔は変形欠損しているが，心々 12 cm 程である。台輪・柱盤のような用途もかんがえられるが，野材であり，内部の束受け土居であったかもしれない。

6303　巻斗。一辺 4.9 cm，高 3.4 cm。ヒノキ。藤原京右京七条一坊二坪SE2270出土。694年～709年。水漬。奈文研保管。

6304　大斗。一辺が三角形に突出し，それに対応する辺が三角形に窪む。下面に太枘穴をあける。八角円堂あるいは八角塔の模型の部材であろう。長 4.1 cm，幅4.8，高 3.7 cm。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。８世紀後葉～９世紀前半。水漬。奈文研保管。

15　雑　　具（PL. 64）

これまでの分類にふくまれない器物で，あきらかに使用目的が類推できるものを雑具としてまとめる。種類は多岐にわたるが，出土例はごく少ない。

A　火鑽板（*6401～6406*）　ひきりいた

6401～6406　細い角棒の側面に，間隔をおいて切欠きをいれ，火鑽杵を回転させた火鑽臼を上面にとどめる*。多くの火鑽臼の断面は半球形を呈する。6402は板の両側で発火させ，6403は未使用の切欠きをとどめる。6406 は木の枝の樹皮を除く程度に全体をととのえ，１側面に

＊　高嶋幸男・岩城正夫『古代日本の発火技術』群羊社　1981年
　　高嶋幸男『火の道具』柏書房　1985年

切欠きをいれる。火鑽臼がなく，まだ使用していない。6401；長 17.3 cm，幅 2.9 cm，厚 1.6 cm。樹種未同定。平城宮6ALS区SD5100出土。8 世紀中葉。水漬。6402；現存長 8.2cm，幅 3.6 cm，厚 1.4cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK7453出土。8 世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。6403；現存長 28.1 cm，幅 2.5 cm，厚 1.2 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。6404；現存長 19.1 cm，幅2.1 cm，厚1.0 cm。スギ。平城宮6AAO区SK2101出土。750 年頃。水漬。以上，奈文研保管。6405；長 27.6 cm，幅 2.1 cm，厚 1.1 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。6406；長 21.3 cm，幅 3.9 cm，厚 3.6 cm。樹種未同定。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。兵庫県教委保管。

B　自在鉤（*6407*）　じざいかぎ

6407　二股になった小枝の一方を短くし，先端をとがらせ鉤形をつくる。その他は樹皮を除く程度に削る。鉤部の上面が磨滅している。長 26.8 cm，径 1.7 cm。マツ属(二葉松類)。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。8 世紀前葉。水漬。奈文研保管。

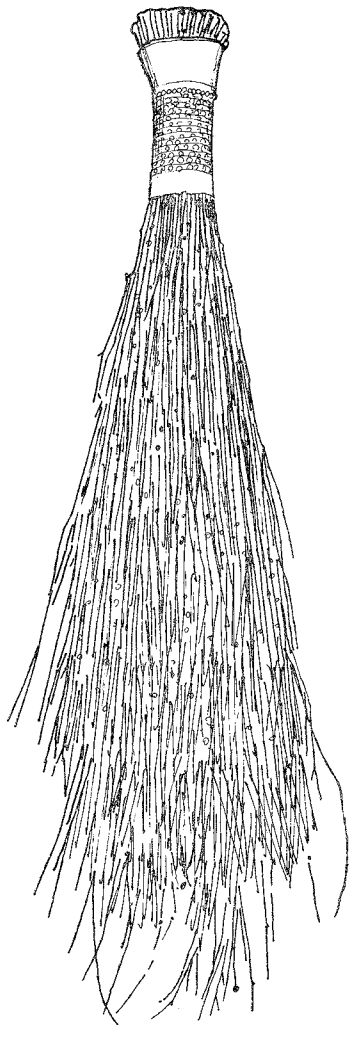


fig. 50　正倉院の子日目利箒
（正倉院事務所『正倉院のガラス』日本経済新聞社　1965年　図版60）

C　釣　　瓶（*6408*）　つるべ

6408　縦木取りにして，内部を刳りぬいたもの，木心は外していない。内部は粗い刃のあたりをのこすが，表面は横位の回転を利用した削りで調整。底部は，粗い削りによってやや上げ底風にととのえる。口縁部の平面形はやや隅丸方形に近い形。口縁端部から 4.5 cm と 20.5 cmの位置に，鉄製の箍をはめるため2条の浅い溝をほりこむ。上の溝幅 2.5cm，下の溝幅2.0 cm。その溝の一部に鉄製の箍がのこる。箍は，頭が四角い鉄釘で釣瓶に固定。上の溝の中央に吊金具を釣瓶に固定した一対の穿孔がある。孔の径は内側が大きく 1.6 cm，外側は小さく 1.0 cm。釣瓶を固定するために円形の座金具を使用したらしく，孔の周辺を浅く円形にほり込む。口径 28.0 cm，高 24.0 cm。マツ属(二葉松類)。平城京左京五条二坊十四坪SE03出土。8 世紀後葉。P. E. G. 処理済。奈良市教委保管。

D　草　　箒（*6409・6410*）　くさほうき

ホウキグサを束ねただけのものと，木の柄をとりつけたものがある。

6409　木柄の箒。柄は割材でつくる丸棒で，一端をとがらしホウキグサの箒先をまといつけ，蔓でしばって固定。箒先は大方滅失しているが，柄に箒先基端があたる部分に木理に直交する刃痕があり，箒先の着装後に上端を切りそろえたことがわかる。現存長約 36.0 cm，柄径 1.8 cm，箒先着装部径約 3.2 cm。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。水漬。奈文研保管。

6410　木柄を着装せずホウキグサを束ねたもの。本の部分の2個所で蔓巻きして柄にしている。現存長約 39.0 cm，柄幅 5.5 cm，柄厚 1.5 cm。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

E　鑰（*6411*）　か　ぎ

6411　先端が少し内曲りのL字形鉄棒を，円筒形の柄に挿込んだもの。鉄棒部の長 30.8 cm，同径0.6 cm，柄長 12.0 cm，同径 2.9cm。ヒノキか。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。P. E. G. 処理済。向日市教委保管。

F 器　　台（*6412・6413*）　きだい

6412・6413　2枚の台形の板を十字に組合せて器物の台にしたもの。台形の板の長辺が他辺よりも磨耗し，埋没時に円孔を対角線状につなぐ小枝をとおして，板が寄るのをとめていた。板の下縁近くにある長方形の小孔は支柱と結合するためのものであろう。このほか板の割れを止めるためか，小孔をあけて木釘でとめた補修個所がある。6412；長 45.6 cm，厚 2.1 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

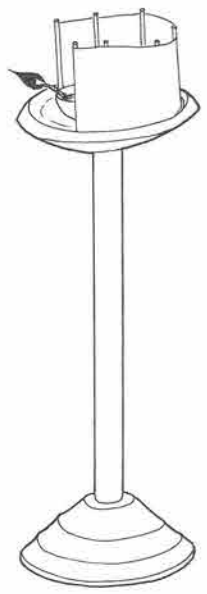


fig. 51　燈台の復原

G 燈　　台（*6414～6416*）　とうだい

受皿と台座に比定できるものがあるが，いまのところ軸は発見されていない。

6414　燈台の受皿。轆轤挽きでつくる。短く外反する厚手の縁をつくり，外高の縁部から底部に移行するあたりに一本の凹線をめぐらす。底部内面に刳込みがあり，中心部で貫通する円孔をあける。縁部には器の内外を貫通する7個の孔がある。本来は棒を差込んだらしく，2孔にその残片がある。内面は全体に焼け焦げており，とくに刳込み部分がひどく焦げている。中心の円孔に軸を通したものとおもわれる。小円孔が3方に偏していることから，風除けの紙を貼る軸棒があったことが想定できる。径 19.8cm，高 3.9 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊 SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6415　燈台の台座。緩い甲盛りをもつ円盤である。頂部に平坦面をもうけ，現状では2個所に「M」をくずしたような形状の浅い刳込みがある。平坦面と周縁の間に2本の突線をめぐらせるが，突線の上部は磨滅しているところが多い。中央に軸孔をあけ，これを中心に内行する四花文を突帯であらわす。裏面は周縁を高台風にのこし，内側に浅い刳込みをいれる。黒漆とその上にかけた金粉が部分的にのこっており，本来は全体を金平塵地とし，突線突帯で区画するくぼみに螺鈿を施したのであろう。径 29.5 cm，高 5.0 cm。ヒノキ。京都府鳥羽離宮跡白河天皇成菩提院陵出土。12世紀。P. E. G. 処理済。宮内庁書陵部陵墓課保管。

6416　燈台の台座。轆轤挽きでつくった断面が台形を呈する円盤。2本の稜をめぐらして斜面を横位に三分割している。上面中央に円筒形の刳込みをほどこす。外底と上面からの刳込み部分をのぞいて薄い黒漆をかけている。径 28.0 cm，高 7.2 cm。ケヤキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。

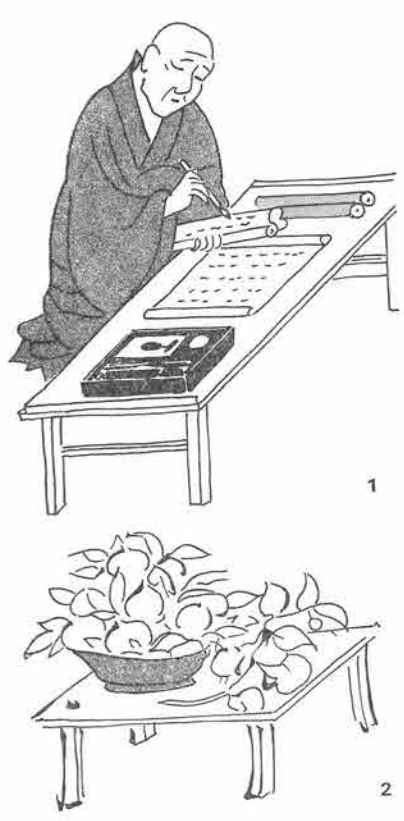


fig. 52　机三種
1・3；『石山寺縁起』
2；『鳥獣戯画』

16 部　　材（PL. 65～68）

部材を組合せてつくる板物の類，用途の判明するものと，用途をきめられないが他の部材と組合さって製品を構成するものとがある。

A 支　　脚（*6501～6515*）　しきゃく

机などの天板を支える脚部に比定しうるもの。

6501・6502　同形・同巧のつくりで，小板片を支脚形に加工したもの。上半分は本体の部へのとりつけ部分で，上端を山形にそぎ両側をまっすぐとおす。下半分は両側から抉りをいれ勾形の支脚状につくる。長 5.9 cm，幅 2.1 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

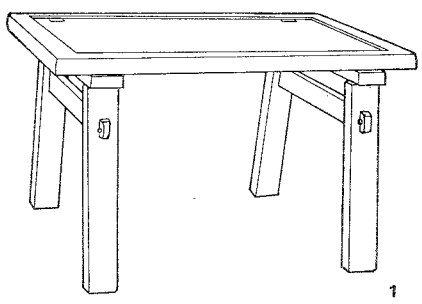


fig. 53　正倉院の榻足几
（前掲『正倉院の木工』図版5・6）

6503～6505　机などの脚。6503・6505は上部を太くし，下部を細める。上部の木口には出枘をつくりだす。6503は下部を一段細くするにとどまるが，6505は下部に相欠き状の仕口をほどこす。6504は上部が細く下部を太くする脚で，下部の縦断面形を馬蹄形につくる。6503；長20.4 cm，幅 6.0 cm，厚 3.8 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。6504；現存長 21.2 cm，幅 2.9 cm，厚 5.6 cm。アカガシ亜属。兵庫県上原田遺跡SE02出土。8世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。兵庫県教委保管。6505；現存長 23.5 cm，幅 5.1 cm，厚 4.4 cm。アカガシ亜属。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6506～6513　机などの支脚。角材の一木口に出枘をつくる。おそらく四本1組みで一脚になるのであろうが，6507・6510・6511は枘の下に1個の枘孔をあける。支えの枠木をはめるのであろう。6507・6508・6513は枘の頂部や基部が斜面を呈しており，外開きの脚である。6507・6509・6513は枘の頂部から楔を打込んでおり，天板をのせたのち楔で脚を固定したことがうかがわれる。6506；長 31.7 cm，幅 4.8 cm，厚 3.2 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。6507；長 19.1 cm，幅 2.8 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。6508；現存長 49.5 cm，幅 4.0 cm，厚 4.3 cm。ヒノキか。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。6509；長 18.5 cm，幅 3.8 cm，厚 2.4 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。6510；長 18.8 cm，幅 4.5 cm，厚 1.9 cm。6511；長 19.2 cm，幅 5.1 cm，厚 1.7 cm。以上，スギ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。6512；長 28.9 cm，幅 4.1 cm，厚 2.2 cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SK2101出土。750年頃。P. E. G. 処理済。6513；長 25.3 cm，幅 4.9 cm，厚 1.9 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。

6514・6515　多足机の台座。6514は脚の角柱を挿込む枘孔を多数あける。残存する一端から3本目の枘孔，およびその間の8本をおいた残欠部の枘孔も貫通しており，全部で14本の角柱を左右から3本めの角柱を貫通させていることになる。また，裏をのぞく全面に黒漆をかける。現存長 14.0 cm，幅 1.8 cm，高 2.0 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SD12出土。9世紀中葉。P. E. G. 処理済。京都市埋文研保管。6515は脚の4個の枘孔をあけるが，両端の孔が貫通し，そのうちの1孔に角柱の残片がある。長 26.0 cm，幅 3.1 cm，高2.9 cm。樹種未同定。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

B　天　　板（*6516～6518*）　てんいた

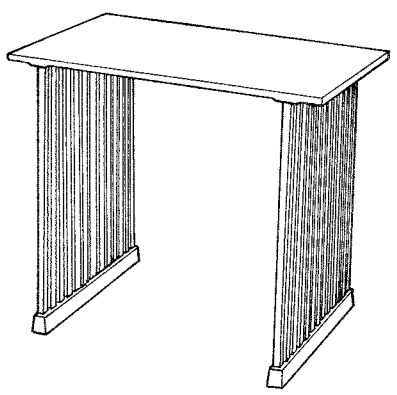


fig. 54　正倉院の二十六机
（前掲『正倉院の木工』図版8）

机や案の天板。

6516・6518　多足机の天板。板裏の短辺端寄りに断面台形の脚座をつくり出し，脚をさしこむ方形の枘孔をあける。6518は端の1孔を貫通させ2孔を1組して枘孔をあけるが，6516には貫通孔がなくほぼ均等に枘孔を配する。6516；現存長64.0 cm，現存幅48.0 cm，厚 2.0 cm。ヒノキ。平城京西市跡SE395出土。8世紀前半。水漬。奈文研保管。6518；現存長 16.0 cm，現存幅 24.5 cm，厚 3.7 cm。スギ。兵庫県吉田南遺跡河川1出土。8世紀後半～9世紀。水漬。神戸市教委保管。

6517　案の天板。長方形厚板の内面を刳りぬき，四辺の縁を高くする。四隅に脚をとりつけ

た枘孔をあける。全体に腐蝕が進行しており，詳細は不明。長 49.5 cm，幅 26.0 cm，高 5.2 cm。樹種未同定。平城宮6ALF区出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

C 脚　座（*6601～6604*）　きゃくざ

机などの天板と脚の間にはめる脚座。偏平な角材の両端に枘孔をあけたもの。

6601～6604　6604 は枘孔をやや斜めに開け，外開の脚をつけたようである。他の 3 点は 1 側縁に弧形の浅い刳形をいれる。6601；長 44.1 cm，幅 6.3 cm，厚 1.6 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。6602；長 40.3 cm，幅 6.3 cm，厚1.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAG区出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。6603；長32.8 cm，幅 6.1 cm，厚 1.1 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。6604；長 24.5 cm，幅 4.3 cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

D 台　座（*6605～6613*）　だいざ

とくに根拠はないが，その形態から他の部材と組合せて台座につかったとおもわれるもの。

6605～6613　6609・6611は板の中央に相欠きの仕口があり，同形の板を十字に組合せてつかったもののようである。6608 は左右にあけた円孔に棒状の材がのこっており，同形の板を左右におきその間を 2 本の棒材でつないで台座にしたものであろう。これと類似する形をとる 6605・6612 もこの種の台座にあてる。6606 は偏平な角材の一面に刳形をいれ，その両端に円孔を貫通させている。円孔に支柱をたてるのであろう。6613 は長方形の板の両端を斜めにおとし，長側辺から弧形の刳形をいれる。両端と中央に釘孔がある。このことから類似の材で四辺を枠状に囲う台座にあてる。6607・6610 は枘孔などなく，他部材との結合法が不明であるが，形のうえから一応台座にあてておく。6605；長 28.4 cm，幅 5.7 cm，厚 0.6 cm。スギ。平城宮6AAF区SD3410出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。6606；長 19.2 cm，幅 4.5 cm，厚 2.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。6607；長 28.5 cm，幅 7.6 cm，厚2.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9 世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。6608；現存長 15.2 cm，幅 6.6 cm，厚 0.7 cm。樹種未同定。平城宮6AAI区SD4951出土。8 世紀後葉。水漬。奈文研保管。6609；長 21.5 cm，幅 4.8 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。奈良県布留遺跡流路出土。8 世紀後半～9 世紀。P. E. G. 処理済。天理調査団保管。6610；長 21.8 cm，幅 3.5 cm，厚 0.7 cm。スギ。平城宮 6AAI区SD 4951出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。6611；長 16.0 cm，幅 8.3 cm，厚 0.9 cm。樹種未同定。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13 世紀。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。6612；長 29.1 cm，幅 15.0 cm，厚 0.9 cm。スギ。平城宮6AAO区SK2102出土。729年頃。水漬。奈文研保管。6613；長38.6 cm，幅 5.6 cm，厚 1.1 cm。スギ。奈良県布留遺跡流路出土。8 世紀後半～9 世紀。P. E. G. 処理済。天理調査団保管。

E 台　脚（*6614～6620・6627*）　だいきゃく

唐櫃や箱など各種の台脚に比定しうるもの。

6614・6615　唐櫃の脚。同一個体の部材。断面台形の角材を用い，内面の上下 2 個所から雲形の刳形をいれ，外面の上端に面取りをほどこし，刳込みのない上下 3 個所に釘孔がある。

fig. 55　多足机と床几
1；『長谷雄卿草紙』
2・3；『北野天神縁起』

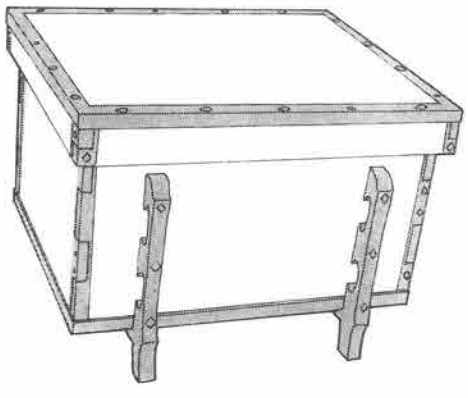


fig. 56　正倉院の赤漆小櫃（前掲『正倉院の木工』図版28）

正倉院の例によると，同形のものを唐櫃の左右側板にそれぞれ2本ずつ鋲どめにして脚にしたことがわかる。6614；長 40.0 cm，幅 2.3 cm，厚 3.5 cm。ヒノキか。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。P. E. G. 処理済。向日市教委保管。

6616～6618　置台。細長い板材の両側あるいは片側に台形の刳形をいれたもの。6616 は長手の部材で，両側に1個と 2個の刳形をいれ，中央に 1孔左右端寄りにそれぞれ4孔を配する。両端の上下にならぶ2孔は支柱に釘どめするためであろうが，他の孔の性格は不明。6617・6618 は同形の部材である。片側に刳形をいれ，中央に1孔，両端寄りにそれぞれ5孔をあける。上下にならぶ両端の孔は支柱に釘どめするものであろうが，他は不明。おそらく，これらの部材を組合せて内ころびを呈する枠状の台をつくり，その間に縦横に丸棒をわたしたものであろう。6616；長 38.6 cm，幅 3.7 cm，厚 1.3 cm。6618；復原長 24.5 cm，幅 3.7 cm，厚 1.2 cm。以上，スギ。長岡京右京三条三坊今里車塚古墳周濠出土。8世紀。P. E. G 処理済。京都府教委保管。

6619　組合せ式高杯の軸。断面は方形を呈する。両端に方形の枘をつくりだす。長 22.2 cm，幅 5.4 cm。スギ。滋賀県湖西線遺跡ⅡH区出土。9世紀～12 世紀。水漬。滋賀県教委保管。

6620　長方形板の中心に方形の枘孔をあける。ここに支柱をたて台座にしたのであろう。長 35.2 cm，幅 18.8cm，厚 3.7 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE20出土。9世紀後半。水漬。京都市埋文研保管。

6627　角材の下面に浅い刳形をいれ，中央部に相欠きの仕口をいれる。上面端部の角を面取りし，やや内寄りに貫通する長方形の枘孔をあける。枘孔には支柱をたてたらしく，それを固定するために両側面から釘孔をあけている。中央で十字形に別材をかみ合せ，左右ないしは四方に支柱をたてたのであろう。現存長 57.5 cm，幅 6.9 cm，高 6.9 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

F　箱（*6621～6631*）　は　こ

板を組合せてつくるものと，角材を刳りぬいてつくるものとがある。

6621～6623　1個体をなす箱の側板。6622・6623 は，短冊形の長辺を斜めに削るため断面形は平行四辺形を呈している。両端には出枘をつくり，各1孔の釘孔をあけ，木釘がのこる孔もある。長 12.8 cm，高2.9 cm，厚 0.8 cm。6621 は，両端に出枘をうける切欠きをいれ，その内側に円孔をあける。長 12.0 cm，高 2.9 cm，厚 0.7 cm。以上，スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6624・6625　組合せ箱の側板。短冊形の板の両端に舌状の枘をつくり，枘に釘孔をあける。両端の木口面と底部に側板と底板を打つけた釘孔があり，1部に木釘をとどめる。6624；長 13.5 cm，高 5.9 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区整地層出土。710年頃。P. E. G. 処理済。6625；長 14.8 cm，幅 5.8 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

6626　組合せ箱。短冊形の板の両端にL字形の切欠きをいれ枘をつくりだす。同形の板を4枚組合せるのだが，内1枚を欠く。組合の部では枘の上面から木釘を打込んで固定する。底板を欠くが，底板を固定した木釘がのこる。一辺 9.5 cm，高 3.5 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区整地層出土。710 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6628～6630　刳りぬき箱。角材を刳りぬいて長細い箱の身をつくり（6629），長細い板の片

面の周縁を削り箱の蓋にする（6628・6630・6631）。蓋内面の突出面は身の内径と一致させ，一種の合せ蓋とする。蓋の上面をやや甲高にするほかは，すべて平坦面をなす。この3点は同一遺構で発見されたが，同一個体ではない。6628；現存長 24.6 cm，幅 6.7 cm，厚 1.1 cm。6629；長 32.1 cm，幅 4.7 cm，厚 1.1 cm。6630；長33.8 cm，幅4.7 cm，厚 1.1 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAA区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

6631　箱板。長方形の板の1側縁を弧形にかたどり，その中央をはさむ左右に四弁形の透孔をいれたもの。片面を甲高につくり，四辺の各中央に釘孔があり，それぞれに側板なり底板を結合したことがうかがわれる。長 18.3 cm，幅 8.7 cm，厚 0.8 cm。スギか。長岡京左京三条二坊四町SD0251出土。784年～794年。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

G　その他の部材（*6701～6724・6801～6830*）

用途をきめられないが，他の部材と組合さって製品を構成するとおもわれるもの。以下1品ごとに説明をくわえる。

6701　両端を欠損する。断面楕円形で中太の唐墨状に加工し，その一面を一段低くし，両側に低い縁をつくっている。長 16.3 cm，幅 2.8 cm，厚 1.8 cm。ケヤキ。平城宮6ADC区SE6166出土。8世紀後半。P.E.G.処理済。奈文研保管。

6702　把手。板材の上寄りに半円形を刳りぬき，その上縁を横位の棒状に削りだして鋤の把手のようにかたどる。下半分を両側から切欠き出枘状とし，中央に長方形の枘孔を貫通さす。おそらく横材に枘を埋め，栓で固定したのであろう。長 17.0 cm，幅 11.1 cm，厚 2.8 cm。アカガシ亜属。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。713年頃。水漬。奈文研保管。

6703・6704　細板の両端を切先状に鋭くとがらせ，一側面の3個所にコ字形切欠きをいれたもの。2点は同じ井戸から出土したが，切欠きの間隔がことなるので，糸巻の枠のような道具にはならない。なお，6703には刃痕が無数はいっているが，製品に加工する前のもの。6703；長28.4 cm，幅 1.3 cm，厚 0.6 cm。6704；長 29.0 cm，幅 1.1 cm，厚 0.5 cm。以上，ヒノキ。平城宮6ADF区SE1596出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6705　偏平な角材を利用し，両端に枘をつくりだし，ほぼ中央の一面に相欠きの仕口をほどこしたもの。長 36.3 cm，幅 2.7 cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SK3137出土。770年頃。水漬。奈文研保管。

6706　断面が8角形の棒に，3個所で抉りをいれたもの。一端は周囲から削ってとがらし他端は丸く削る。全周をV字形にめぐる抉りは，切断するためか。長 43.0 cm，径 2.5 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6707　組合せ部材。8角棒の一端寄りに帯状の溝をめぐらして丸棒とし，その下の八角部に枘孔を貫通させて角棒をとおす。枘孔以下は各面から弧形に削込む。この細い部分は相対する二面から削平して板状を呈する。枘孔にとおす角棒は扁平で，頭部を扇状にひろげている。現状では不明確だが，八角棒の偏平部が二次的に行われた加工とするならば，八角棒の細い部分を中心に左右対称形が想定でき，八角棒を横位にして，両側に軸棒を支える把手状の器ともがかんがえられる。八角棒の長 12.4 cm，径 1.6 cm，角棒現存長 9.5 cm，同幅 1.1 cm，同厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SD8600出土。8世紀前葉。水漬。奈文研保管。

6708　偏平な角板を枘孔仕口で連結したもの。枘孔には枘を固定した楔がのこっている。現存長 11.9 cm，幅 1.3 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前

半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6709　木釘をとどめる部材片。断面楕円形の両端を削りすぼめ，一端に木釘がのこる。長9.1 cm，幅 1.8 cm，厚1.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6710　断面長楕円形の棒に枘孔をあける。木口面は鋸で切断。枘孔は一端を欠損している。この枘孔に直交して方形孔を貫通させるが，これは結合した枘を固定するためのもの。また，この面の木口寄りにも孔が貫通する。現存長 10.9 cm，幅 3.5 cm，厚 2.8 cm。マツ属（二葉松類）。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6711　細板を一側面を両端方向に削って山形とし，その高いところに相欠きの仕口をいれ，両端の低いところに木釘を打込む。長 7.8 cm，高 1.2 cm，幅 0.9 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6712　断面が4分の1円に近い材の両端近くにそれぞれ2個の枘孔を接してあける。枘孔は直交する二側面に対してやや斜め方向をとる。内側の2孔は貫通し，その1孔に枘の断片をとどめる。外側の2孔は貫通していない。用途としては，机の天板と脚との間に配した脚座に想定されている。つまり，貫通する孔を用いて脚をはめて天板までつなぎ，貫通しない孔に雇枘をいれて天板とつないだとかんがえるのである。長 23.2 cm，幅 5.1 cm，高 3.1cm。ヒノキ。長岡宮7AN5地区SD3100出土。784年～794年。P. E. G. 処理済。京都府教委保管。

6713　厚板を台形にかたどり，その両端に長方形の枘孔をあけたもの。両端は細板になってのび，そこにも枘孔をあけた模様。現存長 24.0 cm，幅 8.9 cm，厚 3.1 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735 年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6714　栓状の部材。板の上端を台形にかたどり，それ以下を細板とし，細板の中程に長方形の枘孔をあける。何らかの部材の枘孔にこの細板部分を挿入して，固定したものであろう。長 22.7 cm，幅 6.7 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6715　柄状木器。細板の上半に両側から弧形の切込みをいれ，柄状にかたどり，それ以下を3節にわけ，1本ないしは2本の突線と溝をめぐらす。現存長 22.8 cm，幅 2.2 cm，厚 0.9 cm。スギ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。アルコール・エーテル法処理済。向日市教委保管。

6716・6717　半截丸棒でつくり，両端寄りに釘孔をあけ，平坦面に2個の孔をつなぐ細い溝を刻込んだもの。6716は2次的な切断をうける。6716；長16.5 cm，幅1.9 cm，厚 0.9 cm。6717；長 23.8 cm，幅 1.8 cm，厚 0.9cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAF区SK3139出土。770年頃。水漬。奈文研保管。

6718　枘孔と釘孔のある角棒。角棒の一端に斜めの枘孔をあけ，他端に木釘を打込んだもの。両端は二次的な切断を受ける。長 21.4 cm，幅 1.2 cm，厚 1.5 cm。樹種未同定。平城宮6AAC区SD3825出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6719　釘孔のある丸棒。割材でつくる丸棒の一端を片面から削込み，釘孔をあけたもの。長19.7 cm，径 2.0×1.4 cm。ヒノキか。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6720　脚状木器。細板を机などの脚状に粗く加工したもの。未完成品の可能性もある。長11.2 cm，幅 2.4 cm，厚 1.9 cm。アカガシ亜属。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出

土。723 年頃。P. E. G. 処理済。

6721　飾り棒。八角棒の先端を山形にとがらし，刻線であらわした突帯を端部とその下部の2個所にめぐらす。一面からそれに対応する一面にかけて深い溝を切込んでいるが，本来のものか二次的なものか不明。現存長 5.5 cm，径 2.15 cm。ヒノキか。平城京左京三条四坊七坪SK1796出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6722　燭台か。両端を細くする板に曲物の底板を綴じつける。円形の底板と台板は2個所で樺皮綴じする。底板の木口に木釘孔があり，本来は側板があったことが推定できる。底板の内面が焼け焦げており，灯明皿をのせた一種の手燭に想定する。現存長15.0cm，底板径11.1cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6723　溝を刻んだ板。板の片面の上下2個所に木理を横断するV字形の溝を切込む。長 18.0 cm，幅 2.9 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6724　把手か。裏面に切欠きをいれ，表面を舟底風にかたどり，両端の木余り部分に表面から木釘を打込む。箱の側板などに打ちつけて把手にしたのだろう。長 17.0 cm，幅 2.8 cm，厚 1.2 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6801　漆塗板片。細長い薄板の表面に黒漆をかける。6807と類似。現存長 7.2 cm，幅 1.4 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SB8466出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6802　漆塗六角棒。断面六角形の棒材の折損する一端木口から溝を切込み，別木を埋め，それに対応する一面を深く削込んで平滑にととのえ，4本の木釘を打込む。6801と同じ遺構から発見されており，両者は同一品の部材であろう。現存長 12.1 cm，径 1.2 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SB8466出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6803　溝孔を切込んだ板。一端には別材を受けるため溝と枘孔をあける。下の枘孔は貫通せず，上の溝は板を横断し，それぞれに固定した木釘がある。他端木口には板を横断する1個の溝があり，やはり木釘でとめている。長12.9cm，幅1.2 cm，厚 0.7cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6804　孔のある棒。一方を細くし，頭部に近い部分に2個の孔を錐であける。本来はこれよりも長かったものが二次的に再加工されたもののよう。長 12.9 cm，径 1.2 cm。ヒノキ。平城宮6ADF区SK1979出土。8 世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6805　切欠きのある棒。角棒の一端の平坦面に相欠き状の溝を切欠き，それ以下を丸棒状に削る。現存長 12.7 cm，幅 1.05 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6806　相欠き溝のある板。細板の両端を斜めにたち落し，一面の両端にほぼ木口の切断と平行する斜めの相欠き仕口をいれる。長 9.6 cm，幅 1.1 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6807　目釘孔のある細板。薄板の表面に黒漆をかけ，3孔の釘孔をあける。さきの 6801・6802 と同一品の破片か。現存長 17.3 cm，幅 1.3 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

6808　釘孔のある細板。細板に4個の釘孔をあける。現存長 15.2 cm，幅 1.9 cm，厚 0.7 cm。樹種未同定。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

6809　釘孔のある細板。両端を一面から剣先状にとがらし，その内寄りで縦方向に2孔1対

の釘孔をあける。長 20.6 cm，幅2.1 cm 。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

6810　釘孔のある細板。一端を剣先状にとがらし，縦方向に釘孔 2 孔を斜めにあける。現存長24.6 cm，幅3.5 cm，厚0.6 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6811　有孔長方板。両端を弧形にかたどる長方板の一端寄りの両側にそれぞれ一孔をあける。付札の一種か。長 11.6 cm，幅 3.9 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694 年～709 年。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6812　釘孔のある細板。細板の一面を弧面に削り，両端寄りに 3 孔をあける。長 17.5 cm，幅2.7 cm，厚0.7 cm。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。奈文研保管。

6813　釘孔のある板。一面に鎬をとおす長方形の板をつくり，その両端寄りに鎬をはさんで 2 孔 1 対の孔を錐であける。長 16.1c m，現存幅 4.7 cm，厚 0.5 cm。スギ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6814　偏平な角材に相欠き仕口をいれたもの。角材の一面の両端に相欠き仕口をほどこし，その木口寄りの両側から三角形の切欠きをいれる。相欠き部分の外面から 6 本の木釘を不規則に打込んでいる。長 41.6 cm，幅 4.8 cm，厚 2.0 cm。ヒノキ。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9 世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

6815　綴じ孔のある板。板の一面では一端を厚くのこして削平し他端を一段低くし，その裏面では低くしたほうの一端を厚く削りのこす。この板の両端寄りに 2 孔 1 対の円孔を横位にあけ，1 対の円孔を樺皮が 3 重にとおっている。長 36.8 cm，幅 2.9 cm。ヒノキ。平城宮6AAF区SD3297出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6816　両端に切欠きのある棒。表面を丸く仕上げ，裏面はおおむね平坦。両端木口に接して裏面から浅い切欠きをいれる。現存長 25.6 cm，幅2.0 cm，厚 1.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6817　両端に切欠きのある角棒。上面の 1 稜に面取りをほどこした角棒の両端，やや内寄りの側面から切欠きをいれる。上下の切欠きの中間よりも若干一方に偏する上面から木釘を打込んでいる。長 46.5 cm，幅2.2 cm，厚 1.2 cm。スギ。平城京左京八条三坊九坪SD1300出土。8 世紀後半～9 世紀前葉。水漬。奈文研保管。

6818　切欠きのある角材。角材の上面の一方を削込んで，端部を突出させ，その裏面に切欠きをいれる。現存長 35.2 cm，幅 4.0 cm，厚 3.0 cm。樹種未同定。平城宮6AAF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6819　綴じ孔のある板。長細い板の両端を斜めにおとし，片面から両側縁を薄くする。この両端および中央よりやや 1 方に偏した 3 個所に 4 孔 1 組の孔をあける。4 孔を十字形に紐をとおした押圧痕跡がのこる。長 39.8 cm，幅 4.0 cm，厚 0.5 cm。樹種未同定。平城宮6ALS区SD4951出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

6820～6823　樺巻棒。薄板や細棒を樺皮紐でたばねて 1 本の棒にしたもの。6820 は 3 本をたばねる。径0.6cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。6821 は 2 本の半截丸棒の先斜めにそいでつなぎ，うえから樺皮紐をまく。幅 0.7 cm，厚 0.3 cm。樹種未同定。平城宮6AAC区SE3049出土。756年頃。水漬。以上，奈文研保管。6822は

半截丸棒を2本たばねる。径 0.8 cm。6823は5本の細棒をたばねる。径 1.1 cm。以上，ヒノキ。長岡京左京二条二坊六町SD1301出土。784年～794年。水漬。向日市教委保管。

6824　孔をあけた角材。偏平な角材の両側から弧形の刳形をいれ，中央部の幅を細くする。材の両端寄りに両面を貫通する枘孔をあけ，その1孔に切断された枘とそれに打込んだ枘と楔がのこる。上述した容器の枠木3816と同時に出土しており，この部材が横枠材になる可能性がある。長 31.2 cm，幅 4.2 cm，厚 2.5 cm。アカガシ亜属。三重県下郡遺跡井戸出土。9世紀前半。水漬。上野市教委保管。

6825　有孔角材。断面長方形の角材に円孔を貫通させる。側面では両端寄りに2孔1対の円孔をあけ，上下面では9孔を不規則にあける。部分的に孔に挿入した丸棒片をとどめている。長 16.0 cm，幅 2.5 cm，厚 3.2 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡 A 区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

6826　V字形の切欠きをいれた板。細板の1側縁にV字形の切欠きをいれる。部分的に糸を巻いた押圧痕がある。現存長 15.6 cm，幅 1.9 cm，厚 0.6 cm。樹種未同定。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。713年頃。水漬。奈文研保管。

6827　円孔をあけた板。細板のほぼ中央に刃物の先で円孔をあける。長33.0 cm，幅3.3cm，厚 0.45 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

6828　切欠きのある板。上面を弧形に削る板の一端を切先状にとがらし，両側縁にV字形ないしは台形の切欠きをいれる。現存長 32.0 cm，幅 2.9 cm，厚 1.2 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪SD1155出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

6829・6830　枘孔のある角材。2点は同一個体とおもわれるが接合できない。心持角材に貫通する枘孔をあけたもの。一部に枘と楔の残片をとどめる。6829；現存長 13.5 cm，一辺 3.6 cm。アカガシ亜属。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

17　用途不明品（PL. 69～73）

他の部材と組合さることなく，単独の形態をととのえているものだが，いまのところその用途を決定しえないものをあつめる。

6901～6903　切欠きのある鰹節形木器。個々によって形をことにするが，縦長の不定形な形をとり，その1側面に斜めの深い切欠き溝をいれる点で共通する。切欠の溝に縄を結びつけて固定する一種の留め具になるのかもしれない。6901・6902は1木口面に刻線をいれる。6901；長 9.2 cm，幅 2.6 cm，厚 1.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8世紀後半。真空凍結乾燥処理済。6902；長7.8 cm，幅 3.1 cm，厚 1.7 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SD5200出土。8世紀。水漬。6903；長 7.9 cm，幅 3.1 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SD5780出土。8世紀。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

6904　刻目をいれた木器。年輪にそって割りとった材の一辺をまっすぐに削り半截楕円形の断面を呈する。この平坦面に横方向で8本の溝状の切込みをいれる。長 11.3 cm，幅 3.3cm，厚 2.4 cm。マツ属（二葉松類）。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6905　笠形木器。平面形を楕円形にかたどり，その中央部を著しく肥厚させ，一短辺を薄く

し，円孔を貫通する。長5.9 cm，幅 4.3 cm，厚 2.2 cm。ヒノキ。平安京西市跡ND73-2-L-54 SE03B出土。9 世紀後半。アルコール・エーテル法処理済。京都市埋文研保管。

6906　切込のある棒。面取りした棒に 2 個所から切込みをいれる。立体人形に似る。長 7.3 cm，幅 1.1 cm，厚 1.6 cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。

6907　小鉢形木器。縦木取りの小円板の内面を轆轤で刳りぬく。現状では底がぬけている。容器の形代かもしれない。径 2.9 cm，高 0.9 cm。ツバキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6908　栓状木器。上部を円錐形，下部を円筒形にかたどり，境に段がつく。下部では相対する側面から切込みをいれ，笠形の上面でも相対する斜面に深い切込みをいれる。径 2.4 cm，高 2.2 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区整地層出土。710年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6909　大豆状木器。平面形を楕円につくり，側周に刻線をいれ一周させ上面を浅く窪ませる。長 1.8 cm，幅 1.3 cm，厚 0.8 cm。広葉樹。平城宮6AAB区SK820出土。747 年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6910　彫刻木器。小木片に文様のようなものを切りぬくが，意味不明。部分的に墨痕がある。長 2.7 cm，幅 1.5 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD4951出土。8 世紀後葉。水漬。奈文研保管。

6911　有孔丸棒。円筒形を呈し周囲をこまかく削り，両端小口面から円孔をあける。円孔は刃物の先であけたようで，一方が深い。長 5.5 cm，径 2.5 cm。ウツギ。平城宮6ABX区SD 1900出土。8 世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6912　有孔板。小さな方形板の一木口から漏斗状の孔をあけ貫通させる。長 2.3 cm，幅 1.9 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。平城宮6AAG区SD3410出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

6913　栓状木器。上部は角柱形を呈し，木口面を方錐形にし，側面に横位の溝をめぐらす。下部は一段細い角柱状とし，下端寄りに孔が貫通する。高 3.2 cm，径 2.0×1.6 cm。樹種未同定。平城宮6AAF区SB3322出土。8 世紀中葉。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6914　撥形木器。小さな板の両側から削りこんで撥形にかたどる。琴柱の未完成品かもしれない。長 4.5 cm，幅 2.4 cm，厚 0.4 cm。スギ。平城宮6ABE区整地層出土。710年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6915　十字形木器。板材を十字形にかたどる。柾目板の木理に斜交する木取りで十字形に 4 枝を削りだしたもの。長 9.2 cm，幅 9.1 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6916　切ぬき板。薄板から舟の側面形に似た形をつくる。両端が反りあがり，一方の外縁を弧形にかたどる。他方の外縁は左右から弧形を 3 段つないだ形に切込み，中心に向かって幅をひろげる。1 種の垂飾か。長 8.2 cm，現存幅 2.1 cm，厚 0.35 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

6917　琴柱形木器。薄板から琴柱形(PL. 45)の形をかたどる。ただし，一方の脚が切断されず横に長くのびる。未完成品か。長 11.8cm，幅 2.9 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

6918～6920　札形木器。3 点はセットになるようである。6918・6919 は両面を平滑に削り，2 側面に接する四稜を面取りして断面を楕円形に近い形にする。両端木口は両側から斜にそ

いだ3角形。この場合一側面からの削りが深く，全幅の約3/4に達し，他側面からの削りは先端をそぐ程度で，平面形は台形に近い。6920は木口の両側面からほぼ等しく削り，両端は剣先状になる。他は前の2例と同じ。6918；長 10.0 cm，幅 2.8 cm，厚 1.1 cm。スギ。6919；長 9.7 cm，幅 2.7 cm，厚 1.0 cm。スギ。6920；長 8.9 cm，幅 1.9 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。以上，平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6921　鋤柄状木器。平面形を台形にかたどり，内を二等辺三角形に刳りぬく。下辺を高くのこし，内側から斜めの刳込みをいれる。長 8.8 cm，幅 6.0 cm，厚 2.1 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SD8600出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

6922　屋根形木器。長方形の板の一面中央を高くのこし，四辺に向かって斜めに削込む。蓋の一種か。長 9.0 cm，幅 2.2 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8世紀。水漬。奈文研保管。

6923　切欠きのある板。細板の一側縁に三角形の切欠きならべる。現存長 8.6 cm，幅0.9 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区整地層出土。710年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

6924　有孔小板。細長い板の中央に焼火箸のようなもので孔をあける。現在半分を欠損している。長 5.7 cm，現存幅 0.9 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

6925　円頭棒。偏平な丸棒の一端をコブ状につくりだし，下部を次第に薄くする。箆の一種か。長 21.2 cm，幅 1.8 cm，厚 1.5 cm。マツ属(二葉松類)。兵庫県八反長遺跡旧流路出土。9世紀前葉。水漬。兵庫県教委保管。

7001～7003・7006・7007・7014　板の両端あるいは両端と中央に貫通する孔をあけたもの。孔の周囲に擦痕があったり，紐の残片をのこすものがあることから，綱や縄をとおして，ゆるめたりしめたりするときに使う道具「自在」の可能性がつよい。7001 は大型で，一方の側面にゆるい刳込みをいれて幅をせまくする。長 19.3 cm，幅 3.2 cm，厚 1.6 cm。ヒノキ。平城宮6ABY区SD1900出土。8世紀前葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。7002 は3孔をあける。現存長 10.3 cm，幅 3.1 cm，厚 1.2 cm。アカガシ亜属。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。7003 は中央部を細くし，1孔に紐の残片がのこる。長 9.5 cm，幅 2.8 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。真空凍結乾燥処理済。7006；現存長 12.1 cm，幅 2.2 cm，厚 1.2 cm。スギ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。7007；現存長 7.6 cm，幅 1.5 cm，厚0.7 cm。ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝6出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。7014；長 10.0 cm，幅 3.0 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723 年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7004・7005　両端を三角形にかたどる薄板の中央に孔をあけたもの。2点は一括品。7004；長 6.4 cm，幅 1.2 cm，厚 0.1 cm。ヒノキ。平城京左京八条三坊十坪 SD1155 出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

7008　楔か。断面五角形を呈し，一端に頭をつくり他端を楔状にとがらす。背面を平坦にし，頭部と先端部の境に断面V字形の溝をめぐらす。長12.2 cm，幅 2.0 cm，厚 1.9 cm。モミ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7009　断面半円形の棒材を用い，背面をまっすぐ通し，両端の上面に断面V字形の溝をめぐらす。長 11.5 cm，幅 2.1 cm，厚 1.1 cm。スギ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8世紀後葉

＊　富山県じょべのま遺跡からは，この種の木器の孔に棒を突通したものが出土している。山中敏史「木器」『富山県 埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』1974年　p. 68

～9世紀前半。水漬。奈文研保管。

7010　背面をまっすぐ通し，上面がわずかに弧面をなす角材で，一端が太く一端が細い。背面では中央よりやや上寄りにコ字形切込みを横断させる。細いほうの端と中央部の上面から側面にかけて溝を刳込んでいる。現存長 21.2 cm，幅 3.0 cm，厚 3.3 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

7011　長楕円形の板の中央に縦に小孔5孔をならべる。長 6.7 cm，幅 1.1cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

7012　両端を木葉形にかたどり，両側縁におのおの2個のV字形の切欠きをいれ，中央部分を鋸歯形の対称形にかたどる。上面中央に鎬をとおし，上下の刳形付近の鎬上から2個の円孔をあける。長 12.0 cm，幅 3.1 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。奈文研保管。

7013　心持丸木の一側面から刳りぬいて，容器状に加工したもの。加工は粗い。長 11.2 cm，幅 4.2 cm，高 4.0 cm。ハコヤナギ属。藤原宮6AJF区SD1901A出土。7世紀後半（694年以前）。水漬。奈文研保管。

7015　小判形の板。両側縁にそって小孔列をそれぞれ1列あけている。ただし，小孔を木口の整形時にこわしているため，本来小孔列をあけていた板を小判形に再加工した可能性がつよい。長 12.9 cm，幅 4.4 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。滋賀県下寺観音堂遺跡SD01出土。7世紀後半～8世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

7016　木葉形の板。板を木葉形にかたどり，中央上寄りに2孔1対の円孔を横位であける。長 7.6 cm，幅 5.3 cm，厚 0.5 cm。樹種未同定。平城宮6ALF区SG5800B出土。8世紀後葉～9世紀前半。水漬。奈文研保管。

7017　短冊形の板の両端から大きくコ字形の切欠きをいれたもの。切欠きと切欠き間の両側縁にそれぞれ3個の小孔あける。表裏ともに菊花・渦巻・斜格子・円などの文様を墨で描く。現存長 15.9 cm，幅 4.2 cm，厚 0.25 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SB8580出土。740年頃。水漬。奈文研保管。

7018～7024　小円板ないしはそれに準じるもの。7018は両側縁に各1孔をあける。長 2.8 cm，幅 2.3 cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。滋賀県湖西線遺跡VA区出土。13世紀。水漬。滋賀県教委保管。7019は円板の中心に孔をあけ，周縁に1本の突起をつくりだす。径 3.4 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。7020は円板の縁寄りに1円孔をあける。径 9.0 cm，厚 0.7 cm。樹種未同定。奈良県坂田寺跡 SG100出土。7世紀中葉。水漬。7021；径 3.6 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD8161出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。7022；径 4.1 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮 6AAB区SK820出土。747年頃。真空凍結乾燥処理済。以上，奈文研保管。7023は内面の周縁に段をめぐらし，円孔5個を不規則にあける。蓋の1種か。径 7.0×5.7 cm，厚 0.9 cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD145出土。694年～709年。水漬。橿考研保管。7024；径 7.2 cm，厚 0.9 cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

7101　板を嘴状にかたどる。基部に方形の枘をつくり，1孔をあける。先端寄りの側縁に1孔をあける。長 23.3 cm，幅 5.0 cm，厚 1.0 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7102～7104・7112　割材からつくる丸棒の一端ないしは両端に刳込みをめぐらすもの。

7112 は木錘の1種か。7102；長 11.5 cm，径 1.5 cm。樹種未同定。滋賀県伊井永田遺跡遺物包含層出土。8世紀中葉。水漬。今津町教委保管。1703；長 16.0 cm，径 1.2 cm。ヒノキ。7104；現存長 8.7 cm，径 1.1 cm。樹種未同定。以上，滋賀県久野部遺跡SD10出土。7世紀前葉。P. E. G. 処理済。滋賀県教委保管。7112；長 8.6 cm，径 1.8 cm。モミ。難波宮橋脚MP-2区SK10043出土。7世紀前半。水漬。大阪市文化財協会保管。

7105　丸棒の先端を乳頭状に削りだし，その下部に孔をあける。現存長 17.0 cm，径 1.3cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7106　割材から先端が斧頭状を呈する楔形にかたどり，基端に枘をつくりだし1孔をあける。長 17.3 cm，幅 2.9 cm，厚 2.1 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。

7107　長方板の片側から大きく抉りこみ，一方の側縁を両端の位置で削込んで次第に幅を狭め側面から円孔をあける。抉りをはさんで両側に台座をつくる一種の把手か。現存長13.4cm，幅 1.4 cm，厚 2.1 cm。ヒノキ。長岡京左京四条三坊三町SD451出土。784年～794年。水漬。京都市埋文研保管。

7108　厚板を杓子形にかたどり，上面に浅い溝をとおす。長 14.5 cm，現存幅 1.7 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694年～709年。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7109　先細りの角材の上端近くに切欠きの溝をめぐらす。木釘の1種か。長 2.5 cm，径 2.9 cm。スギ。平城宮6ABE区SK3730出土。8世紀後半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7110　細板の両側を先端に向かって細め，幅広の部分に孔をあける。現存長 19.8 cm，幅1.7 cm，厚 0.45 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7111　細板の一方を幅広くのこし，そこから他端にかけて両側から細める。幅広の端では一面の木口から切欠きをいれ，円孔をあける。板のほぼ下半部に小円孔5個を縦にならべる。糸巻の横木を二次的に加工したものか。長 39.8 cm，幅 0.7 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SD9648出土。8世紀中葉。水漬。奈文研保管。

7113　丸棒の上端に切欠き溝をめぐらし，4段の突帯を削りだす。下端は若干細くするにとどまる。長 43.6 cm，径 1.9 cm。ヒノキ。平城宮6ALR区SD3236出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

7114　小枝を利用した丸棒の先端近くに切欠きをいれて，円頭形にかたどる。現存長 15.1 cm，径 2.0 cm。針葉樹。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7115　丸棒の一端を削り細めて円頭形にかたどる。現存長 23.9 cm，径 3.1 cm。樹種未同定。京都府仁和寺南院跡ND63-1-H-14池出土。11世紀。水漬。京都市埋文研保管。

7116　心持丸木の一端を削りのこして，栓状にかたどる。現存長 10.6 cm，径 4.8 cm。アカガシ亜属。平城京西隆寺跡SE130出土。8世紀中葉。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7117　割材からつくる丸棒の両端を円頭形に削りだす。祭祀遺構にともなうが，用途不明。長74.5 cm，径3.4 cm。ヒノキ。平安京西市跡 ND73-2-L-54　SX10出土。9世紀中葉。水漬。京都市埋文研保管。

7118　上部を細板の状態でのこし，下部を留針のように細くしている。両端は折損。現存長 15.5 cm，幅1.1 cm，厚0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAO区SK870出土。8世紀後半。真空凍結

乾燥処理済。奈文研保管。

7119　細板の基端を幅を広くし，先端に向かって幅を狭める。基端中央から出枘状の突起をつくりだす。現存長 10.2 cm，幅 1.6 cm，厚 0.15 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

7120　板材を一端を幅広にのこし，それ以下を扁平棒とし，匙に類する形につくる。長 16.5 cm，幅 1.3 cm，厚 0.3 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P.E.G. 処理済。奈文研保管。

7121　板の下部に木釘状の突起を削りだし，短冊形の上部の木口付近に孔をあける。粗製品。長 14.9 cm，幅 2.7 cm，厚 0.4 cm。スギ。平城京左京一条三坊十五・十六坪SD485出土。723年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7122　長細い板の両端を円形にかたどる。長 7.6 cm，幅 1.2 cm，厚 0.67 cm。樹種未同定。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7 世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。

7123　棒の先端を太くのこし，先縁をU字状に抉って2本の歯をつくる。この部分は下面を先端に向けて斜めに削り，先を細く鋭く仕上げている。長 13.2 cm，径 1.3 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7124　厚板を半楕円形にかたどり，一面を平坦面とし，他面を弧面にする。未成品か。長 11.7 cm，幅8.7 cm，厚 2.7 cm。ヒノキ。平城宮6ALG区SD5785出土。8 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7125　角材の一面に半円の球面刳形をいれたもの。長 9.8 cm，幅 5.7 cm，厚 4.5 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区出土。8 世紀。水漬。奈文研保管。

7201・7202　木片を細い丸棒に削りだしたもの。箸の類か。7201；長 19.7 cm，径 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SK219出土。762年頃。P. E. G. 処理済。7202；長 18.6 cm，径 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。

7203～7205　板から割りとった角棒で，両端をとがらす。3 点は一括品。7203；長21.2 cm，径0.6 cm。ヒノキ。藤原宮6AJF区SD105出土。694年～709年。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7206～7210　菱形棒。断面を菱形ないしは凸レンズ形にし，表裏を平坦にととのえる。7206；長 6.9 cm，幅 1.1 cm，厚 0.8 cm。7207；長 25.6 cm，幅 1.9 cm，厚 0.6cm。7208；長 27.2 cm，幅 1.5 cm，厚 0.4 cm。7209；長24.6 cm，幅 1.4cm，厚 0.4 cm。7210；長25.0 cm，幅 1.4 cm，厚 0.45 cm。以上，ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。奈文研保管。

7211～7215　細板の表裏を平坦に削平したもの。隅をおとすものもある。7211；長 31.3 cm，幅 2.0 cm，厚 0.4 cm。7212；長 31.4 cm，幅 2.4 cm，厚 0.2 cm。以上，ヒノキ。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。7213；長 24.1 cm，幅 1.1 cm，厚 0.4 cm。スギ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。7214；長 21.3 cm，幅 1.6cm，厚 0.2 cm。ヒノキ。藤原宮6AJE区SD105出土。694年～709年。P. E. G. 処理済。7215；長20.0cm，幅1.7 cm，厚0.3cm。ヒノキ。平城宮6ABF区SD3715出土。8 世紀後半。水漬。以上，奈文研保管。

7216　細板の中央を幅広くのこし，両端に向けて両側から細く削りだす。長 32.3 cm，幅 1.9 cm，厚 0.4 cm。ヒノキ。平城宮6AAC区SD3035出土。756年頃。水漬。奈文研保管。

7217　細板を丁寧に削り，半分を丸棒状につくり，のこりを断面杏仁形の扁平板につくる。箆の一種か。長 31.8 cm，幅 2.7 cm，厚1.1 cm。ヒノキ。長岡宮7AN3A区SD8701出土。784

年～794年。水漬。向日市教委保管。

7218　平面を柳葉形にかたどり，一面を平滑にととのえ，他面は中央部を高くのこして断面は山形を呈する。長 14.5 cm，幅 1.8 cm，厚 0.8 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7219～7228　割り棒の先端を鋭くとがらしたもの。串の一種か。加工は粗く一時的な使用に供したものであろう。7219；長 21.6 cm，幅 0.6 cm，厚 0.55 cm。7220；現存長 16.2 cm，幅 0.4 cm，厚 0.55 cm。以上，ヒノキ。大阪府大蔵司遺跡A区溝 6 出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。7221；長 29.0 cm，幅 1.1 cm，厚 0.8 cm。7222；長 30.2 cm，幅 1.5 cm，厚0.8 cm。以上，スギ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G.処理済。7223；長 27.9 cm，幅 1.7 cm，厚 0.8 cm。樹種未同定。平城宮6AAO区SK870出土。8 世紀後半。真空凍結乾燥処理済。7224；長 28.2 cm，幅 0.9 cm，厚 0.6 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。7225；長25.5 cm，幅 1.2 cm，厚 1.8 cm。ヒノキ。平城宮6ABO区SK219出土。762年頃。P. E. G. 処理済。7226；長 18.3 cm, 幅 2.7 cm，厚 1.8 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。7227；長 16.1 cm，幅1.6 cm，厚 0.7 cm。ヒノキ。平城京左京一条三坊SD650出土。9 世紀前半。P. E. G. 処理済。7228；長 12.8 cm，幅 1.2 cm，厚 0.5 cm。ヒノキ。平城宮6ABE区SD3715出土。8 世紀後半。P. E. G. 処理済。以上，奈文研保管。

7229～7240　刀剣の形をした材の側面に鋸歯を刻んだ木器。柄と身からなり，身の両側もしくは片側に歯を刻む。身の両側を薄くして両刃状につくるもの(7229～7237)と，側縁を薄くせず，片側だけに歯をつけるもの(7238～7240)とに区分できるようである。水野正好はこの鋸歯を竹を細く割ったものなどで摩擦してザラザラとかシュッシュッとか音を出す「ササラ」にあてているが，必ずしも従いがたい*。7229；現存長 12.1 cm，現存幅 2.0 cm，厚 0.9 cm。ヤナギ属か。平城宮6ALG区SD5785出土。8 世紀前半。真空凍結乾燥処理済。7230；長 14.4 cm，幅 1.9 cm，厚 1.1 cm。ヒノキ。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。7231；現存長13.1 cm，幅3.4 cm，厚0.6cm。ヒノキ。平城宮6AAI区SD3410出土。8 世紀。水漬。7232；現存長 17.8 cm，幅 2.4 cm，厚 0.8 cm。ウツギ。平城宮6AAI区SD4951出土。8 世紀後半。水漬。7233；現存長 3.9 cm，幅 2.4 cm，厚 0.6 cm。カエデ属。平城宮6ABR区SB7802出土。753年頃。P. E. G. 処理済。7234；長 39.8 cm，厚 2.1 cm。シキミ。平城宮6ACU区SD1250出土。8 世紀。水漬。以上，奈文研保管。7235；長 47.5 cm，幅 3.5 cm，厚 1.2 cm。スギ。滋賀県鴨遺跡東地区遺物包含層出土。9 世紀後葉～10世紀前葉。水漬。滋賀県教委保管。7236；現存長 15.9 cm，現存幅 1.4 cm。ヒノキ。平城京左京三条二坊六坪SD1525出土。713年頃。水漬。7237；現存長12.3 cm，幅 1.9 cm，厚0.9 cm。アスナロか。平城宮6AAC区SD2700出土。8 世紀。水漬。7238；現存長 16.3 cm，幅 1.4 cm, 厚 1.4 cm。ヒノキ。平城宮6ALF区SG5800B出土。8 世紀後葉～9 世紀前半。水漬。以上，奈文研保管。7239；現存長 40.5 cm，幅 2.9 cm，厚 2.9 cm。ヒノキ。大阪府上田部遺跡水田跡出土。735年頃。P. E. G. 処理済。高槻市埋文保管。7240；長 43.5 cm，幅 1.8 cm，厚 2.1 cm。スギ。滋賀県久野部遺跡SD10出土。7 世紀前葉。P. E. G. 処理済。滋賀県教委保管。

7301　角棒の両端を亀頭形に削りだし，その一面から台形の切欠きをいれる。長 140 cm，幅 5.0 cm。スギ。京都府古殿遺跡遺物包含層出土。12世紀～13世紀。P. E. G.処理済。京都府教委保管。

＊　水野正好「中世—まじないの世界」『中世の呪術資料』草戸千軒遺跡調査研究所 1984年
　中国のオロチョン族は歯を刻した同形の木器を皮の肉や脂肪をとる皮なめし用具として用いている。宋兆麟など『中国原始社会史』文物出版社　1983年　p. 161

7302　角材の両端に回転軸をつくりだし，その内寄りにそれぞれ枘孔をあける。端寄りに四辺から十文字に交叉する枘孔をあけ，これに接する内寄りに二辺を貫通する枘孔をあける。回転軸には磨滅痕跡がみとめられる。長81.5 cm，一辺約6 cm。樹種未同定。平城京西隆寺跡SX035出土。8世紀後半。水漬。奈文研保管。

7303・7304　長手の自然木を柄とし，その本の方の一端に木片をとりつける。7303は柄元を斜めにそぎ裂き目をいれて，ここに縦割りにした木片をはさみ，蔓をまきつけて固定する。柄現存長 92.8 cm，径 2.3 cm。広葉樹。7304は柄の本のほうに，心持丸木の一端をとがらせたものを直交させ，蔓巻きで固定する。柄長 106.2 cm，径 3.1 cm。広葉樹。以上，平城宮6AAO区SK2104出土。8世紀前半。自然乾燥消失。奈文研保管。

7305　丸棒。棒の一端を杓子状につくる。この部分は損傷をうけているため，原形を知りがたいが，現状では「孫の手」を大型にしたようにみえる。現存長 77.8 cm，径 2.7 cm。ヒノキ。平城宮6AAB区SK820出土。747年頃。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

7306　「く」字形をした大型品。幹ないしは太い枝の曲折部を加工したもの。全面を斫ではつり断面を長方形にととのえ，角稜に面取りをほどこす。鞄の未成品か。現存長 70.6 cm，径 13.6 cm×8.1 cm。樹種未同定。平城宮6ADF区SK1979出土。8世紀。P. E. G. 処理済。奈文研保管。

第Ⅲ章　遺跡解説

収録した木器の出土遺跡の概略をのべる。ここでは主として木器が出土した遺構を概観するにとどまり，遺跡全体の性格などについて十分な考慮をはらっていない。すでに報告書などが刊行されている遺跡については，それを簡略化したため表現が不十分であったり誤解している場合もありうる。報告書が未刊行の遺跡については，現時点での調査所見にしたがう。こうしたことから，問題のある木器出土遺跡の検討に対しては報告書の原点に立返られることを期待する。また，未報告遺跡については将来その評価に変更が大いにありうる。

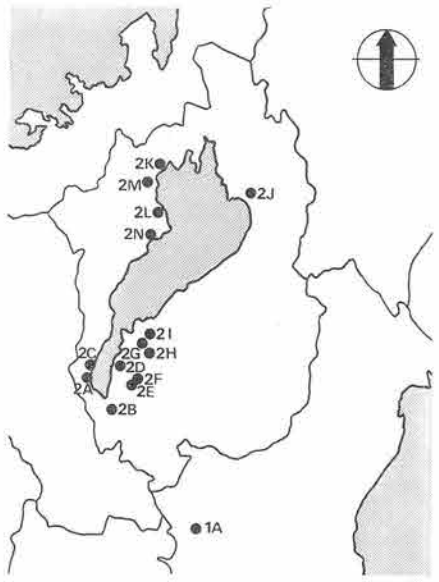


fig. 57　三重県・滋賀県の木器出土遺跡

1　三重県

A　下郡遺跡　　しもごうり

上野市下郡に所在。上野盆地の中央を北流する木津川左岸の標高約150mの微高地に立地する。1978年2月～4月と1980年1月に上野市が調査した。遺跡は縄文時代から中世に至る遺構が重複し，古墳時代の竪穴住居や溝，奈良・平安時代の掘立柱建物や井戸，室町時代の館跡を検出した。収録の木器は平安時代の井戸から出土。井戸は径3.5m，深さ1.7mの掘形の底に礫をしき，横板3段（内法0.9m×0.8m，高さ0.8m）を井籠組にし，その上部の各辺に2枚の板を立てる（内法1.0m×1.1m）。上部の縦板は，内側各辺に4段の横桟をわたして固定。堆積土の下層から「延暦」の紀年木簡とともに，黒色土器・土師器・銅鈴・斎串・櫛・曲物・部材が出土し，上層から10世紀後半の灰釉陶器・黒色土器などが出土した(fig. 58)。

〔木器番号〕*3816*, *4711*, *6824*

〔文　　献〕中森英夫・山田猛・山本雅靖『下郡遺跡発掘調査報告』上野市文化財調査報告5
上野市教育委員会・上野市下郡遺跡調査会（1978年）p. 16～18

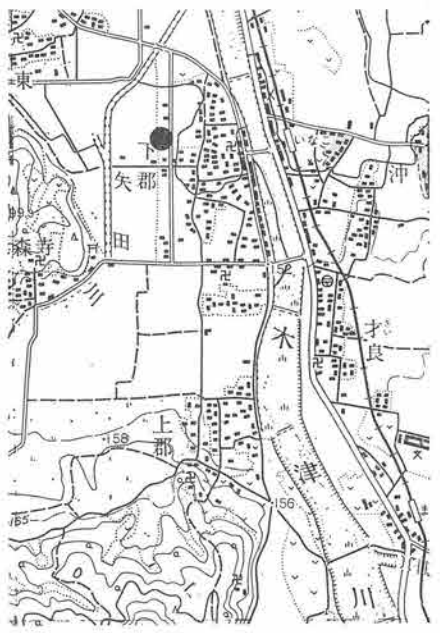


fig. 58　下郡遺跡木器出土地点
（1：25000　伊勢路）

2　滋賀県

A　湖西線関係遺跡　　こせいせん

大津市に所在。1971年・1972年に，湖西線関係遺跡発掘調査団が，大津市錦織から同穴太までの約3.4kmにわたって，日本鉄道建設公団の湖西線開設にともなう事前調査を行った。

大津市北郊の湖西線地域は比叡山系の土砂の流出によって数多くの複合扇状地を形成してお

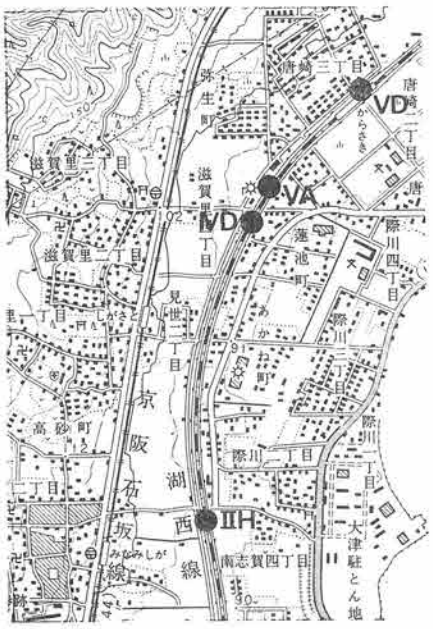


fig. 59　湖西線関係遺跡木器出土地点
（1：25000　京都東北部）

り，その裾部に縄文時代から歴史時代に至る遺跡がある。3.4kmの路線を南から北へⅠ～Ⅴ区の５調査区にほぼ等分し，８地点で各種の遺構を検出した。歴史時代の木器は，各地区の遺物包含層から出土し，その時代は平安時代～中世にわたる。また，ＶＤ区の大溝で木器が集中的に発見された。溝は東に流れる幅２～４m，深さ1.2ｍの人工溝で，木器以外に７世紀後半の須恵器・土師器や土錘・瓦が出土した(fig. 59)。

〔木器番号〕ＶＤ区大溝；*0113，1304，1306，2314，4818*
ＶＤ区土壙；*1303*
ＶＡ区遺物包含層；*6102，7018*
ⅣＤ区遺物包含層；*2412*
ⅡＨ区遺物包含層；*5722，6101，6619*
ＶＡ・ⅣＤ・ⅡＨ区；*1916，1917，1918，1919，1920，1921*

〔文　　献〕江口千恵子「木器」『湖西線関係遺跡発掘調査報告』滋賀県教育委員会（1973年）p. 199，208～209

B　野畑遺跡　　のばたけ

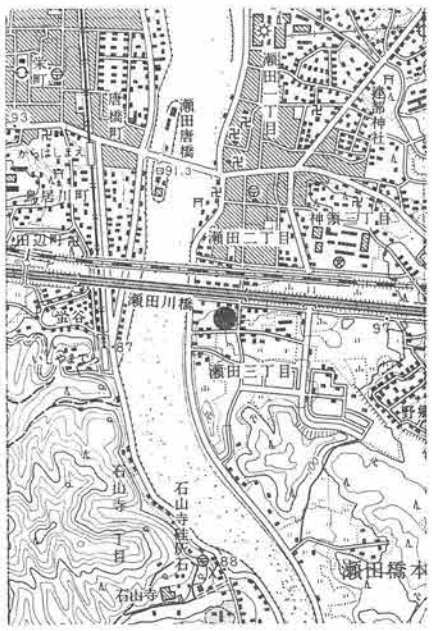


fig. 60　野畑遺跡木器出土地点
（1：25000　瀬田）

大津市瀬田３丁目に所在。瀬田丘陵から派生した東西にのびる舌状の丘陵上，近江国庁跡の西南１～1.2km の地点に立地。丘陵西端の北斜面を1981年に滋賀県が調査した。

遺構は，古墳時代（５世紀中葉～６世紀前葉）の竪穴住居群と８世紀中葉～９世紀の掘立柱建物群とにわかれ，後者は近江国庁に関連する官衙跡とかんがえられる。後者にぞくする遺構として，３時期ほどの立替えがみとめられる掘立柱建物６棟と，素掘りの井戸２基，横板組の井戸１基を検出し，木器は井戸SE01とSE03とから出土。

SE01は直径1.2ｍ，深さ4.4ｍ の素掘りの井戸。底近くに堆積した青灰色粘土中から，漆塗り木椀が出土。伴出遺物が少なく時期を限定できないが，他の遺構との関連から８世紀後葉～９世紀前葉に推定される。SE03は上下二段の方形掘形をもつ深さ5.1～6.1ｍ の井戸で，下段の方約２ｍの掘形内に一辺1.3ｍ の横板組の井戸枠を組む。井戸枠は高さ3.1ｍをのこす。井戸枠内の堆積土上層から９世紀前葉の黒色土器・緑釉陶器などと木履が，中層から曲物・斎串などが出土している。掘形および井戸の堆積土の遺物によって，８世紀後葉に掘られ，９世紀前葉に廃絶したと推定される(fig. 60)。

〔木器番号〕SE01；*2426*　　SE03；*2008，4717*

〔文　　献〕林博通・栗本政志「近江国府関連官衙跡の調査―大津市瀬田野畑遺跡の調査概要―」『古代文化』第35巻第１号（財)古代学協会（1983年）p. 21～45
林博通「滋賀・野畑遺跡」『木簡研究』第５号 木簡学会（1983年）p. 47

fig. 61　穴太遺跡木器出土地点
（1：25000　草津）

C　穴太遺跡　　あのお

大津市下坂本１丁目に所在。比叡山から発する四谷川の 氾濫で 形成された 扇状地に位置する。1982年・1983年に西大津バイパスの道路建設にともなって滋賀県が調査した。地表下 5ｍの縄文時代後期～晩期の遺構と，その上層に形成された６世紀～７世紀の遺構とからなる。６世紀～７世紀の遺構は３層に大別できる。第１層は７世紀中葉の遺構で，切妻大壁造住居３棟をふくむ掘立柱建物・木塀・溝を中心とする。第２層は６世紀後葉から７世紀前葉にかけての遺構で，切妻大壁造住居２棟をふくむ掘立柱建物・礎石建物１棟・木塀・溝がある。第３層は

6世紀後半代の遺構で，掘立柱建物・木塀・溝などを検出した。収録した 箕は 調査地東北部の，7世紀前葉の遺構面から，土師器・須恵器・木器などとともに出土した(fig. 61)。

〔木器番号〕*4108*

〔文　　献〕林博通・吉谷芳幸ほか「最近の滋賀県下における発掘調査の紹介 その1」『滋賀文化財だより』No. 73（財)滋賀県文化財保護協会（1983年）p. 1～2

林博通「滋賀・穴太遺跡」『木簡研究』第5号 木簡学会（1983年）p. 48～49

D　下寺観音堂遺跡　しもでらかんのんどう

草津市下寺町に所在。ほ場整備にともない1975年～1976年にかけて下寺観音堂廃寺の寺域確認調査を滋賀県が行った。寺域に関連する溝を検出したほか，1976年の調査で7世紀後葉から8世紀前葉にかけての，須恵器・土師器・瓦・木器などがまとまって出土した。

木器は調査地内のつぎの溝から出土した。寺域南限内郭の幅 1.35 m，深さ 50 cm の東西溝 SD01 と寺域西限内郭の南北溝 SD03 との合流点。寺域東側の幅 2.3～3 m，深さ 30～50 cm の南北溝 SD06。SD01 に平行して流れる幅 4～5 m，深さ 40～50 cm の溝 SD02(fig. 62)。

〔木器番号〕SD01；*7015*　　SD02；*0505*　　SD06；*3004*

〔文　　献〕丸山竜平・岡本隆子ほか「下寺観音堂遺跡」『滋賀県文化財調査年報昭和51年度（本文)』(1978年）p. 337～406

fig. 62　下寺観音堂遺跡木器出土地点
（1：25000　草津）

E　矢倉口遺跡　やぐらぐち

草津市矢倉町に所在。1980年に滋賀県が調査した。古墳時代前期から鎌倉時代にわたる遺跡であるが，中心的な時期は8世紀の中葉から後葉とみられる。8世紀の遺構は，掘立柱建物23棟以上・土壙5基・井戸2基などで，木器は井戸 SE02 から出土。

SE02 は直径 3 m，深さ 3.3 m の円形掘形をもち，一辺 80 cm の方形の横板組の井戸枠が5段のこる。井戸内の堆積は6層にわかれ，8世紀中葉まで使われ8世紀後半に廃絶したことがわかる。木履は8世紀中葉の土師器・須恵器と共伴した(fig. 63)。

〔木器番号〕SE02；*2007*

〔文　　献〕平井寿一・大橋信弥「草津市矢倉口遺跡発掘調査略報」『滋賀文化財だより』No. 45（財)滋賀県文化財保護協会（1980年）p. 1～4

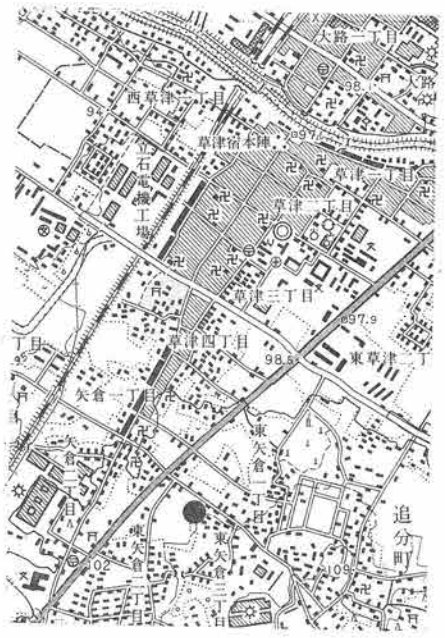


fig. 63　矢倉口遺跡木器出土地点
（1：25000　草津）

F　下鈎遺跡　しもまがり

栗太郡栗東町下鈎に所在。1982年に栗東町が調査した。遺構は弥生時代中期（第Ⅳ様式）の土壙・溝，および調査区の西側で検出した幅20 m，深さ 1.5 mの歴史時代の大溝である。人形は，大溝の上部から9世紀～12世紀の須恵器・土師器・黒色土器とともに出土した(fig. 64)。

〔木器番号〕*5004*，*5005*

〔文　　献〕「学会動向・平安期の人形」『季刊考古学』第2号　雄山閣出版（1983年）p. 104～105

fig. 64　下鈎遺跡木器出土地点
（1：25000　草津）

G　服部遺跡　はっとり

守山市服部に所在。1974年～1979年に滋賀県と守山市が調査した。遺跡は野洲川下流の旧中洲上に立地し，縄文時代晩期から平安時代にわたる。歴史時代の遺構は，調査地のC・D地区

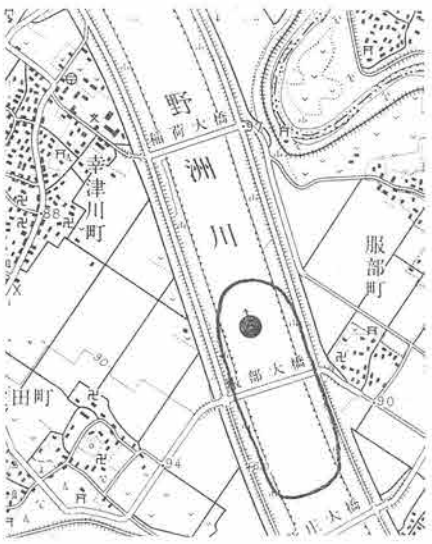


fig. 65　服部遺跡木器出土地点
（1：25000　堅田）

fig 66　久野部遺跡木器出土地点
（1：25000　野洲）

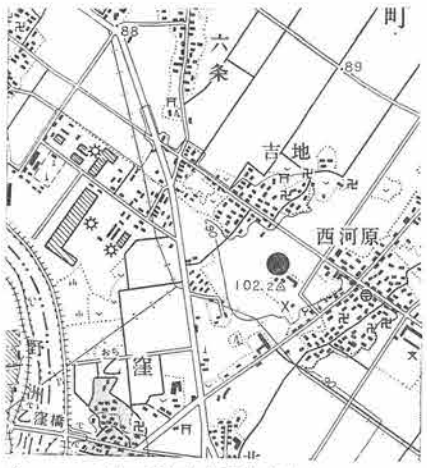


fig. 67　光相寺遺跡木器出土地点
（1：25000　近江八幡）

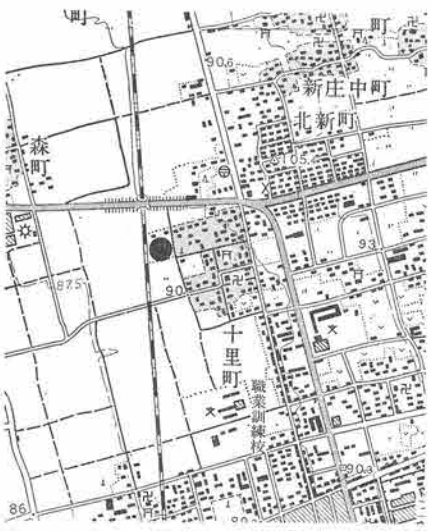


fig. 68　十里町遺跡木器出土地点
（1：25000　長浜）

に集中し，約60棟の掘立柱建物と溝・井戸などを検出した。掘立柱建物は主軸方向によって2時期に大別でき，さらに出土の土器から，8世紀中葉・8世紀後半・9世紀後半〜10世紀の3時期に区分できそうである。須恵器・土師器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・木簡をはじめとして，木器・銅印・帯金具・刀子などが出土している。糸巻(0905)は黒色土器とともに土壙から出土し，9世紀後葉から10世紀代のもの。人形(4909)は，8世紀後葉の幅3m，深さ1mの溝SD05から出土(fig. 65)。

〔木器番号〕土壙；*0905*，SD05；*4909*

〔文　　献〕滋賀県教育委員会・守山市教育委員会『服部遺跡発掘調査概報』(1979年)

H　久野部遺跡（七ノ坪地区）　くのべ

野洲郡野洲町久野部字七ノ坪に所在。1977年に滋賀県と野洲町が調査した。遺跡は野洲川右岸の標高95mの緩扇状地に立地し，弥生時代後期から12世紀まで断続的に形成された集落跡である。歴史時代の木器は，C地区の旧沼沢地に流れ込む幅1.7m，深さ50cmの溝SD10の開口部において，須恵器・土師器・黒色土器とともに出土した。土器は7世紀前葉を主体として，6世紀から8世紀までのものをふくむ(fig. 66)。

〔木器番号〕*0814*，*0820*，*0822*，*1301*，*1310*，*2902*，*3009*，*4327*，*7024*，*7103*，*7104*，*7122*，*7240*

〔文　　献〕谷口徹「木製品」『久野部遺跡発掘調査報告』滋賀県教育委員会・野洲町教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会（1977年）p. 33〜35，82〜88

I　光相寺遺跡　こうそうじ

野洲郡中主町吉地に所在。1982年に中主町が調査した。8世紀から9世紀前葉にかけての集落跡。掘立柱建物・井戸・溝などを検出し，木器は居住域を区切る幅2m，深さ50cmの溝から，8世紀中葉〜末の須恵器や土師器とともに出土した(fig. 67)。

〔木器番号〕*0815*，*2101*，*2310*，*3005*

J　十里町遺跡　じゅうりちょう

長浜市十里町に所在。1977年に長浜市が調査した。縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物をふくむ自然流路と，歴史時代の遺構とが重複している。

歴史時代の遺構としては，掘立柱建物1棟・溝・土壙などを検出し，墨書銘のある須恵器や曲物などが出土。檜扇は，柱穴状の土壙内につきささった状態で出土した。遺構の年代は，土器によって8世紀後葉から9世紀前葉となる(fig. 68)。

〔木器番号〕*1703*

K　仏性寺遺跡　ぶっしょうじ

高島郡マキノ町蛭口に所在。1977年度のほ場整備事業にともなって滋賀県が調査した。調査地の東側で縄文時代後期の遺物包含層を，西側で各時代にわたる遺物を若干ふくむスクモ層を確認。スクモ層は耕作土直下にある植物の腐植層で，弥生時代中期，奈良〜平安時代（8〜9世紀），中・近世の土器片と斎串・加工木・自然木などが混在する。地点によっては水田化以前の樹木の根ものこる。田下駄は付近の工事中にスクモ層から採集した(fig. 69)。

〔木器番号〕*0817, 4627*

〔文　　献〕山口順子「高島郡マキノ町仏性寺遺跡出土の田下駄」『滋賀文化財だより』No. 32（1979年）p. 3～4

L　針江北遺跡　はりえきた

高島郡新旭町針江に所在。安曇川の沖積平野の微高地に立地する。1982年に国道161号バイパスに関連して滋賀県が調査した。平安時代前期（9世紀後葉～10世紀前葉）の遺構と弥生時代末期の遺構とが重複する。平安時代前期の遺構は方位を共通にする3棟の小規模な掘立柱建物と，井戸・土壙・溝・木塀とからなる。ともなう遺物に時期差がなく，遺構も重複していないので，短期間のうちに廃絶した集落を構成する1単位の遺構群とかんがえられる。

木器は井戸SE01と土壙SK10とから出土。SE01は2間×1間の掘立柱建物の南東約4mにある井戸で，掘形は径0.8m，深さ0.65mの円形を呈し，中央の底から約20cmのところで井戸枠としてすえた曲物が出土した。また井戸をおおう形で，建物群と方位を同じくする4本の柱穴を確認した。SK10は井戸の南西約3.5mのところにある径約1.4m，深さ0.5mの円形土壙で，底部から須恵器杯と曲物が横転した状態で出土した(fig. 70)。

〔木器番号〕SE01；*3403*　　SK10；*3303*

〔文　　献〕兼康保明・尾崎好則・山口順子「針江北遺跡の調査」『国道161号線バイパス関連遺跡調査概要（昭和57年度）3』滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会（1983年）p. 32～41

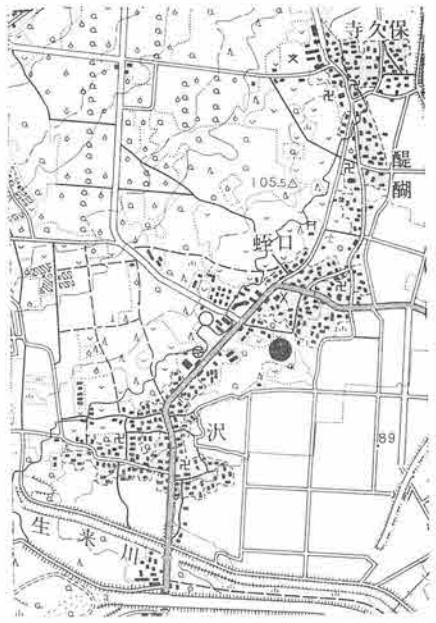


fig. 69　仏性寺遺跡木器出土地点
（1：25000　海津）

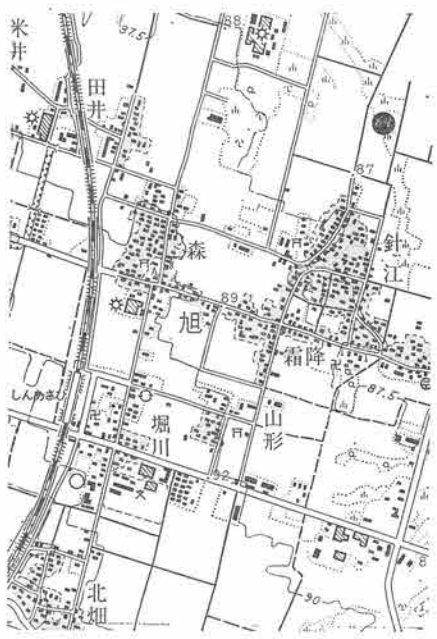


fig. 70　針江北遺跡木器出土地点
（1：25000　今津）

M　伊井永田遺跡　いいながた

高島郡今津町日置前に所在。箱館山から展開する扇状地に立地する。1979年度淡海地区団体営ほ場整備事業にともなって今津町が調査した。一辺0.7～0.8mの方形掘形をもつ，2間（3.2m）×2間（3.2m）の総柱掘立柱建物を検出し，同時に8世紀中葉の遺物包含層を検出した。奈良時代の集落跡であろう。

木器は遺跡の南限に近くの遺物包含層から出土し，木履・斎串・刳物盆・曲物・用途不明品がある。同時にトチ・クルミの実，砥石，須恵器・土師器なども発見している(fig. 71)。

〔木器番号〕*2009, 2803, 2804, 2805, 2806, 3002, 3608, 3609, 4618, 7102*

〔文　　献〕葛原秀雄「伊井永田遺跡」『今津町文化財調査報告書　第2集』今津町教育委員会（1983年）p. 47～51

N　鴨遺跡　かも

高島郡高島町鴨に所在。1979年・1980年に滋賀県が調査した。鴨川右岸の扇状地上に立地し，官衙跡に推定できる。遺構は木塀に囲まれた150m四方のなかにまとまり，西側微高地上に位置する西地区では，掘立柱建物（3棟以上）・溝・井戸・土壙などを検出した。また，東地区では西地区ほど遺構は密集していないが，遺物を多量にふくむスクモ層が厚く堆積する。2地区ともに，出土した土器によって9世紀後葉～10世紀前葉の年代がかんがえられる。

東地区のスクモ層からは，貞観15年（873）銘の木簡をふくむ木簡5点・銅印1顆・木履・仏像・人形・陽物形・斎串・櫛・杓子・曲物・盆・用途不明木器などとともに，緑釉陶器・灰釉陶器・須恵器・土師器・黒色土器・種子などが出土した。西地区で検出した井戸は，長径2.4

fig. 71　伊井永田遺跡木器出土地点
（1：25000　海津）

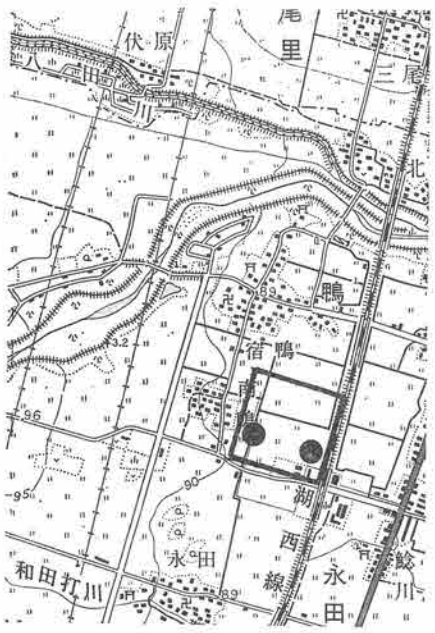


fig. 72　鴨遺跡木器出土地点
（1：25000　勝野）

m，深さ70cmの楕円形の掘形の底に砂利を敷き，一辺約1mの板を井桁に3段以上組む。井戸の底から，井戸枠と礫とにはさまれたものもふくめて5本の斎串が出土し，このほか埋土の下層から土師器皿と緑釉陶器の小椀が各1点出土した(fig. 72)。

〔木器番号〕東地区遺物包含層；*0713, 0808, 0812, 2005, 2006, 2104, 2208, 2307, 2309, 2801, 4005, 4309, 4311, 4314, 4328, 6110, 6111, 6112, 6207, 7235*

西地区井戸；*4719, 4720*

〔文　　献〕兼康保明「井戸における斎串使用の一例—滋賀県高島郡高島町鴨遺跡の井戸—」『古代研究』19（1980年）p. 61～67

丸山竜平・兼康保明ほか『鴨遺跡』高島町歴史民俗叢書第二輯　高島町教育委員会・滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会（1980年）

3　京都府

A　長岡京跡　　ながおかきょう

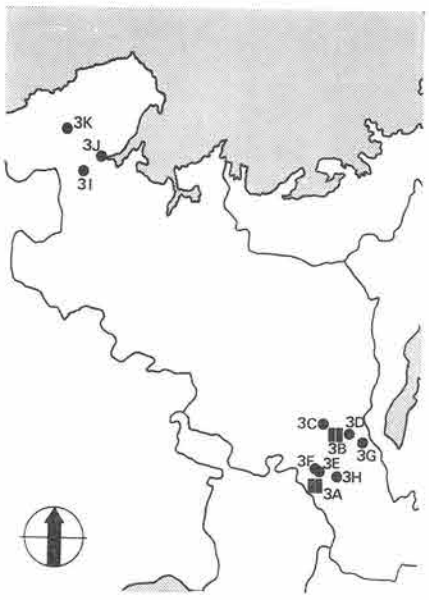


fig. 73　京都府の木器出土遺跡

京都府向日市鶏冠井町を中心にして所在。京域は東西4.3km，南北5.3kmの方形を呈し，大極殿跡・第2次内裏跡・第2次内裏南方の築地跡など，宮域の一部が史跡に指定されている。1954年から本格的な発掘調査を開始し，現在，向日市・長岡京市・大山崎町・京都市・京都府の5行政機関が発掘調査を実施している。向日丘陵が平地に移行する低位段丘上に宮域を配し，左京域はこれに連なる標高 13～15m の桂川氾濫原上に，右京域は西山丘陵からのびる低位段丘上に位置する(fig. 74)。

宮域や右京域は乾燥しやすい段丘上にあるため，木器の大半が左京域の条坊の側溝や井戸，ごみ捨て用の土壙から出土する。木器や土器の年代は，伴出する木簡によって年代を確定することができ，長岡京遷都～第2次内裏造営時（784年～789年）と第2次内裏造営～長岡京廃都時(789年～794年)との2時期に大別できる。なお，長岡京の土器の年代は，平城宮の型式編年での第Ⅵ期に相当する。

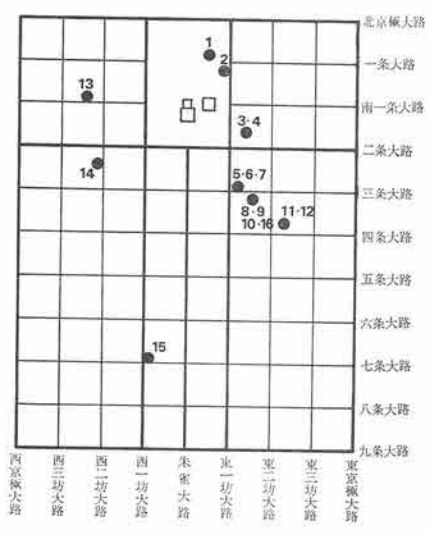


fig. 74　長岡京跡条坊概念図

1　長岡宮北辺官衙の川SD3100（7AN5地区　30・31次調査）

宮域の北辺にある東西8町，南北4町域を北辺官衙地区とよぶ。1970年，向日市立向陽第三小学校の建設にさきだって，この地域を京都府が調査した。調査地は北辺官衙地区の南辺中央部，標高14.0m 前後の旧石田川の氾濫原上に位置し，遺物は旧石田川の流路にあたるSD3100から出土した。SD3100は杭で護岸した幅5.6mの小河川で，北東の沼に流入している。SD3100の東には総柱の掘立柱建物1棟がある。

SD3100から出土した遺物には，木器・木簡・土師器・須恵器などがある。木器は収録したもののほかに，人形・斎串・櫛・漆器・部材などが出土している。木簡は物品整理札で，「八條四甕納米三斛九斗」と記しており，倉庫に収納した米の容器(甕)に付けたもの(fig. 75)。

〔木器番号〕*0108, 2415, 2446, 4008, 5803, 6712*

〔文　　献〕吉本堯俊・北山惇・浪貝毅『森本遺跡発掘調査概報』長岡京発掘調査団（1970年）p. 23～28

中山修一・小林清・吉本堯俊・浪貝毅・末本信策「長岡京昭和44年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報1971』京都府教育委員会（1971年）p. 4〜11

2　長岡宮東方官衙北部の川 SD8701（7AN3A・7AN3B地区　87・125次調査）

宮域の東辺に所在する南北８町分を東辺官衙地区とよぶ。向日市が1978年に調査した地域はその北端の官衙区画，前項調査地の南東部に位置する。

遺物は旧石田川の流路跡の一部である SD8701 から出土した。前項の第30次調査区はこの川の上流にあたる。SD8701は，幅10 m，深さ0.4 mで，北西から南東に流れる。杭などの護岸施設はないが，SD8701を渡るための橋SX8700を設ける。SX8700は川の両肩から約３mへだたった位置に，４m 前後の間隔で杭(径 20 cm 前後，長さ約２ m)を８対打込んで橋脚をつくる。遺物は橋直下の堆積土である砂礫層のなかから多数出土した(fig. 75)。

遺物には，木器・木簡・土師器・須恵器・二彩陶器・軒平瓦・土馬・紡輪・銭貨（萬年通寶・神功開寶）・獣骨・種子などがある。木器では収録したもののほかに木皿・櫛・箸がある。木簡は，巻物の軸につけた題籤で，「人物志三巻」と記されていた。土器はすべて長岡京時代(784年〜794年）の特徴をもっており，『人物志』という書物をそなえた某官庁の不用品が廃棄されたもの。

〔木器番号〕*1811, 1812, 7217*

〔文　　献〕山中章「長岡宮跡第87次（7AN3A地区）発掘調査概要」『向日市埋蔵文化財調査報告書第５集』向日市教育委員会（1979年）p. 27〜41

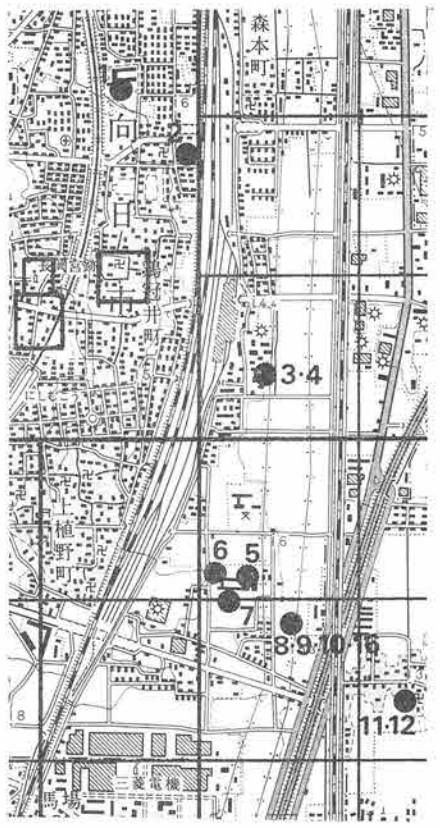


fig. 75　長岡京跡木器出土地点　宮域・左京（1：25000　京都西南部）

3　左京二条二坊六町の中央溝 SD1301（7ANESH−１・２・４・６地区　左京 13・22・51・95次調査）

左京二条二坊六町は，標高13m前後の桂川の氾濫原上に立地する。向日市が1977年〜1980年に行った４次にわたる調査によって，東二坊坊間小路西側溝・六町内を区画する溝・掘立柱建物・井戸・橋などを検出した。とくに SD1301 から出土した大量の木簡によって，太政官をはじめとする二官八省の財政運営に重要な役割をはたした太政官厨家が六町内に存在したことが判明した(fig. 75・76)。

SD1301は幅４m，深さ 0.6 m の素掘り溝。六町の中央を西から東へ流れる 排水溝として機能する。埋土は上・下２層にわかれ，出土木簡の年紀によって下層の埋没年代が延暦８年正月以前，上層が延暦９年５月〜延暦13年(790〜794)であることがわかる。下層の砂層から土器類や80点の木簡が出土したほか，上層にはない銭貨（和同開珎・萬年通寶・神功開寶）が大量に存在した。下層に土砂が堆積したのち溝は部分的に改修され，西方では 1.5 mに幅を狭め両岸に板をあてて護岸する。東方では溝本体に改作をくわえず，いろいろな構造の橋を設ける。上層（褐色粘質土）からの出土遺物は多く，327点の木簡をはじめ，土師器・須恵器・軒瓦・土馬・墨書人面土器・製塩土器・二彩陶器・鉄製品・青銅製品・獣骨・凝灰岩など多種多様な遺物がある。溝を埋めるために一時に投棄されたのであろう。

木器には収録したもののほか，櫛・桧扇・フォーク状木器・箸・鞘などがある。とくに上層から出土した人形は大・中・小型のものが組合っており，使用方法を推測しうる好例である。こうしたSD1301の遺物は，長岡京時代の基準資料になっている。

〔木器番号〕*0110, 0211, 0212, 0213, 0215, 0219, 0225, 0324, 0712, 0819,*

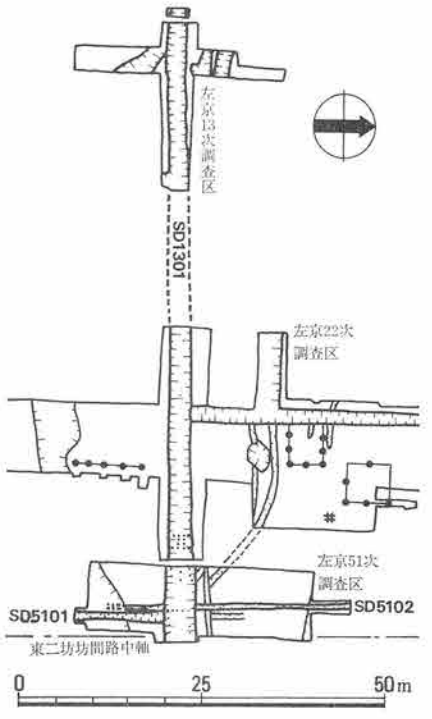


fig. 76　長岡京左京二条二坊六町遺構略図

1010, 1316, 1907, 1929, 1935, 1939, 1940, 1941, 1942, 2002, 2435, 2508, 2601, 2607, 2802, 3810, 3811, 3909, 3911, 3916, 3917, 4006, 4017, 4023, 4024, 4029, 4032, 4105, 4212, 4215, 4223, 4224, 4225, 4239, 4308, 4312, 4511, 4516, 4725, 4915, 4917, 5001, 5107, 5108, 5109, 5110, 5111, 5202, 5301, 5302, 5305, 5306, 5410, 5411, 5515, 5616, 5617, 5732, 5740, 5812, 6003, 6405, 6411, 6601, 6603, 6614, 6615, 6715, 6822, 6823

〔文　　献〕山中章・中尾秀正・高橋美久二・百瀬正恒・百瀬ちどり・石尾政信・徳丸始朗・中山修一「長岡京跡左京第13次（7ANESH地区）発掘調査報告」『向日市埋蔵文化財調査報告書第４集』向日市教育委員会（1978年）p. 1〜39
山中章・清水みき「長岡京跡左京第51次（7ANESH—４地区）〜左京二条二坊六町〜発掘調査概要」『向日市埋蔵文化財調査報告書第７集』向日市教育委員会（1981年）p. 79〜136

4　東二坊坊間小路の西側溝 SD5101・SD5102（7ANESH—４地区　左京51次調査）

東二坊坊間小路は，向日市が1980年までに行った４回の調査によって左京域をとおる重要な道路の一つであることが明らかになった。左京二条二坊六町に接して検出した西側溝 SD5101・SD5102は，東二坊坊間小路の拡幅によってつけ替えたもので，SD5101 が拡幅前，SD5102 が拡幅後のものである(fig. 76)。

SD5101 は幅 1.3 m，深さ 0.3 m〜0.5 m の素掘り溝で，南から北へ流れて，六町の中央溝SD1301に注ぐ。共伴遺物には土師器・須恵器がある。木器は収録品以外に，大型人形・斎串・楯・箸・曲物・刀子柄などがある。SD5102は幅 0.8 m，深さ0.2〜0.3mの素掘り溝で，北から南へ流れる。共伴遺物には土師器・須恵器・瓦等がある。木器にはほかに楯・箸がある。

〔木器番号〕SD5101；*0105*　　SD5102；*2420*

〔文　　献〕山中・清水前掲書

5　左京三条二坊四・五町の溝 SD0210（7ANFNT—１・２地区　左京２・４次調査）

左京三条二坊四町・五町にあたる向日市上植野町西大田において，京都府立向陽高校が建設されることになり，1974年・1975年に京都府が発掘調査を行った。長岡京時代の遺構としては三条大路両側溝・町域内の南北溝・掘立柱建物・井戸などを検出。ほかに長岡京造営以前の水路，平安・鎌倉時代の掘立柱建物もあった(fig. 75・77)。

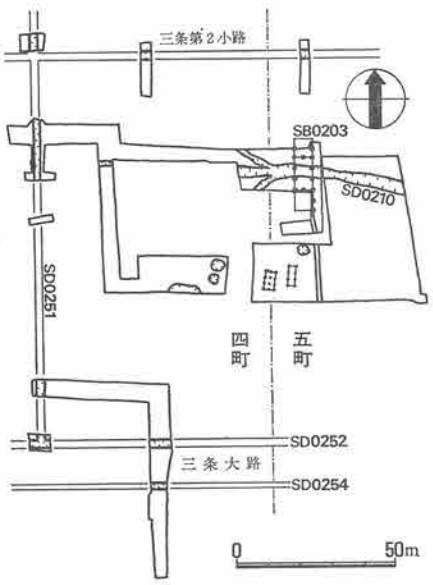


fig. 77　長岡京左京三条二坊四・五町遺構略図

長岡京時代の遺構は，「鮭背綿」などの木簡，「西宮」の墨書土器10数点が出土したので官衙的な遺構に比定しうる。SD0210は長岡京時代の掘立柱建物SB0203の建設に際し埋めたてた奈良時代の溝。台地部では幅 1.7 m，深さ 0.5 m で安定した位置を流れるが，平地部では幅４〜11 m とひろがり，10数列の護岸杭列を打込む。土師器・須恵器・曲物・斎串・人形などが出土し，人形には等身大に復原しうる大型人形２点をふくむ。

〔木器番号〕*4604, 4624, 4710, 4924, 5406*

〔文　　献〕高橋美久二「長岡京跡左京三条二坊第１次発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報（1975)』京都府教育委員会（1975年）
高橋美久二・百瀬正恒・徳丸始朗「長岡京跡左京三条二坊第２次発掘調査概要」

『埋蔵文化財発掘調査概報（1976)』京都府教育委員会（1976年）

6　左京三条二坊四町の溝 SD0251（7ANFNT—1・2地区　左京2・4次調査）

幅 1.6〜2.2m，深さ 0.4m の南北溝。三条二坊四町をほぼ東西に2分する長岡京時代の溝である。発掘当時は長岡京の条坊が平安京型に復原されていたので，東一坊大路東側溝に比定された。木簡5点をはじめ，人形・曲物・土馬・箸・櫛・鎌柄・瓦・陶硯・萬年通寶・神功開寶・灰釉陶器が大量の須恵器・土師器とともに出土し，長岡京土器の基準資料である(fig. 77)。

〔木器番号〕*5102, 5112, 6631*

〔文　　献〕同　上

7　左京三条二坊の三条大路南側溝SD0254（7ANFNT-1・2・4地区　左京2・4・71次調査）

幅1.5m，深さ0.3mの東西溝。北側の溝SD0252とともに長岡京時代の三条大路側溝となる。それによって三条大路の路面幅 10m，両側溝をふくむ幅員 14.7m がわかる。溝からは平瓦片がかなりの量で出土したほか，若干の須恵器・土師器の破片が出土した(fig. 77)。

〔木器番号〕*4822*

〔文　　献〕同　上

8　左京四条二坊九町の溝 SD1501（7ANFOT—1地区　左京15次調査）

左京四条二坊九町は，標高 14.5m 前後の旧小畑川の氾濫原上に立地する。向日市による3回の調査を通じて，三条大路南側溝・九町内の排水溝・掘立柱建物・井戸・土壙などを検出し九町の町域利用のほぼ全容が明らかになった。九町の北西にあたる左京三条二坊四町では「西宮」の墨書土器が多量に出土し，九町西端で検出した井戸の木簡によって，九町は「西宮」に関係する兵士の駐屯地にあてられる。SD1501は幅 3.5m，深さ 0.2m の素掘り溝で，町域内の排水溝として機能する。共伴遺物には，土師器・須恵器がある(fig. 75・78)。

〔木器番号〕*2603*

〔文　　献〕山中章「長岡京跡左京第15・27次（7ANFOT—1・2地区）発掘調査概要」『向日市埋蔵文化財調査報告書第6集』向日市教育委員会（1980年）p. 31〜85

9　左京四条二坊九町の井戸 SE2714（7ANFOT—2地区　左京27次調査）

左京四条二坊九町の北西部で検出した曲物二段組の井戸。掘形の直径は 0.7m，深さ 0.5m をはかり，上段に直径 47cm，高さ 13cm，下段に直径 41cm，高さ 29cm の曲物をすえる。井戸底には木炭や小石を敷く。井戸のなかからは須恵器の皿一点が出土した(fig. 78)。

〔木器番号〕*3409*

〔文　　献〕同　上

10　左京四条二坊九町の井戸 SE2708（7ANFOT—2地区　左京27次調査）

左京四条二坊九町の北部中央で検出した縦板と二段の曲物とを組合せた井戸。掘形は直径 1.5m，深さ 0.75m。なかから土師器・須恵器が出土している(fig. 78)。

〔木器番号〕*3411*

〔文　　献〕同　上

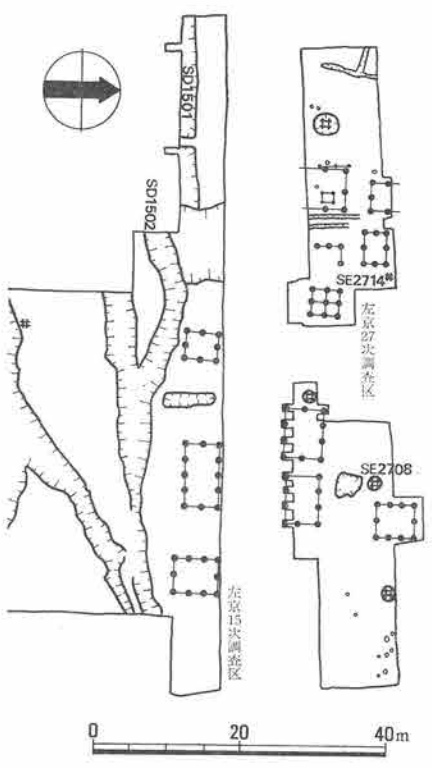


fig. 78　長岡京左京四条二坊九町遺構略図

11　左京四条三坊の溝SD451

1980年８月以降，京都市伏見羽束師菱川町で外環状線建設のため，京都市埋蔵文化財研究所が継続調査を行っている。調査地は長岡京左京四条二坊十四町，三坊三・六・十一・十四町，四坊三・六町にあたり，各町の北部を約20ｍ幅で調査している。総延長は東西800ｍにおよび，長岡京時代の遺構としては，東一・二・三坊大路などのほかに，多数の掘立柱建物・木塀・井戸・溝・土壙などがある。しかし，三坊三町の一部，六町の大半は平安時代の流路によって削られていた。木器は長岡京時代の溝SD451や井戸SE80などから出土。他の注目すべき遺物として，土壙SK01から出土した漆紙文書「戸籍」断簡がある。下層では弥生時代の竪穴住居跡・溝・土壙，古墳時代の溝・土壙・水田など多数の遺構，遺物を検出した(fig. 75)。

SD451は幅1.1～1.3ｍ，深さ0.2ｍ～0.4ｍの素掘りの南北溝で，北で約21度西偏する。延長15.0ｍを検出した。埋土は上層が灰色砂，中層が暗灰色腐植土，下層は暗灰色泥土である。木器の人形・挽物壺は長岡京時代の土師器・須恵器等とともに腐植土層から出土した。他に木簡１点がある。

〔木器番号〕*2502，5309，7107*

〔文　　献〕長宗繁一・本弥八郎「左京四条三坊」『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所（1984年）p. 84～86

12　左京四条三坊六町の井戸SE80

一辺1.0ｍの方形縦板組の井戸。径1.4ｍの円形掘形内の四隅に径７～15 cmの柱をたて枘穴をあけて４段に横桟をわたし，その外側に幅５～20 cmの板を各辺７～10枚たて並べる。埋土の上層は褐色・茶褐色砂層で，長岡京時代の遺構面を覆う平安時代の流路の埋土と同じである。中層は茶褐色砂礫層，下層は灰色泥土層である。人形・箸・斎串などの木器は長岡京時代の土師器・須恵器等とともに，下層の灰色泥土から出土した(fig. 75)。

〔木器番号〕*4616，4617，4805，4806*

〔文　　献〕同　上

fig. 79　長岡京跡木器出土地点（右京１）
（1：25000　京都西南部）

13　右京一条三坊五町の旧流路（7ANGTE地区　右京22・25次調査）

右京一条三坊五町内を蛇行する古墳時代の旧河川で，善峰寺川旧流路とかんがえられる。長岡京時代には，これを埋め立てて，杭列によって護岸した幅0.8～１ｍの数条の溝を設ける。長岡京時代の遺物に，土器・銅銭・瓦，斎串・櫛・人形・下駄などの木器がある(fig. 79)。

〔木器番号〕*2102，2103*

〔文　　献〕長岡京市教育委員会『(仮)長岡第十小学校建設に伴う発掘調査（長岡京右京第25次発掘調査7ANGTE地区）現地説明会資料』(1979年)

14　右京三条三坊の今里車塚古墳周濠（7ANITT地区　右京７・13・26次調査）

長岡京西二坊大路の二条から三条にいたる都市計画街路の建設にともない，京都府は1977年～1981年に発掘調査を実施し，西二坊大路・弥生時代から古墳時代にかけての集落(今里遺跡)・前方後円墳(今里車塚古墳)を検出した。今里車塚古墳は地上に痕跡をとどめないが，全長約75ｍ，後円部径約47ｍの周囲に，幅約12ｍの楯形の周濠がめぐる前方後円墳である。周濠から

埴輪・木製蓋など古墳時代の遺物，長岡京時代の土師器・須恵器・木器などが出土した。長岡京時代の木器には，木皿・曲物・槽・刀子柄・刀形・人形などがある。土器類のなかにも墨書人面土器・「大祁」銘の須恵器など祭祀遺物が多いことが注目される。長岡京造営に際して，今里車塚古墳のくびれ部を横断する西二坊大路をつけたので，墳丘を削平し周濠を埋めるときに，これらの祭祀具がつかわれたのであろう(fig. 79)。

〔木器番号〕*2608, 6616, 6617, 6618*

〔文　　献〕高橋美久二ほか「長岡京跡右京第26次発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報1980—2』京都府教育委員会（1980年）p. 1〜265

15　右京七条一坊十三町の恵解山古墳周濠

恵解山古墳は全長120mの前方後円墳で山城地方で最大規模をもつ。周濠の調査は道路建設と小学校建設にともなって2回実施し，その幅が20m前後であることがわかった。堆積層の遺物は多くないが，下層の葺石にまじって埴輪が，上層から挽物・曲物・下駄などの木器，土師器・須恵器などが出土し，上層の年代が長岡京時代から平安時代前期に推定できる(fig. 80)。

〔木器番号〕*2114*

〔文　　献〕三上貞二『恵解山古墳周湟第二次調査概報』長岡京市 文化財調査報告書 第3冊（1975年）p. 13〜14

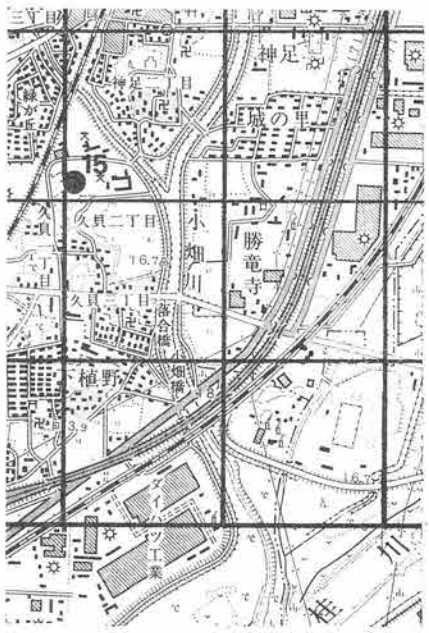


fig. 80　長岡京跡木器出土地点（右京2）（1：25000　淀）

16　左京四条二坊の川SD1502（中福知遺跡）

向日市上植野町中福知に所在。西山丘陵に発した小畑川が，向日丘陵の南端で東折する標高14m付近の北岸に立地する。1976年以降，向日市が長岡京跡の調査と並行して10数回の調査を行った。長岡京廃都直後から平安時代末までの集落跡。井戸・土壙・旧小畑川の支流を検出した。『類聚三代格』によれば長岡京廃都直後の延暦14年にこのすぐ北の旧条坊跡に近衛府の蓮池や勅旨省の藍畑を設けている。出土遺物の主なものには，緑釉陶器・黒色土器・瓦器・土師器・須恵器・銭貨（隆平永寶・富寿神寶・乾元大寶）・獣骨などがある。

収録の木器は，すべて平安時代の旧小畑川の支流SD1502から出土した。SD1502は幅3.5m，深さ0.7m前後で，西から東へ流れる。3個所に堰を設け，木器はこれにからむようにして発見された。ほかに土師器・須恵器，弘仁9年初鋳の富寿神寶がある。その他の木器としては井戸枠に転用した大型の曲物がある(fig. 75・78)。

〔木器番号〕*2209, 3110*

〔文　　献〕前掲　山中「長岡京跡左京第15・27次（7ANFOT−1・2地区）発掘調査概要」p. 31〜86

B　平安京跡　へいあんきょう

平安京は京都盆地の北部，鴨川と御室川にはさまれた地に南北9条(38町)，東西8坊(32町)を占地し，延暦13年(794)に設定された都である。発掘調査は平安博物館・京都府教育委員会などが昭和30年代なかばから開始し，つぎに京都市文化観光局文化財保護課の手で，現在では京都市埋蔵文化財研究所が主体的に調査している。木器は右京の二条三坊，三条三坊，七条二坊(西市跡)，右京の四条三坊，五条三坊などから出土するが，平安宮内での出土例はきかない。右京域の木器は平安時代前・中期が多く，左京は平安時代後期以降のものが多い(fig. 81)。

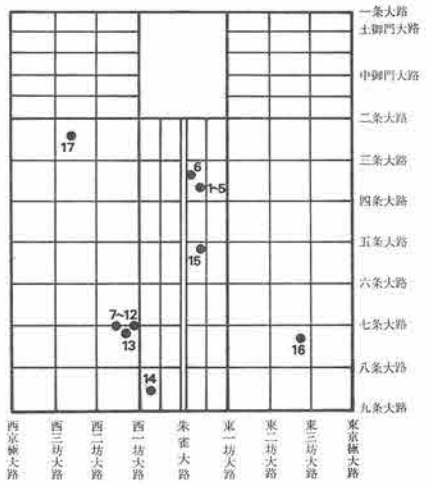


fig. 81　平安京条坊概念図

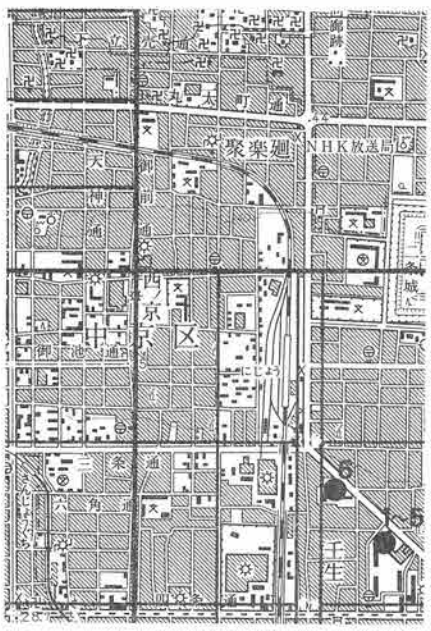


fig. 82　平安京跡木器出土地点　(1)
(1：25000　京都西北部)

1　左京四条一坊五・六町の井戸SE07A

京都市中京区壬生坊城町・壬生馬場町に所在。1974年・1975年・1976年に平安京調査会が調査。四条一坊五・六町は平安時代後期の貴族である藤原國明の邸宅跡にあたる。四条坊門小路の両側溝と路面などの条坊遺構・掘立柱建物・井戸・土壙・溝などを発見した。土壙・井戸などには平安時代初期に遡るものがある。四条坊間小路の側溝は平安時代初期から鎌倉時代末まで存続し，3回の改修築を行う。建物は平安時代後期から鎌倉時代のものが多い(fig. 82)。

SE07Aは，径1.2m前後の円形掘形をもつ方形縦板組の井戸。井戸枠は一辺0.5m前後で，幅0.07～0.3mの不揃いの板をたて並べ，四隅には柱をたてる。堆積土から平安時代前期の土師器・須恵器・黒色土器などとともに，斎串・人形・木簡「舩仁丸苛紫仲」が出土した。

〔木器番号〕*4702，4718，4721，4734，5510*

〔文　　献〕吉川義彦ほか『平安京跡発掘調査報告―左京四条一坊』平安京調査会（1975年）p. 36～39

2　左京四条一坊五・六町の井戸SE01

一辺0.9mの掘形をもつ方形縦板組の井戸。井戸枠は一辺0.55m前後で，幅0.15～0.2mの板を各辺5～7枚たて並べ，内側を上下二段の横桟で固定する。井戸の埋土は上層から暗緑灰色泥砂，黒褐色泥土とつづき，茶灰色砂泥土が底の堆積である。木器は黒褐色泥土から土師器・山茶椀・瓦器羽釜などとともに出土した(fig. 82)。

〔木器番号〕*1706，1707，5310，5311*

〔文　　献〕同　上

3　左京四条一坊五・六町の第Ⅰトレンチ第3層

四条坊門小路から南方にかけてひろがる遺物包含層(灰褐色泥砂)。9世紀前半から後半にかけての土器を多量にふくむ。四条坊門小路の南北両側溝は，この層を掘込んでいる。土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器などとともに木器が出土した(fig. 82)。

〔木器番号〕*5105*

〔文　　献〕同　上

4　左京四条一坊五・六町の溝SD01

幅1.8m，深さ0.5mの素掘り溝。四条坊門小路の北側溝にあたる。溝の埋土は茶褐色泥砂・黒灰色泥砂・黒褐色泥土などにわかれ，木器は茶褐色泥砂から土師器・瓦器羽釜・瓦器鍋・白磁椀・白磁壺などとともに出土した(fig. 82)。

〔木器番号〕*1915，1922*

〔文　　献〕同　上

5　左京四条一坊五・六町の土壙SK03

南北約3m，東西2m以上の不整形の土壙。青灰色泥砂が堆積し，須恵器・土師器・灰釉陶器・緑釉陶器など平安時代初頭の遺物と木器が出土した(fig. 82)。

〔木器番号〕*5811*

〔文　　献〕同　上

6 左京四条一坊一町の土壙

京都市中京区壬生朱雀町に所在する。1975年・1976年に平安京調査会が調査した。左京四条一坊の北西隅に近く，土壙・溝・建物を検出した。琴柱は東西幅6 m 以上の不整形な浅い土壙から出土し，伴出した須恵器・土師器・緑釉陶器によって9世紀後半から10世紀の年代が推定される(fig. 82)。

〔木器番号〕*4519*

〔文　　献〕(財)京都市埋蔵文化財研究所『平安京跡発掘資料選』(1983年)p. 41
京都市『史料京都の歴史』第2巻考古(1983年)p. 107

7 右京西市跡の井戸SE03B

平安京の西市は右京七条一坊・七条二坊・八条二坊に十二町を占地し，京都市下京区西七条北依田町・西七条南中野町に所在する。京都市埋蔵文化財研究所による発掘調査が過去数回行われている。木器が出土したのは，1977年～1978年，1979年の調査である。検出した主要な遺構として七条大路側溝・溝・掘立柱建物・井戸・祭祀遺構などがある。なかでも七条二坊十二町の南東部の調査では市を細分する南北溝・東西溝・掘立柱建物・土壙・祭祀遺構を発見し，遺物には 200 枚をこえる皇朝十二銭がある。さらに木簡にも「承和五千文安継」「承和六貫文」など商取引を暗示するものがある。

SE03B は右京七条二坊十二町の南東部にある井戸である。径2.0 mの円形掘形をもつ。使用年代は2時期にわかれる。当初のSE03Aは一辺0.9 mの方形縦板組の井戸。のちになってその上部に改作した井戸 SE03B はSE03A の掘形を掘り下げて旧井戸枠の上端を水平にそろえ，四隅に 0.3×0.6 m の板をおいて基盤とする。その上に23枚の板を組合わせて，隅丸三角形を呈する桶状の井戸枠を組上げる。枠板は幅 15 cm，厚さ約 5 cm で，下部に枘孔をあけて上下の板を雇枘でつなぐ。埋土は二層にわかれ，下層(灰色砂泥)から富寿神寶・土師器・須恵器・緑釉陶器などが検出され，上層(腐植土混じりの暗灰色泥砂)から多量の土器・木器・貞観永寶が出土した(fig. 83)。

〔木器番号〕*1008, 1908, 2202, 2204, 2205, 2206, 2439, 3913, 4323, 4324, 4407, 4415, 4518, 4704, 6416, 6905*

〔文　　献〕前掲『平安京跡発掘資料選』一部資料の紹介
前掲『史料京都の歴史』第2巻考古　p. 116～117

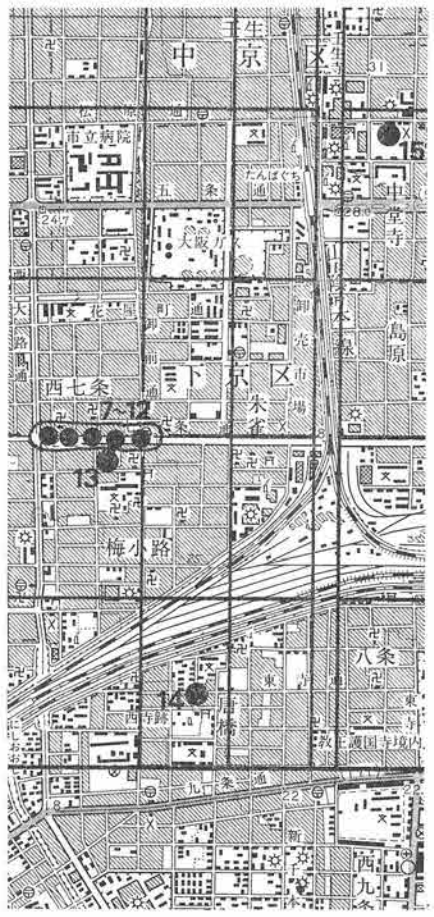


fig. 83　平安京跡木器出土地点　(2)
(1：25000　京都西南部)

8 右京西市跡の井戸SE20

一辺 0.5 m，深さ 1.6 m の方形縦板組の井戸である。井戸の埋土は四層にわかれ，最下層からは承和昌寶が29枚重なって出土した。これとは別にに隆平永寶・長年大寶・饒益神寶など計53枚の銅銭が出土している。土器類も土師器・黒色土器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器など多彩である。木器は挽物盤・箸・杓子・下駄などの生活用品と斎串などの祭祀遺物がともに出土した(fig. 83)。

〔木器番号〕*1702, 1704, 2305, 2306, 2705, 2707, 3113, 3114, 3508, 4216, 4229, 4709, 4735, 4812, 5721, 6503, 6510, 6511, 6607, 6620*

〔文　　献〕同　上

9　右京西市跡の溝SD12

幅0.5m，深さ0.2mの東西溝で，両岸を板で護岸。溝の西端はSD05と接し，東端は板で斜めに閉じており，東西長4.7mをはかる。南肩の中央部には幅0.1m，長さ1.3mほどの板を敷き，その上に須恵器瓶子・土師器杯・甕・斎串を置いていた。漆器皿は溝のほぼ中央部から，9世紀中葉の土師器・須恵器などとともに出土した(fig. 83)。

〔木器番号〕*2405，6514*

〔文　　献〕同　上

10　右京西市跡の遺物包含層A区5層

SX10・SD12など，9世紀中葉の遺構の下層で遺物包含層(暗灰色泥砂)を検出した。木器は9世紀前半の土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器などとともに出土(fig. 83)。

〔木器番号〕*2422，4013*

〔文　　献〕同　上

11　右京西市跡の祭祀遺構SX10

SD12の東端，南側に位置する。遺構は径16cmの土師器杯を2個体正位置で南北に並べ（1個体は底部中央に穴をあける)，すぐ西には両端に抉りを入れた長さ0.7mの棒を南北方向におく。土師器と棒の間に，富寿神寶・承和昌寶を12枚ばらまく(fig. 83)。

〔木器番号〕*7117*

〔文　　献〕同　上

12　右京西市跡B区の土壙SK15

トレンチ北端で検出した東西溝SD13に削られた焼土が混じる土壙。規模は長辺3.0m，短辺1.8m以上，深さ0.2m。出土の土器は9世紀前半にぞくする(fig. 83)。

〔木器番号〕*4016*

〔文　　献〕同　上

13　右京西市跡の井戸SE03

下京区西七条南中野町に所在。1979年に京都市埋蔵文化財研究所が調査。右京八条二坊八町にあたり，建物・井戸などを検出した。木器が出土したSE03は，一辺1.1m，深さ1.6mの方形縦板組の井戸で，掘形は2.1×2.0mの方形を呈する。発掘したとき南辺部の側板は内側に倒れ，その上から土器がかたまって出土した。井戸底から曲物4個と須恵器杯が正位置で出土。ほかには，須恵器・土師器・隆平永寶・富寿神寶・刀子・櫛・斎串などがある(fig. 83)。

〔木器番号〕*1805，1810，3309，3401*

〔文　　献〕中村敦『平安京西市跡—南病院中棟新築に伴う発掘調査の概要—』(財)京都市埋蔵文化財研究所（1979年）

14　西寺跡の井戸SE01（12次調査）

西寺跡は京都市南区唐橋西寺町に所在する。平安京の二大官寺の一つであったが，平安時代中期後半の火災で壊滅的な打撃をうけた。発掘調査は1960年から20数回行われ，南大門・中

門・回廊・金堂・僧房・小子房・食堂などの伽藍配置があきらかになった。伽藍中心部の調査が多いためか，遺物は瓦を除いて多くはない。木器は京都市埋蔵文化財研究所による1980年の調査で出土。また，西寺関連遺構の下層からは弥生～古墳時代の遺構・遺物が発見されている。

木器が出土した井戸 SE01 は西寺食堂院の東北約15 mに位置し，西寺大炊殿・食堂に関連するとかんがえられる。一辺 2.3 m の方形横板組の井戸で，井戸枠２段(高さ0.6 m)をのこす。井戸枠上部に４層の堆積層があり，とくに第３層上面からは炭化木片とともに多量の遺物が出土した。井戸枠内の埋土は青灰色砂質土・青灰色粘質土・茶褐色砂礫などで，青灰色粘質土から木器が出土した。土師器・須恵器・黒色土器・二彩陶器・緑釉陶器・灰釉陶器・土馬など多様な遺物がある。ほかに富寿神寶が10枚もある(fig. 83)。

〔木器番号〕*1804, 4025, 4525, 5509, 6013*

〔文　　献〕長宗繁一・鈴木久男「西寺井戸跡」『平安京跡発掘調査概報—京都市埋蔵文化財研究所概報集 1978-Ⅱ—』(財)京都市埋蔵文化財研究所（1978年）p. 48～61

15　左京六条一坊八町の井戸SE03

京都市下京区中堂寺命婦町に所在。平安京左京六条一坊八町の南半部にあたり，1983年，京都市埋蔵文化財研究所が調査。近世の採土跡と平安時代後期～鎌倉時代の井戸11基を検出した。SE03 は方形縦板組の井戸で，底に曲物をすえる。11世紀後葉(fig. 83)。

〔木器番号〕*6211*

〔文　　献〕平尾政幸・梅川光隆・辻純一「左京六条一坊」『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所（1984年）p. 23～24

16　左京八条三坊九町の遺物包含層

京都市下京区烏丸通木津屋橋上る東塩小路町に所在。1977年，京都市高速鉄道烏丸線遺跡調査会が調査を行い，平安時代中期の遺物包含層と，平安時代後期から現代に至るまでの各時期の遺物包含層・井戸・土壙などを検出。収録した人面木器は，平安時代中期の遺物を包含する淡灰色シルト層から出土した。この層は，遺物をふくまない黄褐色砂礫層の窪んだ部分に堆積しており，自然堆積層とかんがえられる(fig. 84)。

〔木器番号〕*5417*

〔文　　献〕小森俊寛・原山充志「No. 74」『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報 Ⅲ（1977～1981年度)』(1982年）p. 135～143

17　右京三条三坊十町の木棺墓

京都市中京区西ノ京徳大寺町に所在。1979年に京都市埋蔵文化財研究所が調査。９世紀から10世紀後半にかけての邸宅跡で，掘立柱建物８棟・木塀４・土壙・宅地区画溝などを検出した。建物は方位によって２時期にわかれ，溝・木塀によって区画の変遷がわかる(fig. 85)。

収録した漆器は宅地の西北隅で検出した木棺墓から出土。墓壙は南北 1.9 m，東西 0.6 m，棺は長さ 1.6 m，幅 0.4 m。棺蓋板上に土師器皿２枚をおき，棺内には，須恵器瓶子２個体・両面黒色土器椀・和鏡・漆器の角盆を副葬する。棺内北端部に納めた漆器の角盆上には漆皮皿・漆器合子・墨・銅製毛抜き・小玉・黄楊製の棒がのっており，合子内には白粉状のものを入れていた。黒色土器・土師器皿は10世紀後半のもの。

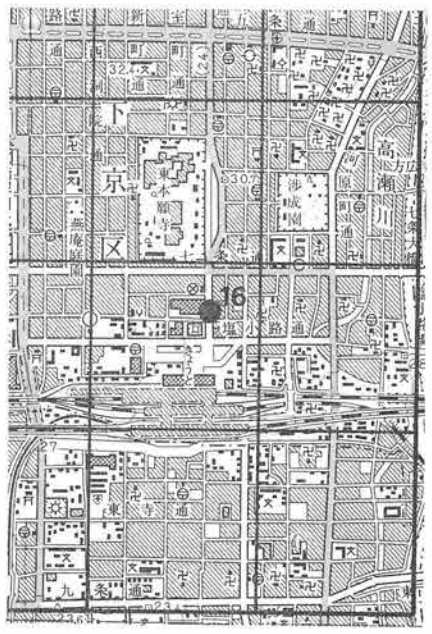


fig. 84　平安京跡木器出土地点(３)
(1：25000　京都東南部)

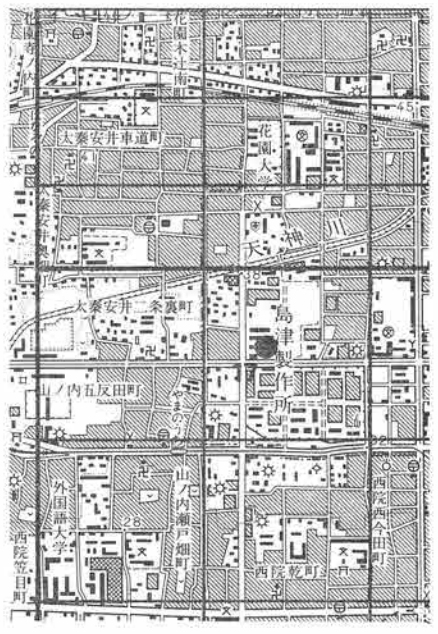


fig. 85　平安京跡木器出土地点(４)
(1：25000　京都西北部)

fig. 86　仁和寺南院跡木器出土地点
（1：25000　京都西北部）

〔木器番号〕*2411*

〔文　　献〕前掲『平安京跡発掘資料選』図版23—69

前掲『史料京都の歴史』第２巻考古 p. 111

C　仁和寺南院跡　　にんなじなんいん

京都市右京区宇多野御屋敷町に所在。京都市埋蔵文化財研究所などが数回調査が行い，園池・礎石建物・墓などを検出した。木器が出土したのは1982年に行った試掘立会調査で，園池北部の汀線を検出した。池の規模は南北 80 m，東西 60 m程度に復原でき，東岸は双ケ岡の西裾に接している可能性がある。堆積土層は，現代盛土・耕作土・床土・室町時代遺物包含層とつづき，池が存在したときの堆積層は暗灰色泥土である。汀線にはまばらであるが，円礫を敷きつめる。多数の木器は暗灰色泥土と円礫の間から平安時代中期から後期（10世紀から11世紀）の土師器・瓦器・白磁などとともに出土した(fig. 86)。

〔木器番号〕*4408，5710，5919，6206，7115*

〔文　　献〕京都市埋蔵文化財研究所『京都市内遺跡試掘立会調査概報—昭和57年度』(1983年)

家崎孝治「京都・仁和寺南院跡」『木簡研究』第５号 木簡学会（1983年）p. 40

D　尊勝寺推定地　　そんしょうじ

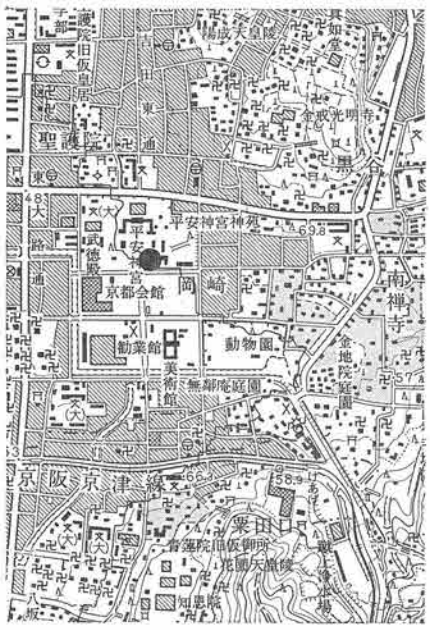


fig. 87　尊勝寺推定地木器出土地点
（1：25000　京都東北部）

尊勝寺は康和４年(1102) 7月21日に造立供養された堀河天皇の御願寺で，京都市左京区岡崎西天王町から岡崎最勝寺町にかけての方２町が推定寺域。1969年以降，断続的な発掘調査を行ない，堂宇跡などを検出したが，寺域や伽藍配置を確定するに至っていない。

収録した人形は，1976年に現在の平安神宮境内，推定尊勝寺寺域の中央東寄りで検出した東西築地塀北側の大溝から出土。東西築地塀は基底幅 2.4 m，その北に幅３ mの犬走を介して，幅 2.6 m以上，深さ 0.7 m の素掘りの大溝が東西にのびる。大溝には砂層と泥土とが互層になっており，瓦片・加工木などが共伴した。東西築地塀の南には幅 0.8 mの雨落溝があり，これらが一体となって寺院の北限を画していたとかんがえられるが，従前の推定尊勝寺寺域には合致せず，報告者は，尊勝寺の東にあった最勝寺〔元永元年(1118)12月17日に造立供養された鳥羽天皇の御願寺〕の北限築地の可能性を提起している(fig. 88)。

〔木器番号〕*5516*

〔文　　献〕梶川敏夫・渡辺和子「尊勝寺跡推定地第Ⅲ次発掘調査概要」『六勝寺跡—京都市埋蔵文化財年次報告1976-Ⅱ』京都市文化観光局文化財保護課（1977年）p. 13～52

E　大藪遺跡　　おおやぶ

京都市南区久世大藪町に所在し，桂川右岸に位置する。1972年以降，久世中学校（旧乙訓第三中学校）敷地内を 中心に 六勝寺研究会・長岡京発掘調査団・ 京都市埋蔵文化財研究所 などが，過去８回の発掘調査を行った。縄文時代晩期から中世までの遺物が出土し，検出遺構としては古墳時代から平安時代の大規模な流路，鎌倉時代の掘立柱建物，井戸などがある。木器は1972年・1975年の調査で検出した流路から，多量の祭祀遺物とともに出土した。流路は北から南へと流れ，北西 200 m の地点で検出した中久世遺跡の流路 SD01 の下流にあたるものと推定できる。この流路は古墳時代から平安時代までの堆積層をもつ。平安時代の流路は幅 12m 前

後，深さは 1.3 m 程度で，ところどころ丸杭や角杭などで護岸している。埋土は調査地点でことなるが，1975年の第4次調査区では上層の暗灰色粘質土と下層の黄褐色砂礫にわかれ，上層から平安時代中期，下層から長岡京時代前後から平安時代前期の遺物が出土(fig. 88)。

〔木器番号〕*0502, 2003, 3208, 4001, 5915, 5916*

〔文　　献〕梅川光隆『大藪遺跡発掘調査報告』六勝寺研究会（1973年）p. 29〜30

F　中久世遺跡　　なかくぜ

京都市南区久世中久世町・殿城町に所在。桂川右岸の縄文時代晩期〜室町時代の大集落跡である。1972年以降，京都市埋蔵文化財研究所が数回の発掘・試掘・立会調査が行ってきた。奈良時代から平安時代の遺構には，掘立柱建物・溝・流路・井戸・土壙などがある。1977年に行った ND83-4-A-45調査区では，平安時代前期の流路 SD01 を検出し多数の木器が出土した。また，この調査区の流路の下層や土壙からは弥生時代中期の木器が多量に出土した(fig. 88)。

1　中久世遺跡の流路

1981年7月から8月にかけて発掘。調査地は京都市南区久世中久世町2丁目131番地で，中久世遺跡の北部に位置する。北から南に流れる大規模な流路と土壙などを検出。木器は流路の第5層から出土。この層には6世紀末から7世紀前半代の土師器・須恵器などがふくまれ，建築材もある。なお，流路第7層では布留式土器とともに石製模造品が多量に出土，第11層からは弥生時代後期の遺物が出土するなど，弥生時代中期・後期から平安時代前期までの連続した堆積層が確認できる。

〔木器番号〕*2211, 2212*

〔文　　献〕京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所『中久世遺跡発掘調査概報』(1982年）p. 18

2　中久世遺跡の溝SD01

SD01 は南流する弥生時代からの流路の西肩部に形成された幅約6 m，深さ 0.7 m の流路である。土層の堆積は，上・下2層に大別される。上層は粘質土の堆積であり，少量の土器と饒益神寶・斎串・陽物形・獣骨などが出土した。下層は，砂質土と砂礫土からなり，遺物の大半はこの層から出土した。土師器・須恵器・緑釉陶器・製塩土器・土馬・土錘・墨書人面土器・小型土師器竈・鍋・斎串・人形・曲物などがある。伴出土器の年代は平安時代前期。

〔木器番号〕*4921, 5103, 5104, 5114, 5115, 5116, 5117, 5118, 6104, 6105*

〔文　　献〕前掲『平安京発掘資料選』

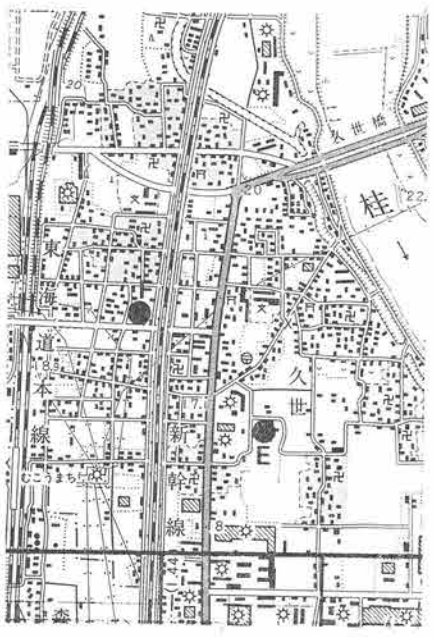


fig. 88　大藪・中久世遺跡木器出土地点
（1：25000　京都西南部）

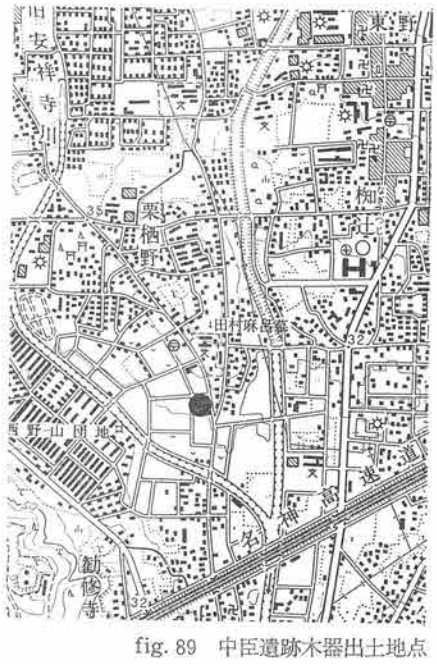


fig. 89　中臣遺跡木器出土地点
（1：25000　京都東南部）

G　中臣遺跡　　なかとみ

中臣遺跡は京都市山科区一帯，山科川と旧安祥寺川とに挟まれた地域にひろがる大規模な集落跡である。1971年以降，京都市埋蔵文化財研究所が60次にわたる調査を行った。遺跡は縄文時代から中世まで連続するが，中心は弥生時代後期から飛鳥時代にあり，多数の竪穴住居跡を検出した。奈良・平安時代の遺構は南西部に集中し，掘立柱建物・土壙・井戸などがある。木器が出土したのは，勧修寺西金ケ崎町に所在する井戸 SE01(第10次調査区)である(fig. 89)。

SE01 は長径 4.4 m，短径 3.5 m，深さ 3.2 mの楕円形掘形内に縦板を円形に組む。埋土から

9世紀後半の土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器などが出土した。木器は下層から多量に発見され，なかには「行徳行徳法・・」と判読される木簡がある。

〔木器番号〕*4621*, *4716*, *4807*, *4808*, *4809*

〔文　　献〕前掲『平安京発掘資料選』

(財)京都市埋蔵文化財研究所『中臣遺跡—文化庁国庫補助事業による発掘調査の概要 1977 年度—』(1978 年) p. 4

H　鳥羽離宮跡　とばりきゅう

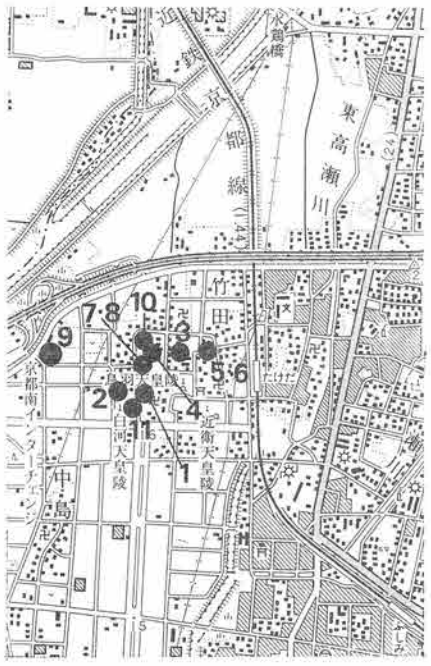


fig. 90　鳥羽離宮跡木器出土地点
(1：25000　京都東南部)

遺跡は京都市の南部，名神高速道路京都南インターの南東部にひろがる。11世紀末，白河上皇が造営を開始し，鳥羽上皇も殿舎仏殿を増築した。全貌はなお明らかでないが，南殿・北殿・馬場殿・東殿・田中殿の５つの殿舎群とこれにともなう御堂群の存在が推定できる。

1960年，名神高速道路建設にともなって奈良国立文化財研究所・京都府が発掘調査を開始し，のちに鳥羽離宮跡発掘調査研究所が受継ぎ，現在は京都市埋蔵文化財研究所が継続的に調査を行っている。近年になって田中殿地区で玉石で築成した基壇をもつ建物群や庭園などが良好な保存状態で検出されている。遺跡は下層の縄文時代晩期から平安時代中期までと鳥羽離宮時代，室町時代以降の三期に大別される。木器は各時代のものが出土しているが量的には室町時代以降のものが多い(fig. 90)。

1　鳥羽離宮跡の溝SD01B (21次Ｂ調査)

現在の伏見区竹田内畑町・竹田浄菩提院町一帯は鳥羽離宮東殿の推定地で，安楽寿院・白河天皇陵・鳥羽天皇陵・近衛天皇陵・北向不動尊などが現存する。SD01B は，北向不動尊と白河天皇陵との中間地域の北寄りで検出した幅 5.5 mの東西溝。溝は２時期にわかれ，新しいA溝の埋土は上層が茶褐色粘質土，下層は淡茶灰色砂質土となる。B溝の上層は灰褐色粘質土，下層は灰褐色小礫混り粘質土であり，この下層から木製仏像・塔婆などが出土した。伴出の土師器から鎌倉時代から室町時代頃とおもわれる(fig. 90)。

〔木器番号〕*2433*

〔文　　献〕長宗繁一・鈴木久男・加納敬二『鳥羽離宮跡—昭和51年度区画整理道路予定地内発掘調査概要—』(財)京都市埋蔵文化財研究所 (1977年)

2　鳥羽離宮跡の池状遺構SX07 (24次調査)

白河天皇陵の北約80 mのところで，鳥羽離宮期の整地層(黄褐色粘質土)を掘込んだ池状遺構SX07 を検出。池の堆積層(青灰色粘土)は南へのびており，鳥羽離宮にともなう池汀は，西方からこの調査区と白河天皇陵との間へ向けて入り込んでいたと推定される。堆積層から，木器や瓦片などが出土した(fig. 90)。

〔木器番号〕*0325*, *5408*

〔文　　献〕長宗繁一・鈴木久男・加納敬二『鳥羽離宮跡昭和51年度発掘調査調査概要』Ｂ区(財)京都市埋蔵文化財研究所(1977年)

3　鳥羽離宮跡の落込み (26次調査)

鳥羽天皇陵の北約 100 m の位置で検出した東西にのびる南へ向けての落込み。35次Ａ調査区

の溝SD11と53次調査3トレンチ濠のほぼ中間にあるので，同じ溝の北岸部に推定できる。少量の瓦・土師器などが共伴した(fig. 90)。

〔木器番号〕*0326, 5407*

〔文　　献〕同上，E区

4　鳥羽離宮跡の溝SD11B（35次A調査）

上述の26次調査区の西約100 mで検出した東西溝。幅約4 m，深さ1.5m。室町時代後半頃に部分的に拡張され，調査区西端部で張り出しをもつ濠（SD11A）に変化する。埋土は暗灰色砂泥・暗灰色粘土・灰色砂礫・暗灰色砂礫・灰色砂礫から，最下層の暗灰色腐植土層とつづく。木器の出土したSD11B最下層伴出の土器群は，平安時代末期～鎌倉時代にかけての短期間に埋没したものとかんがえられる(fig. 90)。

〔木器番号〕*2417, 6208, 6209*

〔文　　献〕(財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡（1977年）—区画整理道路予定地内発掘調査概要—』（1978年）

5　鳥羽離宮跡第3トレンチ濠第9層（53次調査）

26次調査区の東約100 mで検出した東西濠。幅6.0 m，深さ1.5 m。堆積は上から淡青灰色粘土・暗灰色砂礫・暗茶褐色砂泥・暗青灰色粘土・黒灰色腐植土・灰黒色粘土・灰色粗砂とつづく。濠の年代は鎌倉時代から近世までつづくが，木器は最下層から出土しており，伴出の遺物から鎌倉時代と推定される(fig. 90)。

〔木器番号〕*2418*

〔文　　献〕京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所「第53次（東殿XXXIII）発掘調査」『鳥羽離宮跡（1979年度）文化庁国庫補助事業による発掘調査の概要』（1980年）p. 12～18

6　鳥羽離宮跡の落込みSX10（53次調査）

上述の濠の北側で検出した長辺10 m，短辺5 m程の不整形な土壙状の落込みで，東部がやや深い。木葉・水草などの腐植土層が堆積し，平安時代後期から鎌倉時代の土器・瓦・木器が多量に出土した。それらは，出土状況からみて一括投棄された可能性がつよい(fig. 90)。

〔木器番号〕*5813, 5814, 6006*

〔文　　献〕同　上

7　鳥羽離宮跡の溝SD10（54次B調査）

54次B調査区は，上述の35次A調査区に西接する。SD10は幅4.0 m，深さ約2 mの東西溝で，35次A調査区SD11の西延長部にあたる。あわせて延長約40 mを検出したことになる。最下層の腐植土から，鎌倉時代の土器や木器が多量に出土。木器は塔婆・人形・杓子・箸や「鳥羽二丈一尺」「南無阿弥陀佛」と墨書した木札など多種にわたる(fig. 90)。

〔木器番号〕*5511*

〔文　　献〕(財)京都市埋蔵文化財研究所「第54次発掘調査」『鳥羽離宮跡(昭和54年度）区画整理道路予定地内発掘調査概要』（1981年）p. 4～15

8　鳥羽離宮跡の溝SD07（54次Ｂ調査）

調査区西端を南北に貫流する大溝。幅 4.5〜6.7 m，深さ1.2 m で，延長 65 m を検出。北部東岸では礫による護岸をほどこす。出土の土器などから上述のSD10よりも新しく，室町時代に開鑿され，近世まで窪み状にのこっていたことがわかる。収録した漆器椀は，SD10が交叉する地点の最下層(腐植土)から出土した。この地点の土層は複雑で，共伴遺物を特定できないが，鎌倉時代以降のもの。同地点で，銅製の小椀・水滴が出土している(fig. 90)。

〔木器番号〕*2416，2424，6210*

〔文　　献〕同　上

9　鳥羽離宮跡の溝SD04（72次調査）

鳥羽離宮田中殿地区の東西道路「北大路」S(F10)の北側溝。溝幅は 6 m前後，深さ1.2mで，堰面は逆台形を呈する。埋土は 3 層。上層からは平安時代後期〜鎌倉時代の土器が，中・下層からは平安時代後期の土器が出土した。なかでも木器が多い(fig. 90)。

〔木器番号〕*1709，2313，2431，2432，5414*

〔文　　献〕上村和直「第72次調査」『鳥羽離宮跡調査概要昭和 56 年度』京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所（1982年）p. 16〜17

10　鳥羽離宮跡の溝SD01（77次調査）

77次調査区は，上述の54次Ｂ調査区に北接する。SD01は調査区北端で検出した大規模な東西溝。幅 5.0 m，深さ 0.6 m で，延長34 m を検出した。溝の南約 5 m のところには，幅0.8m，深さ 0.15 m の同時期の溝 SD02 が平行している。SD01 からは，板絵・木簡・塔婆・人形・木球・扇・櫛・漆器椀・下駄などの多量の木器が，土師器・須恵器・瓦器・輸入陶磁器など12世紀末の土器とともに出土した(fig. 90)。

〔木器番号〕*6212，6213，6214*

〔文　　献〕鈴木廣司・吉崎伸「鳥羽離宮跡第77次調査」『昭和 57 年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所（1984年）p. 64〜65

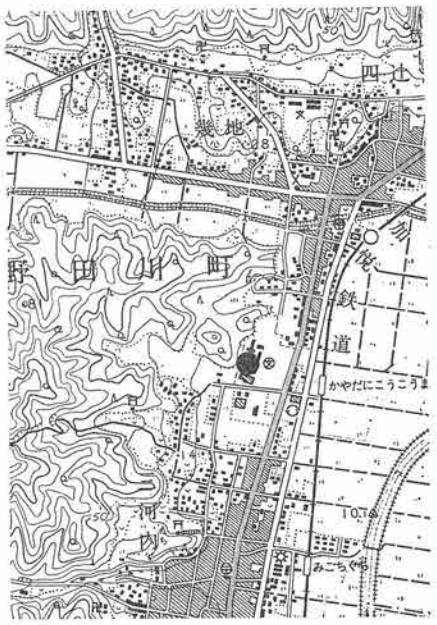


fig. 91　下畑遺跡木器出土地点
（1：25000　四辻）

11　鳥羽離宮跡白河天皇成菩提院陵（宮内庁書陵部調査）

天承元年(1131)に落慶した成菩提院は，白河天皇が生前に自らの塔所(陵墓)として建立した三重塔を中心に，故院に縁故の深い御所(泉殿)を改築した御堂が拝所のような形で建っていたと推定されている。収録した燈台の台座は，1980年，白河天皇成菩提院陵の東脇において実施した調査で，第５トレンチⅤ層(遺構面を覆う有機物堆積層)から出土した。直上の遺物包含層からは，12世紀の瓦や土器が出土している(fig. 90)。

〔木器番号〕*6415*

〔文　　献〕福尾正彦「成菩提院陵駐車場整備工事区域の事前調査」『書陵部紀要』第33号(1982年）p. 80〜93

Ⅰ　下畑遺跡　　しもはた

与謝郡野田川町字三河内(府立加悦谷高等学校敷地)に所在。1982年に京都府埋蔵文化財調査研究センターが調査した。丘陵の裾部の平地に位置する。12〜13世紀頃の黒色土器を多数発見

したが，遺構は井戸１基を検出したのみである。井戸 SE01 は木枠組みで，木器はすべて井戸の底面やや上から一括投棄した状況で出土。下駄・漆器・杓子・曲物・箸があり，12世紀～13世紀の黒色土器と共伴。ほかに須恵質鉢・土師器・輸入陶磁器・至道元寶がある(fig. 91)。

〔木器番号〕*2116*, *2413*, *2427*, *2428*, *2429*, *2430*, *4313*

〔文　　献〕竹原一彦「下畑遺跡発掘調査概要」『京都府遺跡調査概報』第６冊（財)京都府埋蔵文化財調査研究センター(1984年) p. 105～117

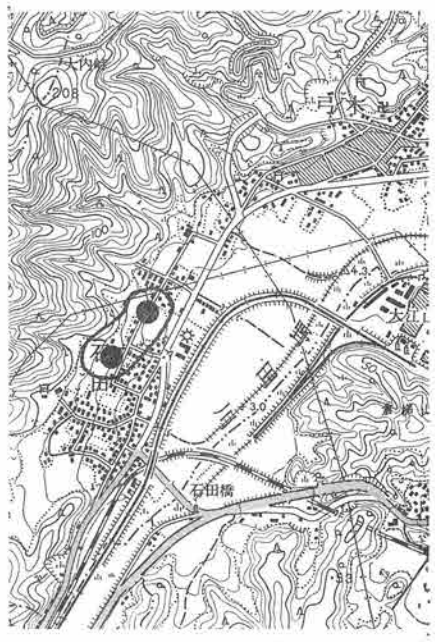


fig. 92　定山遺跡木器出土地点
（1：25000　宮津）

J　定山遺跡　じょうやま

与謝郡岩滝町字弓木に所在。1978年・1979年に岩滝町が調査。傾斜面を利用して形成された石垣・水路・井戸跡などが検出され，祭祀遺跡または地方官人の邸宅跡ではないかとかんがえている。縄文時代から平安時代にかけての遺物が出土しているが，それ以降の遺物がまったく出土せず，中世以降には水田化したのであろう。木器は主として石垣付近と井戸跡から出土し，共伴の土器から12世紀代に位置づけられる。なお，その他の遺構として古墳時代の住居址３棟と竪穴式石室の一部を検出した(fig. 92)。

〔木器番号〕DL51 区；*0507*, *5006*, *5203*, *5207*, *6014*

〔文　　献〕岩滝町教育委員会『定山遺跡発掘調査報告書』(1979年)

岩滝町教育委員会『定山遺跡第２次発掘調査報告書』(1980年)

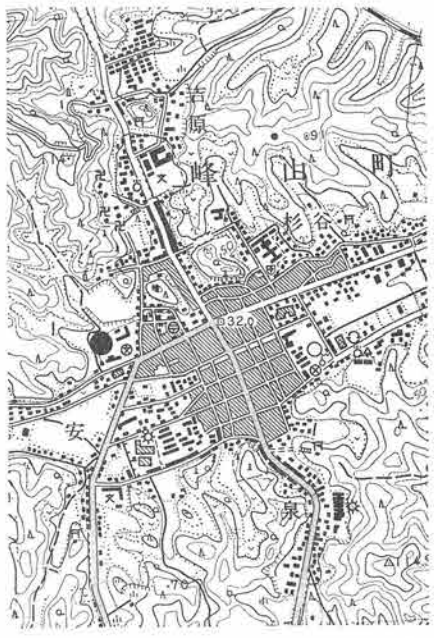


fig. 93　古殿遺跡木器出土地点
（1：25000　峰山）

K　古殿遺跡　ふるどの

中郡峰山町字古殿(京都府立峰山高等学校敷地)に所在。1977年４月～５月，1982年７月～10月に京都府が調査。丘陵の末端部に位置する集落跡。３世紀(弥生時代後期)～５世紀初頭，12世紀～13世紀の２時期の遺構が重複している。３世紀～５世紀の遺構としては，竪穴住居・井戸・溝・土壙などがあるが，12世紀～13世紀の遺構は溝のみで，集落構造などは不明。

歴史時代の木器は溝SD01および遺物包含層から出土した。槽・桶・曲物・箱・椀・匙・糸巻・人形・陽物形・刀子などがあり，火をうけて表面が焼け焦げているものが多い。多量の土師器皿と少量の須恵器・黒色土器・瓦器・輸入青磁・玉石・赤色顔料が共伴した(fig. 93)。

〔木器番号〕 SD01；*2425*, *4205*

遺物包含層；*0902*, *1012*, *2312*, *4026*, *4238*, *4240*, *4241*, *4243*, *4244*, *4326*, *5206*, *5715*, *6113*, *6611*, *7301*

〔文　　献〕平良泰久・塩沢珠代・杉本宏・橋本高明「古殿遺跡発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報1978』京都府教育委員会（1978年）p. 92～162

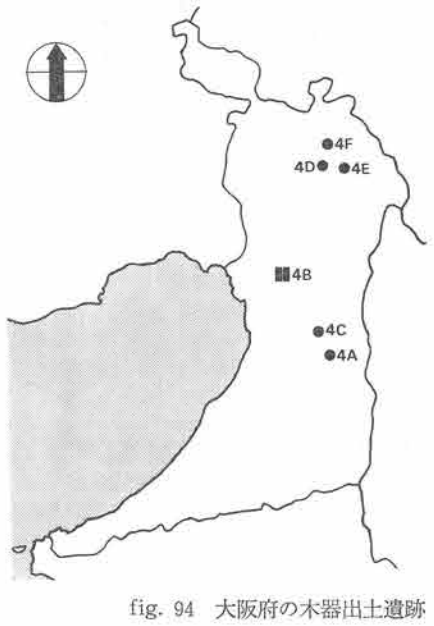


fig. 94　大阪府の木器出土遺跡

4　大阪府

A　挾山遺跡　はさみやま

藤井寺市藤ケ丘・野中の古市古墳群内に所在。夾塚古墳・宮山古墳の西方から北方にかけての微高地に立地し，1972年以降，主に大阪府が発掘調査を行っている。1977年の外環状線工事にともなって77-１区・77-２区・77-４区の３地点で調査を行い，古墳時代から中世に至る各種の遺構を検出した。77-１区では南北にのびる大溝 SD7710とこれにＬ字状に接続する溝SD

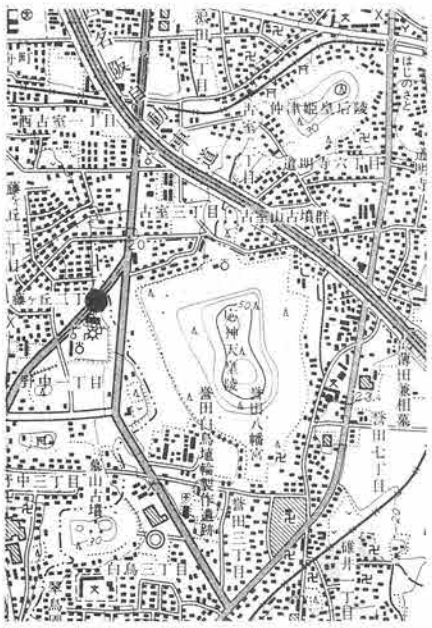


fig. 95　挟山遺跡木器出土地点
（1：25000　古市）

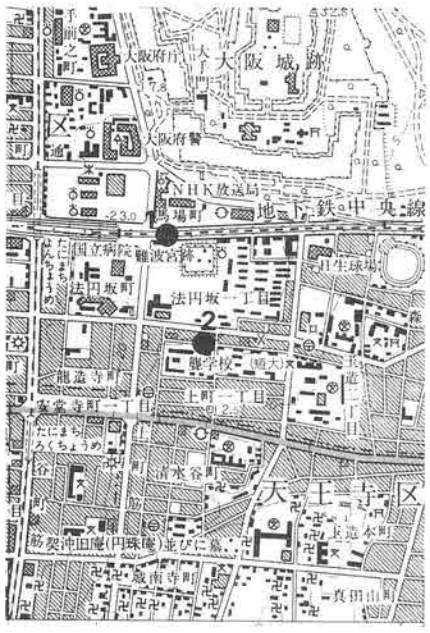


fig. 96　難波宮跡木器出土地点
（1：25000　大阪東北部）

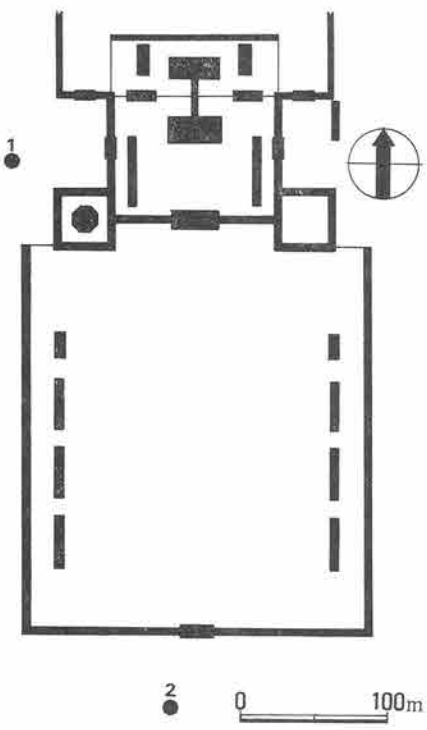


fig. 97　前期難波宮と木器出土地点との関係

7711 を検出。SD7710 は幅 4 m，深さ 1.2 m で，人工的に掘鑿したもの。堆積土は砂礫層を基調にして泥土質の間層をふくみ 3 分できる。出土した土器によれば 7 世紀後半に掘鑿し，鎌倉時代中期まで存続する。組合せ鋤は第 2 層から出土し，8 世紀にぞくする(fig. 95)。

〔木器番号〕*0503，0504*

〔文　　献〕尾上実『挟山遺跡・軽里遺跡発掘調査概要』大阪府教育委員会(1978年)p. 5～7

B　難波宮跡　　なにわのみや

大阪市上町台地には，7 世紀中葉の前期難波宮および 8 世紀中葉の後期難波宮があり，難波宮址顕彰会およびそれを受継いだ大阪市文化財協会が継続的に発掘調査を行っている。難波宮にともなう木器類の出土は，いまのところきわめて希薄だが，都城造営前の遺構からは注目すべき二・三の木器が出土している(fig. 96)。

1　難波宮跡の土壙SK10043とSK10048

大阪市東区法円坂 1 丁目に所在。1976 年の阪神高速道路東大阪線橋脚工事（MP−2 地点）にともなう調査で 6 基の土壙を検出した。これらの土壙はいずれも難波宮下層遺構（掘立柱建物・溝・土壙）の上に堆積する黒灰色粘質土を掘込んでいる。

うち，SK10043 には，薄層を介して上層に厚さ約 0.8 m の前期難波宮整地層がある。土壙の北部分，東西 4.6 m，南北 2.5 m の範囲を調査した。深さは 0.45 m である。土壙内には有機質土・炭・灰・粘土の薄層が互層をなし，なかから土師器・須恵器・自然木・動物・植物遺体のほか，付札木簡 2 点をふくむ釘状木器・加工木片・ハツリ屑などの木器類が出土した。木器の材質はヒノキが圧倒的に多い。付札木簡は 2 点とも表裏に墨書があり，「比□(罷カ)尓マ（枇杷贄カ)」とよめる。共伴した土器は 7 世紀中葉のもので，前期難波宮造営時に廃棄物を処理した土壙とかんがえられる。SK10048もほぼ同じ性格の土壙で，6.6×2.1 mの範囲を発掘し，7 世紀中葉の土器類とともに，木製の刳物盤が出土した(fig. 96・97)。

〔木器番号〕SK 10043；*0314，0315，0316，0317，0318，0319，0320，0321，4601，4602，4607，4608，5815，7112*

SK10048；*3001*

〔文　　献〕藤田幸夫「木製品」『難波宮址の研究 第 7』(報告篇)(財)大阪市文化財協会(1981年) p. 120～122

2　難波宮跡の土壙

大阪市東区上町 1 丁目広小路公園に所在。付近は朝堂院南部に推定されている。1975年に調査した。土壙は上面で東西約 4.2 m，南北約 3.5 m，底面では 1.7×1.3 m の長方形を呈し，深さ約 2.5 m をはかる。埋土は粘土・砂・灰などの薄層からなり，混入物の多少で上・中・下層にわけられる。その下層から，「廣乎大哉宿世…」の木簡や材木・多数の土器類が出土し，なかに木製の鋤があった。共伴土器は飛鳥・藤原地域の土器編年の「飛鳥Ⅱ」にほぼ相当し，この土壙が前期難波宮造営時もしくはその直前に埋められたことがわかる(fig. 96・97)。

〔木器番号〕*0501*

〔文　　献〕八木久栄「第66次発掘調査概報」『難波宮跡研究調査年報 1974』難波宮址顕彰会(1976年) p. 25～30

C　亀井遺跡　かめい

八尾市南亀井町３丁目に所在。1978年から1980年まで大阪文化財センターが調査。遺跡は河内平野の沖積低地に立地し，最下層の遺構面はGL－５mであった。弥生時代前期から江戸時代までの遺構面があるが，弥生時代中期および古墳時代中期の遺構が主体をなす。弥生時代の遺構としては前期の溝４条，中期の溝29条・井戸10基・土壙53基・木棺墓・甕棺墓，後期の溝６条・井戸６基・土壙・土壙墓などがある。古墳時代に入ると大きな河川の氾濫域となるが，古墳時代中期には，古墳が築造されたり堤防が築かれ，西側は水田化する。だが，古墳時代中期以降から中世にかけては沼沢地にかわる(fig. 98)。

歴史時代の木器は古墳時代中期以降に形成された沼沢地（SX4001）から出土した。出土層位と共伴の土器類から７世紀代にあてられる。

〔木器番号〕*0826*，*1109*，*2107*

〔文　　献〕高島徹・尾谷雅彦ほか「遺構及び遺物」『亀井・城山』(財)大阪文化財センター（1980年）p. 325～327

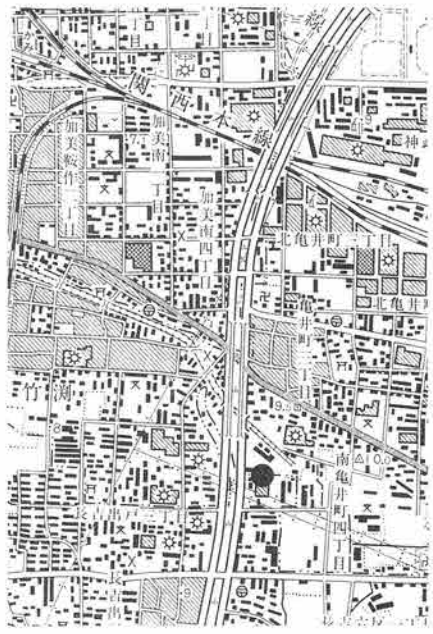


fig. 98　亀井遺跡木器出土地点
（1：25000　大阪東南部）

D　郡家今城遺跡　ぐんげいましろ

高槻市今城町を中心に所在する。芥川の西側にひろがる低位段丘のほぼ中央部に位置し，集落の立地条件としては，きわめて良好。遺跡の範囲は東西約300 m，南北約300 mで，北東約500 mには嶋上郡衙跡がある。1970年・1973年に大阪府と高槻市が大規模な発掘調査を実施したのをはじめ，これまで約２万m^2を調査。遺跡は旧石器時代のキャンプ地跡と奈良・平安時代の集落跡に大別される。後者には掘立柱建物跡(110棟以上)・井戸跡(33基)・土壙(37基)があるほか，大溝などの条里遺構も検出している。遺物には多量の土器類(土師器・須恵器・灰釉・緑釉・黒色土器)，土製品(土馬・土鈴)，銅銭，鉄製品(釘・刀子・鉄斧)，木器(形代・曲物・工具・櫛)などがあり，また墨書土器・井戸枠材が豊富にみられる。

収録した曲物は井戸SE06の井戸枠として用いたもの。SE06は集落の北東部にあり，掘形は径約1.7 m，現存深1.25 mをはかる。井戸枠は数個の曲物(現存４個)を積み重ねており，3405をその最下段にすえていた。井戸のなかから奈良時代後半の土師器(杯・鉢)，木簡・斎串が出土した(fig. 99)。

〔木器番号〕*3405*

〔文　　献〕原口正三「郡家今城遺跡」『高槻市史』第６巻考古編　高槻市役所（1973年）p. 118～137

高槻市教育委員会「郡家今城遺跡」『高槻市文化財年報1972年』(1973年)

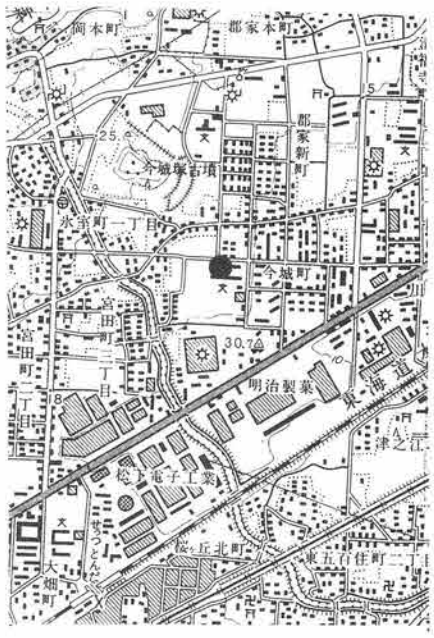


fig. 99　郡家今城遺跡木器出土地点
（1：25000　高槻）

E　上田部遺跡　かみたべ

高槻市桃園町(高槻市庁敷)に所在。1969年５月に高槻市が調査。その後，数地点において小規模な調査を行った。芥川が形成した扇状地上にあり，弥生時代から中世に至る遺構を検出した。最盛期は奈良時代の集落跡で，摂津国の官田所在地の可能性が高い。遺構は上下２面の水田，掘立柱建物，井戸である。遺物には土器・木器があり，後者が豊富である。土器のなかには「田子」の墨書杯(須恵器)がある。また和同開珎も２枚出土している(fig. 100)。

木器の大半は２面の水田跡から出土した。内訳は織機具・農具・食膳具・履物で，用途不明

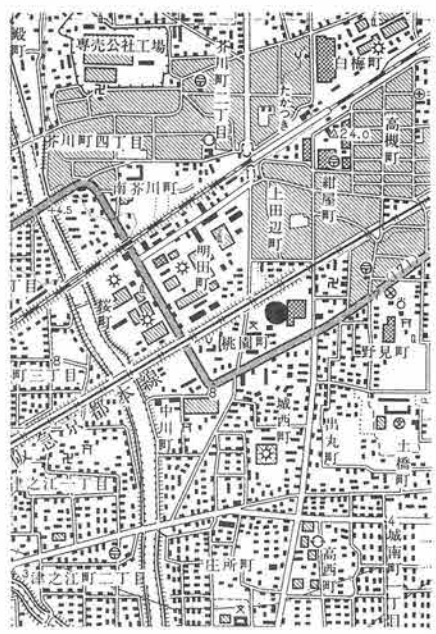


fig. 100　上田部遺跡木器出土地点
（1：25000　高槻）

のものも少なくない。なかでも，馬鍬・緯打具・回転翼（鳥追い用）などは珍しい。天平七年(735)閏十一月廿三日の紀年をもつ班田の調査記録をふくむ木簡13点が共伴している。

〔木器番号〕*0601, 0602, 0705, 0706, 0717, 0718, 0816, 1103, 1111, 1112, 3611, 4209, 6412, 6413, 6506, 6508, 6627, 6713, 6719, 7002, 7010, 7106, 7239*

〔文　　献〕原口正三「上田部遺跡」『高槻市史』第6巻考古編 高槻市役所（1973年）p. 138～145

F　大蔵司遺跡　だいぞうし

fig. 101　大蔵司遺跡木器出土地点
（1：25000　高槻）

高槻市大字服部の大蔵司・浦堂地区に所在。1972年9月，1978年4月，1980年6月～9月に大阪府と高槻市が調査。二つの丘陵にはさまれた谷部にあり，芥川左岸に位置する。弥生時代～古墳時代の竪穴住居や溝，奈良時代の掘立柱建物や水路，平安時代～中世の水路・水田・井戸などを検出している。遺跡の北側に式内社(神服神社)がある(fig. 101)。

収録した木器の大半は，奈良時代の用水路(A地区の溝6)，一部は溝6の西(B地区)にある自然流路から出土した。溝6は幅 6.5 m，深さ 1 m。北西から南東に向けて斜行し，南岸をシガラミで護岸している。8世紀後半の須恵器・土師器とともに，人形・斎串・刀形・楯・鋤形・鍬形・挽物盤・曲物・折敷・木履・下駄・鎌柄・錐柄などの木器が出土した。西の自然流路では，古墳時代の須恵器・土師器を主体とし，弥生時代～中世に至る土器が混在する。木器には，鋤・鳥形・刳物槽・箸・下駄・横槌・竪杵など奈良時代のものが多いが，鋤などは古墳時代に属する可能性がある。なお，溝6の上層にある平安時代～鎌倉時代初頭の用水路からは，12世紀末～13世紀初頭の仁王像片が出土している。

〔木器番号〕A地区溝6；*0707, 1013, 2004, 2105, 2606, 2706, 2709, 3205, 4003, 4620, 4701, 4914, 4928, 5113, 5205, 5610, 5708, 5807, 6714, 6722, 6810, 6825, 7007, 7219, 7220*

B地区自然流路；*1015, 6018*

〔文　　献〕森田克行『大蔵司遺跡発掘調査概要』大阪府教育委員会（1981年）p. 9～23

fig. 102　兵庫県の木器出土遺跡

5　兵庫県

A　吉田南遺跡　よしだみなみ

神戸市西区玉津町に所在。明石平野の西方を限る吉田・片山丘陵と明石川との間にひらけた沖積平野部に位置する。1976年から1980年まで11次にわたって調査した。弥生時代から奈良・平安時代，中世におよぶ複合遺跡である。弥生時代と古墳時代の竪穴式住居址 100 棟以上，真南北線を基軸として整然と配置された奈良時代後半から平安時代初期にいたる掘立柱建物34棟以上を検出した。遺跡の北東部に東南方向に流れる幅約 40 m の河川(旧河道)があり，多量の土器とともに木器が出土した。とくに河川を横断する木橋付近での木器が多い。共伴した土器などからみて8世紀後半から9世紀頃のものとかんがえられる。河川の西方にある溝 SD11 からも多くの木器が出土したが，時期は河川と同じ頃とみてよい(fig. 103)。

河川は弥生時代後期から平安時代末期頃まで存続したらしく，堆積層は大きく四層にわかれる。第4層，弥生時代後期～古墳時代前期の土器をふくむ砂と礫の互層。第3層，6世紀～7世紀代の遺物をふくむ砂泥層と礫層。第2層，奈良時代～平安時代初期の土器をふくむ粘質土層。第1層，平安時代後期以降の遺物をふくむ砂泥層。木器は第2層から集中的に出土した。

SD11は，河川の西側を北から南へ流れる幅6m，深さ2mの大溝である。この大溝は掘立柱建物群の北限および東限を画するもののようで，出土遺物や堆積状況から6世紀頃に開鑿され，平安時代後期に埋没したとかんがえられる。木器は第3層の奈良時代～平安時代初期の堆積層から土器類とともに出土した。

〔木器番号〕河川1；*0214, 0603, 0810, 0811, 1011, 1201, 2907, 3218, 3301 3404, 3410, 3702, 4301, 4329, 4330, 5714, 6515, 6518*

SD11；*0809, 2210, 2908, 3008, 3602, 4819, 5508, 5611*

〔文　献〕神戸市教育委員会・吉田片山遺跡調査団『吉田南遺跡現地説明会資料Ⅰ～Ⅳ』(1977年～1980年)

fig. 103　吉田南遺跡木器出土地点
(1：25000　明石)

B　出合遺跡　であい

神戸市西区玉津町出合に所在。明石川下流の西岸に位置し，吉田南遺跡とは約2kmはなれている。発掘調査は1977年～1984年にかけて断続的に瀬戸内考古学研究所が行い，収録する木器は1981年秋から1982年冬にかけての調査で出土。調査地は標高約28mの台地上と東側の平野部にまたがる地域で，古墳時代の竪穴住居址群，5世紀後半～6世紀中葉の古墳，奈良時代後半～鎌倉時代前半の掘立柱建物群，鎌倉時代前半以降の水田跡などを検出した(fig. 104)。

木器は台地上にある奈良時代後半の建物群にともなう井戸の最下層から出土した。井戸は一辺約2.3m，深さ2.8mの方形の掘形をもつが，枠木ないしはその抜取り痕跡はなく，もともと素掘り井戸であったとかんがえている。井戸のなかから墨書土器・転用硯・製塩土器・瓦などとともに，木簡・剣形・鳥形・曲物・下駄・斎串などの木器が出土した。共伴した土器は8世紀後半のものである。このほかに，台地の下の東側にある南北大溝で，平安時代末～鎌倉時代前半の小児用下駄が1点出土している。

〔木器番号〕*2112, 4714, 5705, 6004*

〔文　献〕鎌木義昌・亀田修一「兵庫・出合遺跡」『木簡研究』第5号 木簡学会 (1983年) p. 64～65

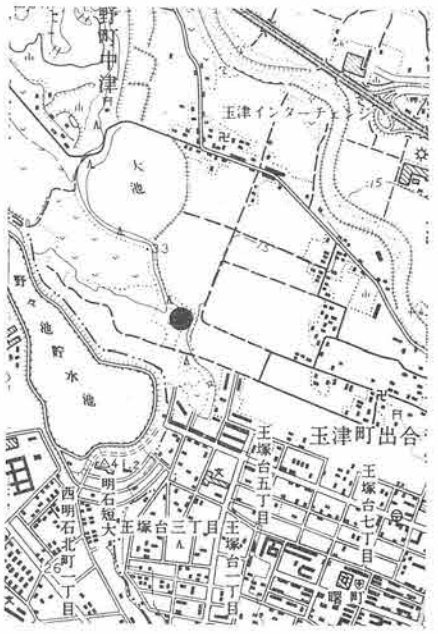


fig. 104　出合遺跡木器出土地点
(1：25000　東二見)

C　上原田遺跡　かみはらだ

姫路市花田町上原田と同市飾東町庄に所在。1975年9月から1978年3月にかけて兵庫県が調査した。奈良時代後期の地方官衙遺跡。山地が平野にうつる変換点に位置し，谷外・北・中央・南の4調査区にわかれる。中央区をのぞく3地区からはそれぞれ方向性をもった掘立柱建物が18棟検出され，とくに南区では奈良時代中葉から平安時代中葉までの間に4回の建替えがみとめられる。木器は北区の井戸SE02および南区の井戸SE03から出土した(fig. 105)。

SE02は方形横板組の井戸で，長径4.8m，短径4.2m，深さ4.3mの楕円掘形内の北側と東側とに3枚づつ縦板を打込み，その上に長さ110～160cm，幅11～30cm，厚さ5～11cmの長方形の板を井籠組にする。井戸枠は16段をとどめ，内法は80cmである。井戸枠外面には墨書の番付がある。井戸のなかから，奈良時代中葉～後葉にかけての土師器・須恵器や刀子と

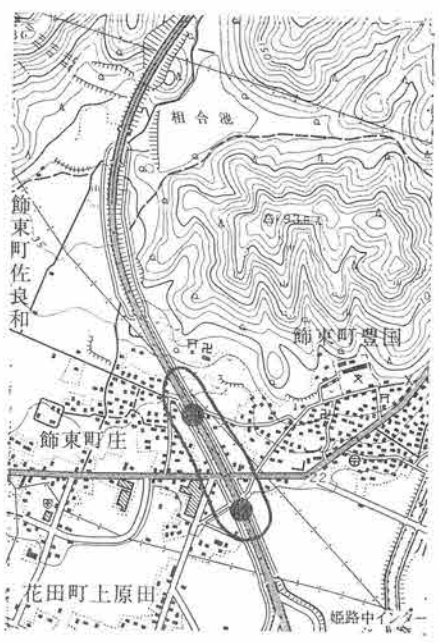


fig. 105　上原田遺跡木器出土地点
(1：25000　姫路北部)

fig. 106　辻井廃寺木器出土地点
（1：25000　姫路北部）

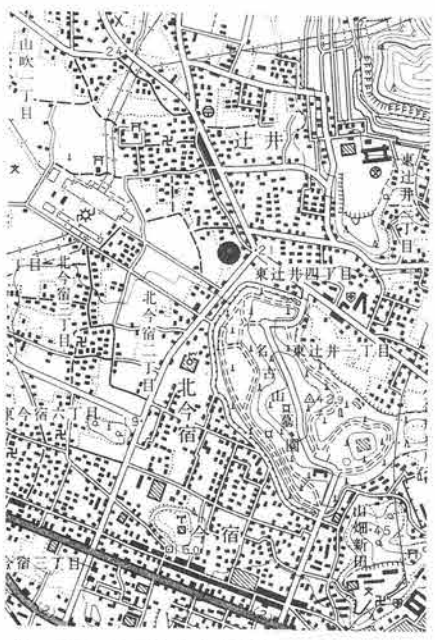


fig. 107　八反長遺跡木器出土地点
（1：25000　姫路南部）

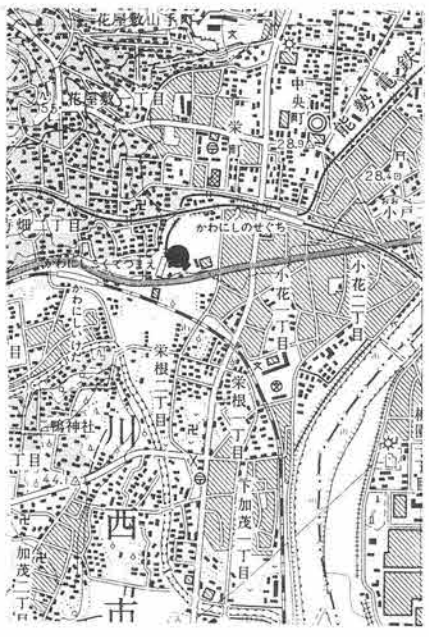


fig. 108　栄根遺跡木器出土地点
（1：25000　伊丹）

ともに，曲物・斎串・机脚・自在鉤・刳物・鋤などの木製品が出土した。

SE03は方形縦板組の井戸で，一辺２m強，深さ 2.7 m の隅丸方形の掘形内の四隅に柱をたて，上中下３段に横桟をわたし，外側に各辺４枚(東辺は３枚)の板をたて，合せ目の外面に添板をあてている。井戸のなかから，平安時代の土師器多数，須恵器・鉄鏃・瓦とともに，木錘・斎串・曲物・鎌形・箸などの木器が出土。南調査区の SK07 からも漆篦が出土した。

〔木器番号〕SE02；*0104，2905，3216，4703，6406，6504*

SE03；*0813，1305，5804*

〔文　　献〕西口和彦ほか「上原田遺跡調査概報」『播但連絡有料自動車道建設にかかる埋蔵文化財調査報告書』兵庫県教育委員会（1980年）p. 104～106

D　辻井廃寺　　つじいはいじ

姫路市辻井字東藤ノ木・西藤ノ木に所在。1982年４月～12月にかけて姫路市が調査。姫路城の西北，古夢前川が形成した標高18～19 m の沖積平野に所在する 飛鳥時代から平安時代にかけての寺院跡である。調査では主要建物とおもわれる13間×２間の南庇付掘立柱東西建物跡を検出。丹彩鉄斧は多量の土器や墨書土器・斎串・ミニチェアの横槌などとともに，調査区中央部の西北隅で検出した井戸のなかから出土。井戸は奈良時代前半に開鑿され奈良時代末に放棄されたらしい。また，寺院関係の遺構に先行する弥生時代中期の住居跡もある(fig. 106)。

〔木器番号〕*0101*

〔文　　献〕山本博利・秋枝芳「兵庫・辻井遺跡」『木簡研究』第５号 木簡学会（1983年）p. 66・67

E　八反長遺跡　　はったんちょう

姫路市岡田字八反長に所在。1982年４月～同年10月，兵庫県が調査した。市川と夢前川によって形成された海抜約８mの沖積平野に立地。南調査区には弥生時代中期末から平安時代初頭にまたがる流路があり，平安時代の層から多量の木器が出土。北調査区にも古墳時代から平安時代にかけての流路がある。その南側に弥生時代後期の方形周溝墓があり，直下に弥生時代前期の良好な土器を多量に出土する溝が東西に走り，舟状木器が出土した(fig. 107)。

〔木器番号〕*0818，0821，0823，0824，0825，1909，3612，4302，4325，4815，4816，4817，6814，6925*

F　栄根遺跡　　さかね

川西市栄根・栄町に所在。1972年２月から13次にわたる調査を川西市が実施し，現在も続行中。標高24～26mの沖積地に位置する弥生時代前期から平安時代後期にかけての複合遺跡。南側の調査区(第１～７次)では，弥生時代中期の方形周溝墓２基，弥生時代末～古墳時代後期の竪穴住居10棟や平安時代後期の掘立柱建物１棟，北側の調査区（第８～11次）では，平安時代後期の掘立柱建物３棟や弥生時代から平安時代にかけての河川・溝を検出した。収録した墨壺は，第９次調査区の河川から出土した。この河川は幅 10 m 以上で，弥生時代後期～奈良・平安時代まで存続し，古墳時代後期の 堆積層から木船，奈良時代の 堆積層から多量の土器，墨壺をはじめとする木器が出土した(fig. 108)。

〔木器番号〕*0118*

〔文　　献〕岡野慶隆『川西市栄根遺跡第 8～11 次発掘調査概報』川西市教育委員会（1983年）p. 12

G　山垣遺跡　やまがき

氷上郡春日町棚原字山垣に所在。1983年4月～10月に兵庫県が調査。遺跡は標高約85mの沖積地にあり，西方に中国山地の分水嶺を臨み，すぐ東を竹田川が由良川にむかって北流する。遺跡は方形に堀をめぐらせた館跡で，出土した木簡・土器などから，8世紀前葉の丹波国氷上郡春日部里の里長居館跡とかんがえられる。居館の規模は南北約36m，東西13m以上で，外側の北・東・南に堀がめぐり，北と南の堀はさらに西方にのびる。敷地内の南東隅に3間×5間（6m×11.4m）の南北棟掘立柱建物，その北に掘立柱の柵囲い施設（東西7.7m×南北8.3m）がある。堀は古墳時代以来の自然流路を埋立てて再利用したもの。北堀は幅3m，深さ0.6m，東堀は幅3～7m，深さ0.7mで，ともに内壁を杭で護岸する。南堀は二重で，内堀は幅3m，深さ0.8m。約6mをへだてる外堀は幅4m，深さ0.7mの素掘り溝。主として東堀から，20点余りの木簡，多量の土師器・須恵器とともに，鍬・鋤・えぶり・斧・曲物・盤・木錘・紡織具・杓子などの木器が出土した(fig. 109)。

〔木器番号〕*0403*, *0508*, *0720*

〔文　　献〕兵庫県教育委員会『山垣遺跡―近畿自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概報―』(1984年)

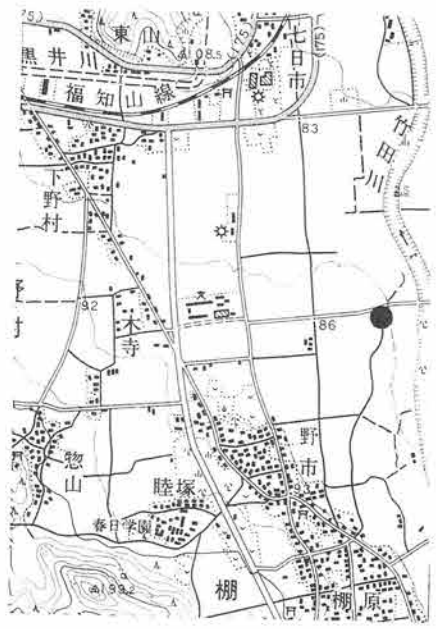


fig. 109　山垣遺跡木器出土地点
（1：25000　柏原）

H　姫谷遺跡　ひめたに

城崎郡日高町野字姫谷に所在。1978年9月に日高町が調査。円山川と稲葉川との合流点の西方約4kmの標高約82mの沖積地に立地する。縄文時代前期から平安時代に至る複合遺跡で，収録した木製品は，すべて旧河川敷とかんがえられる堆積層から出土した。人形・馬形・鳥形・斎串などの木器は，8世紀後葉～9世紀の特徴をしめすが，同時に出土した少量の須恵器・土師器は，7世紀後半～8世紀前葉のものが主体になっている(fig. 110)。

〔木器番号〕*4605*, *4606*, *4723*, *4810*, *4811*, *4814*, *5120*, *5121*, *5122*, *5123*, *5307*, *5308*, *5901*, *5902*, *5903*, *5904*, *5905*, *5906*, *5907*, *5908*, *6015*

〔文　　献〕加賀見省一「姫谷遺跡」『日高町史資料編』日高町（1980年）p. 224～249
金子裕之・加賀見省一「特異な木製模造品を出土した兵庫県姫谷遺跡」『月刊文化財』202号（1980年）p. 48～52

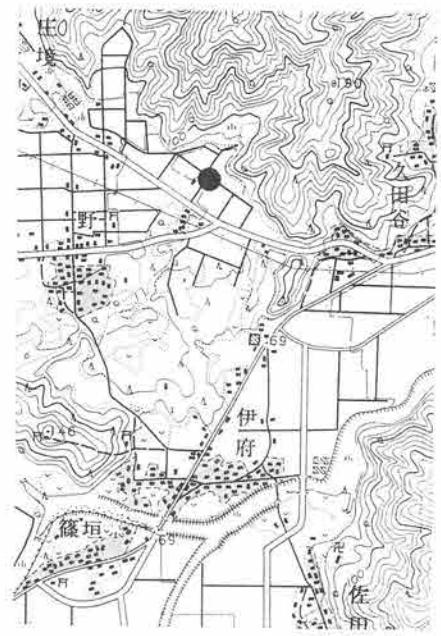


fig. 110　姫谷遺跡木器出土地点
（1：25000　栃木）

6　奈良県

A　川原寺　かわらでら

高市郡明日香村大字川原に所在。1957年から現在まで，幾度かの調査を奈良国立文化財研究所が行っている。調査の結果，中金堂前庭に西金堂と塔が対置する伽藍配置が明らかになったことは，周知のところ。1957年度の調査では，西金堂・中門の下層において，二条の暗渠を検出した。暗渠は周壁を玉石で積み，大きめの石を蓋石としており，内径は0.5m内外で，ほぼ

fig. 111　奈良県の木器出土遺跡

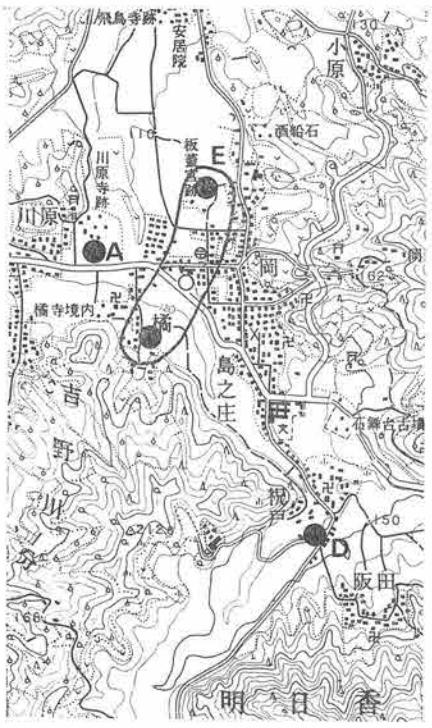


fig. 112　川原寺・坂田寺跡・飛鳥京跡木器出土地点（1：25000　畝傍山）

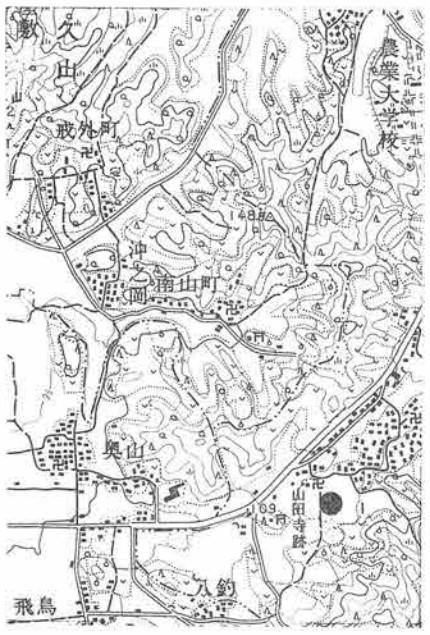


fig. 113　山田寺跡木器出土地点
（1：25000　畝傍）

fig. 114　和田廃寺木器出土地点
（1：25000　畝傍）

6ｍおきにマンホール状の開渠部分を設けている。溝底には腐植土が堆積し，下駄や櫛などの木器が出土した。暗渠は西金堂や中門の建設によって破壊されており，川原寺造営以前に存在した川原宮に関連する遺構とかんがえられる。7世紀中葉(fig. 112)。

〔木器番号〕*2108*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『川原寺発掘調査報告』奈文研学報9（1960年）p. 42・43

B　山田寺跡　　やまだでら

桜井市大字山田に所在。1976年から1983年までに5次の調査を奈良国立文化財研究所が行った。その結果，南から塔・金堂・講堂が一直線上にならび，金堂と講堂の間に北面回廊がまわる伽藍配置が明らかになり，また東面回廊の木構造が倒壊した状況で検出された。

木器は塔東地区の井戸・土壙・溝などで，刀子の柄・曲物・陽物形などを発見したが，量的に少なく，時期も8世紀から中世におよんでいる。収録した草鞋は，回廊の東を南流する石組溝SD531の裏込めから出土したもので，8世紀後半にぞくする(fig. 113)。

〔木器番号〕*1943*

〔文　　献〕奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「山田寺第4次（東回廊跡）の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報13』(1983年) p. 32～44

C　和田廃寺　　わだはいじ

橿原市和田町に所在。1974年と1975年に2回の調査を奈良国立文化財研究所が行った。和田町には飛鳥時代創建の寺院が存在するとかんがえられてきたが，寺名については明らかでなく，地名をとって和田廃寺とよぶ。「大野丘北塔」「葛木寺」にあてる説もある。

第1次調査(1974年)では，「大野丘」土壇の南方で調査し，弥生時代から鎌倉時代まで存続する旧河道，掘立柱建物・柵・井戸・暗渠・石敷などを検出した。第2次調査（1975年）では，塔基壇・築地・掘立柱建物を検出している。木器の大半は2次にわたる調査地の遺物包含層で出土し，曲物・物指などがある。層位関係によって7世紀代(fig. 114)。

〔木器番号〕遺物包含層；*3101*，*4405*　　旧河道；*3705*(中世に下るか)

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所「和田廃寺の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報5』(1975年) p. 39～43

奈良国立文化財研究所「和田廃寺第2次の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報6』(1976年) p. 38～46

D　坂田寺跡　　さかたでら

高市郡明日香村大字坂田・字祝戸に所在。1972年8月から1980年4月までに3次にわたる調査を奈良国立文化財研究所が行う。坂田寺は飛鳥寺とともにわが国最古の寺院としてしられる。第1次調査(1972年)では池・溝・掘立柱列・建物などを検出。第2次調査(1974年)では溝・井戸・建物，第3次調査(1980年)では金堂もしくは講堂に比定される基壇建物を検出した。不明確なところが多いが，西方を正面とする伽藍を想定できる(fig. 112)。

木器は第1次調査で検出した池SG100と第2次調査で検出した井戸SE110Bから出土している。SG100は玉石で護岸し，内に意味不明の木組みがある池で，糸巻・琴柱・曲物・櫛・杓子などが出土。伴出の土器は7世紀中葉をやや遡る。SE110Bは8世紀前半の井戸SE110Aに

重複している。掘形の底に約 17×14cm の角材4本を井桁組みにし，四隅に方 17cm の隅柱をたてる。隅柱には細い溝を縦に穿ち，側板を落しこむ。土器の年代から，8世紀後半〜10世紀の時期がかんがえられ，木器としては曲物・斎串・杓子・箸が出土している。

〔木器番号〕SG100；*0904*，*2509*，*3701*，*4512*，*4515*，*7020*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所「坂田寺跡の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報3』(1973年) p. 5〜9

奈良国立文化財研究所「坂田寺跡第2次の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報5』(1975年) p. 33〜38

E　飛鳥京跡　あすかきょう

高市郡明日香村大字岡を中心に所在する7世紀の宮殿跡。中心的な位置をしめる伝飛鳥板蓋宮跡は1969年に奈良国立文化財研究所が調査し，1970年以降は奈良県立橿原考古学研究所が調査を実施し，現在に至っている。遺構は大きく四層にわかれ，上層遺構の構造が明確になっている。上層遺構としては，柵・掘立柱建物・井戸などがある。本来屋根が付いていたと思われる一本柱列(SA5901・SA6101・SA8020)が囲む内郭と，その周囲の外郭とからなる。外郭は東限の木塀(SA7405)が判明しており，内郭東限(SA6101)との距離は約110 m。内郭は東西158 m・南北197 m の規模で，内部に多数の掘立柱建物がある。内郭北辺の南約35 mにある東西棟SB6205は2×24間の細殿で，伝飛鳥板蓋宮跡の中軸線を知る手懸りとなった建物。南辺中央には推定2×4間の南門があり，その北約27 mには正殿級の大型建物(推定4×7間の東西棟)がある。内郭北東隅では，一辺約1.8 m のヒノキ板材使用の大井戸を検出した(fig. 112)。

伝飛鳥板蓋宮跡内郭の東南方でも，正殿クラスの東西棟掘立柱建物4×9間を検出しており，これを中心にエビノコ郭と称する一郭が存在する可能性も出てきた。なお，これらの木塀や建物は，29.2 cm 前後の基準尺で造営されている。

出土遺物には，土器・木製品・鉄製品などがあるが，土器の出土量がもっとも多い。土器型式から上層遺構には，天武朝を中心とした年代があたえられ，飛鳥浄御原宮の可能性がある。木器の多くは1966年度に調査した大溝SD5905の下層から出土し，このほかSD6612などからも出土した。木簡の墨書に「大部」「綿部」「田部」などの部民名があり，裏に「上々」「上」「中」などの等級を記載したものもある。第51次調査では，下層の土壙から7世紀中葉の官位をあらわす木簡「大花下」が出土した。一方，第85次調査の橘寺の南東約150 mで検出した溝SX8201からは平安時代の下駄や箕が出土している。

〔木器番号〕SD6612；*0912*　　SX8201；*2113*

〔文　　献〕藤井利章「木製品」『飛鳥京二』奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第40冊 奈良県立橿原考古学研究所 (1980年) p. 318〜328

亀田　博「飛鳥京跡」『奈良県遺跡調査概報1982年度』奈良県立橿原考古学研究所 (1983年) 第1分冊 p. 25〜26

F　藤原宮跡　ふじわらきゅう

藤原宮は橿原市高殿町を中心にして，一辺約1km の方形の宮域をもつ。遺跡は南から北に向ってゆるやかに下る平地にあり，特別史跡に指定されている。1934年〜1943年に日本古文化研究所が発掘調査を行い大極殿・朝堂院の位置と規模を明らかにし，1966年〜1968年に奈良県

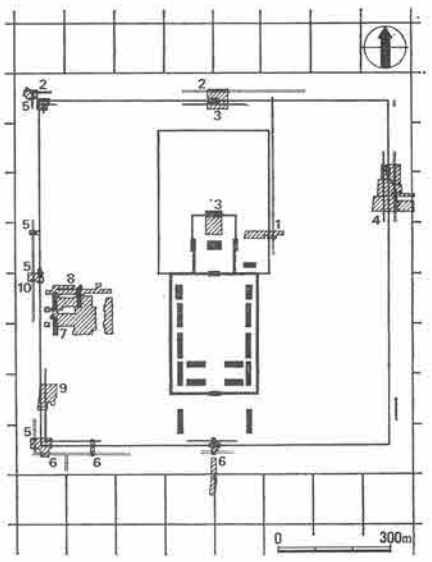


fig. 115　藤原宮跡木器出土遺構検出地区

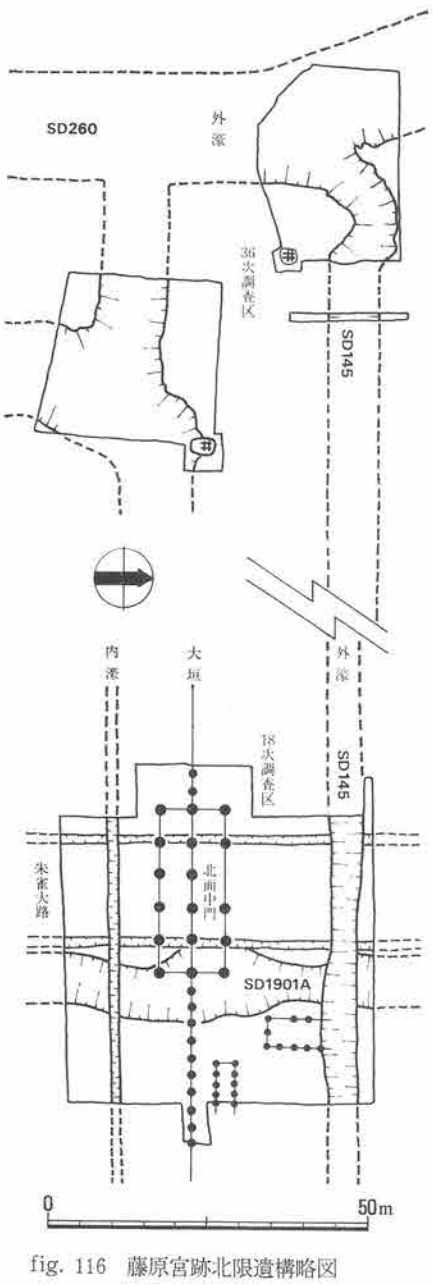


fig. 116　藤原宮跡北限遺構略図

教育委員会が行った国道165号線バイパス計画にともなう発掘調査で，内裏と宮域の四至が確定した。1969年以降，奈良国立文化財研究所が継続的に発掘調査を行い現在に至り，計画的な発掘調査が進行している。木器は宮域の外濠や宮域内の排水溝・井戸・土壙などから出土する。時期的には，藤原宮造営以前の弥生時代遺構にともなうもの，藤原宮造営直前の7世紀後半代の遺構にともなうもの，藤原宮時代の遺構（694年～709年）にともなうもの，藤原宮廃絶以降の遺構にともなうものに大別できる(fig. 115)。

1　内裏東外郭の大溝SD105（6AJE-C・D・E，6AJF-D区　奈良県調査・4次調査）

内裏東外郭の木塀 SA865 にそって南から北へ流れる藤原宮の幹線水路。1966・1967 年の調査によって，内裏外郭の東北隅から北に流れ北面外濠 SD145 に合流するらしいことが判明した。1971年の調査では，この溝が大極殿の東方地域までおよんでいることを確認。場所によってことなるが，溝幅5m，深さ0.7m内外で，護岸用の杭・堰・橋脚などがある。6AJE-C・D区では溝の堆積土が上・中・下の3層にわかれ，下層・中層からは大宝3年(703)頃の典薬寮関係の木簡が集中的に出土した。6AJF-D区では上層の堆積土に平安時代の土器が混入しており，平城遷都後も存続したことをしめす。瓦・土器・木器が比較的多く出土し，木器としては人形・人物絵画板・櫛・曲物・匙・蓋などがある(fig. 115)。

〔木器番号〕*1312, 1933, 3606, 3914, 4101, 4102, 4103, 4207, 4213, 4242, 4401, 4901, 5512, 5711, 5718, 5808, 5810, 6808, 6811, 6906, 7108, 7203, 7204, 7205, 7214*

〔文　　献〕岡幸二郎・猪熊兼勝「木器・木製品」『藤原宮』奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第25冊　奈良県教育委員会（1969年）p. 66～74

菅原正明・千田剛道「木製品」『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ』奈良国立文化財研究所学報第37冊（1980年）p. 204～206

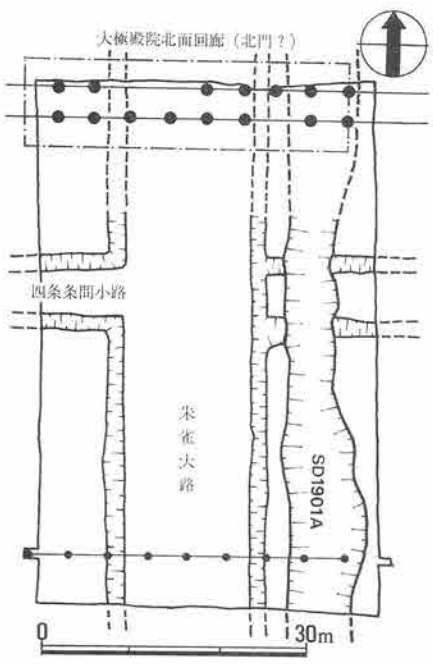


fig. 117　藤原宮跡大極殿北方遺構略図

2　北面外濠 SD145（6AJE-C・K，6AJJ-C区　奈良県調査・18・36次調査）

北面大垣 SA140の北約20mで東西に流れる素掘り溝。幅4.5～5.5mで，北面中門SB1900の前では橋脚がある。1966年・1967年の調査によって存在が確認され，1975年の調査で北門外で南北溝1901Bと合流して南に流れることが判明。1982年の調査では西北隅を確認すると同時に，この溝が8世紀前半まで存続することが判明した。溝からは瓦・土器・木器・木簡が出土し，木器には櫛・曲物・留針などがある(fig. 116)。

〔木器番号〕*4526, 5704, 7023*

〔文　　献〕前掲　岡・猪熊「木器・木製品」p. 66～74

奈良国立文化財研究所「藤原宮第18次の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報6』(1976年) p. 16～22

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮西北隅地域の調査(第36次)」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報14』(1984年) p. 4～10

3　藤原宮造営時の大溝 SD1901A（6AJE-K，6AJF-K区　18・20次調査）

藤原宮の中心部を南北に縦貫する水路で，北面中門SB1900付近と大極殿の北接地域で検出。幅6～8m，深さ約2mの素掘り溝である。北面中門以南では，この溝を埋立てたのちに

藤原宮の諸施設が建設されている。宮外では北面外濠SD145の開穿後も藤原宮の基幹水路として機能した（SD1901B）。溝の堆積は4層に大別でき，上限が天武朝末年まで遡ることが紀年木簡などからわかる。木器としては曲物・匙・糸巻・櫛・物指・横槌・鋤・刀子形・馬形・舟形・人形・斎串などがあり，ほかに木簡・土器・獣骨が出土した(fig. 116・117)。

〔木器番号〕*4626, 4727, 4732, 4820, 4902, 5615, 5912, 7013*

〔文　　献〕前掲「藤原宮第18次の調査」p. 16～22

奈良国立文化財研究所「藤原宮第20次(大極殿北方)の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報8』(1978年) p. 3～13

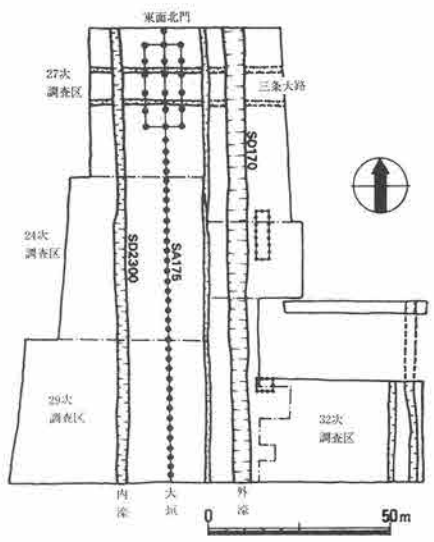


fig. 118　藤原宮跡東面北門付近遺構略図

4　東面外濠SD170と内濠SD2300（6AJA-R, 6AJB-Q・P・U区　奈良県調査・24・27・29次調査）

東面外濠SD170は東面大垣SA175の東約20mのところを南北に流れ，北東隅と東面北門付近でその位置を確認。東面北門付近では，幅5.5～6.0m，深さ1.2mの素掘り溝で，堆積土は4層に大別できる。遺物は第3層から多く出土した。木器には，曲物・斎串・人形・馬形・剣形・杓子・箕などがある。藤原宮期(fig. 118)。

内濠SD2300は東面大垣SA175の西約12mに位置して南北に流れる。幅2.5～3m，深さ約0.7mの素掘り溝で，堆積土は3層に大別できる。下層の第2・3層から比較的多くの遺物が出土し，木器としては，刀子形・棒状人形・鳥形・斎串などが出土した。

〔木器番号〕SD170　；*3102, 4228, 4724, 4927, 5909*

SD2300；*4611, 5501, 6001*

〔文　　献〕前掲，岡・猪熊「木器・木製品」p. 66～74

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮第24次（東面大垣）の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報9』(1979年) p. 9～20

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮第27次(東面北門)の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報10』(1980年) p. 10～17

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮東面大垣の調査（第29次）」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報11』(1981年) p. 4～11

5　西面外濠SD260（6AJK-C, 6AJM-B, 6AJJ-C区　23-5・34・36次調査）

西面大垣SA258の西約20mのところにある素掘りの南北溝。西南隅では後世の氾濫と，浸蝕によって著しく拡幅，変形しており，幅約10m，深さ1.6mとなる。堆積土は大きく3層にわかれるが，最下層のバラス層でも藤原宮期から平安時代前期までの遺物をふくむ。一方，西北隅ではこの濠が13世紀まで存続することを確認した。木器には，人形・斎串・陽物形板状品・曲物・槽などがあり，とくに平安時代前期の大型人形が注目される(fig. 119)。

〔木器番号〕*3918, 4603, 4614, 4615, 4926, 4930, 5210*

〔文　　献〕奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮第23-5次調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報10』(1980年) p. 18～19

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮西南隅の調査（第34次）」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報12』(1982年) p. 16～23

前掲「藤原宮西北隅地域の調査（第36次）」p. 4～10

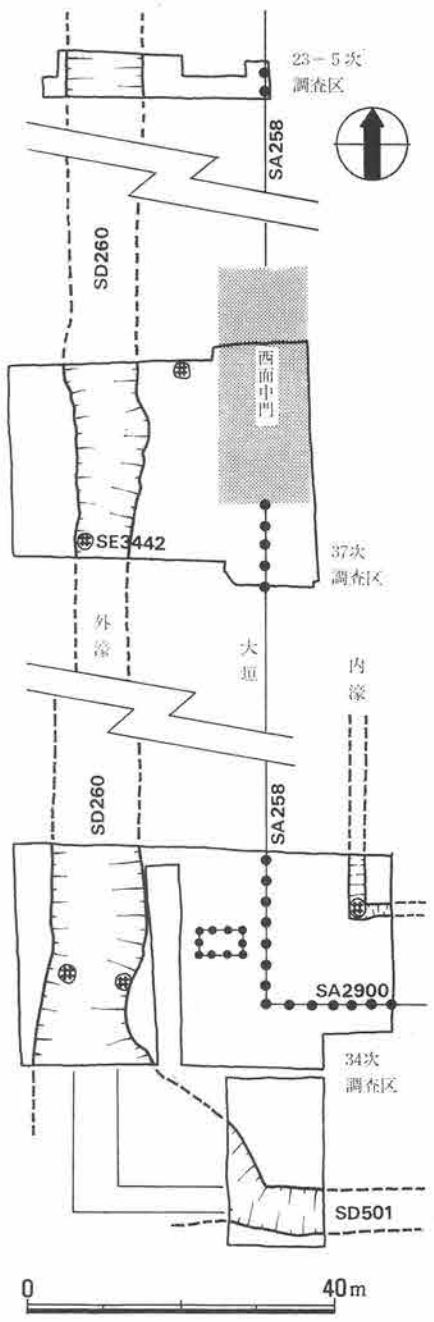


fig. 119　藤原宮跡西限遺構略図

6　南面外濠SD501（6AJH-J，6AJH-Q，6AJM-B区　1・29-6・34次調査）

南面大垣SA2900の南21～25mのところにある素掘りの東西溝。南面中門の南(第1次調査)，南面西門の西(第29-6次調査)，宮西南隅(第34次調査)において，その位置を確認。西流するにつれて，やや南へ振れる。幅は6m前後，深さ1.3m弱で，宮西南隅では氾濫によって2次的に幅を増している。収録した人形は第29-6次調査において，木簡6点，瓦・土器・獣骨などとともに出土した。藤原宮期(fig. 115・119)。

〔木器番号〕*4903*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ』奈良国立文化財研究所学報第27冊（1976年）p. 45～73

奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原原南面大垣の調査(第29-6次ほか)」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報11』(1981年) p. 18～22

前掲「藤原宮西南隅の調査(第34次)」p. 16～23

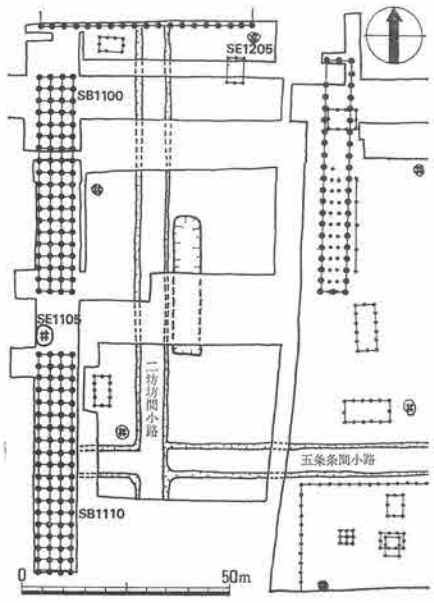


fig. 120　藤原宮跡西方官衙遺構略図

7　西方官衙の井戸SE1105（6AJL-A区　5次調査）

西面中門以南の大垣の内側に展開する東西53m，南北108m以上の区画には，長大な掘立柱建物5棟をコ字形に配した官衙街が形成されている。広場をめぐって長大な建物を配する状況と宮域内での占地は平城宮跡の馬寮に共通しており馬寮相当の官衙が推定される。SE1105は，その西限を画して南北に建つ大型建物SB1110BとSB1100Bとの中間にある井戸。SB1110Bの北妻から北へ1.6mはなれている。井戸枠は抜取られ，掘形の壁がくずれて大きな穴となり，上部で径4m，底部で径2.8m，深さ2m。なかから木簡・瓦・土器・木器・鮑3個・サザエ1個などが出土。木器には斎串・楯・曲物・折敷・箆・鋤がある。藤原宮期(fig. 120)。

〔木器番号〕*0401，1801*

〔文　　献〕菅原正明・山中敏史「木製品」『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ』奈良国立文化財研究所学報第31冊（1978年）p. 71～78

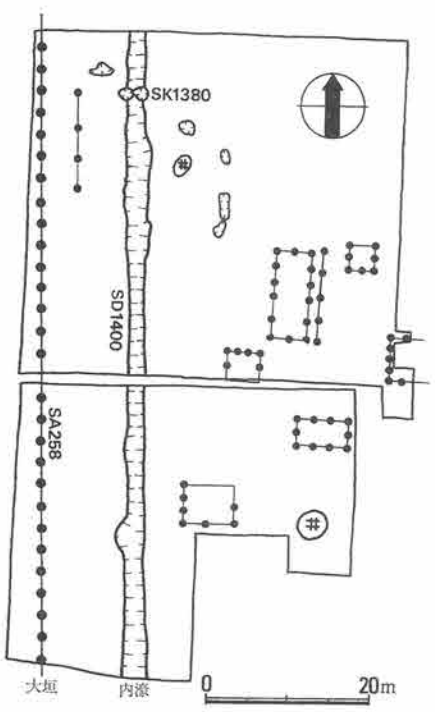


fig. 121　藤原宮跡西方官衙南区遺構略図

8　西方官衙の井戸SE1205（6AJK-F区　7次調査）

西方官衙地区で発見した藤原宮造営前の井戸。同じく造営前の建物SB1040の東北隅から北5mはなれて検出。縦板組方形の井戸枠をとどめる。掘形は不整形で，上部で径2.2m，底部で径1.1m，深さ2.5mであり，底に小石をしく。井戸枠の内法は方0.65m。なかから斎串・曲物・折敷・独楽などが出土した。時期は藤原宮造営前の7世紀後半(fig. 120)。

〔木器番号〕*4527*

〔文　　献〕同　上

9　西方官衙地区の土壙SK1380（6AJL-E区　10次調査）

西面南門の南妻にとりつく大垣SA258の内濠SD1400に重複する不整円形の土壙。SD1400の堆積土を排除したのちに検出し，SD1400に先行することになる。径1.8m，深さ1.4m。底から軛1，瓦1が出土した。7世紀後半。藤原宮造営時の遺構(fig. 121)。

〔木器番号〕*1208*

〔文　　献〕同　上

10　西面中門前の井戸SE3442（6AJK-F区　37次調査）

西面中門前の外濠 SD260 西肩部にある曲物組の井戸。径50×75 cm，深さ1.5 mの不整形掘形内に，底板をはずした曲物を2段積んで井戸枠とする。井戸のなかから斎串・ヒョウタンが出土した。藤原宮廃絶後の井戸である(fig. 119)。

〔木器番号〕*3407*

〔文　　献〕奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部「藤原宮西面中門地域の調査（第37次）」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報14』(1984年) p. 11～19

G　藤原京跡　ふじわらきょう

藤原宮をとりまく外周に，南北9条・東西8坊地割りの条坊が想定されており，いくつかの場所で条坊にともなう道路・側溝などを確認した。大官大寺跡・紀寺跡など京域内の調査も進行しているが，木器が出土する良好な遺構はまだきわめて少ない(fig. 122)。

1　右京七条一坊一・二坪の井戸SE2270（6AJH-N区　23次調査）

橿原市上飛弾町に所在。1978年に奈良国立文化財研究所が調査。日高山北麓にそって盛土整地した平地にあり，瓦窯や鋳銅工房をふくむ工房の一郭にもうけられた井戸。SE2270 は素掘り井戸で，直径 1.8 m，深さ 1.1 m。埋土は 3 層にわかれ，上層からは削屑・檜皮などの木片とともに「□首首」と判読できる木簡や瓦窯の窯体残片が出土。中・下層からは土師器瓶を主とする土器が出土した。木器には曲物・櫛・斎串・斗形模型がある。藤原宮期(fig. 122)。

〔木器番号〕*3104, 3801, 3802, 4609, 4730, 4731, 6303*

〔文　　献〕藤原京右京七条一坊跡調査会『藤原京右京七条一坊跡調査概報』(1978年) p. 3

2　右京八条三坊の八条大路北側溝SD104(6AMY区)

橿原市城殿町に所在。本薬師寺の西南隅で，西三坊大路と八条大路との交叉点にあたる。八条大路SF101の路面幅は14.0 mで，南北に側溝をもうける。北側溝は，幅 2.2 m，深さ 0.45m の素掘り溝で，堆積土から刀形が出土した。藤原宮期(fig. 122)。

〔木器番号〕*5603*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所「本薬師寺西南隅の調査」『飛鳥・藤原宮発掘調査概報 6 』(1976年) p. 49～55

3　紀寺跡の土壙SK004

高市郡明日香村小山に所在。寺地は藤原京左京八条二坊の1坊分が推定される。1973年から1978年までに5次にわたる発掘調査を奈良県立橿原考古学研究所が行い，寺域の主要部分の構造が明らかになった。寺域の南限に築地大垣をめぐらし，内に南大門をおく。南大門に東西からとりつく木塀が1坊全域をめぐるようである。門の北に中門・金堂・講堂を配し，中門と講堂を結ぶ回廊が金堂を囲んで方形にめぐる。南大門前で東西に流れる大溝SD003から7世紀後葉から8世紀代の木器が出土し，南方に土壙SK004がある。SK004は，東西 5 m，南北 3 mの皿状を呈し，中央部分が一段深い。堆積土は上下2層にわかれ，木簡2点をふくむ多数の木器が集中する。木器には糸巻・琴柱・人形・曲物・篦・栓・箸がある。この土壙は，南大門建築後に不要品を投棄したもので，7世紀後葉(fig. 122)。

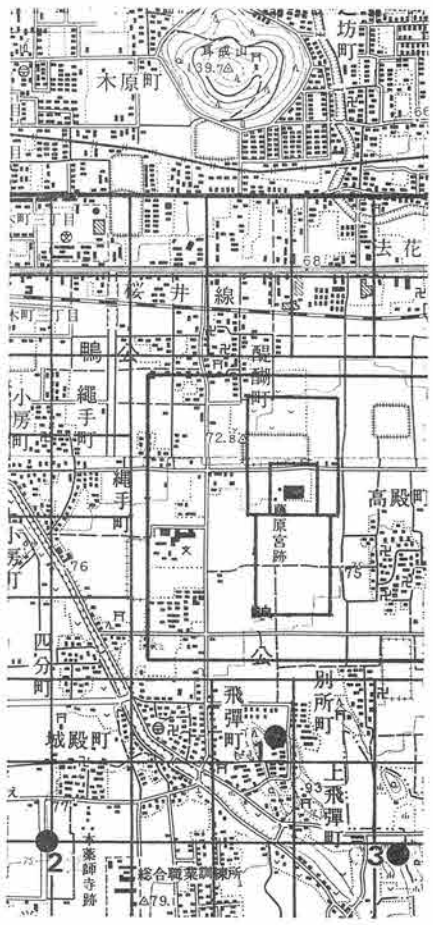


fig. 122　藤原京跡木器出土地点
（1：25000　桜井・畝傍）

〔木器番号〕*1002, 1006, 4513, 4514*

〔文　　献〕泉森皎・藤井利章「明日香村紀寺跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報 1977年度』奈良県橿原考古学研究所編（1978年）p. 83～91

藤井利章・松田真一「明日香村紀寺跡発掘調査概報」『奈良県遺跡調査概報 1978年度』奈良県立橿原考古学研究所編（1979年）p. 191～197

H　橿原遺跡　かしわら

fig. 123　橿原遺跡木器出土地点
（1：25000　畝傍）

橿原市畝傍町を中心に所在する。畝傍山東麓に位置し，1938年からはじまる橿原神宮外苑の整備拡張工事にともなって奈良県が発掘調査を行った。縄文時代晩期，弥生時代，古墳・奈良・平安時代にわたる集落跡。奈良・平安時代の遺構は井戸と掘立柱建物で，22基の井戸を検出した。井戸には竪井・横井・筒井・板井などの井戸枠を組む。井戸のなかから，土馬・土師器・須恵器・和同開珎・延喜通寶・鉄刀子・鉄鏃などとともに，櫛・斎串・下駄・曲物・乾漆などの木器が出土した(fig. 123)。

井戸９号は現在の野球場東南隅にあり，調査域内で最大の井戸枠を組む。井戸枠は上下２段にわかれ，上段は１辺 170 cm の井籠組で，下段は１辺 100 cm，深さ 121 cm の縦板組。内部から木片・樹皮・モモの種子・瓦・土師器・緑釉陶器・土馬・刀子・鋏・櫛・下駄・斎串が出土した。土馬の型式から９世紀前半にぞくすることがわかる。

〔木器番号〕井戸９号；*2304*

〔文　　献〕末永雅雄ほか『橿原』奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書第17冊　奈良県教育委員会（1961年）p. 319～332

I　纒向遺跡　まきむく

fig. 124　纒向遺跡木器出土地点
（1：25000　桜井）

桜井市の市街地北部に所在。大和盆地東部山麓の扇状地の一つである巻向扇状地の扇央と扇端に位置する。1971年４月から1975年６月にかけて，桜井市と奈良県立橿原考古学研究所が辻地区（東・西）と東田地区において７次にわたる発掘調査を行い，古墳時代前期の集落跡・古墳，古墳時代から平安時代におよぶ旧河道，平安時代の井戸群を発見した。東田地区の中央部，太田北微高地の延長上の纒向石塚・同矢塚古墳にはさまれた地域から18基の平安時代の井戸と柱穴とを検出した。井戸14は南溝の中央部に位置し，径 1.2 m，深さ１m の円形井戸。井戸枠に曲物を用いる。瓦器椀片と土師質小皿が出土し，瓦器椀の型式から11世紀後半と推定される。井戸３は北溝の肩部にあり，径約 1.2 m，深さ約１m の円形井戸で，中央部北寄りに径 40 cm の曲物枠を２段のこす。遺物は土師質小皿片をふくむだけだが，その型式から11世紀後半の時期を推定している(fig. 124)。

〔木器番号〕井戸14；*3412*　　井戸３；*3414*

〔文　　献〕石野博信・関川尚功『纒向—奈良県桜井市纒向遺跡の調査』桜井市教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所（1976年）本文編 p. 98～107，p 368～372

J　布留遺跡　ふる

奈良県天理市布留・三島・豊田・豊井・杣之内・守目堂町に所在。1938年に最初の発掘があり，1973年から埋蔵文化財天理教調査団が継続的に調査している。縄文時代中・後期，弥生時代後期～平安時代の複合遺跡。もっとも密度の高い遺構は古墳時代にぞくするもので，集落跡

・祭祀跡・攻玉工房跡・鉄器工房関係の遺物を検出している。木器は三島（里中）地区(FK20・FL20・FM20区）で出土。1978年10月～1979年２月，1980年５月～1981年４月の間に断続的な調査を行った。木器は主として古墳時代中期～後期の流路と古墳時代後期～奈良時代の２条の流路から出土し，両者の範囲は平安時代には湿地状に変貌する。掲載の木器は８世紀後葉～９世紀前葉に比定しうる(fig. 125)。

〔木器番号〕*0710, 1014, 3007, 3211, 5702, 6609, 6613*

〔文　　献〕布留遺跡天理教調査団（改め埋蔵文化財天理教調査団）『出土木器の樹種と木取りⅠ・Ⅱ』布留遺跡研究中間報告３（1981年）

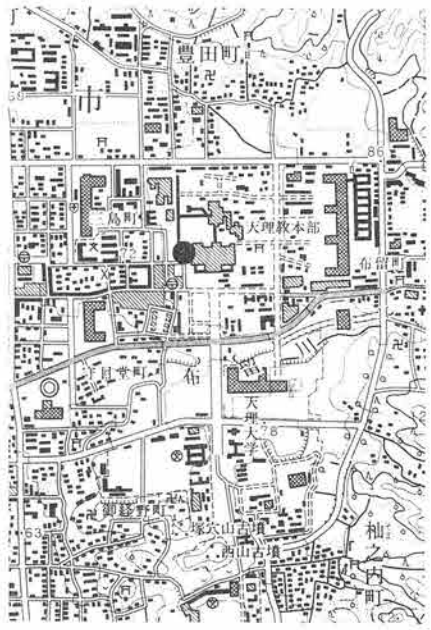


fig. 125　布留遺跡木器出土地点
（1：25000　大和郡山）

K　白毫寺遺跡　びゃくごうじ

奈良市白毫寺町に所在する。県立高円高校建設のため1982年に奈良県立橿原考古学研究所が調査した。奈良市の東郊の高円山の西南麓に位置し，京東五条四里三十二坪，同五里七・八坪にあたる。南を岩井川，東を高円山で限る東西約 250 m×南北 150 mの範囲が推定できる。

主要な遺構として園池・掘立柱建物５棟・井戸７基を検出。谷をせきとめてつくった池には大型の庭石を配し，一部に敷石がある。庭園の泉水池の可能性が強い。池の堤は，坪境の線上にのる。井戸は素掘りのもの，曲物を用いたもの，井戸枠を組む矩形井戸など種々である。

井戸からは，主に奈良時代の土器や木簡・斎串などが出土した。池１の埋土からは，多量の土器とともに「天平五年閏月廿六日白合」の木簡，斎串・檜扇・下駄・曲物・土馬・帯金具・銭貨などが出土した。銭貨には隆平永寶・富寿神寶がある。鬼瓦片は，平城宮第２次朝堂院所用のもの。これらの遺構は８世紀に建設され９世紀に廃絶したものとおもわれる。

弘仁７年(816)，貞観14年(872)，延喜12年(912)の『薬師院文書』によると，雄豊王家・並城王家・美濃王家の家がこの地に東西に並んでいたらしいが，この史料に合致する遺構は検出していない。高円離宮の可能性もある(fig. 126)。

〔木器番号〕池１；*0918, 1705, 2110, 4004, 5621, 6108*　　SD02；*2109*

〔文　　献〕中井一夫・関川尚功・千賀久・井上義光「白毫寺遺跡」『奈良県遺跡調査概報1982年度(第１分冊)』奈良県立橿原考古学研究所編（1983年）p. 71～80

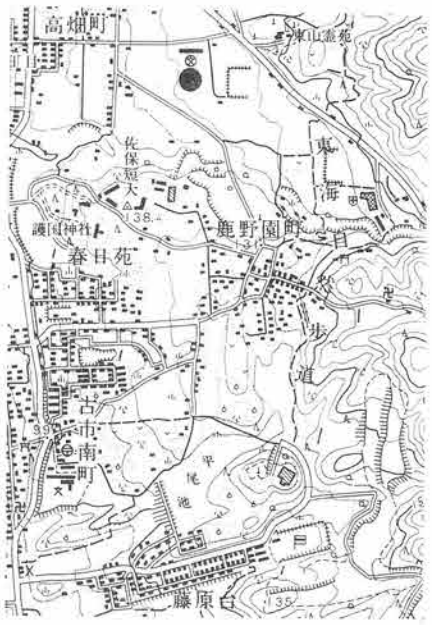


fig. 126　白毫寺遺跡木器出土地点
（1：25000　大和郡山）

L　平城宮跡　へいじょうきゅう

奈良県奈良市佐紀町を中心にして所在する。東西約 1.25 km，南北約１ km の曲尺形の平面形を呈し，133 ha が特別史跡に指定されている。発掘調査は戦前にも若干行われたが，1954年から本格的発掘がはじまり，1955年以降は奈良国立文化財研究所が発掘調査と保存整備を行い現在に至っている。平城京は奈良山丘陵の末端が平地に移行する地形をたくみに利用し，台地部には内裏・大極殿・朝堂などの重要施設をおき，各種の官庁を低地部に配置する傾向がある。木器は排水・給水のために宮域内にめぐらした溝，給水用の井戸あるいはごみ捨て用の土壙などから出土する。平城宮跡の遺構は，１平城宮造営前，２平城宮遷都～恭仁宮遷都（710～740年），３平城還都～長岡宮遷都（741～783年），４平城上皇の平城造営(809～825年）の４時期に大別でき，出土木器もこれに準じた年代があたえられる。また，伴出する紀年木簡によって，より厳密な年代が確認できる場合も少なくない。一方，土師器・須恵器の型式編年によって，平城宮遷都から平城上皇の時期までがⅠ～Ⅶ型式に区別されており，これによって木器の年代を推定することができる(fig. 127)。

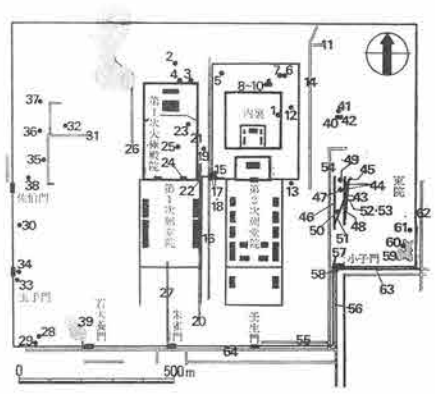


fig. 127　平城宮跡木器出土地点

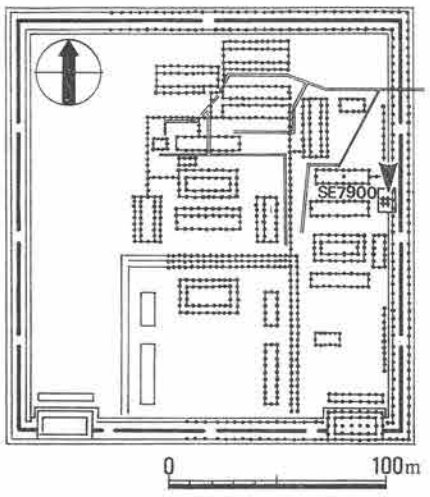


fig. 128　平城宮跡内裏地域遺構略図

1　内裏の井戸SE7900（6AAP-L区　78次南調査）

内裏内郭の東面中門 SB6900 を入って，すぐ北のところにある御井。東面築地回廊 SC156 の西半部ほぼ4間分を，その一部に組み入れた東西 8.3m，南北 14.5m におよぶ施設で，築地回廊と同時期の造営である。東・西辺は凝灰岩切石を積んで，約80度の傾斜をもつ擁壁をつくり，南・北辺には階段をつくる。中央は南北 5.8 m，東西 7.3 mの範囲を安山岩塊石で舗装し，この西南寄りに井戸を掘る。井戸枠は径 1.65 m，高さ1.9m の一木作りの丸井筒（スギ）で，上部に一辺 1.7 m の方形に板枠を組み，1間四方(東西 2.8 m，南北 3.3 m)の井戸屋形を建てる。石敷の 四周に幅 30～40 cm の溝がめぐり，排水は東南の凝灰岩石溝に集め，築地回廊の基壇下の暗渠 SD2350 を通して内裏外へ流す。井戸の 推積土から，土師器・須恵器のほか，「白物桶福徳」と墨書きした曲物底板，土馬，和同開珎・神功開寶・隆平永寶・帯金具とともに，斎串・横櫛・曲物・籠・折敷・木錘などの木器が出土した(fig. 128)。

平城宮中枢部に設けられた内裏は，8世紀前葉には掘立柱の木塀であったが，8世紀中葉から周囲に築地回廊をめぐらすなど大改作を行っている。SE7900 はこの改作期につくられ，廃都時まで長期にわたって存続したようである。出土遺物は最終段階である8世紀後葉から9世紀前葉にかけてのもの。

〔木器番号〕*0801, 0802, 0806*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮跡とその周辺の発掘調査」『奈良国立文化財研究所年報1974』(1975年) p. 22～26

2　宮内省大膳職の土壙SK219（6ABO-B区　5次調査）

第1次大極殿地域の北方に位置し築地で囲む一区画は，大型井戸を中心に庁舎を配置する宮内省大膳職に比定されている。SK219 はその東区の西端北寄にある土壙。東西 3.0 m，南北 3.5m，深さ1.0 mの北半部と，東西 3.0 m，南北 2.5 m，深さ 1.0 m の南半部とにわかれる。天平宝字6年(762) の紀年木簡をはじめとする41点の木簡，大量の土師器・須恵器，小量の黒色土器が出土し，平城宮土器Ⅳの基準となっている。木器には，杓子・箸・蓋板などがあり，木炭・薪・檜皮・クルミの殻などが共伴した(fig. 127)。

〔木器番号〕*4305, 7201, 7225*

〔文　　献〕『平城宮跡発掘調査報告Ⅱ』奈良国立文化財研究所学報第15冊(1962年) p. 75・76

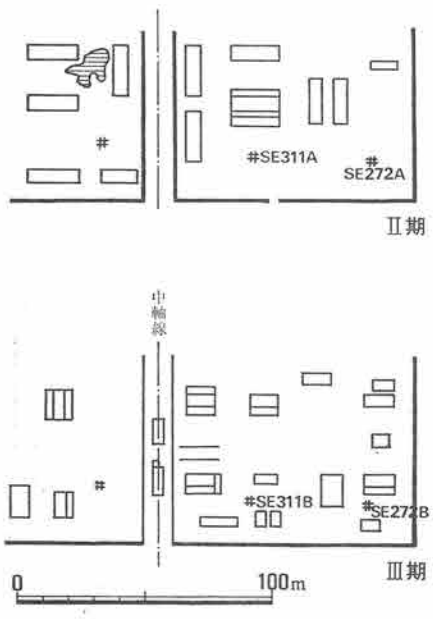


fig. 129　平城宮跡宮内省大膳職地区遺構変遷略図

3　宮内省大膳職の井戸SE272B（6ABO-D区　7次調査）

大膳職の東区の東南隅にある大型の井戸。東西6 m，南北5 m，深さ3.7 m の掘形内に，長方形の板材を井籠組にする。内法は一辺 1.8 m。井戸枠は4段分がのこり，上部3段の材は，長さ 2.07 m，幅 30cm，厚さ 7 cmであるが，最下段は長さ 2.13 m，幅 36 cm，厚さ 9 cm とひとまわり大きく，この井戸より大きな前身井戸(SE272A) の材を，再利用したものとおもわれる。承和昌寶や平城宮土器Ⅶの土師器・須恵器・黒色土器とともに，斎串・櫛・下駄・曲物・挽物盤・横槌・刳物・鎌・錐などが出土した(fig. 129)。

〔木器番号〕*0112, 0228, 0709, 1806, 1808, 1809, 2201, 2909, 3502, 4002, 4705, 4713, 4722*

〔文　　献〕岡田茂弘「木製品・金属製品」『平城宮跡発掘調査報告Ⅳ』奈良国立文化財研究所学報第17冊(1966年) p. 33～37

4 宮内省大膳職の井戸SE311A・B（6ABO-F区 7次調査）

大膳職の東区の中央南寄りにある大型井戸。当初（SE311A）は，一辺7m，深さ4mの方形掘形内に，長さ2.6m，幅36cm，厚さ9cmのヒノキ板材を井籠組にし，井戸底には礫を敷いていた。内法は一辺2.25mをはかる。SE311Aは一度放棄されるが，後に下2段をのこして井戸枠を撤去し，ひとまわり小さい井戸SE311Bを構築する。SE311Bの構築に際しては，SE311Aの下1段上面までの埋土をさらえ，西辺と南辺の井戸枠を再利用する。東辺と北辺とは，SE311A内に凝灰岩切石を並べ，上に長さ 2.1m，幅 23cm，厚さ9cmの板を立て，A井戸枠の西辺と南辺とに，渡りあごに組込む。南辺のA井戸枠の外側では，長さ 2.2m，幅 27cm，厚さ9cm の板を当て，西辺ではA井戸枠の上面に凝灰岩切石片を並べて，各辺の上面の高さを揃えている。内法は法 1.9m(fig. 129)。

SE311A の底からは，平城宮土器Vの土師器・須恵器，萬年通寶・神功開寶，木簡とともに，呪いの人形・斎串・櫛・錐などの木器が出土した。また，SE311B からは，9世紀初頭に活躍した「津守貞成」の名を記した木簡や隆平永寶などとともに，土師器，黒色土器・須恵器・施釉陶器が出土し，平城宮土器Ⅷの基準となった。木器には，陽物形・櫛・漆器蓋・漆器鉢・曲物・木槌・丸木弓・部材などがある。

〔木器番号〕SE311A；*0229*, *1813*, *1814*, *3815*, *4715*, *4913*

SE311B；*0109*, *1309*, *1802*, *1803*, *2421*, *2441*, *3501*, *3507*, *3707*, *3812*, *4201*, *6103*

〔文　　献〕同　上

5 内裏北外郭の井戸SE551（6ABB-B区 11次調査）

内裏北外郭にある築地で囲む東西に長い一区画を，宮内省内膳司にあてている。この区画と西方の大膳職との空間地に方形縦板組の井戸(SE551)がある。径約1m，深さ1.2mの不整円形掘形内の底にバラスを敷き，中央に径 38.4cm，高さ 27cm の曲物をすえる。曲物の周囲を上縁近くまで埋め，幅 15～20cm 内外の板を，各辺3～4枚たて並べ，内法 0.5m の井戸枠を組む。内面は横桟で支える。この井戸は平城宮の遺構を掘込んでつくっているので，平城宮廃絶後の9世紀にぞくする(fig. 130)。

〔木器番号〕*3408*

〔文　　献〕『平城宮跡発掘調査報告Ⅷ』奈良国立文化財研究所学報第26冊（1976年）PLAN8

6 内裏北外郭の土壙SK820（6AAB-U区 13次調査）

内膳司の東面築地の東方に位置する某官衙にぞくする土壙である。上端で方 3.8m，底部で方3.2m，深さ1.7m。天平末年頃のある時期塵芥処理のために掘鑿し，きわめて短期間で埋戻したものとかんがえられている。養老2(718)～天平19年(747)の紀年木簡をはじめとする1,843点の木簡，および平城宮土器Ⅲの基準となった土師器・須恵器とともに，木器が多数良好な状況で出土した。平城宮の遺構・遺物を編年するうえで重要な基準になっている(fig. 130)。

〔木器番号〕*0114*, *0115*, *0116*, *0119*, *0203*, *0208*, *0232*, *0305*, *0330*, *0901*, *0903*, *0907*, *0910*, *1104*, *1105*, *1501*, *1602*, *1708*, *1815*, *1816*, *1914*, *1927*, *1936*, *2510*, *3107*, *3804*, *3809*, *3901*, *3902*, *3907*, *3908*, *4010*, *4202*, *4210*, *4211*, *4217*, *4221*, *4231*, *4233*, *4236*,

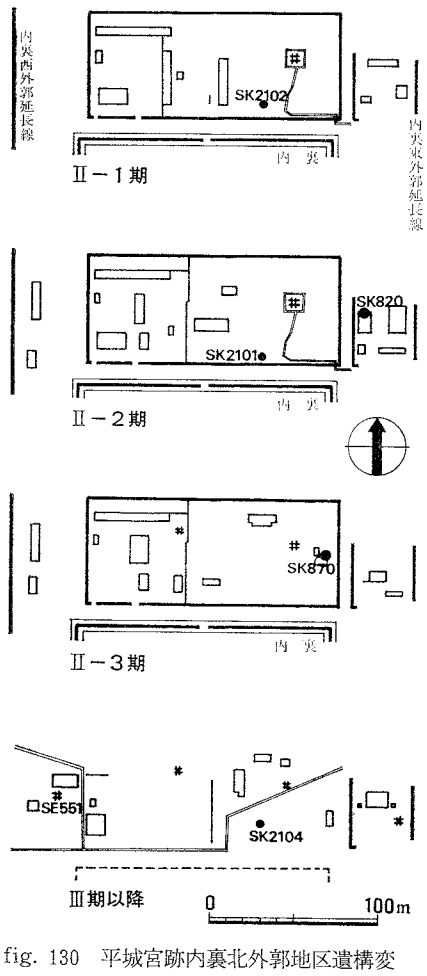


fig. 130　平城宮跡内裏北外郭地区遺構変遷略図

4317, 4403, 4411, 4801, 5409, 5507, 5703, 5712, 5717, 5733, 5805, 6009, 6409, 6410, 6501, 6502, 6606, 6711, 6723, 6724, 6816, 6909, 6915, 6918, 6919, 6920, 6924, 7011, 7012, 7019, 7022, 7224, 7305

〔文　　献〕町田章「木製品・繊維製品」『平城宮跡発掘調査報告Ⅶ』奈良国立文化財研究所学報第26冊(1976年) p. 111～134

7　内裏北外郭の土壙SK870（6AAO-D区　13次調査）

内膳司の東面築地に接する不整形の土壙。東西9 m，南北10 m，深さ 1.3 m で，壙底に境があり，2回にわけて掘鑿したことがわかる。「左衛士府」の木簡をふくむ40点の木簡，平城宮土器Ⅴの基準となった土師器・須恵器，斎串・匙・栓・冠・籠などの木器が出土(fig. 130)。

〔木器番号〕*4031, 7118, 7223*

〔文　　献〕同　上

8　内裏北外郭の土壙SK2101（6AAO-G区　20次東調査）

内膳司東半部に密集する10基の土壙(SK2100～2109)のひとつ。東西3.5 m，南北3.4 m，深さ35 cmのほぼ方形を呈する。土壙内の埋土は，大きく上下2層に大別できるが，包含された土器には時期差がなく，短期間に埋め戻したことがわかる。天平18(746)～天平勝宝2年(750)の紀年木簡をはじめとする394点の木簡，平城宮土器Ⅲの基準となった土師器・須恵器とともに，刀形・斎串・木針・杓子・箸・曲物・火鑽板・木蓋・部材などの木器が出土した。8世紀中葉の改作時に掘鑿した塵芥処理用の土壙(fig. 130)。

〔木器番号〕*0329, 0803, 0804, 3116, 3805, 3807, 5619, 6404, 6512*

〔文　　献〕同　上

9　内裏北外郭の土壙SK2102（6AAO-G区　20次東調査）

SK2101の北に隣接する東西3.8 m，南北2.4m，深さ0.3 mの不定形の土壙である。層位的にSK2101よりも古い。神亀6年(729)の年紀のある造営関係文書など111点の木簡があり，この地域の造営にかかわる塵芥処理の土壙とかんがえられる。平城宮土器Ⅱの土師器・須恵器と槽・部材などの木器が出土した(fig. 130)。

〔木器番号〕*3003, 6612*

〔文　　献〕同　上

10　内裏北外郭の土壙SK2104（6AAO-G区　20次東調査）

SK2102 の北東に隣接する東西1.7 m，南北1.7 m，深さ1.4 m の隅丸三角形の土壙。埋土から籠・鵜口形木器が出土した(fig. 130)。

〔木器番号〕*7303, 7304*

〔文　　献〕同　上

11　内裏北外郭東北方の溝SD10550（6AAA-F区　139次調査）

内裏外郭東北隅の北々東約55mに位置する東西溝。幅 2.7 m，深さ 1.7 mの素掘り溝で，内

裏外郭東大溝SD2700にとりつくまでの約13mの間を検出したが，さらに東へのびる。溝の堆積土は5層にわかれ，下2層から天平元年(729)・天平6年(734)の紀年木簡，最上層から天応元年(781)の墨書土器が出土した。土器・瓦や63点の木簡とともに，人形，鍬形・手斧柄・曲物・陽物形・杓子などの木器が出土した(fig. 131)。

〔木器番号〕*5735*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・平城宮跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報1983』(1983年) p. 19〜20

12　内裏東外郭の井戸SE2600 (6AAC-N区　21次調査)

内裏東外郭は南北2区画にわかれ，各々に築地がめぐる。井戸SE2600は北側の官庁にある方形横板組の井戸。東西2.5m，南北2.3m，深さ3.2mの方形掘形内に，長さ125〜128cm，幅57〜60cm，厚さ5cmの長方形の板を井籠組にする。内法は方約1mで，井戸枠は4段分がのこる。曲物・杓子・木偶などの木器が出土。重複関係から8世紀後半の井戸(fig. 131)。

〔木器番号〕*3305, 4918, 5503*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「昭和39年度平城宮跡発掘調査概要」『奈良国立文化財研究所年報　1965』(1965年) p. 34〜37

13　第2次大極殿東外郭南側の土壙SK7453 (6AAF-S区　35次調査)

第2次大極殿東外郭の南面築地SA705の南方約15m付近に点在する小土壙群。天平の紀年木簡や陰陽寮関連文書など14点の木簡とともに，火鑽板が出土(fig. 132)。

〔木器番号〕*6402*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「1969年度平城宮跡・藤原宮跡発掘調査」『奈良国立文化財研究所年報　1970』(1970年) p. 34〜35

14　内裏外郭東大溝SD2700 (6AAC-H, 6AAA-G・F, 6AAB-S, 6AAD-F区　21・129・139・154次調査)

内裏東外郭の東側で南北に縦貫する宮域内の基幹排水路。通称「東大溝」。内裏東外郭築地の東22mに位置し(第21・154次調査区)，北延長は宮域北限近くまで確認(第129・139次調査区)。宮北限から南約70mの間は素掘りのままで，官衙域の設置に従って，北で東に振るように水路北端を改修している。それ以南は，人頭大の玉石を6〜7段に積んで護岸した上幅2.0〜2.6m，深さ1.5mの石組溝となる。溝の堆積土は数層にわかれ，最下層から天平初年までの紀年木簡，最上層から奈良時代末の紀年木簡が出土し，SD2700が奈良時代を通じて次第に埋った姿を看取できる。多数の木簡・土器・瓦・木器・金属製品が出土した(fig. 131)。

〔木器番号〕*0233, 0301, 0807, 0906, 1016, 1314, 1317, 1503, 1504, 1505, 1506, 1603, 1604, 1605, 2111, 3105, 3207, 3610, 4218, 4414, 4505, 4508, 4907, 4919, 4922, 4923, 5101, 5412, 5618, 5913, 5914, 6628, 6629, 6630, 6916, 6922, 7119, 7211, 7212, 7237*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報1965』p. 34〜37
平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・平城京跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報1982』(1982年) p. 32〜34

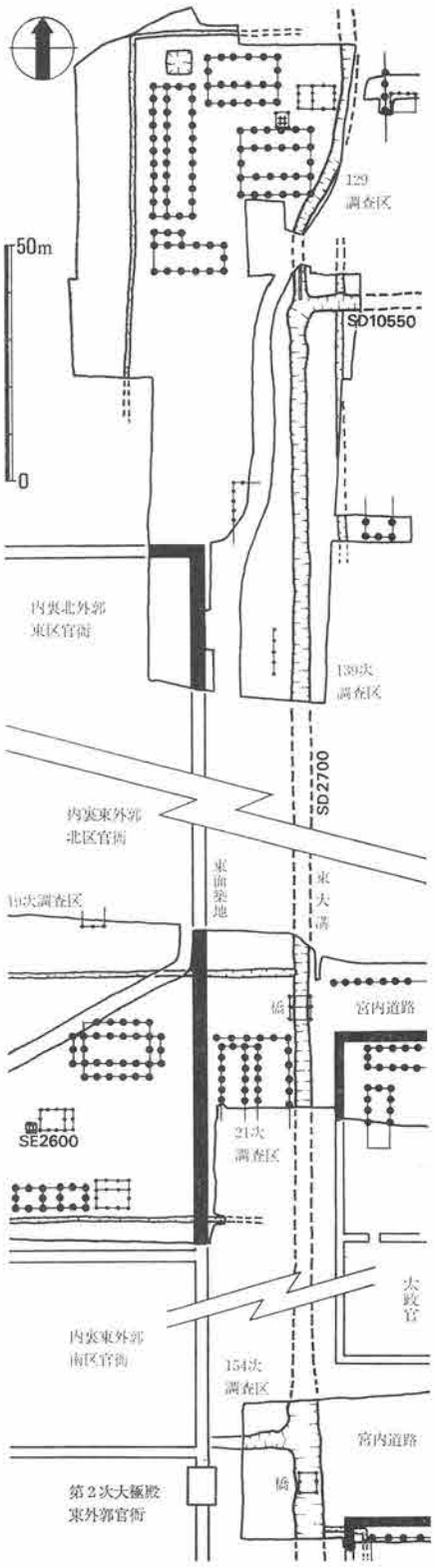


fig. 131　平城宮跡内裏東外郭遺構略図

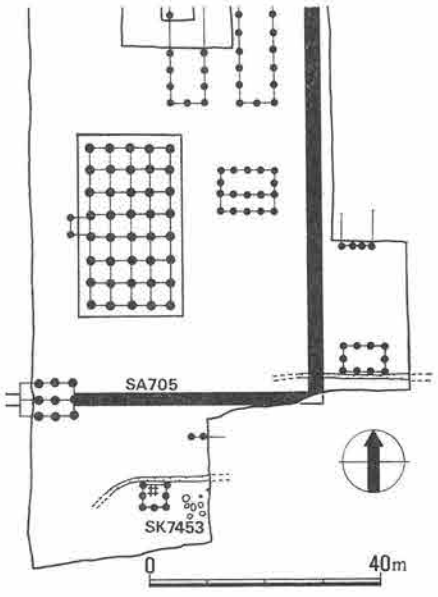
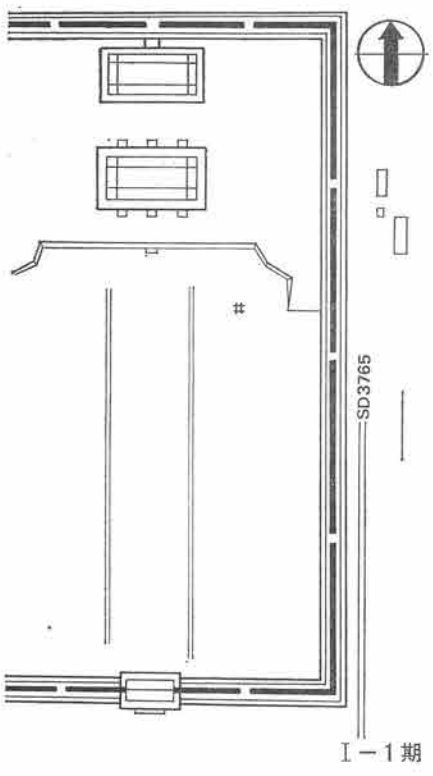


fig. 132　平城宮跡第2次大極殿東外郭遺構略図

前掲『奈文研年報 1983』p. 19～20

奈良国立文化財研究所「第二次大極殿院・内裏東方官衙の調査第 154次」『昭和58年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』(1984年) p. 27～33



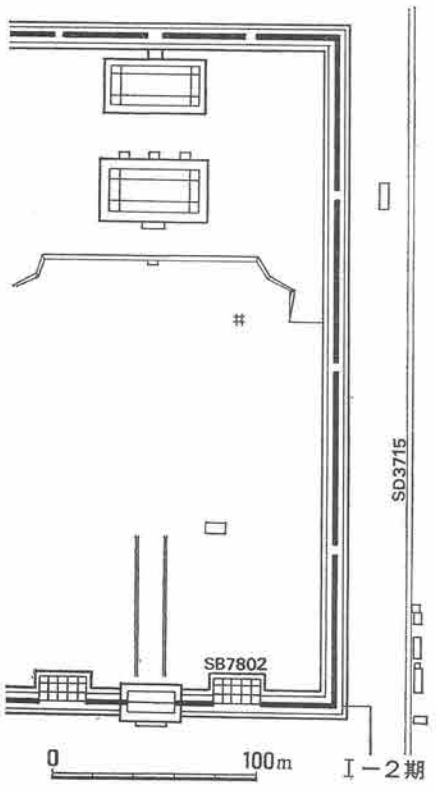


fig. 133　平城宮跡第１次大極殿地域遺構変遷略図(1)

15　第２次大極殿西外郭遺物包含層（6ABE-G区　91次調査）

平城宮北方の丘陵は，第１次大極殿地域および内裏地域に向って舌状に張り出し，元来は，両地域の間が谷になっていた。第２次大極殿院西外郭の西南隅において，平城宮造営工事の過程で，この谷間の旧低湿地を埋立てていることを確認した。その整地土の下，旧表土の上から，建築用材の破片や削屑・檜皮などとともに，和銅２年(709)・和銅３年の紀年木簡をふくむ242点の木簡や，斎串・箸・曲物・箱部材・栓・小円板・楔などの木器が出土した(fig. 133)。

〔木器番号〕*5731, 6624, 6626, 6908, 6914, 6923*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈良国立文化財研究所年報　1975』(1975年) p. 16～18

16　内裏外郭西大溝 SD3715（6ABD-D, 6ABE-K・M・P, 6ABC-U・V, 6ABF-B, 6ABG-A・B, 6ABT-A・B, 6ABH-A, 6ABI-A, 6ABJ-A区　27・41・87・97・102・111・136・140次調査）

第１次大極殿地域と内裏地域との間，および第１次朝堂院地域と第２次朝堂院地域との間を，北から南へ貫流する基幹排水路。幅２～３ m，深さ１ mの素掘り溝である。第１次大極殿地域の北方官衙(大膳職地域)の東端で確認している南北溝SD572（6ABB-D・E・F区 11次調査）もこの北延長上にあり，第146次調査(6ABJ-B区)でもその南延長を検出し，総長約700mを確認したことになる。出土した木簡などから，霊亀年間(715, 716年)に第１次大極殿に接する南北溝 SD3765 を東へつけ替えたものが最も古い SD3715 で，天平初年頃と奈良時代末頃とに改修を受けて，平安時代初頭まで存続したとかんがえられる。木簡・土器・瓦・金属器・木器が出土した(fig. 133・134・135)。

〔木器番号〕*0117, 0234, 0307, 1001, 1004, 1017, 1206, 1817, 1924, 1928, 1930, 2807, 3212, 4027, 4028, 4234, 4237, 4320, 4929, 5405, 5719, 5720, 5736, 6505, 6805, 6806, 6818, 6827, 6901, 6917, 7202, 7206, 7207, 7208, 7209, 7210, 7213, 7215, 7228*

〔文　　献〕井上和人「木製品」『平城宮発掘調査報告XI』奈良国立文化財研究所学報第 40 冊 (1982年) p. 195～201

平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1977』(1977年) p. 22～24

平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1978』(1978年) p. 19～21

平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1979』(1979年) p. 23～25

前掲『奈文研年報 1982』p. 36～37

前掲『奈文研年報 1983』p. 21～22

17　第２次大極殿西外郭の溝SD5505（6ABE-M区　41次調査）

第２次大極殿西外郭と第１次大極殿東外郭にはさまれて南北にのびるベルト地帯の南端に位置し，南北溝 SD3715 に注ぎこむ素掘りの東西溝。東延長部では，第２次大極殿西外郭の塀もしくは築地に設けた石積の暗渠(SD8161) をうける（第91次調査区)。平城宮土器Ⅲの土師器・須恵器とともに檜扇・小円板などの木器が出土した(fig. 134・135)。

〔木器番号〕*1502*

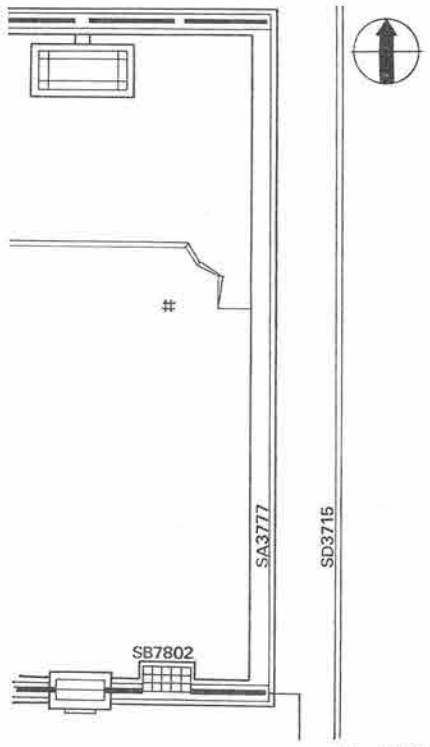
〔文　　献〕同　上　井上「木製品」p. 203

18　第２次大極殿西外郭の溝SD8161（6ABE-G区　91次調査）

第２次大極殿の南面木塀もしくは築地の北雨落溝。西流して西面木塀もしくは築地の南端で石積の暗渠になり，東西溝SD5505をへて南北溝SD3715へ注ぐ。暗渠は自然石を組合せたもので，内法幅 40 cm，高さ 30 cm。この暗渠付近で，鳥形・小円板などの木器が出土(fig. 134)。

〔木器番号〕*6016, 7021*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1975』p. 16～18



19　第１次大極殿東外郭の土壙SK3730（6ABE-K区　27次調査）

第１次大極殿東外郭の南部にある方形土壙。一辺 2.2 m，深さ60 cm で，埋土から平城宮土器Ⅴ(Ⅳも一部ふくむ)の土師器・須恵器，木簡４点，檜皮や鏃形などの木器が出土(fig. 135)。

〔木器番号〕*1925, 7109*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 202

20　第１次大極殿東外郭の溝SD3765（6ABE-K・M，6ABS-A・E区　27・41・97次調査）

第１次大極殿東外郭の南半部から第１次朝堂院内の東部を貫流する素掘りの南北溝。幅 1.6～2.6 m，深さ 0.6～1.0 m で，北限は削平されているが，総長約500 mを確認。溝の存続期間は短かく，和銅年間に機能し，第１次朝堂院を建設する霊亀年間に東の SD3715 につけ替えられている。和銅の紀年木簡など11点の木簡，平城宮土器Ⅰ・Ⅱの土師器・須恵器，平城宮瓦編年第Ⅰ期の瓦とともに，人形・鎌柄・鋤・杓子・曲物などの木器が出土(fig. 133)。

〔木器番号〕*0201, 0402, 0708, 4222, 4905*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 201・202

前掲『奈文研年報 1977』p. 22～24

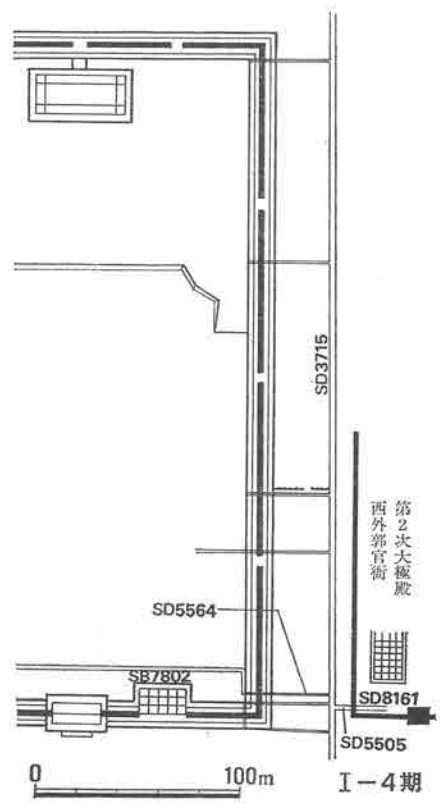


fig. 134　平城宮跡第１次大極殿地域遺構変遷略図(2)

21　第１次大極殿掘立柱塀SA3777（6ABE-K区　27次調査）

第１次大極殿地域における第Ⅰ期（和銅～天平勝宝５年）の東面築地回廊 SC5500 の東側柱筋に重複する掘立柱南北塀。総柱間は65間(307.3 m)。柱間寸法は4.58 m(15.5 尺)で，２個所で２間分(9.16 m)をあけて門にしている。恭仁宮遷都時に，第１次大極殿 SB7200 とともに移建された東面築地回廊 SC5500 にかわる仮設的な閉塞施設とかんがえられる。柱痕跡から，平城宮土器Ⅳを主体とする土師器・須恵器，木製合子蓋などが出土した(fig. 134)。

〔木器番号〕*2445*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 203

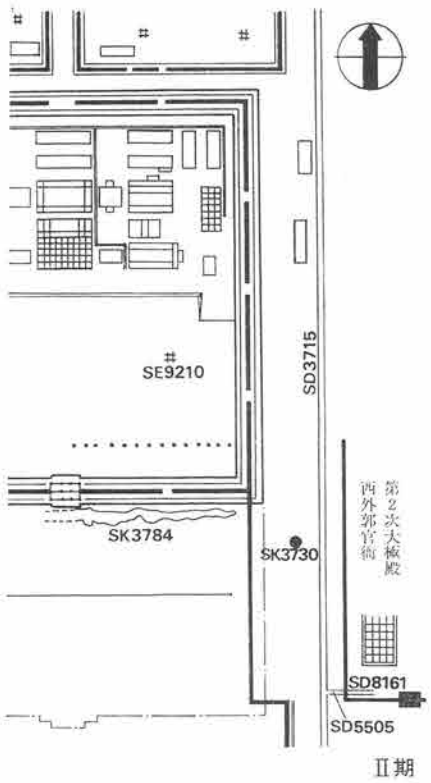


fig. 135　平城宮跡第1次大極殿地域遺構変遷略図(3)

22　第1次大極殿東外郭の溝SD5564（6ABE-M区　41次調査）

第1次大極殿地域における第Ⅰ期（和銅～天平勝宝5年）東面築地回廊 SC5500 の南端に設けた東西方向の木樋暗渠 SD5563 を受けて東流し，南北溝SD3715へ排水する素掘りの溝。幅2 m，深さ 0.6 m，全長6 mで，天平勝宝9年(757) の紀年木簡をふくむ8点の木簡や，鳥形・曲物などの木器が出土している。これらは，SD5564の東半部から出土し，堆積土の状況からするとSD3715からの溢水が流れこんだものらしい(fig. 134)。

〔木器番号〕*6010*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 203

23　第1次大極殿の井戸SE9210（6ABQ-A区　117次調査）

第1次大極殿の広場地区（殿舎地区の塼積擁壁以南）の東寄りにある井戸。掘形は2段で，上段は一辺 7.3 m，深さ 1.7 m，下段は上段掘形の西北寄りに，東西 4.9 m，南北 4.5 m, 深さ 1.9 mの長方形に掘込む。下段掘形の底に，井戸枠が4段のこり，内法は方2.25 m。枠木の1段目と3段目とには長方形の板(長さ2.5～2.6 m，幅 22～24 cm)を用い，2段目と4段目とには校倉の校木を転用する。井戸底には拳大の玉石を厚さ 10 cm にわたって敷く。玉石敷直上の堆積土から，10世紀代の土師器とともに瓦片・木器が出土した。井戸枠を取りさった後も，11世紀代まで泉として用いたらしい。なお，当初の開鑿は753年頃に想定できる(fig. 135)。

〔木器番号〕*3813*，*4523*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 204

24　第1次大極殿の南面回廊楼風建物SB7802（6ABR-H区　77次調査）

第1次大極殿地域における第Ⅰ期(和銅～天平勝宝5年) 南門SB7801 の東の南面築地回廊に取り付く5間(22.9 m)×3間(11.52 m)の東西棟建物。総柱で 側柱は掘立柱，内部の柱は礎石立。掘立柱の掘形は，3.5 m×2.5 m，深さ 2.75 m と超大型である。前面に南面築地回廊の南半部が廂状に取り付いた 楼閣風建物と かんがえられる。掘立柱抜取痕跡から，天平勝宝5年(753)の紀年木簡をふくむ243点の木簡，平城宮土器Ⅳを主体とする土師器・須恵器，多量の瓦とともに，92点あまりの木器が出土した(fig. 133・134)。

〔木器番号〕*1101*，*1601*，*2904*，*4220*，*4235*，*4307*，*4316*，*4318*，*4319*，*4322*，*5303*，*5726*，*6002*，*6301*，*6302*，*6305*，*6306*，*6307*，*6308*，*6309*，*6310*，*6311*，*7006*，*7105*，*7123*，*7221*，*7222*，*7230*，*7233*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 188～195

25　第1次大極殿地域の土壙SK3784（6ABR-P・G区　27・75次調査）

第1次大極殿地域における第Ⅱ期(天平勝宝5年以降～天応元年)南面築地回廊 SC3810A の南側基壇縁にそって東西にのびる不整形の大土壙。最大幅 5.3 m，深さ 20～30 cm で，全長78 mを検出し，さらに西へのびる。埋土は上下2層にわかれ，多数の瓦片が出土し，部分的に滞水した痕跡がある。回廊 SC3810A 造成時の土取り痕跡の可能性が強い。平城宮土器Ⅳ(Ⅲも一部ふくむ)の土師器・須恵器，匙形木器が出土した(fig. 135)。

〔木器番号〕*4208*

〔文　　献〕前掲　井上「木製品」p. 203

26　第１次大極殿外郭西大溝SD3825（6ACC-F区　28次調査）

第１次大極殿西外郭の西端を貫流する南北溝。幅約３m，深さ 0.7～1.0 m で，長さ約 40 m を検出し，さらに南北へのびる。現在の佐紀池のあたりにあった園池の排水路。養老・天平18年(746)の紀年木簡をふくむ 79 点の木簡，土器・瓦などとともに，百万塔の未製品・漆塗柄頭・匙などの木器が出土した(fig. 127)。

〔木器番号〕*1932, 1934, 4304, 5727, 6011, 6201, 6718*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「昭和40年度平城宮発掘調査概報」『奈良国立文化財研究所年報 1966』(1966年) p. 36

27　朱雀門地区の大溝SD1900（6ABX-H・I，6ABY-G区　16・17次調査）

平城宮造営以前に，大和盆地を南北に縦断していた下つ道の西側溝で，南面中門(朱雀門)の北において，長さ約120 mを検出。第119次調査区（6ABW・6ABV）でも，その北延長を確認した(SD1900A)。平城宮造営時に埋めたてて，南面中門から北へのびる宮内道路の西側溝(SD1900B)として再利用する。遺物は主として下層のSD1900Aから出土した。SD1900Aは幅2.8～3.0 m，深さ 0.6～0.8 m の素掘り溝。堆積土から藤原京時代の「過所符」をふくむ９点の木簡，平城宮土器Ⅰの基準となった大量の土師器・須恵器と，多数の木器が出土(fig. 136)。

〔木器番号〕*0103, 0701, 0702, 0909, 0914, 0915, 0916, 0917, 1005, 1110, 2901, 3106, 3203, 3604, 3605, 4501, 6911, 7001*

〔文　　献〕佐藤興治「木製品」『平城宮跡発掘調査報告Ⅸ』奈良国立文化財研究所学報第34冊（1978年）p. 66～70

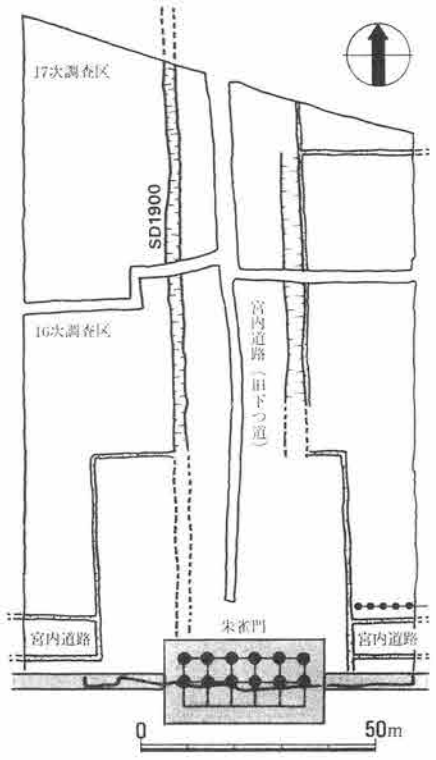


fig. 136　平城宮跡朱雀門地区遺構略図

28　宮域西南隅の井戸SE1230(6ADH-F区　14次調査)

宮域の西南隅，南面大垣の内側約 30 mの位置にある方形縦板組の井戸。掘形は方 2.1 m，深さ 2.3 m。井戸枠は隼人盾を転用したもので，長さ 1.5 m，幅 0.5 m の板を，各辺２枚づつ立てて並べ，これを２段に組む。盾の彩色面を外側に向け，各辺の中央にある板の接合部，および上・下段の重なりの部分には，外側から幅15～20 cm，長さ80 cmの板材を当てて目張りとする。井戸の内側では，下端と底面から約１m の高さの位置とに，10 cm 角の角材を方形に組んで補強する。底には礫を敷く。埋土から曲物の断片が出土した。南方の建物 SB1222 と同時に存在する可能性があり，８世紀前半に相当する(fig. 137)。

〔木器番号〕*1401*

〔文　　献〕前掲　佐藤「木製品」p. 62～65

29　宮域西南隅の井戸SE1247（6ADH-I区　14次調査）

宮域の西南隅，南面大垣の内側約５mの位置にある方形縦板組の井戸。方 1.9 m，深さ 1.0 m の掘形内の四隅に柱を立て，横桟を枘留めにし，各辺の外側に縦板を５～６枚づつ立てる。内法は方１m。枠板は建築部材を転用し，四隅の柱は仕口穴の位置と形状から垂木材，横桟は木舞。井戸の埋土から斎串が出土した。周囲の建物配置からみて８世紀後半の遺構(fig. 137)。

〔木器番号〕*4612, 4706*

〔文　　献〕前掲　佐藤「木製品」p. 76

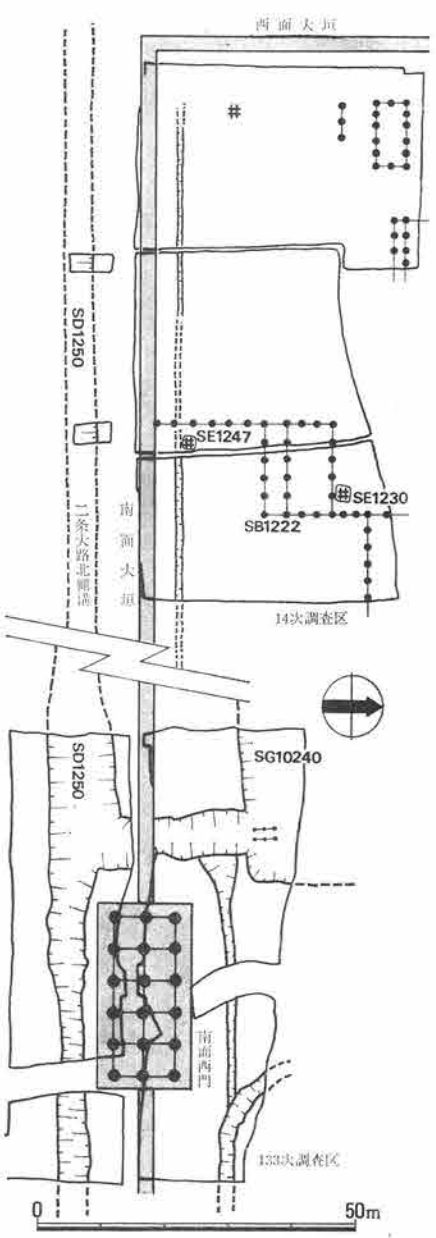


fig. 137　平城宮跡西南部遺構略図

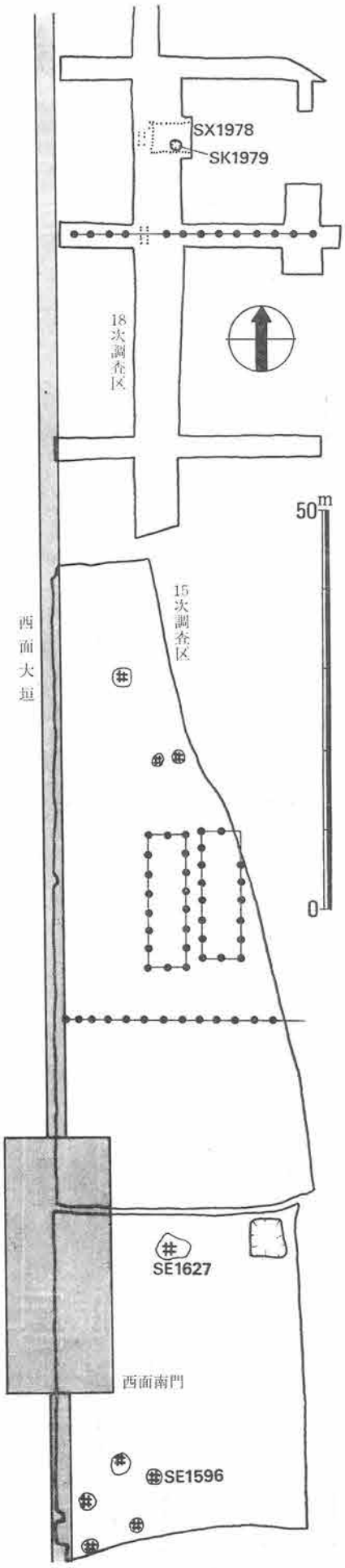


fig. 138　平城宮跡西面大垣・玉手門地区遺構略図

30　西面大垣地区の土壙SK1979（6ADF-J区　18次調査）

西面中門(佐伯門)と西面南門(玉手門)とのほぼ中間の西面大垣内にある鍛冶工房跡 SX1978にともなう円形土壙。径約1.4m，深さは0.7mをこえる。堆積土から，釘に関連した木簡をふくむ19点の木簡，鉱滓・轜の羽口などとともに，金属器をかたどった形代や鉄身をぬきとった工具柄などの木器が多数出土した。8世紀(fig. 138)。

〔木器番号〕*0216, 0217, 0218, 0220, 0223, 0224, 0306, 0322, 0323, 0332, 0333, 1202, 5614, 5724, 5725, 5737, 5738, 6803, 6804, 7306*

〔文　　献〕前掲　佐藤「木製品」p. 71～76

31　西方官衙地区の溝SD5280（6ACP-F区　37次調査）

第1次大極殿地域と西面大垣とのほぼ中間で検出した東西溝。総長約110mを検出し，さらに東へのびる。西方では南折し，推定馬寮の東側に隣接する官衙域の南半部西辺を区切る南北溝 SD5960 につらなる(第47次調査)。当初は幅6.5m，深さ0.3mであったが，後に北寄り幅2.4m，深さ0.4mの狭い溝になる。刀子形などの木器が出土した(fig. 127)。

〔木器番号〕*5713*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「昭和41年度平城宮発掘調査概報」『奈良国立文化財研究所年報 1967』(1967年) p. 39～40

32　西方官衙地区の井戸SE5320（6ACP-F区　37次調査）

第1次大極殿地域と西面大垣とのほぼ中間に位置する官衙で検出した方形縦板組の井戸。一辺 2.3m，深さ1.3mの方形掘形内の4隅に支柱を立て，上下2段に横桟を枘どめにし，各辺の外側に幅10～20 cmの板を羽重ねに並べる。内法は方1.4mで，底には径60 cmの曲物をすえる。土器・斎串が出土した。8世紀後半か(fig. 127)。

〔木器番号〕*4622, 4726, 4729*

〔文　　献〕同　上

33　玉手門地区の井戸SE1596（6ADF-T区　15次調査）

西面南門(玉手門)の南東，西面大垣の内側約10mの位置にある曲物の井戸。一辺1.3m，深さ 2.8m の隅丸方形の掘形内の中央に，径37～41 cmの曲物側板を8段以上積む。各段の高さは一定せず，総高は1.9m。曲物側板には底板を固定した痕跡はなく，容器からの転用とはかんがえられない。土器などからみて，10世紀～11世紀の井戸(fig. 138)。

〔木器番号〕*3304, 6703, 6704*

〔文　　献〕前掲　佐藤「木製品」p. 76

34　玉手門地区の井戸SE1627（6ADF-T区　15次調査）

西面南門(玉手門)の東6mの位置にある井戸。井戸枠は抜き取られ，長径4.5m，短径 2.2m，深さ0.3m の浅い抜取痕跡の西寄りに，一辺0.7m，深さ0.5mの土壙があり，これがもとの井戸の規模に近い。砥石・土釜・鎌柄が出土。土器によれば12世紀頃のもの(fig. 138)。

〔木器番号〕*0703*

〔文　　献〕前掲　佐藤「木製品」p. 76

35　馬寮の建物SB5955（6ADD-P区　51次調査）

馬寮の官衙域(宮西辺部において，西面中門と西面南門とにはさまれた東西84m，南北約250mの区域)の東部にある掘立柱建物。桁行8間(19.2m)，梁間2間(5.9m)の南北棟で，北に2間分の馬道を介し，東側柱筋をそろえた8間×2間の南北棟SB5956につらなる。基準尺の相違から，当初にSB5956を建て，後に南へSB5955を付加したことがわかる。東側柱筋の南から2番目の柱掘形から曲物が出土した。時期は馬寮開設時の8世紀前半(fig. 139)。

〔木器番号〕*3217*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「昭和43年度平城宮発掘調査概報」『奈良国立文化財研究所年報 1969』(1969 年) p. 34〜37

36　馬寮の井戸SE6166（6ADC-K区　52次調査）

馬寮官衙域内にある方形横板組の井戸。一辺 2.7m の方形掘形内の中央やや南寄りに，長さ1.3m，幅25cmの長方形の板を井籠組にする。井戸枠は10段をのこし，井戸の埋土から平城宮土器Vの土師器・須恵器，鉄製鋤先，斎串・曲物などの木器が出土した(fig. 139)。

〔木器番号〕*3306, 4619, 4628, 4712, 4824, 6701*

〔文　　献〕同　上

37　馬寮の土壙SK6509（6ADC-G区　63次調査）

馬寮官衙域の北限を画する東西道路SF6475上に掘られた土壙。現代の井戸によって，南側を大きく破壊され，規模は不詳。埋土から11世紀末の瓦器とともに，軛が出土した(fig. 139)。

〔木器番号〕*1209*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・飛鳥藤原宮跡発掘調査」『奈良国立文化財研究所年報 1971』(1971 年) p. 24〜27

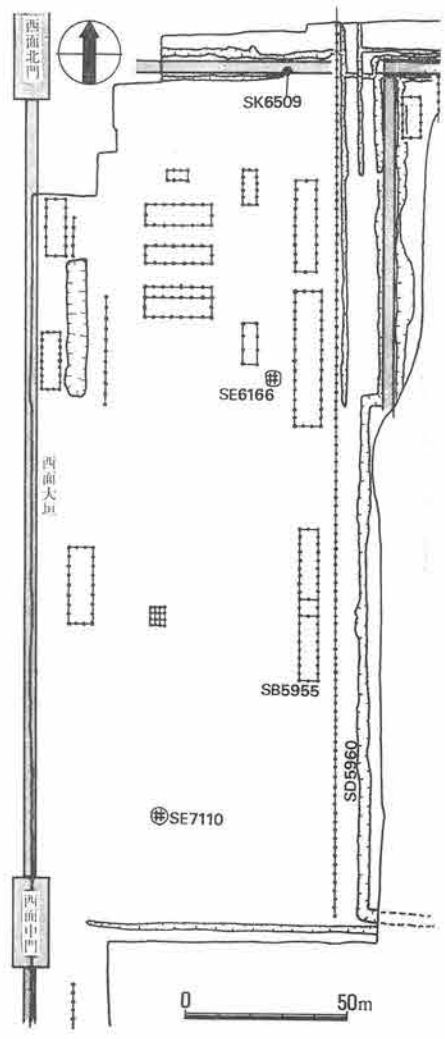


fig. 139　平城宮跡馬寮遺構略図

38　馬寮の井戸SE7110（6ADD-Q区　71次調査）

馬寮官衙域内にある井戸。掘形は3段をなし，上段は東西 2.6m，南北 3.3m，深さ 0.7m，中段は上段掘形の南寄りに東西2.2m，南北2.4m，深さ0.4mの矩形に掘込み，下段は中段掘形の中央西寄りに径1.0m，深さ0.6mの円筒形に掘込む。下段の底部から，曲物が出土した。8世紀後葉の建物SB6100の柱穴に重複しているので，9世紀前葉にぞくする(fig. 139)。

〔木器番号〕*3402*

〔文　　献〕同　上

39　若犬養門地区の園池SG10240（6ACU-D区　133次調査）

南面西門(若犬養門)の西北14mに位置する園池。東西約22m，南北6〜10mの範囲を検出したが，さらに北と西へのびている。秋篠川旧流路の窪地を利用して作られたもので，10世紀初頭まで存続。深さ約1.5mで，南岸を杭・シガラミで護岸する。底に何個所か深い窪みがあり，土器・瓦・木簡・木器などの遺物が出土した(fig. 137)。

〔木器番号〕*4524, 4912*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮大極殿後殿・若犬養門の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1982』(1982年) p. 9〜10

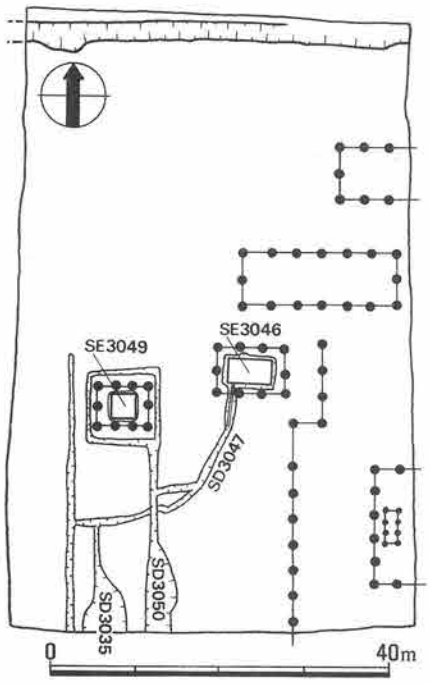


fig. 140　平城宮跡宮内省造酒司遺構略図

40　宮内省造酒司の溝SD3035（6AAC-V区　22次北調査）

内裏の東方に位置し，東西に並ぶ大型の浅い井戸２基と，その東と北に付属する建物群を宮内省造酒司に比定する。SD3035 は西側の井戸 SE3049 の南にある南北方向の溝。ただし，土壙の一部かもしれない。幅0.5 m～0.7 m，深さ 20 cm前後で，南部分は水溜り状に広がり，南へのびている。霊亀２年(716)～天平勝宝８年(756)の紀年木簡や造酒司関係の文書木簡をはじめとする 562 点の木簡，「酢」「酒」などと記した墨書土器をふくむ土師器・須恵器とともに，木器が出土した(fig. 140)。

〔木器番号〕*3204, 3213, 3504, 3814, 3904, 3919, 4107, 4303, 4306, 4412, 4522, 4803, 4823, 5728, 5734, 6008, 7003, 7216*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1965』p. 38

41　宮内省造酒司の井戸SE3049（6AAC-U区　22次北調査）

宮内省造酒司の井戸２基のうち西側にある方形横板組の井戸。３間×２間（6.3 m×4.2 m）の東西棟掘立柱建物SB3408(覆屋)の中央にある。覆屋の周囲には，幅 50 cm，深さ 20 cm内外の溝が方形(一辺 8.4 m)にめぐり，溝の内側は人頭大の石と堰板とで護岸する。覆屋内はバラスを敷きつめ，南辺中央には凝灰岩切石を敷き並べて，井戸に至る通路にする。井戸本体は，方 4.5 m，深さ 1.2 m の掘形内の東西に，長さ2.9 m，幅24 cm，厚さ５cm の長方形の板を並べ，その内側に木口面を接して，長さ 2.7 m，幅 24 cm，厚さ５ cmの板を南北に立てる。内法は方 2.7 m。各辺の外側は，やや短かい長方形の板で補強する。井戸枠は２段をのこす。井戸の埋土から人形・部材などの木器が出土した(fig. 140)。

〔木器番号〕*6821*

〔文　　献〕同　上

42　宮内省造酒司の溝SD3050（6AAC-U・V区　22次北調査）

造酒司の西井戸 SE3049 の周囲をめぐる溝の 南東隅から発し，南流する溝で，長さ18 mを検出した。上下２層にわかれ，上層溝は幅 80 cm，深さ 20 cm の素掘り溝で，東井戸 SE3046 からの排水溝 SD3047 が合流した部分では側板で護岸する。天平４年(732)・宝亀元年(770)の紀年木簡をふくむ14点の木簡や，「酒司」「造酒」などの墨書土器とともに，箸・杓子・曲物などが出土した。下層溝は幅 50 cm で，木簡２点と，曲物・箸などの木器が出土(fig. 140)。

〔木器番号〕*2408, 3912*

〔文　　献〕同　上

43　東院西辺地区の溝SD3113（6AAF-K，6ALR-Q区　22次南・128次調査）

平城宮東部の東一坊大路北延長地帯は，遷都当初は宮域外であったらしい。しかし，８世紀前半代に東方へ半坊分拡張して東院を形成する。当初，東一坊大路の北延長をとりこんで東院の西限を設けるが，後に，東一坊大路の北延長を，小子門（東張り出し部南面西端の門）から北進する宮内道路にあて，東院の西限は東へ移動する。

SD3113 は，東院の西限が東へ移動する以前の排水路で，第22次南調査区では南流し，第128次調査区では進路をやや南西に向ける。上下２層にわかれ，上層の溝は幅0.9 m，深さ0.2 m，下層の溝は幅 1.7 m，深さ 0.3～0.5 m の素掘り溝である。堆積土から天平勝宝８年(756)の紀

年木簡をふくむ9点の木簡，大量の檜皮とともに，曲物・杓子・櫛・挽物盤・折敷・箸などの木器が出土した(fig. 141)。

〔木器番号〕*2702*

〔文　　献〕同　上

平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城宮跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報1981』(1981年) p. 17～21

44　東院西辺地区の土壙SK3137・SK3139（6AAF-J区　22次南調査）

小子門から北進する宮内道路の東10mにある南北に並ぶ土壙。北土壙SK3139は，南北10m，深さ15～24cm，南土壙SK3137は南北9m，深さ23～27cmで，幅は両土壙とも2m。両土壙は南北溝SD3155の上にあり，瓦・土器・檜皮などとともに，天平宝字3年(759)・景雲4年(770)の紀年木簡をはじめとする木簡9点や，和同開珎・神功開寶，曲物・挽物盤・有孔円板・漆塗高杯・糸巻・工具柄・算木などの木器が出土した(fig. 143)。

〔木器番号〕SK3137；*2414*，*2448*，*2504*，*2511*，*4106*，*6705*，
SK3139；*3803*，*3806*，*4402*，*6716*，*6717*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1965』p. 38～40

45　東院西辺地区の溝SD3154（6AAF-J区　22次南調査）

東北から南西に向けて斜行する素掘り溝。幅2.0～2.5m，深さ40cmで，溝内には周囲を玉石積にした径2mの会所がある。堆積土から，天平19年(747)の紀年木簡をふくむ41点の木簡や，曲物・有孔円板・糸巻・鳥形などの木器が出土した(fig. 141)。

〔木器番号〕*1106*，*2513*

〔文　　献〕同　上

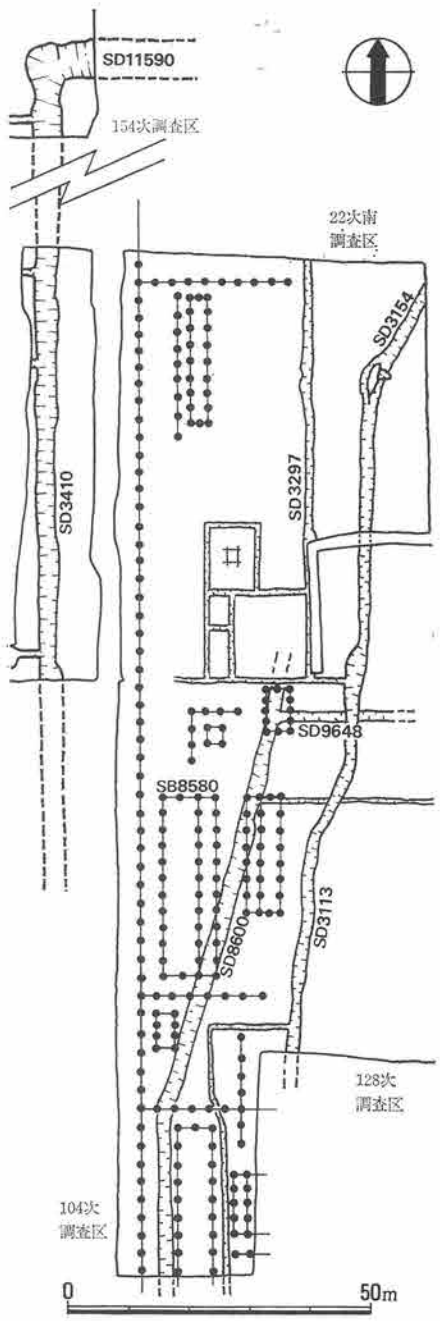


fig. 141　平城宮跡東院西辺地区遺構略図(1)

46　東院西辺地区の溝SD3236(6AAF-N・O・P，6ALR-S・T・U区　22次南・104次調査)

素掘りの南北溝。東一坊大路西側溝のほぼ北延長上に位置し，ある時期に小子門から北進する宮内道路の西側溝として機能した。総長約170mを確認している。2回の改修があり，3時期にわけられる。最も古いSD3236Aとそれに続くSD3236Bは幅2mで，Aでは西岸の一部，Bでは両岸の一部に丸杭を打ち込んで護岸する。最も新しいSD3236Cは，幅0.9～1.2mの小規模な溝。A～Cから出土した土器には顕著な時期差はなく，平城宮土器Vを主体とする。天平勝宝年間から宝亀6年(775)までの紀年木簡をふくむ190点以上の木簡，平城宮瓦編年第Ⅲ期を主体とする瓦，金属器とともに，木器が出土した(fig. 142・143)。

〔木器番号〕*3311*，*6019*，*7113*

〔文　　献〕同　上

前掲『奈文研年報1978』p. 23～25

47　東院西辺地区の土壙SK3264・SK3265・SK3271（6AAF-O区　22次南調査）

東一坊大路路面敷の北延長上，掘立柱東西棟SB3288の南東付近に散在する土壙群。径0.4～1.6mで，埋土から天平勝宝7年(755)の紀年木簡をはじめとする27点の木簡や，人形・糸巻などの木器が出土した(fig. 142)。

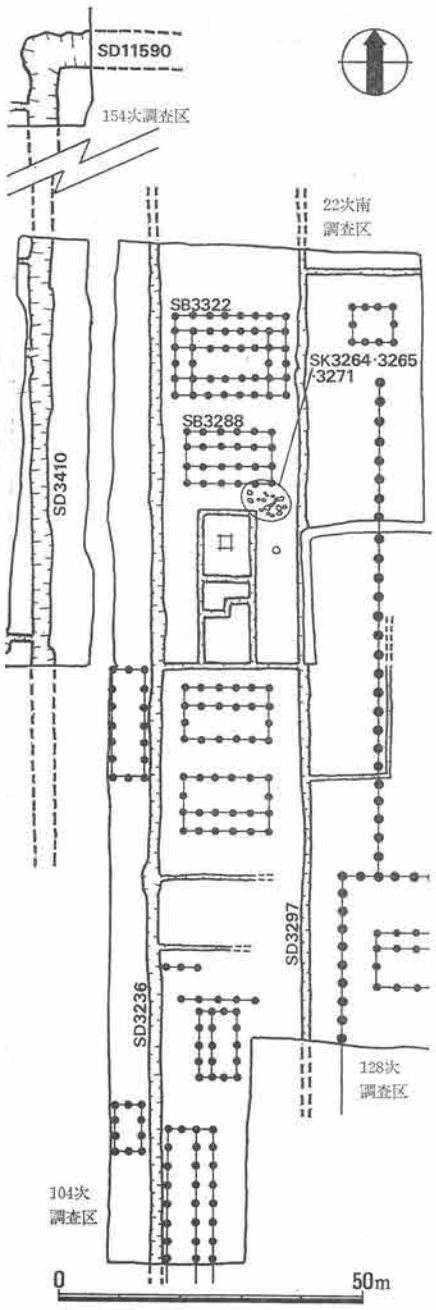


fig. 142　平城宮跡東院西辺地区遺構略図(2)

〔木器番号〕*5513*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1965』p. 38～40

48　東院西辺地区の溝SD3297（6AAF-N・O・P，6ALR-Q区　22次南・128次調査）

素掘りの南北溝。東一坊大路東側溝のほぼ北延長上に位置し，総長約130ｍを検出。新旧2時期あり，古い時期の溝 SD3297A は，局地的な排水路として機能したが，東院西辺地区の再整備にともない，新たに SD3297B を設け南へ延長する。この溝の廃絶後，やや東寄りに南北塀SA5760を設け，小子門から北進する宮内道路と東院地区西限とがととのう。SD3297B は幅1.2m，深さ 20 cm で，第22次南調査区では，部分的に玉石で護岸する。SD3297B から天平勝宝年間の紀年木簡，新古両溝あわせて44点の木簡とともに，多数の木器が出土(fig. 142)。

〔木器番号〕*1311*，*2503*，*2602*，*4410*，*5201*，*5729*，*6815*

〔文　　献〕同　上

前掲『奈文研年報 1981』p. 17～19

49　東院西辺地区の建物SB3322（6AAF-N・O区　22次南調査）

東一坊大路路面の北延長上にある東西棟掘立柱建物。7間×5間（18.9ｍ×13.5ｍ）で，四面庇と北側に孫庇とがつく。東妻の南から2番目の柱掘形の埋土の最上層にたまった褐色砂から45点の木簡，東北隅の柱穴から栓状木器が出土した(fig. 142)。

〔木器番号〕*6913*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1965』p. 38～40

50　東院西辺地区の建物SB8580（6ALR-U区　104次調査）

11間×3間（29.7ｍ×9.0ｍ）の東庇付掘立柱南北棟建物。身舎南妻柱の抜取痕跡から，天平十□年の紀年木簡2点が出土し，墨絵を描いた板や杓子などの木器が共伴した(fig. 141)。

〔木器番号〕*7017*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1978』p. 23～25

51　東院西辺地区の溝SD8600（6ALR-S・T・U区　104次調査）

北々東から南々西に向けて斜行する溝。平城宮遷都当初に機能するが，東院西辺地区の整備によって埋立てる。南端部分で，後の南北溝SD3236が重複。溝幅は平均3ｍ，深さ0.6ｍで，全長約92ｍを検出した。両岸をシガラミで護岸する。溝の埋土および上部の木屑層から，和銅の紀年木簡9点をふくむ125点の木簡，平城宮土器Ⅰ・Ⅱの土師器・須恵器とともに，木器が出土した(fig. 141)。

〔木器番号〕*6707*，*6921*

〔文　　献〕同　上

52　東院西辺地区の溝SD9648（6ALR-Q区　128次調査）

溝 SD8600 に東方から合流する東西溝。幅 1.4ｍ，深さ 0.5ｍ で，両岸をシガラミで護岸する。調査区内で約18ｍを検出したが，東は削平されてのこっていない。木簡2点，曲物・人形・部材などの木器が出土した(fig. 141)。

〔木器番号〕*7111*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報1981』p. 17〜19

53　東院西辺地区の溝SD9649（6ALR-Q区　128次調査）

東院地区の西限を画する南北築地SA5760の東雨落溝SD3109に東から合流する東西溝。幅1.3m，深さ0.2mで，削平されて両岸の護岸施設を失なうが，底に20〜30cm大の玉石を敷く。檜皮と粘土とで埋立てている。刀柄・曲物・人形などの木器が出土した(fig. 143)。

〔木器番号〕*0227*

〔文　　献〕同　上

54　東方大溝SD3410（6AAF-A・B，6AAE-C，6AAG-M，6AAH-C，6AAI-C，6AAD-C区　22次南・29次・32次補足・154次調査）

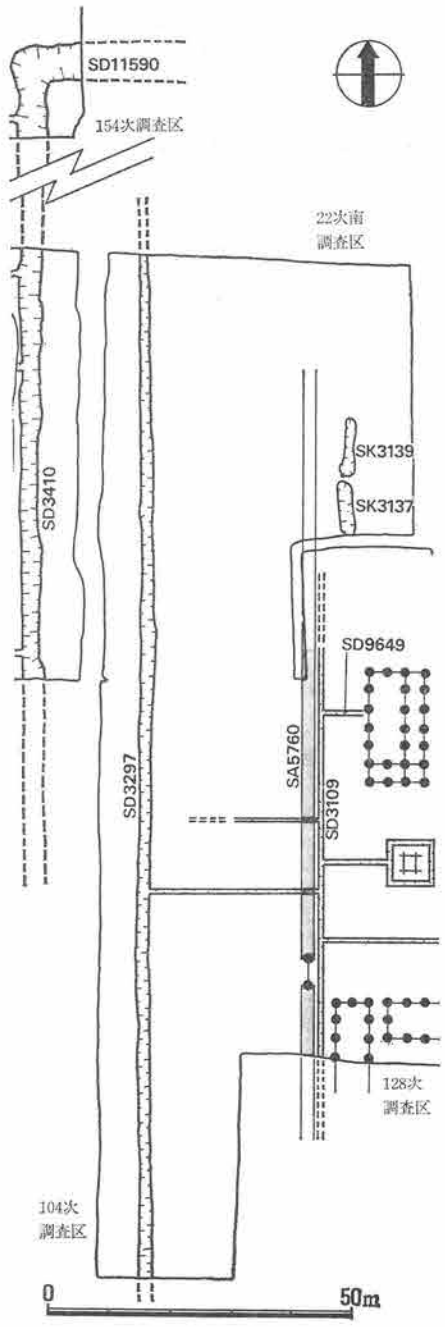
第2次朝堂院の東方約150mにある南北溝。東院地区のほぼ中央を西流する東西溝SD11590を受けて南に折れ，第2次大極殿院および第2次朝堂院の東方官衙地区の東限を画して南下，曲折部の東面大垣の西側を南流して，宮域の南限で二条大路北側溝SD1250に合流する。全長約650mである。幅3〜4m，深さ0.5〜1.5mで，SD1250との合流点付近では幅5.5mにひろがる。当初は素掘りであったが，第22次南・154次調査区では，後に西岸を玉石積や杭列で護岸。溝の堆積土は2〜3層にわかれ，多量の木簡・瓦・土器・木器が出土。8世紀(fig. 141〜144)。

〔木器番号〕*0202，0222，1923，2217，2407，2438，3010，4011，4021，4030，4502，5402，5403，5739，6605，6912，7231*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1965』p. 38〜40

前掲『奈文研年報 1967』p. 36・37

前掲『昭和58年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』p. 27〜33



ig. 143　平城宮跡東院西辺地区遺構略図(3)

55　宮域東南隅の溝SD4100A（6AAI-C区　32次補足調査）

二条大路に面する宮域東南隅において，南面大垣SA1200の内側に接して西から東へ流れる溝。SA1200の北雨落溝あるいは南面大垣の内側を東西に走る宮内道路SF1761の南側溝。幅約3m，深さ0.4〜0.9mの素掘り溝で，長さ約50mを検出し，さらに西へのびている。東端は南北溝SD3410に合流する。堆積土から，神亀5年(728)〜宝亀元年(770)の紀年木簡をふくむ13,140点の木簡，土器・瓦・金属器・木器が出土した(fig. 144)。

〔木器番号〕*0206，0308，1913，4503，4504，4507，5601，5602，5801*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1967』p. 36・37

56　東南入隅東面外濠SD4951（6AAI-M・N・O，6ALS-J，6AFJ-V・H区　32・39・118-8次調査）

東一坊大路の西側溝で，宮域の東面外濠をかねる。第32次調査区では宮東南隅の二条大路との交叉点，第39次調査区では小子門の南で宮域内の排水を受ける部分，第118-8次調査区では，左京三条一坊十五坪の西端部分を検出した。幅3.5〜10m，深さ1.2m前後の素掘り溝で，二条大路との交叉点には，橋SX4020がある。690点の木簡，瓦・土器，金属器・石製品・木器が出土した。第118-8次調査の土器は，平城宮土器Vを主体とする。8世紀後葉(fig. 144)。

〔木器番号〕*0102, 0209, 1009, 1018, 1902, 1910, 1937, 2218, 3108, 4022, 4203, 4219, 4904, 4925, 5716, 5723, 6007, 6017, 6608, 6610, 6819, 6910, 7232*

〔文　　献〕平城宮跡発掘調査部「昭和40年度平城宮跡調査概報」『奈良国立文化財研究所年報 1966』(1966年) p. 36～39

前掲『奈文研年報 1967』p. 42～45

平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城宮跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1980』(1980年) p. 33・34

57　東南入隅の東面外濠迂回路SD5050・SD5100 (6ALS-J区　39次調査)

SD5100は，東一坊大路の西側溝SD4951を，小子門SB5000の造営にともなって，西へ一部迂回させた溝。両岸を杭と側板とで護岸しており，両側板間の幅 1.5 m，深さ 0.8 m をはかる。SD5100 の設置にともなって廃絶した旧流路(SD4951 の一部)から，養老3年(719)～神亀2年(725)の紀年木簡，SD5100 の堆積土から，神亀5年(728)～神護景雲年間の紀年木簡が出土しており，開鑿の時期は神亀年間のことと推定される。SD5100 は小子門の西北で東へ急角度で屈曲するが，後になって屈曲が穏やかな SD5050に改修される。SD5050も両岸を杭と側板とで護岸しており，底に径20～30cmの玉石を敷き，両側板間の幅1.2 m，深さ0.2 m。SD5100からは，55点の木簡とともに人形・杓子・部材・琴柱・鎌柄・火鑽板などの木器，SD5050 からは，31点の木簡とともに人形・二官八省名を習書した檜扇などが出土した(fig. 144)。

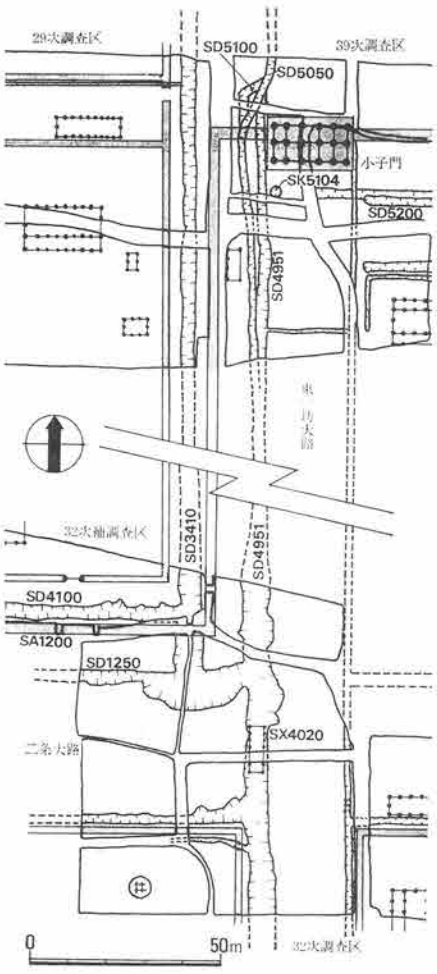


fig. 144　平城宮跡東入隅部遺構略図

〔木器番号〕SD5050；*4906*　　SD5100；*5706, 6401*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1967』p. 42～45

58　宮域東南入隅の土壙SK5104 (6ALS-J区　39次調査)

小子門SB5000の西南，東一坊大路西側溝SD4951の東にある南北に長い楕円形土壙。長径2.2 m，短径2.3 m，深さ0.7 mで，檜皮・釿のはつり屑，作門所に関する木簡をふくむ5点の木簡，建築部材の残欠，斎串などが出土。SB5000造営時の塵芥処理用の土壙(fig. 144)。

〔木器番号〕*4610*

〔文　　献〕同　上

59　東院の園池SG5800B (6ALF-J・K・L・P区　44・99・120次調査)

東院の東南隅にある園池。南北約 60 m，東西約 60 m で，鉤の手状に複雑に屈曲した汀線をもつ。上下2層にわかれ，下層園池 SG5800A は汀線に沿って幅 2～6 m にわたり，径 30 cm 前後の扁平な安山岩を敷き詰め，水深は 50 cm 内外。上層園池 SG5800Bは東北隅を東へ拡張し，池底の全面に玉石を敷き，中島・景石・橋・釣殿風建物などを設け，水深は 30 cm 内外。下層園池の造成は8世紀前葉，上層園池への改作は天平勝宝年間，園池廃絶は9世紀前半と推定される。木器は上層のSG5800Bから出土(fig. 145)。

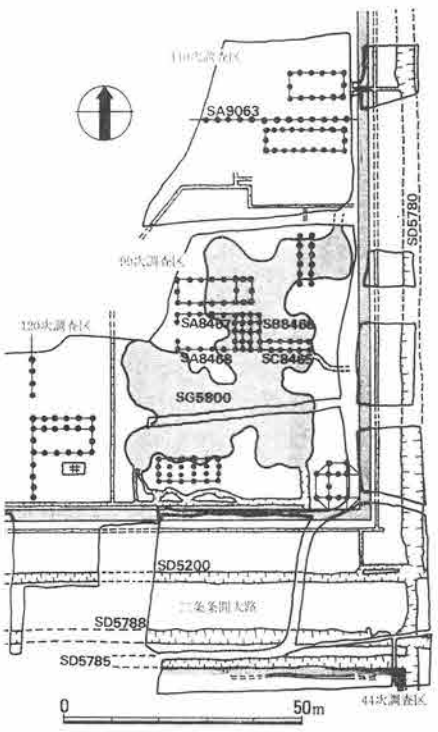


fig. 145　平城宮跡東院東南隅遺構略図

〔木器番号〕*1108, 1912, 2703, 4018, 4020, 4214, 5816, 6304, 6807, 6809, 6812, 7009, 7016, 7226, 7238*

〔文　　献〕「調査研究概況」『奈良国立文化財研究所年報 1968』(1968年) p. 38・39

前掲『奈文研年報 1977』p. 24～28

前掲『奈文研年報 1980』p. 27～30

60 東院園池の桟敷様施設SB8466（6ALF-J・K区 99次調査）

上層園池 SG5800B の西岸で，池中にのびる桟敷様施設。4間×3間の総柱の掘立柱南北棟で，岸辺の柱囲い SA8467・SA8468・SA8469 の東延長に建つ。桁行は，端間 1.5m，中央2間が3mだが，東側柱の南端間は2.4mと広く，園池東岸へ通ずる渡廊 SC8465 と柱を共用する。梁間は西1間が1.5m，他は2.4mである。柱掘形には鬼瓦・凝灰岩切石を敷く。ただし，西側柱の南北両端から各2個目の柱は礎石立。柱掘形から斎串・くさび・栓などの木器が出土した。収録した黒漆塗薄板は南西隅の柱穴から出土(fig. 145)。

〔木器番号〕*6801, 6802*

〔文　献〕前掲『奈文研年報 1977』p. 24～28

61 東院の木塀SA9063（6ALF-I区 110次調査）

園池SG5800の北方にある掘立柱東西塀。南面大垣の心から北 100.5mの位置にある。10尺等間で12間分を検出し，さらに西へのびている。東は東面大垣近くまで検出したが，大垣へのとりつき状況は不明。柱掘形の埋土から，杓子・折敷・箸などの木器が出土した(fig. 145)。

〔木器番号〕*4226*

〔文　献〕平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城宮跡の調査」『奈良国立文化財研究所年報 1979』(1979年) p. 21～23

62 東面外濠SD5780（6ALF-D・E・F・H, 6ALG-A・B, 6ALH, 6AFI-R区 44・68・99・118-23・123-26次調査）

東二坊坊間大路の西側溝で，第44・99次調査区では，東院地区東面外濠をかねている。第68・123-26・118-23次調査区では，左京二条二坊六坪・五坪，左京三条二坊七坪における南延長を確認。溝の規模は場所によって差がある。第44次調査区の二条条間大路の北では幅 4～6m，深さ0.5mの素掘り溝，二条条間大路を横断する部分では，古くは幅4mの素掘り溝だが，後に杭と側板とで護岸して，幅1.2mに縮小する。第68次調査区では幅3m，第123-26・118-23次調査区では幅2.5m，深さ1m弱，第123-26次調査区では，西岸をシガラミで護岸する。第44・99次調査区では天平15年(743)～20年の紀年木簡をふくむ600点以上の木簡と土器・瓦，第68次調査区では宝亀2年(771)の紀年木簡をふくむ79点の木簡や三彩瓦・土器，第123-26次調査区では神亀4年(727)の紀年木簡をふくむ18点の木簡，平城宮土器Ⅲを主体とする土師器・須恵器，緑釉平瓦・帯金具，第118-23次調査区では木簡18点，平城宮土器Ⅰ～Ⅱを主体とする土師器・須恵器などが木器と共伴した(fig. 145)。

〔木器番号〕*0328, 0335, 1903, 4019, 5730, 6903*

〔文　献〕前掲『奈文研年報 1968』p. 38・39
前掲『奈文研年報 1971』p. 27
前掲『奈文研年報 1977』p. 24～28
奈良国立文化財研究所「左京三条二坊七坪の調査（第 118-23 次)」『昭和56年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』(1980年) p. 29
前掲『奈文研年報 1981』p. 27

63　東院南面外濠SD5200（6ALS-D・G，6ALF-F・M・Q区　39・44・120次調査）

二条条間大路の北側溝で，東院地区の南面外濠をかねる。新旧の2時期があり，古い時期の溝は，幅2.4m，深さ0.5mの素掘り溝で，東一坊大路を横切って，SD4951に接続する(第39次調査区)。新しい時期の溝は，古い時期の溝よりも南へ約3mずれた位置にあり，東一坊大路の東端から始まり(第39次調査区)，東二坊坊間大路の西側溝SD5780に合流する(第44次調査区)までの全長約230mを確認。径20～30cmの玉石で両岸を護岸し，幅2～3m，深さ0.6m。新旧両溝あわせて木簡約200点と木器が出土(fig. 145)。

〔木器番号〕*2514*，*6902*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1967』p. 42～45
前掲『奈文研年報 1968』p. 38・39
前掲『奈文研年報 1980』p. 27～30

64　南面外濠SD1250（6AAI-N，6AAY-C・F，6ABZ-E，6ACU-E・H，6ABY-L区　32・122・130・133・143次調査）

二条大路の北側溝で，平城宮の南面外濠をかねる。第32次調査区では，東一坊大路西側溝SD4951および東方大溝SD3410との合流点，第122次調査区では南面東門(壬生門)前，第130・143次調査区では朱雀大路東側溝SD9920および同西側溝SD10950との合流点，第133次調査区では南面西門(若犬養門)前において確認した。このほか，第14次調査区(6ADH区)でも，その北肩を検出。幅3.0～4.2m，深さ0.6～1.2mの素掘り溝であるが，宮域内からの排水路(SD3410，SD10250)を受ける部分では，幅が著しく拡大し，杭で護岸する。また，壬生門前では，東西約32mにわたって，両岸に人頭大の石を積んで護岸する。大量の木簡・土器・瓦・金属器・木器が出土し，とくに壬生門前では，霊亀4年(718)～天平6年(734)の紀年木簡とともに，200点以上の人形をふくむ形代類が出土した(fig. 137・144・146)。

〔木器番号〕*0204*，*1938*，*2106*，*4104*，*4406*，*4613*，*4821*，*4910*，*4911*，*5304*，*5413*，*5504*，*5505*，*5506*，*5514*，*5605*，*5607*，*5613*，*5809*，*5911*，*6005*，*6204*，*7234*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1967』p. 42～45
前掲『奈文研年報 1981』p. 14～16
前掲『奈文研年報 1982』p. 9・10
前掲『奈文研年報 1983』p. 2・ 3

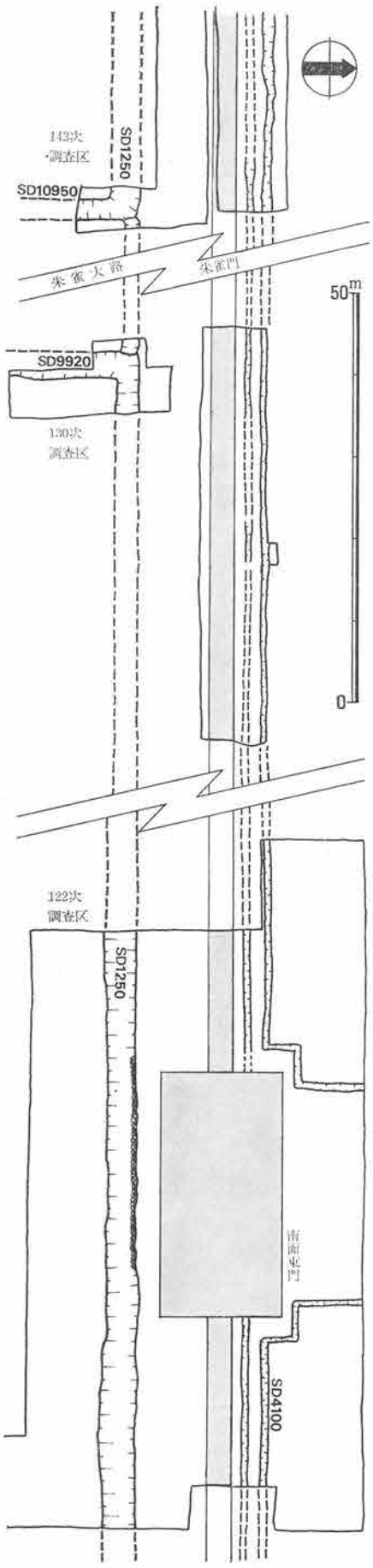


fig. 146　平城宮跡南限遺構略図

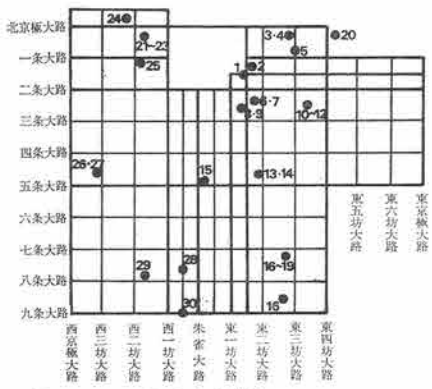


fig. 147　平城京条坊概念図

65　平城宮内で出土遺構未確認の木器

6AAI区；*0120*　　6AAC区；*1904*，*7125*　　6AAG区；*3109*，*3706*，*6602*，
6ADI区；*3202*　　6AAB区；*3209*　　6ALS区；*6517*

M　平城京跡　へいじょうきょう

平城京を構成する条坊の発掘調査は近年著しく進展し，奈良市教育委員会・奈良県立橿原考古学研究所，奈良国立文化財研究所が発掘の任にあたっている。以下の遺構解説でとくに調査機関を明記していないのは，奈良国立文化財研究所が調査したもの。木器は大路の側溝あるいは条坊内の溝・井戸などで発見される場合が多く，出土状況は宮域内と大差ないが，木器の種

類や組成・質・量の比較は今後の課題である。低地の左京のほうが出土量が多い(fig. 147)。

1 左京二条条間大路の南側溝SD5785・SD5788(6ALG-A・C, 6ALF-Q区 44・120次調査)

平城宮東院の南側にあたる二条条間大路南側溝。SD5785は平城京造営当初の溝。のちに北へ移動し，3回にわたって改作する(SD5788・SD5787・SD5786)。SD5785 は幅 2.5 m，深さ 0.3〜0.6 mの素掘り溝。SD5788 は幅 3 m 以上，深さ 0.5 mの素掘り溝で，玉石で護岸したSD5787が南岸を破壊している。SD5785からは和銅 7 年(714)の紀年木簡と木器が出土(fig. 145)。

〔木器番号〕SD5785；*0302, 1931, 4509, 7124, 7229*

SD5788；*1905, 4404*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1968』p. 38・39

前掲『奈文研年報 1980』p. 27〜30

2 法華寺南限の溝SD03 (6BFK-D区 123-4次調査)

平城宮東院の東は，本来，藤原不比等の邸宅で，のちに光明皇后の皇后宮となり，天平17年(745)に宮寺に改められた。これが法華寺のはじまりで，その西南方に天平宝字 3 年(759)，光明皇太后の発願によって着工した阿弥陀浄土院がある。

SD03 は法華寺旧境内の西南隅で検出した東西溝で，北側の掘立柱東西塀とともに，法華寺と阿弥陀浄土院との境界を画する。幅 2.7 m，深さ 0.5 mの素掘り溝で，43点の木簡・瓦・土器とともに，「廣石」の墨書のある曲物・杓子・鳥形・楔・建築部材などが出土(fig. 148)。

〔木器番号〕*6021*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所「法華寺西南隅の調査（第123-4次)」『昭和 55 年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』(1981年) p. 44〜45

fig. 148 平城京跡木器出土地点 (1)
(1：25000 奈良)

3 左京一条三坊十五・十六坪の溝SD485 (6AFB-I・H区 55・56次調査)

左京一条三坊十五・十六坪で 2 坪の敷地をもつ邸宅跡を発掘した。数棟の掘立柱建物があり，その間を SD485 が東西方向から南へと曲尺状に流れる。溝幅は 2 m 内外で，部分的に分流・氾濫し，一部を杭で護岸する。和銅 6 年(713)・霊亀 3 年(717)・養老 7 年(723) の紀年木簡をふくむ33点の木簡，平城宮土器Ⅱの土師器・須恵器・施釉陶器や 116 点の墨書土器・土馬とともに木器が出土した(fig. 149・150)。

〔木器番号〕*0304, 0327, 0719, 1302, 3103, 3308, 4012, 4227, 4506, 4920, 5404, 5742, 5917, 5918, 6709, 6720, 7014, 7114, 7121*

〔文　　献〕黒崎直「木製品」『平城宮発掘調査報告 Ⅵ』奈良国立文化財研究所学報第23冊 (1975年) p. 78〜82

4 左京一条三坊十五坪の井戸SE495 (6AFB-H区 56次調査)

方形縦板組の井戸。一辺 1.8 m，深さ 3.5 m の方形掘形内の各辺に，幅 20 cm 内外の板 6 枚を縦に並べ，方 6 cm の角材で内側に横桟を組んで固定する。整地土との関係などから，8 世紀前葉の年代があたえられる。埋土から斎串・曲物などの木器が出土した(fig. 150)。

〔木器番号〕*3214*

〔文　　献〕同　上

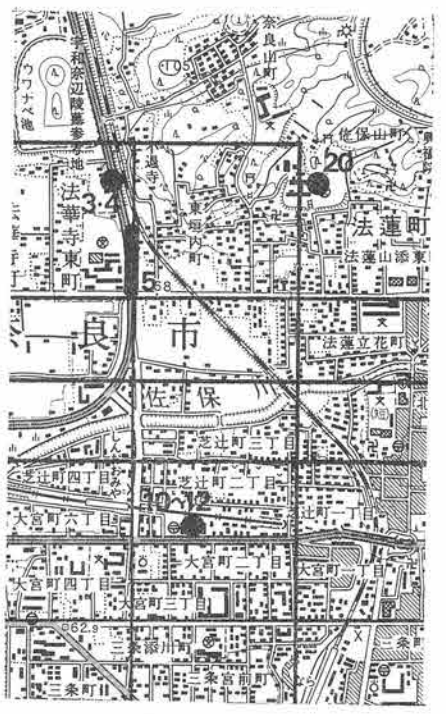


fig. 149 平城京跡木器出土地点 (2)
(1：25000 奈良)

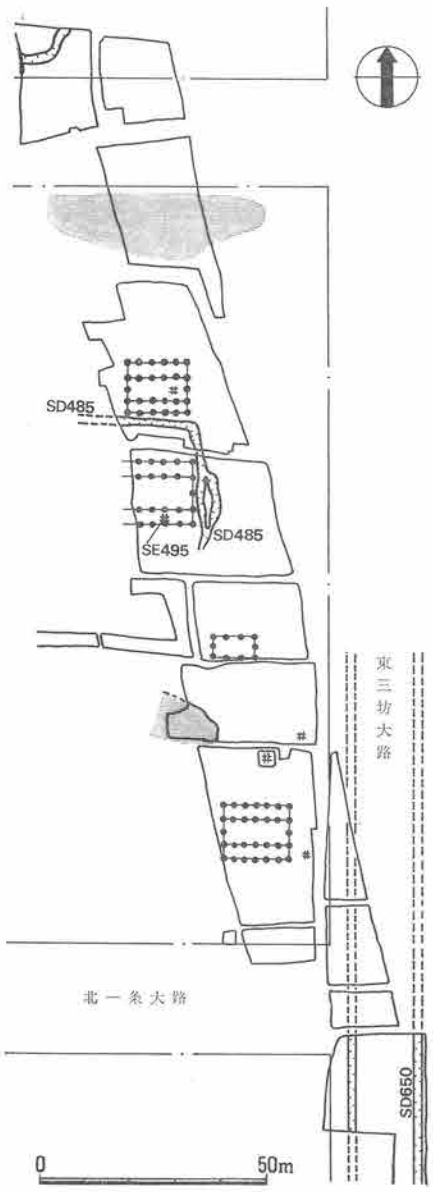


fig. 150　平城京左京一条三坊十五・十六坪遺構略図

5　左京一条三坊東一坊大路の東側溝SD650（6AFB-A～E区　57次調査）

東三坊大路の東側溝。一条大路の北約240ｍの間を検出した。溝は新旧２時期にわかれる。下層の溝SD650Aは幅2.5m前後，深さ1.1m内外の素掘り溝，上層の溝SD650Bは幅２ｍ前後，深さ0.5～0.9ｍで，部分的に杭や石で護岸する。発掘南限の一条大路付近で大きく氾濫している。遺物の多くはSD650Aにぞくし，天長５年(828)の告知札をふくむ33点の木簡，和同開珎から貞観永寶に至るまでの９種の銭貨，土師器・須恵器・施釉陶器・黒色土器・瓦などとともに木器が出土した(fig. 149・150)。

〔木器番号〕*0107, 0111, 0221, 0226, 0231, 0704, 0711, 0716, 0913, 1007, 1102, 1203, 1204, 1205, 1207, 1308, 1926, 2203, 2207, 2213, 2214, 2215, 2216, 2301, 2302, 2303, 2401, 2402, 2403, 2404, 2409, 2410, 2419, 2423, 2440, 2442, 2443, 2444, 2447, 2501, 2605, 2701, 2704, 2708, 3006, 3111, 3115, 3201, 3210, 3307, 3310, 3703, 3704, 3709, 3808, 3903, 3906, 3910, 4007, 4009, 4014, 4230, 4310, 4321, 4409, 4510, 4517, 4733, 4908, 5209, 5415, 5416, 5606, 5608, 5612, 5620, 5701, 5707, 5709, 5743, 5802, 5806, 6020, 6109, 6202, 6203, 6205, 6403, 6414, 6507, 6509, 6513, 6604, 6621, 6622, 6623, 6625, 6706, 6708, 6710, 6813, 6820, 6829, 6830, 6904, 6907, 7008, 7101, 7110, 7120, 7218, 7227*

〔文　　献〕小野昭「漆器」・黒崎直「木製品」『平城宮発掘調査報告Ⅵ』p. 75～78, 83～97

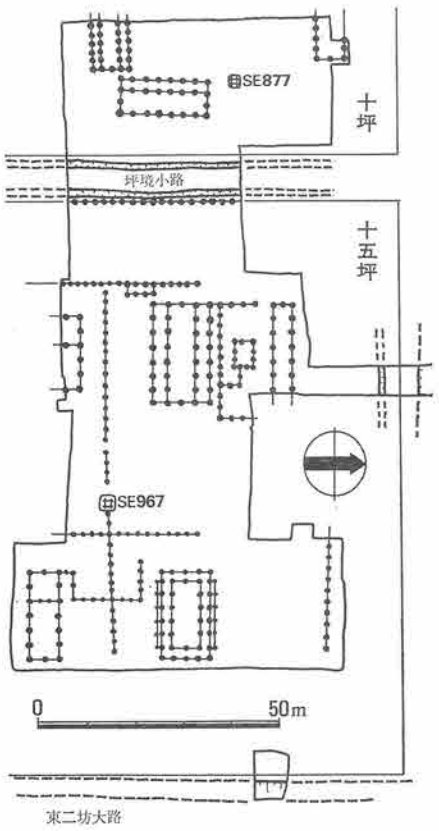


fig. 151　平城京左京三条二坊十・十五坪遺構略図

6　左京三条二坊十坪の井戸SE877(6AFI-H区　83次調査)

左京三条二坊十坪の邸宅の東辺にある方形横板組の井戸。一辺2.3ｍの方形掘形内に，長さ1.1ｍ，幅20～25 cm，厚さ８cm前後の長方形の板を井籠組にし，井戸底には玉砂利を25 cmほどの厚さに敷く。井戸枠は12段がのこり，枠板外面に墨書の番付がある。底の玉砂利のなかから平城宮土器Ⅱの土師器・須恵器小片，井戸埋土から平城宮土器Ⅴの土師器・須恵器とともに，斎串・曲物・木槌・櫛などの木器が出土した(fig. 148・151)。

〔木器番号〕*0106, 3503, 4623*

〔文　　献〕山本忠尚「木製品」『平城京左京三条二坊』奈良国立文化財研究所学報第25冊（1975年）p. 29～31

7　左京三条二坊十五坪の井戸SE967（6AFI-H区　86次調査）

左京三条二坊十五坪は１坪敷の邸宅で，SE967はその中心部にある方形横板組の井戸。一辺3.6ｍの方形掘形内に，長さ1.5ｍ，幅27 cm，厚さ５cmの長方形の板を井籠組にし，さらに鉄釘で固定する。井戸枠は３段をのこし，底に砂利を２～５cmの厚さに敷く。埋土から平城宮土器Ⅴの土師器・須恵器・施釉陶器・瓦とともに，木簡１点，斎串・刳物・挽物盤・曲物・陽物形などの木器が出土した(fig. 148・151)。

〔木器番号〕*2507, 2903, 3406, 4707, 4802, 6107*

〔文　　献〕同　上

8 左京三条二坊六坪の導水路SD1525（6AFI-Q区 96・109・121次調査）

左京三条二坊六坪は1坪敷の邸宅で中央に園池SG1504を設け，西方に建物群を配する。SD1525は北東部の河川から園池に給水する導水路。幅2.5～7.0m，深さ0.4～0.7mの素掘り溝で，園池と同様，六坪の東北から坪の中心部を南流していた旧河川SD1560を再利用する。園池の北でいったん水をため，木樋SX1523をへて園地に導水する。堆積土の下層から，和銅の年紀木簡をふくむ100点余りの木簡，8世紀前半の土師器・須恵器，木器が出土(fig. 148・152)。

〔木器番号〕*0331*, *1003*, *2437*, *5502*, *6407*, *6702*, *6826*, *7236*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』(1976年) p. 17・18

奈良市教育委員会『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』(1980年) p. 9

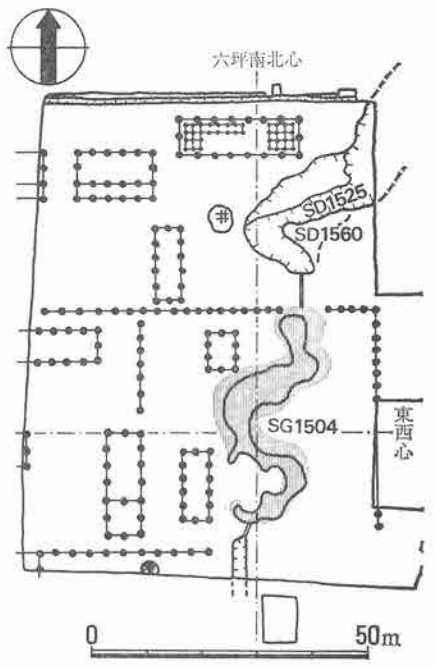


fig. 152 平城京跡左京三条二坊六坪遺構略図

9 左京三条二坊六坪の旧河川SD1560（6AFI-P・Q区 109・121次調査）

左京三条二坊六坪内で，平城京造営以前に存在した河川。六坪の東北から坪の中心部を南流し，幅は約12m(fig. 152)。

〔木器番号〕*0715*

〔文　　献〕同　上

10 左京三条四坊七坪の土壙SK1796（6AFG-N区 116次調査）

左京三条四坊七坪の西南部分 約4分の1を調査し，和同開珎の鋳銭官衙跡を確認した。SK1796は南半部にある円形土壙で，鋳銭工房の廃止後に1坪敷の邸宅として利用した時期のもの。径約4m，深さ0.9m。井戸の可能性もある。「造仏」「左」「別女」などの墨書土器をふくむ平城宮土器Ⅳの土師器・須恵器，装飾棒・刀子柄・斎串などの木器が出土(fig. 149・153)。

〔木器番号〕*3509*, *4520*, *6721*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報』p. 22・23

11 左京三条四坊七坪の井戸SE1801（6AFG-N区 116次調査）

左京三条四坊七坪の南半部にある方形横板組の井戸。鋳銭工房が廃止した後の邸宅にぞくする。1間四方(東西3.3m，南北3.0m)の覆屋SB1800内にある。井戸掘形は2段をなし，上段掘形は東西3.9m，南北3.2m，深さ0.6m，下段掘形は上段掘形の東寄りに，一辺2.2m，深さ0.5mの正方形に掘込んでいる。下段掘形の中央に，長さ1.7m，幅30cm前後の長方形のヒノキ板材を井籠組にする。井戸枠は4段をのこし，内法は東西1.60m，南北1.63m。平城宮土器Ⅴの土師器・須恵器とともに，櫛・斎串などの木器が出土した(fig. 153)。

〔木器番号〕*1807*, *4708*

〔文　　献〕同　上

12 左京三条四坊七坪の土壙SX15（6AFG-O区 116次調査）

左京三条四坊七坪の中央部にある和同開珎の鋳銭工房に関連する焼土土壙31基のひとつ。南北1.8m，東西0.9m，深さ40cmの長方形で，底は2段に掘込んでいる。焼土・木炭とともに，炉壁の残片・和同銭笵・銅滓・るつぼ・ふいごの羽口，平城宮土器Ⅲの土師器・須恵器，曲物・斎串などの木器が出土した(fig. 153)。

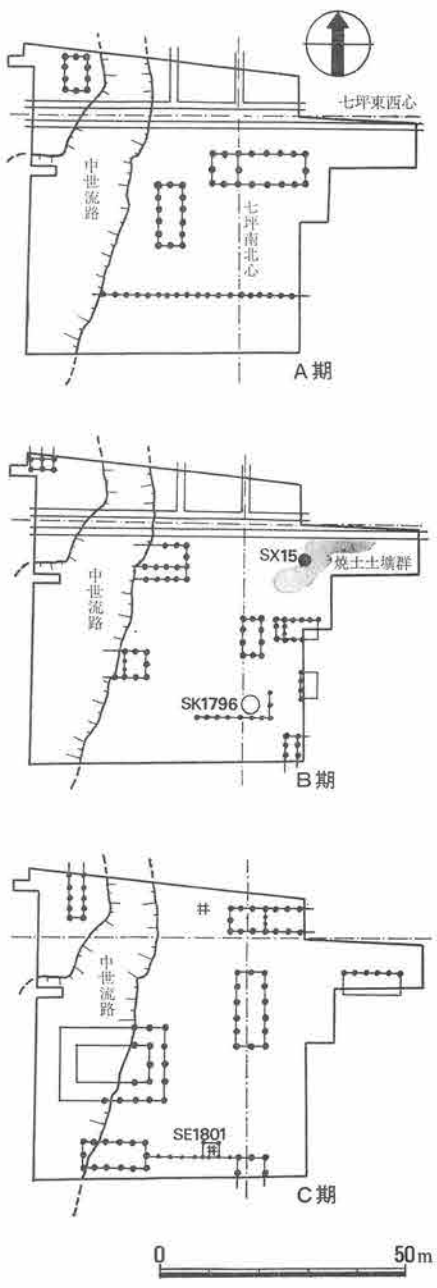
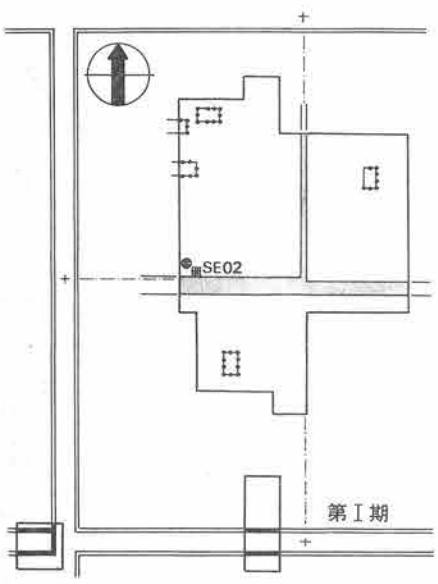


fig. 153 平城京左京三条四坊七坪遺構変遷図



〔木器番号〕*4728*

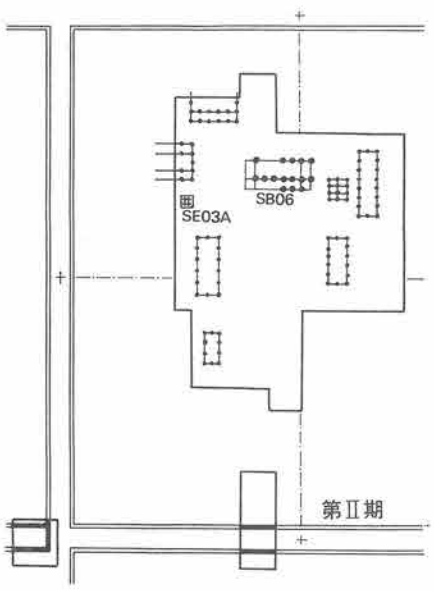
〔文　　献〕同　上

13　左京五条二坊十四坪の井戸SE02（6AFQ-F区　奈良市調査）

左京五条二坊十四坪は8世紀中葉には1坪敷で内裏に似た建物配置の邸宅を形成するが，当初は4分の1坪に区画していた。SE02は当初の遺構で，十四坪西北部の住宅にともなう井戸。1辺1.8m，深さ0.95mの方形掘形の底に，長径（南北）69cm，短径（東西）37cmの曲物をすえる。埋土から平城宮土器Ⅲの土師器・須恵器が出土した(fig. 148・154)。

〔木器番号〕*3601*

〔文　　献〕金子裕之「平城京左京五条二坊二十四坪発掘調査概要報告・木製品」『奈良市埋蔵文化財調査報告書（昭和54年度）』(1980年) p. 32～38



14　左京五条二坊十四坪の井戸SE03（6AFQ-F区　奈良市調査）

左京五条二坊十四坪を1坪敷として利用した時期，正殿SB06・SB14の西に付設した井戸。当初の井戸SE03Aは，一辺3.3m，深さ1.3mの方形掘形内に，長さ137cm，幅25cm内外の長方形の板を井籠組にする。井戸枠は4段をのこし，内法は方1.3m。SE03Aの内側に，後になって方形縦板組の井戸SE03Bをつくる。SE03Bの構築に際しては，SE03Aの内面に沿って，垂直に1.3mほど掘下げ，四隅に長さ1.7m，10cm角の柱を立て，上中下3段に横桟を渡し，その外側に幅15～27cmの板を各辺6枚前後並べる。内法は方1m前後。井戸のなかからは，平城宮土器Ⅵを主体とする土師器・須恵器・施釉陶器，るつぼ・瓦・碁石・ガラス玉，漆器とともに，斎串・独楽・刀子鞘・櫛・檜扇・曲物・釣瓶などの木器が出土した(fig. 154)。

〔木器番号〕*1701，4521，4804，6408*

〔文　　献〕同　上

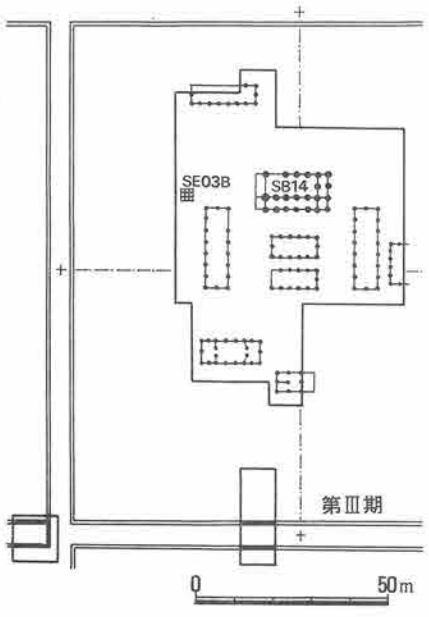


fig. 154　平城京左京五条二坊十四坪遺構変遷図

15　左京五条一坊四坪の井戸SE1081（6AFR-L区　90次調査）

左京五条一坊四坪で四分割の宅地割りを行い，主屋と付属屋からなる遺構を検出した。SE1081は主屋にともなう円形縦板組の井戸。掘形は平面楕円形で，上下2段に掘込む。上段掘形は東西1.8m，南北1.5m，深さ0.9m，下段掘形は東西1.0m，南北0.8m，深さ1.1mで，底に径48cm内外の曲物側板を3段に積み，外側に接して幅20cm内外，長さ1.5m以上の板21枚を2重に立て並べる。なかから少量の瓦や土器片が出土した。8世紀中葉のもの(fig. 148)。

〔木器番号〕*3413*

〔文　　献〕前掲『奈文研年報 1975』p. 22・23

16　東堀河SD1300（6ATI-I・J，6AHN区　93・141-23次調査）

平城京の東堀河。東市北辺の左京八条三坊九坪(第93次調査区)，および左京九条三坊十坪の九条条間路との交叉点（第141-23次調査区）の2個所で確認。第93次調査区では，当初，幅約10m，深さ1.4mの素掘りの溝であったが，後に8mにせばめてシガラミで護岸する。第141-23次調査区では，幅約11m，深さ1.3mの素掘り溝で，改修の痕跡はなく，九条条間路との交叉点に橋SX2350を架ける。堆積土から，8世紀後半～9世紀前葉の土師器・須恵器，人面墨書土器，土馬，金属製品などとともに，木器が出土した(fig. 155・156)。

〔木器番号〕*0805, 1901, 2406, 2436, 2449, 2505, 2506, 2906, 4015, 5002, 5003, 5106, 5401, 5609, 6817*

〔文　　献〕奈良県『平城京左京八条三坊発掘調査概報』(1976年) p. 40・41

奈良国立文化財研究所『平城京東堀川』(1983年) p. 22～24

17　左京八条三坊十坪の小路側溝SD1155 (6ATI-H区　93次調査)

左京八条三坊で宅地ならびに小路の発掘調査を行い，庶民住宅の宅地割りが具体的に判明した。SD1155は九・十坪の坪境小路 SF1160 の南側溝。幅3.4～3.8 m，深さ 1.2 m の素掘り溝で，西流して東堀河 SD1300 に合流。十坪の東半部を東西２等分する位置に，小橋 SX1157 がある。東端で南北の坪境小路 SF1331 を横断する部分は，杭と板とで暗渠 SX1165 にする。堆積土から25点の木簡，８世紀中葉を主とする土師器・須恵器・施釉陶器・古越磁とともに木器が出土した。漆器工房に関連する遺物の多い点が注目される(fig. 155・156)。

〔木器番号〕*0303, 0309, 0310, 0311, 0312, 0313, 1107, 1307, 1906, 2311, 2512, 3215, 3505, 3920, 4204, 4625, 4916, 5604, 6012, 6828, 7004, 7005*

〔文　　献〕前掲『平城京左京八条三坊発掘調査概報』p. 40・41

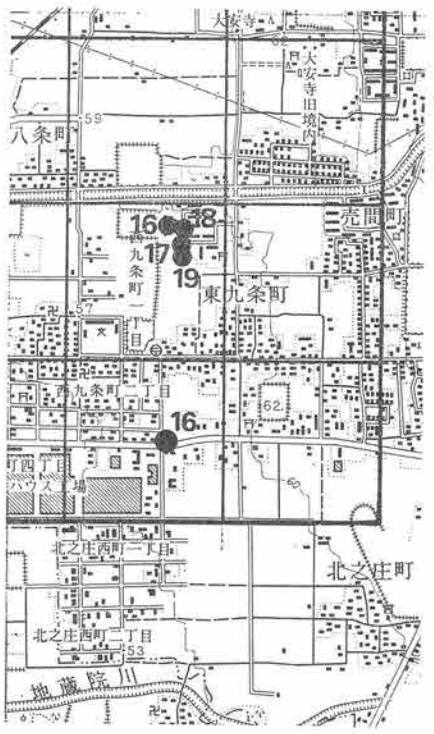


fig. 155　平城京跡木器出土地点 (3)
(1：25000　大和郡山)

18　左京八条三坊九坪の井戸SE1230 (6ATI-I区　93次調査)

左京八条三坊九坪は，当初は８分の１町の宅地割り，のちに北部の１画を16分の１町に細分する。SE1230 は北部の南東にあって，当初および細分後もひきつづいて使われる方形縦板組の井戸。掘形は上下２段をなし，上段掘形は東西2.3 m，南北 2.8 m，深さ0.6 m，下段掘形は上段掘形の北寄りに，東西 1.4 m，南北 1.7 m，深さ 1.0 m の長方形に掘込む。下段掘形の底に 10 cm 角の木材を方形に組んで土台とし，四隅に丸柱を立て，上中下３段に横桟を渡し，外側に幅 5～20 cm の板を羽重ねにして井戸枠とする。内法は方 0.9 m。底から，須恵器・土師器とともに，黒漆塗の薬壺・曲物などが出土した。８世紀後半(fig. 156)。

〔木器番号〕*2434*

〔文　　献〕同　上

19　左京八条三坊十坪の井戸SE1350 (6ATI-G区　94次調査)

左京八条三坊十坪の東辺中央部にある方形横板組の井戸。一辺90cm，深さ3.5 mで，長さ96 cm，幅20cm，厚さ1.5 cm の枠板が８段残存する。掘形底部の四隅に方形柱のあたり痕跡がある。埋土から奈良時代各期の土器が出土し，８世紀後葉まで存続したことがわかる(fig. 156)。

〔木器番号〕*4315*

〔文　　献〕前掲『平城京左京八条三坊発掘調査概報』

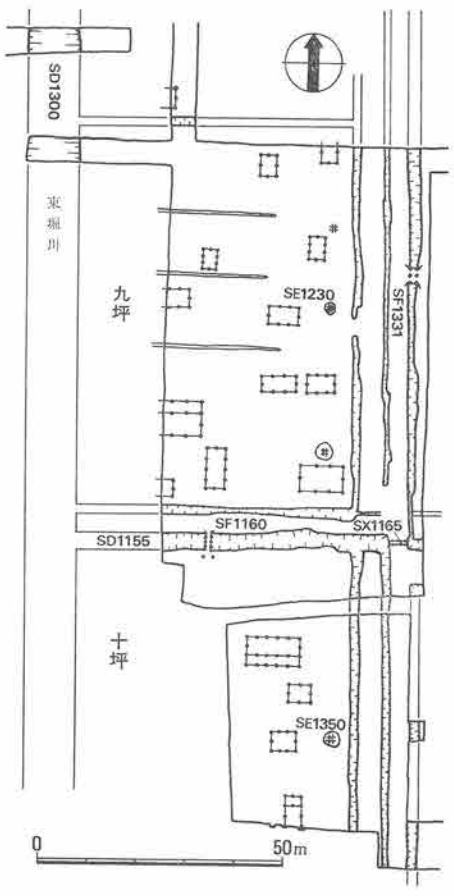


fig. 156　平城京左京八条三坊九・十坪遺構略図

20　左京二条五坊北郊遺跡

奈良市法蓮町の奈良高等学校敷において，1954年に掘立柱建物１棟と井戸１基を発見した。建物は２間×５間以上の規模で，南側に井戸がある。井戸は径約 1.2 m の円形縦板組で20枚の板を用い。底には青灰色砂層があり，上部に土師器・須恵器・瓦塼・土馬・斎串・木履が自然木とともに堆積していた。出土遺物から井戸が８世紀後半に廃絶したことがわかる(fig. 149)。

〔木器番号〕*2001*

〔文　　献〕田中一郎「奈良高等学校校庭発見の１号丸井戸調査概報」『文化史論叢』奈良国立文化財研究所（1955年）p. 139～154

岡幸二郎「木履考」『関西大学考古学研究年報Ⅱ』関西大学考古学研究会（1978年）p. 48～50

fig. 157　平城京跡木器出土地点(4)
（1：25000　奈良）

21　西隆寺跡の土壙状遺構SX033・SX035（6BSR-東門地区　１次調査）

西隆寺は神護景雲年間(767～770年)，稱徳女帝が造営した官営の尼寺。寺地は平城京右京一条二坊九・十・十五・十六坪の４町を占め，南は一条条間大路，西は西二坊大路に面し，西に西大寺，東に平城宮が隣接する。1971年～1973年の６次にわたる発掘調査の結果，金堂・塔・東門および西隆寺造営以前の奈良時代の 掘立柱建物・ 塀・井戸・ 園池や十・ 十五坪の坪境小路，古墳時代の遺構などを検出した。木器は，古墳時代の土壙(SX037)，西隆寺造営以前の奈良時代の井戸(SE080・SE130)，西隆寺関連遺構(SD005・SE010・SX033・SX035)から出土。

SX033・SX035は，西隆寺東門の北側から西へのびる寺内築地SA004と，東門の西方約10mの位置にある南北溝SD005とが交叉する付近(SX033)，およびその西北(SX035)にある。堆積土は木簡・檜皮・土器・瓦・木器などを多量にふくむ黒色土層。西隆寺造営に関する塵芥処理用の土壙の可能性がある。天平神護３年(767)～神護景雲４年(770)の紀年木簡をふくむ西隆寺造営関連の木簡とともに，杓子・糸巻・斎串・挽物盤・箸・部材などの木器が出土(fig. 157)。

〔木器番号〕SX033；*0908*　　SX035；*2604*，*7302*　　出土遺構未確認；*5741*

〔文　　献〕黒崎直「木製品」『西隆寺発掘調査報告』西隆寺調査委員会（1976年）p. 62～66

22　西隆寺跡の土壙状遺構SX037（6BSR-東門地区　１次調査）

西隆寺東門の西北方にある下層遺構。土器溜りとかんがえられるが，遺構の性格は明確ではない。古墳時代の須恵器・土師器とともに，糸巻・太刀把頭などが出土した(fig. 157)。

〔木器番号〕*0911*

〔文　　献〕同　上

23　西隆寺跡の井戸SE130（6BSR-金堂地区　３次調査）

西隆寺金堂基壇の西側にある方形横板組の井戸。東西 2.35 m，南北 1.8 m，深さ 2.0 m の方形掘形内のやや東寄りに，長さ 120～130 cm，幅 20～24 cm の長方形の板を井籠組にする。内法は一辺 0.8 m，井戸枠は６段をのこす。埋土から平城宮土器Ⅲを主体とする土師器・須恵器，斎串・部材などの木器が出土。西隆寺造営以前の住宅にともなう井戸である(fig. 157)。

〔木器番号〕*7116*

〔文　　献〕同　上

24　右京北辺三坊一坪の井戸SE237（6AGS-A区　112-4次調査）

北辺三坊一坪推定地の南寄りにある方形縦板組の井戸。一辺約 2.5 m の方形掘形内の四隅に径 10 cm の丸柱を立て，上下２段に横桟をわたして，下段横桟の外側に幅 25 cm，厚さ 5 cm，長さ 90～100 cm の横板をはめ込み，外側に幅 16～28 cm の板を各辺５枚づつ立てる。内法は方約１m。堆積土から平安時代前期の土師器，曲物・斎串などの木器が出土した(fig. 157)。

〔木器番号〕*4813*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所「北辺三坊の調査（第112-4次）」『昭和53年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1979年）p. 28・29

25　右京二条二坊十六坪の井戸SE540（6AGC-S区　137次調査）

右京二条二坊十六坪内の中央やや西寄りにある方形縦板組の井戸。東西約 2.5 m，南北約 3 m，深さ 2.2 m の不整楕円形の掘形内のやや西寄りに，東西 60 cm，南北 70 cm の井戸枠を設ける。井戸枠は四隅に角柱を立て，上下 2 段に横桟をわたし，その外側に幅 15 cm 内外の板を立てる。掘形の埋土から平城宮土器Ⅱの土器，井戸の堆積土から平城宮土器Ⅲの土師器・須恵器，るつぼ，鉄鏃，木製杓子などが出土した(fig. 157)。

〔木器番号〕*4206*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『平城京右京二条二坊十六坪発掘調査概報」(1982年)p. 23

fig. 158　平城京跡木器出土地点 (5)
(1：25000　奈良)

26　右京五条四坊三坪の埋納施設SX30（6AGQ区-Lトレンチ　100次調査）

右京五条四坊三坪に建つ掘立柱建物の入口で発見された胞衣の埋納施設。一辺 0.4 m，深さ 0.5 m の掘形内に，宝珠形つまみの蓋をもつ薬壺形の須恵器（高さ 15.5 cm，最大径 15.5 cm）を安置する。須恵器内に和同開珎 4 枚・唐墨・筆管・織物をいれる。『御産所日記』や『貞丈雑記』などに見られる胞衣埋納作法に合致する。須恵器は平城宮土器Ⅲに該当する(fig. 158)。

〔木器番号〕*4413*

〔文　　献〕奈良国立文化財研究所『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』(1972年)
p. 12・13

27　右京五条四坊三坪の井戸SE20（6AGQ区-Lトレンチ　100次調査）

右京五条四坊三坪の中央やや西北寄りにある円形縦板組の井戸。掘形は 2 段をなし，上段掘形は長辺 5.4 m，短辺 3.2 m の不整矩形，下段掘形は一辺 2.5 m の隅丸方形で，深さは掘形上面から約 5.1 m。井戸枠は幅 28 cm，厚さ 6 cm の細長い板材 14 枚を縦に組み，各板を上中下 3 カ所の雇枘で固定する。円形に組むために，枠材の両側辺を鋭角につくり，外面を中高に削って曲面に仕上げる。内法径は 1.1 m，井戸枠高は，内部に落込んだ上端部の板材 6 枚の枘穴の間隔から 4.5 m に復原できる。板材 6 枚のうちの 2 枚には，上端木口面に枘を作り出すので，円形井戸枠の上部に，方形の枠を組んで固定した可能性がある。埋土から平城宮土器Ⅲ～Ⅳの土師器・須恵器とともに，刀子柄・曲物などが出土(fig. 158)。

〔木器番号〕*0210, 3206, 3302, 3506*

〔文　　献〕同上　p. 15

28　右京八条一坊十一坪の西一坊坊間大路西側溝SD920（6AII-N・O区　149次調査）

平城宮南面西門から南へのびる西一坊坊間大路(SF910) の西側溝。右京八条一坊十一坪の東端で検出した。九条大路北側溝との交叉点においても，南延長を確認している（6AIM区 125 次調査Ⅱトレンチ)。溝上面の幅 5.5～11.0 m，底幅 3.0～8.0 m，深さ約 1.5～1.75 m。埋土の状況からA期(平城京造営当初，堆積層なし)，B期(8 世紀前半)，C期(8 世紀後半～9 世紀前葉)の 3 期にわかれる。B期の溝は両岸を粘土で護岸する。土器・墨書人面土器・模造土

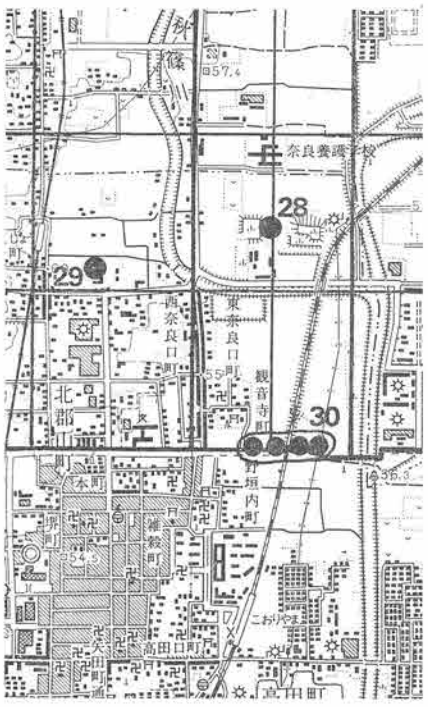


fig. 159　平城京跡木器出土地点(6)
（1：25000　大和郡山）

器・土馬・墨書土器・瓦・木簡などとともに木器が出土した(fig. 159)。

〔木器番号〕*0205, 0207, 0230, 1315, 5910*

〔文　　献〕工楽善通「木製品」『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告』奈良国立文化財研究所（1984年）p. 38～44

29　右京西市跡の井戸SE395（6ASI区-Hトレンチ　2次調査）

右京八条二坊五・六・十一・十二坪の4坪は西市推定地である。1980年～1981年にかけて，3次にわたり同推定地の西南部(右京八条二坊十二坪)を調査し，3期におよぶ奈良時代の掘立柱建物群や井戸などを検出した。SE395は十二坪内の中央北寄りにある方形縦板組の井戸。平城京造営以前の自然流路に堆積した荒砂層を，一辺 1.2 m，深さ 2 m の方形に掘込んで，一辺約 0.6 m の井戸枠を組む。井戸枠は多足机の天板・棚板状木製品や幅 20 cm 内外の板を縦に重ね，内側に横桟を方形に組んで固定。掘形の埋土から平城宮土器Ⅱ，井戸の埋土から平城宮土器Ⅱ・Ⅲの土師器・須恵器やモモ・クルミ・ヒョウタンの種子などが出土(fig. 159)。

〔木器番号〕*6516*

〔文　　献〕上原真人「木器・金属器」『平城京西市跡』奈良国立文化財研究所（1982年）p. 26・27

30　右京九条一坊四坪の九条大路北側溝SD950（6AIM区-Ⅰ～Ⅳトレンチ　125次調査）

大和郡山市観音寺町に所在する九条大路の北側溝。右京九条一坊四坪の西南隅，同五坪の西南隅，同十二坪の東南隅と西南隅とにおいて確認した。羅城門跡の発掘調査に際しても，同四坪の東南隅で確認している。幅 2.5～3.0 m，深さ 0.8mの素掘り溝で，四坪と五坪の西南隅では，北岸をシガラミで護岸する。四・五坪の坪境小路との交叉点では，両岸を杭と板とで護岸。堆積土は大きく上下2層にわかれ，下層から平城宮土器Ⅲ，上層から平城宮土器Ⅲ～平安時代前期の土師器・須恵器が出土した。木器には，斎串・人形・留針・糸巻・曲物・折敷などがあり，ほかに木簡2点，小型海獣葡萄鏡が出土(fig. 159)。

〔木器番号〕*1313, 1911, 3603, 3915*

〔文　　献〕鬼頭清明・甲斐忠彦「木簡・木製品」『平城京九条大路』奈良国立文化財研究所（1981年）p. 28～29

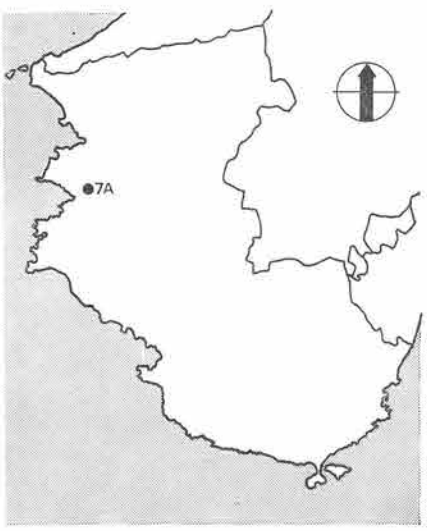


fig. 160　和歌山県の木器出土遺跡

7　和歌山県

A　野田地区遺跡　　のだちく

有田郡吉備町野田に所在。1980年5月～1981年3月に調査。有田川下流域左岸の沖積平野と河岸段丘上に位置する。平野部および段丘との境目で，層位・流路・規模をかえて流れる10条の溝を検出。これらの溝は弥生時代後期末から室町時代に至る農業用水路であろう。

木器は溝2～溝10から出土している。溝2は14世紀初頭，溝3は13世紀中葉～後葉，溝4は11世紀中葉～13世紀前葉，溝5は10世紀後半，溝6は9世紀末～10世紀前半，溝7は9世紀，溝8と9は古墳時代，溝10は弥生時代後半にぞくする。本書では溝4～溝7から出土した木器を収録。溝4は幅 9 m，深さ 1 m の素掘り溝で，黒色土器・瓦器・土師器とともに，曲物・下

駄・鋤柄・刀子形などの木器が出土。溝5は推定幅 2.4m，深さ 0.4m の素掘り溝で，黒色土器・土師器とともに，人形・曲物・匙・下駄・杓子などの木器が出土した。溝6は幅 2.5m，深さ 0.3m の素掘り溝で，土師器・須恵器とともに，人形・斎串・机・曲物・箸・叩き板などの木器があった。溝7は幅3m，深さ 0.5m の溝で，土師器・須恵器とともに，人形・斎串・馬形・曲物・箸・横槌・刳物槽・下駄・折敷などの木器が出土した(fig. 161)。

〔木器番号〕溝4；*0506*，*3905*，*4232*　溝5；*2115*　溝6；*0334*，*3708*，*5007*，*5204*，*5208*　溝7；*0714*，*2308*，*3112*，*3607*，*5119*

〔文　献〕渋谷高秀「野田地区遺跡」『野田・藤並地区遺跡発掘調査概報』和歌山県教育委員会・(社)和歌山県文化財研究会（1981年）p. 4〜16

渋谷高秀『野田・藤並地区遺跡第1次整理概報—野田地区遺跡4区出土木製品の概要—』和歌山県教育委員会文化財課（1983年）

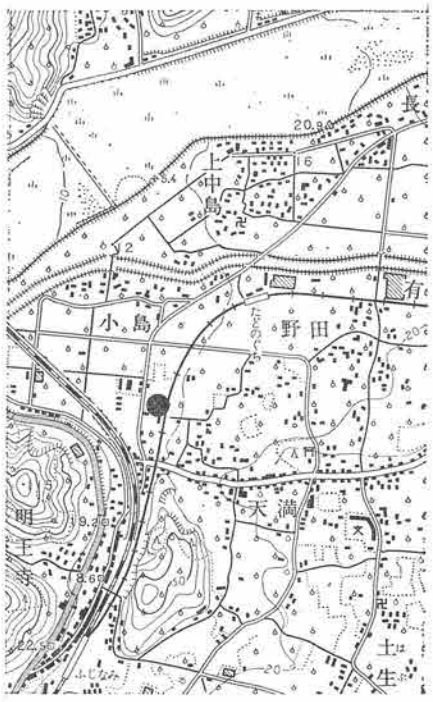


fig. 161　野田地区遺跡木器出土地点
（1：25000　湯浅）

付　　表

凡　　例

1　1984年度までに公表された近畿地方における木器出土遺構および関連文献である。

2　年代は原則として７世紀から12世紀までのものに限るが，一部に12世紀以降のものをふくむ。

3　文献は表で府県ごとにまとめて番号をつけ対応する文献番号を遺構一覧表に明示する。

4　井戸枠や 建築部材（柱根など）は 除外するが，曲物をふくむ木器転用の井戸枠および建築模型部材は収録する。

5　付表１の＊印は本図録に収録した木器出土遺構。

6　遺構の表示記号は，SB；建物　SD；溝　SE；井戸　SK；土壙　SG；園池　SK；その他　である。

付表1　木器出土遺構一覧表

三　重　県

遺　跡	所　在　地	遺　構	主　要　木　器	年　代	文　献	備　考
柚井	桑名郡多度町柚井	遺物包含層	下駄・斎串・火鑽板・曲物・有孔円板・杓子・舟形・挽物皿・櫛・弓・竪杵	9世紀	1	
カウジデン	多気郡多気町河田	SD14	斎串・曲物	9世紀前半	2	
五佐奈	〃　〃　五佐奈	井戸	斎串	9世紀～11世紀		
*下郡	上野市下郡	井戸	斎串・櫛・曲物・部材	9世紀前半	3	
北堀池	〃　大内	SE4503	斎串・剣形・曲物	8世紀前葉	4	

滋　賀　県

遺　跡	所　在　地	遺　構	主　要　木　器	年　代	文　献	備　考
*湖西線関係　VD区	大津市錦織～穴太	大溝	櫂・下駄・鍬・浮子・曲物・櫛・斎串	7世紀後半	1	
*　〃　VA区	〃　〃　〃	遺物包含層	留針・曲物・陽物形・刳物椀	平安時代～中世	1	
*　〃　ⅣD区	〃　〃　〃	〃	浮子・留針・挽物皿	〃	1	
*　〃　ⅡH区	〃　〃　〃	〃	留針・下駄・曲物・脚・円板・陽物形	〃	1	
*穴太	〃　下阪本2丁目	〃	箕・下駄・斎串	6世紀末～7世紀前半	2・3	集落跡
*野畑遺跡	〃　瀬田3丁目	SE003	斎串・木履・曲物	8世紀後葉～9世紀前葉	4・5	官衙跡
〃	〃　〃	SE001	刳物椀	〃	4・5	
東光寺	大津市大萱	建物柱穴	呪符	8世紀～11世紀	6	
〃	〃　〃	溝・包含層	下駄・曲物・盤	〃	6	
〃	〃　〃	井戸	刳物容器・盤	8世紀	6	
下寺観音堂	草津市下寺	池状遺構	木偶・木球	中世	7	寺院跡
〃	〃　〃	SD1	加工板	8世紀以降	7	
*　〃	〃　〃	SD2	櫂状木器・農具柄	7世紀後葉～8世紀前葉	7	
*　〃	〃　〃	SD6	挽物盤・曲物・刳物槽・櫛	〃	7	
*　〃	〃　〃	SD1・SD3	刀形・曲物・不明木器	〃	7	
〃	〃　〃	溝2	下駄	8世紀末～10世紀	8	
〃	〃　〃	遺物包含層	曲物		8	
*矢倉口	〃　矢倉口	SE02	木履	8世紀中葉	9	集落跡
*下鈎	栗太郡栗東町下鈎	大溝	人形・曲物	9世紀～12世紀	10	
*服部	守山市服部	土壙	糸巻	9世紀～10世紀	11	集落跡
*〃	〃　〃	SD05	人形	8世紀後葉	11	
〃	〃　〃	C・D地区	曲物・櫛	9世紀～10世紀	11	
川中	守山市今市町南橋本	溝	曲物	10世紀	12	
*久野部	野洲郡野洲町久野部	SD10	農具柄・弓・田下駄・曲物・挽物盤・刳物鉢・有孔円板・斎串	7世紀前葉～8世紀	13	
小篠原	野洲郡野洲町小篠原	井戸	人形？	8世紀	14	
北桜	〃　〃　北桜	溝	曲物・盆？	8世紀～9世紀前半	15	
*光相寺	〃　中主町吉池	溝	田下駄・下駄・刳物鉢	8世紀中葉～9世紀前葉		集落跡
畑田	愛知郡愛知川町畑田	土壙	杓子	10世紀		
塔ノ塚	〃　秦荘町軽野	遺物包含層	紡織機	8世紀後葉～10世紀		
宮司	長浜市宮司町	井戸	曲物	8世紀	16	
十里町(十五町地区)	〃　十里町	自然流路	火鑽板・曲物	8世紀後葉～9世紀前葉	16	集落跡
*　〃　(八ノ坪　〃　)	〃　〃	土壙	曲物・斎串・槍扇	〃		
川崎	〃　川崎	溝	曲物	7世紀後葉～8世紀		
奥松戸	坂田郡近江町長沢	遺物包含層	斎串	8世紀	17・18	
尾上	東浅井郡湖北町尾上	遺物包含層	人形・斎串	9世紀	19・20	
諸川	伊香郡西浅井町菅浦	瓦窯焚口	薪	10世紀～11世紀	21	

*仏性寺	高島郡マキノ町蛭口	遺物包含層	斎串・田下駄・紡織機	8世紀～9世紀	22		
*針江北	〃 新旭町針江	SE01	曲物井戸枠	9世紀後葉～10世紀前葉	23	集落跡	
* 〃	〃 〃 〃	SK10	曲物	〃	23		
*伊井永田	〃 今津町日置前	遺物包含層	木履・刳物盤・折敷・斎串	8世紀中葉	24	集落跡	
*鴨	〃 高島町鴨	東地区遺物包含層	木履・仏像・人形・陽物形・斎串・櫛・杓子・曲物・木皿	9世紀後葉～10世紀前葉	25	官衙跡，木簡・銅印あり	
*〃	〃 〃 〃	西地区井戸	斎串	〃	25・26		

京都府・長岡京

次数	遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	文献	備考
*30・31	長岡宮北辺官衙	7AN5	SD3100	漆椀・漆蓋・人形・斎串・櫛・木槌	784年～794年	1・2	
33	〃 朝堂院北方官衙	7ANY		墨書杭・櫛・檜扇	〃	2	
*87・125	〃 東辺官衙北部	7AN3A	SD8701	挽物盤・櫛・杓子・箸	〃	11・15	
94	〃 〃 南部	7AN5A		曲物・挽物盤	〃		
111	〃 北辺官衙	7AN11D	SB1103	漆器	〃	14	
*2・4	左京三条二坊四・五町	7ANFNT-1・2	SD0210	斎串・人形・曲物	784年前後	3・4	
* 〃	〃 〃 〃	〃	SD0251	曲物・櫛・鎌柄・漆器・盤・箸・箱	784年～794年	3・4	
2	〃 〃 〃	〃	SD0252	曲物	〃	3・4	三条大路北側溝
*2・4・71	〃 〃 〃	〃 1・2・4	SD0254	斎串・櫛・曲物・漆器	〃	3・4・15	三条大路南側溝
6	〃 四条三坊十三町	7ANX00-1	SE0601	曲物・櫛・斎串	9世紀前半	26	
〃	〃 〃 四町	〃	SE0602	曲物井戸枠	11世紀後半	26	
〃	〃 〃 〃	〃	SE0604	〃	〃	26	
〃	〃 〃 十三町	〃	条里遺構	箸	784年～794年	26	
10	〃 南一条二坊六町	7ANDID	SE1004	曲物井戸枠	784年～794年	5	
〃	〃 〃 〃	〃	SD1005	櫛・曲物	〃	5	南一条条間大路北側溝
*13・22・51・95	〃 二条二坊六町	7ANESH-1・2・4・6	SD1301	人形・斎串・鳥形・舟形・琴柱・杓子・曲物・挽物皿・折敷・木栓・鑰・檜扇	〃	9・13	1町敷を南北に2分する東西溝
14	〃 南一条二坊六町	7ANEJS	SD1401	人形・斎串	〃	25	南一条条間大路南側溝
15	〃 四条二坊八町	7ANFOT-1	SE1518	曲物井戸枠	〃	12	
* 〃	〃 〃	〃	SD1501	挽物皿・櫛	〃	12	
* 〃	〃 〃	〃	SD1502	挽物皿・曲物・下駄	9世紀前葉	12	
〃	〃 〃	〃	SK1504	曲物・箸	784年～794年	12	
〃	〃 〃	〃	SK1516	挽物皿・曲物・斎串・檜扇	〃	12	
* 27	〃 〃	7ANFOT-2	SE2708	曲物井戸枠	〃	12	
* 〃	〃 〃	〃	SE2714	曲物井戸枠	〃	12	
30	〃 四条二坊二町	7AFKM		櫛・杓子・曲物・漆器	〃		
38	〃 五条三坊	7ANXNT		曲物	〃		
40	〃 四条二坊九町	7ANFST		木器	〃		
41	〃 北一条二坊四町	7ANDKD		草鞋・むしろ	〃		
43	〃 左京四条二坊四町	7ANFKM-2		木器	784年～794年		
* 51	〃 二条二坊六町	7ANESH-4	SD5101	人形・斎串・櫛・刀子柄・手斧柄・箸	〃	13	
* 〃	〃 〃	〃	SD5102	櫛・漆椀・箸	〃	13	
〃	〃 〃	〃	SD5104	人形	〃	13	
52	〃 二条二坊四町	7ANEKS	SD5201	曲物・挽物皿	〃		
〃	〃 〃	〃	SD5202		〃		
53	〃 六条二坊	7ANMSB	井戸	櫛・曲物	〃		
62	〃 三条四坊	7ANWKE	溝	斎串・櫛・挽物皿	〃		三条条間小路南北側溝
63	〃 一条四坊	7ANWSA		木器	〃		
71	〃 四条二坊九町	7ANFOT-4	SK7113	漆椀・漆壷	〃		
82	〃 二条三坊一町	7ANEIS	SK8202	斎串・櫛・箸	〃		
〃	〃 〃	〃	SD8205	曲物	〃		
84	〃 五条二・三坊	7ANMTG-2	SD8403	挽物盤	9世紀か	17	
87	〃 五条二坊十三町	7ANMTG-3	SD8709	櫛	784年～794年	24	東二坊大路西側溝

* 93	左京四条三坊三町	7ANXNR	SD451	人形・挽物壷	784年～794年	38		
* 93	〃 〃 六町	7ANXHD	SD80	斎串・箸・人形	〃	38		
7708	〃 二条二坊十一・十四町	7ANEDK	SD7708-3	加工木片	〃	10	東二坊大路東側溝	
右京7	右京二条二坊十三町	7ANITT	SD0713	曲物	12世紀	7		
〃	〃 三条二坊十四町	7ANIST	SD0731	箸・木器	784年～794年	7	西二坊大路東側溝	
8	〃 〃	7ANISB	SX0801	曲物・杓子	〃	20		
* 22	〃 一条三坊五町	7ANGTE	流路	下駄	〃	27		
25	〃 〃 〃	7ANGTE-2		人形	〃	27		
* 26	〃 〃 十六町	7ANITT	SD1280	挽物皿・曲物・刳物槽・刀子柄・人形	784年前後	8	今里車塚古墳周濠	
37	〃 三条二坊四町	7ANINE	ピットP3706	円座	784年～794年	21		
94	〃 八条一坊九町	7ANQUD	SD9405	ヘラ状木器	〃	19		
*	〃 七条一坊十三町	7ANQKK	恵解山古墳濠	付札・下駄・挽物皿	9世紀か	28		
95	〃 七条三坊三町	7ANNHR	SD9501	剣形	7世紀中葉～末	22		
102	〃 六条二坊四町	7ANMMK	SD10201	草鞋・人形・漆器・櫛・挽物皿・横槌・斎串	784年～794年	23		
155	〃 五条二坊五町	7ANKST	SE15501	曲物・櫛	784年～794年	18		

京都府・平安京

遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	文献	備考
* 左京四条一坊五・六町	ND64-3-J-15	SE07A	人形・斎串	9世紀前半	29	邸宅跡
* 〃 〃 〃	〃	SE01	人形・斎串・扇子	12世紀後半	29	
* 〃 〃 〃	〃	Iトレンチ第3層	人形・挽物皿	10世紀	29	
* 〃 〃 〃	〃	SD01	球・櫛・独楽・下駄・曲物・蓋板	12世紀～13世紀	29	
* 〃 〃 〃	〃	SK03	箸・挽物鉢・舟形	9世紀	29	
〃 〃 〃	〃	SD03	人形・櫛・漆蓋・漆椀・下駄・曲物	12世紀～13世紀	29	
〃 〃 〃	〃	SK02	人形・下駄	12世紀	29	
〃 〃 〃	〃	Iトレンチ10ピット	漆椀	12世紀後半	29	
〃 〃 〃	〃	SE08	曲物・杓子	1091年	29	
* 〃 〃 一町	〃	土壙	琴柱	9世紀後半～10世紀	40・41	
〃 四条三坊五町	〃	SE21	曲物・箸・櫛	10世紀末	38	
〃 〃 十三町	〃	SE220	漆塗曲物	11世紀中葉	50	
〃 〃 〃	〃	SE418	柄杓	12世紀前半	50	
〃 〃 〃	〃	SE423	漆器椀	12世紀中葉	50	
* 〃 六条一坊八町	〃	SE03	物忌札・曲物井戸枠	11世紀後半	38	
* 〃 八条三坊九町		遺物包含層	人面木器	10世紀	47	
* 右京西市	ND73-2-L-54	SE03B	物差・琴柱・印・灯明台・斎串・漆器・下駄	9世紀	40・41	
* 〃 〃	〃	SE20	杓子・挽物皿・曲物・下駄・斎串・机	〃	40・41	
〃 〃	〃	SX25	挽物皿・楔	〃	40・41	
* 〃 〃	〃	SD12	漆皿・斎串・案	9世紀中葉	40・41	
* 〃 〃	〃	A区5層	漆椀・有孔円板・挽物皿	9世紀前半	40・41	
〃 〃	〃	SX10	祭祀用の棒	9世紀	40・41	
* 〃 〃	〃	SK15	有孔円板	9世紀前半	39	
* 〃 〃	ND74-1-I-51	SE03	曲物・櫛・斎串	〃	40・41	
* 〃 西寺	ND74-3-E-34	SE01	櫛・人形・独楽・鳥形	9世紀前半	30	
〃 二条二坊五町	ND64-3-A-21		木簡題籤	965年	40	
* 〃 三条三坊十町	ND63-4-C-53	木棺墓	漆皮皿・漆合子・漆皿	10世紀後半	40・41	
〃 四条二坊四町		溝	斎串・木簡	9世紀前半	49	西二坊大路西側溝
〃 七条一坊三・四町	〃	SD135	斎串・車輪形	10世紀～12世紀	38	朱雀大路西側溝

京　都　府

遺　跡	所　在　地	遺　構	主　要　木　器	年　代	文　献	備　考
*仁和寺南院	京都市右京区宇多野御屋敷町	園池	人形・物差・牛形・剣形・下駄	10世紀～11世紀	43・44	
*尊勝寺推定地	〃　左京区岡崎西天王町	溝	人形	12世紀～13世紀	42	
*大藪(１次調査)	〃　南区久世大藪町	流路	馬形・曲物・人形	９世紀前半	45	
〃（４次調査）	〃　〃　〃	〃	大型人形・人形・曲物・鋤	〃		
*中久世	〃　〃 久世中久世町	〃	下駄	６世紀後半～７世紀前半	46	
*　〃	〃　〃　〃	SD01	斎串・人形・曲物・陽物形	９世紀	40	
*中臣(10次調査)	〃　山科区勧修寺	SE01	斎串・曲物	９世紀後半	51	
*鳥羽離宮(21次調査)	〃　伏見区竹田	SD01B	曲物・漆椀・仏像	12世紀末～中世	32	
*　〃　(24次調査)	〃　〃	SX7	人形・木釘	12世紀後葉～13世紀	31	
*　〃　(26次調査)	〃　〃	落込み	〃	〃	31	
*　〃　(35次調査)	〃　〃	SD11B	人形・下駄・扇子・球・漆椀	12世紀～中世	33	
*　〃　(53次調査)	〃　〃	SX10	舟形・鳥形	13世紀	34	
*　〃　(　〃　)	〃　〃	３トレンチ濠９層	漆椀	〃	34	
*　〃　(54次調査)	〃　〃	SD07	漆椀・仏像	〃	35	
*　〃　(　〃　)	〃　〃	SD10	杓子・小円板・漆椀・人形・曲物	〃	35	
〃　(　〃　)	〃　〃	SE51	漆皿	〃	35	
〃　(59次調査)	〃　〃	SD05	舟形・人形・錐・将棋駒	12世紀後葉～13世紀	36	
*　〃　(72次調査)	〃　〃	SD04	人形・扇子・漆椀・櫛・下駄・陽物形	〃	37	
*　〃　(77次調査)	〃　〃	SD01	板絵・木簡・塔婆・人形・木球	12世紀末	38	
*　〃　(宮内庁調査)	〃　〃	遺物包含層	灯明台	12世紀	48	
*下畑	与謝郡野田川町字三河内	SE01	漆椀・下駄・杓子・曲物・箸	12世紀～13世紀	54	
*定山	〃　岩滝町字弓木	石垣裾	鳥帽子・漆椀	12世紀	52	
〃	〃　〃　〃	井戸	曲物井戸枠	〃	52	
〃	〃　〃　〃	井戸周辺	下駄	〃	53	
*　〃	〃　〃　〃	DL51区	人形・鍬・鳥形・曲物柄杓	〃	53	
*古殿	中郡峰山町字古殿	SD01	漆椀・匙	12世紀～13世紀	6	
*　〃	〃　〃	遺物包含層	漆椀・下駄・杓子・曲物・箸	〃	6	

大　阪　府

遺　跡	所　在　地	遺　構	主　要　木　器	年　代	文　献	備　考
豊中	泉大津市豊中	井戸１	曲物井戸枠	11世紀	1	
万崎池	堺市草部	旧河道	斎串	９～11世紀	2	
金岡	堺市金岡	Ｄ区井戸	曲物・斎串	８世紀後葉～９世紀	3	
川北	藤井寺市川北２丁目	２区遺物包含層	櫛・曲物	６世紀～８世紀	4	
*挟山(77-１区)	〃　野中	SD7710	鋤	８世紀	5	
〃（77-４区）	〃　〃	SD7780	舟形	〃	5	
萱振	八尾市	井戸	刳舟	〃	7	井戸枠に転用
*亀井	〃　南亀井町	SX4001	下駄・農具柄・織機・田下駄	７世紀	6	
山賀	八尾市新家・東大阪市若江西新町	溝	斎串	６世紀～７世紀	2	
東阪田	羽曳野市東阪田	SE01	斎串・櫛・雇柄	９世紀前半	8	
西琳寺	〃　古市２丁目	井戸１	曲物井戸枠	11世紀	9	
〃	〃　〃	井戸２	〃	〃	9	
長原	大阪市平野区長吉長原	SE002	〃	９世紀～11世紀	10	
〃	〃　〃　〃	SE087	〃	11世紀～12世紀	10	
〃	〃　〃　〃	SE101	〃	10世紀～11世紀	10	
〃	〃　〃　〃	SE102	〃	11世紀～12世紀	10	
〃	〃　〃　〃	SE113	〃	12世紀	10	

長原	大阪市平野区長吉長原	SE114	曲物井戸枠	11世紀	10	
*難波宮	〃 東区法円坂	SK10043	釘形・斎串	7世紀中葉	11	下層遺構
* 〃	〃 〃 〃	SK10048	刳物盤	〃	11	〃
* 〃	〃 〃 上町1丁目	土壙	鋤	〃	12	〃
郡家今城	高槻市今城町・他	井戸1	木錘・刀子柄	9世紀	14	集落跡
〃	〃 〃	井戸2	櫛	9世紀～10世紀	14	
〃	〃 〃	井戸4	曲物・竪杵・櫛・木錘	〃	14	
〃	〃 〃	井戸5	曲物井戸枠・曲物・斧柄・斎串・櫛	10世紀	14	
* 〃	〃 〃	井戸6	曲物井戸枠・斎串・櫛	8世紀	14	
〃	〃 〃	井戸7	曲物・斎串	8世紀後半	14	
〃	〃 〃	井戸8	曲物・斎串	9世紀	14	12世紀が一部混る
〃	〃 〃	井戸9	曲物井戸枠	8世紀	13	
〃	〃 〃	井戸10	曲物・木錘	8世紀	14	
〃	〃 〃	井戸11	曲物・斎串・櫛	8世紀後半	14	
〃	〃 〃	井戸12	斎串・弓？	9～10世紀	14	
〃	〃 〃	井戸14	曲物・斎串・櫛	8世紀後葉～9世紀前半	14	
〃	〃 〃	井戸17	曲物井戸枠	8世紀	13	
*上田部	〃 桃園町	水田跡	馬鍬・田下駄・回転翼・横槌・竪杵・木錘・唐臼杵・鎌柄・下駄・槽・漆壺	735年頃	15・16	集落跡，木簡13点
〃	〃 〃	井戸	曲物井戸枠・斎串	8世紀	15・16	
*大蔵司	〃 大字服部	A地区溝6	人形・斎串・鋤形・刀形・鏃形・櫛・曲物・折敷・木履・下駄・鎌柄	8世紀後半	17	
〃	〃 〃	A地区溝5	下駄・仏像	12世紀後葉～13世紀前葉	17	
* 〃	〃 〃	B地区自然流路	鳥形・槽・箸・糸巻・下駄・横槌・楔	8世紀	17	6世紀の遺物をふくむ
嶋上郡衙	〃 清福寺町	石組井戸	曲物・斎串・櫛	10世紀～11世紀	18	
安満	〃 八丁畷町	ⅢA区東井戸	刀形	8世紀	18	
垂水南	吹田市垂水町	旧河道	浮子？	7世紀～8世紀	19	

兵庫県

遺跡	所在地	遺構	主要木器	年代	文献	備考
*吉田南	神戸市西区玉津町	旧河川	刀子柄・馬鍬・木錘・糸巻・車輪・刳物鉢・曲物・杓子・刀子形	8世紀後半～9世紀	1	
* 〃	〃 〃 〃	SD11	木錘・下駄・刳物・曲物・斎串・人形	〃	1	
*出合	〃 〃 〃	井戸	下駄・斎串・剣形・鳥形	8世紀後半	2	
〃	〃 〃 〃	南北溝	下駄	12世紀～13世紀	2	
新方	〃 〃 〃		人形・斎串・剣形		3	
*辻井廃寺	姫路市東蔵ノ本	井戸	丹彩縦斧・斎串・横槌形	8世紀後半	5	
*上原田	〃 花田町上原田	SE02	曲物・机脚・自在鉤・刳物・横斧	〃	4	
* 〃	〃 〃 〃	SE03	曲物・斎串・木錘・鉈形	8世紀後葉～9世紀	4	
〃	〃 〃 〃	SK07	漆篦		4	
*八反長	〃 岡田	旧流路	田下駄・留針・杓子・斎串	9世紀前葉		
本町	〃 本町	井戸	人形	12世紀	6	
丁・柳ケ瀬	〃 勝原区丁・柳ケ瀬	旧河川	人形			
*栄根	川西市栄根2丁目	旧河川	墨壺	8世紀	7	
志知川・新池	三原郡西淡町松帆	〃	斎串		8	
本位田	佐用郡佐用町本位田	遺物包含層	曲物・下駄・鋤	12世紀	9	
*山垣	氷上郡春日町棚原	東堀	鋤・馬鍬・斧・曲物・盤・木錘	8世紀前半	10	里長居館址
禰布ケ森西	城崎郡日高町禰布		漆椀・刳物椀・櫛		11	
*姫谷	〃 〃 野	旧河川	人形・斎串・馬形・鳥形	8世紀後葉～9世紀	12・13	
但馬国分寺	〃 〃 国分寺	SD01	曲物・篦・木簡	8世紀後半	14	寺域南限の内側の溝
〃	〃 〃 〃	SD03	曲物・盤	〃	14	寺域東限の内側の溝
〃	〃 〃 〃	SD02際の整地土	人形・馬形・舟形・斎串・下駄・鍬	〃	14	寺域東限の外濠

奈良県

遺跡	所在地	遺構	主要木器	年代	文献	備考
*坂田寺	高市郡明日香村祝戸	SG100	折敷・糸巻・琴柱・櫛・盤	7世紀中葉	55	
〃	〃 〃 〃	SE110B	曲物・斎串・杓柄・箸	8世紀後半～10世紀	56	
奥山久米寺	〃 〃 奥山	SE150	曲物・斎串	8世紀後葉～9世紀前葉	59	
*川原寺	〃 〃 川原	暗渠	下駄・櫛	7世紀中葉	2	
〃 (B区)	〃 〃 〃	遺物包含層	曲物・付札状品	〃		
水落	〃 〃 飛鳥	基壇中央	漆木箱	〃	63	漏刻施設
山田寺	桜井市山田	SK006	刀子柄	7世紀後半	58	
〃	〃 〃	SE230	曲物・陽物形	13世紀	58	
* 〃	〃 〃	SD531	草鞋	8世紀後半	64	
*和田廃寺	橿原市和田町	遺物包含層	曲物・物差	7世紀	56・57	
飛鳥京(10・13次調査)	高市郡明日香村岡	SD6605	田下駄	7世紀後半	69	
* 〃 (〃)	〃 〃 〃	SD6612	糸巻・櫛・刀子形	7世紀中葉	69	
〃 (51次調査)	〃 〃 〃	SX7501	加工木片・櫛・紐・横槌	7世紀中葉	71	
* 〃 (85次調査)	〃 〃 〃	SX8201	下駄・箕	9世紀	76	
四ノ坪	橿原市葛本町	SD01・SD02	斎串・人形・火鑽板	7世紀後葉	74	藤原京西一坊大路延長道路の側溝
橿原	〃 畝傍町	井戸1号	曲物		67	
〃	〃 〃	井戸8号	斎串		67	
* 〃	〃 〃	井戸9号	斎串・櫛・下駄・刀子	9世紀前半	67	
〃	〃 〃	井戸17号	櫛		67	
〃	〃 〃	井戸19号	曲物		67	
院上	〃 八木町	SK03	斎串	7世紀後葉	77	
〃	〃 〃	SK05	斎串・石突状木器	〃	77	
*纒向	桜井市辻	井戸3	曲物井戸枠	11世紀後半	70	
* 〃	〃 〃	井戸14	曲物井戸枠	〃	70	
*布留	天理市三島	旧流路	糸巻・刳物槽・曲物杓・鎌柄・剣形	8世紀後葉～9世紀前葉	85	
稗田・若槻	大和郡山市稗田・若槻	河川	斎串・人形・絵馬・馬形・曲物・刀形・挽物皿	8世紀	71・75	
本庄・杉町	〃 杉町	SE03	曲物井戸枠	12世紀	74	
*白毫寺	奈良市白毫寺町	池1	糸巻・下駄・檜扇・曲物・斎串	8世紀	76	
〃	〃 〃	井戸	斎串	〃	76	
* 〃	〃 〃	SD02	下駄	〃	76	

奈良県・藤原宮

次数	遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	飛鳥土器編年	文献	備考
県調査	内裏東外郭	6AJE	SD101	櫛	694年～709年		68	
* 〃	〃	6AJE-C・D・E	SD105	人形・人物墨画板・櫛・曲物・匙	〃		68	
* 4	〃	6AJF-D	〃	曲物・杓子・糸巻・鳴鏑・櫛・留針・舟形	〃	V	11	
*県調査	北面外濠	6AJE-C	SD145	櫛・曲物・留針	〃		68	
18	〃	6AJE-K	〃	曲物・人形・物差	7世紀後葉～8世紀前半		57	
36	〃	6AJJ-C	〃	題籤・斎串・曲物・盤	〃		65	
* 18	中央大溝	6AJE-K	SD1901A	曲物・匙・糸巻・櫛・物差・下駄	7世紀後半		57	造営時の大溝
* 20	〃	6AJF-K	〃	横槌・鋤・刀子形・人形・斎串・馬形	〃	IV	59	
*県調査	東面外濠	6AJA-R	SD170	曲物	694年～709年		68	
18-7	〃	6AJC	〃	曲物	〃		57	
* 24	〃	6AJB-P	〃	剣形・曲物・篦	〃		60	
27	〃	6AJB-U	〃	木簡	〃		61	
* 29	〃	6AJB-Q	〃	斎串・人形・馬形・曲物・杓子	〃		62	
* 24	東面内濠	6AJB-Q	SD2300	刀子形・棒状人形	〃		60	
* 29	〃	〃	〃	鳥形・斎串	〃		62	

*23-5	西面外濠	6AJK-C	SD260	墨描き円板	7世紀後葉～11世紀		61	
* 34	〃	6AJM-B	〃	人形・斎串・陽物形・槽・曲物	〃		63	
36	〃	6AJJ-C	〃	机・人形・斎串	〃		65	
1	南面外濠	6AJH-J	SD501	木簡	694年～709年		8	
*29-6	〃	6AJH-Q	〃	人形	〃		62	
34	〃	6AJM-B	〃	〃	〃		63	
* 5	西方官衙	6AJL-A	SE1105	斎串・櫛・曲物・折敷・杓子・鋤	〃	V	9	
6	〃	6AJG-P	SE1150	折敷・匙	〃	V	9	
* 7	〃	6AJK-F	SE1205	斎串・曲物・折敷・漆椀・独楽	7世紀後半	Ⅳ	9	造営以前
8	〃	6AJG-Q	SE1300	工具柄	7世紀後半	Ⅳ	9	
* 10	〃	6AJL-E	SK1380	鞄	694年～709年		9	
10	西面内濠	6AJL-E・F	SD1400	火鑽臼・曲物	〃	V	9	
23-4	西方官衙	6AJG-B	SK2371	箸・折敷・曲物	12世紀後葉～13世紀		60	
34	〃	6AJM-B	SE3174	曲物	10世紀		63	
35	東方官衙	6AJB	SB2841	曲物	694年～709年		64	柱抜取痕跡出土
36	西北隅	6AJJ-C	SE3400	斎串・櫛・曲物	810年頃		65	
* 37	西面中門	6AJK-F	SE3442	曲物井戸枠・斎串・瓢			65	

奈良県・藤原京

次数	遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	文献	備考
19	右京七条一坊	6AJH	SD2032	鋤	694年～709年	58	七条条間路北側溝
19	〃 〃	〃	SD2033	曲物	7世紀後半	58	
* 23	〃 〃 一・二坪	6AJH-N	SE2270	建築模型部材・曲物・櫛・斎串	694年～709年	60・66	工房の井戸
*県調査	紀寺	第3次-Ⅱ	SK004	櫛・糸巻・琴柱・人形・栓・曲物	7世紀後葉	72	
〃	〃	第4次-C区	SD003	人形・曲物	7世紀後葉～8世紀前葉	73	
23	右京七条一坊一・二坪	6AJH-N	整地層	櫛	694年～709年	60・66	
28	〃 五条三坊	6AJL-A・H	SE2742	付札	8世紀	62	
〃	〃 〃	〃	SE2747	曲物	694年～709年	62	
*本1	右京八条三坊	6AMY	SD104	刀形	〃	57	八条大路北側溝
本2	〃 〃	6AMY-B	SD201A	独楽・曲物	7世紀中葉	65	自然流路
大7	大官大寺	5BTK-K・L	SE605	刀子形	7世紀後葉	62	

奈良県・平城宮

次数	遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	平城土器編年	文献	備考
* 5	宮内省大膳職	6ABO-B	SK219	杓子・箸・蓋板	762年頃	Ⅳ	3	
〃	〃	〃	SK217	檜皮・木片	8世紀中葉	〃	3	
〃	〃	〃	SK218	〃	〃	〃	3	
5・6	〃	6ABO-I・J	SK238	麻布	9世紀前葉	Ⅶ	3・4	
* 7	〃	6ABO-F	SE311A	人形・斎串・櫛・錐	8世紀後葉	V	4	
* 〃	〃	〃	SE311B	陽物形・櫛・漆器・曲物・横槌・挽物	9世紀前葉	Ⅶ	4	
* 〃	〃	6ABO-D	SE272B	斎串・櫛・下駄・曲物・刳物・横槌	〃	〃	4	
* 11	〃	6ABB-B	SE551	曲物井戸枠	9世紀		7	
* 13	内裏北外郭	6AAB-U	SK820	檜扇・櫛・留針・刀形・鏃形・人形 刀子柄・工具柄・墨刺・木針・糸巻	747年頃	Ⅲ	7	
* 〃	〃	6AAO-D	SK870	斎串・匙・栓・冠・籠	8世紀後葉	V	7	
* 14	宮域西南隅	6ADH-F	SE1230	楯・曲物	8世紀前半		10	
* 〃	〃	6ADH-I	SE1247	斎串	9世紀		10	
〃	〃	6ADH-K	SE1313	曲物井戸枠	8世紀後半		10	
* 15	玉手門内	6ADF-I	SE1596	曲物井戸枠・部材	10世紀～11世紀		10	
〃	〃	〃	SE1598	曲物井戸枠	〃		10	
* 〃	〃	〃	SE1627	鎌柄	12世紀		10	

*16・17	朱雀門内	6ABX-H・T 6ABY-G・F	SD1900	櫛・下駄・糸巻・織機・琴柱・鎌柄・ 斧柄・刀子柄・曲物・刳物・籠	8世紀前葉	I	10	造営前，下ツ道 西側溝
* 18	西面大垣内官衙	6ADF-J	SK1979	鏃形・刀子形・座金形・鋲形・刀子柄	8世紀		10	鍛冶工房跡
* 20	内裏北外郭	6AAO-G	SK2101	刀形・斎串・木釘・杓子箸・曲物	750年頃	Ⅲ	7	
* 〃	〃	〃	SK2102	槽・部材	729年頃	Ⅱ	7	
* 〃	〃	〃	SD2104	鳶口形木器・籠	8世紀		7	
〃	〃	〃	SD2110	付札	8世紀中葉		7	
〃	〃	〃	SE2128	蓋板・曲物	8世紀後葉	V	7	
〃	〃	〃	SE2139	曲物	〃		7	
* 〃	〃	6AAO-M	SE2278	下駄・斎串	8世紀後葉	V	7	
* 21	内裏東外郭	6AAC-N	SE2600	人形・立体人形・杓子	〃		13	
* 21 129 139 154	内裏外郭東大溝 〃 〃 〃	6AAC-N・H 6AAA-G 6AAA-F・6AAB-S 6AAD-F	SD2700	槍扇・櫛・下駄・刀形・鏃形・人形 斎串・工具柄・木錘・糸巻・匙・杓子 蓋板・折敷・曲物・刳物・挽物・栓 刷毛・刀子柄・部材	8世紀後半		13 29 30 40	
* 22北	宮内省造酒司	6AAC-V	SD3035	曲物・箸・鳥形・鏃形・版木・人形	756年頃		13	
* 〃	〃	6AAC-U	SE3046	曲物・箸・杓子・人形	8世紀中葉		13	
〃	〃	〃	SD3047	曲物・箸	〃		13	
* 〃	〃	6AAC-U・V	SD3050	曲物・箸・杓子	770年頃		13	
* 〃	〃	6AAC-U	SE3049	部材・人形	8世紀中葉		13	
22南	東方官衙	6AAF-J	SA3099	糸巻・部材	8世紀		13	
128	〃	6ALR-Q	SD3109	櫛・瓢	〃		27	
*22南・128	〃	6AAF-K・6AAR-Q	SD3113	杓子・曲物・櫛・箸・紐・折敷・挽物	8世紀中葉		13・27	
22南	〃	6AAF-O・P	SD3194	杓子	8世紀後半		13	
〃	〃	6AAF-O	SK3339	円座・部材	〃		13	
* 〃 104	〃	6AAF-N・O・P 6ALR-U・T・S	SD3236	杵状品・刀子柄・刀形・槍扇・櫛・紡輪 糸巻・漆器・折敷・曲物・箸・杓子	775年頃	V	13・24	
22南	〃	6AAE-L・6AAF-N	SA3177	曲物・有孔円板・楔	8世紀後半		13	
〃	〃	6AAE-L	SA3178	曲物			13	
* 〃	〃	6AAF-J	SK3137 SK3139	曲物・挽物・糸巻・工具柄・部材・算木・ 有孔円板・漆高杯	770年頃		13	
* 〃	〃	〃	SD3154	鳥形・曲物・有孔円板	747年頃		13	
* 〃 128	〃 〃	6AAF-N・O・P 6ALR-Q	SD3297	匙・杓子・小円板・曲物・挽物・折敷 鏃形・鳴鏑・斎串・櫛・楔	8世紀後半		13・27	
* 22南	〃	6AAF-O	SK3264 SK3265 SK3271	人形・糸巻	755年頃		13	
〃	〃	6AAF-P	SX3209	曲物	769年頃		13	
〃	〃	〃	SK3213	曲物・箸	709年頃		13	
* 〃	〃	6AAF-N・O	SB3322	栓状木器	8世紀中葉		13	
〃	〃	6AAF-J	SD3155	算木・人形			13	
* 〃 〃 29 〃 32補 154	東方大溝 〃 〃 〃 〃 〃	6AAF-A・B 6AAE-C 6AAG-M 6AAH-C 6AAI-C 6AAD-C	SD3410	人形・琴柱・木錘・付札・錐柄・留針・ 下駄・刀子柄・漆器蓋・漆皿	8世紀後半		13 13 15 15 15 40	
25-2 103-14	西面外濠 〃	6AGC-D 6AGA-Q	SD3697	斎串・曲物	8世紀		10 34	
* 27 41 87 97 102 111 136 140	内裏外郭西大溝 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	6ABD-D, 6ABE-K 6ABE-M・P 6ABC-U・V 6ABF-B 6ABF-B, 6ABG-A・B, 6ABT-A・B 6ABH-A 6ABI-A 6ABJ-A	SD3715	人形・刀形・刀子形・斎串・櫛・曲物・ 折敷・挽物・刳物・錐柄・楔・横槌・墨 壺・刷毛・有孔円板・栓・車輪・付札・ 部材	8世紀後半		12 12 12 23 24 25 29 30	
97	同上の堰	6ABF-B	SX8411		8世紀中葉		23	
* 27 41 97	第1次大極殿東外郭大溝 〃 〃	6ABE-K 6ABE-M 6ABS-A・E	SD3765	人形・杓子・曲物・鋤・鎌柄・刀子	8世紀前葉	I・II	12 12 23	
* 27	第1次大極殿	6ABE-K	SK3730	鏃形・楔	8世紀後半	IV・V	12	
* 27 75	〃 〃	6ABR-P 6ABR-G	SK3784	匙	8世紀中葉	III・IV	12 12	
* 27	〃	6ABE-K	SA3777	合子蓋	8世紀中葉	IV	12	

* 28	〃 東外郭大溝	6ACC-F	SD3825	百万塔・刷毛・鏃形・留針・鳥形・杓子	8世紀後半		14	
* 32	南面外濠	6AAI-N・P	SD1250	人形・刀形・櫛・曲物・斎串・折敷・箸・鳥形・籠・挽物・漆器・鎌柄・錐柄・斧柄・物差・横槌・刀子柄・糸巻	8世紀		14	南面東門前の埋立地は8世紀前半
122	〃	6AAY-C・F					27	
130	〃	6ABZ-E					29	
133	〃	6ACU-E・H					28	
143	〃	6ABY-L					30	
* 32補	宮域東南隅	6AAI-C	SD4100A	木針・杓子・折敷・箸・曲物・刀子柄	8世紀中葉		15	
* 32	入隅部東面外濠	6AAI-M・N・O	SD4090	斎串・人形・有孔円板・杓子・曲物・匙・糸巻・刀子柄・留針・下駄・斧柄	8世紀		14	
39	〃	6ALS-J	SD4951				15	
118	〃	6AFJ-V・H					26	
* 39	〃 外濠迂回部B	6ALS-J	SD5050	人形・檜扇	8世紀後半		15	
* 〃	〃 〃 A	〃	SD5100	人形・杓子・琴柱・鎌柄・留針・火鑽板	8世紀中葉		15	
* 〃	宮域東南入隅部	〃	SK5104	斎串・部材	8世紀前半		15	
〃	〃 〃	〃	SK5116	下駄・刀子柄・曲物折敷	8世紀		15	
〃	入隅部南面外濠A	6ALS-D・G	SD4999	刀子形・曲物	8世紀前半		15	
* 〃	〃 〃 B	〃	SD5200	斎串・杓子・挽物・刳物・曲物・人形・留針・木錘	8世紀後半		15	
44	〃 〃 〃	6ALF-F・M					16	
120	〃 〃 〃	6ALF-Q					26	
* 37	西方官衙	6ACP-F	SD5280	刀子形	8世紀		15	
* 〃	〃	〃	SE5320	曲物・斎串	8世紀後葉～9世紀前葉		15	
41	第1次大極殿東南隅	6ABE-P	SK5535	加工棒	715年頃		12	
* 〃	〃 〃	6ABE-M	SD5505	檜扇・小円板	8世紀中葉	Ⅲ	12	
* 〃	〃 〃	〃	SD5564	鳥形・曲物	757年頃		12	
* 44	東院東面外濠	6ALF-E・F	SD5780	栓・有孔円板・曲物・杓子・蓋板・木針・糸巻・叩き板・槽・櫛・人形・箸・独楽・留針・匙・工具柄	8世紀		16	
〃	〃 〃	6ALG-A・B					23	
99	〃 〃	6ALF-E・D・H						
*44	東院園池	6ALF-L	SG5800B	杓子・楔・舟形・鳥形・斗形・曲物・工具柄・刀形・挽物・剣形・有孔円板・折敷・横槌・下駄・斎串・漆器・刳物	8世紀後半～9世紀前半		16	
*99	〃	6ALF-J・K					23	
102	〃	6ALF-P					26	
47	馬寮	6ADD-L	SD5960	斎串・曲物	8世紀前葉	Ⅱ	17	
* 51	〃	6ADD-P	SB5955	曲物	〃		17	
* 52	〃	6ADC-K	SE6166	斎串・折敷・曲物・蓋板	8世紀後葉	Ⅴ	17	
63	〃	6ADC-G	SD6151	斎串	8世紀	Ⅱ～Ⅴ	19	
〃	〃	6ADC-H・G	SD6482	杓子・杓子柄・斎串	8世紀		19	
* 〃	〃	6ADC-G	SK6509	甑	11世紀後葉		19	
71	〃	6ADD-Q	SE7094	櫛	9世紀後葉～10世紀前葉		19	
〃	〃	〃	SE7110	曲物	8世紀中葉～9世紀前葉		19	
* 35	内裏東南外郭	6AAF-S	SK7453	火鑽板	8世紀中葉		18	
* 77	第1次大極殿	6ABR-H	SB7802	人形・鳥形・刀形・鏃形・檜扇・匙・杓子・箸・折敷・曲物・刳物・楔	753年頃	Ⅳ	12	
* 78南	内裏	6AAP-L	SE7900	斎串・櫛・曲物・籠・折敷・木錘	8世紀後葉～9世紀前葉		21	
* 91	内裏西南外郭	6ABE-G	整地層	斎串・箸・曲物・箱・櫛	710年頃		22	
* 〃	〃 〃	〃	SD8161	鳥形・小円板	8世紀中葉	Ⅲ	22	
92	宮域西北園池	6AAC-D	SG8500	匙・杓子・箸・曲物・斎串・櫛	8世紀		22	佐紀池
101	〃	6ACA-W・S	〃	下駄・有孔円板・曲物・刳物・斎串	〃		23	
92	〃 排水溝	6AAC-D	SD8195	曲物・斎串	〃		22	
97	第2次朝堂院西外郭	6ABF-B	SD8419	匙	〃		23	
〃	〃 〃	〃	SE8407	板	〃		23	
〃	〃 〃	6ABS-B	SD8402	曲物	〃		23	
99	東面外濠	6ALF-H	SE8446	下駄・曲物・横槌・楔・留針	9世紀		23	
* 〃	東院園池	6ALF-J・K	SB8466	漆器・楔・斎串・栓	8世紀後葉		23	
〃	〃	6ALF-K	SA8468	楔	〃		23	
〃	〃	6ALF-J	SB8470	杓子	8世紀		23	
〃	〃	6ALF-H	SD8436	箸・竹	8世紀後葉		23	東面大垣の暗渠
* 104	東院西辺地区	6ALR-S・T・U	SD8600	刀子柄・杓子・刀形・曲物・櫛・箸・物差・楔・匙・横槌・人形・留針・琴柱	8世紀前半	Ⅰ・Ⅱ	24	
〃	〃	6ALR-U	SB8570	曲物			24	
〃	〃	6ALR-T	SA8574	楔			24	
〃	〃	〃	SA8576	曲物			24	
* 〃	〃	〃	SB8580	墨絵板・杓子	8世紀中葉		24	

104	東院西辺地区	6ALR-T	SB8593	刳物・曲物・杓子・檜扇・小円板	8世紀中葉	24	
〃	〃	6ALR-S	SB8595	杓子		24	
〃	〃	6ALR-T	SB8612	加工板		24	
〃	〃	6ALR-S	SK8630	横槌・尖頭棒		24	
〃	〃	6ALR-T	SB8638	曲物		24	
〃	〃	〃	SA8597	加工板		24	
〃	〃	〃	SK8653	杭		24	
〃	〃	〃	SK8698	杓子		24	
〃	〃	〃	SK8726	加工板		24	
〃	〃	〃	SK8728	曲物		24	
106	佐伯門東方	6ACD-I	SD8820	円板	8世紀	24	
〃	〃	6ACQ-C	SX8845	折敷	〃	24	
110	東院西辺地区	6ALF-I	SD9040	斗形	8世紀後半	25	
〃	〃	〃	SD9041	加工棒	8世紀	25	
〃	〃	〃	SA9060	刀子柄・斎串・曲物	8世紀中葉	25	
〃	〃	〃	SA9061	杓子	〃	25	
* 〃	〃	〃	SA9063	杓子・折敷・箸	8世紀前葉	25	
〃	〃	〃	SA9064	曲物・加工棒	8世紀後葉	25	
〃	〃	〃	SB9066	箸・加工板	〃	25	
〃	〃	〃	SB9071	加工板	8世紀中葉	25	
〃	〃	〃	SB9072	杓子・加工板	〃	25	
〃	〃	〃	SB9075	尖頭棒	8世紀後葉	25	
〃	〃	〃	SD9092	加工板	8世紀中葉	25	
113	第2次大極殿	6AAR-A	SB9140	加工板		35	
* 117	第1次大極殿	6ABQ-A	SE9210	櫛・曲物・独楽・把手	10世紀	12	
119	第1次朝堂院南門	6ABW-E	SA9202B	加工棒	8世紀中葉	26	
128	東院西辺地区	6ALR-Q	SD3193	糸巻・曲物	〃	27	
〃	〃	〃	SE9600	曲物・杓子・櫛・車輪	8世紀後葉	27	
〃	〃	〃	SK9608	独楽	〃	27	
〃	〃	〃	SD9620	曲物・鍬・糸巻・折敷	8世紀前葉	27	
* 〃	〃	〃	SD9648	曲物・人形	〃	27	
* 〃	〃	〃	SD9649	曲物・人形・刀柄	8世紀後葉	27	
〃	〃	〃	SX9686	加工棒	〃	27	
129	内裏北方官衙	6AAA-G	SE9745	曲物・斎串	8世紀後半	29	
130	朱雀大路	6ABZ-E	SD9920	曲物・人形・刀形	8世紀	29	東側溝
133	若犬養門内	6ACU-D	SD10250	杓子・人形・刀形・木針	8世紀後半	28	
* 〃	〃	〃	SG10240	人形・刀形・曲物・楔・挽物・斧柄・匙・鳥形・斎串・刀子柄・有孔円板	〃	28	
* 139	内裏北外郭東北方	6AAA-F	SD10550	人形・鎌形・斧柄・曲物・陽物形	8世紀	30	
140	第1次朝堂院東外郭	6ABH-A	SD10325	箱・人形・挽物		30	
143	朱雀大路	6ABY-L	SD10950	人形	8世紀	30	西側溝

奈良県・平城京

次数	遺跡	地区	遺構	主要木器	年代	土器編年	文献	備考
*	左京二条五坊北郊		井戸	斎串・木履	8世紀後半		1・86	邸宅跡
* 44	左京二条二坊条間路	6ALG-C	SD5785	琴柱・折敷・杓子・鋸歯状木器・刀形・曲物・糸巻・留針	8世紀前葉		16	南側溝
120	〃 〃 〃	6ALF-Q			8世紀		26	〃
* 44	〃 〃 〃	6ALG-A	SD5788	斎串・杓子・曲物・楔・部材・算木	8世紀中葉		16	〃
* 55	〃 一条三坊十五・十六坪	6AFB-I	SD485	人形・斎串・曲物・箸・折敷・糸巻・木針・刀子柄・錐柄・杵・攪網・刷毛	723年頃	II	5	邸宅跡
56	〃 〃 〃	6AFB-H						
55	〃 〃 〃	6AFB-I	古墳整地層	曲物・部材	8世紀前葉		5	〃
* 56	〃 〃 〃	6AFB-H	SE495	斎串・曲物	〃		5	〃
* 57	〃 〃 東三坊大路	6AFB-A～E	SD650	漆器・人形・斎串・物忌札・刀子形・刀形・鎌形・檜扇・櫛・曲物・杓子・下駄	9世紀前半		5	東側溝

* 68	〃 二条二坊六坪	6ALG-B	SD5780	斎串・鍬形・櫛・木印	8世紀	19	
118-23	〃 三条二坊七坪	6AFI-R	〃	弓・刀形・人形・斎串・曲物・箱	8世紀前葉	Ⅰ～Ⅱ	36	
123-26	〃 二条二坊五坪	6ALH	〃	櫛・曲物・人形・独楽	8世紀中葉	Ⅲ	37	
68	〃 〃 六坪	6ALG-B	SB6545	加工板	8世紀		19	
* 83	〃 三条二坊十坪	6AFI-H	SE877	斎串・曲物・木槌・櫛	8世紀後葉	Ⅴ	6	邸宅跡
* 86	〃 〃 十五坪	〃	SE967	斎串・刳物・挽物・曲物・陽物形	〃	Ⅴ	6	〃
89	〃 二条二坊十四坪	6AFF-E	SE026	曲物井戸枠	8世紀か		31	
* 90	〃 五条一坊四坪	6AFR-L	SE1081	曲物井戸枠	8世紀中葉		22	宅地跡
〃	〃 〃 〃	〃	SE1095	曲物井戸枠	8世紀		22	
* 93	〃 八条三坊十坪	6ATI-H	SD1155	人形・斎串・留針・櫛・刀子・挽物・匙・漆皮・箸・曲物・下駄・篦	8世紀中葉		41	小路の側溝
* 93	〃 〃 九坪	6ATI-I	SE1230	漆器・曲物	8世紀後半		41	宅地跡
〃	〃 〃 〃	〃	SE1260	曲物井戸枠	8世紀後葉		41	〃
* 〃	〃 〃 東堀川	6ATI-I・J	SD1300	人形・木錘・留針・櫛・杓子・挽物・曲物・斎串・刀形・漆器・糸巻・杓子	8世紀後半～9世紀前葉		41
*141-23	〃 九条三坊〃	6AHN					51
94	〃 八条三坊十坪	6ATI-G	SE1350	斎串・杓子	8世紀		41	
95-1	〃 法華寺南門	6BFK-D	遺物包含層	下駄・糸巻・漆器・箸			32	
* 96	〃 三条二坊六坪	6AFI-Q	SD1525	自在鈎・人形・糸巻・木偶・木針・木錘・匙・杓子・斎串・挽物・曲物・箸・鞘・琴柱・槽	8世紀前半		42
* 109	〃 〃 〃						42
* 121	〃 〃 〃						47
109	左京三条二坊六坪	6AFI-P	SB1472	墨漆布	8世紀後半		42	
103-15	〃 三条一坊二坪	6AFJ-K	SD1732	角棒	8世紀か		34	
109	〃 三条二坊六坪	6AFI-P	SE1511	加工材	8世紀		42	
109	〃 〃 〃	6AFI-P	SD1466	斎串	〃		42	
〃	〃 〃 〃	〃	SX1464	刀形	〃		42	
* 109	〃 〃 〃	6AFI-P	SD1560	曲物・横槌	8世紀前葉		42
121	〃 〃 〃	6AFI-Q					47
108	〃 大安寺西中房	6AHB-I	SE1623	曲物井戸枠	12世紀		45	
* 116	〃 三条四坊七坪	6AFG-N	SE1801	櫛・斎串・瓢	8世紀後葉	Ⅴ	46	
* 〃	〃 〃 〃	〃	SK1796	飾棒・刀子柄・斎串・独楽・杓子・折敷	〃	Ⅳ	46	
〃	〃 〃 〃	6AFG-O	SE1898	曲物・斎串	〃	Ⅴ	46	
* 〃	〃 〃 〃	〃	SX15	曲物・斎串	8世紀中葉	Ⅲ	46	
〃	〃 〃 〃	〃	SX27	挽物	〃	Ⅲ	46	
〃	〃 〃 〃	〃	SK1888	箸	8世紀		46	
〃	〃 〃 〃	〃	SK1889	漆器	〃		46	
〃	〃 〃 〃	〃	SX23	曲物	8世紀中葉	Ⅲ	46	
118-8	〃 三条一坊十五坪	6AFJ-V・H	SD3935	檜皮・木簡	8世紀後葉	Ⅴ・Ⅵ	26	東一坊大路西側溝
118-16	〃 六条一坊十坪	6AHD	SK05	加工材			36	
118-22	〃 三条一坊八坪	6AFJ-H	SD4006	曲物			36	二条大路南側溝
80	左京阿弥陀浄土院跡	6BFK-B	SK847	籠			20	
〃	〃 〃	〃	SD840	曲物・下駄・折敷・杓子・栓			20
118-30	〃 〃	〃	SD845				36
〃	〃 〃	〃	暗渠	加工板			36	
*123-4	〃 法華寺	6BFK-D	SD03	曲物・鳥形			37	
〃	〃 〃	〃	SA01	加工板・礎板			37	
〃	〃 〃	〃	SG04	加工板			37	
123-3	〃 二条四坊八坪	6AFD-J	SD04	加工板			37	一条大路南側溝
131-16	〃 〃 九坪	6AFD-I	SE2059	曲物井戸枠			38	
14-115	〃 二条二坊十三坪	6AFF-H	SK2379	折敷			39	
141-28	〃 三条三坊七坪	6AFH	SD2325	曲物	8世紀		39	東三坊路西側溝
*市調査	〃 五条二坊十四坪	6AFQ-F	SE03	斎串・刀子鞘・独楽・櫛・檜扇・曲物・つるべ・漆器	8世紀後葉	Ⅲ～Ⅵ	78	
* 〃	〃 〃 〃	〃	SE02	曲物	8世紀中葉	Ⅲ	78	
〃	〃 五条一坊七坪	6AFR	SE01	加工棒	8世紀			
〃	〃 八条二坊四坪	6AHK	SE16	檜扇・斎串・曲物・加工棒・加工板	8世紀後葉		80	
〃	〃 三条一坊七坪	6AFJ	SD01	加工板・加工棒・折敷	〃		81	東一坊坊間路西側溝
〃	〃 三条四坊六坪	6AFG	SE11	曲物・加工棒	〃		81	

市調査	左京四条二坊七坪	6AFM	SE13	曲物	8世紀後葉		81	
〃	〃 〃 〃	〃	SE14	斎串・曲物	〃		81	
〃	〃 〃 〃	〃	遺物包含層	栓			81	
〃	〃 六条三坊十坪	6AHB	SD02	曲物・櫛	8世紀後半～9世紀前葉		81	東堀川(SD1300)
〃	〃 〃 十三坪	6AHB	SE17	斎串	8世紀中葉		81	
〃	〃 〃 〃	〃	SE15	曲物	10世紀後葉～11世紀前葉		81	
〃	〃 東市	6ATI	SD17	人形・斎串・刀子鞘・竪櫛・篦・留針・檜扇・下駄・木皿・曲物	8世紀後半～9世紀前葉		82	東堀川(SD1300)
〃	〃 二条二坊十二坪	6AFF	SD03	箸・杓子・蓋・斎串・陽物形・刀子柄・篦・檜扇・櫛・曲物・加工棒・加工板	8世紀後半		84	二条大路北側溝
〃	〃 〃 〃	〃	SE31	斎串	8世紀前葉		84	
〃	〃 〃 〃	〃	SE32	斎串	〃		84	
〃	〃 〃 〃	〃	SE35	斎串・曲物	8世紀後葉		84	
〃	〃 五条五坊十坪	6AEK	SE32	人形・檜扇・斎串・箸・櫛・加工棒	8世紀後葉		83	
〃	〃 〃 〃	〃	SE30	曲物・斎串	8世紀後半		83	
〃	〃 六条三坊十五坪	6AHB	SE01	鍬・下駄	10世紀前半		81	
西1	右京西隆寺東門	6BSR	SD005	斎串・曲物	8世紀後半		43	
〃	〃 〃 〃	〃	SE010	人形・斎串・折敷	8世紀後葉		43	
*〃	〃 〃 〃	〃	SX033	杓子・糸巻	8世紀後半		43	
*〃	〃 〃 〃	〃	SX035	斎串・挽物・箸・部材	〃		43	
*〃	〃 〃 〃	〃	SX037	糸巻・刀柄頭	6世紀か		43	
西3	〃 〃 金堂	〃	SE080	曲物・櫛	8世紀中葉		43	
*〃	〃 〃 〃	〃	SE130	斎串	〃	Ⅲ	43	
*100	右京五条四坊三坪	6AGQ-Lトレンチ	SE020	曲物・刀子柄	8世紀後半	Ⅲ～Ⅳ	44	
*〃	〃 〃 〃	〃	SX030	筆管	8世紀中葉	Ⅲ	44	
〃	〃 〃 〃	6AGQ-Mトレンチ	SE015	曲物・箸	8世紀		44	
103-16	〃 北京路大路	6AGR-D	SE178	斎串・刀子柄・曲物	8世紀後葉	Ⅴ	34	
*112-4	〃 北辺三坊一坪	6AGS-A	SE237	曲物・斎串	9世紀		35	
112-9	〃 五条二坊十二坪	6AGO-O	SE341	下駄・檜扇	9世紀～12世紀		35	
118-1	〃 〃 五坪	6AGO-F	SE361	曲物・籠・箸	〃		36	
*125	〃 九条一坊	6AIM-Ⅰ～Ⅳトレンチ	SD950	斎串・人形・留針・糸巻・曲物・折敷	8世紀後半	Ⅲ～Ⅶ	48	九条大路北側溝
*〃	〃 〃 十二坪	6AIM-Ⅱトレンチ	SD920	斎串・人形・留針・鞘金具形・櫛・曲物	8世紀中葉	Ⅱ～Ⅲ	48	西一坊坊間路西側溝
*151	〃 八条一坊十一坪	6AII-Q	〃	独楽・杓子・物差・人形・馬形・刀子・下駄・錐	8世紀後葉～9世紀前葉		54	
〃	〃 〃 〃	〃	SE930	曲物	8世紀中葉	Ⅲ	54	
125	〃 九条一坊十二坪	6AIM	SK960	曲物			48	
〃	〃 〃 五坪	〃	SK962	円板	8世紀前葉	Ⅰ～Ⅱ	48	
123-7	〃 六条三坊三坪	6AGB	遺物包含層	曲物			37	
123-17	〃 二条三坊十一・十五坪	6AGD	SD01	加工板・加工棒・ムシロ			37	二条条間路北側溝
	〃 薬師寺東僧坊北	6BYS	SE05	火鑽臼・杓子・挽物・刳物	716年頃	Ⅱ	34	
西市2	〃 西市	6ASI-Eトレンチ	SD380	曲物・挽物・櫛			50	
〃	〃 〃	6ASI-Fトレンチ	SE394	曲物・尖頭棒	8世紀後半	Ⅲ～Ⅴ	50	
〃	〃 〃	6ASI-Fトレンチ	SE393	曲物・尖頭棒	8世紀中葉	Ⅲ	50	
*〃	〃 〃	6ASI-Hトレンチ	SE395	曲物・刀子柄・机・棚板	8世紀前葉	Ⅱ	50	
〃	〃 〃	6ASI-Iトレンチ	SE407	斎串	8世紀後半	Ⅲ～Ⅴ	50	
123-2	〃 三条一坊十二・十三坪	6AGF-T	SD799	曲物・下駄			37	三条大路北側溝
*137	〃 二条二坊十六坪	6AGC-S	SE540	杓子・加工棒	8世紀中葉	Ⅲ	49	
131-9	〃 六条一坊十四坪	6AIA	SD01	加工板			38	六条条間路南側溝
市調査	〃 四条一坊十五坪	6AGN	SE01	篦	8世紀前半		79	
〃	〃 四条二坊二坪	6AGO	SE01	曲物	8世紀		80	
〃	〃 〃 〃	〃	SE02	櫛・曲物・円板	8世紀後葉		80	

和歌山県

遺跡	所在地	遺構	主要木器	年代	文献	備考
*野田地区	有田郡吉備町	溝4	曲物・農具柄・刀子形・下駄	11世紀中葉～13世紀後葉	1	
* 〃	〃 〃	溝5	人形・曲物・匙・下駄・杓子	10世紀後半	1	
* 〃	〃 〃	溝6	人形・斎串・机・曲物・樋・叩板	9世紀後葉～10世紀前半	1	
* 〃	〃 〃	溝7	人形・斎串・馬形・曲物・箸・横槌・樋・下駄・折敷	9世紀	1	

付表２　木器出土遺跡文献表

三　重　県

1　鈴木敏雄『桑名郡多度町柚井貝塚誌考』1928・1931年
2　三重県県教育委員会『昭和54年度県営圃場整備事業地域埋蔵文化財発掘調査報告』1980年
3　上野市教育委員会・上野市下郡遺跡調査会『下郡遺跡発掘調査報告』上野市文化財調査報告５　1978年
4　三重県教育委員会『北堀池遺跡発掘調査概要』Ⅲ　1980年

滋　賀　県

1　滋賀県教育委員会・湖西線関係遺跡発掘調査団『湖西線関係遺跡発掘調査報告』1973年
2　林博通・吉谷芳幸ほか「最近の滋賀県下における発掘調査の紹介　その１」『滋賀県文化財だより』73（財）滋賀県文化財保護協会　1983年
3　林博通「滋賀・穴太遺跡」『木簡研究』第５号　木簡学会　1983年
4　林博通・栗本政志「近江国府関連官衙跡の調査―大津市瀬田野畑遺跡の調査概要―」『古代文化』35―１　1983年
5　林博通「滋賀・野畑遺跡」『木簡研究』第５号　木簡学会　1983年
6　（財）滋賀県文化財保護協会「昭和58年度滋賀県下における発掘調査の紹介　その２」『滋賀文化財だより』84　1984年
7　丸山竜平ほか「下寺観音堂遺跡」『滋賀県文化財調査年報昭和51年度』滋賀県教育委員会　1978年
8　滋賀県教育委員会「草津市観音堂遺跡」『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ―Ⅰ』1976年
9　平井寿一・大橋信弥「草津市矢倉口遺跡発掘調査略報」『滋賀文化財だより』45　（財）滋賀県文化財保護協会　1980年
10　「学会動向・平安期の人形」『季刊考古学』第２号　雄山閣出版　1983年
11　滋賀県教育委員会・守山市教育委員会『服部遺跡発掘調査概報』（財）滋賀県文化財保護協会　1979年
12　守山市教育委員会『川中遺跡発掘調査概要』1982年
13　滋賀県教育委員会・野洲町教育委員会『久野部遺跡発掘調査報告―七ノ坪地区―』（財）滋賀県文化財保護協会　1977年
14　（財）滋賀県文化財保護協会「最近の滋賀県下における発掘調査の紹介　その４」『滋賀文化財だより』76　1983年
15　野洲町教育委員会「北桜遺跡」『昭和56年度三堂・野々宮遺跡他発掘調査概要報告書』1982年
16　長浜市教育委員会ほか『宮司遺跡・十里町遺跡発掘調査報告書』1977年
17　（財）滋賀県文化財保護協会「最近の滋賀県下における発掘調査の紹介　その３」『滋賀文化財だより』75　1983年
18　吉田秀則「坂田郡近江町奥松戸遺跡発掘調査抄報」『滋賀文化財だより』79　（財）滋賀県文化財保護協会　1983年
19　滋賀総合研究所『びわ湖と埋蔵文化財』1984年
20　（財）滋賀県文化財保護協会「昭和58年度滋賀県下における発掘調査の紹介　その２」『滋賀文化財だより』84　1984年
21　西浅井町教育委員会『諸川遺跡発掘調査報告書』1984年
22　山口順子「高島郡マキノ町仏性寺遺跡出土の田下駄」『滋賀県文化財だより』32　（財）滋賀県文化財保護協会　1979年
23　兼康保明・尾崎好則・山口順子「針江北遺跡の調査」『国道161号線バイパス関連遺跡調査概要（昭和57年度）』滋賀県教育委員会・（財）滋賀県文化財保護協会　1983年
24　葛原秀雄「伊井永田遺跡」『今津町文化財調査報告　第２集』今津町教育委員会　1983年
25　丸山竜平・兼康保明『鴨遺跡』高島町歴史民俗叢書第二輯　高島町教育委員会・滋賀県教育委員会・滋賀県文化財保護協会　1980年
26　兼康保明「井戸における斎串使用の一例―滋賀県高島郡鴨遺跡の井戸―」『古代研究』９　1980年

京　都　府

1　吉本堯俊・北山惇・浪貝毅『森本遺跡発掘調査概報』長岡京発掘調査団　1970年
2　中山修一・小林清・吉本堯俊・浪貝毅・末本信策「長岡京昭和45年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報1971』京都府教育委員会　1971年（以下『京都府概報』と略す）
3　高橋美久二「長岡京跡左京三条二坊第１次発掘調査概要」『京都府概報1975』1975年　p. 34～39
4　徳丸始朗・百瀬正恒・高橋美久二「長岡京跡左京三条二坊第２次発掘調査概要」『京都府概報1976』1976年　p. 51～79

5 高橋美久二「長岡宮跡昭和51年度発掘調査概要」『京都府概報1977』1977年 p. 1〜31
6 平良泰久・奥村清一郎ほか「古殿遺跡発掘調査概要」『京都府概報1978』1978年 p. 92〜162
7 高橋美久二・奥村清一郎ほか「長岡京跡昭和53年度発掘調査概要」『京都府概報1979』1979年 p. 64〜226
8 高橋美久二・久保哲正ほか「長岡京跡右京第26次発掘調査概要」『京都府概報1980—2』1980年 p.1〜285
9 山中章・高橋美久二ほか「長岡京跡左京第13次(7ANESH地区)発掘調査報告」『向日市埋蔵文化財調査報告書第4集』1978年（以下『向日市報告』という）p. 1〜39
10 山中章ほか「長岡京第7708次(7ANEKD地区)立合調査報告」『向日市報告4』1978年 p. 83〜91
11 山中章「長岡宮跡第8次(7AN3A)発掘調査概要」『向日市報告5』1979年 p. 27〜41
12 山中章「長岡京左京第15・27次(7ANFOT-Ⅰ・Ⅱ地区)発掘調査概要」『向日市報告6』1980年 p. 31〜85
13 山中章・清水みき「長岡京跡左京第51次(7ANESH-4地区)〜右京二条二坊六町〜発掘調査概要」『向日市報告7』1981年 p. 79〜136
14 山中章・清水みき「長岡宮跡第111次(7AN11D地区)—北辺官衙—発掘調査概要」『向日市報告8』1982年 p. 61〜76
15 山中章・渡辺博・清水みき「長岡京跡左京第71次(7ANFOT-4地区)—左京四条二坊九町一発掘調査概要」『向日市報告8』1982年
16 久保田健士「長岡宮跡第125次(7AN3B地区)」『京都府埋蔵文化財情報』6 (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター 1982年 p. 23・24
17 小田桐淳「左京第84次(7ANMTG-2地区)・第87次(7ANMTG-3地区)調査略報」『長岡京市埋蔵文化財センター年報 昭和57年度』1983年 p. 139〜142
18 岩崎誠「右京第155次(7ANKST地区)調査概報」『長岡京市埋蔵文化財センター年報 昭和58年度』1984年 p. 128〜139
19 岩崎誠「長岡京跡右京第94次(7ANQUD地区)調査概要」『長岡京市文化財調査報告書 第11冊』長岡京市教育委員会 1983年 p. 41〜48
20 中尾秀正・安井直子「右京第8次(7ANISB地区)調査概要」『長岡京市文化財調査報告書 第12冊』長岡京市教育委員会・長岡京跡発掘調査研究所 1984年 p. 15〜29
21 岩崎誠・見目とも子・伊辻忠司・白川成明「右京第37次（7ANINE 地区）調査概要」『長岡京市文化財調査報告書 第12冊』1984年 p. 47〜60
22 山本輝雄「長岡京跡右京第95次調査概要(7ANNHR地区)」『長岡京市埋蔵文化財調査報告書 第1集』(財)長岡京市埋蔵文化財センター 1984年 p. 25〜50
23 岩崎誠「長岡京跡右京第102次調査概要(7ANMMK地区)」『長岡京市埋蔵文化財調査報告書 第1集』(財)長岡京市埋蔵文化財センター 1984年 p. 81〜104
24 小田桐淳「長岡京跡左京第87次調査概要(7ANMTG-3地区)」『長岡京市埋蔵文化財調査報告書 第1集』(財)長岡京市埋蔵文化財センター 1984年 p. 181〜213
25 戸原和人「長岡京跡左京14次調査7ANEJS地区」『長岡京』9・10合併号 長岡京跡発掘調査研究所 1978年 p. 9〜12
26 日本専売公社関西支社・鳥羽離宮跡調査研究所『日本専売公社工場用地内埋蔵文化財発掘調査概報』1977年
27 長岡京市教育委員会『(仮)長岡第十小学校建設に伴う発掘調査(長岡京右京第25次発掘調査7ANGTE地区)現地説明会資料』1979年
28 三上貞二『恵解山古墳周濠第2次調査概報』長岡京市文化財調査報告書第3冊 1975年
29 平安京調査会『平安京跡発掘調査報告—左京四条一坊—』1975年
30 長宗繁一・鈴木久男「西寺井戸跡」『平安京跡発掘調査概報』京都市埋蔵文化財研究所概報集 1978—Ⅱ 1978年 p. 48〜61
31 (財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡昭和51年度発掘調査概要』1977年
32 (財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡—昭和51年度区画整理道路予定地内発掘調査概要—』1977年
33 (財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡(1977年)—区画整理道路予定地内発掘調査概要—』1978年
34 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡(1979年度)文化庁国庫補助事業による発掘調査の概要』1980年
35 (財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡(昭和54年度)区画整理道路予定地内発掘調査概要』1981年
36 京都市埋蔵文化財調査センター・(財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡調査概要昭和55年度』1981年
37 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡調査概要昭和56年度』1982年
38 (財)京都市埋蔵文化財研究所『昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要』1984年
39 (財)京都市埋蔵文化財研究所『平安京西市—南病院中棟新築に伴う発掘調査の概要—』1979年
40 (財)京都市埋蔵文化財研究所『平安京跡発掘資料選』1980年
41 京都市『史料京都の歴史』第2巻 考古 1983年
42 京都市文化観光局文化財保護課『六勝寺跡—京都市埋蔵文化財年次報告1976—Ⅱ』1977年
43 京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所『京都市内遺跡試掘立会調査概報—昭和57年度』1983年
44 家崎孝治「京都・仁和寺南院跡」『木簡研究』第5号 木簡学会 1983年
45 六勝寺研究会『大藪遺跡発掘調査報告』1973年

46　京都市文化観光局・(財)京都市埋蔵文化財研究所『中久世遺跡発掘調査概報』1982年
47　小森俊寛・原山広志「No. 74」『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報Ⅲ(1977～1981年度)』1982年
48　福尾正彦「成菩提院陵駐車場整備工事区域の事前調査」『書陵部紀要』第33号　宮内庁書陵部　1982年
49　吉川義彦「平安京・朱雀院跡と西宮領跡」『仏教芸術』115号　特集・京都市の埋蔵文化財　毎日新聞社　1977年
50　(財)古代学協会『平安京左京四条三坊十三町—長刀鉾町遺跡—』平安京跡研究調査報告第11輯　1984年
51　(財)京都市埋蔵文化財研究所『中臣遺跡—文化庁国庫補助事業による発掘調査の概要1977年度—』1978年
52　岩滝町教育委員会『定山遺跡発掘調査報告書』1979年
53　岩滝町教育委員会『定山遺跡第２次発掘調査報告書』1980年
54　竹原一彦「下畑遺跡発掘調査概要」『京都府遺跡調査概報』第６冊　(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター　1984年　p. 105～117

大　阪　府

1　泉大津市教育委員会『豊中遺跡発掘調査概要Ⅲ』1979年
2　(財)大阪文化財センター『河内平野を掘る』1981年
3　大阪府教育委員会『金岡遺跡発掘調査概要』大阪府文化財調査概要1973—10　1974年
4　大阪府教育委員会『川北遺跡発掘調査概要Ⅱ』1982年
5　大阪府教育委員会『挟山遺跡・軽里遺跡発掘調査概要』1978年
6　(財)大阪文化財センター『亀井・城山』1980年
7　大阪府教育委員会『萱振遺跡現地説明会資料Ⅰ』1984年
8　大阪府教育委員会『東阪田遺跡—1979年度第１区の調査』1980年
9　羽曳野市教育委員会『古市遺跡群発掘調査報告書』1979年
10　(財)大阪文化財センター『長原』1978年
11　(財)大阪市文化財協会『難波宮址の研究第７』(報告篇)　1981年
12　難波宮址顕彰会『難波宮跡研究調査年報　1974』1976年
13　高槻市教育委員会『昭和47・48年度高槻市文化財年報』1974年
14　原口正三「郡家今城遺跡」『高槻市史　第６巻考古篇』高槻市役所　1973年
15　原口正三「上田部遺跡」『高槻市史　第６巻考古篇』高槻市役所　1973年
16　高槻市教育委員会『高槻市文化財年報1972年』1973年
17　森田克行『大蔵司遺跡発掘調査概要』大阪府教育委員会　1981年
18　高槻市教育委員会『嶋上郡衙跡発掘調査概要』５　1981年
19　吹田市教育委員会『垂水南遺跡発掘調査概報』1977年

兵　庫　県

1　神戸市教育委員会・吉田片山遺跡調査団『吉田南遺跡現地説明会資料Ⅰ～Ⅵ』1977年～1980年
2　鎌木義昌・亀田修一「兵庫・出合遺跡」『木簡研究』第５号　木簡学会　1983年
3　神戸市教育委員会『新方遺跡発掘調査概要』1977年
4　西口和彦ほか「上原田遺跡調査概報」『播但連絡有料自道車道建設にかかる埋蔵文化財調査報告書』兵庫県教育委員会　1980年
5　山本博利・秋枝芳「兵庫・辻井遺跡」『木簡研究』第５号　木簡学会　1983年
6　姫路市教育委員会『本町遺跡第２期発掘調査実績報告書』1981年
7　岡野慶隆『川西市栄根遺跡第８～11次発掘調査概報』川西市教育委員会　1983年
8　兵庫県教育委員会『淡路・志知川沖田南遺跡昭和55年度発掘調査略報』1980年
9　井守徳男「本位田遺跡」『中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財調査報告書—佐用郡編—』兵庫県文化財調査報告第11冊　兵庫県教育委員会　1976年
10　兵庫県教育委員会『山垣遺跡—近畿自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概報—』1984年
11　日高町教育委員会『但馬・禰布ケ森西遺跡調査報告書—312号線日高バイパスに伴う発掘調査—』日高町文化財調査報告書第２集　1976年
12　加賀見省一「姫谷遺跡」『日高町史　資料編』日高町　1980年　p. 224～249

13　金子裕之・加賀見省一「特異な木製模造品を出土した兵庫県姫谷遺跡」『月刊文化財』202号　1980年　p. 48～52
14　但馬国分寺跡発掘調査団『但馬国分寺木簡』日高町文化財調査報告第５集　日高町教育委員会　1981年

奈　良　県

1　田中一郎「奈良高等学校校庭発見の１号丸井戸調査概報」『文化史論叢』奈良国立文化財研究所学報第３冊（以下奈文研学報）1955年
2　奈良国立文化財研究所（以下奈文研）『川原寺発掘調査報告』奈文研学報第９冊　1959年
3　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅱ―官衙地域の調査』奈文研学報第15冊　1962年
4　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅳ―官衙地域の調査』奈文研学報第17冊　1966年
5　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅵ―平城宮左京一条三坊の調査』奈文研学報第23冊　1975年
6　奈文研『平城宮左京三条二坊』奈文研学報第25冊　1976年
7　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅶ―内裏北外郭の調査』奈文研学報第26冊　1976年
8　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ―小墾田宮推定地・藤原宮の調査』奈文研学報第27冊　1976年
9　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ―藤原宮西方官衙地域の調査』奈文研学報第31冊　1979年
10　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅸ―宮城門・大垣の調査』奈文研学報第34冊　1978年
11　奈文研『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ―藤原宮西方官衙・内裏東外郭の調査』奈文研学報第37冊　1980年
12　奈文研『平城宮発掘調査報告Ⅺ―第１次大極殿地域の調査』奈文研学報第40冊　1982年
13　平城宮跡発掘調査部「昭和39年度平城宮発掘調査概報」『奈文研年報1965』　p. 30～40
14　平城宮跡発掘調査部「昭和40年度平城宮発掘調査概報」『奈文研年報1966』　p. 31～40
15　平城宮跡発掘調査部「昭和41年度平城宮発掘調査概報」『奈文研年報1967』　p. 35～45
16　「奈良国立文化財研究所要項」『奈文研年報1968年』　p. 37～41
17　平城宮跡発掘調査部「昭和43年度平城宮発掘調査概報」『奈文研年報1969』　p. 34～44
18　平城宮跡発掘調査部「1969年度平城宮跡・藤原宮跡発掘調査」『奈文研年報1970』　p. 33～41
19　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・飛鳥藤原宮跡発掘調査」『奈文研年報1971』　p. 23～36
20　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡とその周辺の発掘調査」『奈文研年報1973』　p. 18～35
21　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡とその周辺の発掘調査」『奈文研年報1974』　p. 21～33
22　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1975』　p. 10～23
23　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1977』　p. 21～37
24　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1978』　p. 18～31
25　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1979』　p. 20～27
26　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1980』　p. 22～35
27　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡と平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1981』　p. 14～27
28　平城宮跡発掘調査部「平城宮大極殿後殿・若犬養門の調査」『奈文研年報1982』　p. 6～10
29　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・平城京跡の発掘調査」『奈文研年報1982』　p. 32～41
30　平城宮跡発掘調査部「平城宮跡・京跡の発掘調査」『奈文研年報1983』　p. 19～32
31　奈文研『昭和49年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1975年
32　奈文研『昭和50年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1976年
33　奈文研『昭和51年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1977年
34　奈文研『昭和52年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1978年
35　奈文研『昭和53年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1979年
36　奈文研『昭和54年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1980年
37　奈文研『昭和55年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1981年
38　奈文研『昭和56年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1982年
39　奈文研『昭和57年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1983年
40　奈文研『昭和58年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報』1984年
41　奈文研『平城京左京八条三坊発掘調査概報―東市周辺東北地域の調査』1976年

42　奈文研『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』1976年
43　西隆寺調査委員会『西隆寺発掘調査報告』1976年
44　奈文研『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』1977年
45　奈文研『平城京左京六条三坊十四坪発掘調査概報』1978年
46　奈文研『平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報』1980年
47　奈文研『平城京左京三条二坊六坪発掘調査概報』1980年
48　奈文研『平城京九条大路一県道城廻り線予定地発掘調査概報Ⅰ』1981年
49　奈文研『平城京右京二条二坊十六坪発掘調査概報』1982年
50　奈文研『平城京西市一右京八条二坊十二坪の発掘調査』1982年
51　奈文研『平城京東堀河一右京九条三坊の発掘調査』1983年
52　奈文研『平城京左京二条二坊十三坪の発掘調査』1984年
53　奈文研『平城京左京三条二坊三坪発掘調査報告』1984年
54　奈文研『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』1984年
55　奈文研『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報３』1973年
56　奈文研『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報５』1975年
57　奈文研『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報６』1976年
58　奈文研『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報７』1977年
59　奈文研『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報８』1978年
60　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報９』1979年
61　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報10』1980年
62　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報11』1981年
63　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報12』1982年
64　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報13』1983年
65　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報14』1984年
66　奈文研飛鳥藤原宮跡発掘調査部『藤原京右京七条一坊調査概報』1979年
67　奈良県教育委員会（以下奈良県教委）『橿原』奈良県史跡名勝天然記念物調査報告書第17冊（以下奈良県史名天報告）1961年
68　奈良県教委『藤原宮』奈良県史名天報告第25冊　1969年
69　奈良県立橿原考古学研究所(以下橿考研)『飛鳥京二』奈良県史名天報告第40冊　1980年
70　桜井市教委・橿考研『纒向一奈良県桜井市纒向遺跡の調査』1976年
71　橿考研『奈良県遺跡調査概報1976年度』1977年
72　橿考研『奈良県遺跡調査概報1977年度』1978年
73　橿考研『奈良県遺跡調査概報1978年度』1979年
74　橿考研『奈良県遺跡調査概報1979年度』1980年
75　橿考研『奈良県遺跡調査概報1980年度』1982年
76　橿考研『奈良県遺跡調査概報1982年度』1983年
77　橿考研『院上遺跡』奈良県文化財調査報告書第40集　1983年
78　奈良市教育委員会(以下奈良市教委)『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和54年度』1980年
79　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和55年度』1981年
80　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和56年度』1982年
81　奈良市教委『奈良市埋蔵文化財調査報告書昭和58年度』1984年
82　奈良市教委『平城京東市跡推定地の調査Ⅱ』1984年
83　奈良市教委『平城京左京(外京)五条五坊七・十坪発掘調査概要報告』1982年
84　奈良市教委『平城京左京二条二坊十二坪　奈良市水道局庁舎建設地発掘調査概要報告』1984年
85　埋蔵文化財天理教調査団『出土木器の樹種と木取りⅠ・Ⅱ』布留遺跡研究中間報告３　1981年
86　岡幸二郎「木履考」『関西大学考古学研究年報Ⅱ』関西大学考古学研究会　1978年

和歌山県

1　和歌山県教育委員会『野田・藤並地区遺跡第1次整理概報―野田地区遺跡4区出土木製品の概要』1983年

NARA NATIONAL CULTURAL PROPERTIES
RESEARCH INSTITUTE

CORPUS OF EXCAVATED WOODEN ARTIFACTS

Kinki District, 7th to 13th Centuries

NARA, 1984

PUBLICATIONS ON HISTORICAL MATERIALS,
VOLUME XXVII

CORPUS OF WOODEN ARTIFACTS
NARA NATIONAL CULTURAL PROPERTIES RESEARCH INSTITUTE
–1984–

CONTENTS

Page

I Preface 1

II Artifacts 5
1. Implements 5
A. Axes and Adzes 6
B. Hammers 6
C. Mallets 7
D. Trowels 7
E. Wedges 7
F. Carpenter's Inkpots 8
G. Ink Marking Sticks 8
H. Knives 8
I. Sheathes of Knives 10
J. Hafts of Spear-shaped Planes 10
K. Chisel Handles 11
L. Saw Handles 11
M. Drills Handles 12
N. Brush Handles 12
O. Spatulas 13
P. Pegs 13
Q. Needles 14
R. Tacks and Washers 14
S. Paddles 15

2. Agricultural Implements 15
A. Spades 15
B. Hoes 16
C. Boards for Smoothing Paddy Fields ... 17
D. Horse-drawn Toothed Hoes 17
E. Sickles 17
F. Long Bladed Axe Handles 18
G. Club Handles 19
H. Treadle-type Pestles 19
I. Pestles 19
J. Weights 20
K. Paddy Field Clogs 20

3. Weaving Implements 21
A. Reels 21
B. Whorls 24
C. Looms 25

4. Transport Implements 25
A. Vehicle Wheels 25
B. Yokes 26

5. Fishing Implements 26
A. Net Frames and Handles 26
B. Floats 27
C. Leisters 27
D. Oars 27

6. Weapons 27
A. Bows 27
B. Whistles for Singing Arrows 27
C. Sheath Guards 28
D. Swords 28
E. Shields 28

7. Articles of Dress 29
A. Fans 29
B. Combs 31
C. Decorative Pins 32
D. Straw Sandles 33
E. Shoes 33
F. Clogs 35

8. Containers 39
A. Containers Turned on Lathes 39
B. Containers Made by Hand 45
C. Round Magemono [Containers Made from Bent Slats of Cypress] 47
D. Magemono with Handles 53
E. Oval Magemono 54
F. Rectangular Magemono 55
G. Handles, Hafts and Frames 56
H. Lids 57
I. Stoppers 59

9. Baskets and Woven Items 59

10. Dining Utensiles 60
A. Carved Spoons 60
B. Spoon-shaped Utensiles 61
C. Ladles 63
D. Deformed Ladles 64
E. Chopsticks 64
F. Pestles for Mashing 64
G. Cutting Boards 64

11. Writing Implements 65
A. Calculating Sticks 65
B. Measures 65
C. Blocks for Prints 66
D. Brush Holders 66
E. Name Seals 67

12. Toys and Musical Instruments 67
A. Koto Bridges 67
B. Tops 68

13. Ritual Implements 69
A. Ceremonial Boundary Markers 70
B. Plaques (Human Figure, Frontal, Full Length) 74
C. Plaques (Human Figure, Profile, Full Length) 79
D. Plaques (Human Head) 80
E. Human Figurines 81
F. Sword-shaped Ritual Implemtnts 82
G. Knife-shaped Ritual Implements 84
H. Double-edged sword-shaped Ritual Implements 85
I. Arrowhead-shaped Ritual Implements 85
J. Plane-shaped Ritual Implements 86
K. Sickle-shaped Ritual Implements 86
L. Long Bladed Axe-shaped Ritual Implements 86
M. Clog-shaped Ritual Implements 86
N. Spade-shaped Ritual Implements 87
O. Boat-shaped Ritual Implements 87
P. Horse-shaped Ritual Implements 87
Q. Ox-shaped Ritual Implements 88
R. Bird-shaped Ritual Implements 89
S. Phallus-shaped Ritual Implements 90
T. Ritual Implements in the Shape of Buddhist Ritual Implements 91

14. Parts for Architectural Models 92

15. Miscellaneous 93
A. Bases for Fire-drills 93
B. Hooks 94
C. Well Buckets 94
D. Grass Brooms 94
E. Locks 94
F. Stands 95
G. Lampstands 95

16. Parts 95
A. Furniture Legs 95
B. Table Tops 96
C. Sockets for Table Legs 96
D. Bases for Chests 97
E. Legless Bases for Chests 97
F. Boxes and Chests 98
G. Miscellaneous 99

17. Use Unknown 103

III Sites 111

1. Mie Prefecture 111
A. Shimogoori 111

2. Shiga Prefecture 111
A. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line 111
B. Nobatake 112
C. Anoo 112
D. Shimodera Kannondoo 113
E. Yaguraguchi 113
F. Shimotsuri 113
G. Hattori 113
H. Kunabe 114
I. Koosooji 114
J. Juurichoo 114
K. Busshooji 114
L. Hariekita 115
M. Iinagata 115
N. Kamo 115

3. Kyoto Prefecture 116
A. Nagaoka-kyo (Nagaoka Capital) 116
B. Heian-kyo (Heian Capital) 121
C. Ninnaji Nan'in 126
D. Conjectural Site of the Sonshooji 126
E. Ooyabu 126
F. Nakakuze 127
G. Nakatomi 127
H. Toba Detached Palace 128
I. Shimobata 130
J. Sadanoyama 131
K. Furudono 131

4. Osaka Prefecture 131
A. Hasamiyama 131
B. Naniwa-no-miya (Naniwa Palace) 132
C. Kamei 133
D. Gungeimashiro 133
E. Kamitabe 133
F. Daizooshi 134

5. Hyogo Prefecture 134
A. Yoshida-minami 134
B. Deai 135
C. Kamiharada 136
D. Hattanchoo 136
E. Temple Site at Tsujii 136
F. Sakane 137
G. yamagaki 137
H. Himetani 137

6. Nara Prefecture 137
A. Kawaradera 137
B. Yamadadera 138
C. Temple Site at Wada 138
E. Asuka-kyo 139
F. Fujiwara-kyu (Fujiwara Palace) 139
G. Fujiwara-kyo 143
H. Kashiwara 144
I. Makimuku 144
J. Furu 144
K. Byakugooji 145
L. Heijo-kyu (Nara Palace) 145
M. Heijo-kyo 162

7. Wakayama Prefecture 170
A. Sites in Noda District 170

Appendix 1 List of Sites Yielding Wooden Artifacts 173

Appendix 2 Bibliography 186

PLATES

Notes 1. Illustrations are generally described as follows:
Line 1: Item. Date.
Line 2: Site name, Site area code: Location code. Prefecture.
Site names of the 3 capital cities (Heijo-kyo, Nagaoka-kyo and Heian-kyo) include the street-ward (jo-bo) system coordinates instead of the site area code.

2. Location codes: SD–ditch, SK–pit, SE–well

Plate 1 Implements

0101 Axe with Iron Blade. Latter Half of 8th Century. Temple Site at Tsujii: well 02. Hyogo Prefecture.

0102 Haft of Adze. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

0103 Haft of Adze. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0104 Adze with Iron Blade. Latter Half of 8th Century. Kami-harada: SE02. Hyogo Prefecture.

0105 Haft of Adze. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD5101. Kyoto Prefecture.

0106 Hammer. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 10tsubo: SE877. Nara Prefecture.

0107 Hammer. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0108 Hammer. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, 7AN5: SD3100. Kyoto Prefecture.

0109 Head of Hammer. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

0110 Head of Hammer. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho:SD1301. Kyoto Prefecture.

0111 Mallet. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0112 Mallet. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

0113 Trowel. Latter Half of 7th Century. Sites Found during the Construction of the JNR Kosei Line, VD: large ditch. Shiga Prefecture.

0114 Wedge. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0115 Wedge. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0116 Wedge. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0117 Carpenter's Inkpot. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABG: SD3715. Nara Prefecture.

0118 Carpenter's Inkpot. 8th Century. Sakane, Northern Part of Stream. Hyogo Prefecture.

0119 Ink Marking Stick. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0120 Ink Marking Stick. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI. Nara Prefecture.

Plate 2 Implements

0201 Knife with Iron Blade. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABQ: SD3765. Nara Prefecture.

0202 Haft of Knife. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAH: SD3410. Nara Prefecture.

0203 Haft of Knife. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0204 Haft of Knife. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD1250. Nara Prefecture.

0205 Haft of Knife with Lower Part of Iron Blade. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo 8jo 1bo 11tsubo: SD920. Nara Prefecture.

0206 Haft of Knife. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

0207 Haft of Knife. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo 8jo 1bo 11tsubo: SD920. Nara Prefecture.

0208 Haft of Knife. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0209 Haft of Knife. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD 4951. Nara Prefecture.

0210 Haft of Knife. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, Ukyo 5jo 4bo 3tsubo: SE20. Nara Prefecture.

0211 Haft of Knife. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0212 Haft of Knife. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0213 Haft of Knife with Lower Part of Iron Blade. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0214 Knife with Iron Blade. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream1. Hyogo Prefecture.

0215 Knife with Iron Blade. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0216 Haft of Knife. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0217 Haft of Knife. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0218 Haft of Knife. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0219 Sheath of Knife with Woven Grip. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0220 Haft of Spear-shaped Plane. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0221 Chisel Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0222 Chisel Handle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG: SD3410. Nara Prefecture.

0223 Chisel Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0224 Chisel Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0225 Chisel Handle. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0226 Saw Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0227 Saw Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SD9649. Nara Prefecture.

0228 Drill Handle with Iron Point. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

0229 Drill Handle with Iron Point. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

0230 Drill Handle with Stub of Iron Point. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo 8jo 1bo 11tsubo: SD920. Nara Prefecture.

0231 Drill Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0232 Drill Handle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0233 Drill-Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

0234 Drill Handle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

Plate 3 Implements

0301 Brush Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

0302 Brush Handle. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5785. Nara Prefecture.

0303 Brush Handle. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0304 Brush Handle. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

0305 Brush Handle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0306 Brush Handle. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0307 Brush Handle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

0308 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

0309 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0310 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0311 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0312 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0313 Spatula Traces of Lacquer. Middle of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

0314 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0315 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0316 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0317 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0318 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0319 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0320 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0321 Peg. Middle of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK 10043. Osaka Prefecture.

0322 Peg. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0323 Peg. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0324 Peg. 784-789 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0325 Peg. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SX07. Kyoto Prefecture.

0326 Peg. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: pond site. Kyoto Prefecture.

0327 Needle. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16 tsubo: SD 485. Nara Prefecture.

0328 Needle. 8th century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

0329 Needle. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

0330 Needle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK 820. Nara Prefecture.

0331 Needle. Early 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6 tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

0332 Washer. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0333 Tack. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

0334 Paddle. Late 9th to Former Half of 10th Century. Noda: SD06. Wakayama Prefecture.

0335 Paddle. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

0336 Brush Handle Traces of Lacquer. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAD: SD2700. Nara Prefecture.

Plate 4 Agricultural Implements

0401 Spade Unfinished. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJL: SE1105. Nara Prefecture.

0402 Spade Made for Use with Iron Blade (Now Lost). Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3765. Nara Prefecture.

0403 Spade Made for Use with Iron Blade (Now Lost). Early 8th Century. Yamagaki: east moat. Hyogo Prefecture.

Plate 5 Agricultural Implements

0501 Spade Made for Use with Iron Blade (Now Lost). Middle 7th Century. Naniwa-no-miya: lower layer square pit. Osaka Prefecture.

0502 Spade Blade. Former Half of 9th Century. Ooyabu: Stream Kyoto Prefecture.

0503 Spade Blade. Former Half of 8th Century. Sayama: SD 7710. Osaka Prefecture.

0504 Spade Blade. Former Half of 8th Century. Sayama: SD 7710. Osaka Prefecture.

0505 Haft of Spade. Latter Half of 7th to Early 8th Century. Shimodera Kannondoo: SD02. Shiga Prefecture.

0506 Haft of Spade. Middle 11th Century. Noda: SD04. Wakayama Prefecture.

0507 Hoe Blade. 12th Century. Sadanoyama: DL51. Kyoto Prefecture.

0508 Board for Smoothing Paddy Fields. Early 8th Century: Yamagaki: east moat. Hyogo Prefecture.

Plate 6 Agricultural Implements

0601 Horse-drawn Toothed Hoe. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

0602 Horse-drawn Toothed Hoe. Ca. 735 A.D. Kamitabe, paddy site. Osaka Prefecture.

0603 Horse-drawn Toothed Hoe. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

Plate 7 Agricultural Implements

0701 Sickle Handle. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0702 Sickle Handle. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0703 Sickle Handle. 12th Century. Heijo-kyu, 6ADF: buried soil of SE1627. Nara Prefecture.

0704 Sickle Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0705 Sickle Handle. Ca. 735 A.D. Kamitabe, paddy site. Osaka Prefecture.

0706 Sickle Handle. Ca. 735 A.D. Kamitabe, paddy site. Osaka Prefecture.

0707 Sickle Handle. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A District: Ditch 6. Osaka Prefecture.

0708 Sickle Handle. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3765. Nara Prefecture.

0709 Sickle with Iron Blade. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

0710 Sickle Handle. Late 8th to Early 9th Century. Furu, FM 20b 3. Nara Prefecture.

0711 Long-bladed Ax Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0712 Club Handle. Ca. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0713 Club Handle. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East District. Shiga Prefecture.

0714 Club Handle. Early 9th Century. Sites in Noda District: SD07. Wakayama Prefecture.

0715 Club Handle. Early 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1560. Nara Prefecture.

0716 Club Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0717 Treadle-type Pestle. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Rice Paddy Site. Osaka Prefecture.

0718 Treadle-type Pestle. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Rice Paddy Site. Osaka Prefecture.

0719 Pestle. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16 tsubo: SD485. Nara Prefecture.

0720 Pestle. Early 8th Century. Yamagaki, east moat. Hyogo Prefecture.

Plate 8 Agricultural Implements

0801 Weight. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAP: SE7900. Nara Prefecture.

0802 Weight. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAP: SE7900. Nara Prefecture.

0803 Weight. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

0804 Weight. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

0805 Weight. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

0806 Weight. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAP: SE7900. Nara Prefecture.

0807 Weight. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

0808 Weight. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

0809 Weight. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-Minami: SD11. Hyogo Prefecture.

0810 Weight. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-Minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

0811 Weight. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-Minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

0812 Weight. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

0813 Weight. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE03. Hyogo Prefecture.

0814 Paddy Field Clog. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

0815 Paddy Field Clog. Latter Half of 8th Century. Kosoji: ditch. Shiga Prefecture.

0816 Paddy Field Clog. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

0817 Paddy Field Clog. 8th to 9th Centuries. Busshhooji. Shiga Prefecture.

0818 Paddy Field Clog. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

0819 Paddy Field Clog. Ca. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

0820 Paddy Field Clog. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

0821 Paddy Field Clog. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

0822 Paddy Field Clog. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

0823 Paddy Field Clog. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

0824 Paddy Field Clog. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

0825 Paddy Field Clog. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

0826 Paddy Field Clog. Latter Half of 7th Century. Kamei: SX4001. Osaka Prefecture.

Plate 9 Weaving Implements

0901 Reel. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0902 Reel. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

0903 Reel. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0904 Reel. Middle of 7th Century. Sakatadera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

0905 Reel. Late 9th to 10th Century. Hattori. Shiga Prefecture.

0906 Reel. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

0907 Reel. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0908 Reel. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sairyuji Temple Site: SX033. Nara Prefecture.

0909 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0910 Reel. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

0911 Reel. 8th Century. Heijo-kyo, Sairyuji Temple Site: SX 037. Nara Prefecture.

0912 Reel. Middle of 7th Century. Traditional Site of Asuka-itabuki-no-miya: SD6612. Nara Prefecture.

0913 Reel. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

0914 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0915 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0916 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0917 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

0918 Reel. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: Pond 1. Nara Prefecture.

Plate 10 Weaving Implements

1001 Reel. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD 3715. Nara Prefecture.

1002 Reel. Latter Half of 7th Century. Fujiwara-kyo, Kidera Temple Site: SK04. Nara Prefecture.

1003 Reel. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AFI: SD1525. Nara Prefecture.

1004 Reel. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD 3715. Nara Prefecture.

1005 Reel. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

1006 Reel. Latter Half of 7th Century. Fujiwara-kyo, Kidera Temple Site: SK04. Nara Prefecture.

1007 Reel. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1008 Reel. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

1009 Reel. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

1010 Reel. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1011 Reel. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

1012 Reel. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

1013 Reel. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

1014 Reel. Latter Half of 8th to 9th Century. Furu, FM20b 4. Nara Prefecture.

1015 Reel. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, B: stream. Osaka Prefecture.

1016 Reel. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

1017 Reel. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD 3715. Nara Prefecture.

1018 Reel. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

Plate 11 Weaving Implements

1101 Whorl. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

1102 Whorl. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1103 Whorl. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

1104 Whorl. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1105 Whorl with Lower Part of Spindle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1106 Whorl. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SD3154. Nara Prefecture.

1107 Whorl. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

1108 Part of Loom. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

1109 Part of Loom. Latter Half of 7th Century. Kamei: SX4001. Osaka Prefecture.

1110 Part of Loom. Early 8th Century. Heiji-kyu, 6ABY: SD 1900. Nara Prefecture.

1111 Part of Loom. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

1112 Part of Loom. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

Plate 12 Transport Implements

1201 Part of Vehicle Wheel. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: Stream 1. Hyogo Prefecture.

1202 Vehicle Wheel. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

1203 Part of Vehicle Wheel with Hole for Spoke. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1204 Part of Vehicle Wheel with Hole for Spoke. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1205 Part of Vehicle Wheel with Hole for Spoke. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1206 Part of Vehicle Wheel with Hole for Spoke. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

1207 Part of Vehicle Wheel with Hole for Spoke. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1208 Yoke. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJL: SK1380. Nara Prefecture.

1209 Yoke. Late 11th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SK6509. Nara Prefecture.

Plate 13 Fishing Implements. Weapons

1301 Net Frame and Handle. Early 7th Century. kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

1302 Net Frame and Handle. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo

1jo 3bo 15-16 tsubo: SD485. Nara Prefecture.

1303 Float. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VD: pit51. Shiga Prefecture.

1304 Float. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VD: large ditch. Shiga Prefecture.

1305 Leister. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE03. Hyogo Prefecture.

1306 Oar. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VD: large ditch. Shiga prefecture.

1307 Bow. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10 tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

1308 Bow. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD 650. Nara Prefecture.

1309 Bow. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

1310 Bow. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

1311 Whistle for Singing Arrow. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

1312 Whistle for Singing Arrow. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

1313 Sheath Guard. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 9jo 1bo 4tsubo: SD950. Nara Prefecture.

1314 Sword. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

1315 Sword. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo 8jo 1bo 11tsubo: SD920. Nara Prefecture.

1316 Sheath of Sword. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1317 Whistle for Singing Arrow. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAD: SD2700. Nara Prefecture.

Plate 14 Weapons

1401 Shield. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADH: SE1230. Nara Prefecture.

Plate 15 Articles of Dress

1501 Fan. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1502 Fan. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD5505. Nara Prefecture.

1503 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

1504 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

1505 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

1506 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

Plate 16 Articles of Dress

1601 Fan. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

1602 Fan. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1603 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

1604 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

1605 Fan. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

Plate 17 Articles of Dress

1701 Fan. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 2bo 14tsubo: SE03. Nara Prefecture.

1702 Fan. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

1703 Fan. Late 8th to Early 9th Century. Juurichoo: pit. Shiga Prefecture.

1704 Fan. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE 20. Kyoto Prefecture.

1705 Fan. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: Pond 1. Nara Prefecture.

1706 Fan. 12th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE01. Kyoto Prefecture.

1707 Fan. 12th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE01. Kyoto Prefecture.

1708 Fan. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK 820. Nara Prefecture.

1709 Fan. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SD04. Kyoto Prefecture.

Plate 18 Articles of Dress

1801 Comb. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJG: SE1105. Nara Prefecture.

1802 Comb. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

1803 Comb. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

1804 Comb. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Saiji Temple Site: SE01. Kyoto Prefecture.

1805 Comb. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03. Kyoto Prefecture.

1806 Comb. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

1807 Comb. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SE1801. Nara Prefecture.

1808 Comb. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

1809 Comb. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

1810 Comb. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03. Kyoto Prefecture.

1811 Comb. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN 3A: SD8701. Kyoto Prefecture.

1812 Comb. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AB 3A: SD8701. Kyoto Prefecture.

1813 Comb. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

1814 Comb. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

1815 Comb. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1816 Comb. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Pre-

fecture.

1817 Comb. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

Plate 19 Articles of Dress

1901 Decorative Pin. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

1902 Decorative Pin. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

1903 Decorative Pin. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

1904 Decorative Pin. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC. Nara Prefecture.

1905 Decorative Pin. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5788. Nara Prefecture.

1906 Decorative Pin. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

1907 Decorative Pin. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1908 Decorative Pin. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03. Kyoto Prefecture.

1909 Decorative Pin. Early 9th Century. Hattanchoo. Hyogo Prefecture.

1910 Decorative Pin. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG: SD4951. Nara Prefecture.

1911 Decorative Pin. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 9jo 1bo 4tsubo: SD950. Nara Prefecture.

1912 Decorative Pin. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

1913 Decorative Pin. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

1914 Decorative Pin. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1915 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho, SD01. Kyoto Prefecture.

1916 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1917 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1918 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1919 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1920 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1921 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line. Shiga Prefecture.

1922 Decorative Pin. 12th to 13th Centuries. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SD01. Kyoto Prefecture.

1923 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

1924 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

1925 Decorative Pin. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3730. Nara Prefecture.

1926 Decorative Pin. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

1927 Decorative Pin. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1928 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

1929 Decorative Pin. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Nara Prefecture.

1930 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

1931 Decorative Pin. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5785. Nara Prefecture.

1932 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

1933 Decorative Pin. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

1934 Decorative Pin. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

1935 Decorative Pin. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1936 Decorative Pin. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

1937 Decorative Pin. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

1938 Straw Sandal. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

1939 Straw Sandal. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1940 Straw Sandal. 784-795 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1941 Straw Sandal. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1942 Straw Sandal. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

1943 Straw Sandal. Latter Half of 8th Century. Yamadadera Temple Site: SD531. Nara Prefecture.

Plate 20 Articles of Dress

2001 Shoe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 2jo 5bo. Nara Prefecture.

2002 Shoe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2003 Shoe. 9th Century. Ooyabu: stream. Kyoto Prefecture.

2004 Shoe. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

2005 Shoe. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2006 Shoe. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2007 Shoe. Middle 8th Century. Yaguraguchi: SE02. Shiga Prefecture.

2008 Shoe. Early 9th Century. Nobatake: SE03. Shiga Prefecture.

2009 Shoe. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

Plate 21 Articles of Dress

2101 Clog. Latter Half of 8th Century. Koosooji: ditch. Shiga Prefecture.

2102 Clog. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo 5cho. Kyoto Prefecture.

2103 Clog. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo 5cho.

Kyoto Prefecture.

2104 Clog. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2105 Clog. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

2106 Clog. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD1250. Nara Prefecture.

2107 Clog. Latter Half of 7th Century. Kamei: SX4001. Osaka Prefecture.

2108 Clog. Middle of 7th Century. Kawaradera Temple Site: Lower Layer. Nara Prefecture.

2109 Clog. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: SD02. Nara Prefecture.

2110 Clog. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: pond 1. Nara Prefecture.

2111 Clog. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

2112 Clog. 8th Century. Deai: well. Hyogo Prefecture.

2113 Clog. Latter Half of 8th Century. So-called "Asuka-kyo": SX8201. Nara Prefecture.

2114 Clog. Late 8th to Early 9th Century. Nagaoka-kyo, Ukyo 7jo 1bo 13cho. Kyoto Prefecture.

2115 Clog. Latter Half of 10th to Former Half of 11th Century. Noda: SD05. Wakayama Prefecture.

2116 Clog. 12th to 13th Centuries. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

Plate 22 Articles of Dress

2201 Clog. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SE272B. Nara Prefecture.

2202 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

2203 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo: Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2204 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo. West Market Site. SE03B. Kyoto Prefecture.

2205 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

2206 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

2207 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2208 Clog. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2209 Clog. Early 9th Century. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 2bo 9cho: SD1502. Kyoto Prefecture.

2210 Clog. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Kyoto Prefecture.

2211 Clog. Former Half of 7th Century. Nakakuze: stream. Kyoto Prefecture.

2212 Clog. Former Half of 7th Century. Nakakuze: stream. Kyoto Prefecture.

2213 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2214 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2215 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2216 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2217 Clog. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

2218 Clog. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

Plate 23 Articles of Dress

2301 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2302 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2303 Clog. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2304 Clog. 7th to 8th Centuries. Kashiwara: well 9. Nara Prefecture.

2305 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

2306 Clog. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

2307 Clog. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2308 Clog. Early 9th Century. Noda: SD07. Wakayama Prefecture.

2309 Clog. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2310 Clog. Latter Half of 8th Century. Koosooji: ditch. Shiga Prefecture.

2311 Clog. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10 tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

2312 Clog. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

2313 Clog. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SD04. Kyoto Prefecture.

2314 Clog. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VD: large ditch. Shiga Prefecture.

Plate 24 Containers

2401 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2402 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2403 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2404 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2405 Container Turned on Lathe. Middle 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SD12. Kyoto Prefecture.

2406 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

2407 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

2408 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3050. Nara Prefecture.

2409 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture

2410 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2411 Container Turned on Lathe. Latter Half of 10th Century.

Heian-kyo, Ukyo 3jo 3bo 10cho. Kyoto Prefecture.

2412 Container Turned on Lathe. Latter Half of 12th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, IVD. Shiga Prefecture.

2413 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

2414 Container Turned on Lathe. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

2415 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN5: SD3100. Kyoto Prefecture.

2416 Container Turned on Lathe. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD07. Kyoto Prefecture.

2417 Container Turned on Lathe. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD11B. Kyoto Prefecture.

2418 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace. Kyoto Prefecture.

2419 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2420 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD5102. Kyoto Prefecture.

2421 Container Turned on Lathe. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

2422 Container Turned on Lathe. Middle 9th Century. Heian-kyo, Ukyo West Market Site. Kyoto Prefecture.

2423 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2424 Container Turned on Lathe. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD07. Kyoto Prefecture.

2425 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Furudono: SD01. Kyoto Prefecture.

2426 Container Turned on Lathe. Late 8th to Early 9th Century. Nobatake: SE01. Shiga Prefecture.

2427 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

2428 Container Turned on Lathe. 12th Century. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

2429 Container Turned on Lathe. 12th Century. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

2430 Container Turned on Lathe. 12th Century. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

2431 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SD04. Kyoto Prefecture.

2432 Container Turned on Lathe. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SD04. Kyoto Prefecture.

2433 Container Turned on Lathe. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD01B. Kyoto Prefecture.

2434 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SE1230. Nara Prefecture.

2435 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2436 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

2437 Container Turned on Lathe. Early 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

2438 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

2439 Container Turned on Lathe. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo,: SE03B. Kyoto Prefecture.

2440 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2441 Container Turned on Lathe. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

2442 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2443 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2444 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2445 Container Turned on Lathe. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABE: SA3777. Nara Prefecture.

2446 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN5: SD3100. Kyoto Prefecture.

2447 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2448 Container Turned on Lathe. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

2449 Container Turned on Lathe. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

Plate 25 Container

2501 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2502 Container Turned on Lathe. 784–794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 3cho: SD451. Nara Prefecture.

2503 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

2504 Container Turned on Lathe. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

2505 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

2506 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

2507 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

2508 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2509 Container Turned on Lathe. Middle 7th Century. Sakata-dera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

2510 Container Turned on Lathe. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

2511 Container Turned on Lathe. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

2512 Container Turned on Lathe. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

2513 Container Turned on Lathe. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SD3154. Nara Prefecture.

2514 Container Turned on Lathe. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5200. Nara Prefecture.

Plate 26 Containers

2601 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2602 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

2603 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo,

Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1501. Kyoto Prefecture.

2604 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sairyuji Temple Site: SX035. Nara Prefecture.

2605 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2606 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

2607 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2608 Container Turned on Lathe. 8th Century. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo. Kyoto Prefecture.

Plate 27 Containers

2701 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2702 Container Turned on Lathe. Middle 8th Century. Heijo-kyu. 6AAF: SD3113. Nara Prefecture.

2703 Container Turned on Lathe. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

2704 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2705 Container Turned on Lathe. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

2706 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

2707 Container Turned on Lathe. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

2708 Container Turned on Lathe. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

2709 Container Turned on Lathe. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

Plate 28 Containers

2801 Container Turned on Lathe. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

2802 Container Turned on Lathe. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

2803 Container Made by Hand. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

2804 Container Made by Hand. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

2805 Container Made by Hand. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

2806 Container Made by Hand. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

2807 Container Made by Hand. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

Plate 29 Containers

2901 Container Made by Hand. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

2902 Container Made by Hand. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

2903 Container Made by Hand. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

2904 Container Made by Hand. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABE: SB7802. Nara Prefecture.

2905 Container Made by Hand. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE02. Hyogo Prefecture.

2906 Container Made by Hand. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

2907 Container Made by Hand. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

2908 Container Made by Hand. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Hyogo Prefecture.

2909 Container Made by Hand. Ealry 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

Plate 30 Containers

3001 Container Made by Hand. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-2: SK10048. Osaka Prefecture.

3002 Container Made by Hand. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

3003 Container Made by Hand. Ca. 729 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2102. Nara Prefecture.

3004 Container Made by Hand. Late 7th to Early 8th Century. Shimodera Kannondo: SD06. Shiga Prefecture.

3005 Container Made by Hand. Latter Half of 8th Century. Koosooji: ditch. Shiga Prefecture.

3006 Container Made by Hand. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3007 Container Made by Hand. Latter Half of 8th to 9th Century. Furu. Nara Prefecture.

3008 Container Made by Hand. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Hyogo Prefecture.

3009 Container Made by Hand. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

3010 Container Made by Hand. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3410. Nara Prefecture.

Plate 31 Containers

3101 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 7th Century. Temple Site at Wada. Nara Prefecture.

3102 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJA: SD170. Nara Prefecture.

3103 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16 tsubo: SD485. Nara Prefecture.

3104 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Sakyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

3105 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

3106 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

3107 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3108 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

3109 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG. Nara Prefecture.

3110 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1502. Kyoto Prefecture.

3111 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3112 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Early 9th Century. Noda: SD07. Wakayama Prefecture.

3113 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

3114 Round Magemono (container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

3115 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3116 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

Plate 32 Containers

3201 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3202 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6ADI. Nara Prefecture.

3203 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

3204 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3205 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

3206 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 5jo 4bo 3tsubo: SE020. Nara Prefecture.

3207 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

3208 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 9th Century. Ooyabu: stream. Kyoto Prefecture.

3209 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6ABB. Nara Prefecture.

3210 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3211 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Late 8th to Early 9th Century. Furu. FM20b2. Nara Prefecture.

3212 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

3213 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3214 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Early 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15tsubo: SE495. Nara Prefecture.

3215 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

3216 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE02. Hyogo Prefecture.

3217 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Heijo-kyu, 6ADD: SB5955. Nara Prefecture.

3218 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

Plate 33 Containers

3301 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

3302 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 5jo 4bo 3tsubo: SE20. Nara Prefecture.

3303 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Late 9th to Early 10th Century. Hariekita: SK10. Shiga Prefecture.

3304 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 11th to 12th Centuries. Heijo-kyu, 6ADF: SE1596. Nara Prefecture.

3305 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SE2600. Nara Prefecture.

3306 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

3307 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3308 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16 tsubo: SD485. Nara Prefecture.

3309 Round Magemono (Container Made from Bent Slates of Cypress) Former Half of 9th Century. Heian-kyo West Market Site: SE03. Kyoto Prefecture.

3310 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3311 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Ca. 775 A.D. Heijo-kyu, 6ALR: SD3236. Nara Prefecture.

Plate 34 Containers

3401 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03. Kyoto Prefecture.

3402 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of

Cypress) Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ADD: SE7110. Nara Prefecture.

3403 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Late 9th to Early 10th Century. Hariekita: SE01. Shiga Prefecture.

3404 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

3405 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Gungeimashiro: SE06. Osaka Prefecture.

3406 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

3407 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 8th Century. Fujiwara-kyu, 6AJK: SE3442. Nara Prefecture.

3408 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 9th Century. Heijo-kyu, 6ABB: SE551. Nara Prefecture.

3409 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 4bo 9cho: SE2708. Kyoto Prefecture.

3410 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

3411 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 2bo 9cho: SE2708. Kyoto Prefecture.

3412 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 11th Century. Makimuku: well 14. Nara Prefecture.

3413 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 1bo 4tsubo: SE1081. Nara Prefecture.

3414 Round Magemono (Container Made from Bent Slats of Cypress) Latter Half of 11th Century. Makimuku: well 03. Nara Prefecture.

Plate 35 Containers

3501 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

3502 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

3503 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 10tsubo: SE877. Nara Prefecture.

3504 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3505 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

3506 Magemono Made for Use with Handle (Now Lost). Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 5jo 4bo 3tsubo: SE20. Nara Prefecture.

3507 Handle of Magemono. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

3508 Handle of Magemono. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

3509 Magemono with Handle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SK1796. Nara Prefecture.

Plate 36 Containers.

3601 Oval Magemono. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 2bo 14tsubo: SE02. Nara Prefecture.

3602 Oval Magemono. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Hyogo Prefecture.

3603 Oval Magemono. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 9jo 1bo 4tsubo: SD950. Nara Prefecture.

3604 Oval Magemono. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABX: SD1900. Nara Prefecture.

3605 Oval Magemono. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

3606 Oval Magemono. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

3607 Oval Magemono. Early 9th Century. Noda: SD07. Wakayama Prefecture.

3608 Oval Magemono. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

3609 Oval Magemono. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

3610 Rectangular magemono. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAB: SD2700. Nara Prefecture.

3611 Rectangular magemono. Ca. 735 A.D. Kamitabe, paddy site. Osaka Prefecture.

3612 Rectangular magemono. 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

Plate 37 Containers

3701 Rectangular magemono. Middle 7th Century. Sakatadera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

3702 Rectangular magemono. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

3703 Rectangular magemono. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3704 Rectangular magemono. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3705 Rectangular magemono. 13th Century. Temple Site at Wada: SX100. Nara Prefecture.

3706 Rectangular magemono. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG. Nara Prefecture.

3707 Rectangular magemono. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

3708 Rectangular magemono. Latter Half of 9th to Former Half of 10th Century. Noda: SD06. Wakayama Prefecture.

3709 Rectangular magemono. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

Plate 38 Containers

3801 Handle. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

3802 Handle. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

3803 Handle. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3139. Nara Prefecture.

3804 Handle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3805 Handle. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

3806 Handle. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3139. Nara Prefecture.

3807 Handle. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

3808 Handle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3809 Handle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3810 Handle. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3811 Handle. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3812 Haft and Frame. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SE311B. Nara Prefecture.

3813 Haft and Frame. 10th Century. Heijo-kyu, 6ABQ: SE9210. Nara Prefecture.

3814 Handle. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3815 Haft and Frame. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

3816 Haft and Frame. Former Half of 9th Century. Shimogoori: well. Mie Prefecture.

Plate 39 Containers

3901 Lid. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3902 Lid. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3903 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3904 Lid. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3905 Lid. Middle 11th Century. Noda: SD04. Wakayama Prefecture.

3906 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3907 Lid. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3908 Lid. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

3909 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3910 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

3911 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3912 Lid. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3050. Nara Prefecture.

3913 Lid. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

3914 Lid. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

3915 Lid. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 9jo 1bo 4tsubo: SD950. Nara Prefecture.

3916 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3917 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

3918 Lid. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJK: SD260. Nara Prefecture.

3919 Lid. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

3920 Lid. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10 tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

Plate 40 Containers

4001 Lid. Late 8th to 9th Century. Ooyabu: stream. Kyoto Prefecture.

4002 Lid. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

4003 Lid. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

4004 Lid. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: pond 1. Nara Prefecture.

4005 Lid. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

4006 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4007 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4008 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN5: SD3100. Kyoto Prefecture.

4009 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4010 Lid. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4011 Lid. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

4012 Lid. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

4013 Lid. Middle 9th Century. Heian-kyo, West Market Site. Kyoto Prefecture.

4014 Lid. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4015 Lid. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

4016 Lid. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SK15. Kyoto Prefecture.

4017 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4018 Lid. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

4019 Stopper. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

4020 Stopper. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

4021 Stopper. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAE: SD3410. Nara Prefecture.

4022 Stopper. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

4023 Stopper. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4024 Stopper. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4025 Lid. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Saiji Temple Site: SE01. Kyoto Prefecture.

4026 Lid. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4027 Stopper. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

4028 Stopper. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

4029 Stopper. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4030 Stopper. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG: SD3410. Nara Prefecture.

4031 Stopper. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SK870. Nara Prefecture.

4032 Lid. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

Plate 41 Baskets and Woven Items

4101 Woven Basket. 649-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4102 Woven Basket. 649-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4103 Woven Basket. 649-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4104 Woven Basket. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

4105 Woven Basket. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4106 Woven Basket. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

4107 Woven Basket. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4108 Winnowing Basket. Early 7th Century. Anoo. Shiga Prefecture.

Plate 42 Dining Utensiles

4201 Gourd Spoon. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311B. Nara Prefecture.

4202 Carved Spoon. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4203 Carved spoon. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAH: SD4951. Nara Prefecture.

4204 Carved spoon. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

4205 Carved spoon. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4206 Carved spoon. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Ukyo 2jo 2bo 16tsubo: SE540. Nara Prefecture.

4207 Carved spoon. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4208 Carved spoon. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ABR: SK3784. Nara Prefecture.

4209 Carved spoon. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

4210 Spoon-shaped Utensil. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4211 Spoon-shaped Utensil. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4212 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4213 Spoon-shaped Utensil. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4214 Spoon-shaped Utensil. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

4215 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4216 Spoon-shaped Utensil. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

4217 Spoon-shaped Utensil. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4218 Spoon-shaped Utensil. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4219 Spoon-shaped Utensil. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAH: SD4951. Nara Prefecture.

4220 Spoon-shaped Utensil. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4221 Spoon-shaped Utensil. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4222 Spoon-shaped Utensil. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABR: near SD3765. Nara Prefecture.

4223 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4224 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4225 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4226 Spoon-shaped Utensil. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SA9063. Nara Prefecture.

4227 Spoon-shaped Utensil. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

4228 Spoon-shaped Utensil. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD170. Nara Prefecture.

4229 Spoon-shaped Utensil. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

4230 Ladle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4231 Ladle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4232 Ladle. Middle 11th Century. Noda: SD04. Wakayama Prefecture.

4233 Ladle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4234 Spoon-shaped Utensil. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

4235 Spoon-shaped Utensil. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4236 Spoon-shaped Utensil. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4237 Spoon-shaped Utensil. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

4238 Spoon-shaped Utensil. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4239 Spoon-shaped Utensil. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4240 Spoon-shaped Utensil. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4241 Spoon-shaped Utensil. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4242 Spoon-shaped Utensil. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

4243 Spoon-shaped Utensil. 12th to 13th Centuries. Furudono.

Kyoto Prefecture.

4244 Spoon-shaped Utensil. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

Plate 43 Dining Utensiles

4301 Ladle. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

4302 Ladle. Early 9th Century. Hattancho: stream. Hyogo Prefecture.

4303 Ladle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4304 Ladle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

4305 Ladle. Ca. 762 A.D. Heijo-kyu, 6ABO: SK219. Nara Prefecture.

4306 Ladle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4307 Ladle. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4308 Ladle. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4309 Ladle. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

4310 Ladle. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4311 Ladle. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

4312 Ladle. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4313 Ladle. 12th to 13th Centuries. Shimobata: SE01. Kyoto Prefecture.

4314 Ladle. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

4315 Ladle. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10 tsubo: SE1350. Nara Prefecture.

4316 Ladle. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4317 Ladle. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4318 Ladle. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4319 Ladle. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4320 Deformed Ladle. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

4321 Chopsticks. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4322 Chopsticks. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

4323 Chopsticks. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

4324 Chopsticks. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

4325 Chopsticks. Early 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

4326 Chopsticks. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

4327 Pestles for Masking. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

4328 Pestles for Masking. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

4329 Pestles for Masking. Latter Half of 8th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

4330 Cutting Board. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

Plate 44 Writing Implements

4401 Calculating Stick. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

4402 Calculating Stick. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3139. Nara Prefecture.

4403 Calculating Stick. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4404 Calculating Stick. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5788. Nara Prefecture.

4405 Measure. 7th Century. Temple Site at Wada. Nara Prefecture.

4406 Measure. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

4407 Measure. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

4408 Measure. 11th to 12th Centuries. Ninnaji, Nan-in Temple Site. Kyoto Prefecture.

4409 Measure. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4410 Measure. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

4411 Measure. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4412 Block for Print. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4413 Brush Holder. Ca. 750 A.D. Heijo-kyo, Ukyo 5jo 4bo 3tsubo: SX030. Nara Prefecture.

4414 Name Seal. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

4415 Name Seal. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo. West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

Plate 45 Toys and Musical Instruments

4501 Koto Bridge. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

4502 Koto Bridge. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAH: SD3410A. Nara Prefecture.

4503 Koto Bridge. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

4504 Koto Bridge. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4110A. Nara Prefecture.

4505 Koto Bridge. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4506 Koto Bridge. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

4507 Koto Bridge. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD4100A. Nara Prefecture.

4508 Koto Bridge. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4509 Koto Bridge. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5785. Nara Prefecture.

4510 Koto Bridge. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo,

Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4511 Koto Bridge. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4512 Koto Bridge. Former Half of 7th Century. Sakatadera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

4513 Koto Bridge. Late 7th Century. Fujiwara-kyo, Kidera Temple Site: SK004. Nara Prefecture.

4514 Koto Bridge. Late 7th Century. Fujiwara-kyo, Kidera Temple Site: SK004. Nara Prefecture.

4515 Koto Bridge. Middle 7th Century. Sakatadera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

4516 Koto Bridge. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4517 Koto Bridge. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4518 Koto Bridge. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

4519 Koto Bridge. 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 4bo 1cho: pit. Kyoto Prefecture.

4520 Top. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SK1796. Nara Prefecture.

4521 Top. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 2bo 14tsubo: SE03. Nara Prefecture.

4522 Top. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4523 Top. 10th Century. Heijo-kyu, 6ABQ: SE9210. Nara Prefecture.

4524 Top with Iron Point. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SG10240. Nara Prefecture.

4525 Top. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Saiji Temple Site: SE01. Kyoto Prefecture.

4526 Top. 694-704 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD145. Nara Prefecture.

4527 Top. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJK: SE1205. Nara Prefecture.

Plate 46 Ritual Implements

4601 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK10043. Osaka Prefecture.

4602 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK10043. Osaka Prefecture.

4603 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

4604 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century (Before 784). Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4-5cho: SD0210. Kyoto Prefecture.

4605 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4606 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4607 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK10043. Osaka Prefecture.

4608 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP-1: SK10043. Osaka Prefecture.

4609 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

4610 Ceremonial Boundary Marker. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SK5104. Nara Prefecture.

4611 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD2300. Nara Prefecture.

4612 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADH: SE1247. Nara Prefecture.

4613 Ceremonial Boundary Marker. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

4614 Ceremonial Boundary Marker. 10th Century. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

4615 Ceremonial Boundary Marker. 10th Century. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

4616 Ceremonial Boundary Marker. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 6cho: SE80. Kyoto Prefecture.

4617 Ceremonial Boundary Marker. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 6cho: SE80. Kyoto Prefecture.

4618 Ceremonial Boundary Marker. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

4619 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

4620 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A District: ditch 6. Osaka Prefecture.

4621 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Nakatomi: SE01. Kyoto Prefecture.

4622 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ACP: SE5320. Nara Prefecture.

4623 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 10tsubo: SE877. Nara Prefecture.

4624 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century (Before 784). Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4-5cho: SD0210. Kyoto Prefecture.

4625 Ceremonial Boundary Marker. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

4626 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 7th Century. (Before 694). Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

4627 Ceremonial Boundary Marker. 8th to 9th Centuries. Busshooji. Shiga Prefecture.

4628 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

Plate 47 Ritual Implements

4701 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

4702 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE07A. Kyoto Prefecture.

4703 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE02. Hyogo Prefecture.

4704 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

4705 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

4706 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADH: SE1247. Nara Prefecture.

4707 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

4708 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SE1801. Nara Prefecture.

4709 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

4710 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. (Before 784) Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4-5cho: SD0210.

Kyoto Prefecture.

4711 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Shimogoori: well. Mie Prefecture.

4712 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

4713 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

4714 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Deai: well. Hyogo Prefecture.

4715 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

4716 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Nakatomi: SE01. Kyoto Prefecture.

4717 Ceremonial Boundary Marker. 8th Century. Nobatake: SE03. Shiga Prefecture.

4718 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE07A. Kyoto Prefecture.

4719 Ceremonial Boundary Marker. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, West: well. Shiga Prefecture.

4720 Ceremonial Boundary Marker. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, West: well. Shiga Prefecture.

4721 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE07A. Kyoto Prefecture.

4722 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE272B. Nara Prefecture.

4723 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4724 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD170. Nara Prefecture.

4725 Ceremonial Boundary Marker. 784-709 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4726 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ACP: SE5320. Nara Prefecture.

4727 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 7th Century. (Before 694.) Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

4728 Ceremonial Boundary Marker. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SX15. Nara Prefecture.

4729 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyu, 6ACP: SE5320. Nara Prefecture.

4730 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

4731 Ceremonial Boundary Marker. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

4732 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 7th Century. (Before 694.) Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

4733 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4734 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE07A. Kyoto Prefecture.

4735 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

Plate 48 Ritual Implements

4801 Ceremonial Boundary Marker. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

4802 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

4803 Ceremonial Boundary Marker. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4804 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 2bo 14tsubo: SE03. Nara Prefecture.

4805 Ceremonial Boundary Marker. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 6cho: SE80. Kyoto Prefecture.

4806 Ceremonial Boundary Marker. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 6cho: SE80. Kyoto Prefecture.

4807 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Nakatomi: SE01. Kyoto Prefecture.

4808 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Nakatomi: SE01. Kyoto Prefecture.

4809 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Nakatomi: SE01. Kyoto Prefecture.

4810 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4811 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4812 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

4813 Ceremonial Boundary Marker. 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo Hoku-hen (Northern Block) 3bo 1tsubo: SE273. Nara Prefecture.

4814 Ceremonial Boundary Marker. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

4815 Ceremonial Boundary Marker. 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

4816 Ceremonial Boundary Marker. 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

4817 Ceremonial Boundary Marker. 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

4818 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VD: large ditch. Shiga Prefecture.

4819 Ceremonial Boundary Marker. Late 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Hyogo Prefecture.

4820 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 7th Century. (Before 694) Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

4821 Ceremonial Boundary Marker. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

4822 Ceremonial Boundary Marker. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo: SD0254. Kyoto Prefecture.

4823 Ceremonial Boundary Marker. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

4824 Ceremonial Boundary Marker. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

Plate 49 Ritual Implements

4901 Plaque (Human Figue, Frontal, Full Length). 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

4902 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 7th Century (Before 694). Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

4903 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJH: SD501. Nara Prefecture.

4904 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 8th Cen-

tury. Heijo-kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

4905 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3765. Nara Prefecture.

4906 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD5050. Nara Prefecture.

4907 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAD: SD2700. Nara Prefecture.

4908 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

4909 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 8th Century. Hattori: SD05. Shiga Prefecture.

4910 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

4911 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

4912 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SG10240. Nara Prefecture.

4913 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABO: SE311A. Nara Prefecture.

4914 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

4915 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4916 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

4917 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

4918 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SE2600. Nara Prefecture.

4919 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4920 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

4921 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

4922 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4923 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

4924 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. (Before 784) Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4-5cho: SD0210. Kyoto Prefecture.

4925 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

4926 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 10th Century. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

4927 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD170. Nara Prefecture.

4928 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

4929 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABG: SD3715. Nara Prefecture.

4930 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 10th Century. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

Plate 50 Ritual Implements

5001 Plaque (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5002 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10 tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

5003 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10 tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

5004 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th to 12th Centuries. Shimotsuri: large ditch. Shiga Prefecture.

5005 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th to 12th Centuries. Shimotsuri: large ditch. Shiga Prefecture.

5006 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12th Century. Sadanoyama, DL51. Kyoto Prefecture.

5007 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 9th to Former Half of 10th Century. Noda: SD06. Wakayama Prefecture.

Plate 51 Ritual Implements

5101 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

5102 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo: SD0251. Kyoto Prefecture.

5103 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5104 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5105 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 10th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho. Kyoto Prefecture.

5106 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9 tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

5107 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5108 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5109 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5110 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5111 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5112 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo: SD0251. Kyoto Prefecture.

5113 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

5114 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5115 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5116 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5117 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5118 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

5119 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Noda: SD07. Wakayama Prefecture.

5120 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

5121 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

5122 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

5123 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

Plate 52 Ritual Implements

5201 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

5202 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5203 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12th Century Sadanoyama, DL51. Kyoto Prefecture.

5204 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 9th to Former Half of 10th Century. Noda: SD06. Wakayama Prefecture.

5205 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

5206 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

5207 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12th Century. Sadanoyama, DL51. Kyoto Prefecture.

5208 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Late 9th to Former Half of 10th Century. Noda: SD06. Wakayama Prefecture.

5209 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5210 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 10th Century. Fujiwara-kyu, 6AJM: SD260. Nara Prefecture.

Plate 53 Ritual Implements

5301 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5302 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5303 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

5304 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5305 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5306 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5307 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

5308 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

5309 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 3cho: SD451. Kyoto Prefecture.

5310 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE01. Kyoto Prefecture.

5311 Plaque. (Human Figure, Frontal, Full Length) 12 Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE01. Kyoto Prefecture.

Plate 54 Ritual Implements

5401 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

5402 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

5403 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

5404 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

5405 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

5406 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) 10th Century. Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4-5cho: SD0210. Kyoto Prefecture.

5407 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) 13th Century. Toba Detached Palace: pit. Kyoto Prefecture.

5408 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) 13th Century. Toba Detached Palace: SX07. Kyoto Prefecture.

5409 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5410 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5411 Plaque. (Human Figure, Profile, Full Length) 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5412 Plaque. (Human Head) 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

5413 Plaque. (Human Head) 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

5414 Plaque. (Human Head) 12th Century. Toba Detached Palace: SD04. Nara Prefecture.

5415 Plaque. (Human Head) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5416 Plaque. (Human Head) Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5417 Plaque. (Human Head) 11th Century. Heian-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9cho. Kyoto Prefecture.

Plate 55 Ritual Implements

5501 Human Figurine. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD2300. Nara Prefecture.

5502 Human Figurine. Early 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo

2bo 6tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

5503 Human Figurine. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SE2600. Nara Prefecture.

5504 Human Figurine. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

5505 Human Figurine. Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5506 Human Figurine. Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5507 Human Figurine. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5508 Human Figurine. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11. Hyogo Prefecture.

5509 Human Figurine. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Saiji Temple Site: SE01. Kyoto Prefecture.

5510 Human Figurine. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SE07A. Kyoto Prefecture.

5511 Human Figurine. 13th Century. Toba Detached Palace: SD10. Kyoto Prefecture.

5512 Human Figurine. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

5513 Human Figurine. Ca. 755 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3264. Nara Prefecture.

5514 Human Figurine. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD1250. Nara Prefecture.

5515 Human Figurine. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5516 Human Figurine. 12th to 13th Centuries. Temple Site Supposed to be Sonshoji. Kyoto Prefecture.

Plate 56 Ritual Implements

5601 Sword-shaped Ritual Implement. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

5602 Sword-shaped Ritual Implement. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

5603 Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 7th Century. Fujiwara-kyo, Ukyo 8jo 1bo: SD104. Nara Prefecture.

5604 Sword-shaped Ritual Implement. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

5605 Sword-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

5606 Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5607 Sword-shaped Ritual Implement. Ca. 730 A.D. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5608 Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5609 Sword-shaped Ritual Implement. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 9jo 3bo 10tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

5610 Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

5611 Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: SD11, Hyogo Prefecture.

5612 Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5613 Sword-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

5614 Sword-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

5615 Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 7th Century. (Before 694) Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

5616 Sword-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5617 Sword-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5618 Knife-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

5619 Knife-shaped Ritual Implement. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

5620 Knife-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5621 Knife-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: pond 1. Nara Prefecture.

Plate 57 Ritual Implements

5701 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5702 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. 8th to Former Half of 9th Century. Furu: FM20c 3. Nara Prefecture.

5703 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5704 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD145. Nara Prefecture.

5705 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Deai: well. Hyogo Prefecture.

5706 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD5100. Nara Prefecture.

5707 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5708 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

5709 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5710 Double-edged Sword-shaped Ritual Implement. 11th Century. Ninnaji, Nan'in Temple Site: Pond. Kyoto Prefecture.

5711 Knife-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

5712 Knife-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5713 Knife-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACP: SD5280. Nara Prefecture.

5714 Knife-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami, stream 1. Hyogo Prefecture.

5715 Knife-shaped Ritual Implement. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

5716 Knife-shaped Ritual Implement. Late 8th Century. Heijo kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

5717 Knife-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5718 Knife-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-

kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

5719 Knife-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

5720 Knife-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

5721 Knife-shaped Ritual Implement. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE02. Kyoto Prefecture.

5722 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Latter Half of 7th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, IIH. Shiga Prefecture.

5723 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AFJ: SD4951. Nara Prefecture.

5724 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

5725 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

5726 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

5727 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

5728 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

5729 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

5730 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

5731 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

5732 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture

5733 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5734 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

5735 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD10550. Nara Prefecture.

5736 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

5737 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

5738 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979, Nara Prefecture.

5739 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG: SD3410. Nara Prefecture.

5740 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5741 Arrowhead-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyo, Sairuji Temple Site. Nara Prefecture.

5742 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

5743 Arrowhead-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

Plate 58 Ritual Implements.

5801 Plane-shaped Ritual Implement. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4100A. Nara Prefecture.

5802 Sickle-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5803 Sickle-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN5: SD3100. Kyoto Prefecture.

5804 Hatchet-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE03. Hyogo Prefecture.

5805 Clog-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

5806 Spade-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

5807 Spade-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

5808 Spade-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

5809 Board-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5810 Board-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

5811 Board-shaped Ritual Implement. 9th Century. Heian-kyo, Sakyo 4jo 1bo 5-6cho: SK03.

5812 Board-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

5813 Board-shaped Ritual Implement. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SX10. Kyoto Prefecture.

5814 Board-shaped Ritual Implement. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SX10. Kyoto Prefecture.

5815 Board-shaped Ritual Implement. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP2: SK10043. Osaka Prefecture.

5816 Board-shaped Ritual Implement. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

Plate 59 Ritual Implements.

5901 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5902 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5903 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5904 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5905 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5906 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5907 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5908 Horse-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani, stream. Hyogo Prefecture.

5909 Horse-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJB: SD170. Nara Prefecture.

5910 Horse-shaped Ritual Implement. Late 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Ukyo 8jo 1bo 11tsubo: SD920. Nara Prefecture.

5911 Horse-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

5912 Horse-shaped Ritual Implement. 651-694 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

5913 Horse-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAD: SD2700. Nara Prefecture.

5914 Horse-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

5915 Horse-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Ooyabu: stream. Kyoto Prefecture.

5916 Horse-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th to 9th Century. Ooyabu: SD01. Kyoto Prefecture.

5917 Horse-shaped Ritual Implement. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

5918 Horse-shaped Ritual Implement. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

5919 Ox-shaped Ritual Implement. 12th Century. Ninnaji, Nan'in Temple Site: pond. Kyoto Prefecture.

Plate 60 Ritual Implements.

6001 Bird-shaped Ritual Implement. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6ABJ: SD2300. Nara Prefecture.

6002 Bird-shaped Ritual Implement. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6003 Bird-shaped Ritual Implement. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6004 Bird-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Deai: well. Hyogo Prefecture.

6005 Bird-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

6006 Bird-shaped Ritual Implement. 12th to 13th Centuries. Toba Detached Palace: SX10. Kyoto Prefecture.

6007 Bird-shaped Ritual Implement. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

6008 Bird-shaped Ritual Implement. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

6009 Bird-shaped Ritual Implement. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6010 Bird-shaped Ritual Implement. Ca. 757 A.D. Heijo-kyu, 6ABE: SD5564. Nara Prefecture.

6011 Bird-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

6012 Bird-shaped Ritual Implement. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

6013 Bird-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, Saiji Temple Site: SE01. Kyoto Prefecture.

6014 Bird-shaped Ritual Implement. 12th Century. Sadanomiya, DL51. Kyoto Prefecture.

6015 Bird-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Himetani: stream. Hyogo Prefecture.

6016 Bird-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD8161. Nara Prefecture.

6017 Bird-shaped Ritual Implement. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

6018 Bird-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, B: stream. Osaka Prefecture.

6019 Bird-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SD3236. Nara Prefecture.

6020 Bird-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6021 Bird-shaped Ritual Implement. 8th Century. Heijo-kyo, Hokkeji: SD03. Nara Prefecture.

Plate 61 Ritual Implements.

6101 Phallus-shaped Ritual Implement. 9th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, IIH. Shiga Prefecture.

6102 Phallus-shaped Ritual Implement. 9th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VA. Shiga Prefecture.

6103 Phallus-shaped Ritual Implement. Early 9th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SE311B. Nara Prefecture.

6104 Phallus-shaped Ritual Implement. 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

6105 Phallus-shaped Ritual Implement. 9th Century. Nakakuze: SD01. Kyoto Prefecture.

6106 Phallus-shaped Ritual Implement. 9th to 13th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, IVD. Shiga Prefecture.

6107 Phallus-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 15tsubo: SE967. Nara Prefecture.

6108 Phallus-shaped Ritual Implement. Latter Half of 8th Century. Byakugooji: pond 1. Nara Prefecture.

6109 Phallus-shaped Ritual Implement. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6110 Phallus-shaped Ritual Implement. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

6111 Phallus-shaped Ritual Implement. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

6112 Phallus-shaped Ritual Implement. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

6113 Phallus-shaped Ritual Implement. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

Plate 62 Ritual Implements.

6201 Three-storied Pagoda. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ACC: SD3825. Nara Prefecture.

6202 Flame-shaped Board. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6203 Wheel-shaped Board. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6204 Flying-cloud-shaped Board. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAY: SD1250. Nara Prefecture.

6205 Wheel-shaped Board. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6206 Wheel-shaped Board. 11th to 12th Centuries. Ninnaji, Nan'in Temple Site: Pond. Kyoto Prefecture.

6207 Deity Image. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

6208 Deity Image. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD11B. Kyoto Prefecture.

6209 Deity Image. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD11B. Kyoto Prefecture.

6210 Deity Image. 14th to 15th Centuries. Toba Detached Palace: SD07. Kyoto Prefecture.

6211 Purification Amulet. Late 11th Century. Heian-kyo, Sakyo 6jo 1bo 8cho: SE03. Kyoto Prefecture.

6212 Votive Picture of Horse(?). Late 12th Century. Toba Detached Palace: SD01. Kyoto Prefecture.

6213 Wheel-shaped Board. Late 12th Century. Toba Detached Palace: SD01. Kyoto Prefecture.

6214 Wheel-shaped Board. Late 12th Century. Toba Detached Palace: SD01. Kyoto Prefecture.

Plate 63 Parts for Architectural Models

6301 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6302 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6303 Part for Architectural Model. 694-709 A.D. Fujiwara-kyo, Ukyo 7jo 1bo 2tsubo: SE2270. Nara Prefecture.

6304 Part for Architectural Model. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

6305 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6306 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6307 Part for Architectural Model. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6308 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6309 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6310 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

6311 Part for Architectural Model. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

Plate 64 Miscellaneous

6401 Base for Fire-drill. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD5100. Nara Prefecture.

6402 Base for Fire-drill. Moddle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SK7453. Nara Prefecture.

6403 Base for Fire-drill. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6404 Base for Fire-drill. Ca. 750 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2101. Nara Prefecture.

6405 Base for Fire-drill. Ca. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1310. Kyoto Prefecture.

6406 Base for Fire-drill. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE02. Hyogo Prefecture.

6407 Hook. Ca. 713 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

6408 Well Bucket. Late 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 5jo 2bo 14tsubo: SE03. Nara Prefecture.

6409 Grass Broom. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6410 Grass Broom. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6411 Lock. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6412 Stand. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6413 Stand. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6414 Lampstand. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6415 Lampstand. 12th Century. Toba Detached Palace. Kyoto Prefecture.

6416 Lampstand. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

Plate 65 Miscellaneous

6501 Furniture Leg. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6502 Furniture Leg. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6503 Furniture Leg. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

6504 Furniture Leg. Latter Half of 8th Century. Kamiharada: SE02. Hyogo Prefecture.

6505 Furniture Leg. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

6506 Furniture Leg. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6507 Furniture Leg. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6508 Furniture Leg. Ca. 735 A.D. Kamitabe: Paddy Site. Osaka Prefecture.

6509 Furniture Leg. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6510 Furniture Leg. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

6511 Furniture Leg. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

6512 Furniture Leg. Ca. 750 A.D. Heian-kyu, 6AAO: SK1201. Nara Prefecture.

6513 Furniture Leg. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture

6514 Furniture Leg. Middle 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SD12. Kyoto Prefecture.

6515 Furniture Leg. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

6516 Table Top. Former Half of 8th Century. Heijo-kyo, West Market Site: SE395. Nara Prefecture.

6517 Table Top. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF. Nara Prefecture.

6518 Table Top. Latter Half of 8th to 9th Century. Yoshida-minami: stream 1. Hyogo Prefecture.

Plate 66 Miscellaneous

6601 Socket for Table Leg. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6602 Socket for Table Leg. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG. Nara Prefecture.

6603 Socket for Table Leg. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6604 Socket for Table Leg. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6605 Base for Chest. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3410. Nara Prefecture.

6606 Base for Chest. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6607 Base for Chest. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

6608 Base for Chest. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

6609 Base for Chest. Latter Half of 8th to 9th Century. Furu: stream. Nara Prefecture.

6610 Base for Chest. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

6611 Base for Chest. 12th to 13th Centuries. Furudono. Kyoto Prefecture.

6612 Base for Chest. Ca. 729 A.D. Heijo-kyu, 6AAO: SK2102. Nara Prefecture.

6613 Base for Chest. Latter Half of 8th to 9th Century. Furu: stream. Nara Prefecture.

6614 Leg for Karabitsu(Chinese Chest). Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6615 Leg for Karabitsu(Chinese Chest). Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6616 Foot of Goblet. Late 8th Century. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo. Kyoto Prefecture.

6617 Foot of Goblet. Late 8th Century. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo. Kyoto Prefecture.

6618 Foot of Goblet. Late 8th Century. Nagaoka-kyo, Ukyo 3jo 3bo. Kyoto Prefecture.

6619 Stem of Goblet Pedestal. 9th to 12th Centuries. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, IIH. Shiga Prefecture.

6620 Base for Chest. Latter Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE20. Kyoto Prefecture.

6621 Side of Box. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6622 Side of Box. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6623 Side of Box. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6624 Side of Box. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

6625 Side of Box. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6626 Side of Box. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

6627 Side of Box. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6628 Side of Box. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

6629 Side of Box. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

6630 Side of Box. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAA: SD2700. Nara Prefecture.

6631 Side of Box. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 3jo 2bo 4cho: SD0251. Kyoto Prefecture.

Plate 67 Parts

6701 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ADC: SE6166. Nara Prefecture.

6702 Part. Ca. 713 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

6703 Part. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SE1596. Nara Prefecture.

6704 Part. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SE1596. Nara Prefecture.

6705 Part. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3137. Nara Prefecture.

6706 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6707 Part. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SD8600. Nara Prefecture.

6708 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6709 Part. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

6710 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6711 Part. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6712 Part. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN5: SD3101. Kyoto Prefecture.

6713 Part. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6714 Part. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

6715 Part. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6716 Part. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3139. Nara Prefecture.

6717 Part. Ca. 770 A.D. Heijo-kyu, 6AAF: SK3139. Nara Prefecture.

6718 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD3825. Nara Prefecture.

6719 Part. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

6720 Part. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

6721 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 4bo 7tsubo: SK1796. Nara Prefecture.

6722 Part. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

6723 Part. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6724 Part. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

Plate 68 Parts

6801 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SB8466. Nara Prefecture.

6802 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SB8466. Nara Prefecture.

6803 Part. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

6804 Part. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

6805 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

6806 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

6807 Part. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

6808 Part. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

6809 Part. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

6810 Part. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

6811 Part. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

6812 Part. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

6813 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo

3bo: SD650. Nara Prefecture.

6814 Part. Early 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

6815 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3297. Nara Prefecture.

6816 Part. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6817 Part. Latter Half of 8th to Early 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 9tsubo: SD1300. Nara Prefecture.

6818 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SD3715. Nara Prefecture.

6819 Part. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALS: SD4951. Nara Prefecture.

6820 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6821 Part. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SE3049. Nara Prefecture.

6822 Part. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6823 Part. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 2jo 2bo 6cho: SD1301. Kyoto Prefecture.

6824 Part. Former Half of 9th Century. Shimogoori: well. Mie Prefecture.

6825 Part. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

6826 Part. Ca. 713 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1525

6827 Part. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

6828 Part. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10 tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

6829 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6830 Part. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

Plate 69 Use Unknown

6901 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

6902 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5200. Nara Prefecture.

6903 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SD5780. Nara Prefecture.

6904 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6905 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SE03B. Kyoto Prefecture.

6906 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

6907 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

6908 Use Unknown. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

6909 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6910 Use Unknown. Late 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

6911 Use Unknown. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABX: SD1900. Nara Prefecture.

6912 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAG: SD3410. Nara Prefecture.

6913 Use Unknown. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6AAF: SB3322. Nara Prefecture.

6914 Use Unknown. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

6915 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6916 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

6917 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

6918 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6919 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6920 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6921 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SD8600. Nara Prefecture.

6922 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

6923 Use Unknown. Ca. 710 A.D. Heijo-kyu, 6ABE. Nara Prefecture.

6924 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

6925 Use Unknown. Early 9th Century. Hattanchoo: stream. Hyogo Prefecture.

Plate 70 Use Unknown.

7001 Use Unknown. Early 8th Century. Heijo-kyu, 6ABY: SD1900. Nara Prefecture.

7002 Use Unknown. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

7003 Use Unknown. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

7004 Use Unknown. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

7005 Use Unknown. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sakyo 8jo 3bo 10tsubo: SD1155. Nara Prefecture.

7006 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7007 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

7008 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7009 Use Unknown. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5808B. Nara Prefecture.

7010 Use Unknown. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

7011 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7012 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7013 Use Unknown. Latter Half of 7th Century. (Before 694 A.D.) Fujiwara-kyu, 6AJF: SD1901A. Nara Prefecture.

7014 Use Unknown. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

7015 Use Unknown. Latter Half of 7th to Early 8th Century.

Shimodera Kannondo: SD01. Shiga Prefecture.

7016 Use Unknown. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

7017 Use Unknown. Ca. 740 A.D. Heijo-kyu, 6ALR: SB8580. Nara Prefecture.

7018 Use Unknown. 13th Century. Sites Found During the Construction of the JNR Kosei Line, VA. Shiga Prefecture.

7019 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7020 Use Unknown. Middle 7th Century. Sakatadera Temple Site: SG100. Nara Prefecture.

7021 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD8161. Nara Prefecture.

7022 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7023 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD145. Nara Prefecture.

7024 Use Unknown. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

Plate 71 Use Unknown.

7101 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7102 Use Unknown. Middle 8th Century. Iinagata. Shiga Prefecture.

7103 Use Unknown. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

7104 Use Unknown. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

7105 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABF: SB7802. Nara Prefecture.

7106 Use Unknown. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

7107 Use Unknown. 784-794 A.D. Nagaoka-kyo, Sakyo 4jo 3bo 3cho: SD451. Kyoto Prefecture.

7108 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

7109 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SK3730. Nara Prefecture.

7110 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7111 Use Unknown. Middle 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SD9648. Nara Prefecture.

7112 Use Unknown. Former Half of 7th Century. Naniwa-no-miya, MP2: SK10043. Osaka Prefecture.

7113 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALR: SK3226. Nara Prefecture.

7114 Use Unknown. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

7115 Use Unknown. 11th Century. Ninnaji Nan'in Temple Site: pond. Kyoto Prefecture.

7116 Use Unknown. Middle 8th Century. Heijo-kyo, Sairyuji Temple Site: SE130. Nara Prefecture.

7117 Use Unknown. Middle 9th Century. Heian-kyo, West Market Site: SX10. Kyoto Prefecture.

7118 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SK870. Nara Prefecture.

7119 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

7120 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7121 Use Unknown. Ca. 723 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo 15-16tsubo: SD485. Nara Prefecture.

7122 Use Unknown. Former Half of 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

7123 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7124 Use Unknown. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5785. Nara Prefecture.

7125 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC. Nara Prefecture.

Plate 72 Use Unknown.

7201 Use Unknown. Ca. 762 A.D. Heijo-kyu, 6ABO: SK219. Nara Prefecture.

7202 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7203 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

7204 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

7205 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJF: SD105. Nara Prefecture.

7206 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7207 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7208 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7209 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7210 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7211 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

7212 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

7213 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7214 Use Unknown. 694-709 A.D. Fujiwara-kyu, 6AJE: SD105. Nara Prefecture.

7215 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABF: SD3715. Nara Prefecture.

7216 Use Unknown. Ca. 756 A.D. Heijo-kyu, 6AAC: SD3035. Nara Prefecture.

7217 Use Unknown. 784-794 A.D. Nagaoka-kyu, 7AN 3A: SD8701. Kyoto Prefecture.

7218 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7219 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

7220 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Daizooshi, A: ditch 6. Osaka Prefecture.

7221 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7222 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7223 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu,

6AAO: SK870. Nara Prefecture.

7224 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7225 Use Unknown. Ca. 762 A.D. Heijo-kyu, 6ABO: SK219. Nara Prefecture.

7226 Use Unknown. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

7227 Use Unknown. Former Half of 9th Century. Heijo-kyo, Sakyo 1jo 3bo: SD650. Nara Prefecture.

7228 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ABE: SD3715. Nara Prefecture.

7229 Use Unknown. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6ALG: SD5785. Nara Prefecture.

7230 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7231 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD3410. Nara Prefecture.

7232 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAI: SD4951. Nara Prefecture.

7233 Use Unknown. Ca. 753 A.D. Heijo-kyu, 6ABR: SB7802. Nara Prefecture.

7234 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6ACU: SD1250. Nara Prefecture.

7235 Use Unknown. Late 9th to Early 10th Century. Kamo, East. Shiga Prefecture.

7236 Use Unknown. Ca. 713 A.D. Heijo-kyo, Sakyo 3jo 2bo 6tsubo: SD1525. Nara Prefecture.

7237 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6AAC: SD2700. Nara Prefecture.

7238 Use Unknown. Late 8th to Former Half of 9th Century. Heijo-kyu, 6ALF: SG5800B. Nara Prefecture.

7239 Use Unknown. Ca. 735 A.D. Kamitabe, Paddy Site. Osaka Prefecture.

7240 Use Unknown. Early 7th Century. Kunobe: SD10. Shiga Prefecture.

Plate 73 Use Unknown.

7301 Use Unknown. 13th Century. Furudono. Kyoto Prefecture.

7302 Use Unknown. Latter Half of 8th Century. Heijo-kyo, Sairyuji Temple Site: SX035. Nara Prefecture.

7303 Use Unknown. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SK2104. Nara Prefecture.

7304 Use Unknown. Former Half of 8th Century. Heijo-kyu, 6AAO: SK2104. Nara Prefecture.

7305 Use Unknown. Ca. 747 A.D. Heijo-kyu, 6AAB: SK820. Nara Prefecture.

7306 Use Unknown. 8th Century. Heijo-kyu, 6ADF: SK1979. Nara Prefecture.

昭和60年3月25日　印刷
昭和60年3月30日　発行

奈良国立文化財研究所　史料第27冊

木器集成図録　近畿古代篇

著作権所有者　奈良市二条町2丁目9番1号　奈良国立文化財研究所

発行者　奈良国立文化財研究所

印刷者　奈良市橋本町三六　株式会社 奈良明新社

木器集成図録

図　版

凡　例

1　木器番号は4桁であらわし，前の2桁は図版番号，後の2桁は1図版内での順序をあらわす。

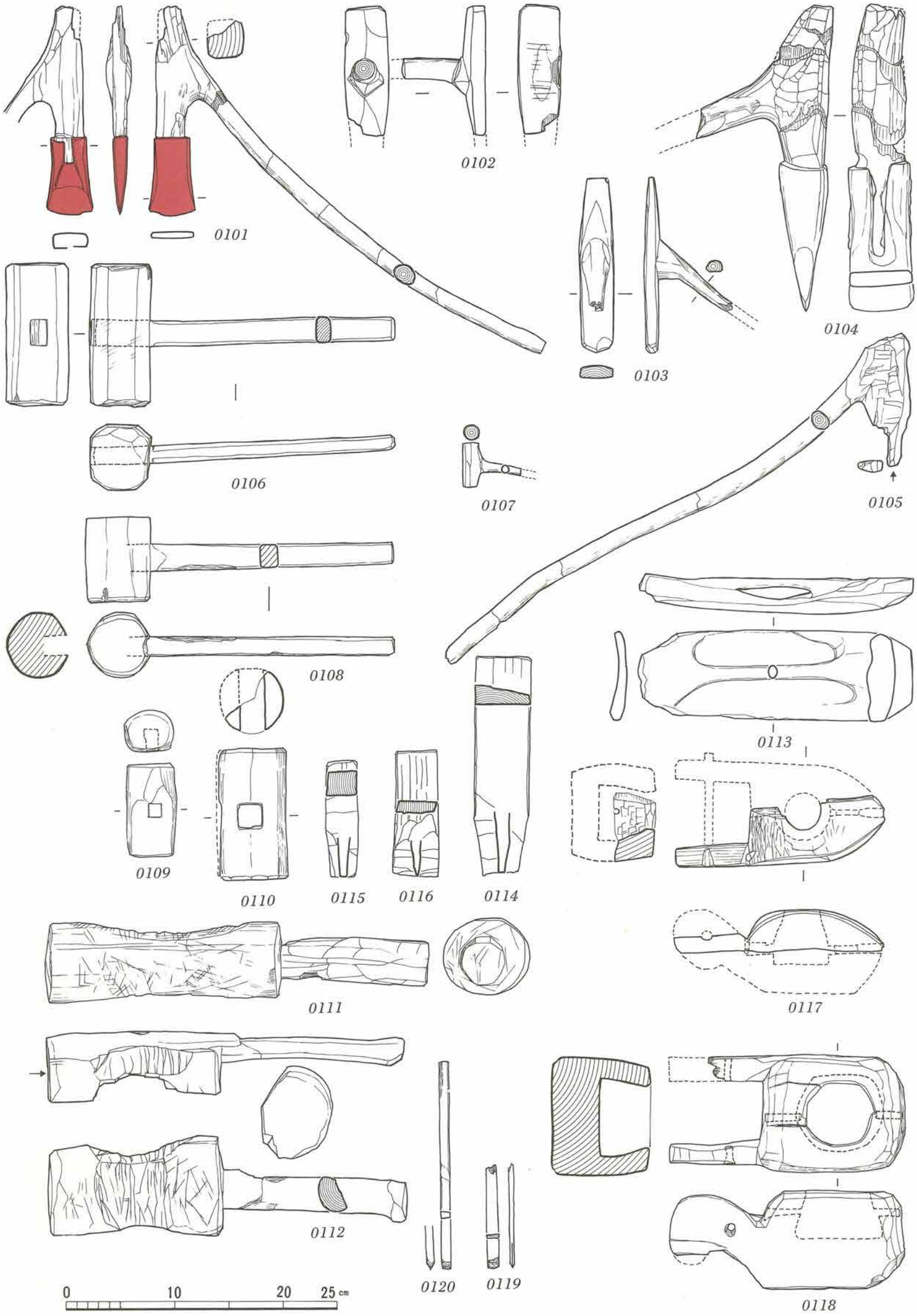
2　原図には表現上かなりの差異があるが，できるだけ統一的な表現を心懸けた。その際，割目・木目・腐蝕状況などは省いて図示し，加工痕跡・使用痕跡を重点的に表現し，可能なかぎり復原的な精図を試みた。

3　原則として，平面図が縦位置での断面図は図示平面図の面を上方にあて，横位置では図示平面図の面を右側に向けている。

4　木器の木取りについては，原則として記述を省き断面図に年輪方向を模式的に図示している。ただし，年輪の横断面が断面図にあらわれない場合や木取りを確認していない木器の断面図は白ぬきである。

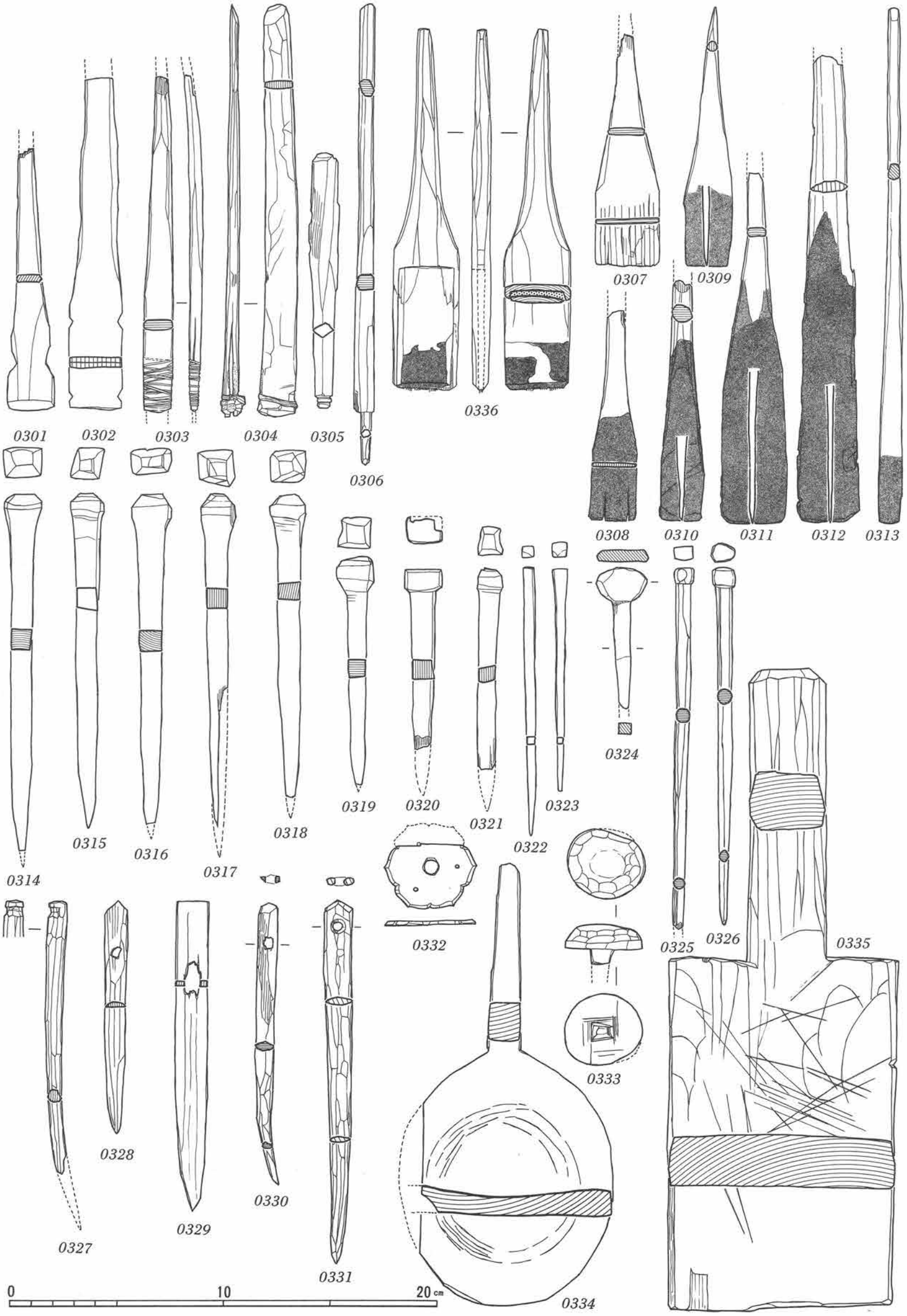
5　黒漆塗りは黒網目であらわし，朱漆塗りは朱網目であらわす。

工　具　斧・木槌・掛矢・鏝・楔・墨壺・墨刺し



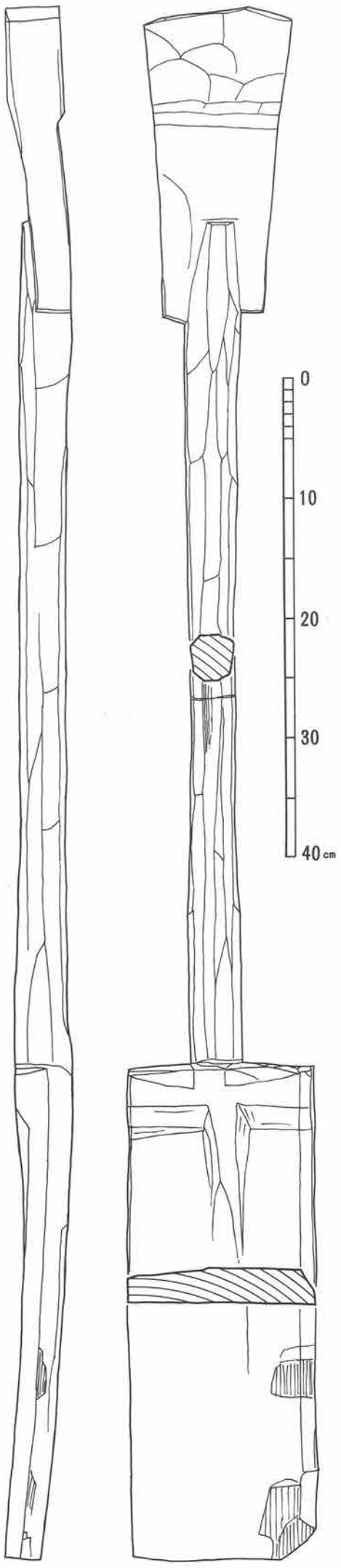
0101；兵庫・辻井廃寺，*0102・0103*，*0109*，*0112*，*0114～0117*，*0119・0120*；平城宮，*0104*；兵庫・上原田，*0105・0110*；長岡京，*0106・0107・0111*；平城京，*0108*；長岡宮，*0113*；滋賀・湖西線ＶＤ，*0118*；兵庫・栄根

0201～0204・0206・0208・0209・0216～0218・0220・0222～0224・0227～0229・0232～0234；平城宮，*0205・0207・0210・0221・0226・0230・0231*；平城京，*0211～0213・0215・0219・0225*；長岡京，*0214*；兵庫・吉田南

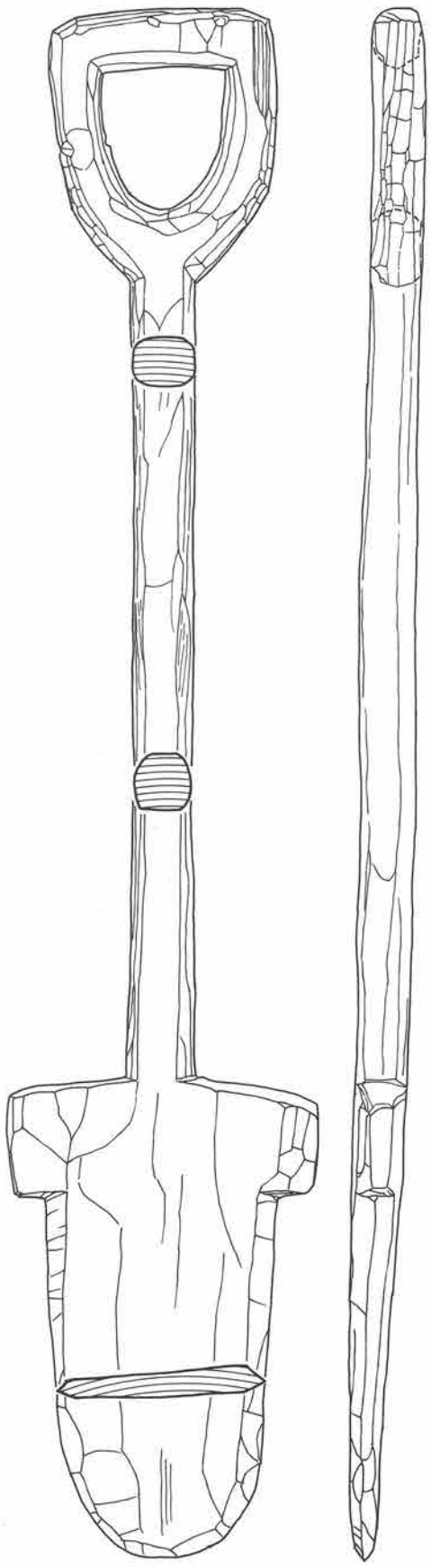


0301・0305～0308・0322・0323・0328～0330・0332・0333・0335・0336；平城宮，*0302～0304・0309～0313・0327・0331*；平城京，*0314～0321*；難波宮，*0324*；長岡京，*0325・0326*；鳥羽離宮，*0334*；和歌山・野田地区

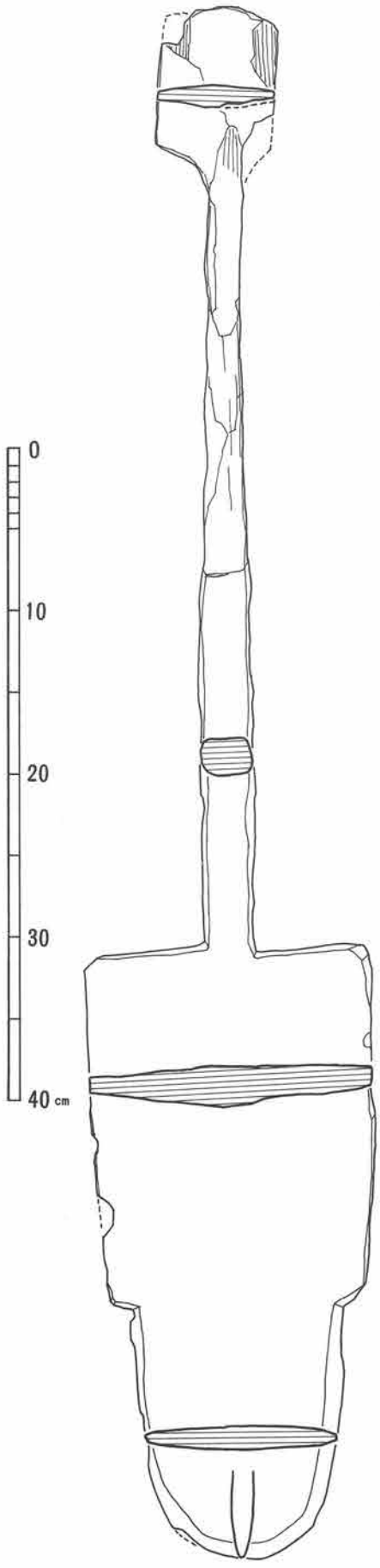
農　具　鋤



0401

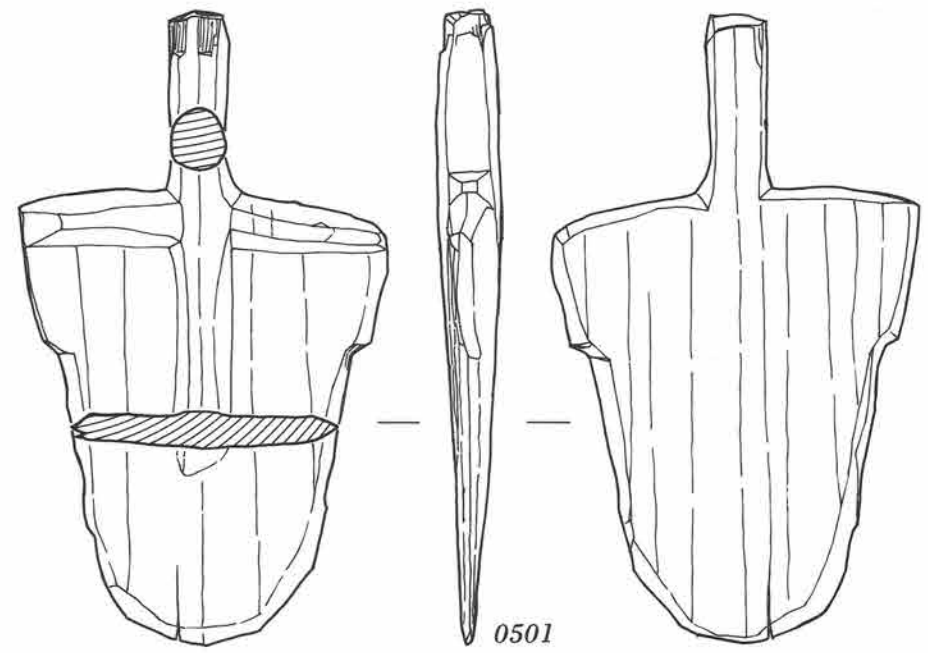


0402

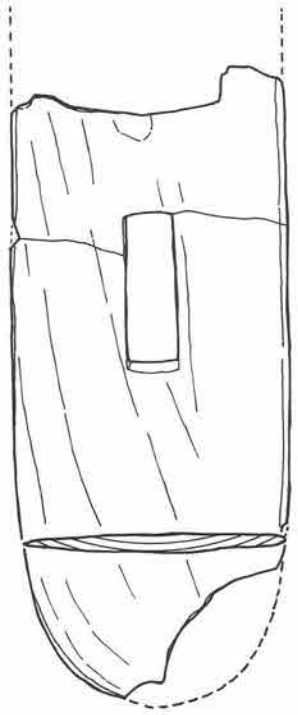


0403

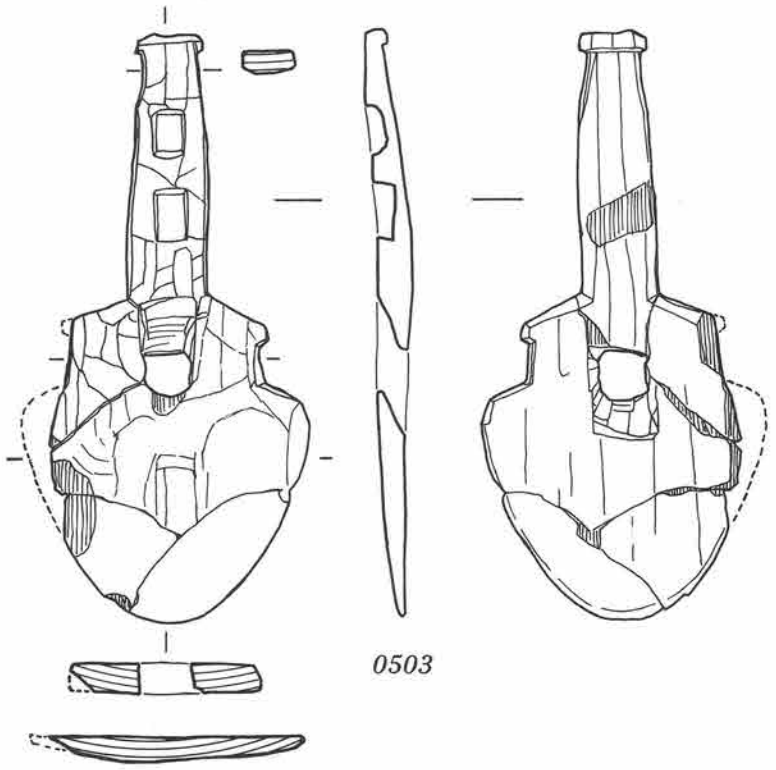
0401；藤原宮，*0402*；平城宮，*0403*；兵庫・山垣



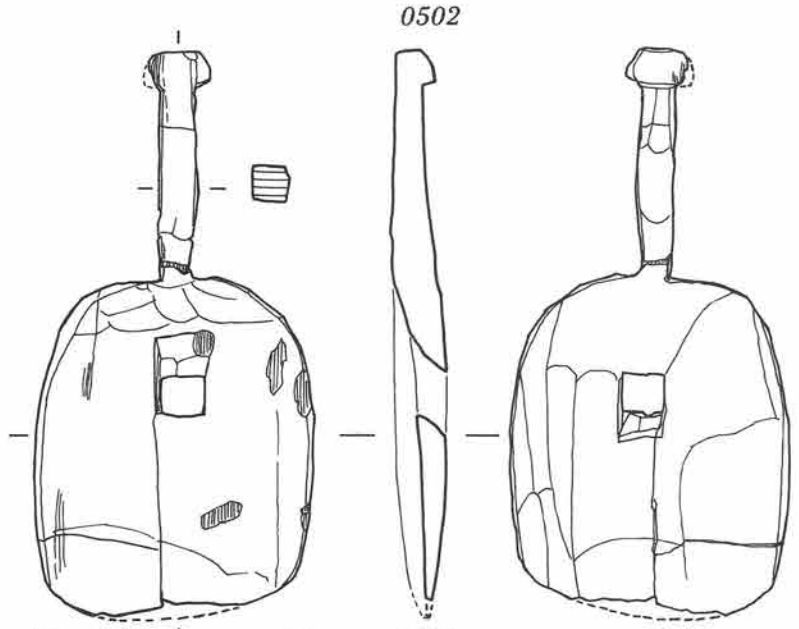
0501



0502

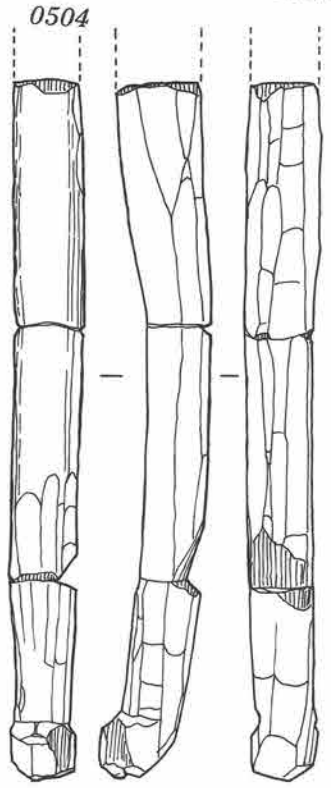


0503

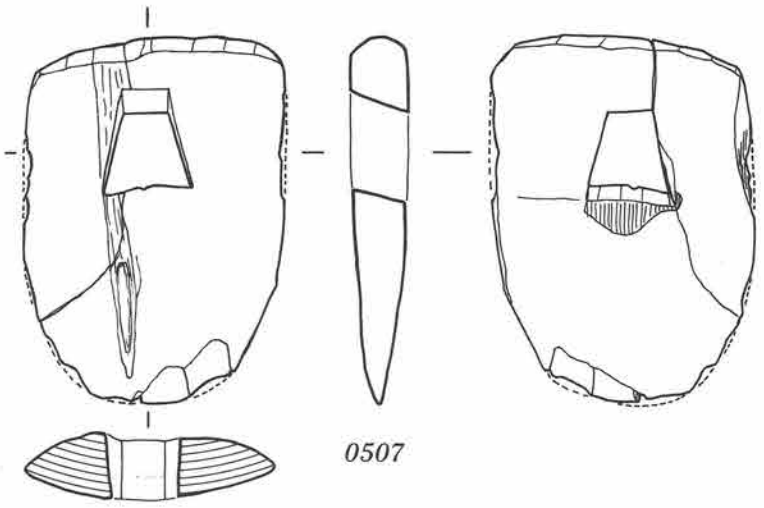


0504

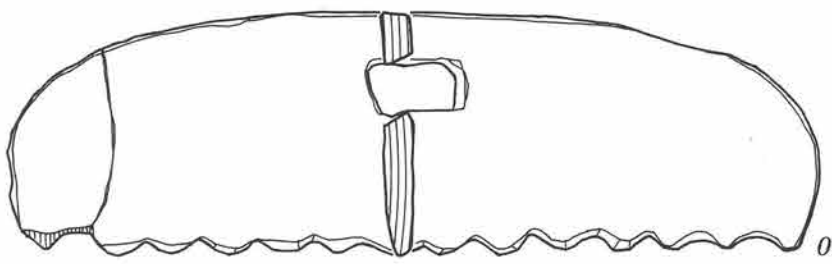
0505



0506



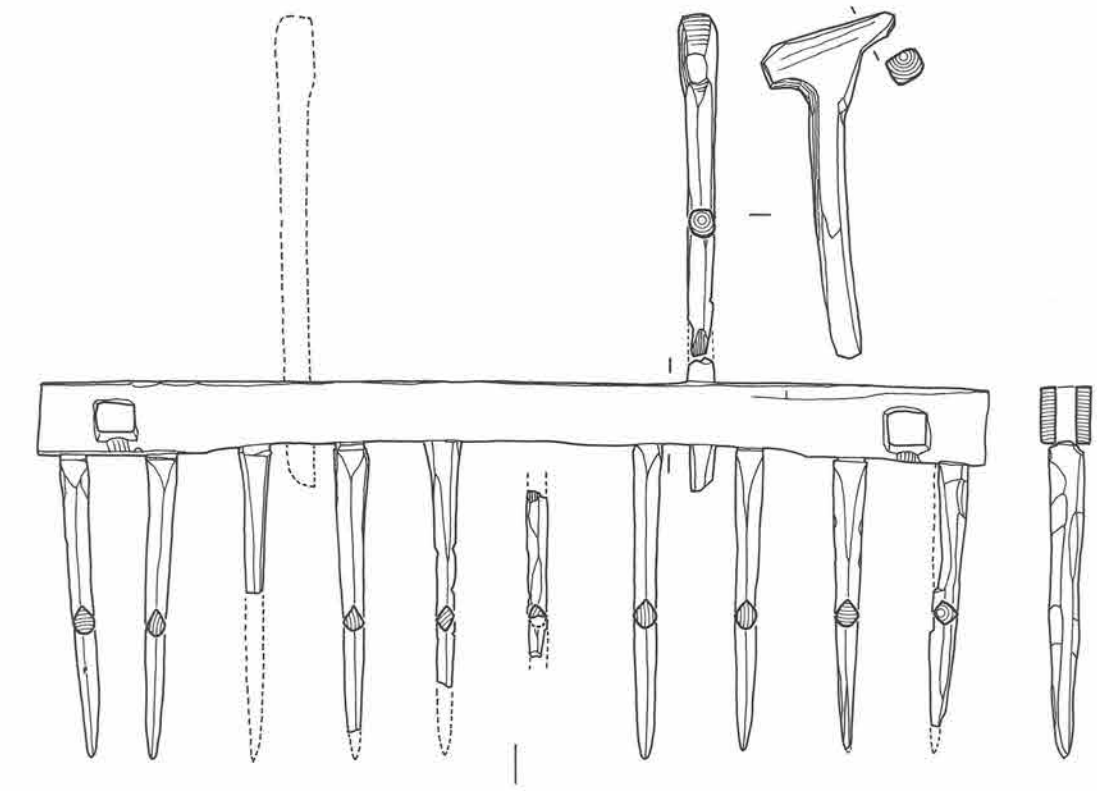
0507

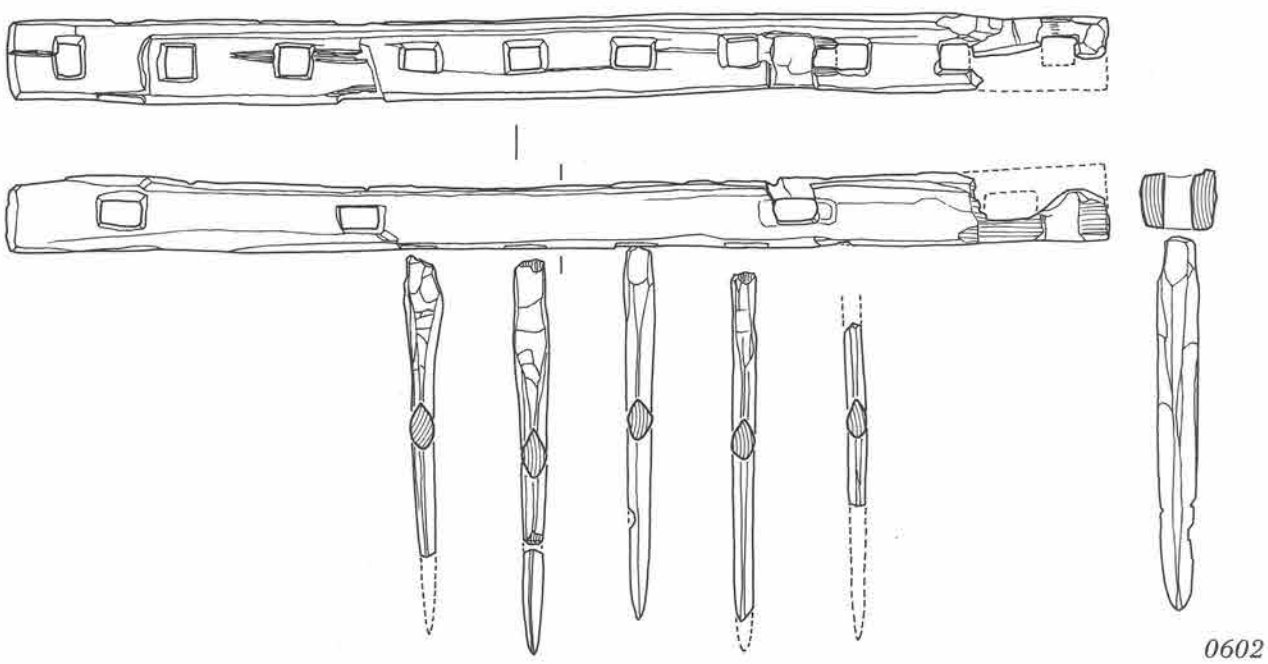


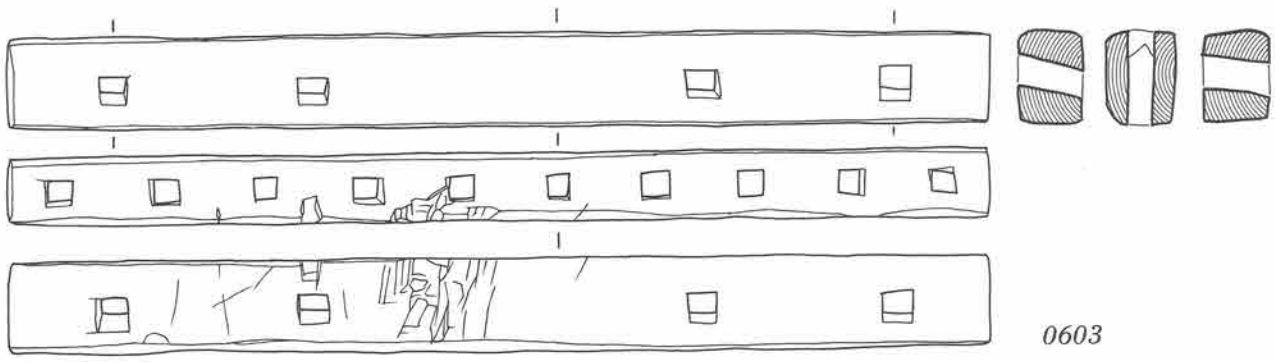
0508

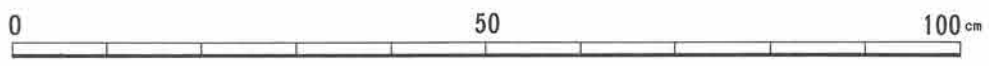
0 10 20 30 cm

0501；難波宮，*0502*；京都・大藪，*0503*・*0504*；大阪・挟山，*0505*；滋賀・下寺観音堂，*0506*；和歌山・野田地区，*0507*；京都・定山，*0508*；兵庫・山垣

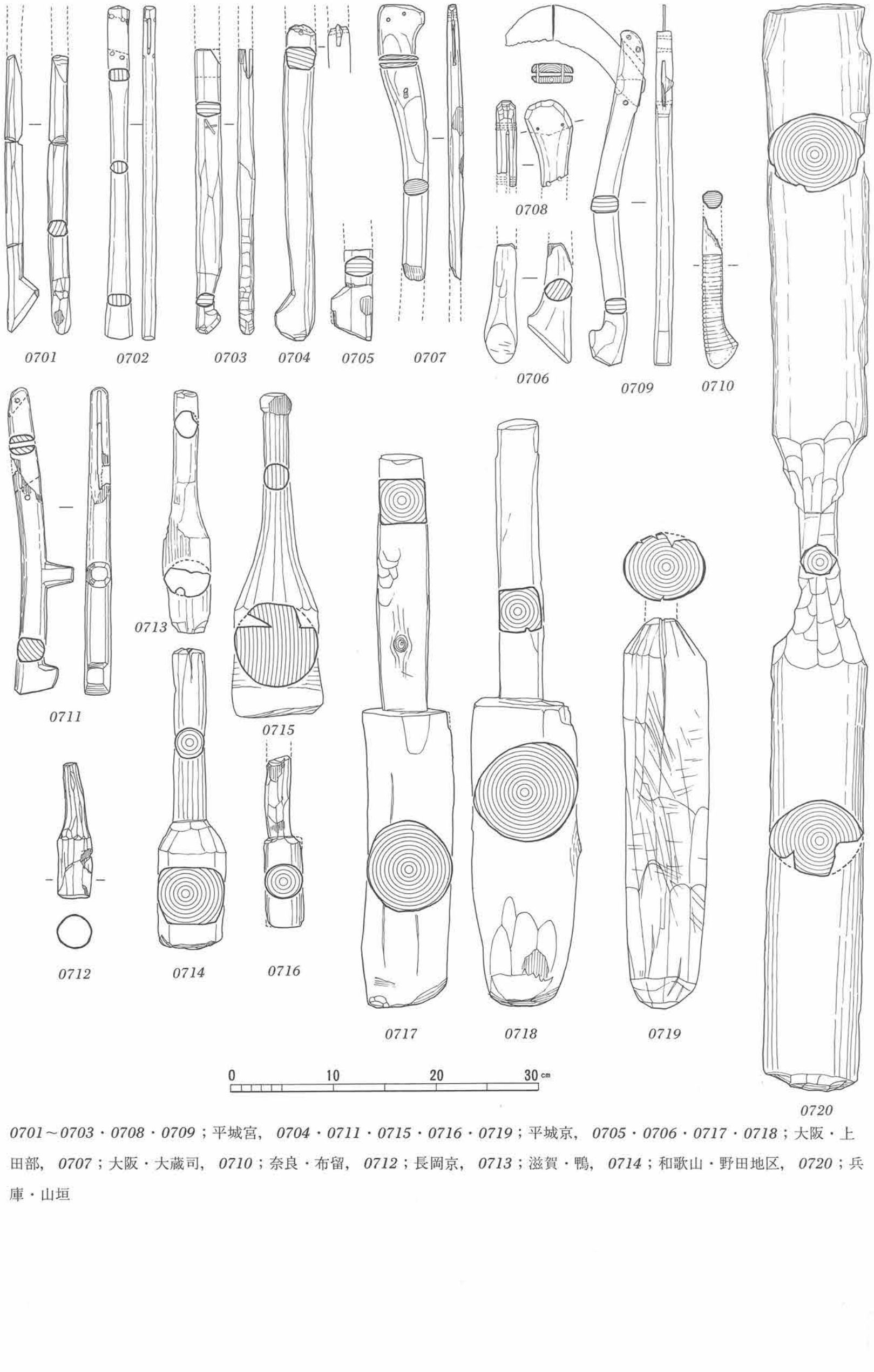




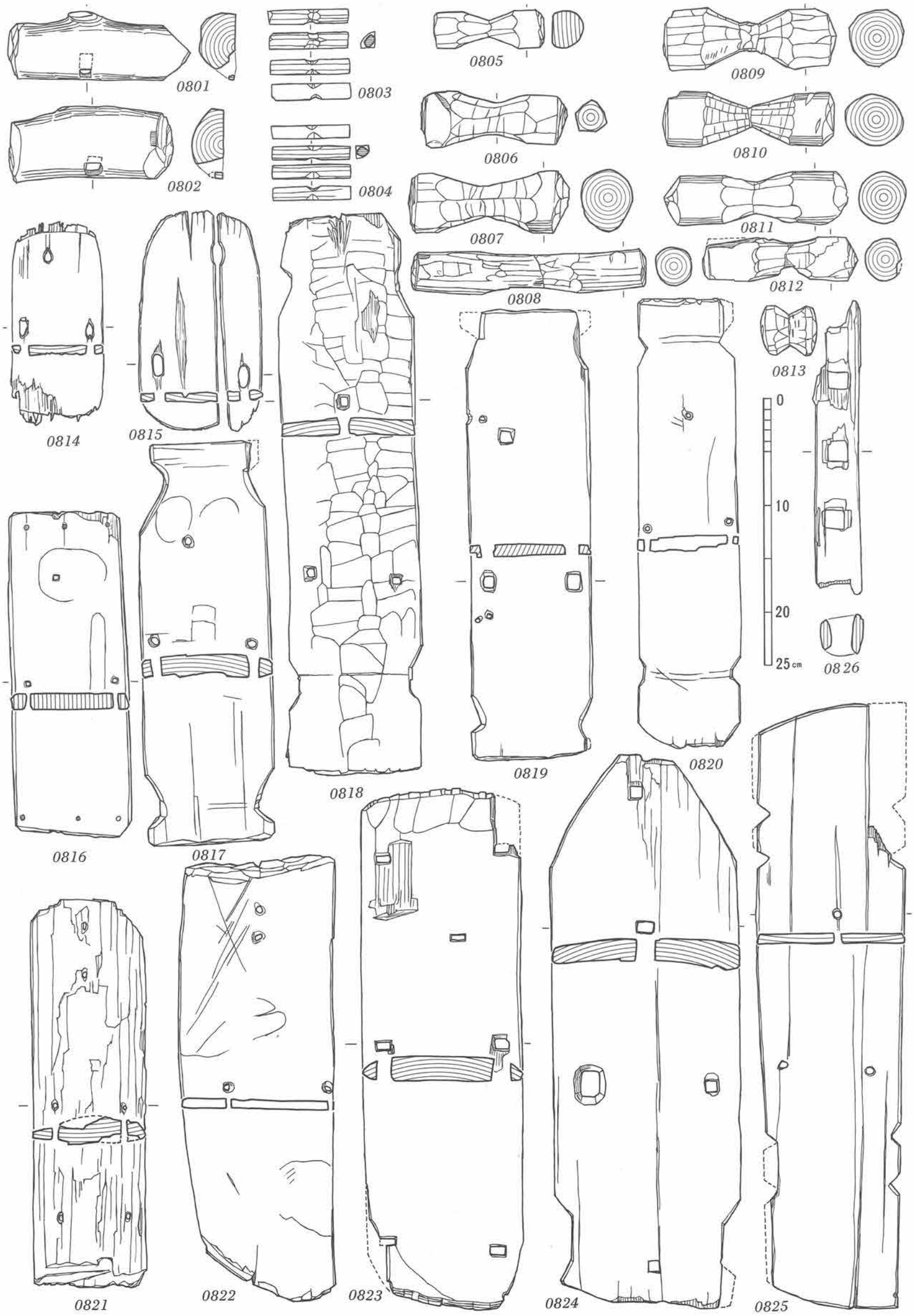




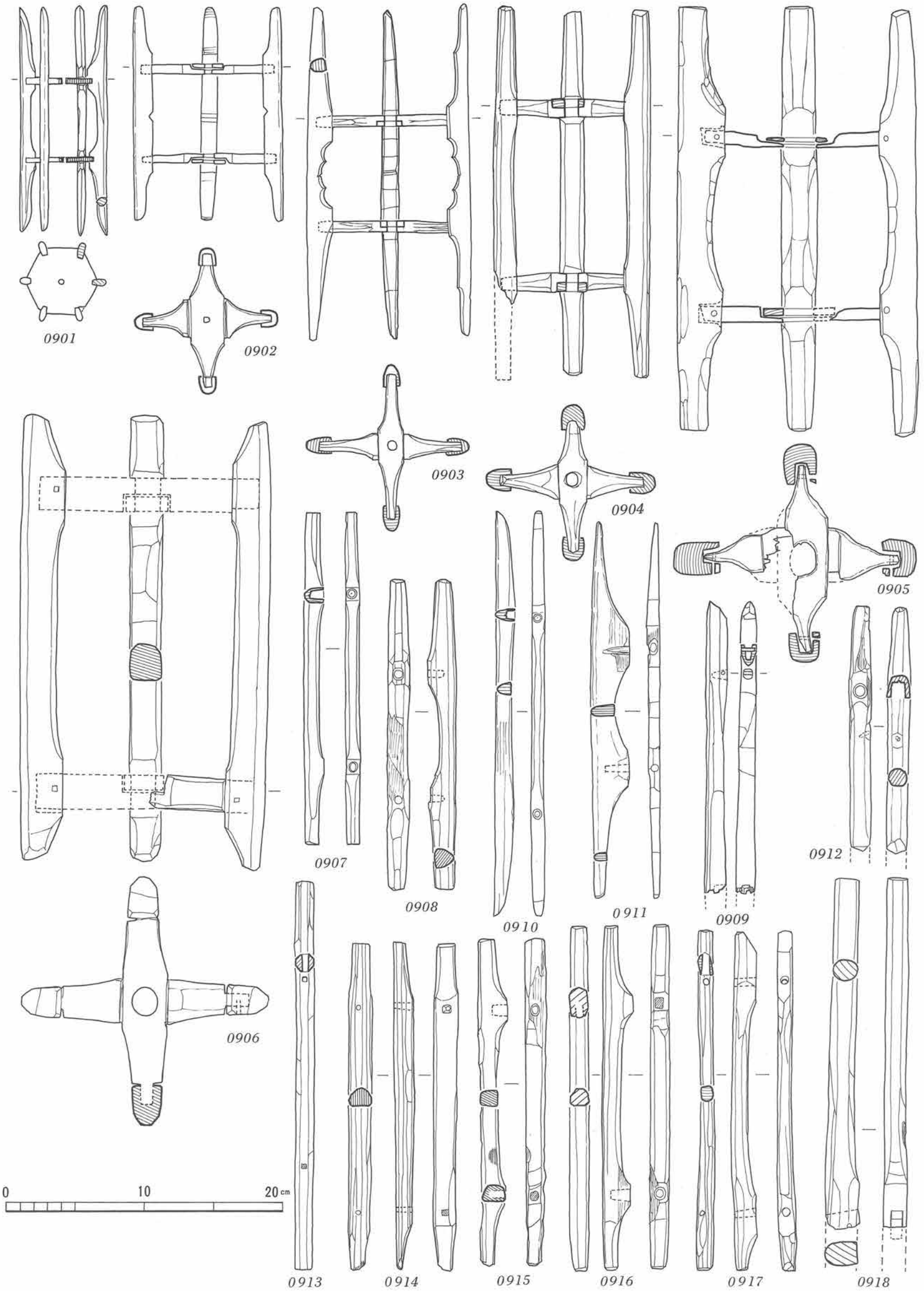
0601・*0602*；大阪・上田部，　*0603*；兵庫・吉田南



0701～*0703*・*0708*・*0709*；平城宮，*0704*・*0711*・*0715*・*0716*・*0719*；平城京，*0705*・*0706*・*0717*・*0718*；大阪・上田部，*0707*；大阪・大蔵司，*0710*；奈良・布留，*0712*；長岡京，*0713*；滋賀・鴨，*0714*；和歌山・野田地区，*0720*；兵庫・山垣

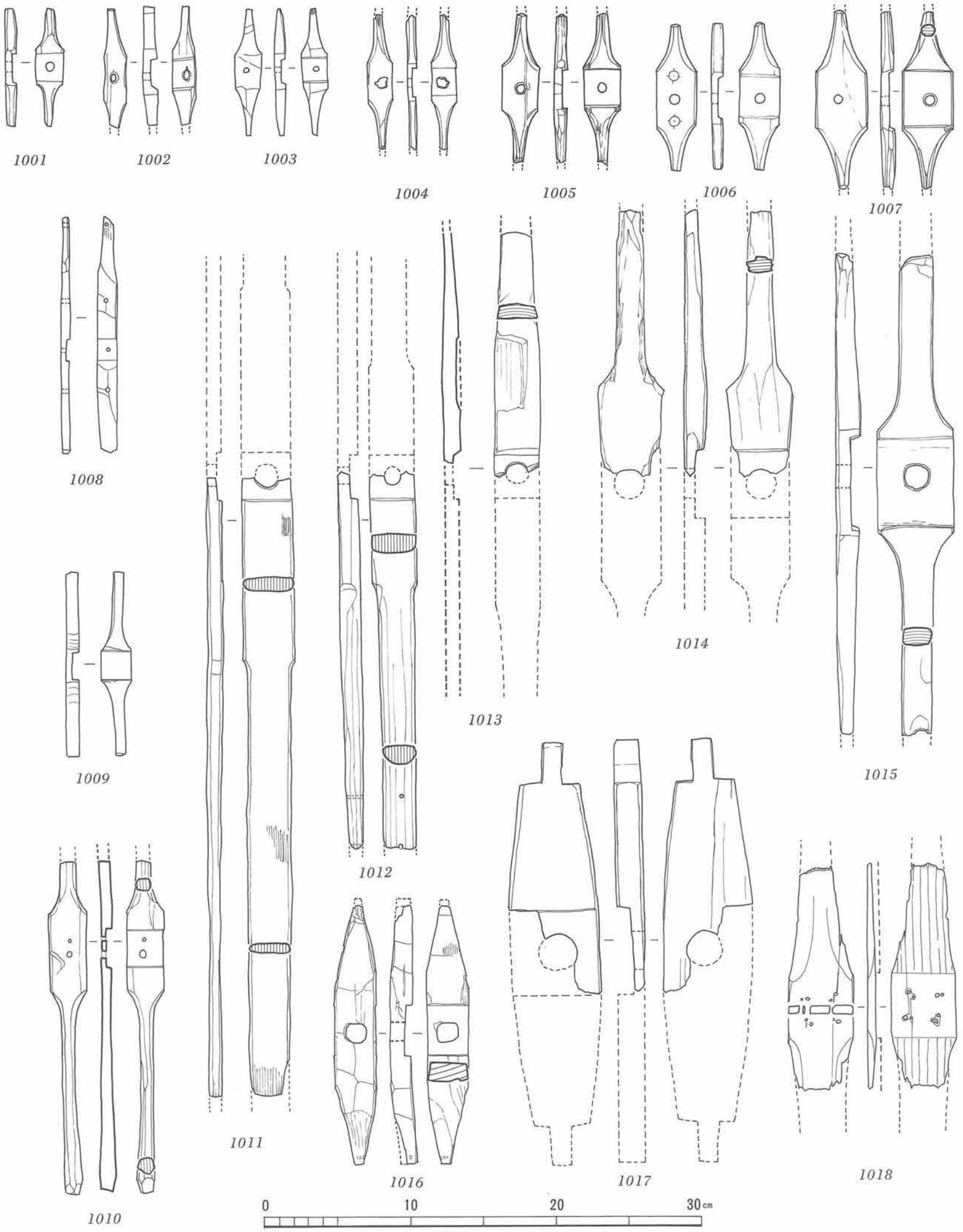


0801～0804，*0806*・*0807*；平城宮，*0808*・*0812*；滋賀・鴨，*0809～0811*；兵庫・吉田南，*0813*；兵庫・上原田，*0805*；平城京，*0814*・*0820*・*0822*；滋賀・久野部，*0815*；滋賀・光相寺，*0816*；大阪・上田部，*0817*；滋賀・仏性寺，*0818*・*0821*・*0823～0825*；兵庫・八反長，*0819*；長岡京，*0826*；大阪・亀井



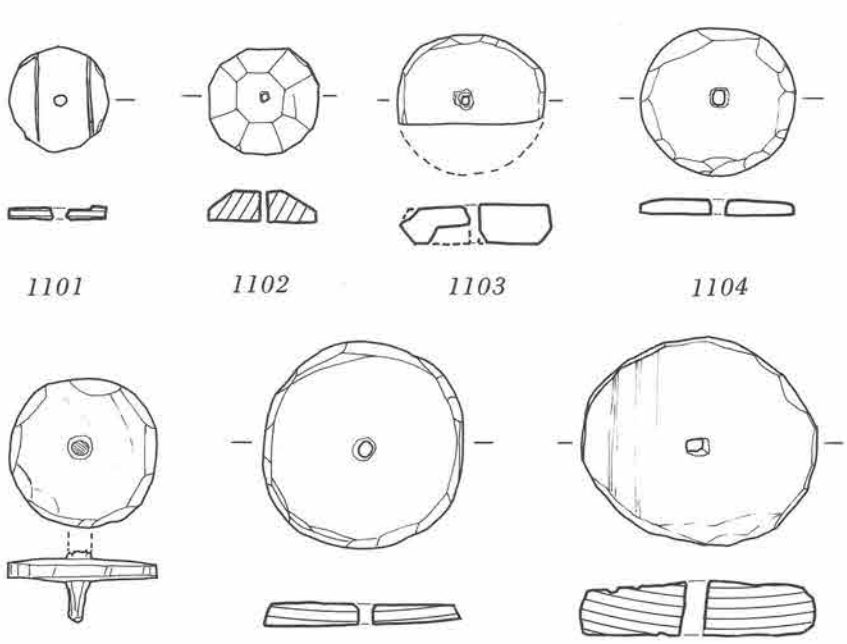
0901・0903・0906・0907・0909・0910・0914～0917；平城宮，*0902*；京都・古殿，*0904*；奈良・坂田寺，*0905*；滋賀・服部，*0908・0911*；平城京・西隆寺，*0912*；奈良・伝飛鳥板蓋宮，*0913*；平城京，*0918*；奈良・白毫寺

紡織具　糸巻



1001・1004・1005・1009・1016～1018；平城宮，*1002・1006*；藤原京・紀寺，*1003・1007*；平城京，*1008*；平安京・西市，*1010*；長岡京，*1011*；兵庫・吉田南，*1012*；京都・古殿，*1013・1015*；大阪・大蔵司，*1014*；奈良・布留

紡織具　紡輪・織機



1101

1102

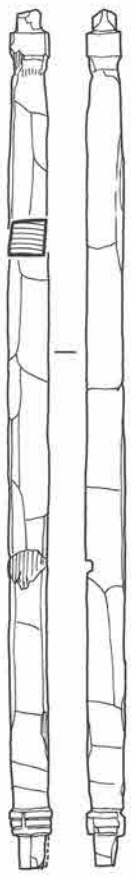
1103

1104

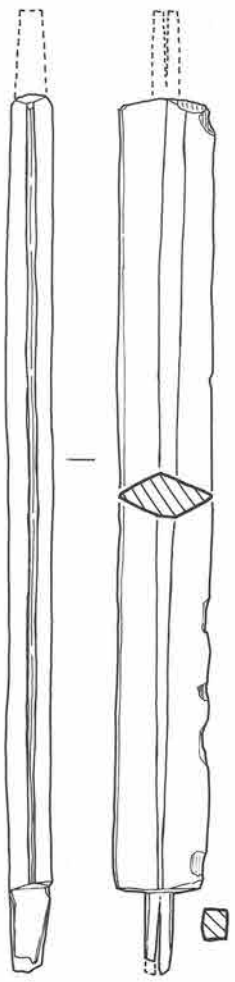
1105

1106

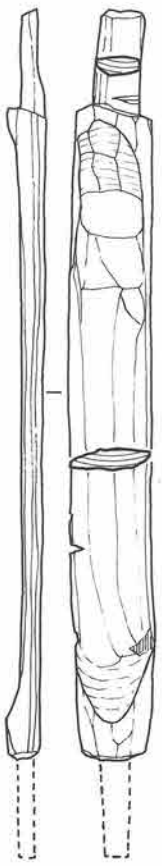
1107



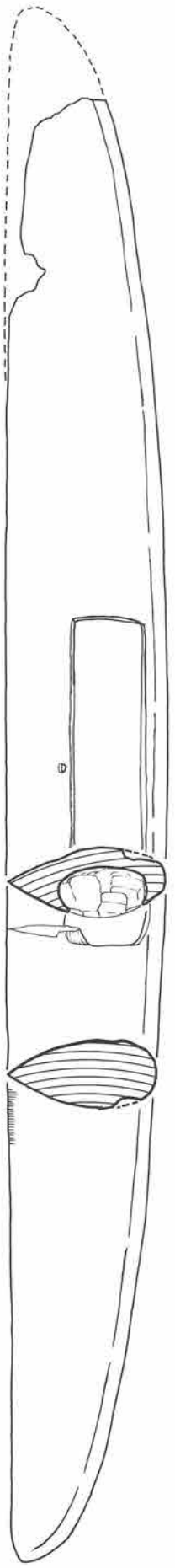
1108



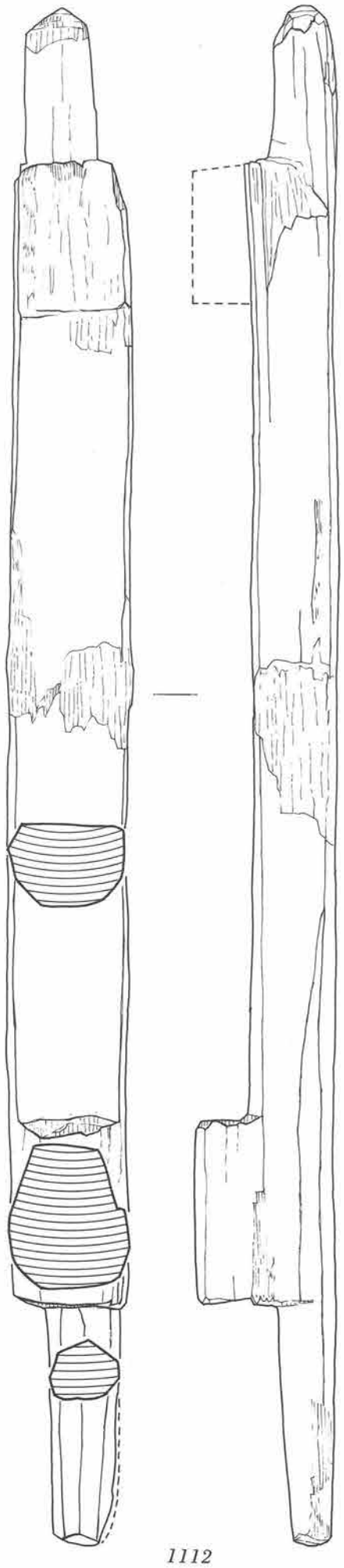
1109



1110



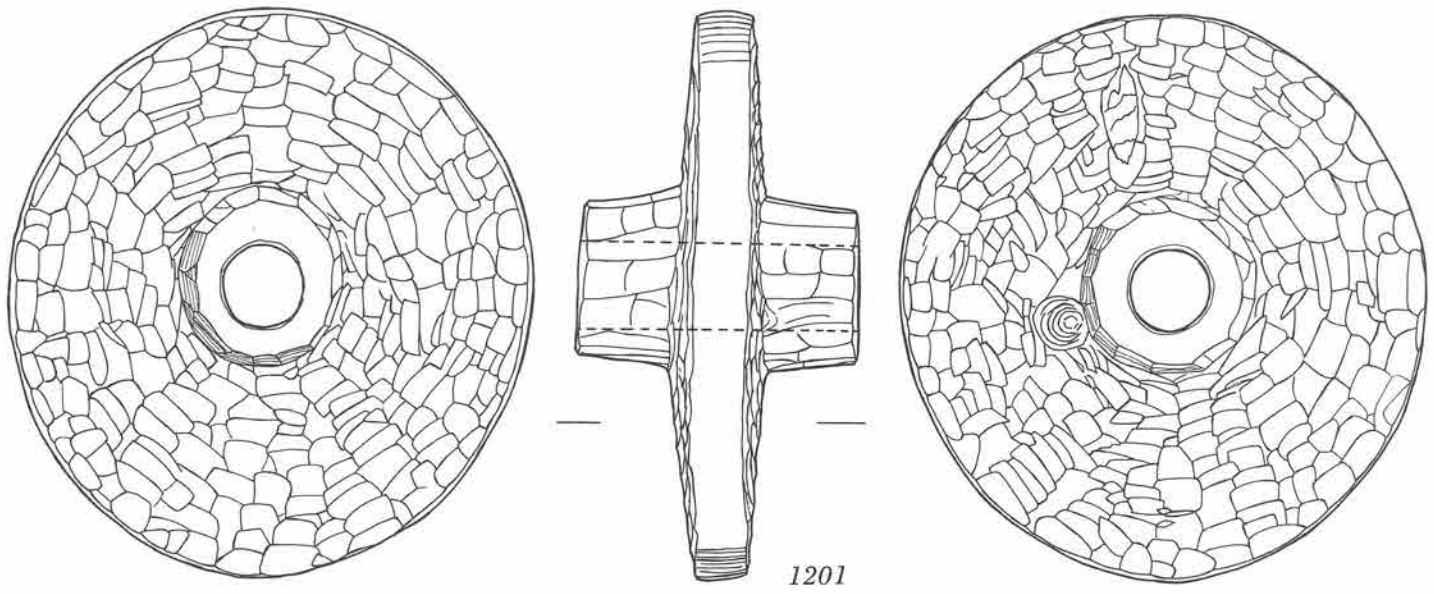
1111



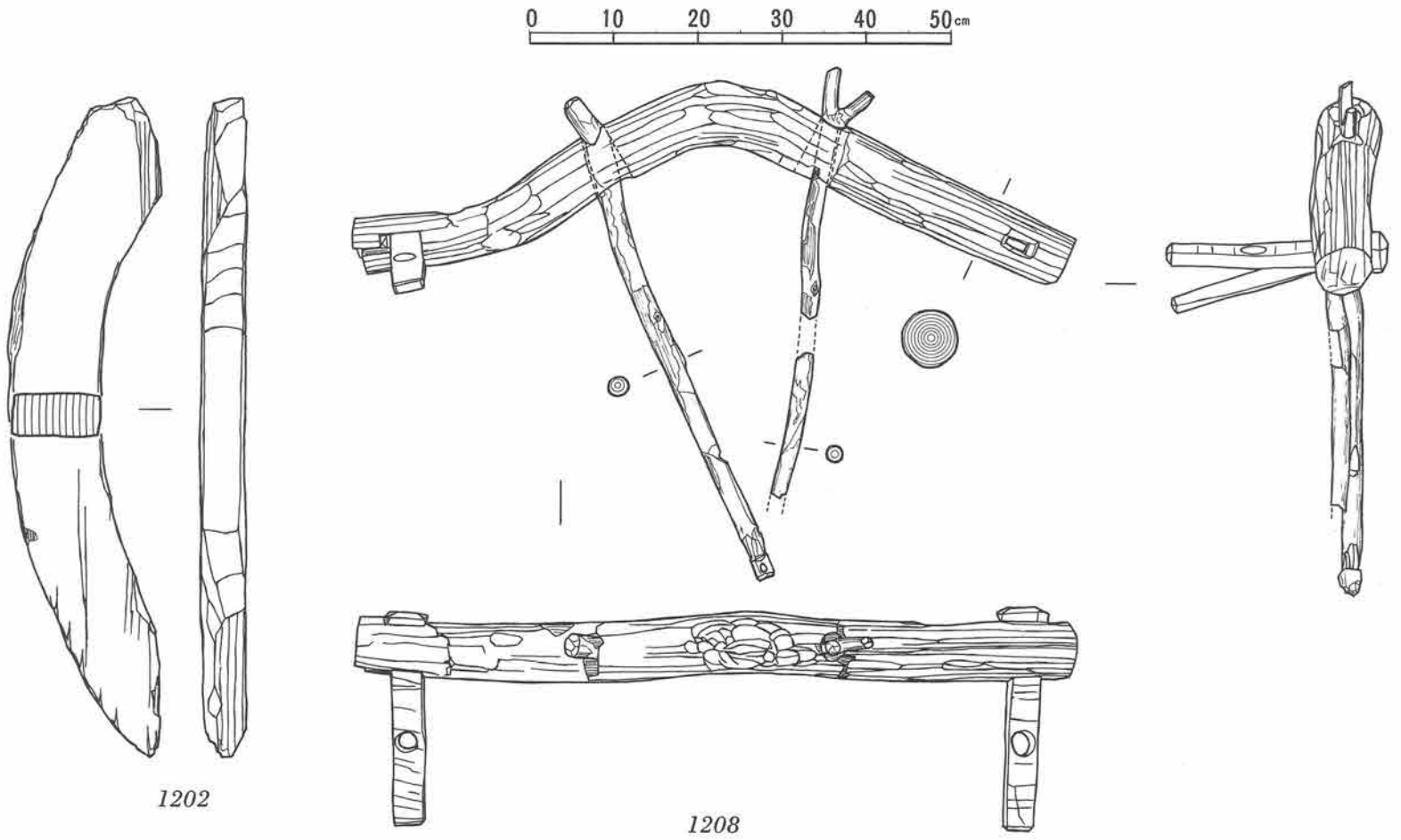
1112

0　10　20　30 cm

1101・1104～1106・1108・1110；平城宮，*1102・1107*；平城京，*1103・1111・1112*；大阪・上田部，*1109*；大阪・亀井

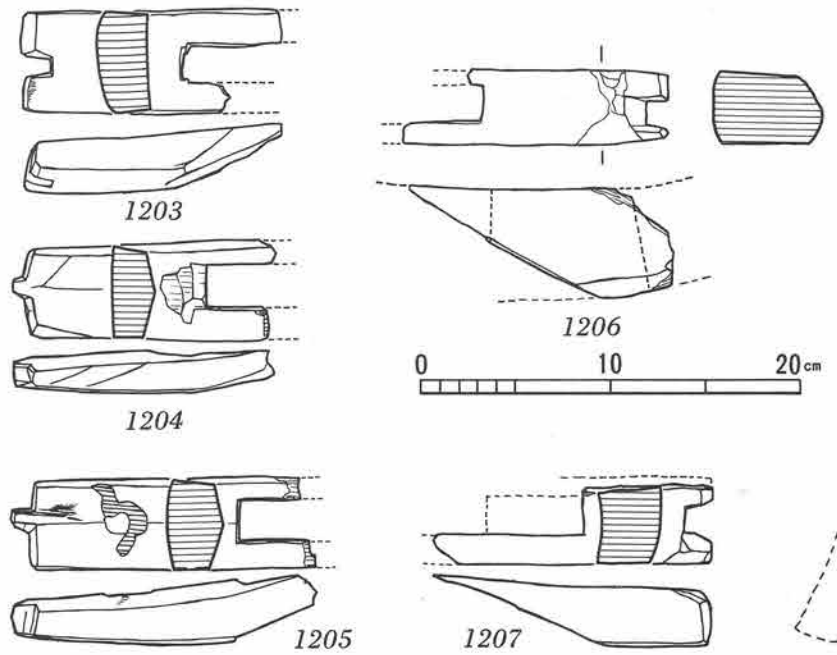


1201



1202

1208



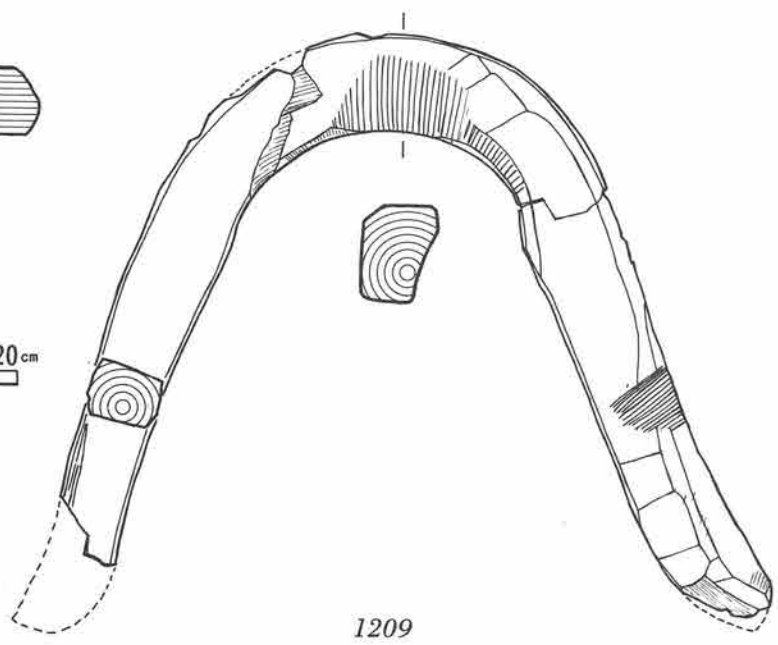
1203

1204

1205

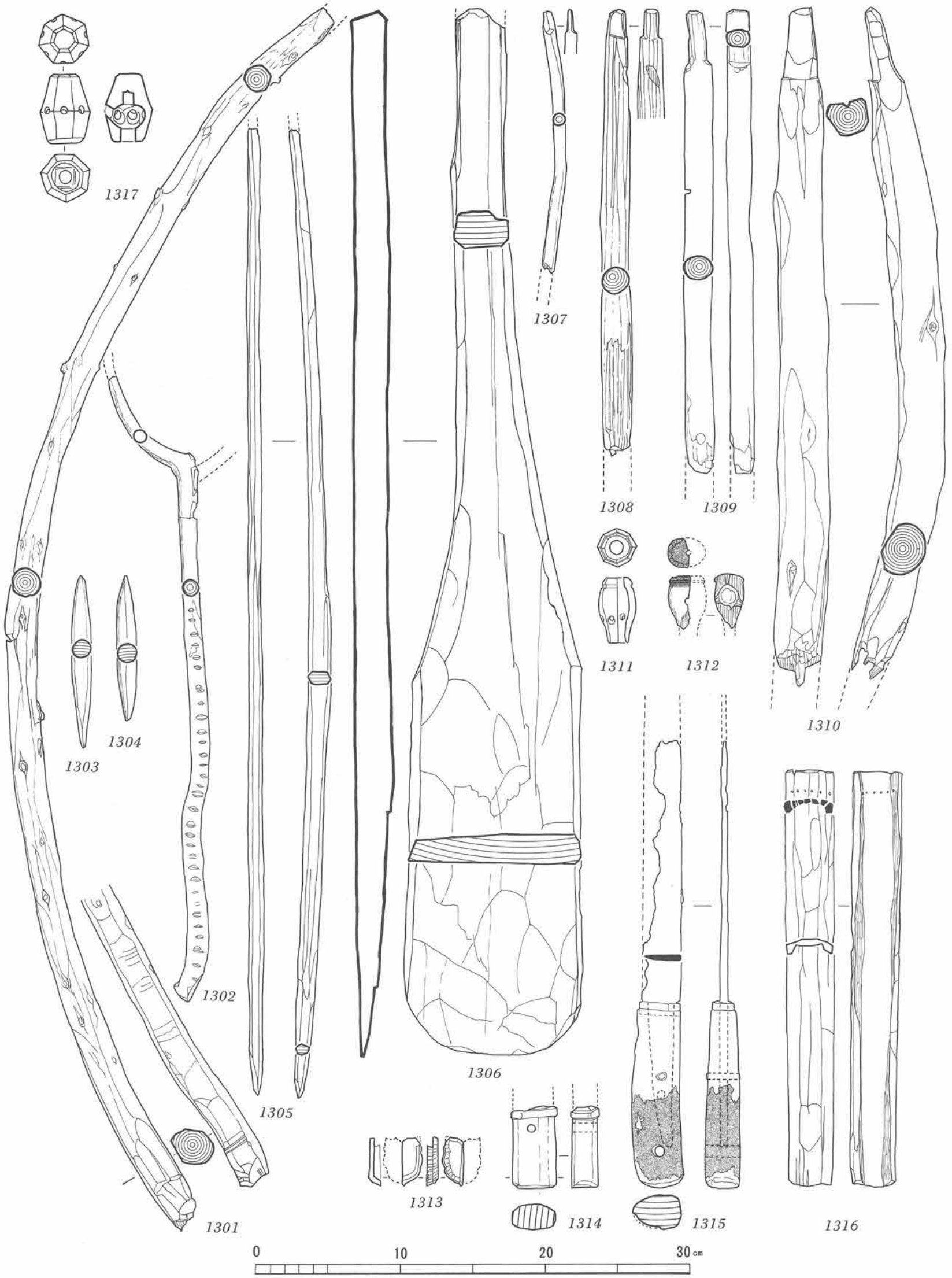
1206

1207

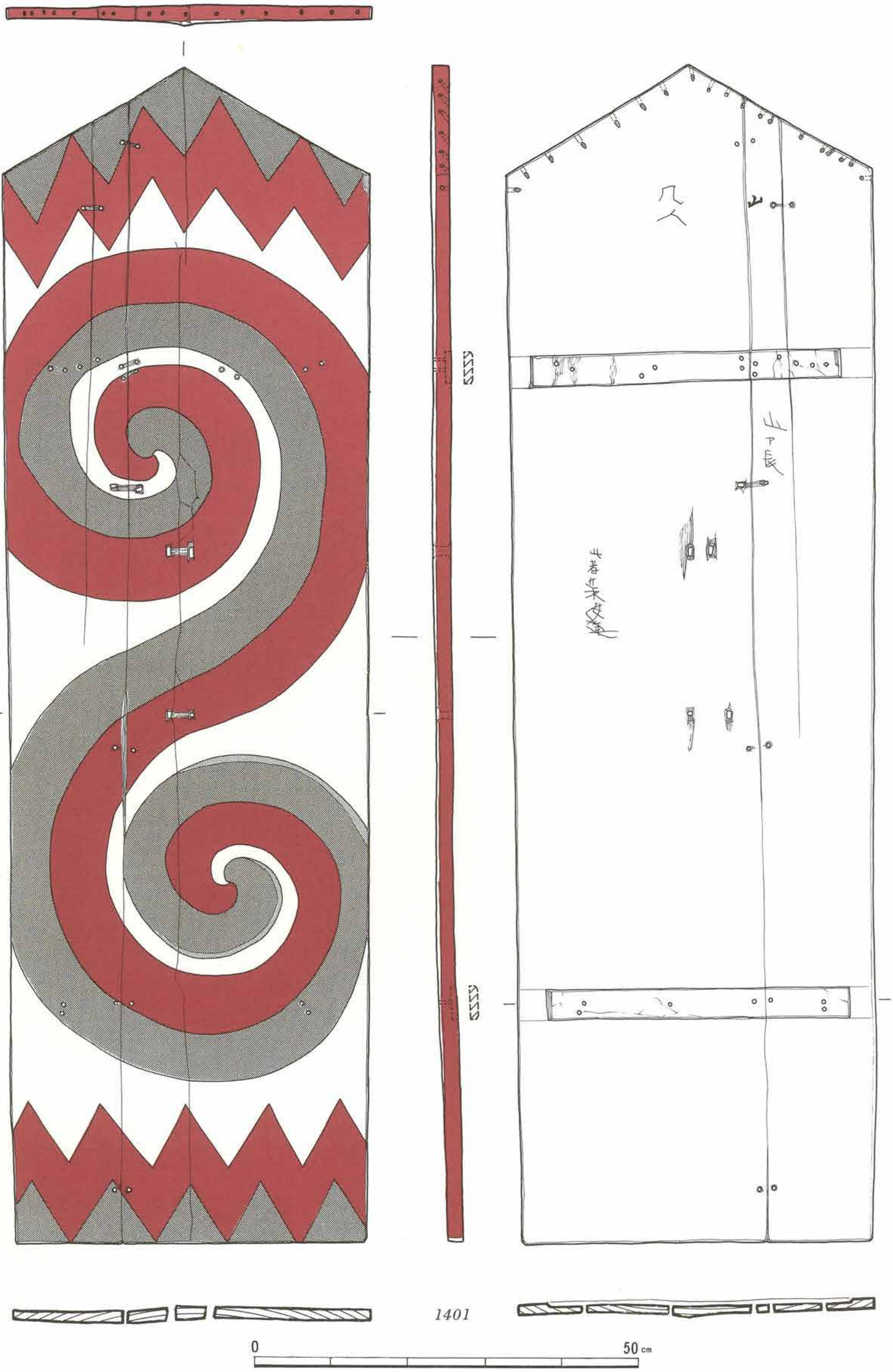


1209

1201；兵庫・吉田南，*1202・1206・1209*；平城宮，*1203～1205・1207*；平城京，*1208*；藤原宮



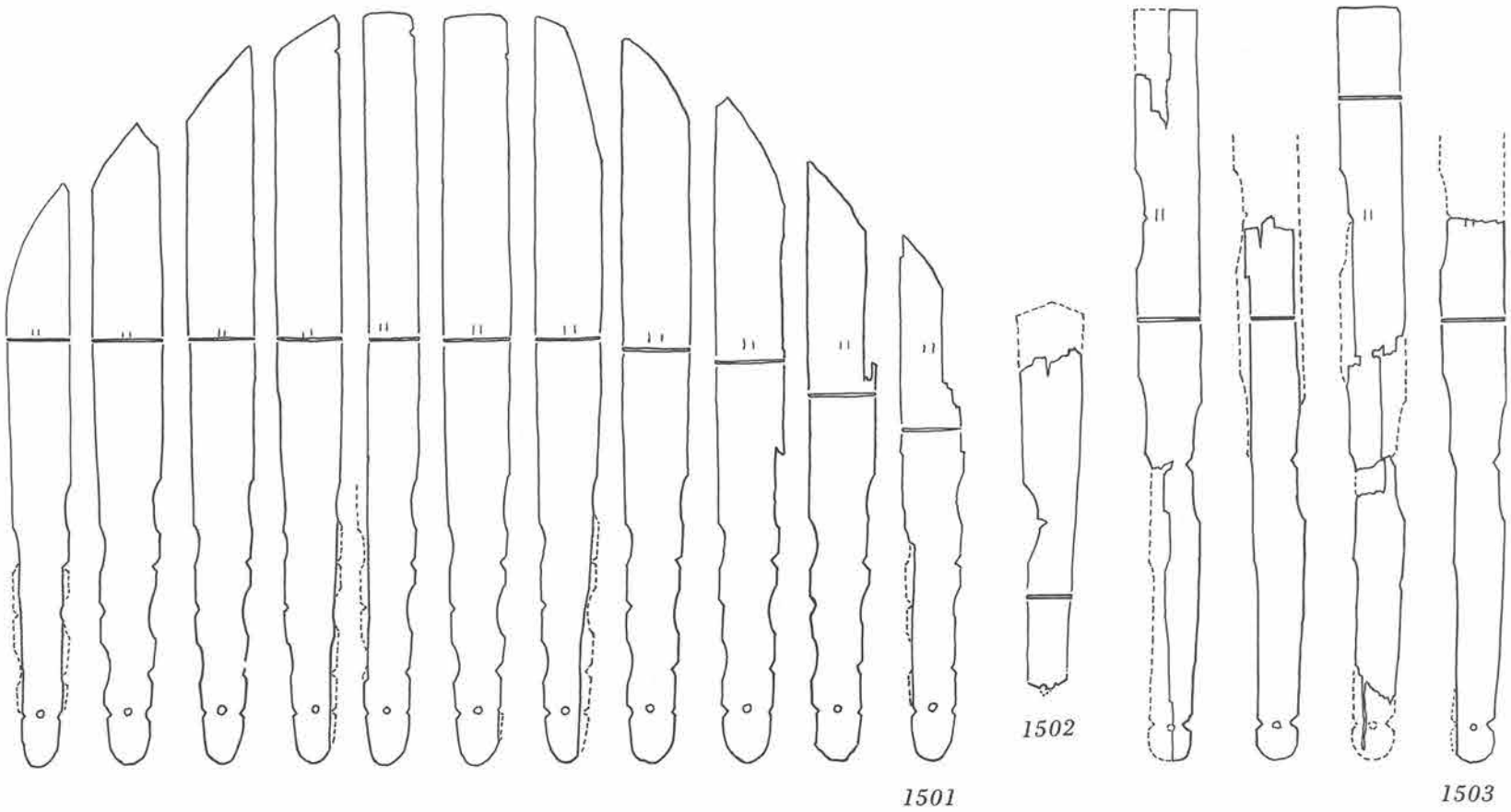
1301・1310；滋賀・久野部，*1302・1307・1308・1313・1315*；平城京，*1303・1304・1306*；滋賀・湖西線ＶＤ，*1305*；兵庫・上原田，*1309・1311・1314・1317*；平城宮，*1312*；藤原宮，*1316*；長岡京



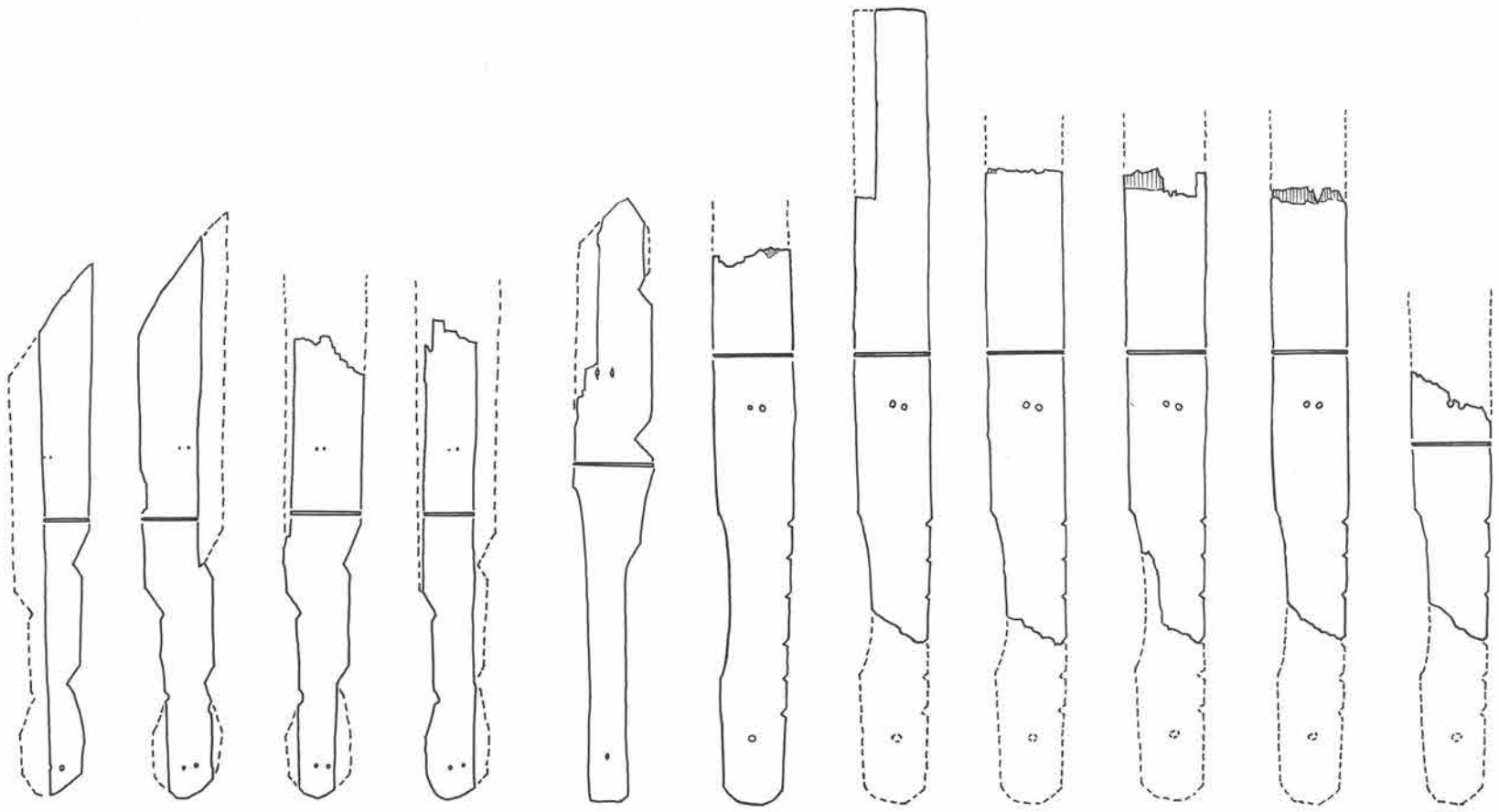
1401

0　50 cm

1401；平城宮



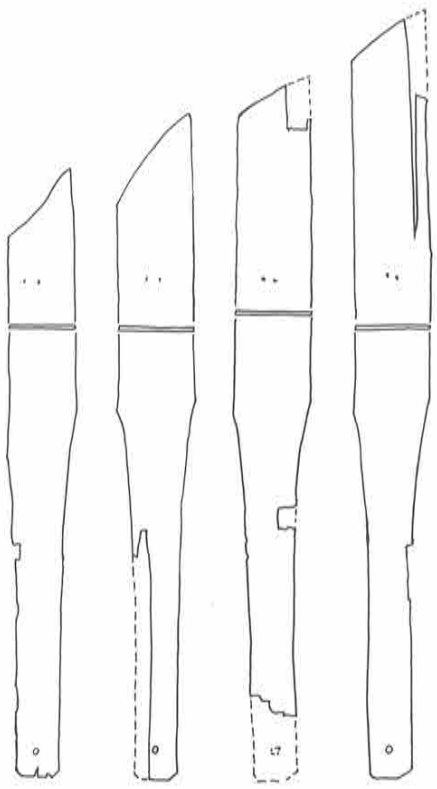
1501　1502　1503



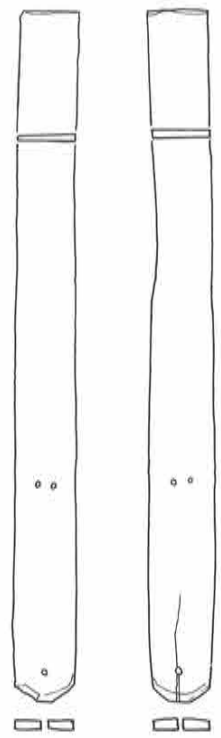
1504　1505　1506

0　10　20　30 cm

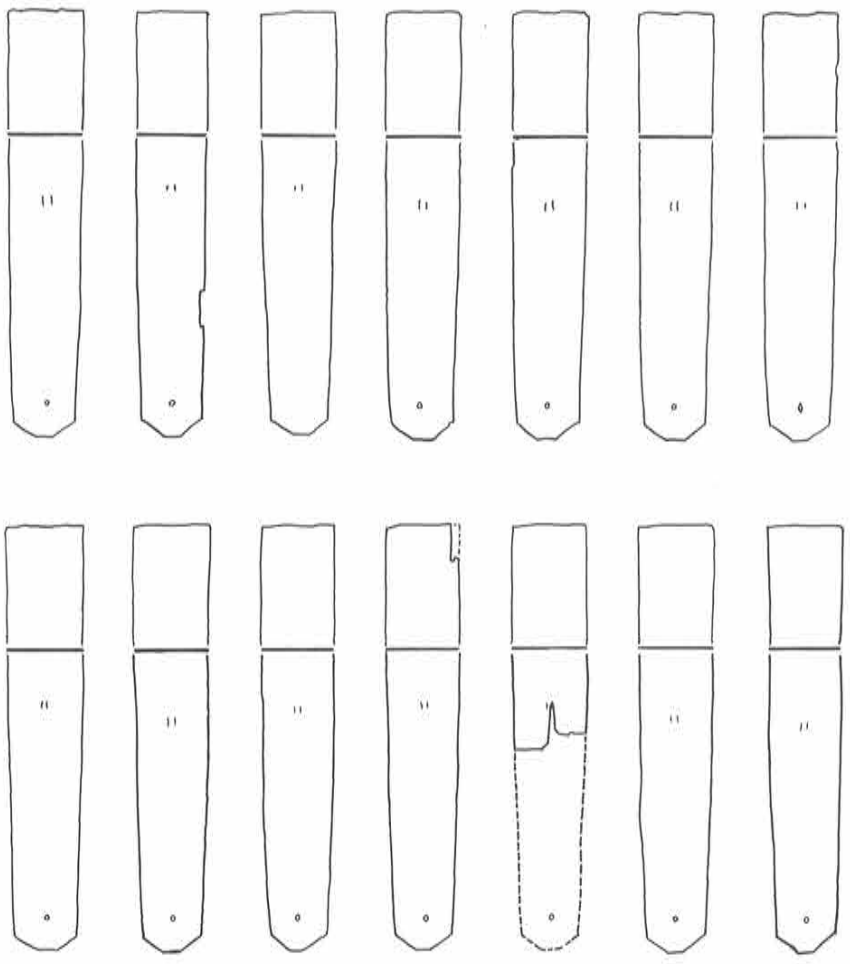
1501～1506；平城宮

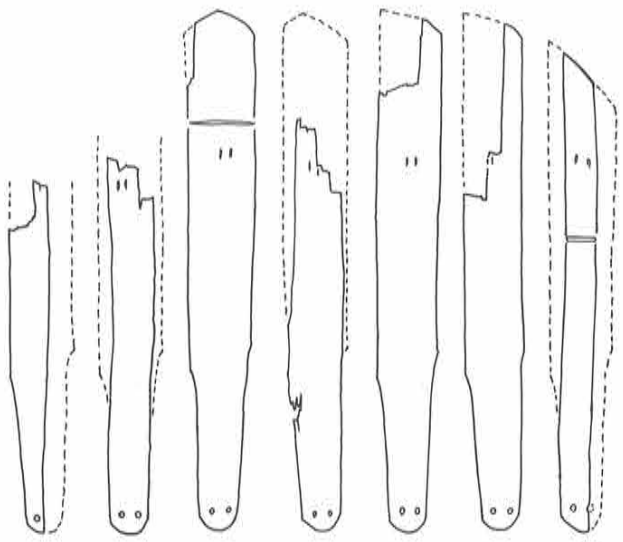


1601

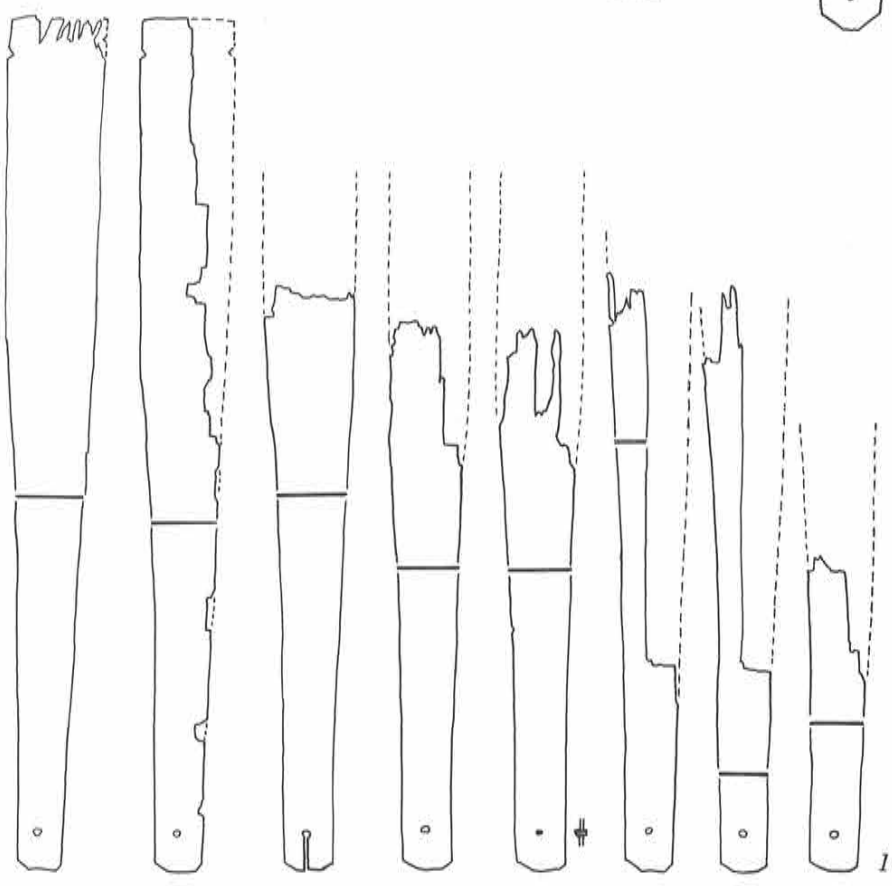


1605

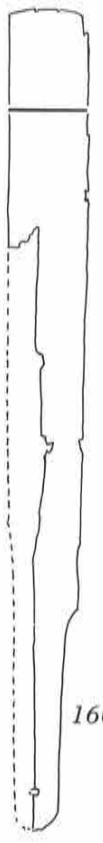




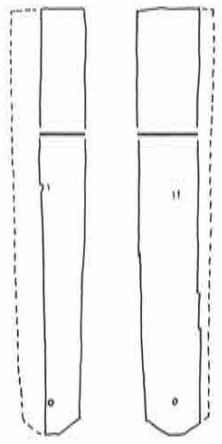
1602



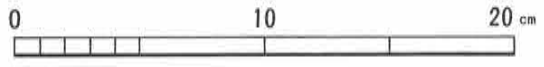
1603



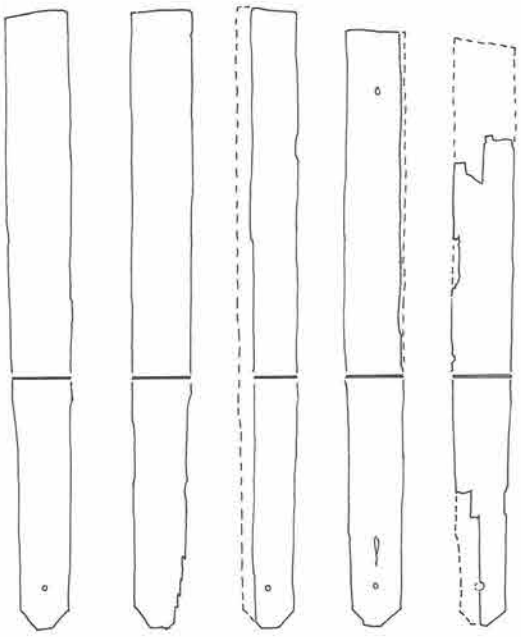
1604



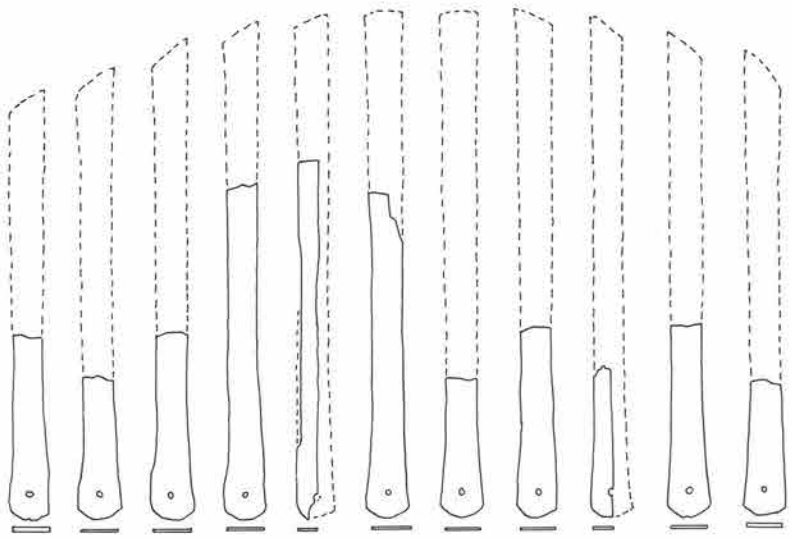
1605



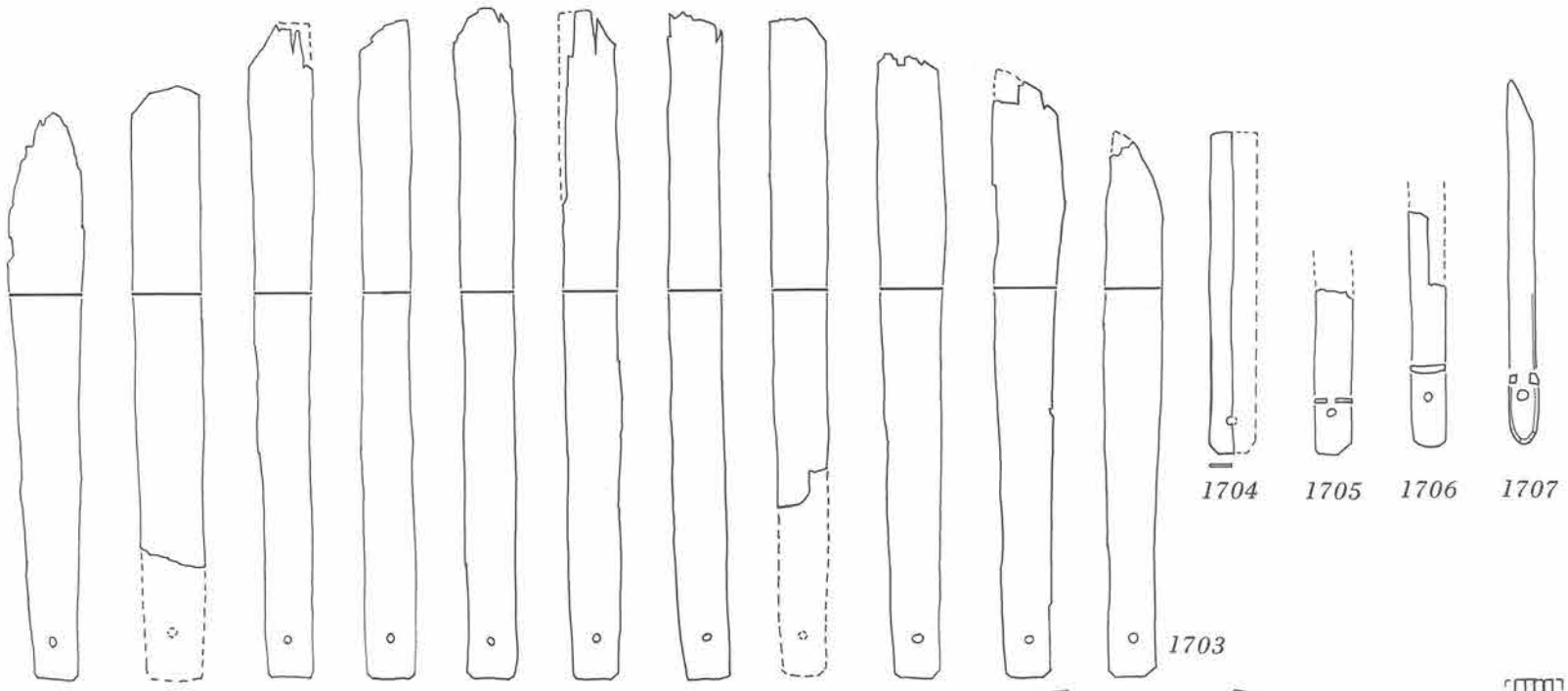
1601～1605；平城宮



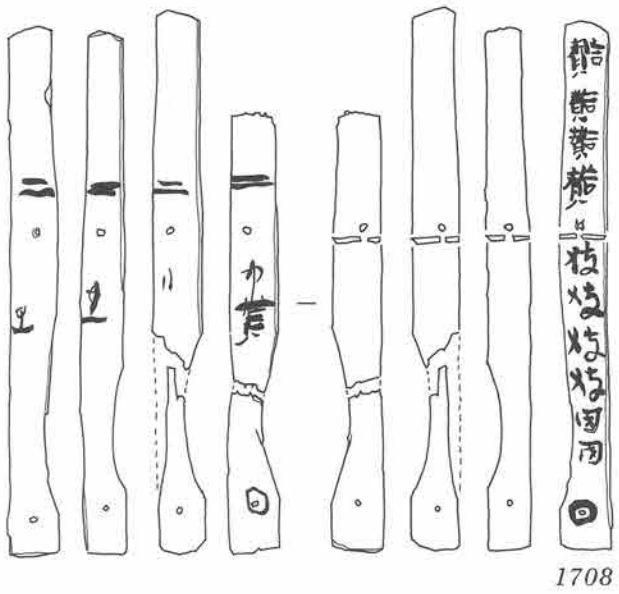
1701



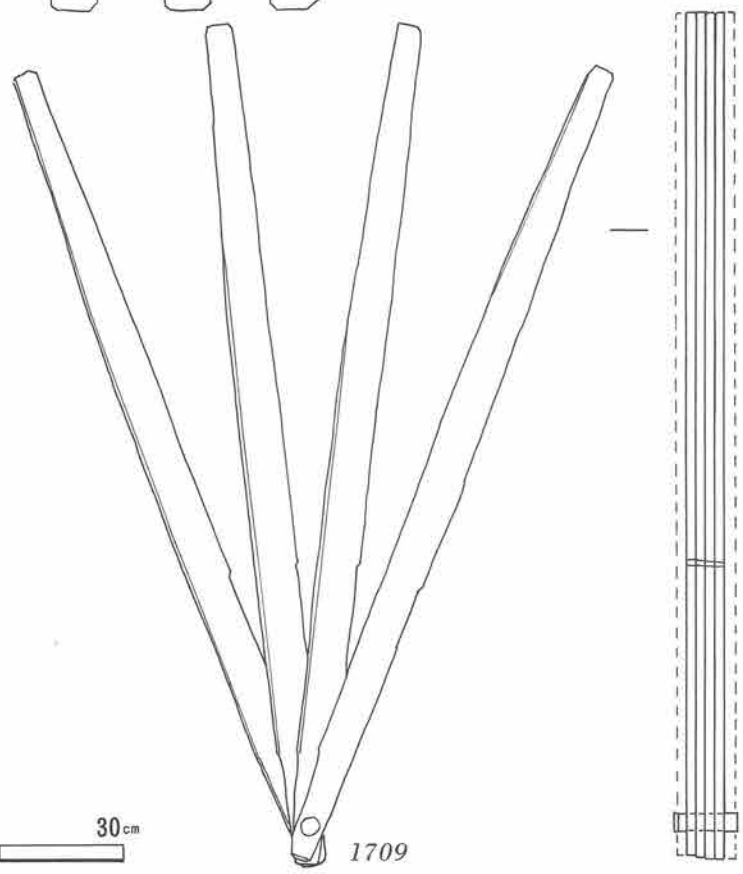
1702



1703 1704 1705 1706 1707



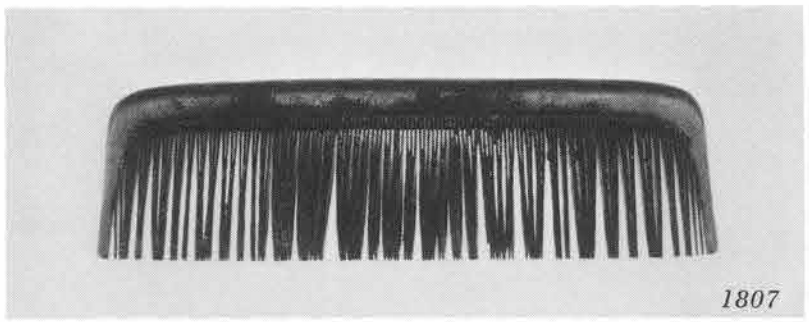
1708

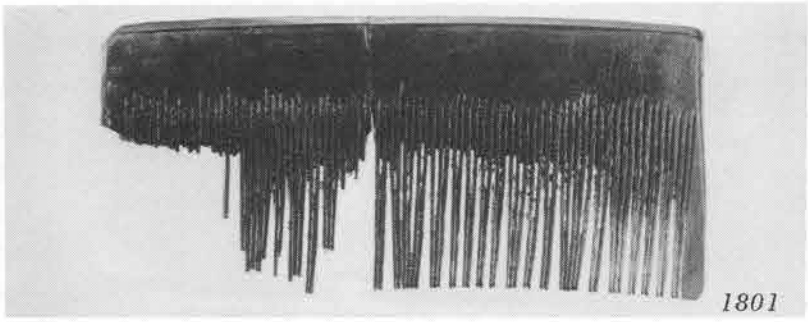


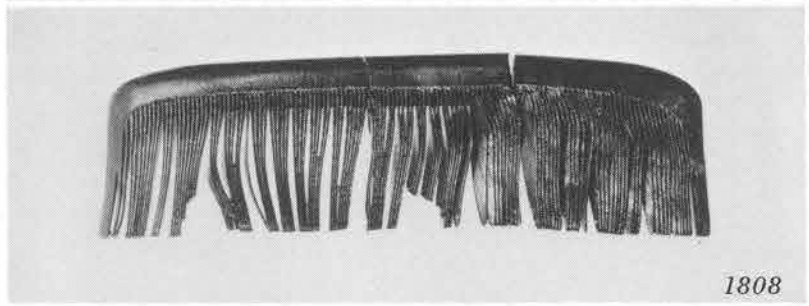
1709

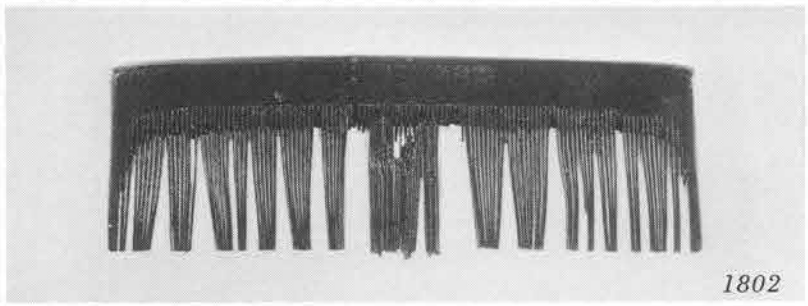
0 10 20 30cm

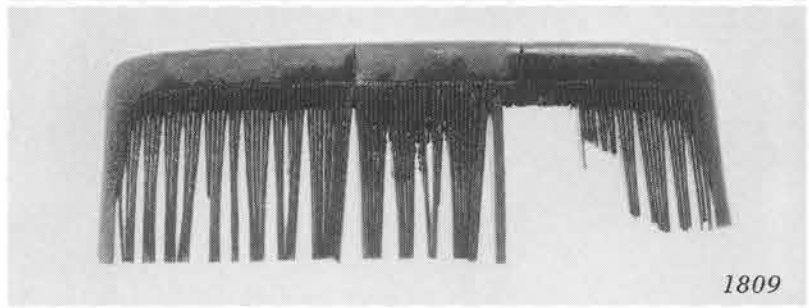
1701；平城京，*1702・1704*；平安京・西市，*1703*；滋賀・十里町，*1705*；奈良・白毫寺，*1706・1707*；平安京，*1708*；平城宮，*1709*；京都・鳥羽離宮

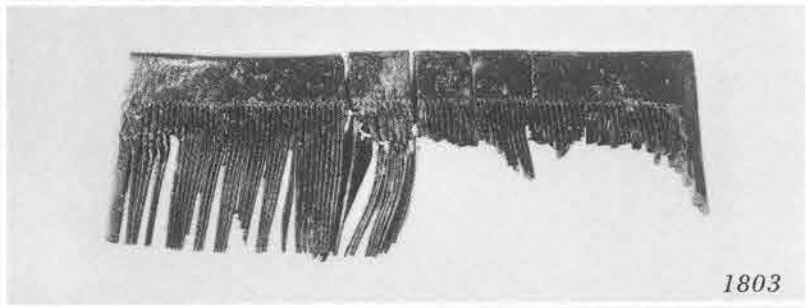

1807

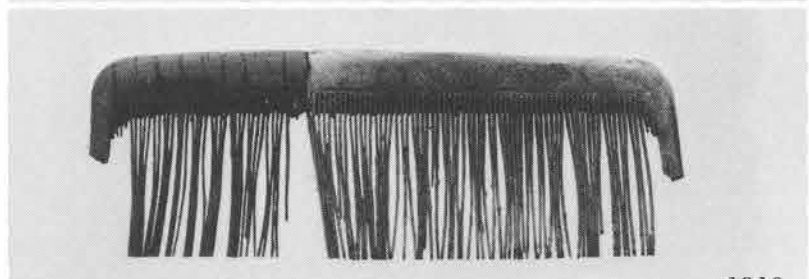

1801

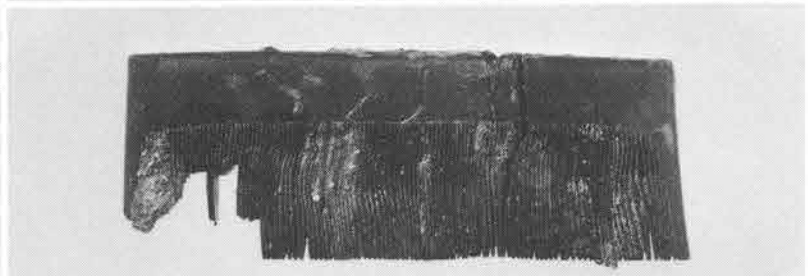

1808

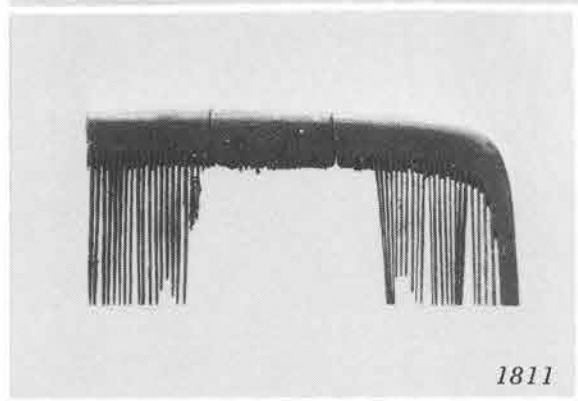

1802

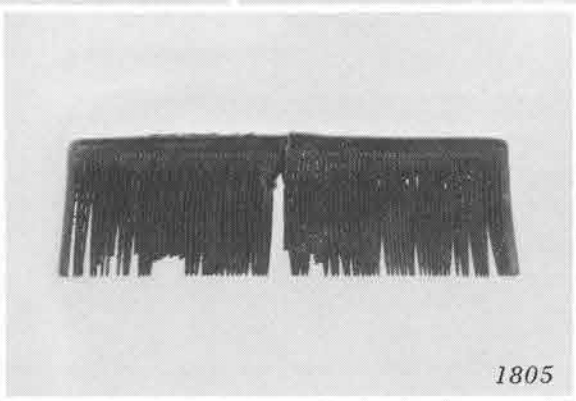

1809

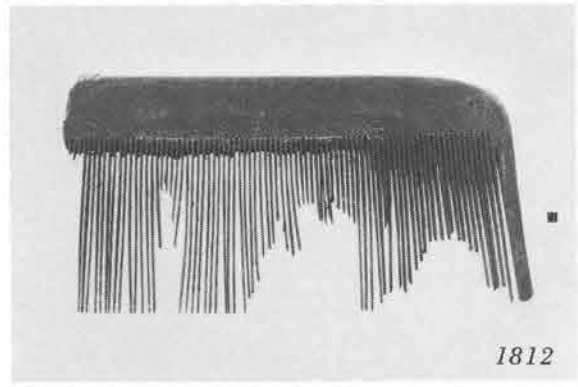

1803

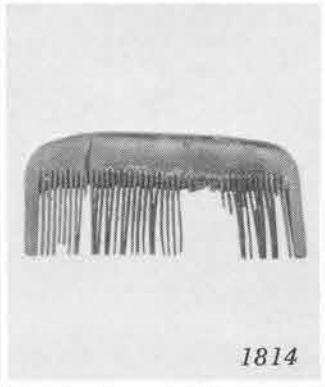

1810

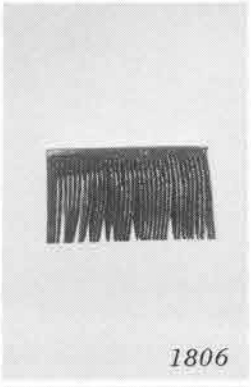

1804

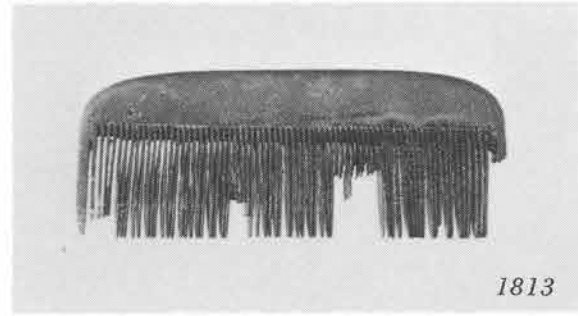

1811

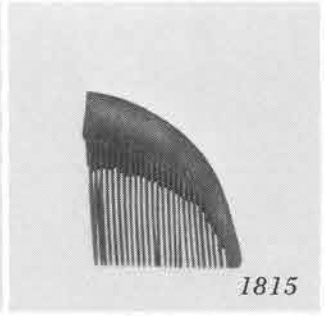

1805


1812


1814


1806


1813

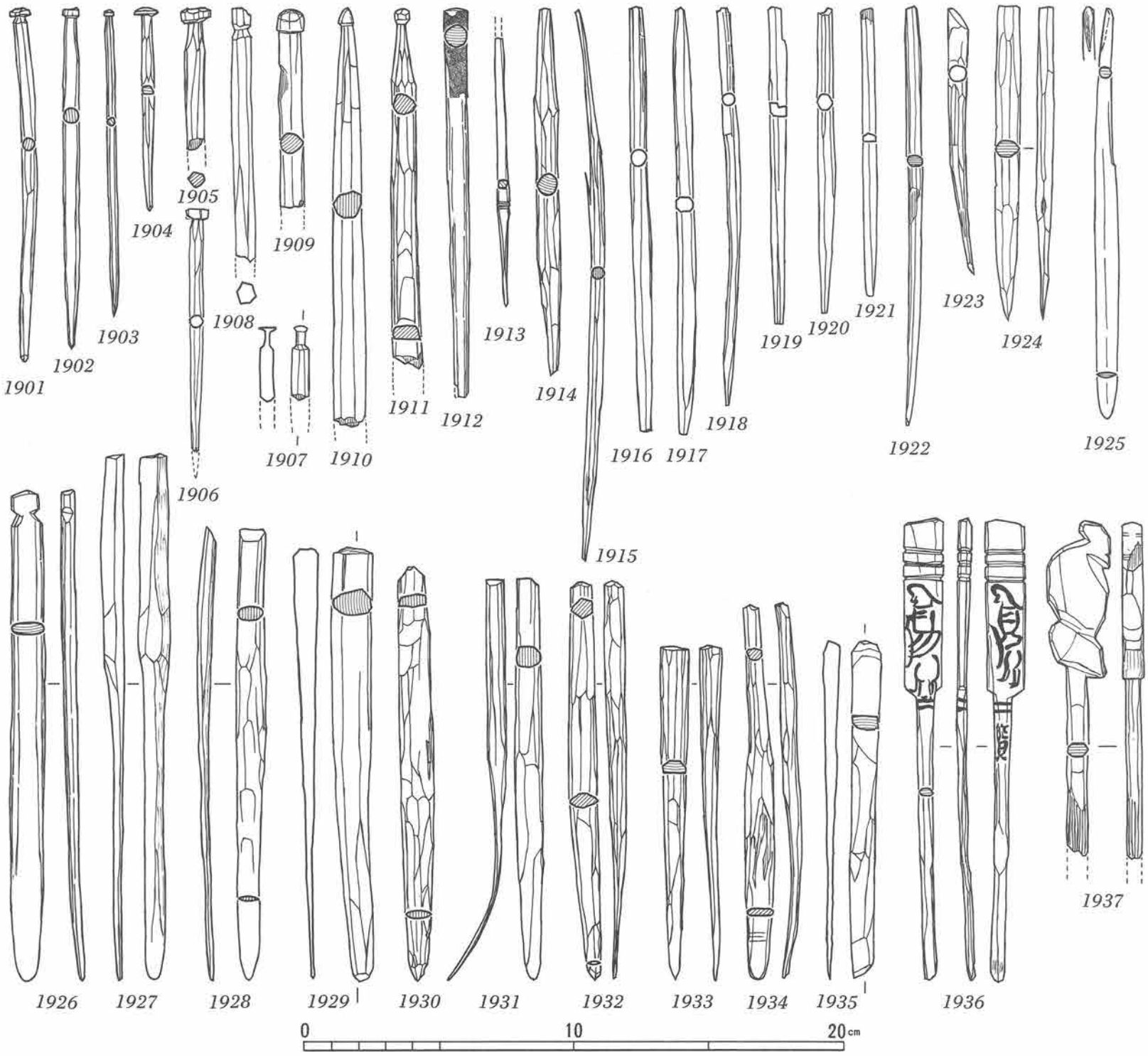

1815

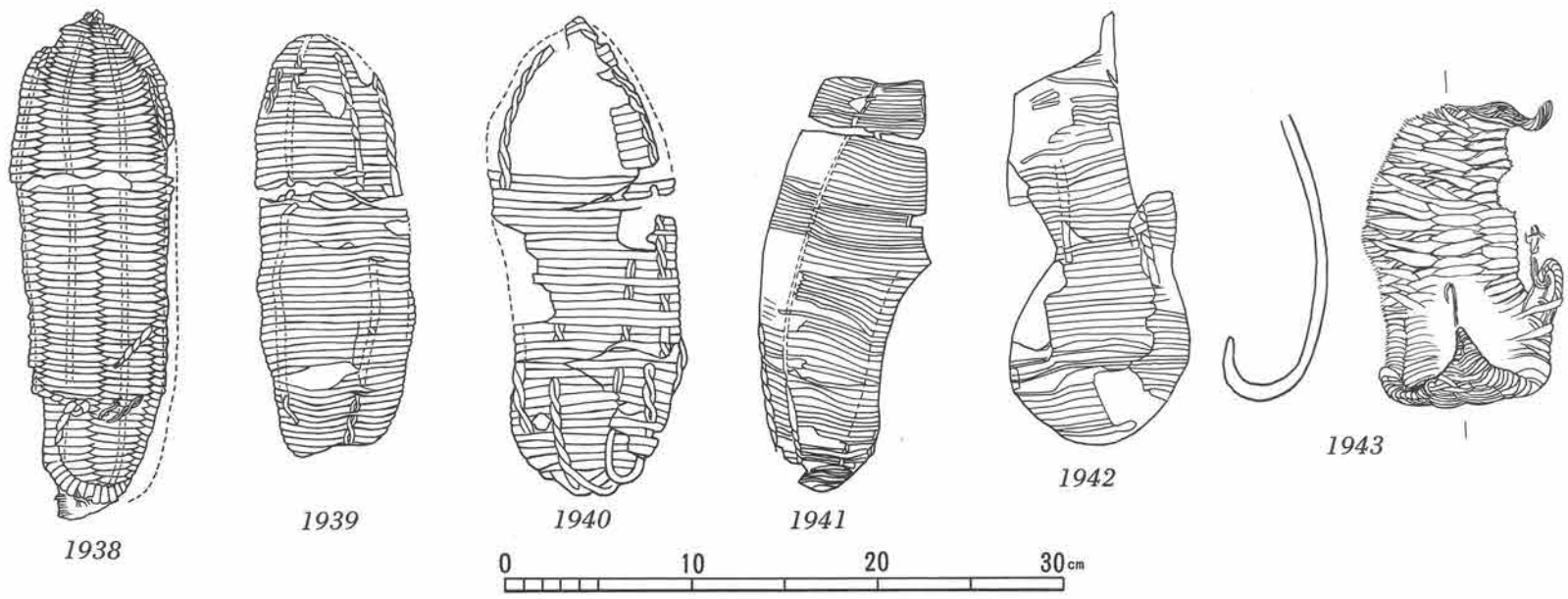
1816

1817

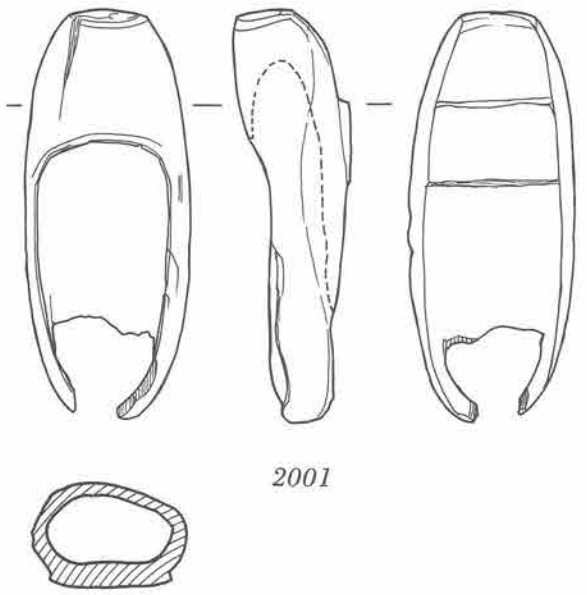
2 : 3

1801；藤原宮，*1802*・*1803*・*1806*・*1808*・*1809*・*1813*～*1817*；平城宮，*1804*；平安京・西寺，*1805*・*1810*；平安京・西市，*1807*；平城京，*1811*・*1812*；長岡宮

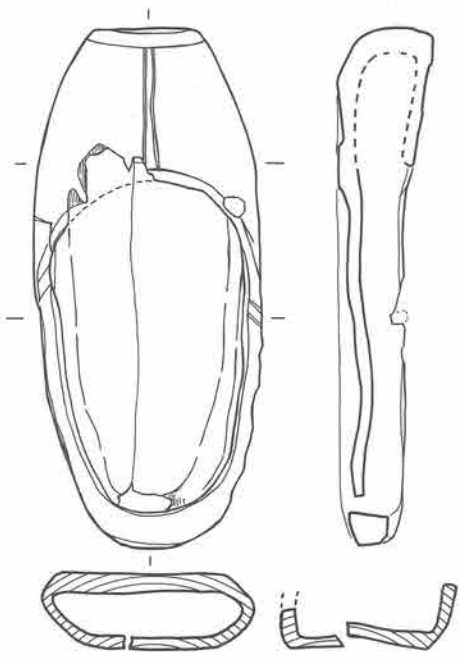




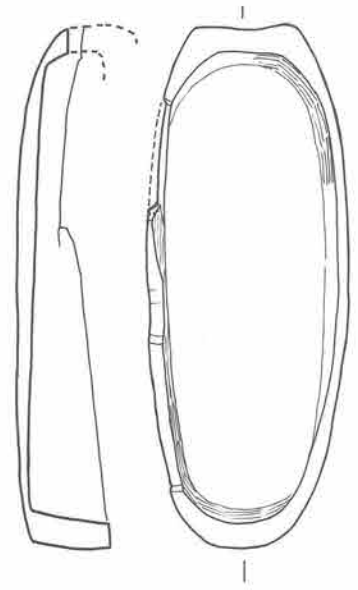
1901・*1905*・*1906*・*1911*・*1926*・*1931*；平城京，*1902*～*1904*・*1910*・*1912*～*1914*・*1923*～*1925*・*1927*・*1928*・*1930*・*1932*・*1934*・*1936*～*1938*；平城宮，*1907*・*1929*・*1935*・*1939*～*1942*；長岡京，*1908*；平安京・西市，*1909*；兵庫・八反長，*1915*・*1922*；平安京，*1916*～*1921*；滋賀・湖西線，*1933*；藤原宮，*1943*；奈良・山田寺



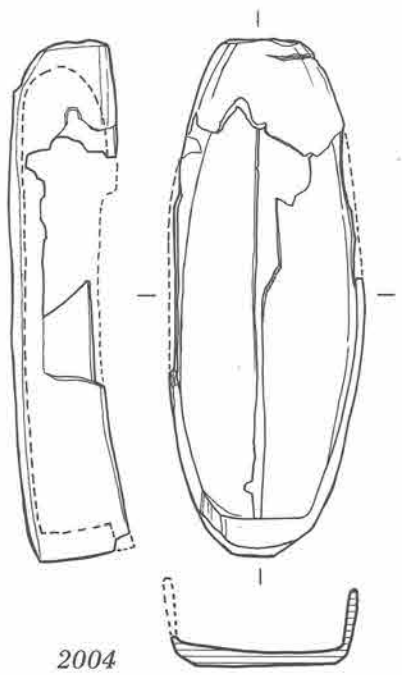
2001



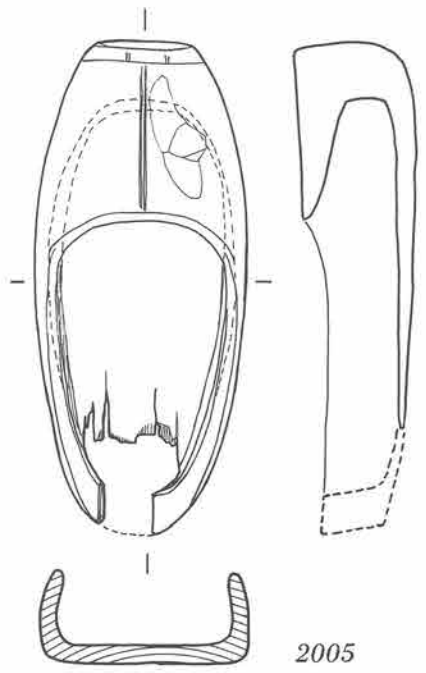
2002



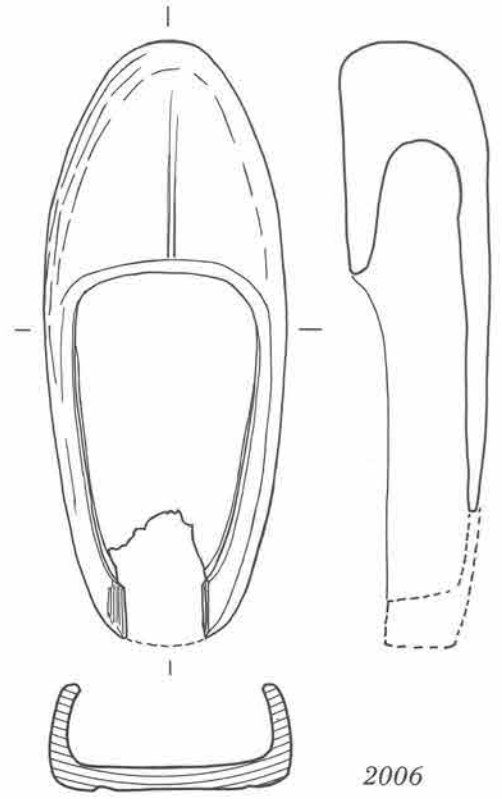
2003



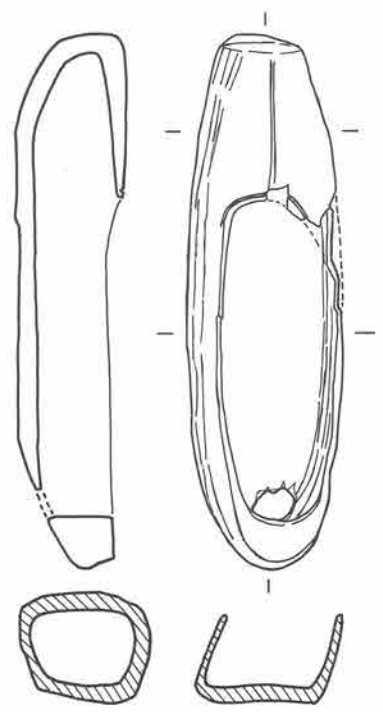
2004



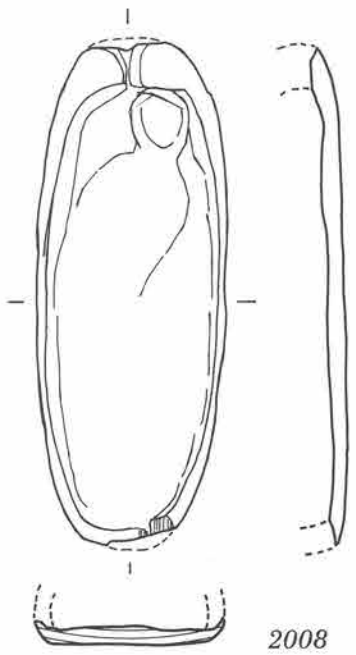
2005



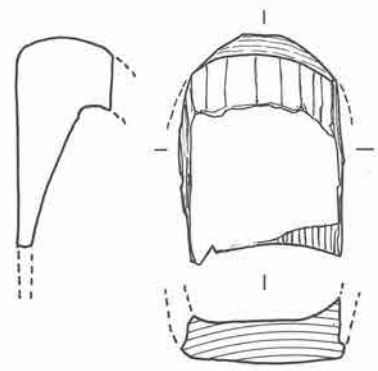
2006



2007

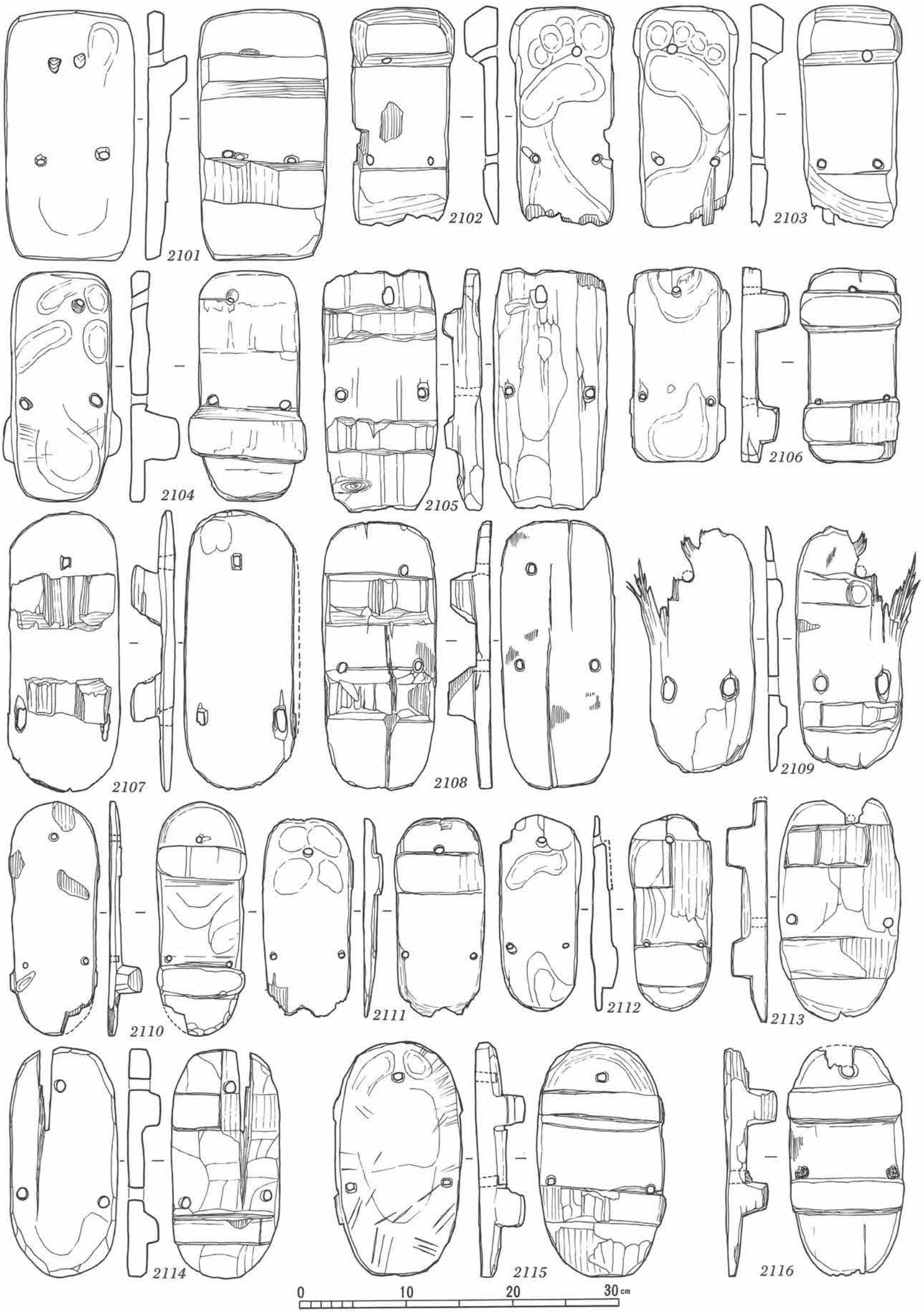


2008

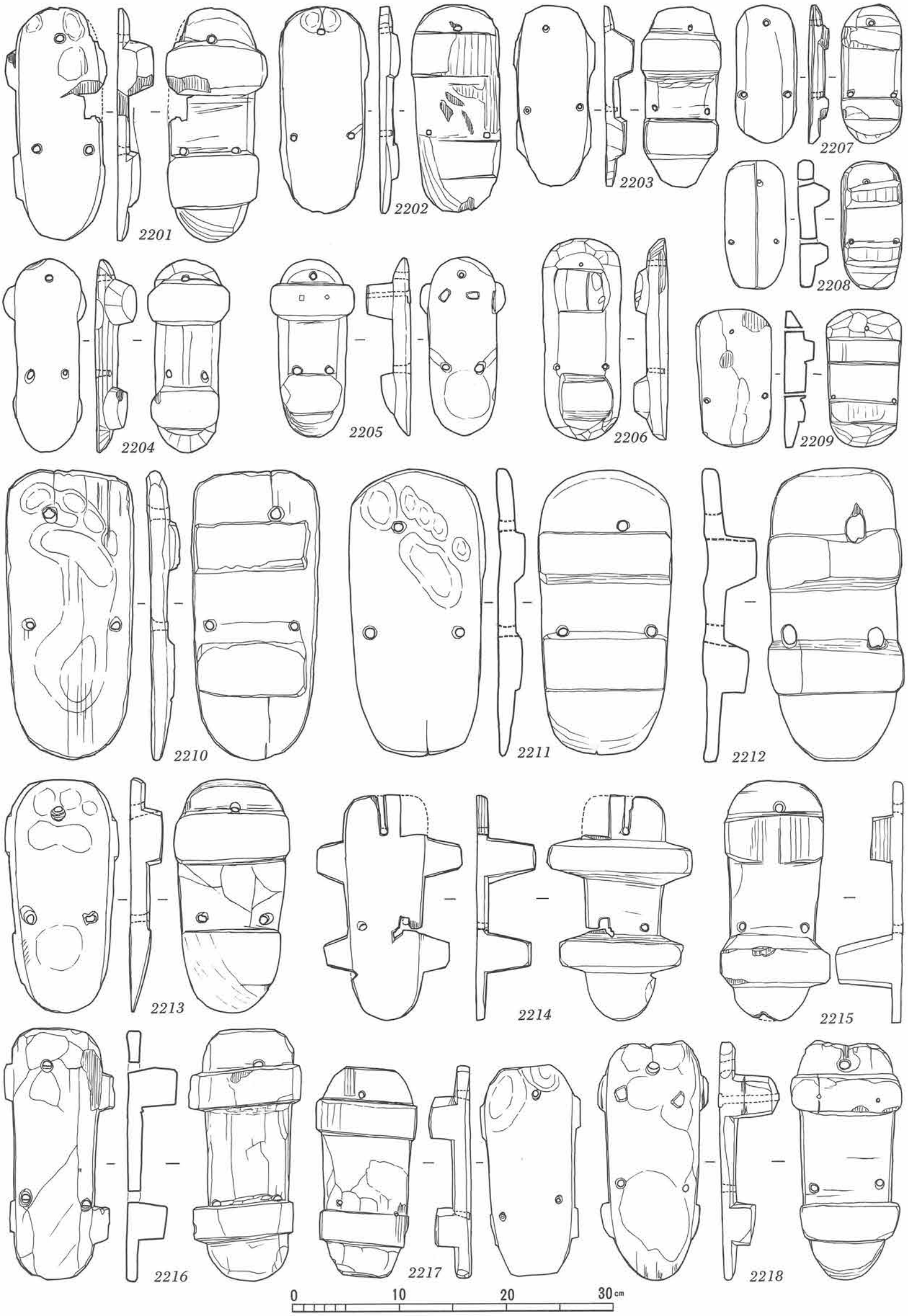


2009

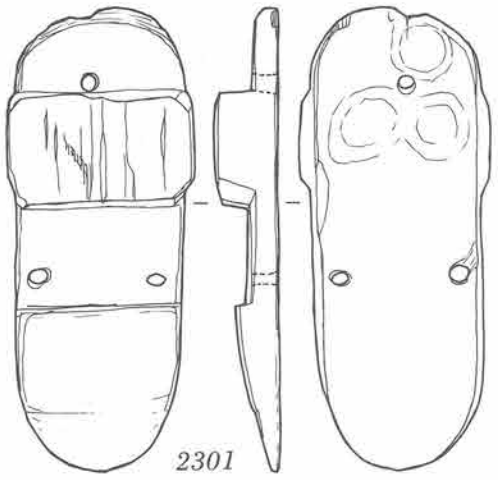
2001；平城京，*2002*；長岡京，*2003*；京都・大藪，*2004*；大阪・大蔵司，*2005・2006*；滋賀・鴨，*2007*；滋賀・矢倉口，*2008*；滋賀・野畑，*2009*；滋賀・伊井永田

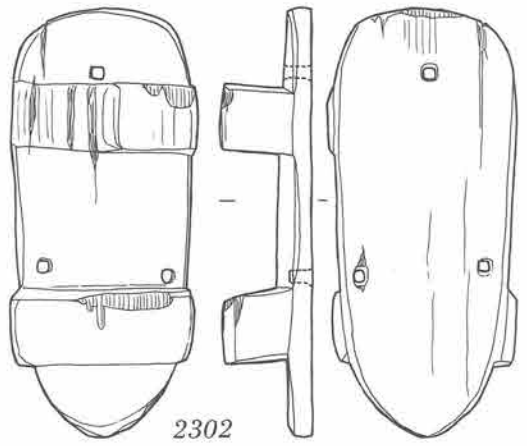


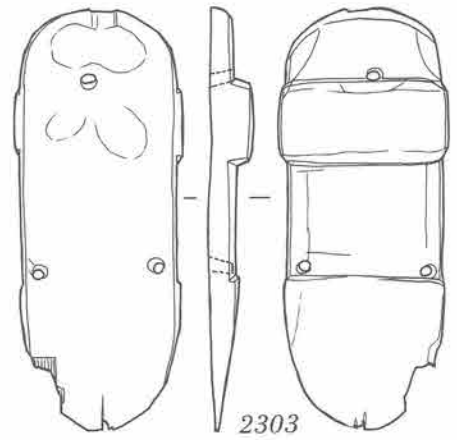
2101；滋賀・光相寺，*2102*・*2103*・*2114*；長岡京，*2104*；滋賀・鴨，*2105*；大阪・大蔵司，*2106*・*2111*；平城宮，*2107*；大阪・亀井；*2108*；奈良・川原寺，*2109*・*2110*；奈良・白毫寺，*2112*；兵庫・出合，*2113*；奈良・飛鳥京，*2115*；和歌山・野田地区，*2116*；京都・下畑

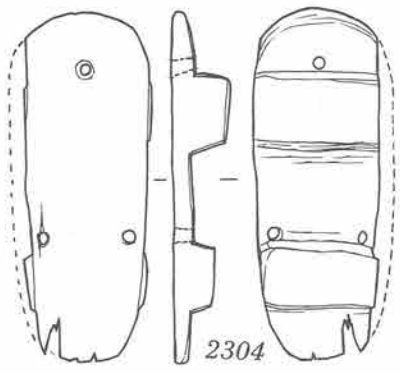


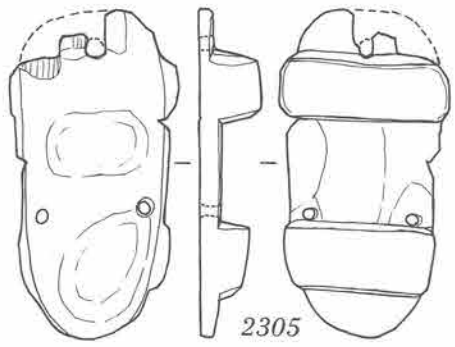
2201・2217・2218；平城宮，*2202・2204～2206*；平安京・西市，*2203・2207・2213～2216*；平城京，*2208*；滋賀・鴨，*2209*；長岡京，*2210*；兵庫・吉田南，*2211・2212*；京都・中久世

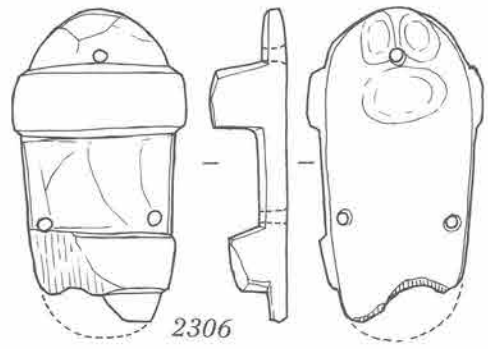

2301

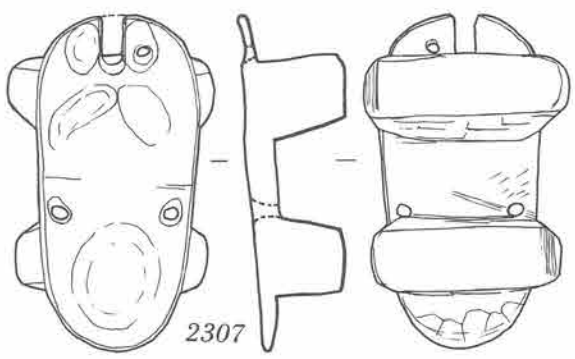

2302

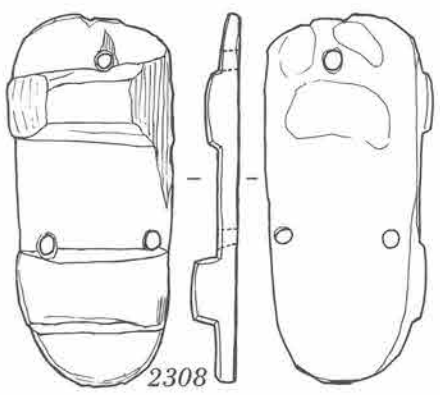

2303

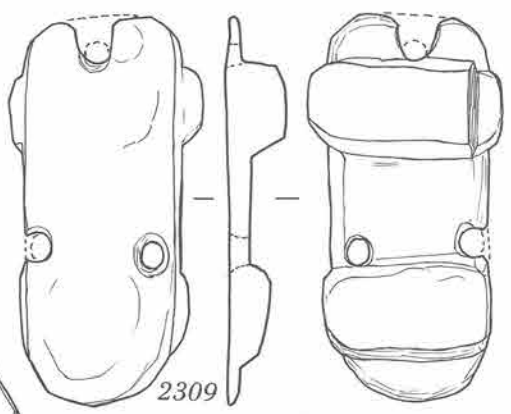

2304

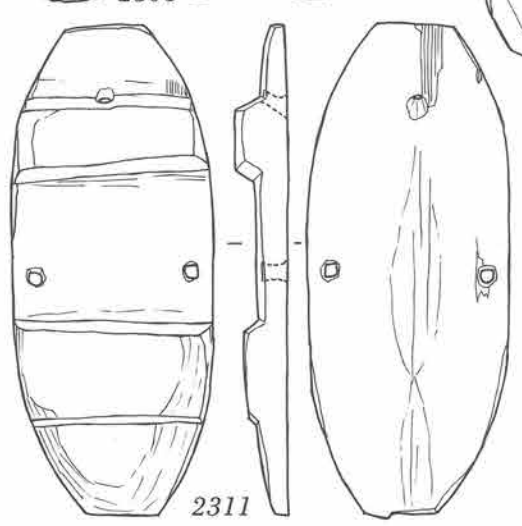

2305

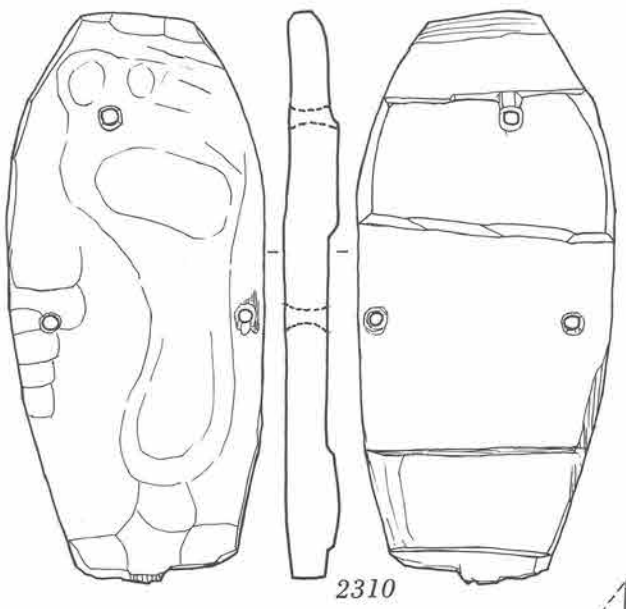

2306


2307

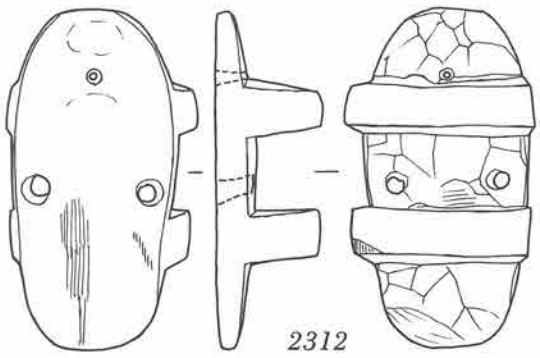

2308

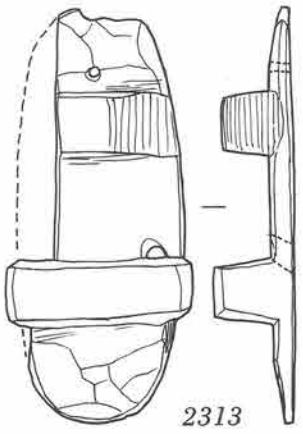

2309

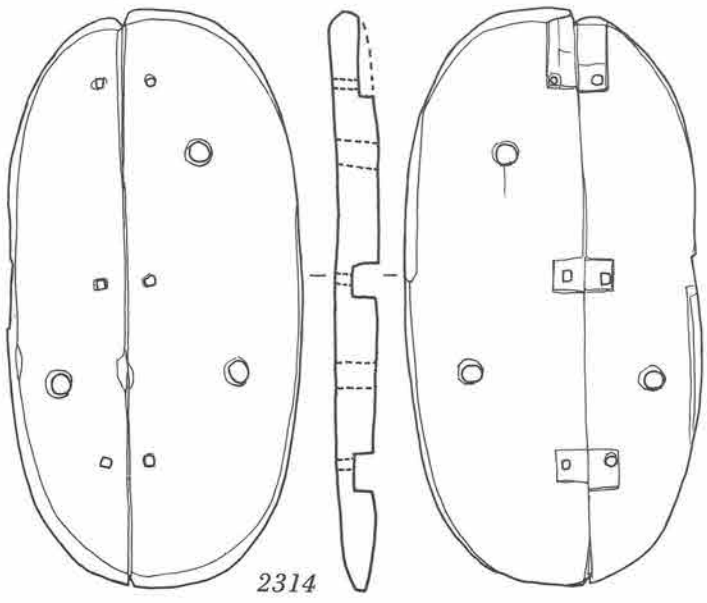

2311


2310

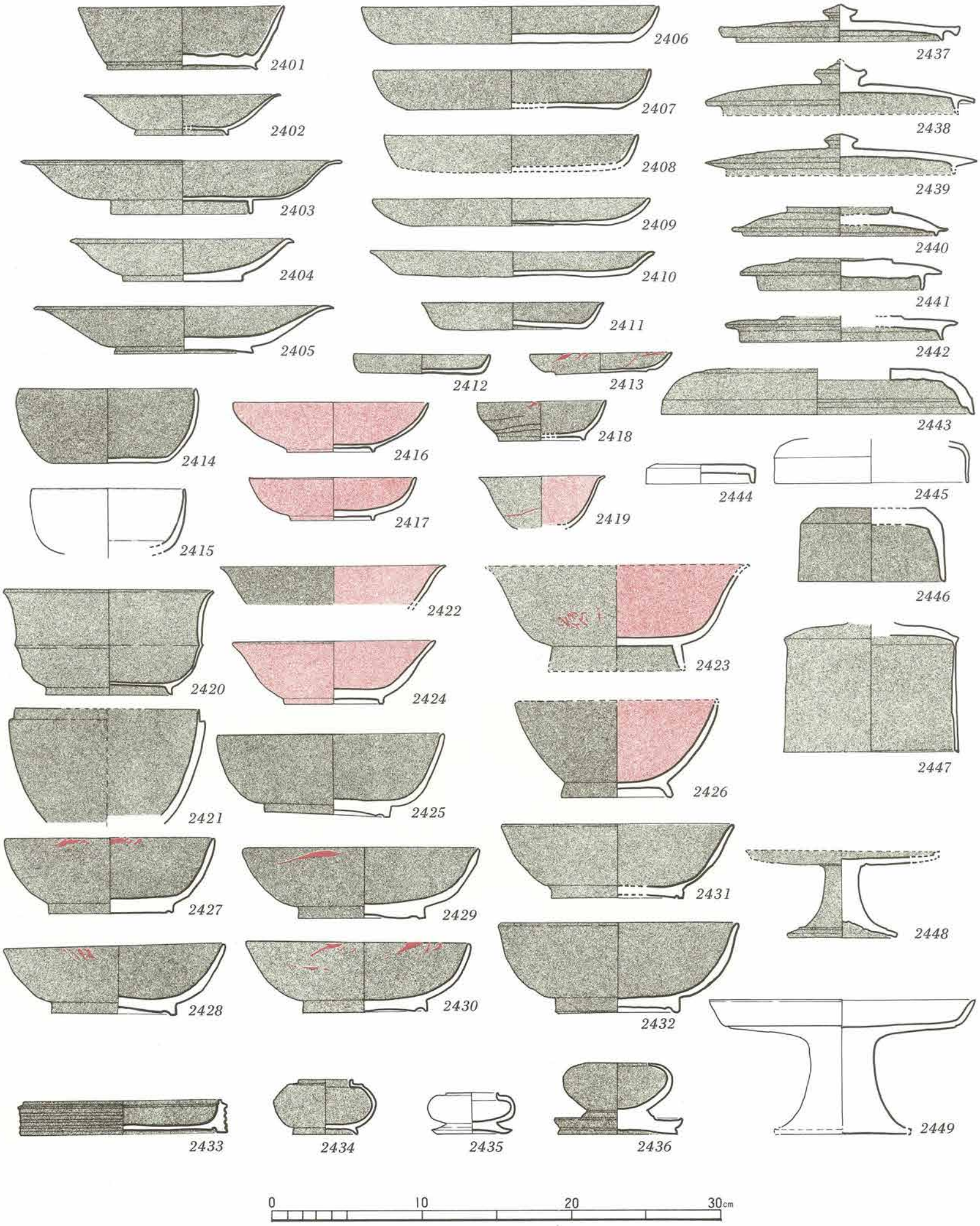
0　10　20 cm


2312

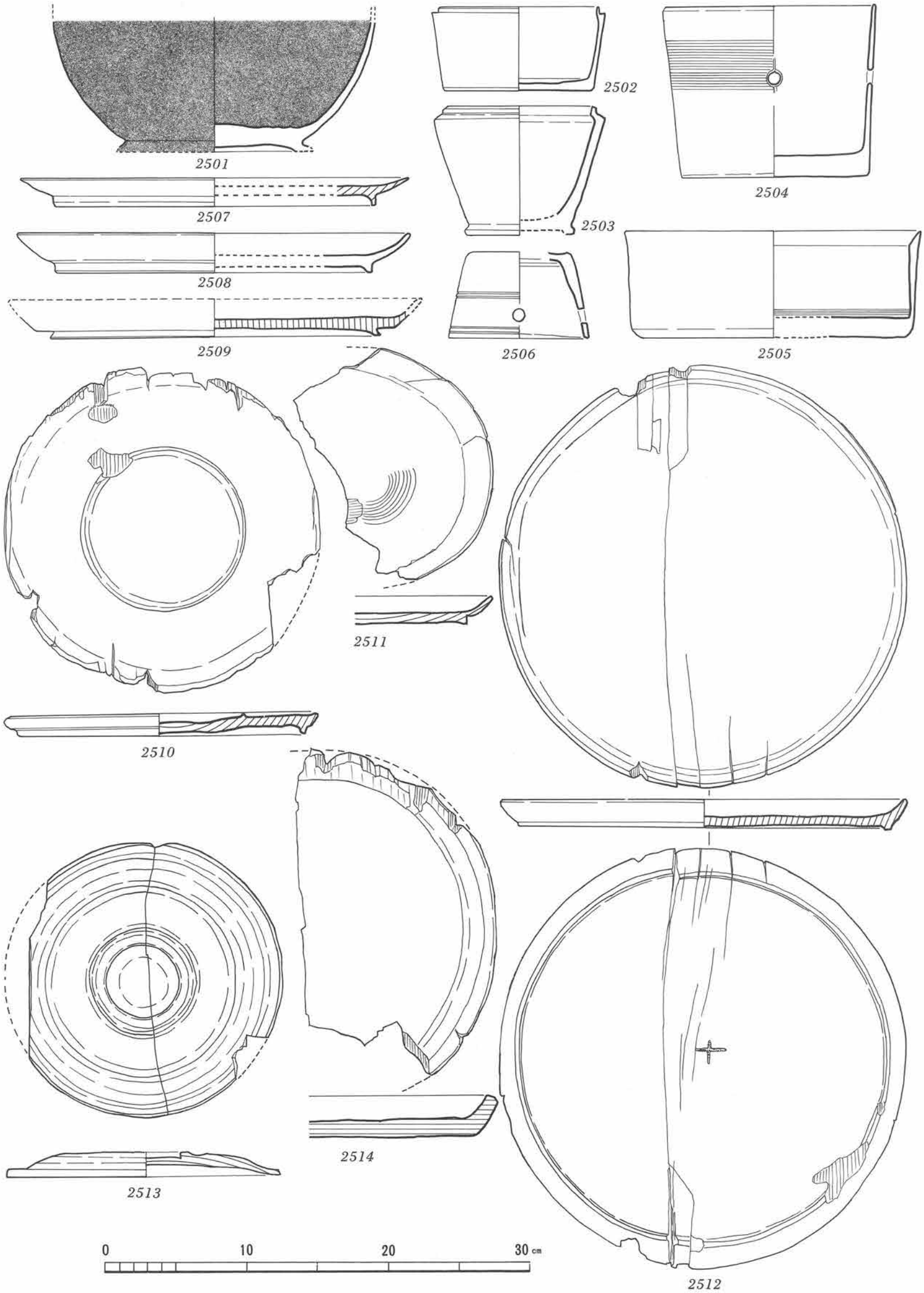

2313


2314

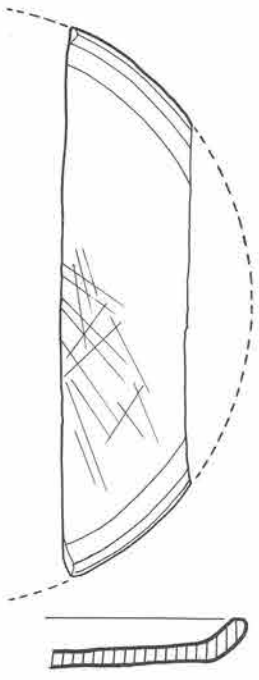
2301～2303・2311；平城京，*2304*；奈良・橿原，*2305・2306*；平安京・西市，*2307・2309*；滋賀・鴨，*2308*；和歌山・野田地区，*2310*；滋賀・光相寺，*2312*；京都・古殿，*2313*；京都・鳥羽離宮，*2314*；滋賀・湖西線ＶＤ



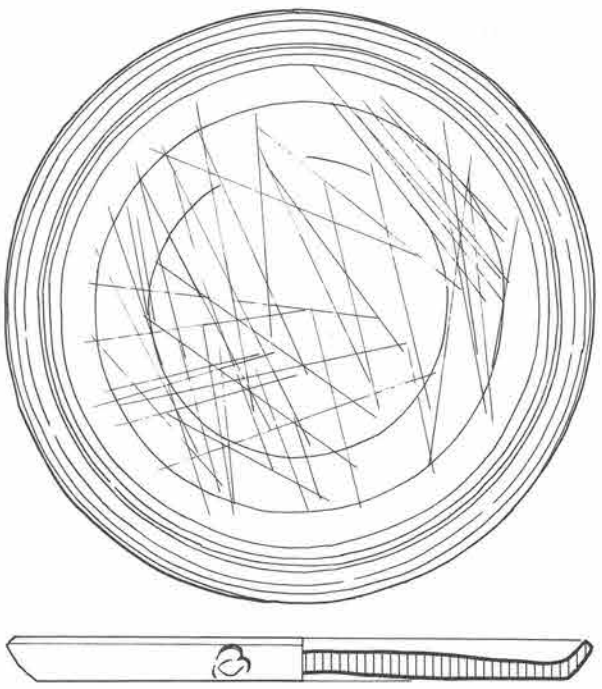
2401～*2404*・*2406*・*2409*・*2410*・*2419*・*2423*・*2434*・*2436*・*2437*・*2440*・*2442*～*2444*・*2447*・*2449*；平城京，*2405*・*2422*・*2439*；平安京・西市，*2407*・*2408*・*2414*・*2421*・*2438*・*2441*・*2445*・*2448*；平城宮，*2411*；平安京，*2412*；滋賀・湖西線ＩＶＤ，*2413*・*2427*～*2430*；京都・下畑，*2415*・*2446*；長岡宮，*2416*～*2418*・*2424*・*2431*～*2433*；京都・鳥羽離宮，*2420*・*2435*；長岡京，*2425*；京都・古殿，*2426*；滋賀・野畑



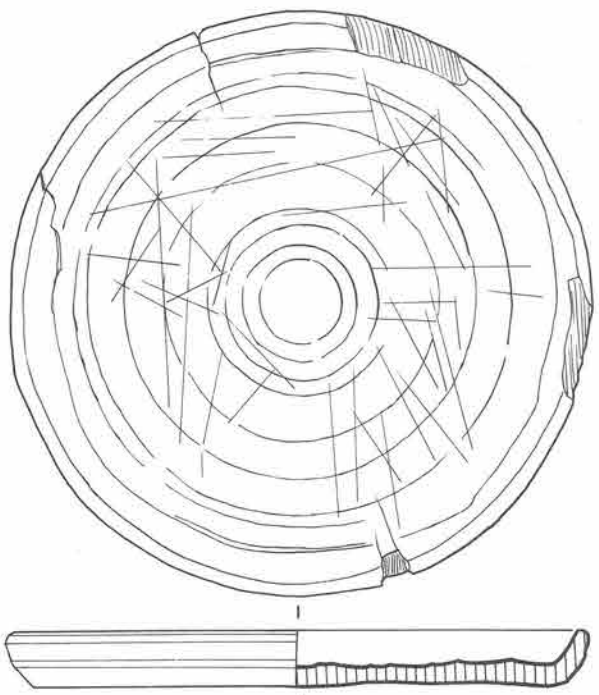
2501・2505・2506・2507・2512；平城京，*2502・2508*；長岡京，*2503・2504・2510・2511・2513・2514*；平城宮，*2509*；奈良・坂田寺

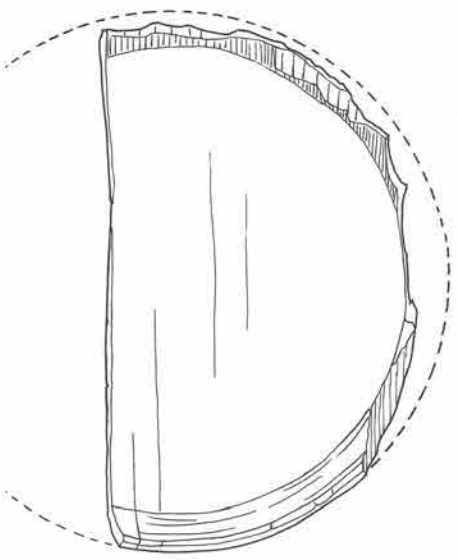


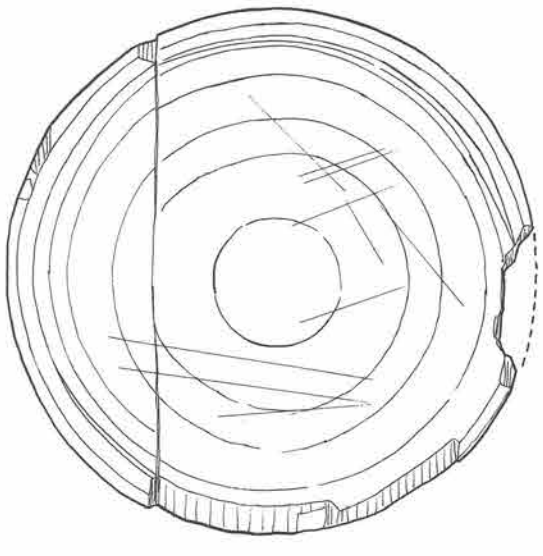
2601

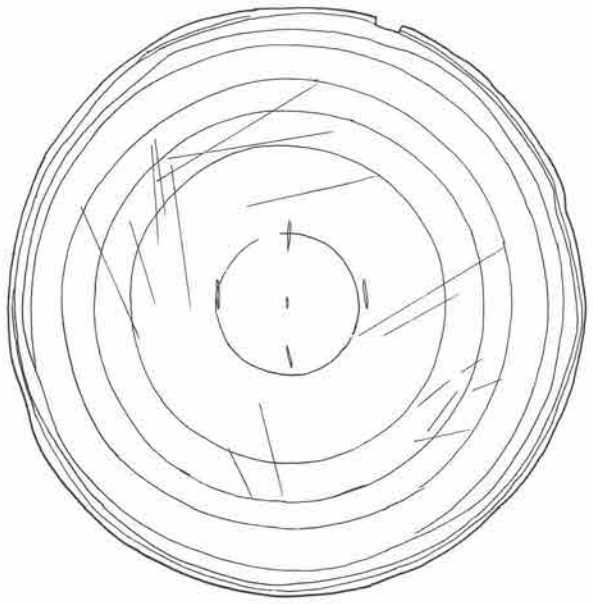


2602

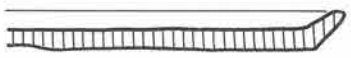




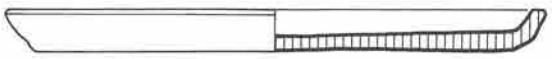




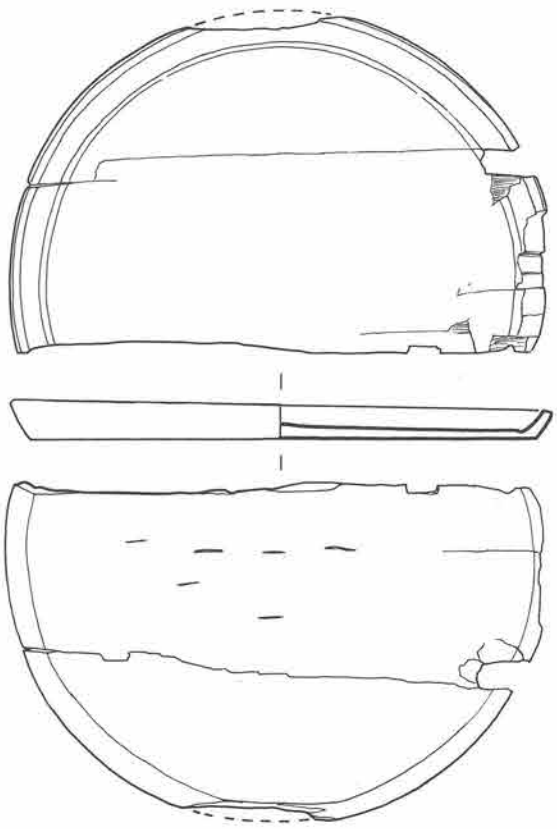
2603



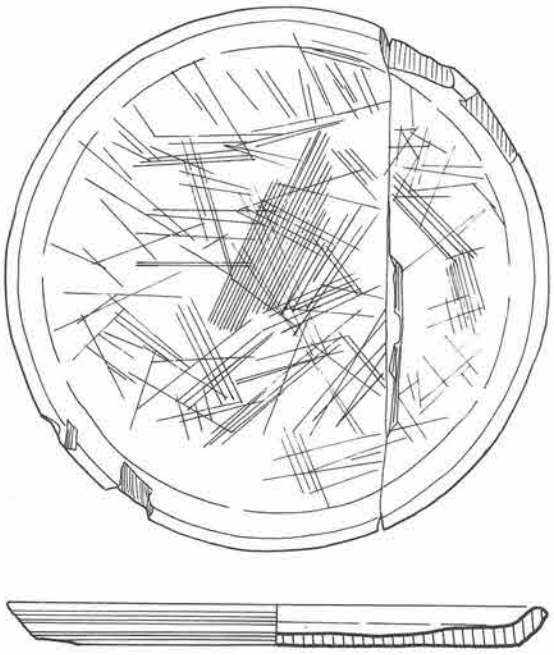
2604



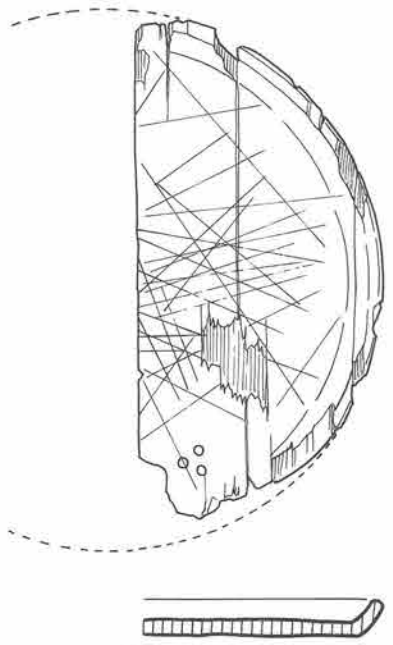
2605



2606



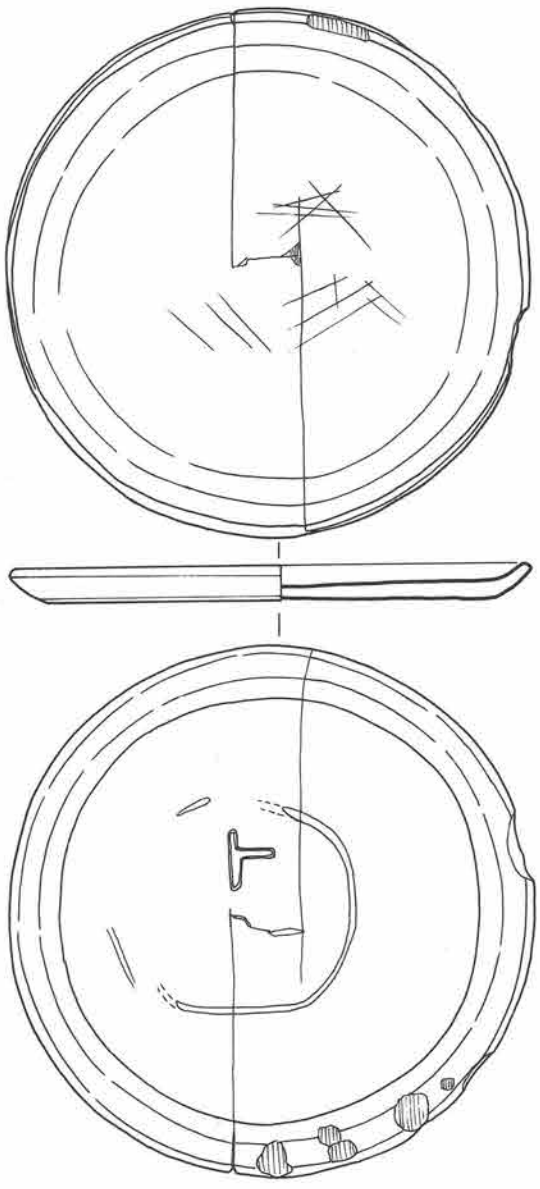
2607



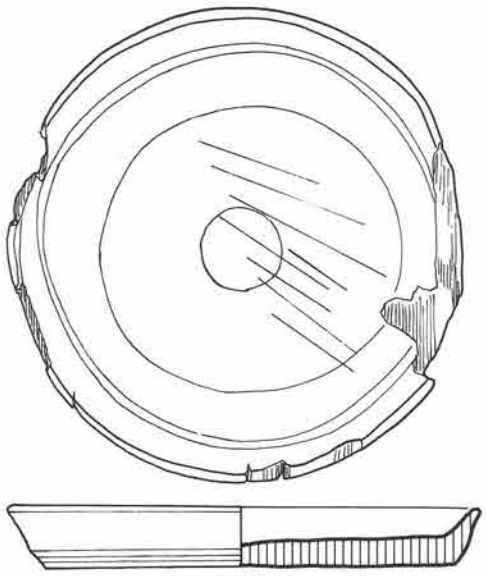
2608

0　10　20　30 cm

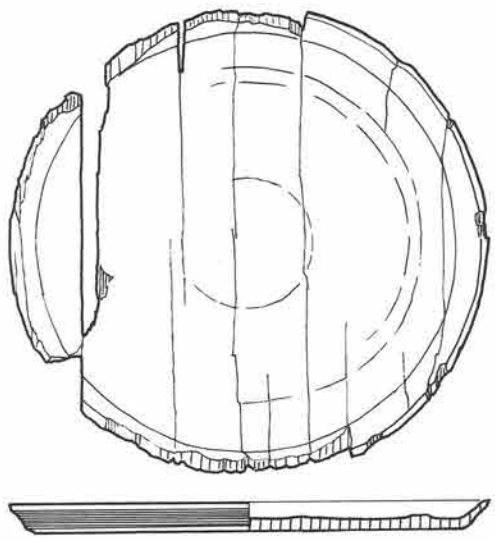
2601・2603・2607・2608；長岡京，　*2602*；平城宮，　*2604*；平城京・西隆寺，　*2605*；平城京，　*2606*；大阪・大蔵司



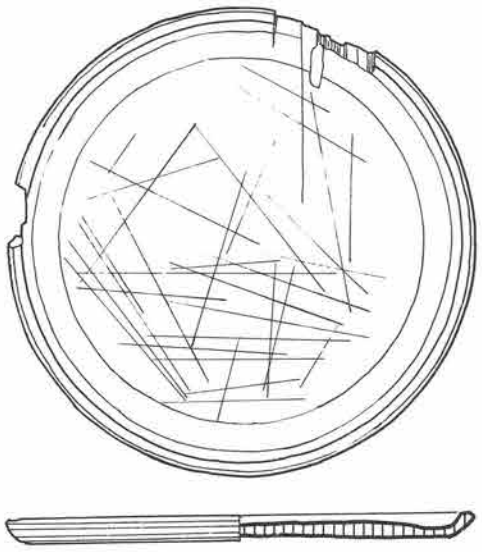
2701



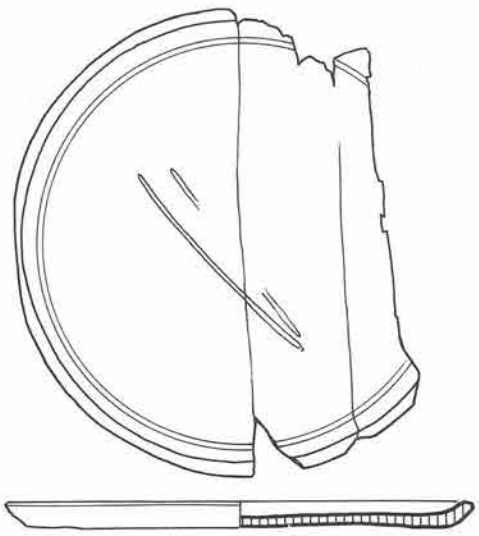
2702



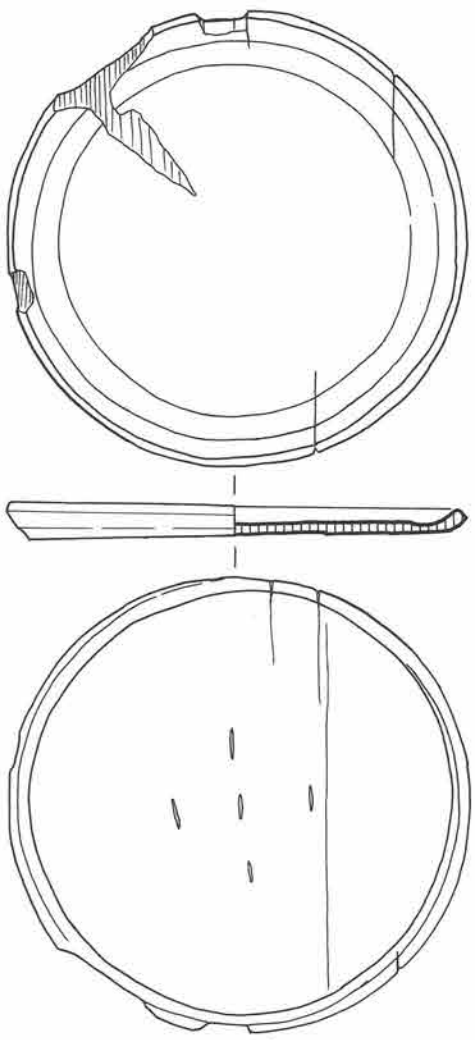
2703



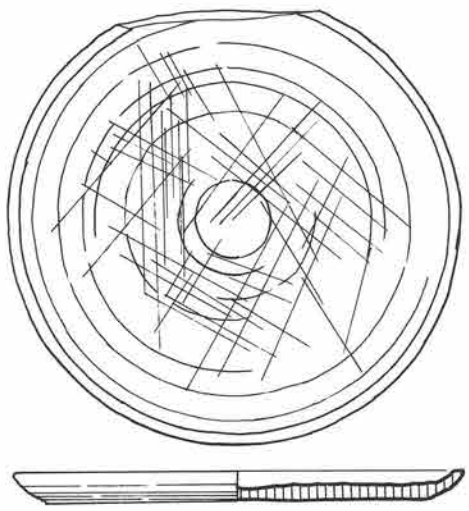
2704



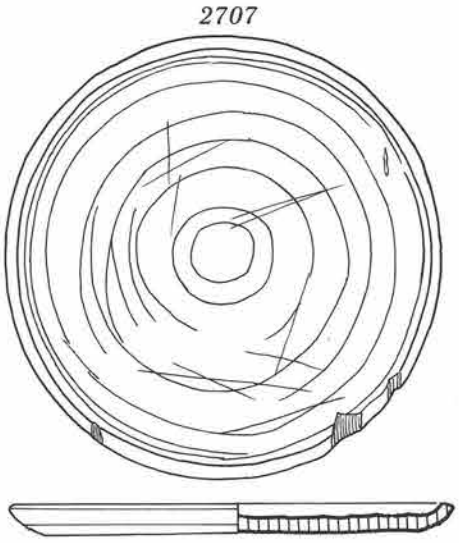
2705



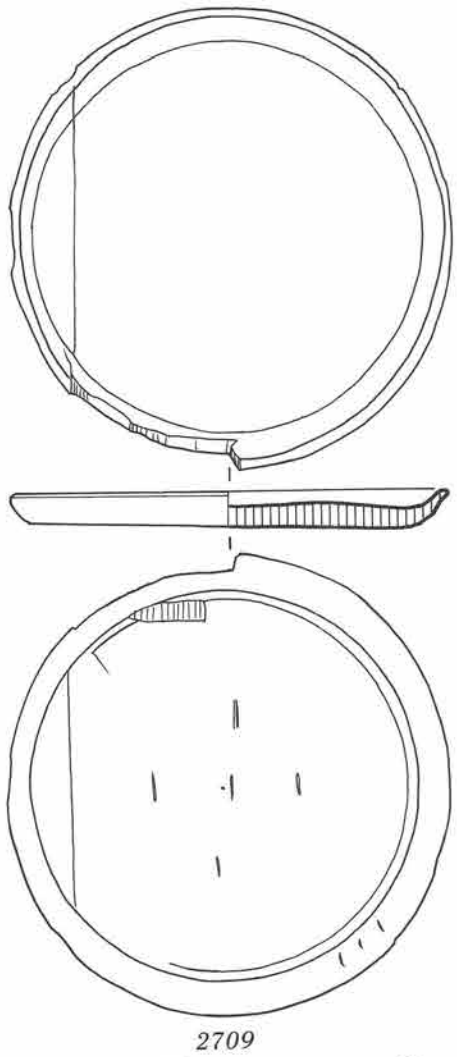
2706



2707



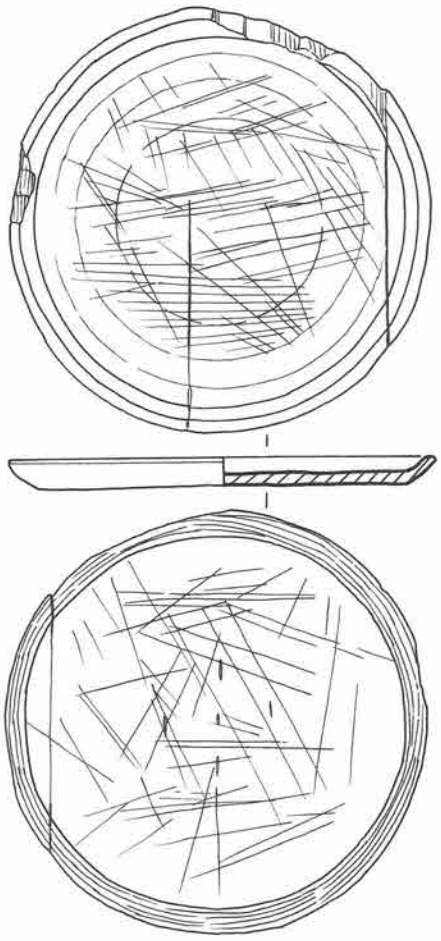
2708



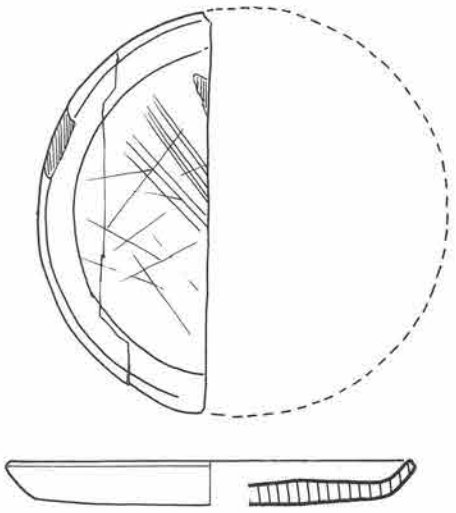
2709

0　10　20 cm

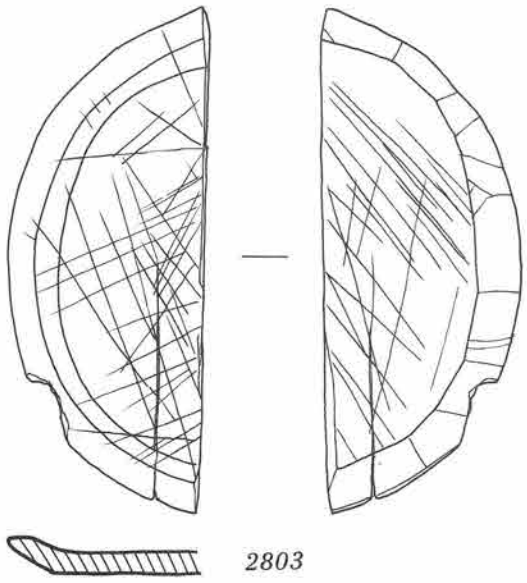
2701・2704・2708；平城京，*2702・2703*；平城宮，*2705・2707*；平安京・西市，*2706・2709*；大阪・大蔵司



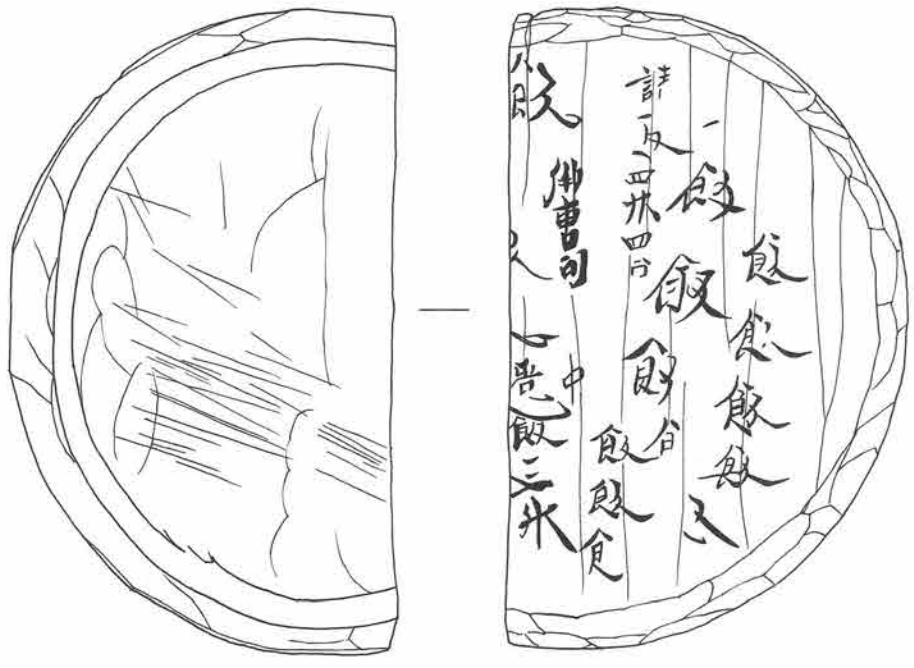
2801



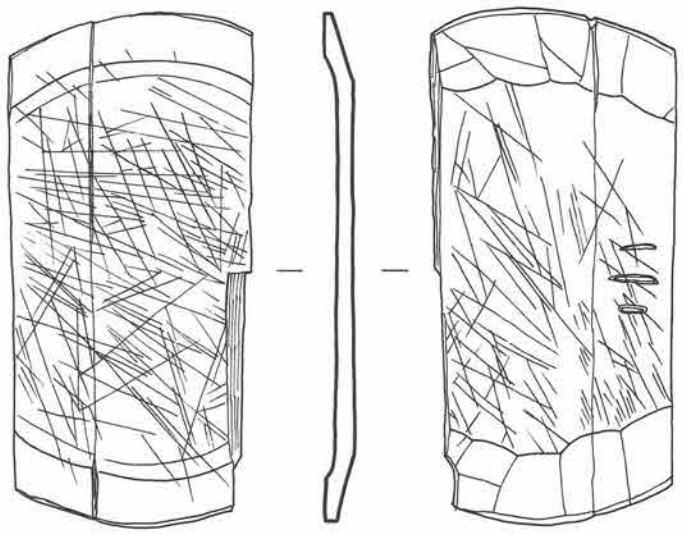
2802



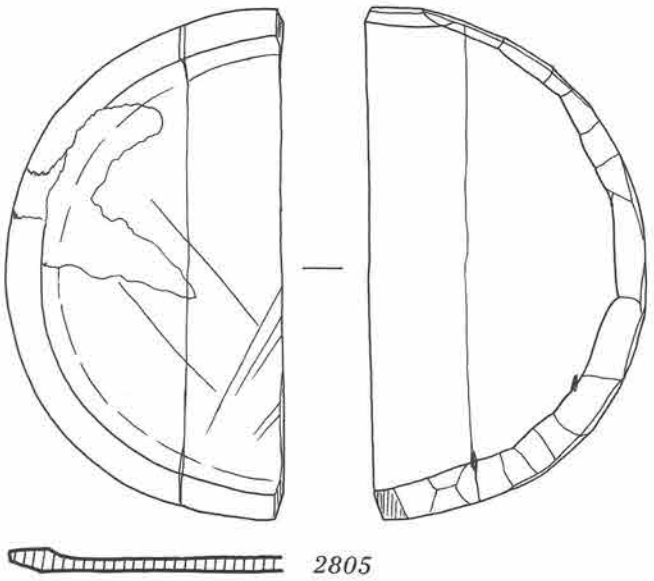
2803



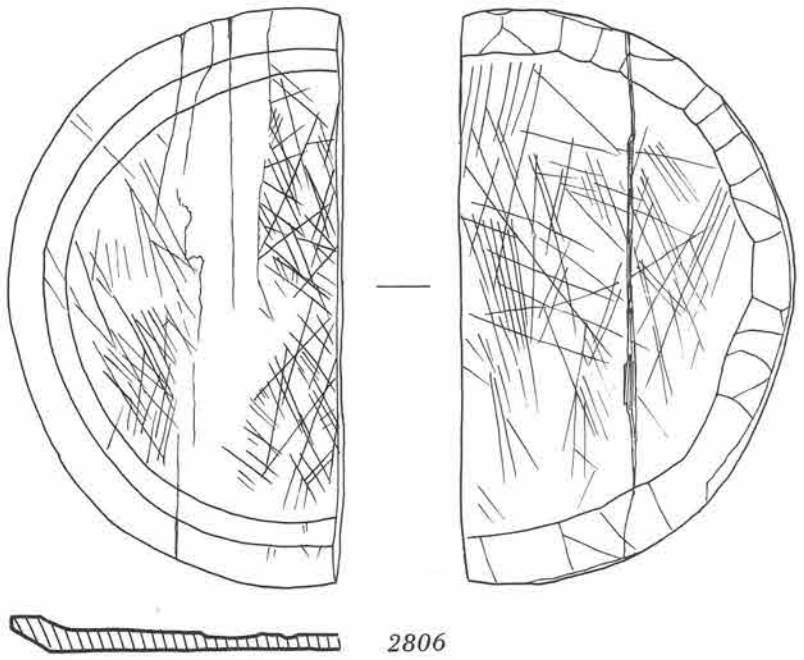
2807



2804



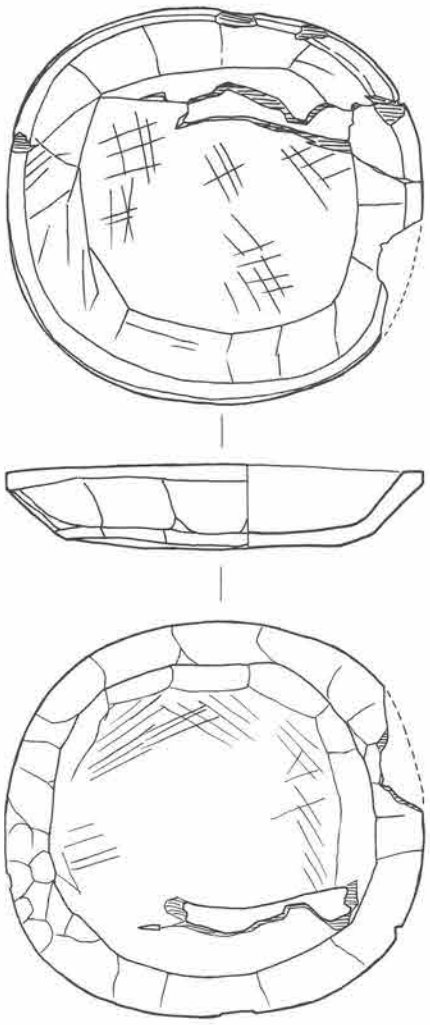
2805



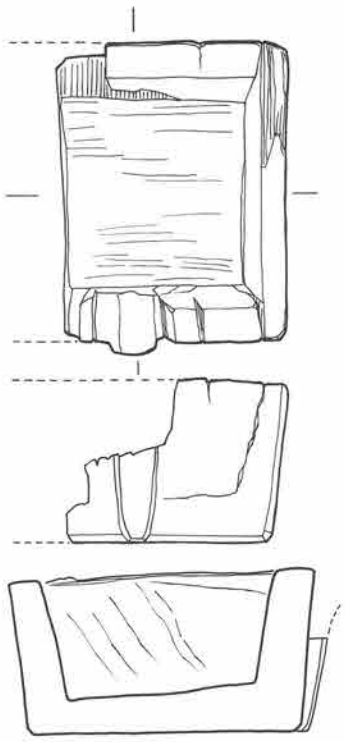
2806

0　10　20　30 cm

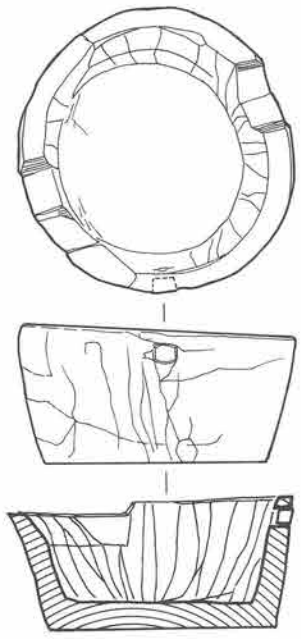
2801；滋賀・鴨，　*2802*；長岡京，　*2803*～*2806*；滋賀・伊井永田，　*2807*；平城宮



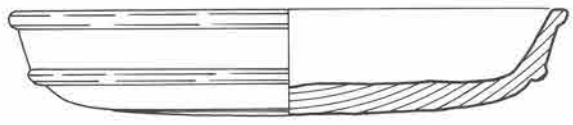
2901



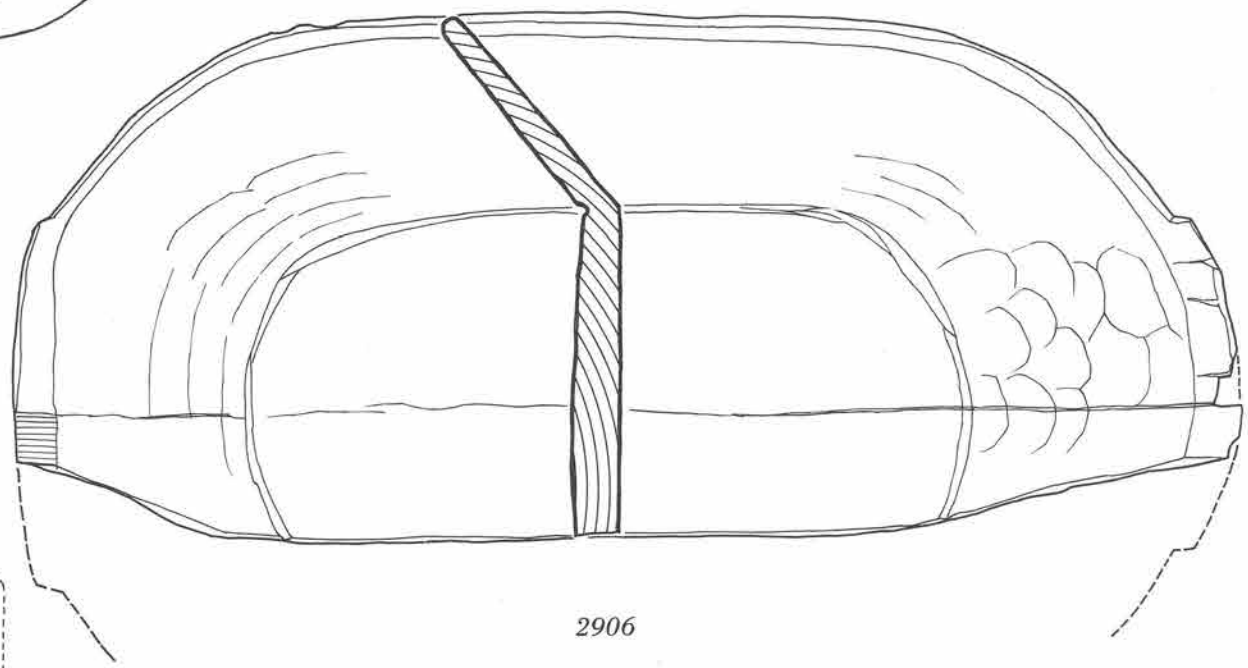
2902



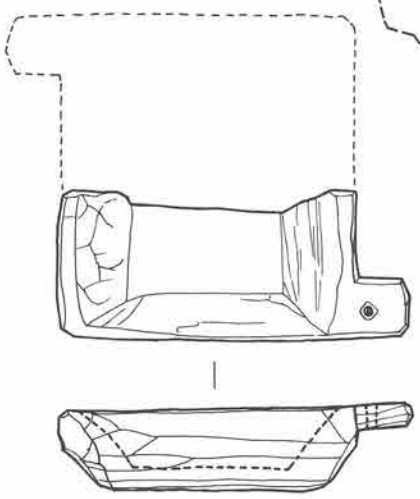
2903



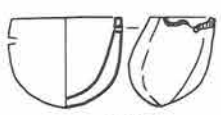
2905



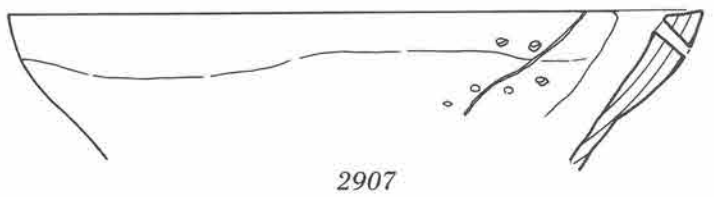
2906



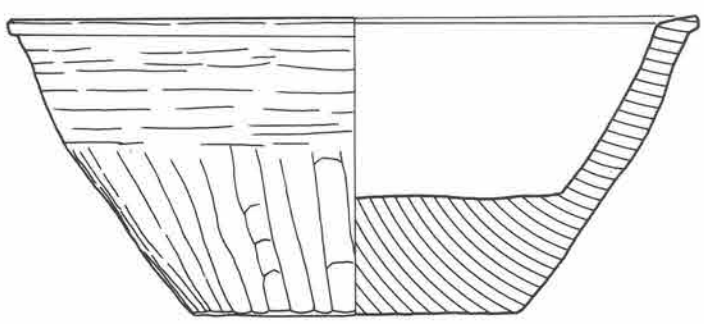
2904



2909

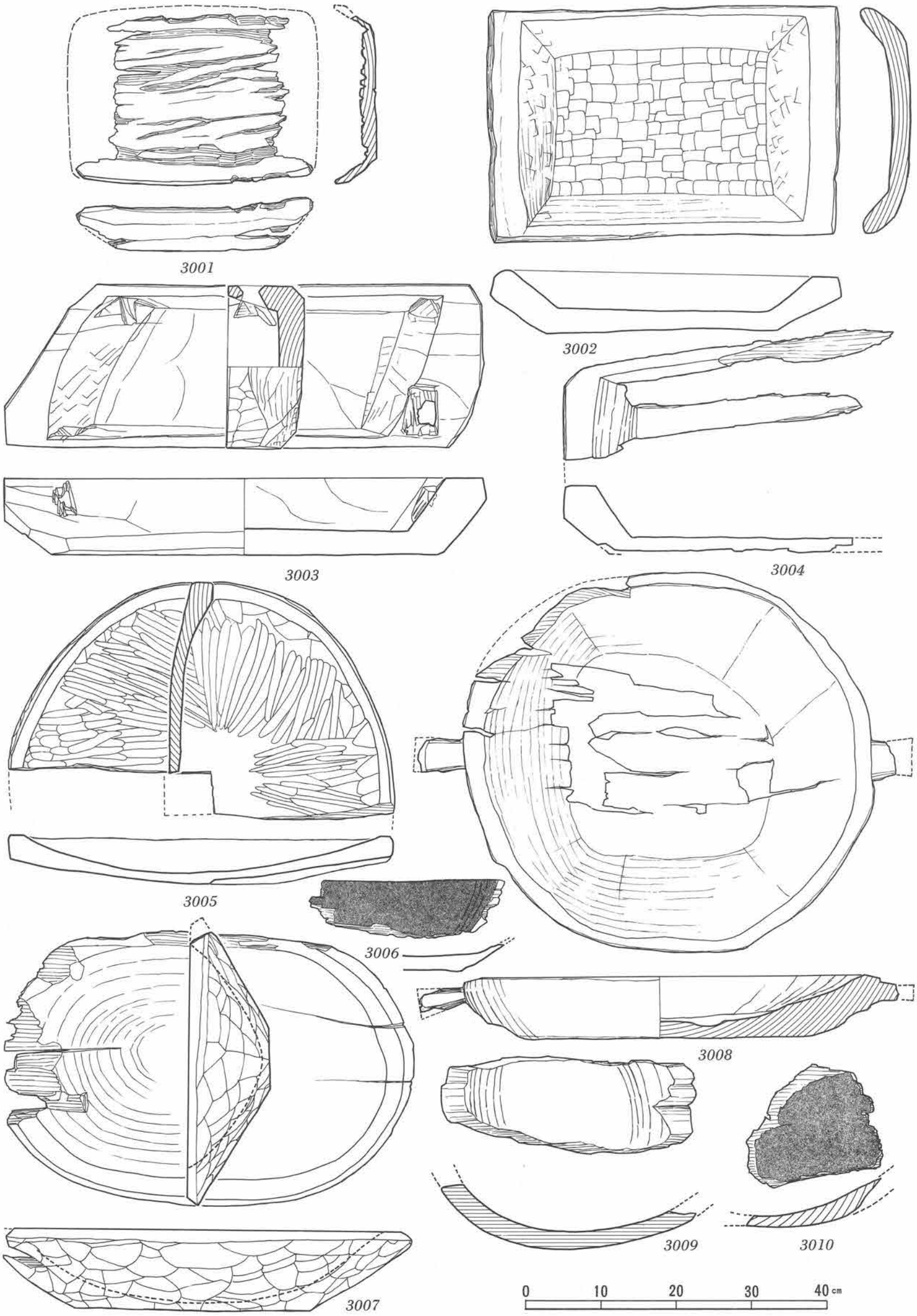


2907



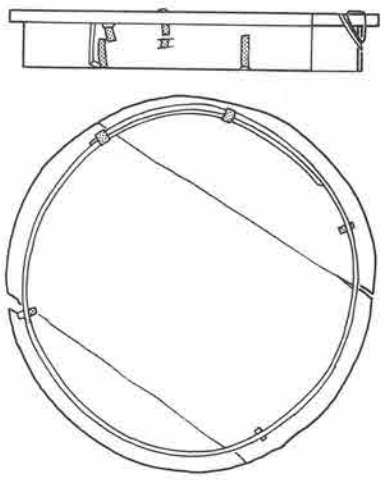
2908

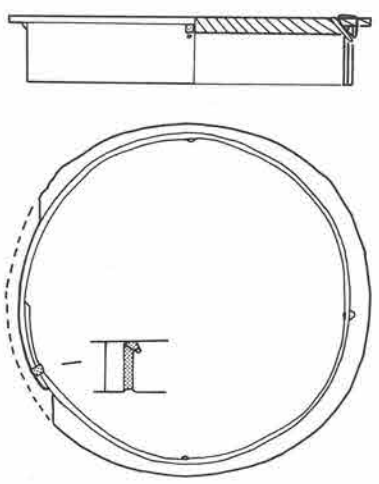
2901・*2904*・*2909*；平城宮，　*2902*；滋賀・久野部，　*2903*・*2906*；平城京，　*2905*；兵庫・上原田，　*2907*・*2908*；兵庫・吉田南

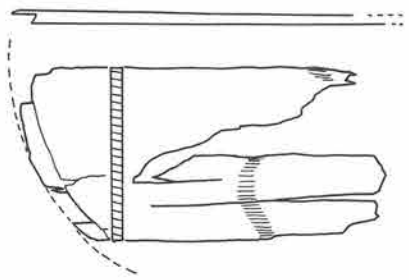


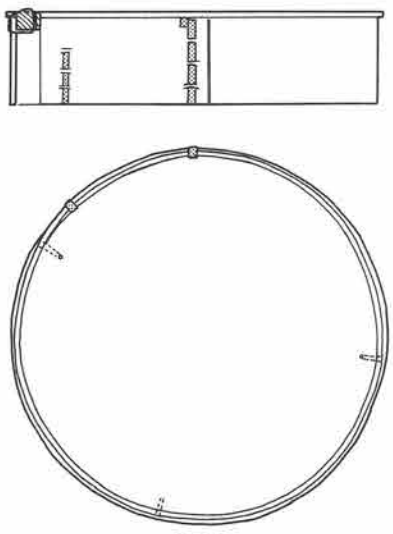
3001；難波宮，*3002*；滋賀・伊井永田，*3003*・*3010*；平城宮，*3004*；滋賀・下寺観音堂，*3005*；滋賀・光相寺，*3006*；平城京，*3007*；奈良・布留，*3008*；兵庫・吉田南，*3009*；滋賀・久野部

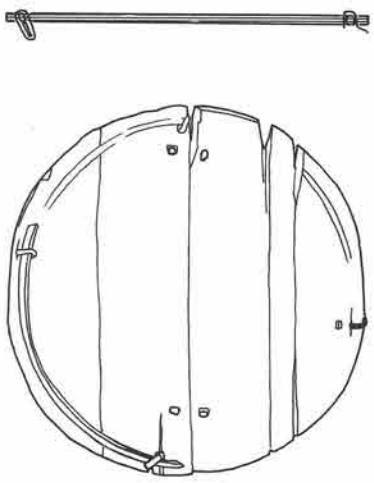
3101

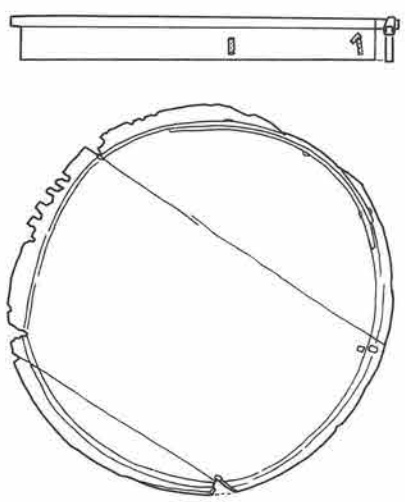

3102

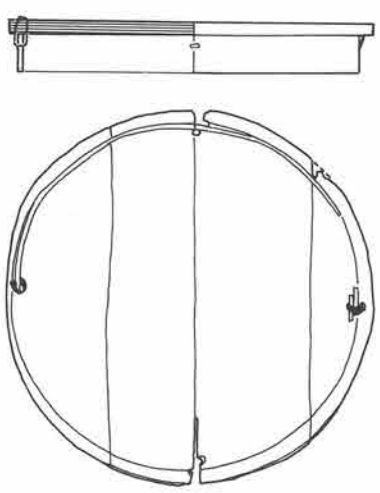

3103

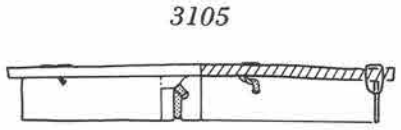

3104

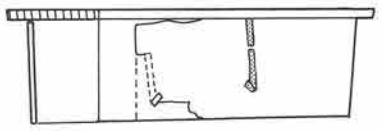

3105

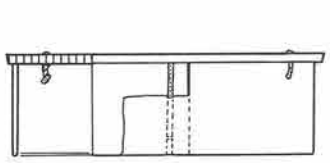

3106

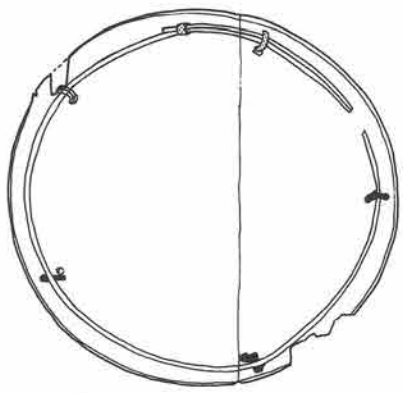

3107

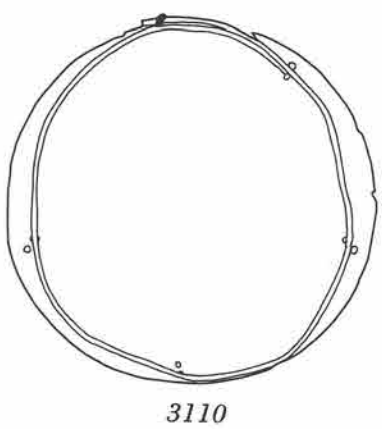

3108



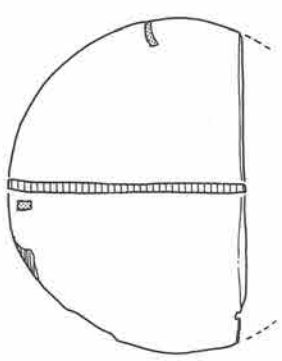


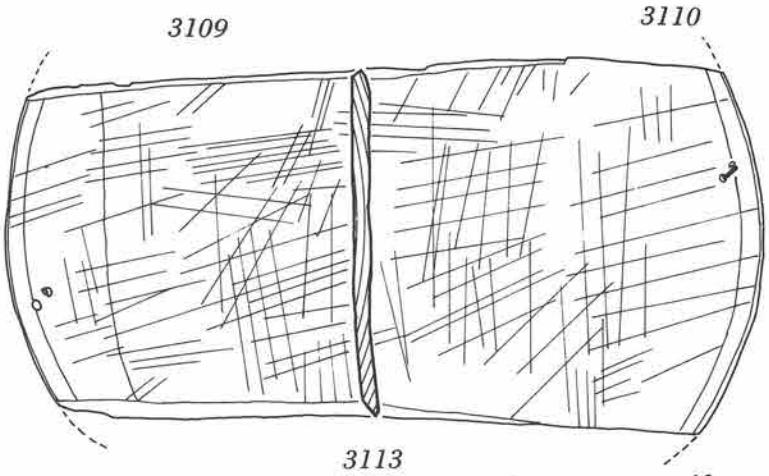



3109

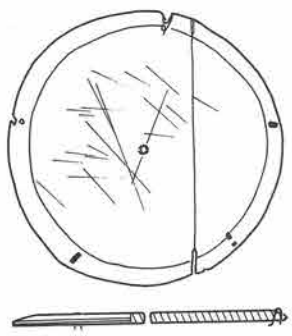

3110

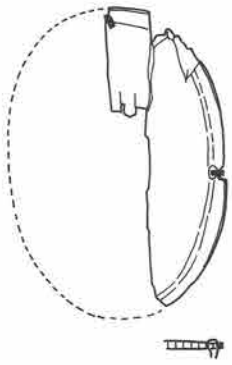
3111


3112

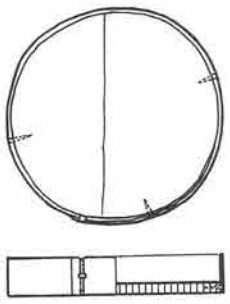

3113

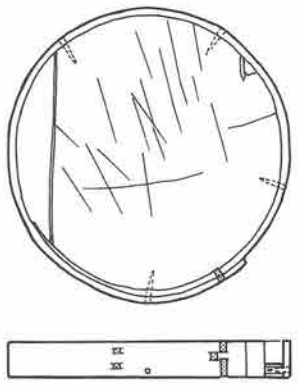
3114

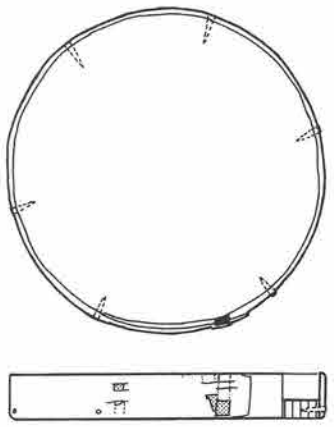

3115

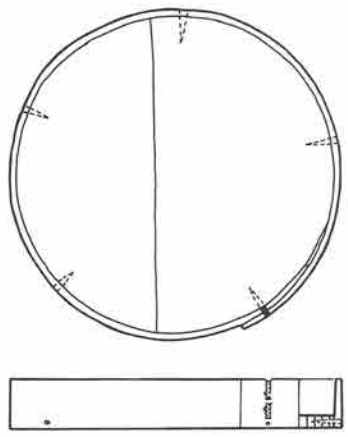

3116

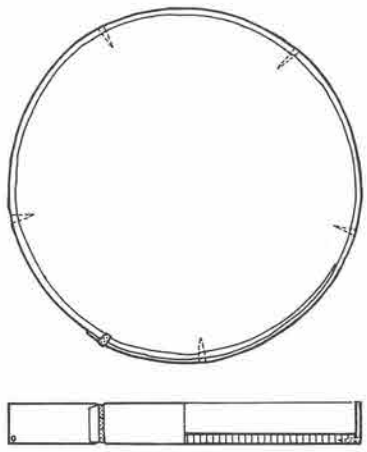
3101；奈良・和田廃寺，*3102*；藤原宮，*3103*・*3111*・*3115*；平城京，*3104*；藤原京，*3105*～*3109*・*3116*；平城宮，*3110*；長岡京，*3112*；和歌山・野田地区，*3113*・*3114*；平安京・西市

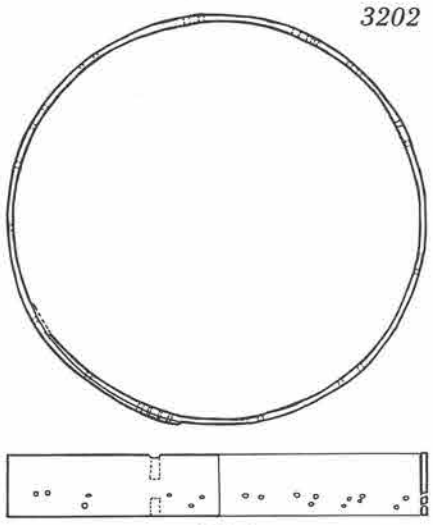

3201

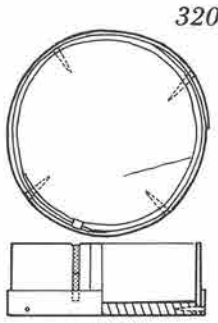

3202

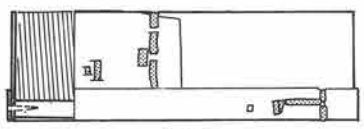

3203

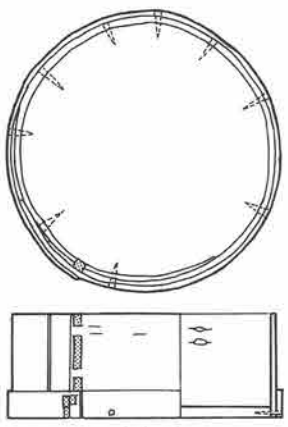

3204

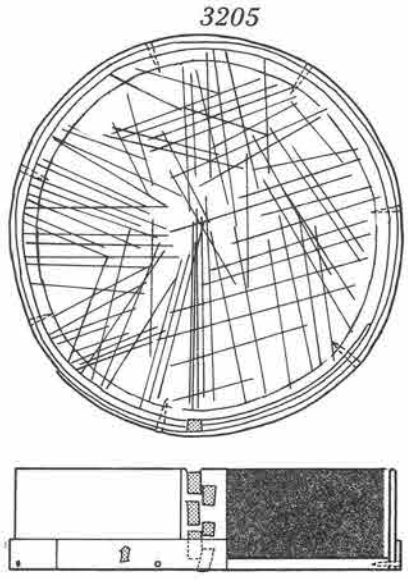

3205

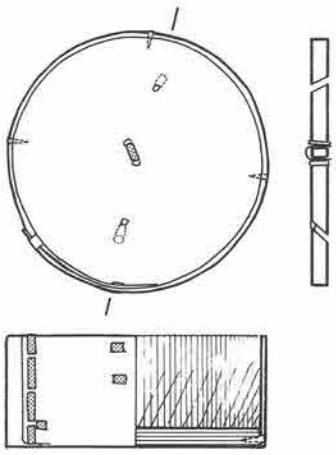

3206

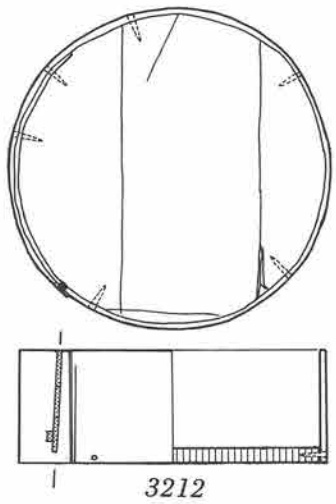

3207

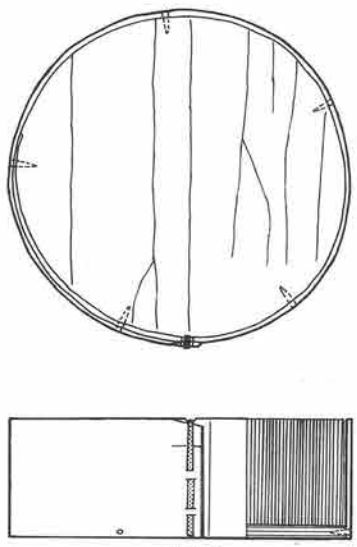

3208

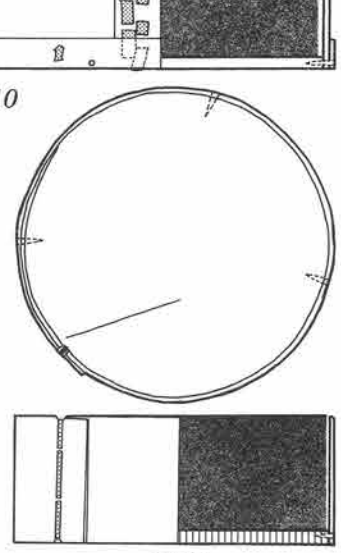

3209

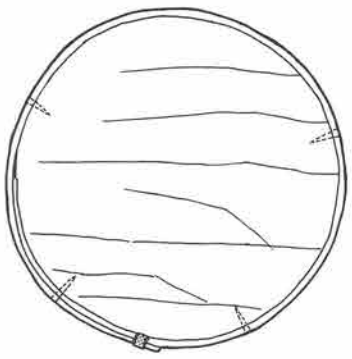

3210

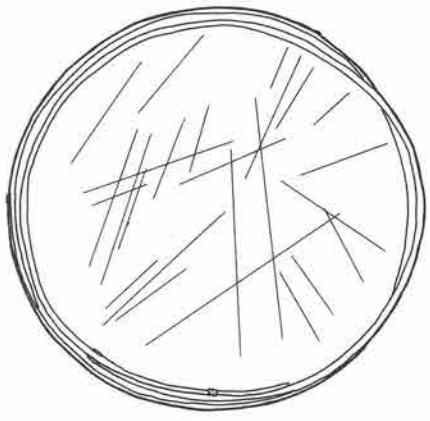

3211

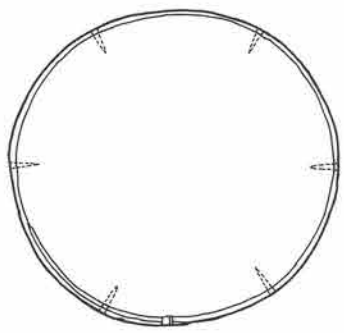

3212

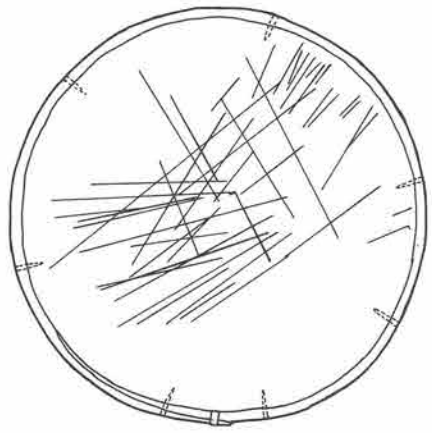

3213


3214

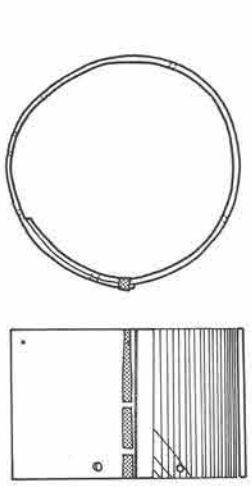

3215


3216

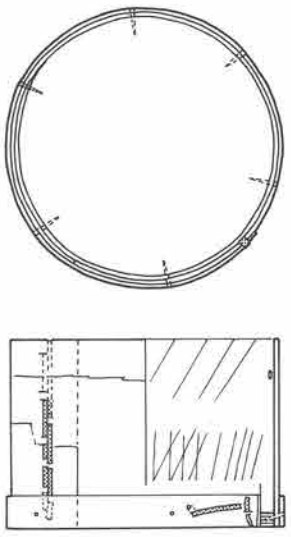

3217


3218

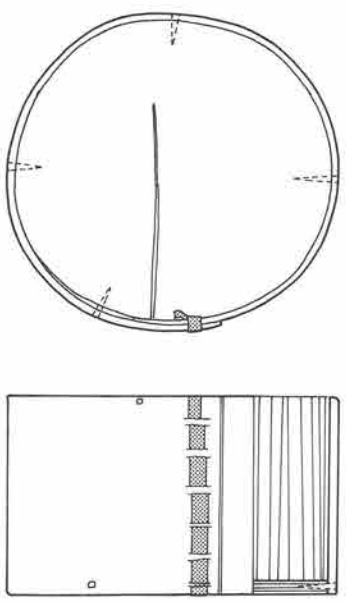
3201・*3206*・*3210*・*3214*・*3215*；平城京，*3202*～*3204*・*3207*・*3209*・*3212*・*3213*・*3217*；平城宮，*3205*；大阪・大蔵司，*3208*；京都・大藪，*3211*；奈良・布留，*3216*；兵庫・上原田，*3218*；兵庫・吉田南



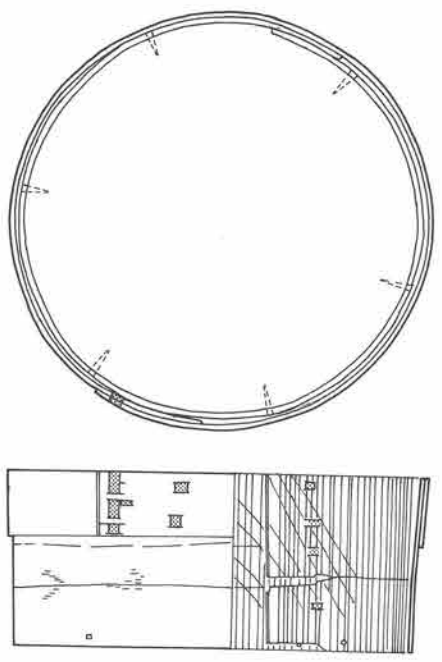
3301



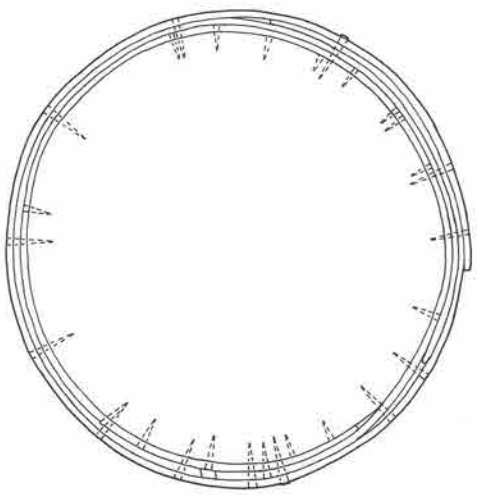
3302



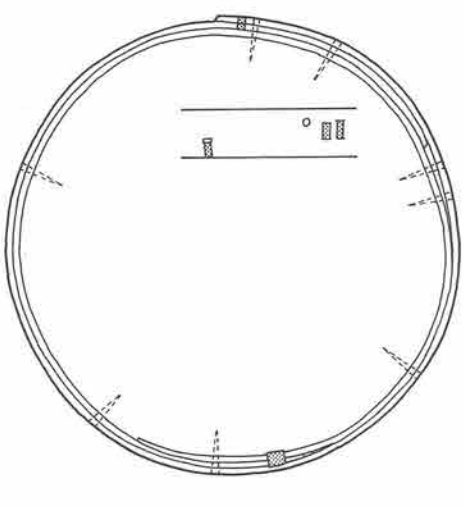
3303



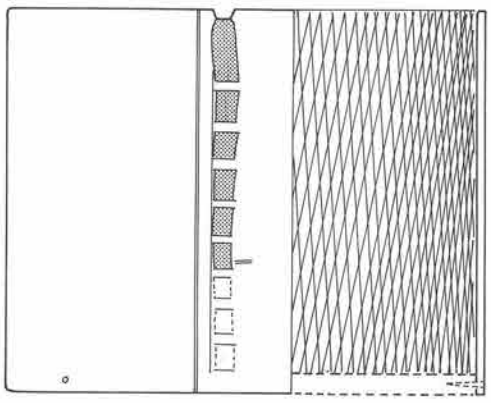
3304



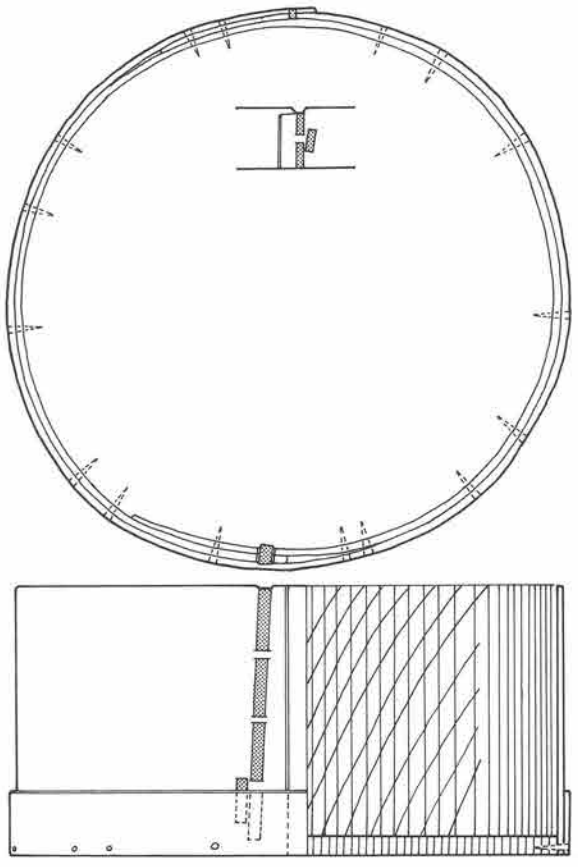
3305



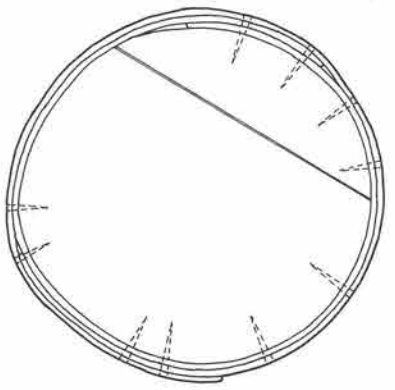
3306

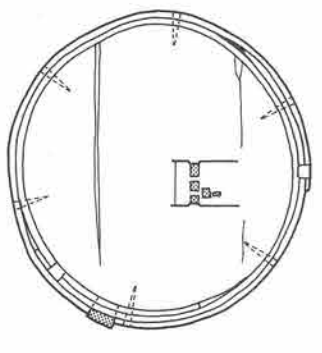


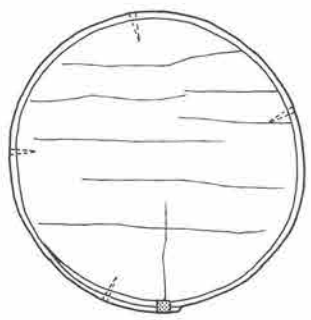
3307

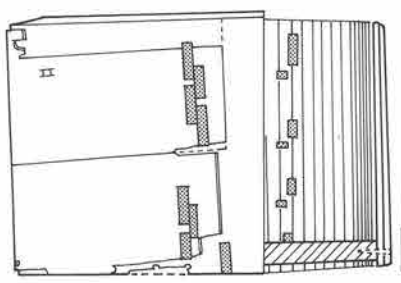


3308

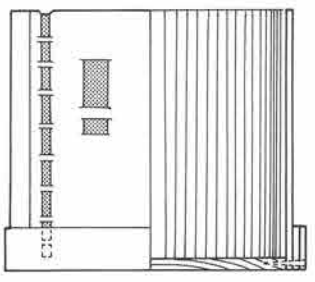




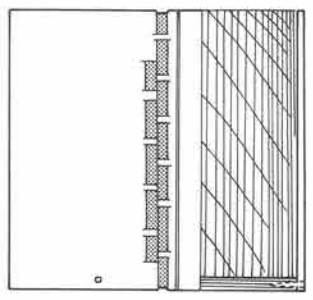




3309

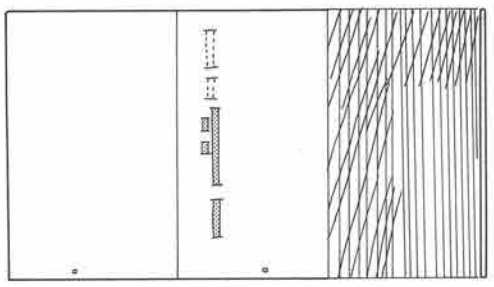


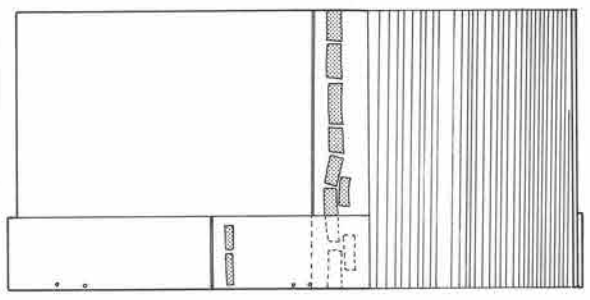
3310

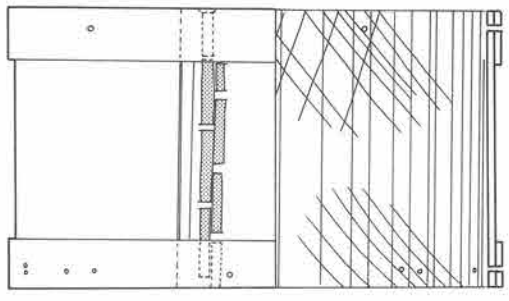


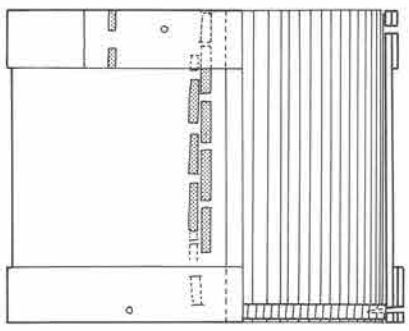
3311

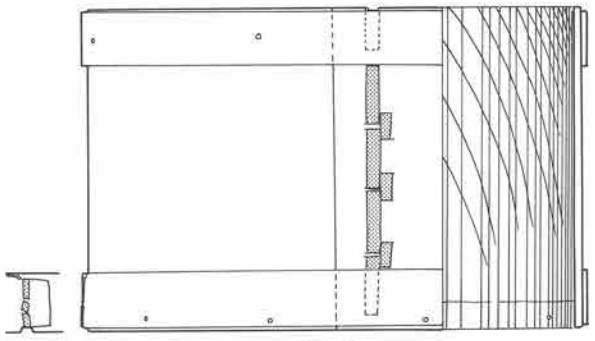
3301；兵庫・吉田南，*3302・3307・3308・3310*；平城京，*3303*；滋賀・針江北，*3304～3306・3311*；平城宮，*3309*；平安京・西市

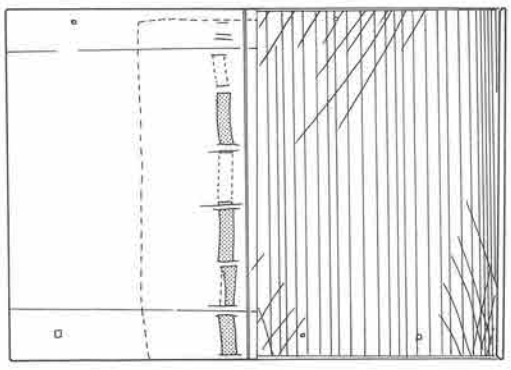

3403

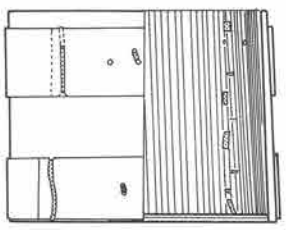

3404

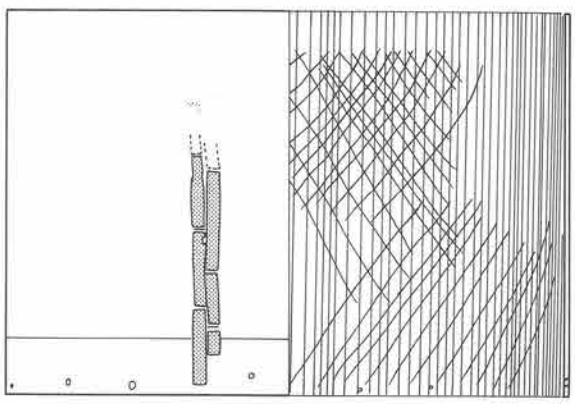

3405

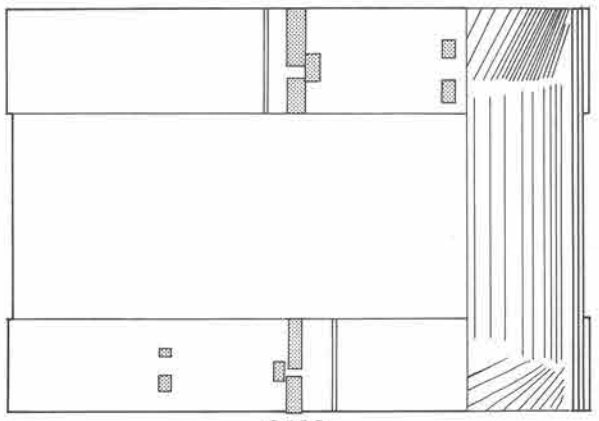

3406

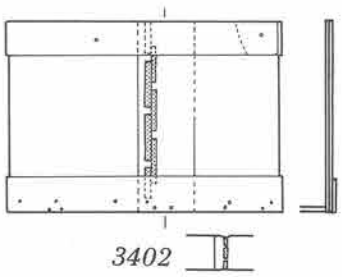

3407

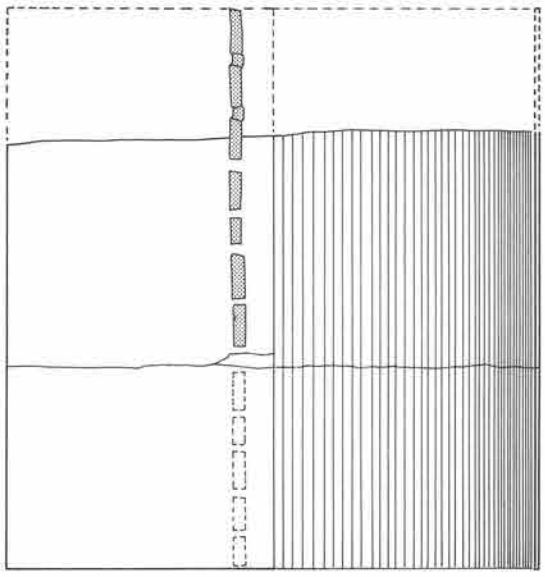

3408

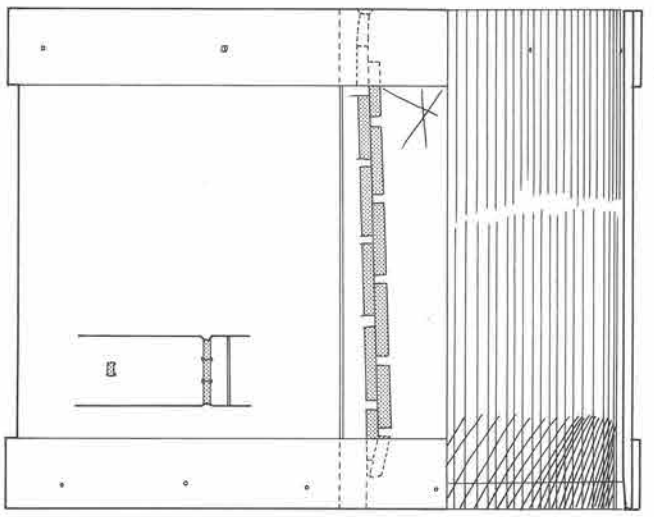

3401

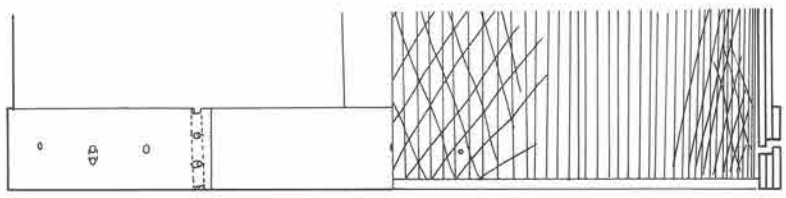

3409

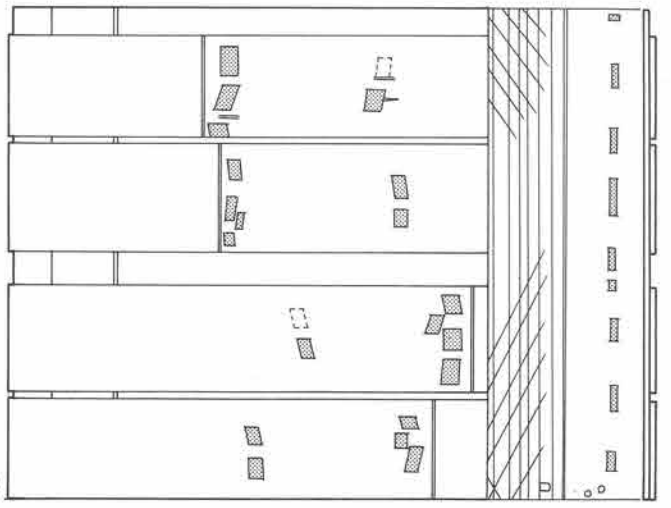

3412


3402

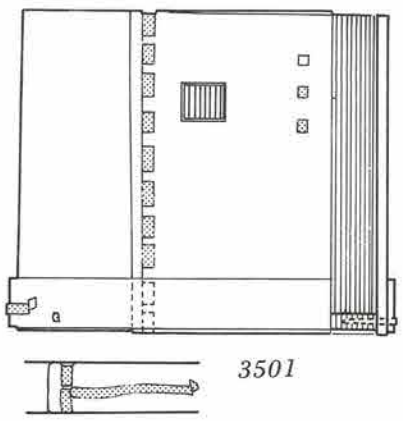

3410


3413

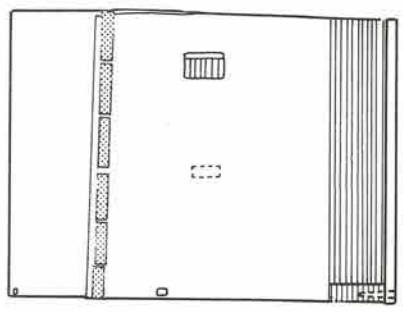

3411


3414

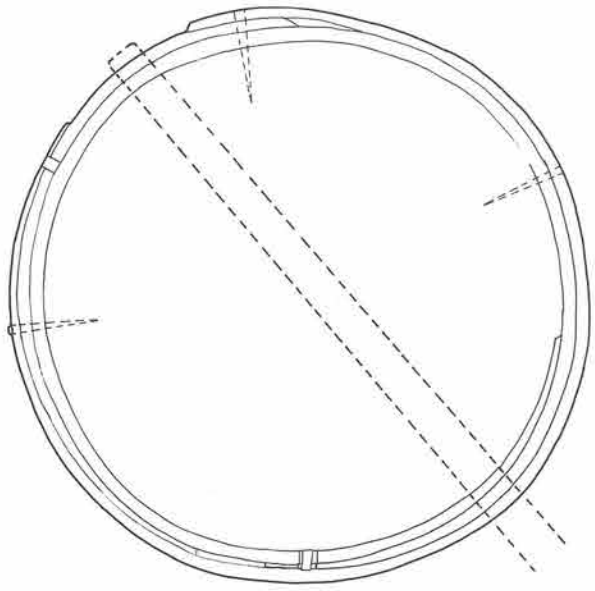
3401；平安京・西市，*3402・3408*；平城宮，*3403*；滋賀・針江北，*3404*；兵庫・吉田南，*3405*；大阪・郡家今城，*3406・3413*；平城京，*3407*；藤原宮，*3409・3411*；長岡京，*3410*；兵庫・吉田南，*3412・3414*；奈良・纒向

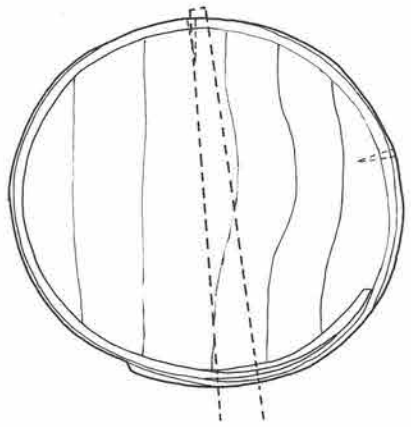


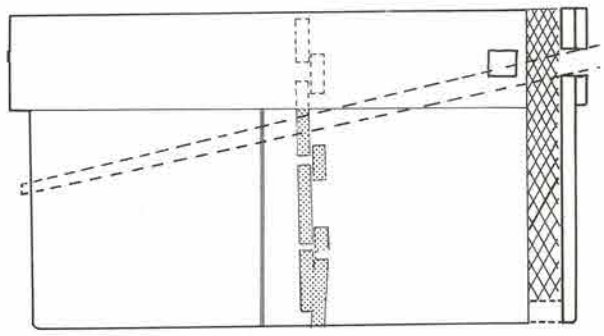
3501



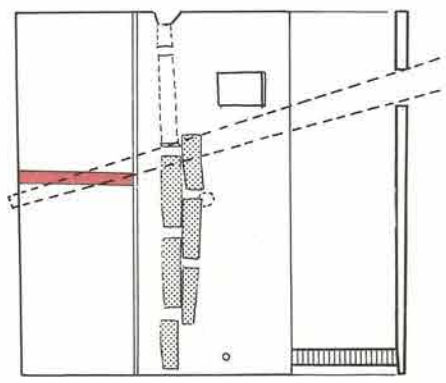
3502



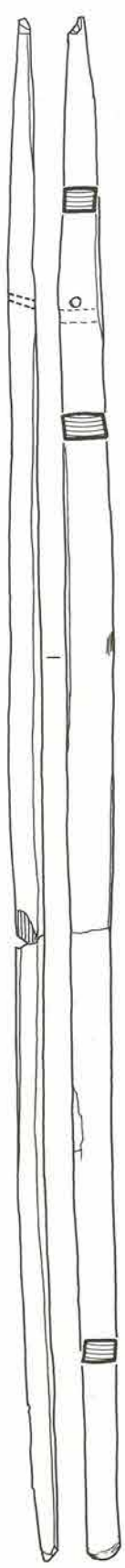




3504

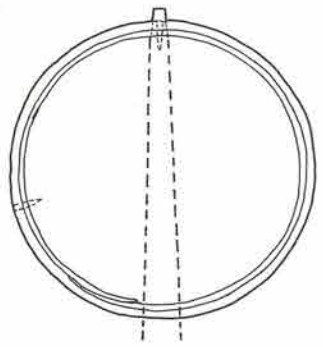


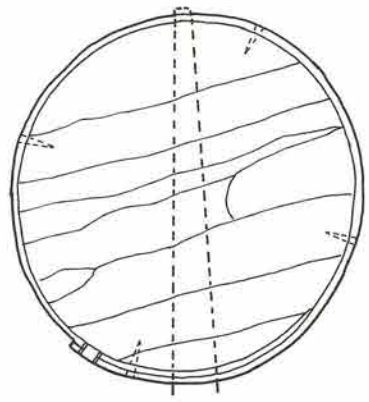
3503



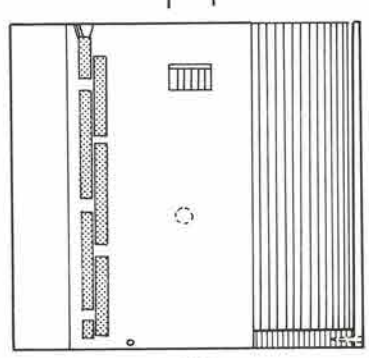
3507

3508





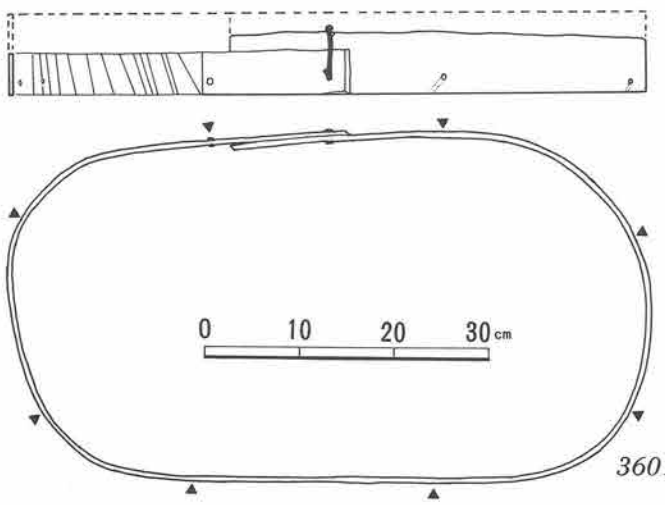
3506



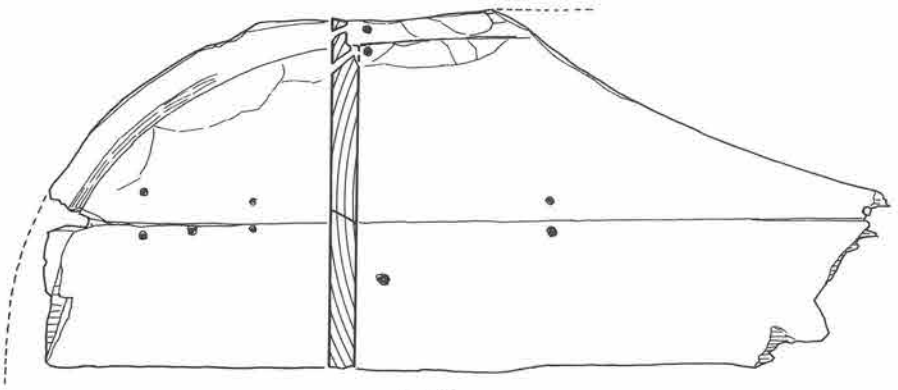
3505

3509

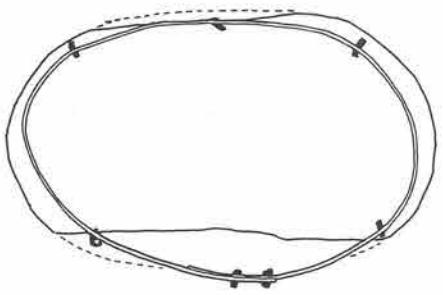
3501・3502・3504・3507；平城宮，*3503・3505・3506・3509*；平城京，*3508*；平安京・西市



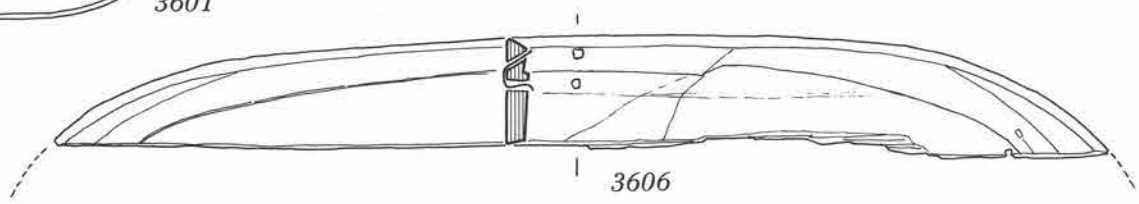
3601



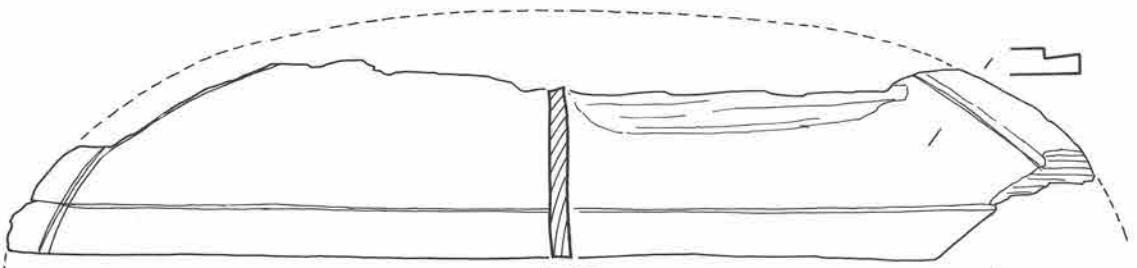
3605



3602

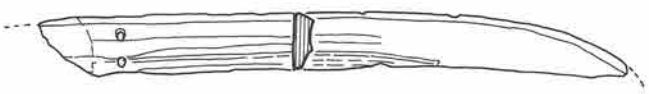


3606

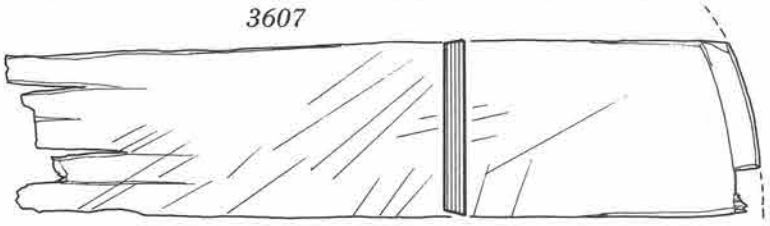


3607

3603

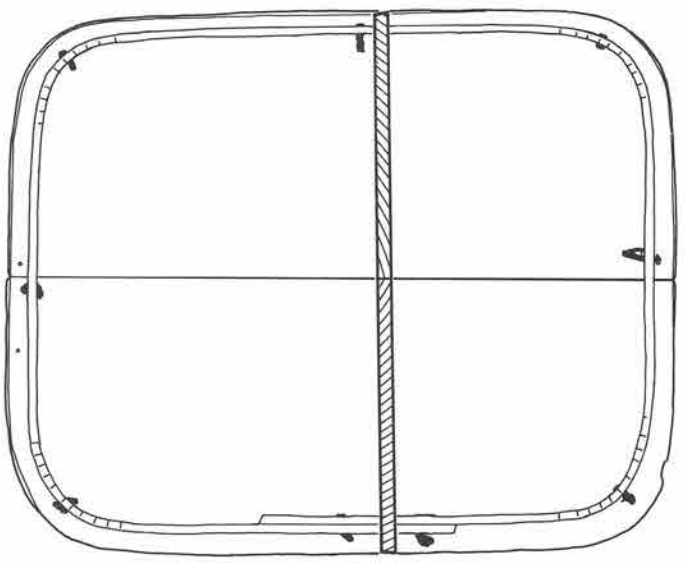


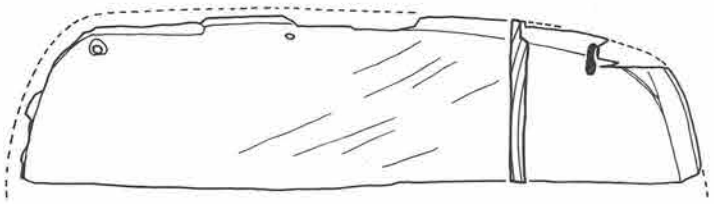
3604



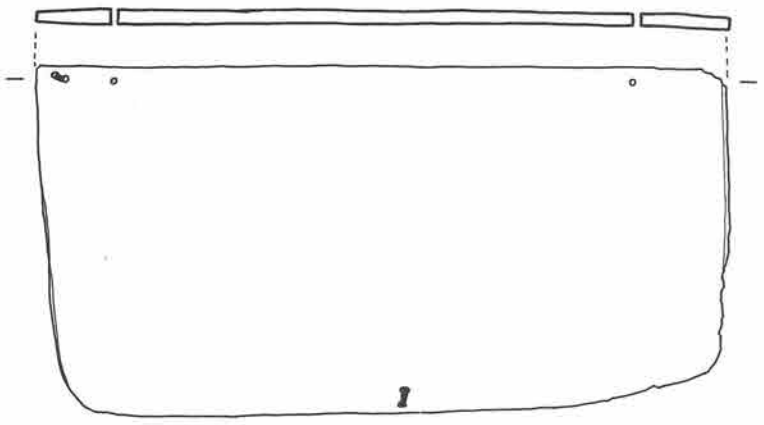
3608

3609

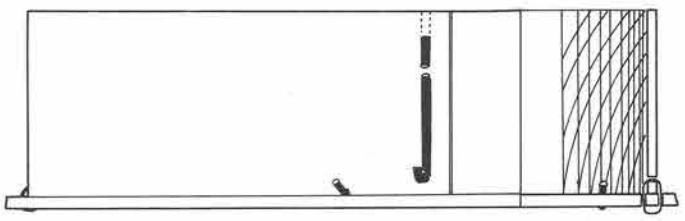




3611

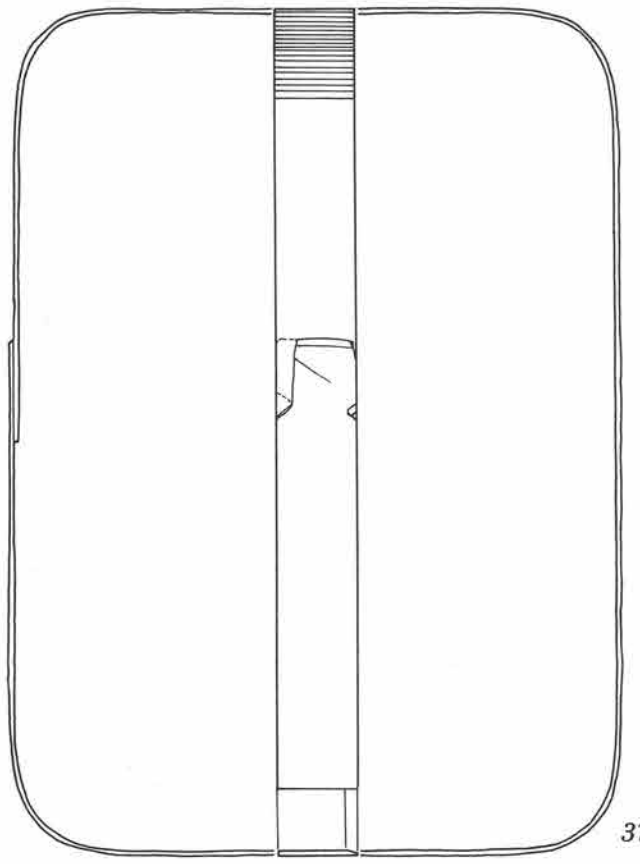


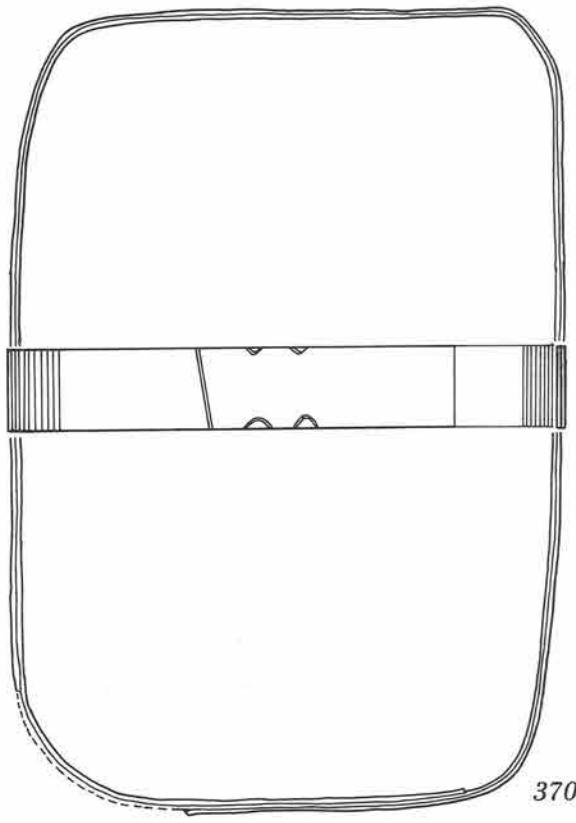
3612

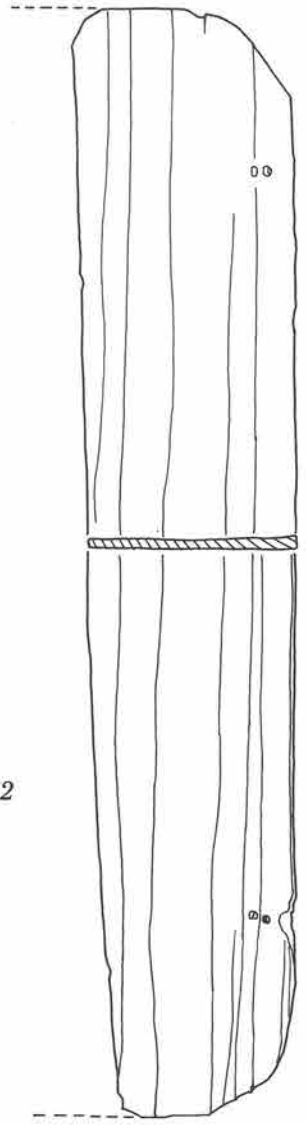


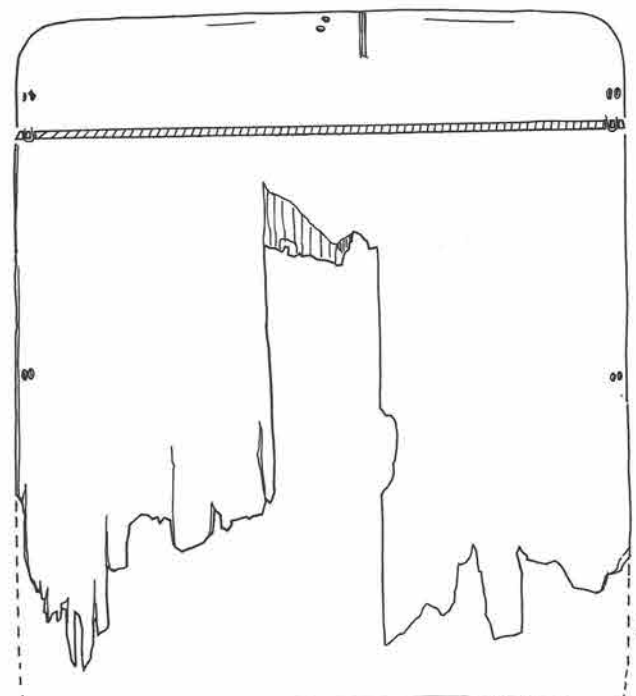
3610

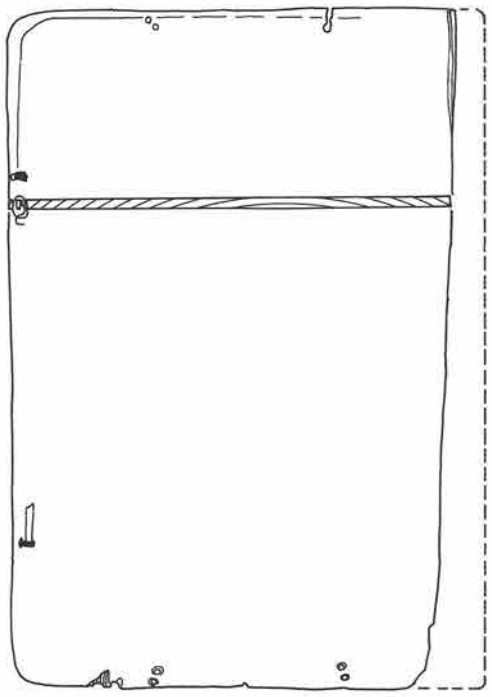
3601・3603；平城京，*3602*；兵庫・吉田南，*3604・3605・3610*；平城宮，*3606*；藤原宮，*3607*；和歌山・野田地区，*3608・3609*；滋賀・伊井永田，*3611*；大阪・上田部，*3612*；兵庫・八反長

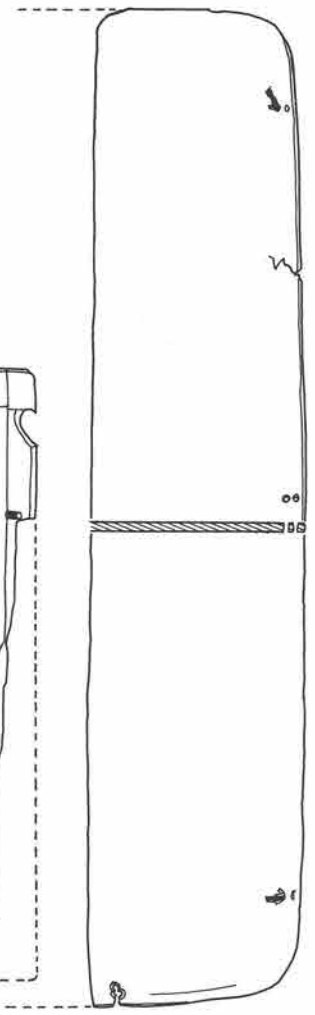

3701

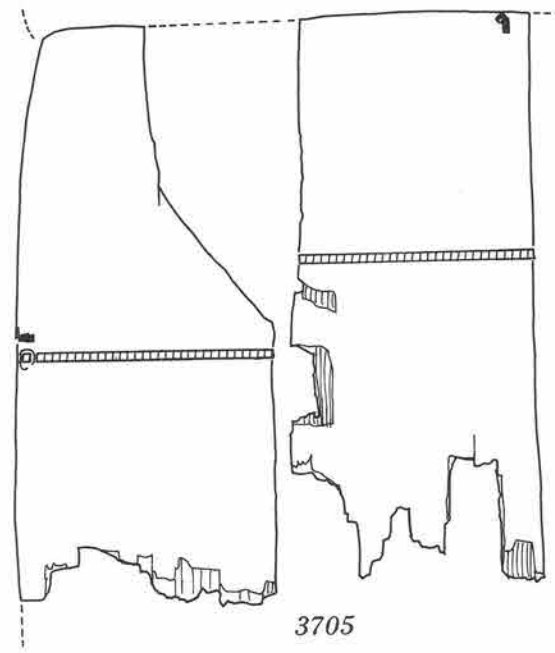

3702

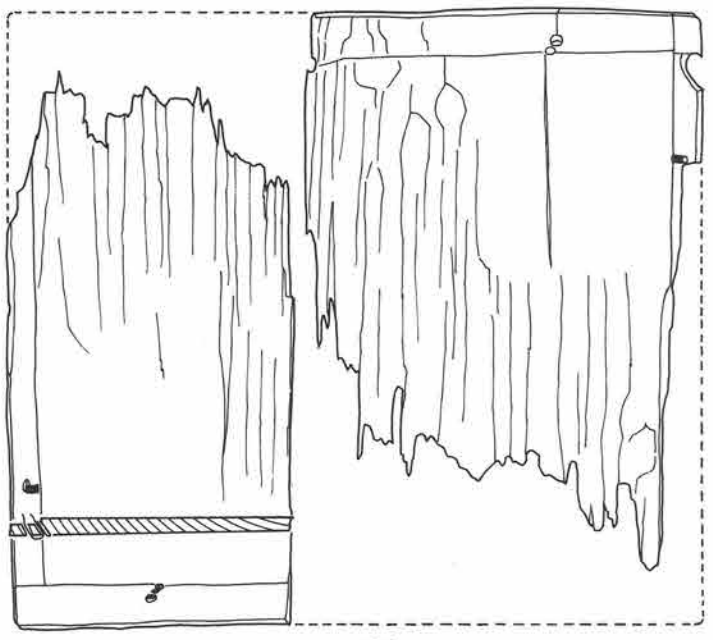

3708


3703


3704


3709

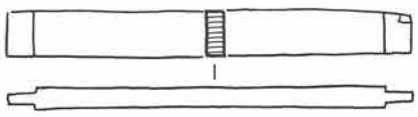

3705


3706

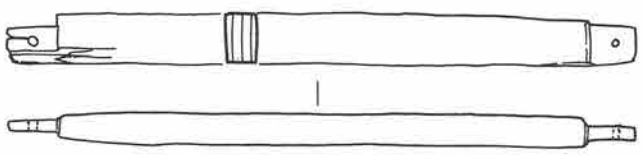
3707

3701；奈良・坂田寺，*3702*；兵庫・吉田南，*3703*・*3704*・*3709*；平城京，*3705*；奈良・和田廃寺，*3706*・*3707*；平城宮，*3708*；和歌山・野田地区

3801



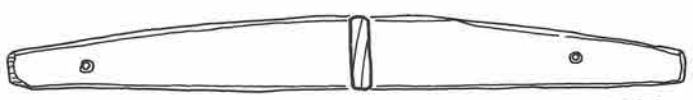
3802



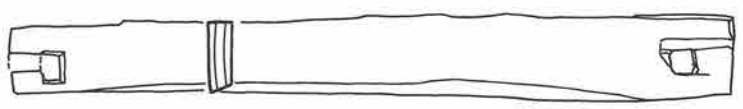
3803

3804

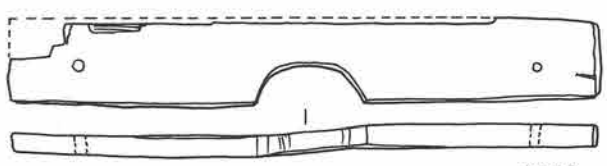
3805



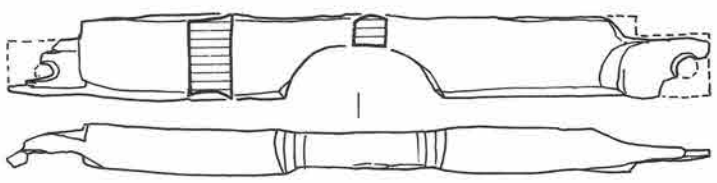
3806



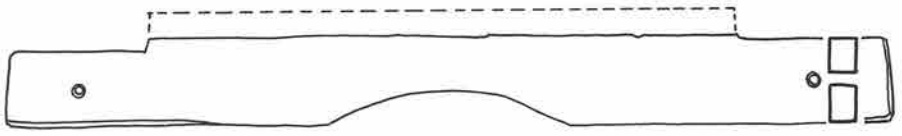
3807



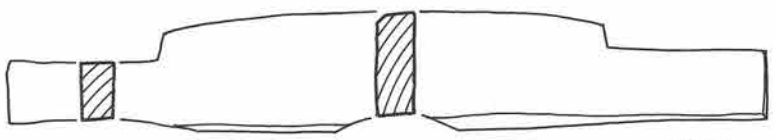
3808



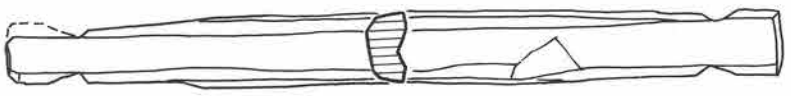
3809



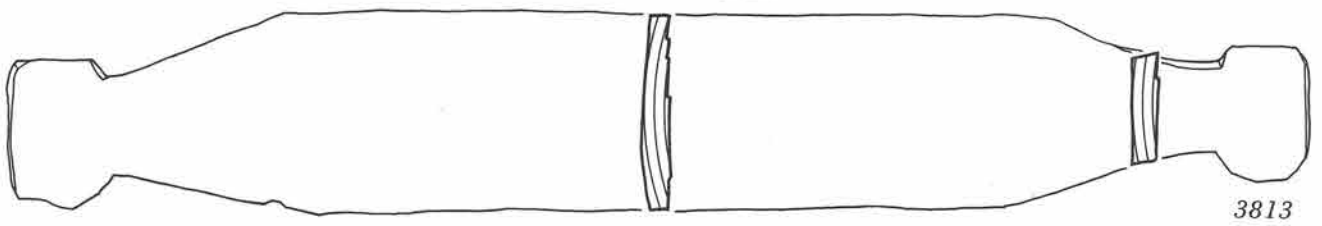
3810



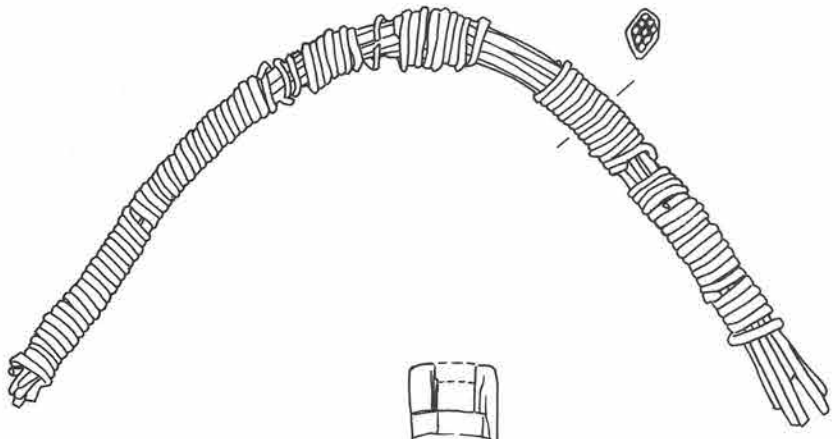
3811



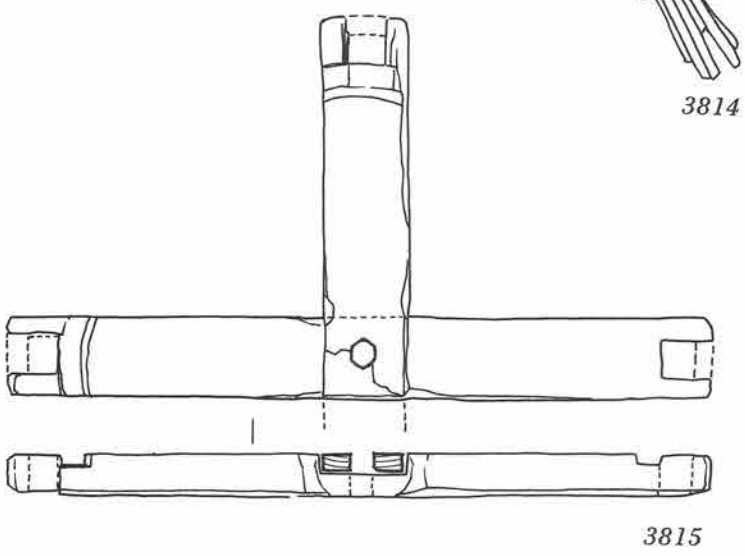
3812



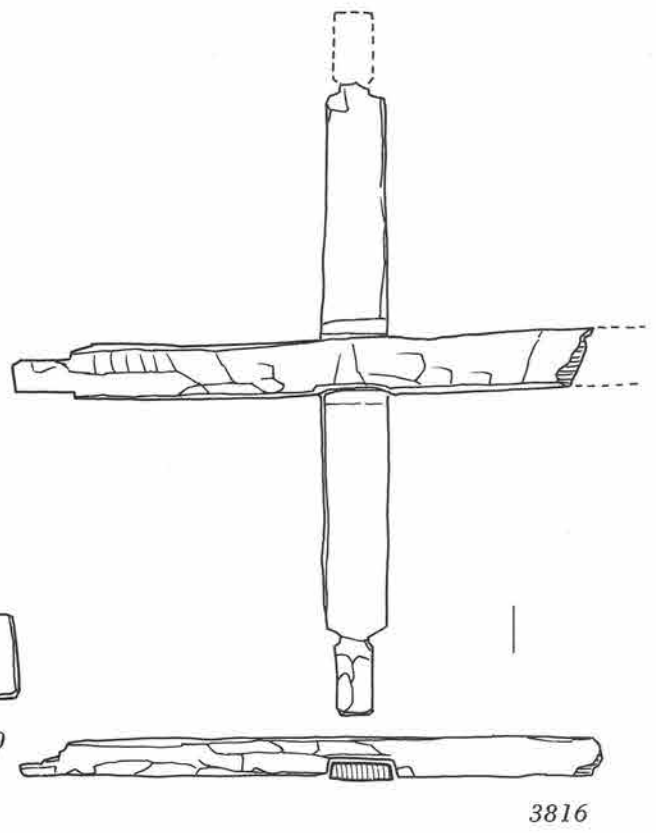
3813



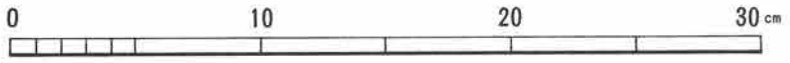
3814



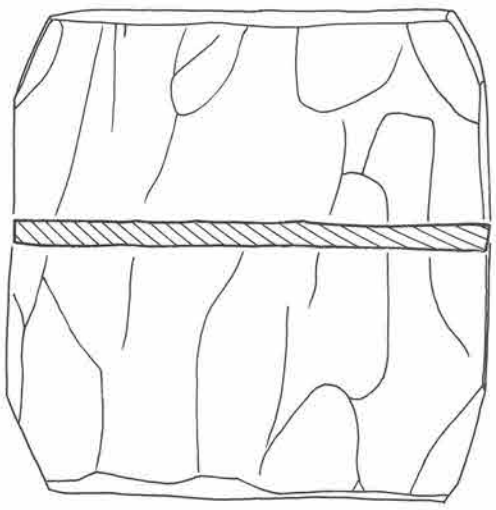
3815



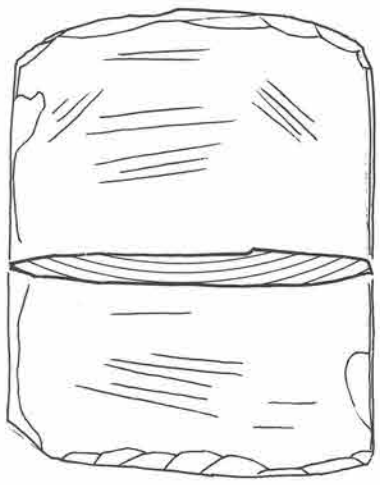
3816



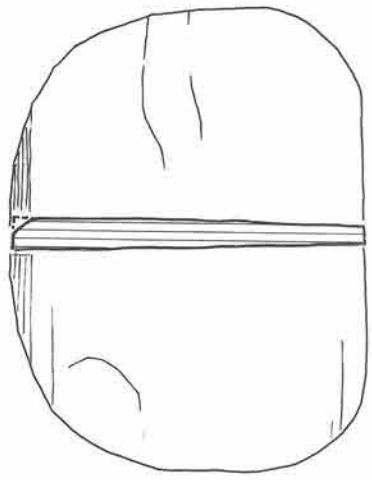
3801・3802；藤原京，*3803～3807・3809・3812～3815*；平城宮，*3808*；平城京，*3810・3811*；長岡京，*3816*；三重・下郡



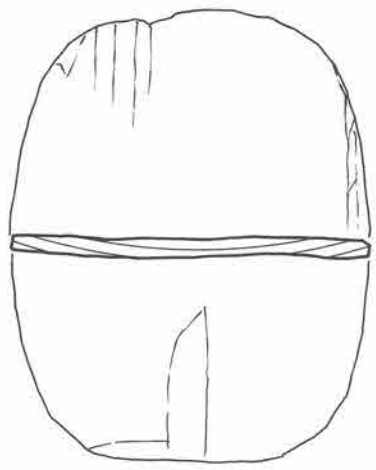
3901



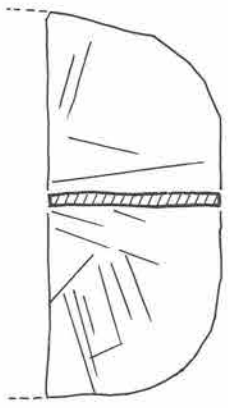
3902



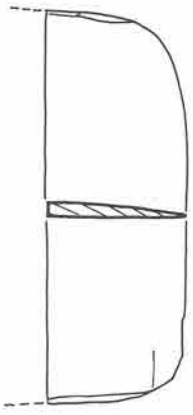
3903



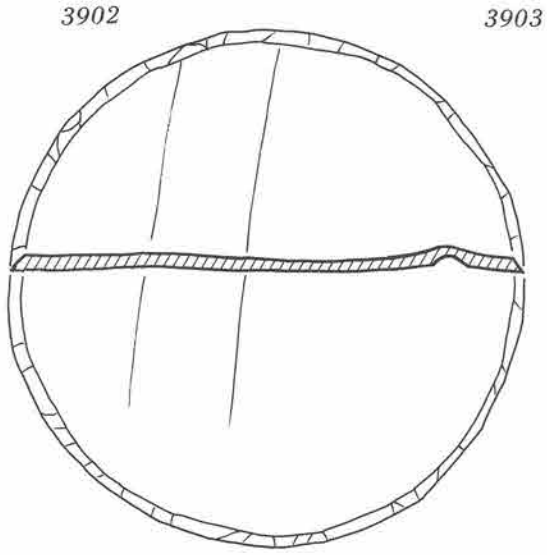
3904



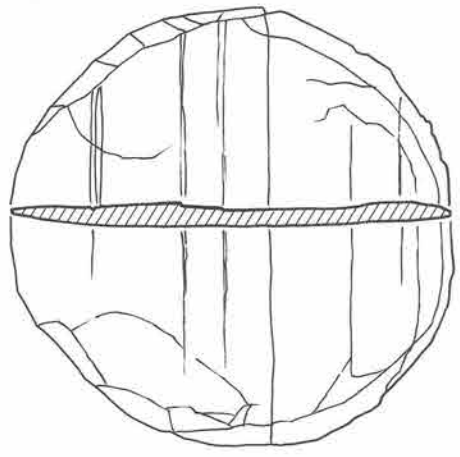
3905



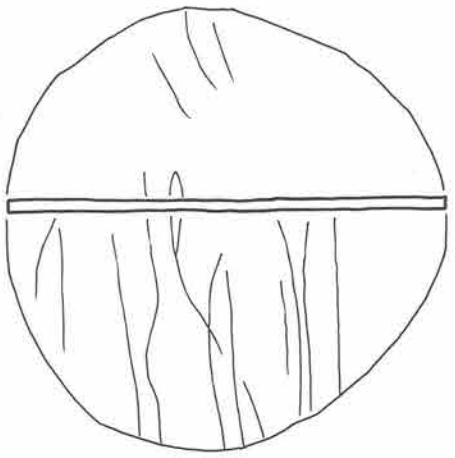
3906



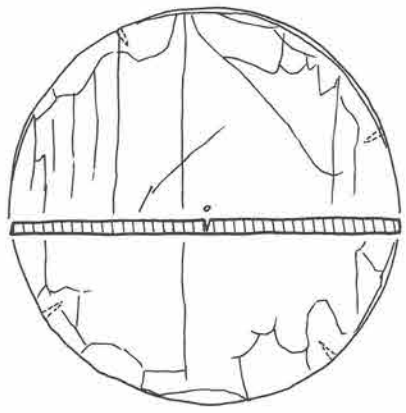
3907



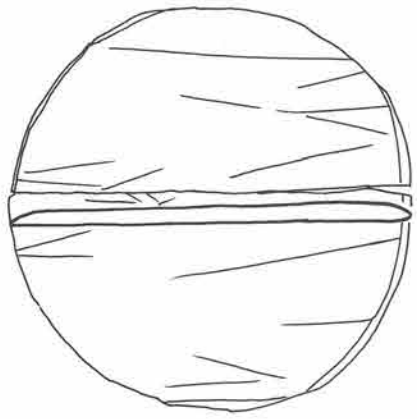
3908



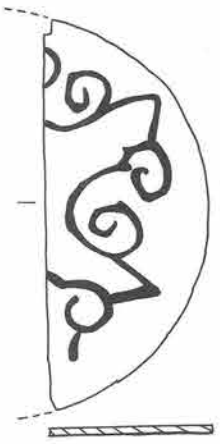
3909



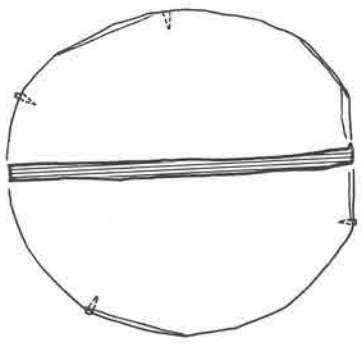
3910



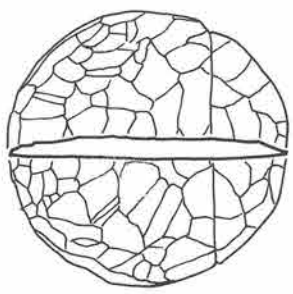
3911



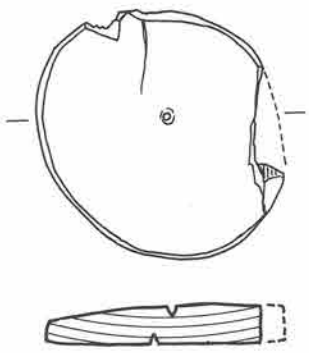
3912



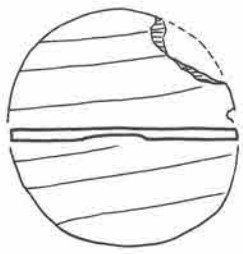
3913



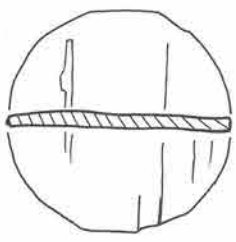
3914



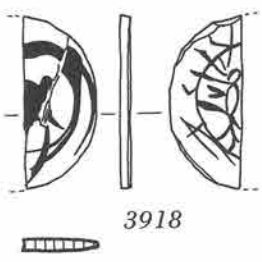
3915



3916



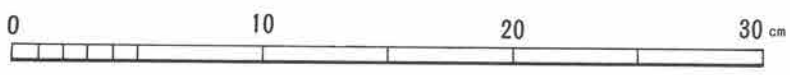
3917



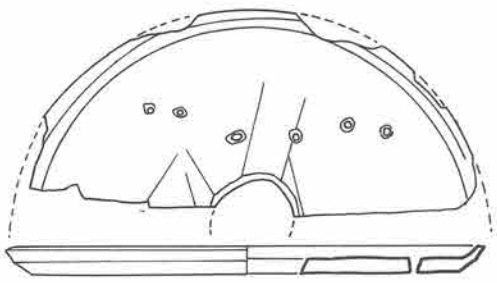
3918

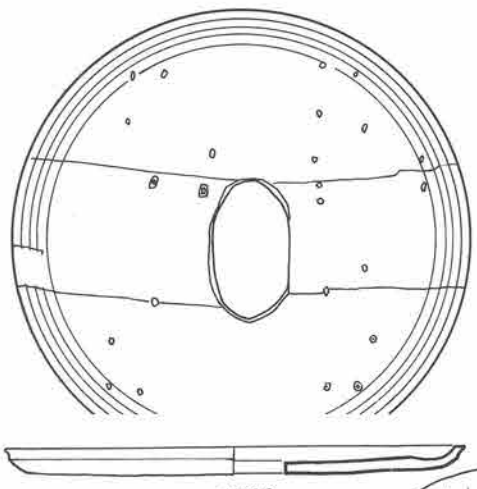
3919

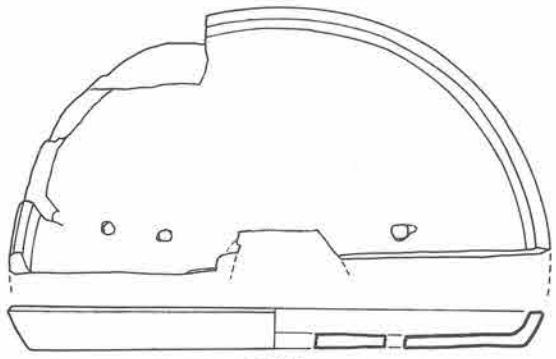
3920

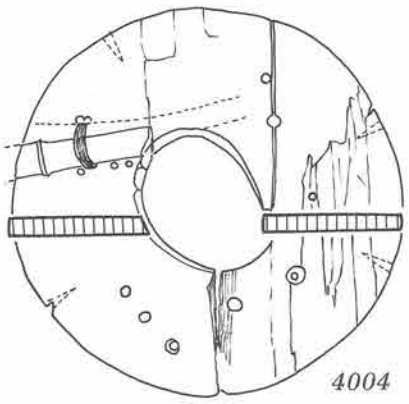


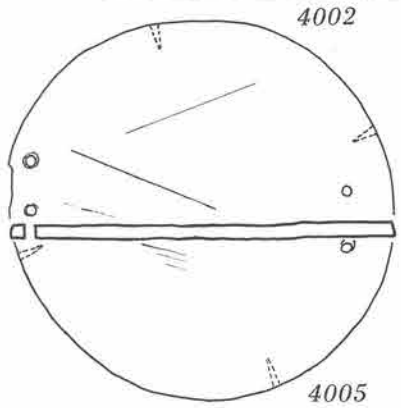
3901・3902・3904・3907・3908・3912・3919；平城宮，*3903・3906・3910・3915・3920*；平城京，*3905*；和歌山・野田地区，*3909・3911・3916・3917*；長岡京，*3913*；平安京・西市，*3914・3918*；藤原宮

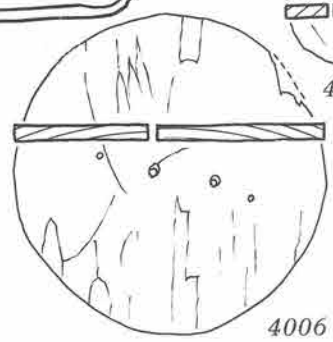

4001


4002

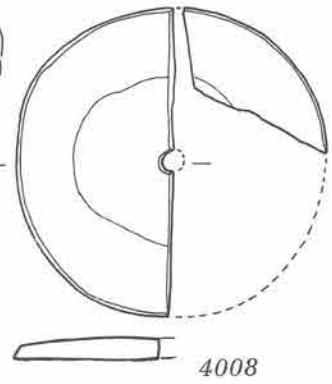

4003

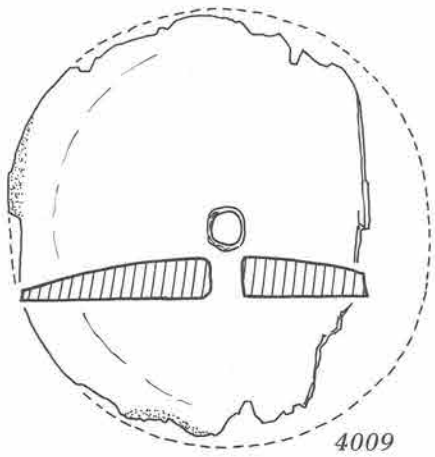

4004

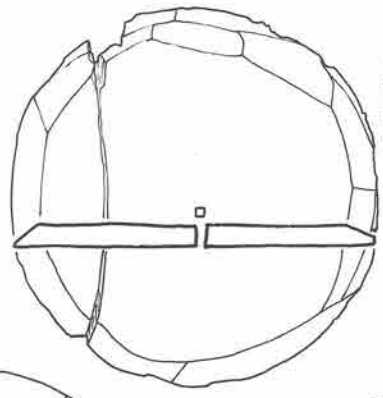

4005

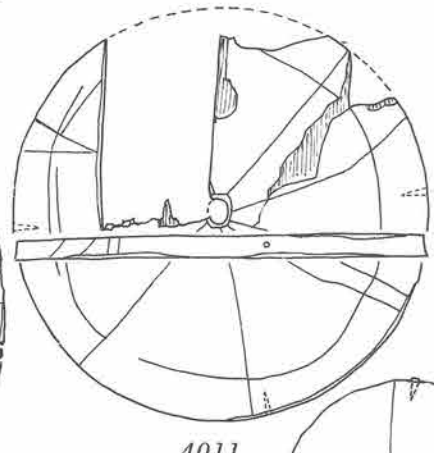

4006

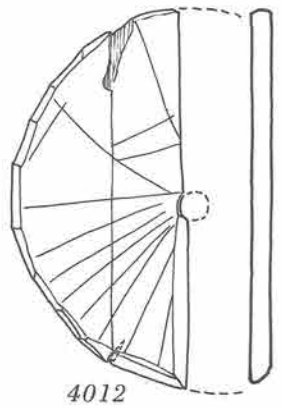
4007

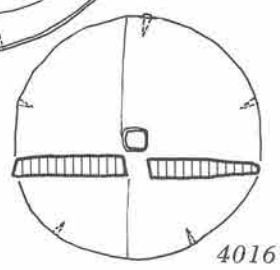

4008

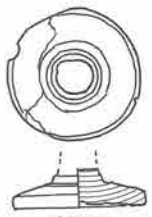

4009

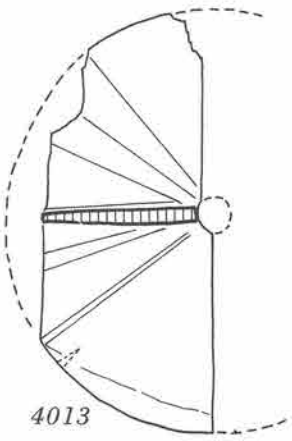

4010

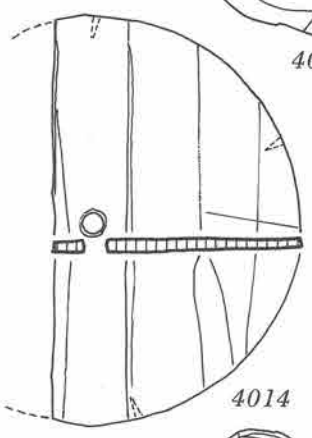

4011

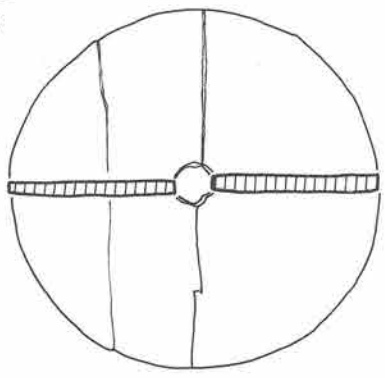

4012

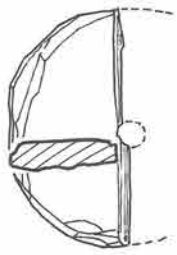

4016

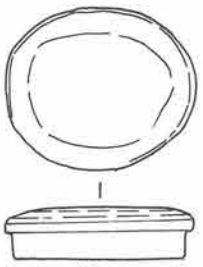

4018

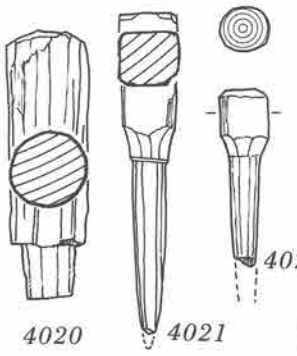

4013


4014

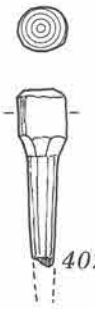

4015


4017


4019

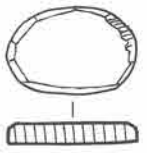

4020

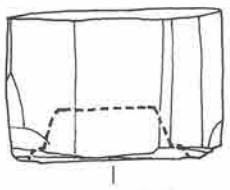
4021

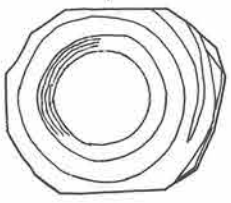

4022

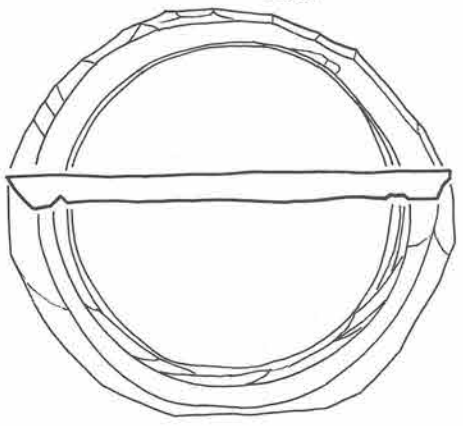
4023

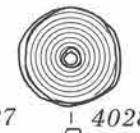
4024


4032




4025

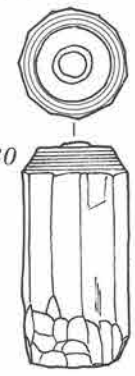

4026

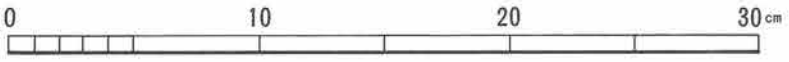

4027

4028

4029

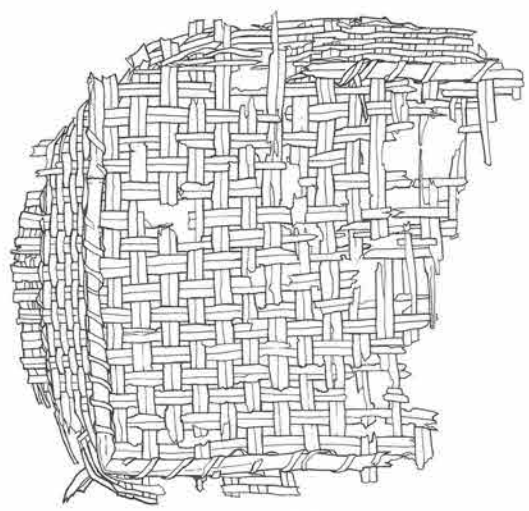
4030


4031

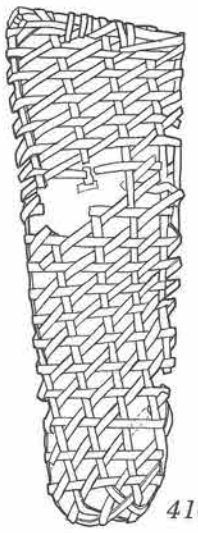


4001；京都・大藪，*4002*・*4010*・*4011*・*4018*～*4022*・*4027*・*4028*・*4030*・*4031*；平城宮，*4003*；大阪・大蔵司，*4004*；奈良・白毫寺，*4005*；滋賀・鴨，*4006*・*4017*・*4023*・*4024*・*4029*・*4032*；長岡京，*4007*・*4009*・*4012*・*4014*・*4015*；平城京，*4008*；長岡宮，*4013*・*4016*；平安京・西市，*4025*；平安京・西寺，*4026*；京都・古殿

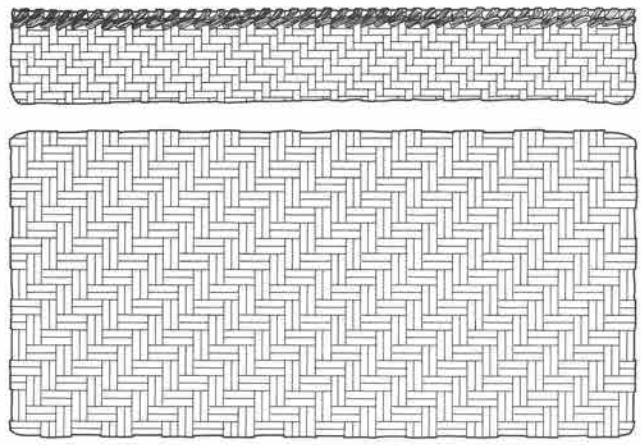
籠編物



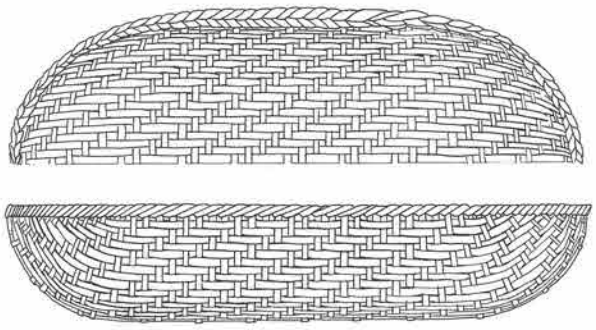
4101



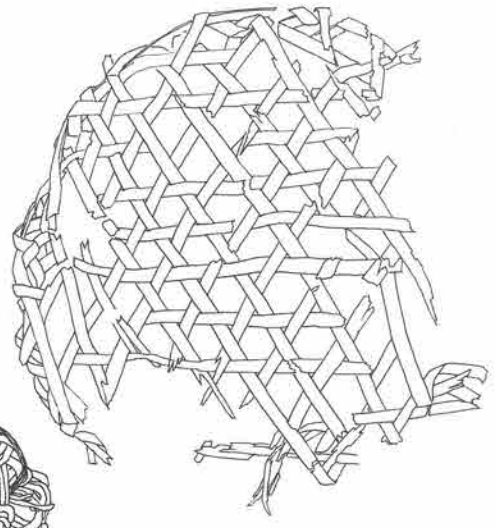
4105



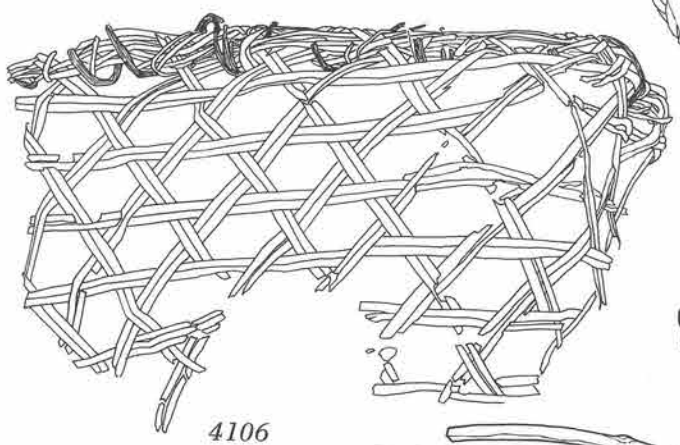
4104



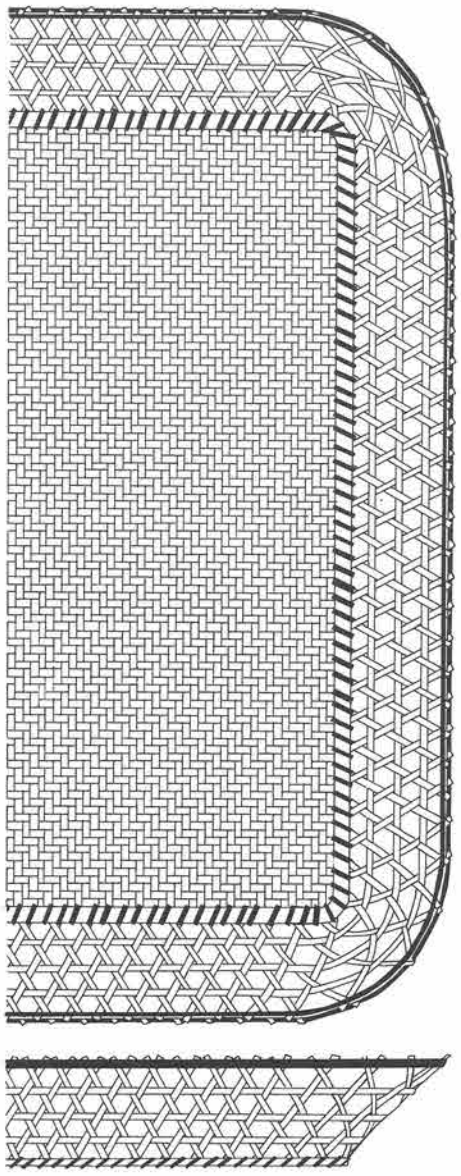
4103



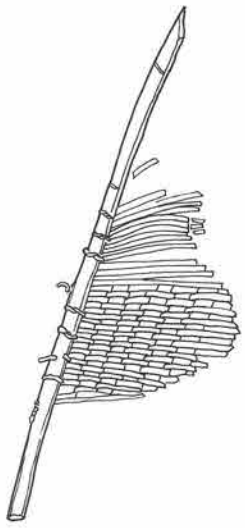
4107

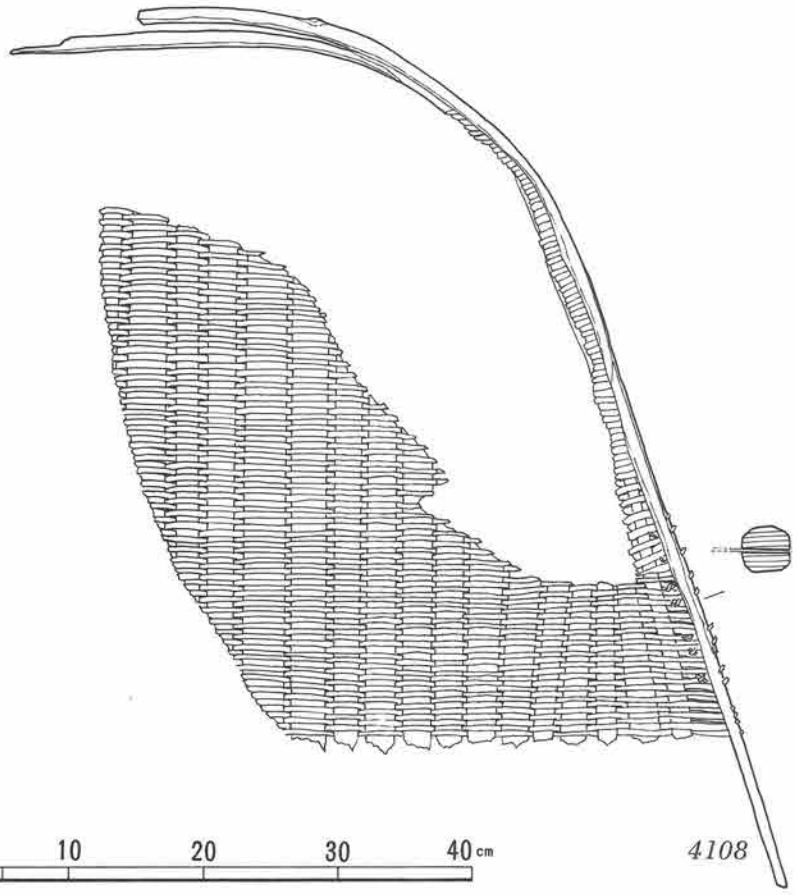


4106



4102



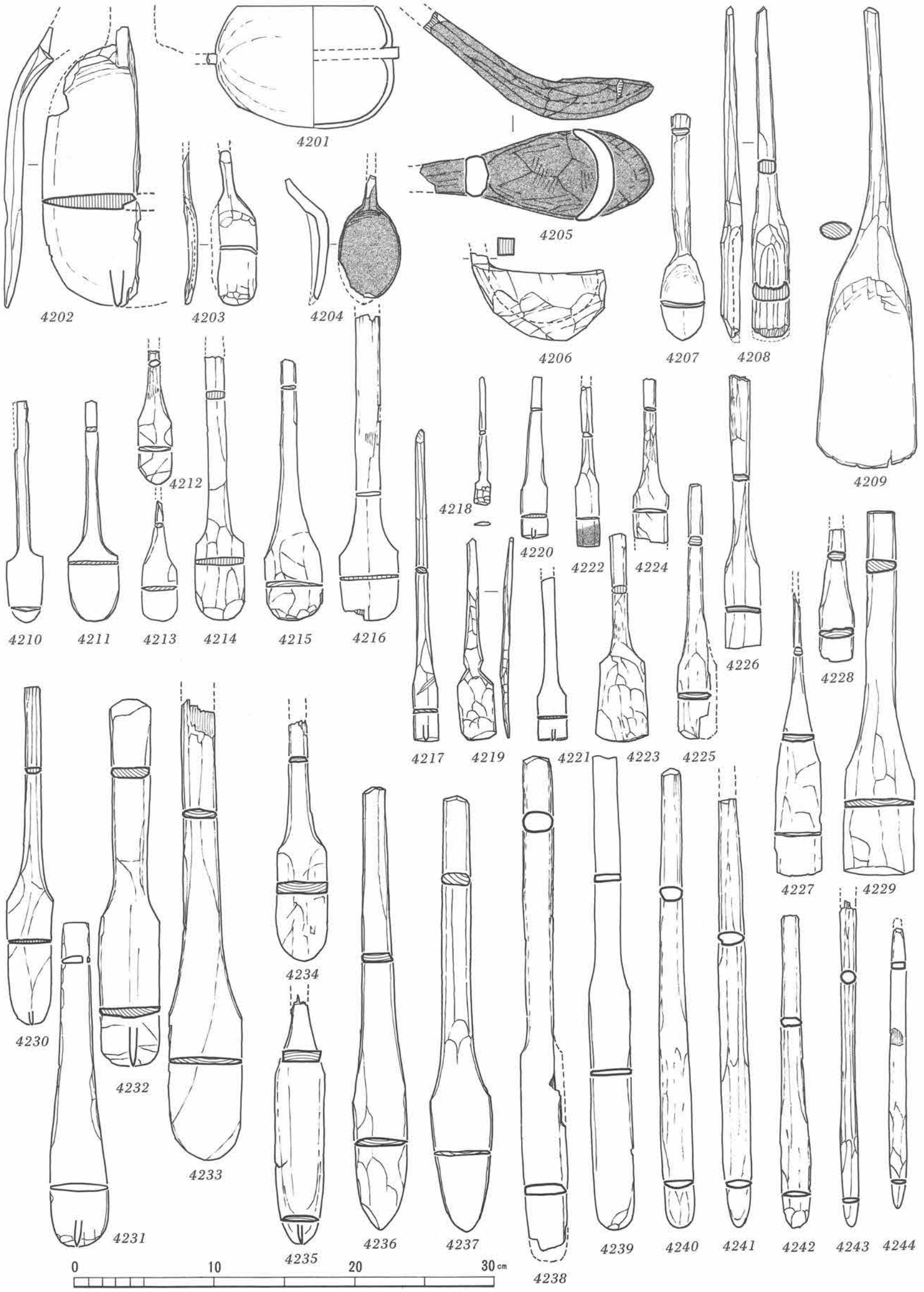


4108

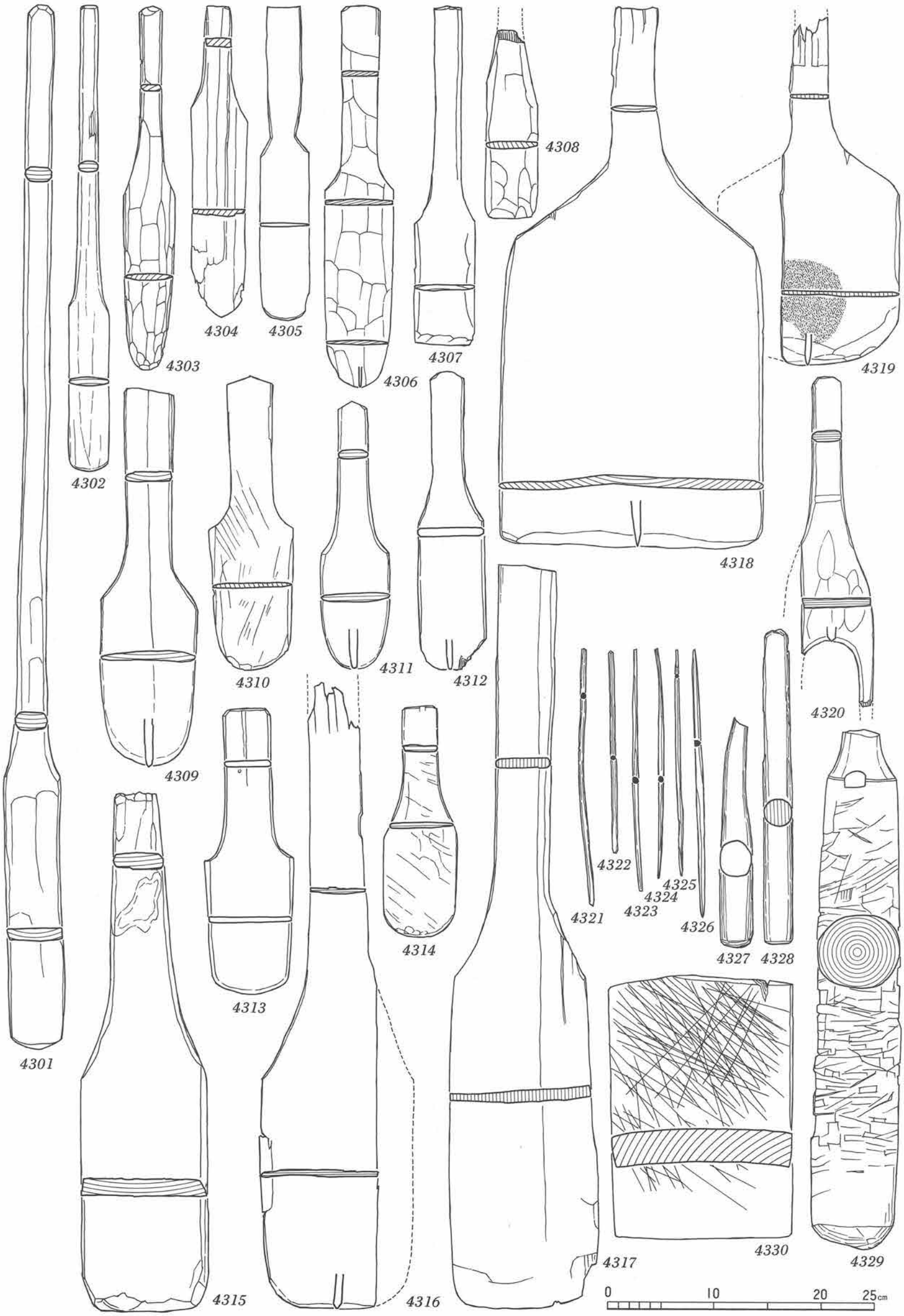
0 10 20 30 40 cm

0 10 20 cm

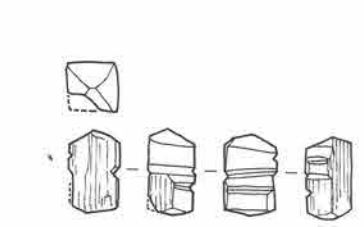
4101～*4103*；藤原宮，*4104*・*4106*・*4107*；平城宮，*4105*；長岡京，*4108*；滋賀・穴太



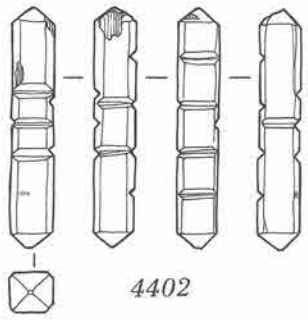
4201～4203・4208・4210・4211・4214・4217～4222・4226・4231・4233～4237；平城宮，*4204・4206・4227・4230*；平城京，*4205・4238・4240・4241・4243・4244*；京都・古殿，*4207・4213・4228・4242*；藤原宮，*4209*；大阪・上田部，*4212・4215・4223～4225・4239*；長岡京，*4216・4229*；平安京・西市，*4232*；和歌山・野田地区



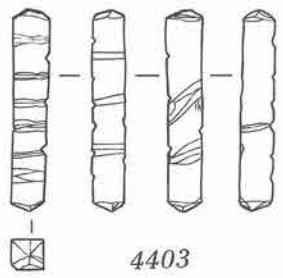
4301・4329・4330；兵庫・吉田南，*4302・4325*；兵庫・八反長，*4303～4307・4316～4320・4322*；平城宮，*4308・4312*；長岡京，*4309・4311・4314・4328*；滋賀・鴨，*4310・4315・4321*；平城京，*4313*；京都・下畑，*4323・4324*；平安京・西市，*4326*；京都・古殿，*4327*；滋賀・久野部



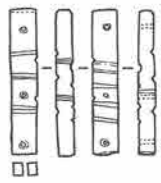
4401



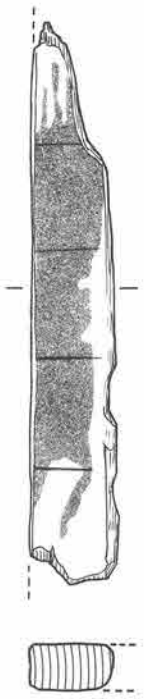
4402



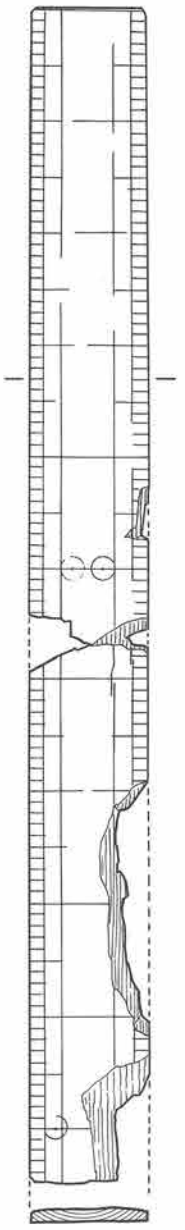
4403



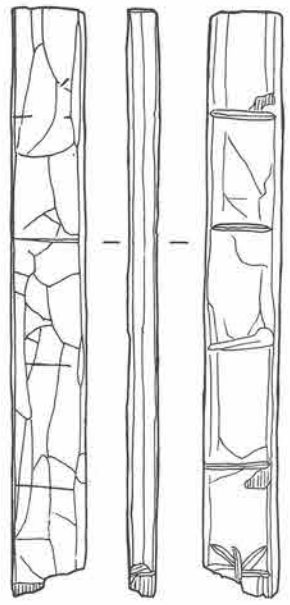
4404



4405

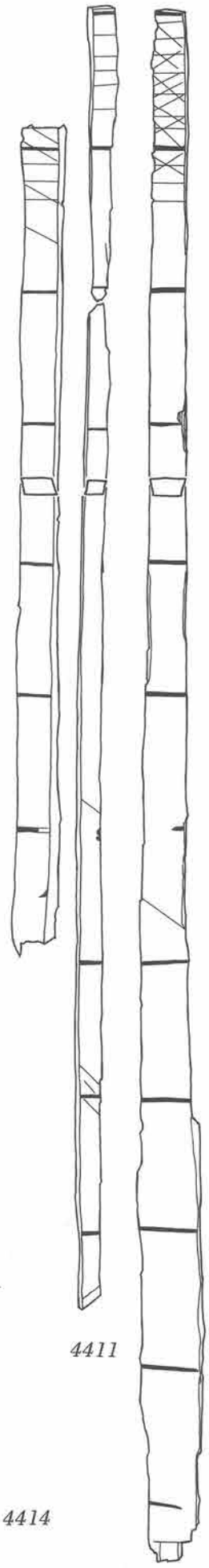


4406

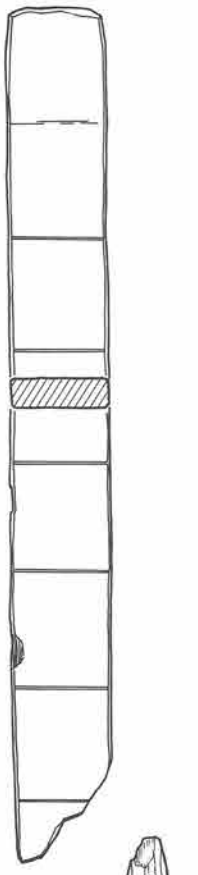


4407

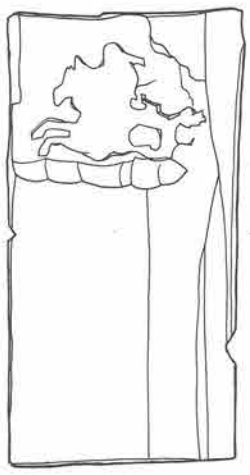
4410

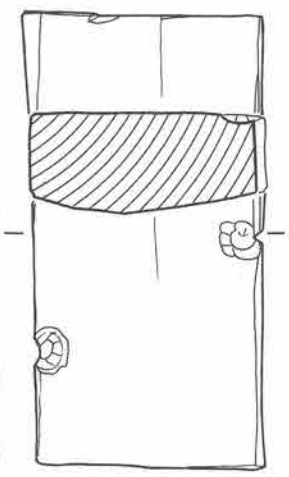


4411



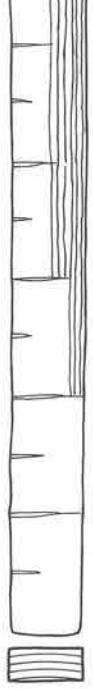
4409



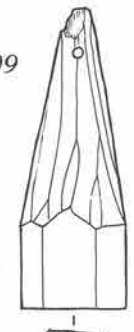


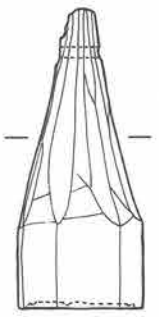
4412

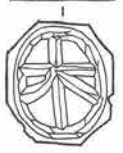
4413



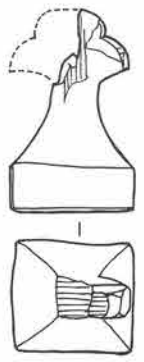
4408

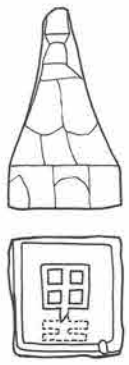


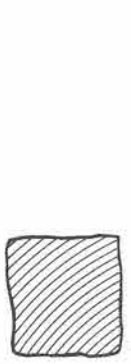




4414





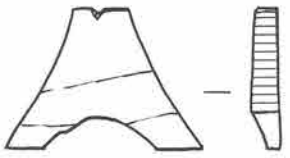


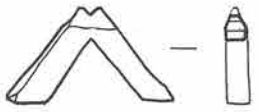
4415

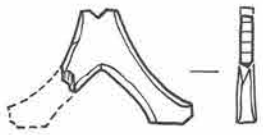
0　10　20 cm

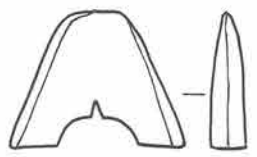
4401；藤原宮，*4402*・*4403*・*4406*・*4410*～*4412*・*4414*；平城宮，*4405*；奈良・和田廃寺，*4407*・*4415*；平安京・西市，*4408*；京都・仁和寺南院，*4404*・*4409*・*4413*；平城京

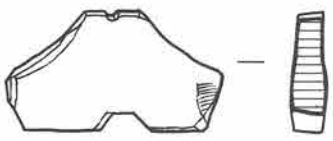
4501

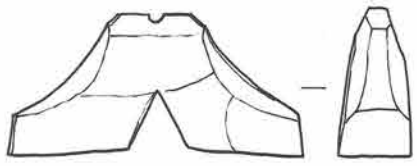

4502


4503

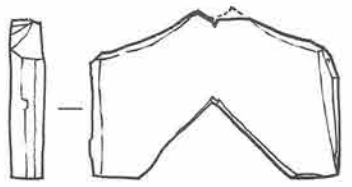

4504

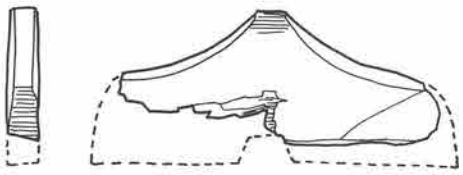

4505

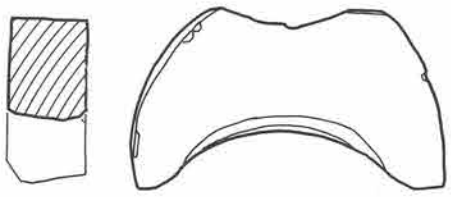

4506


4507

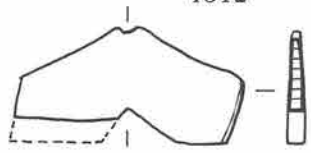
4508

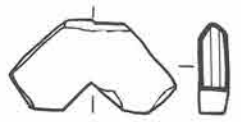

4509

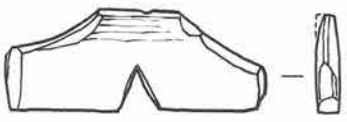

4510

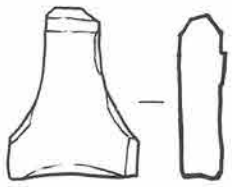

4511

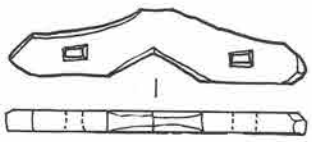
4512

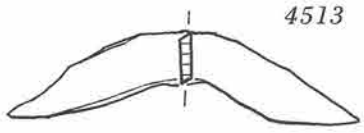

4513

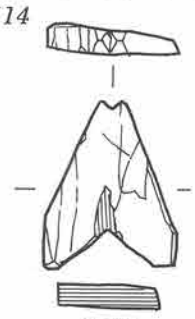

4514

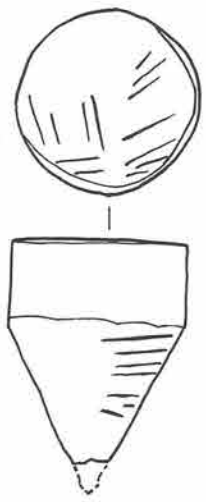

4515

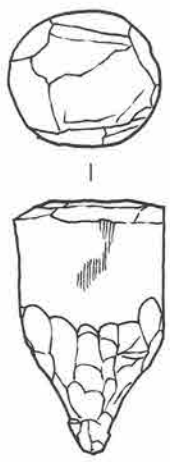

4516

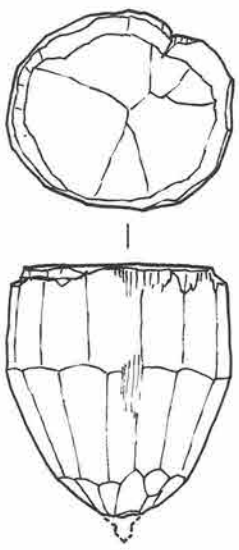

4517

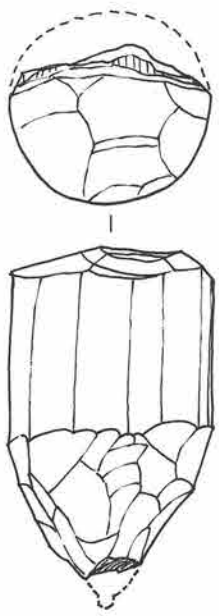

4518

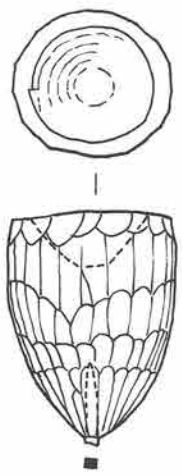

4519

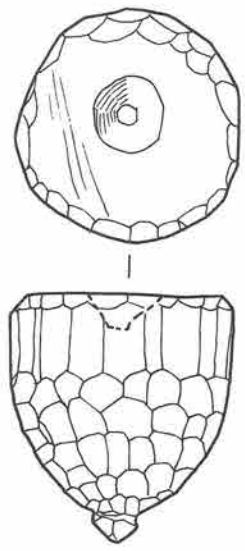

4520

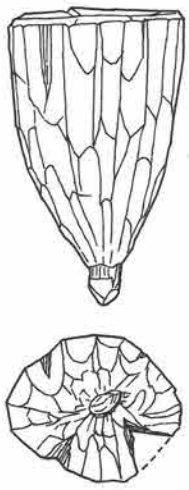

4521

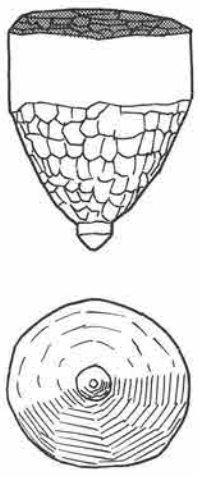

4522

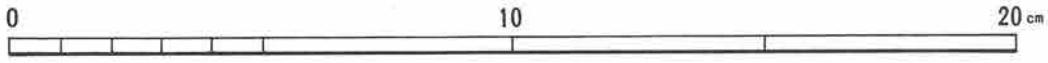

4523


4524

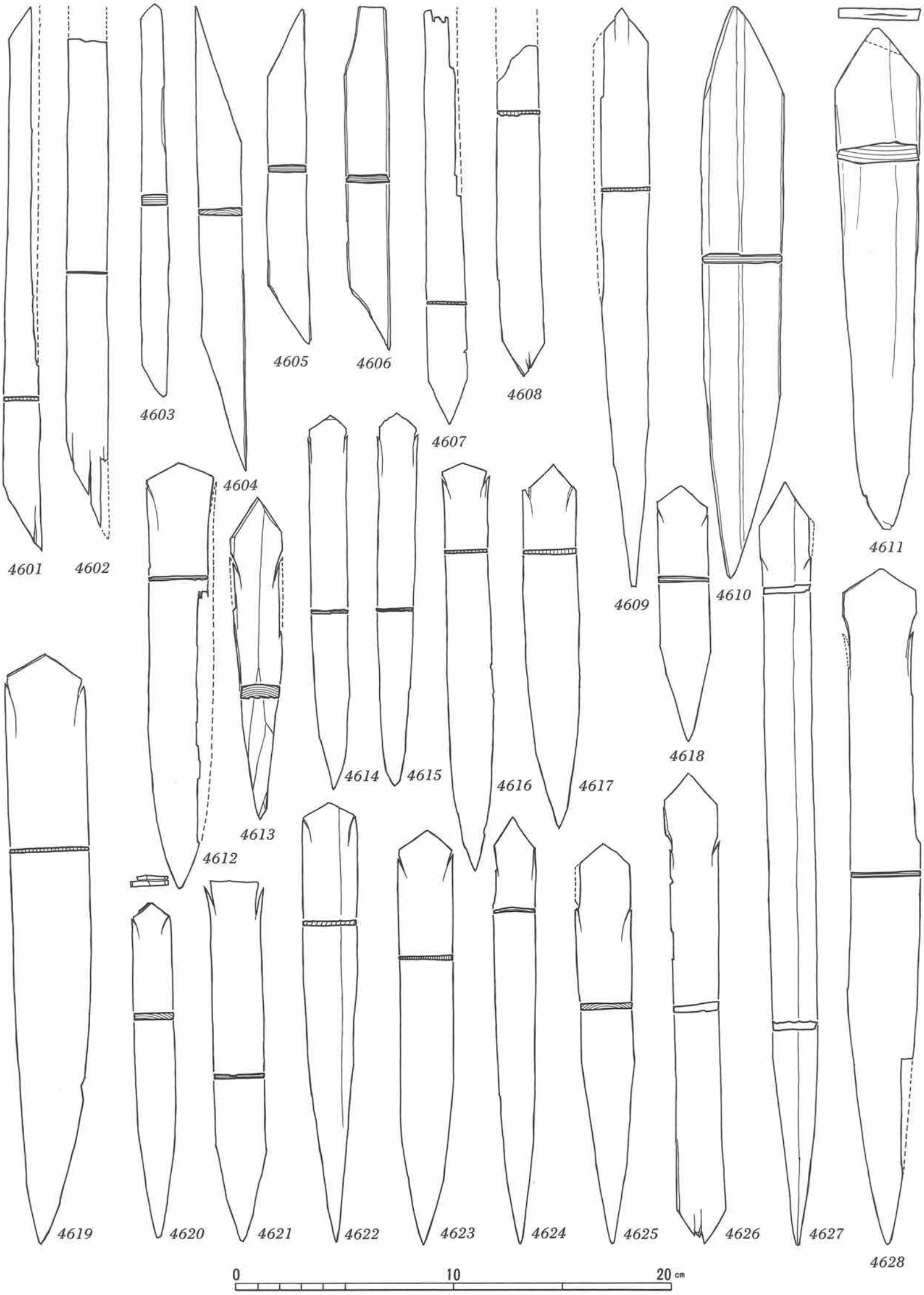

4525


4526

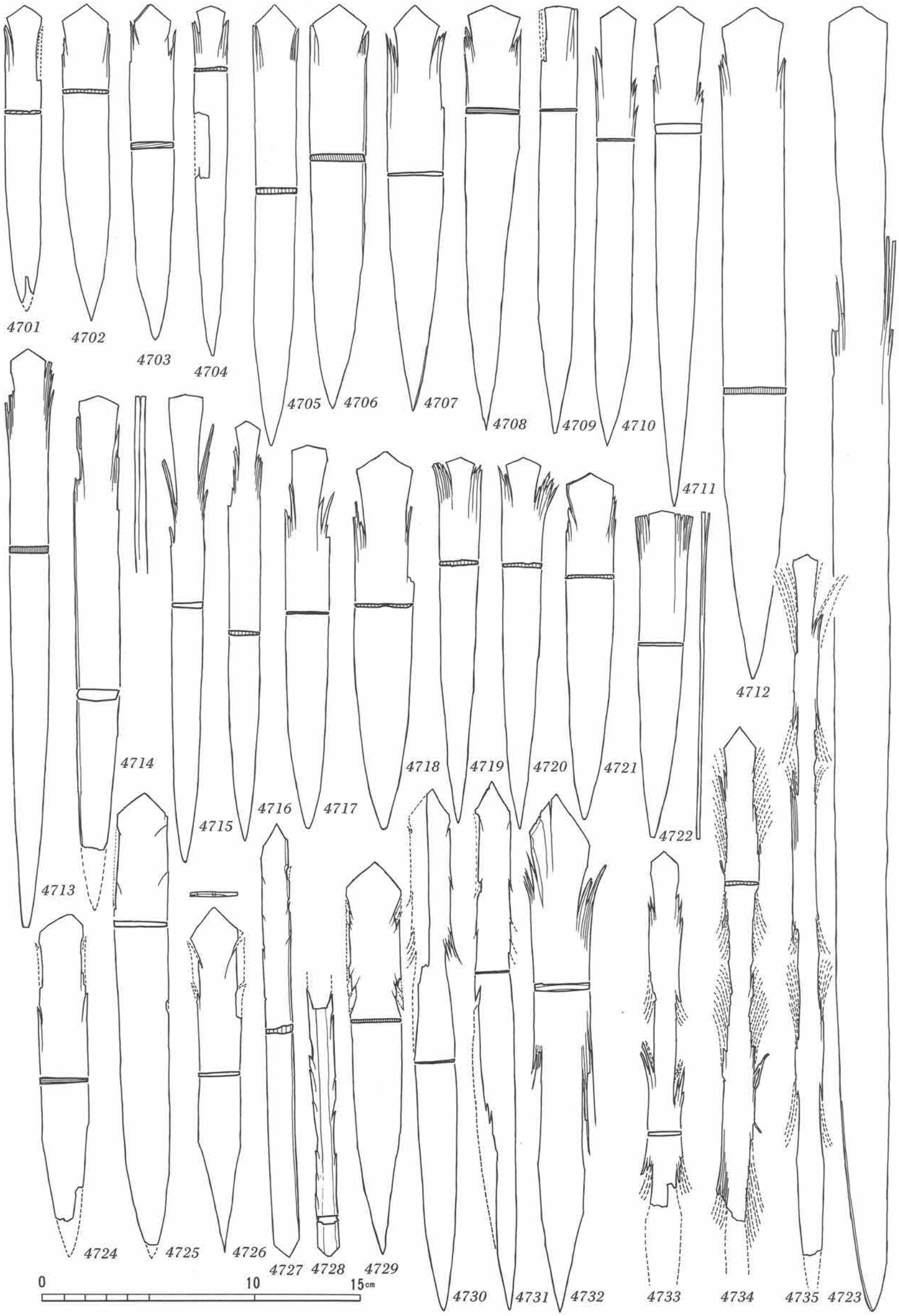

4527



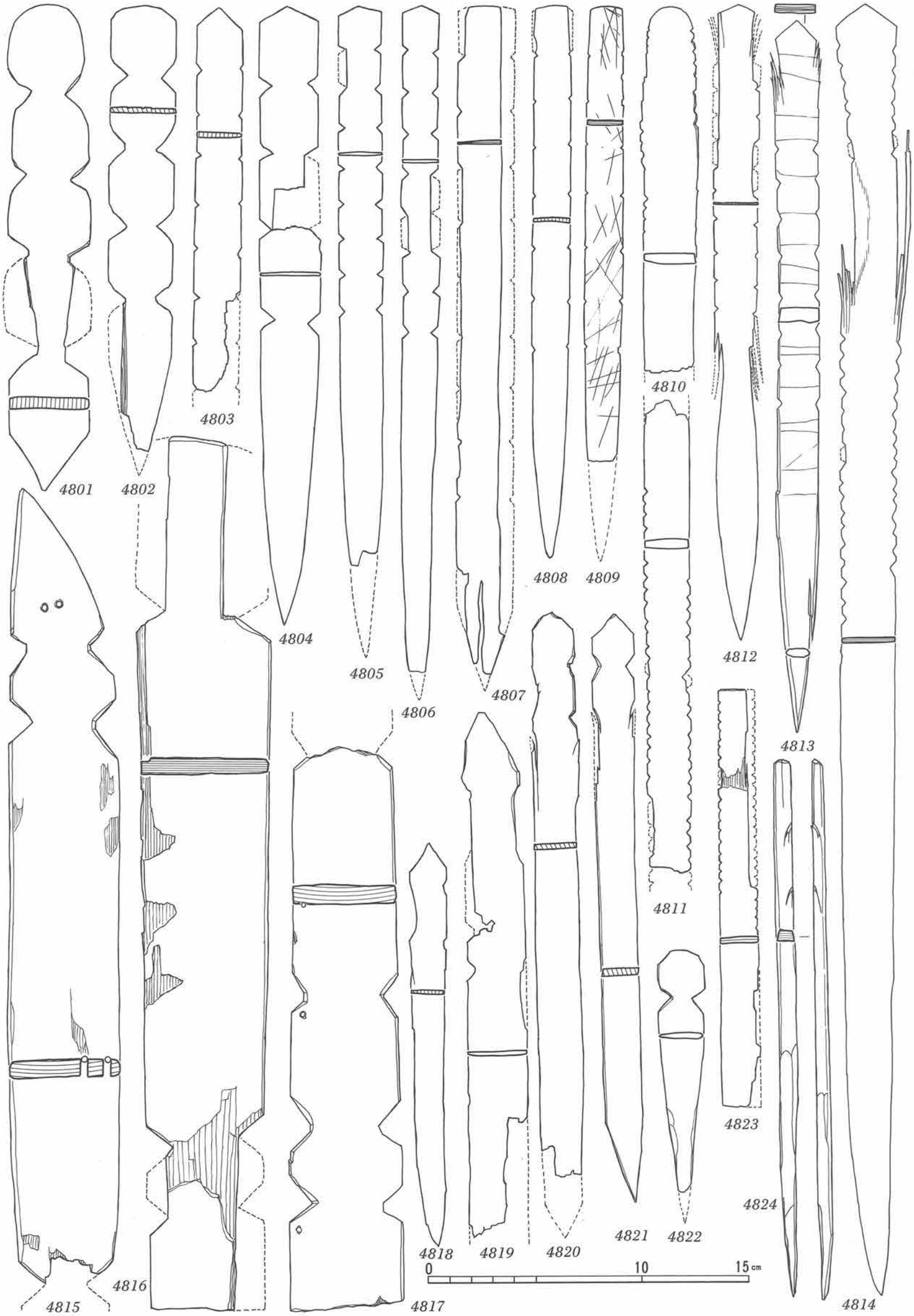
4501～4505・4507・4508・4522～4524；平城宮，*4506・4509・4510・4517・4520・4521*；平城京，*4511・4516*；長岡京，*4512・4515*；奈良・坂田寺，*4513・4514*；藤原京・紀寺，*4518*；平安京・西市，*4519*；平安京，*4525*；平安京・西寺，*4526・4527*；藤原宮



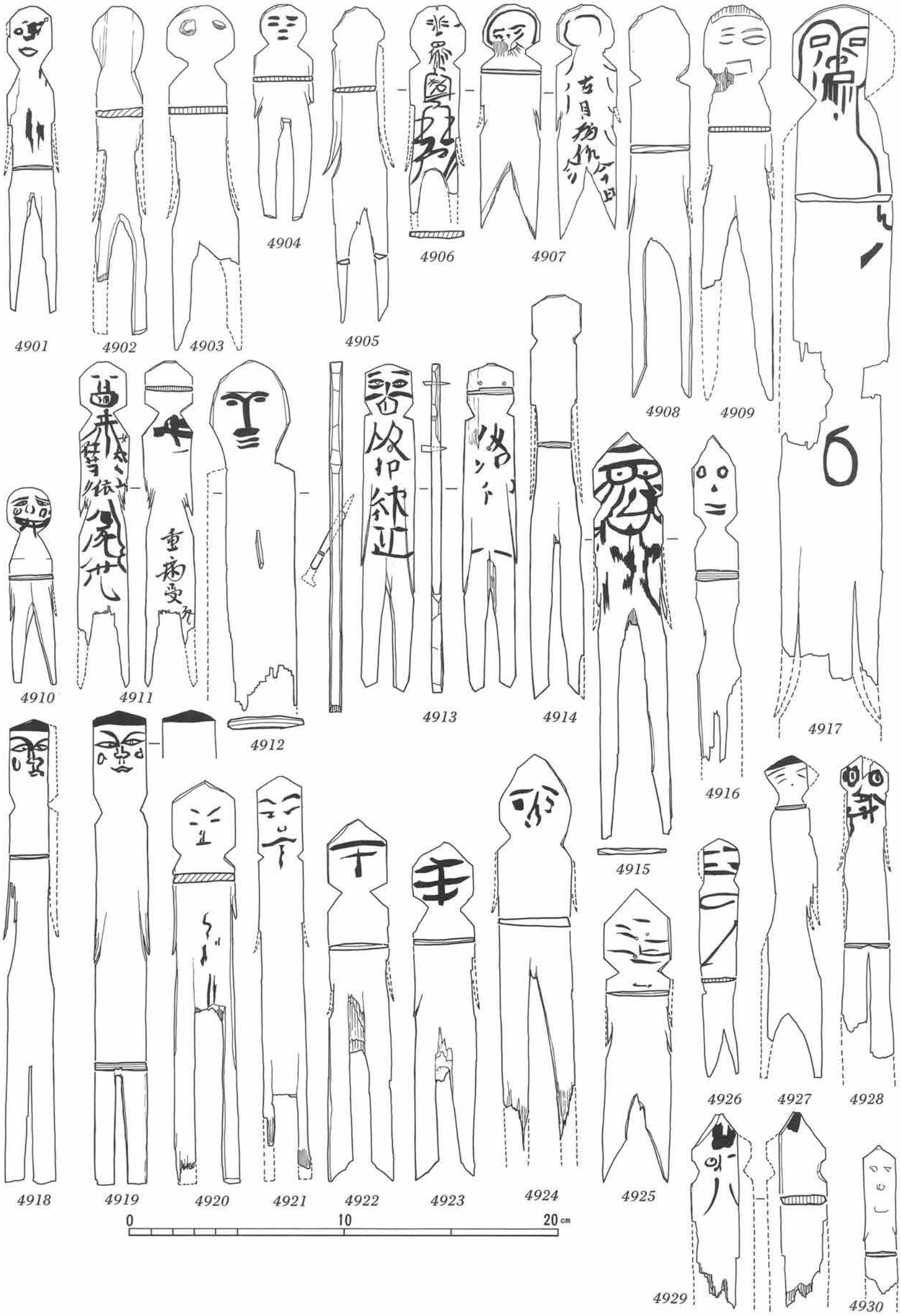
4601・*4602*・*4607*・*4608*；難波宮，*4603*・*4611*・*4614*・*4615*・*4626*；藤原宮，*4604*・*4616*・*4617*・*4624*；長岡京，*4605*・*4606*；兵庫・姫谷，*4609*；藤原京，*4610*・*4612*・*4613*・*4619*・*4622*・*4628*；平城宮，*4618*；滋賀・伊井永田，*4620*；大阪・大蔵司，*4621*；京都・中臣，*4623*・*4625*；平城京，*4627*；滋賀・仏性寺



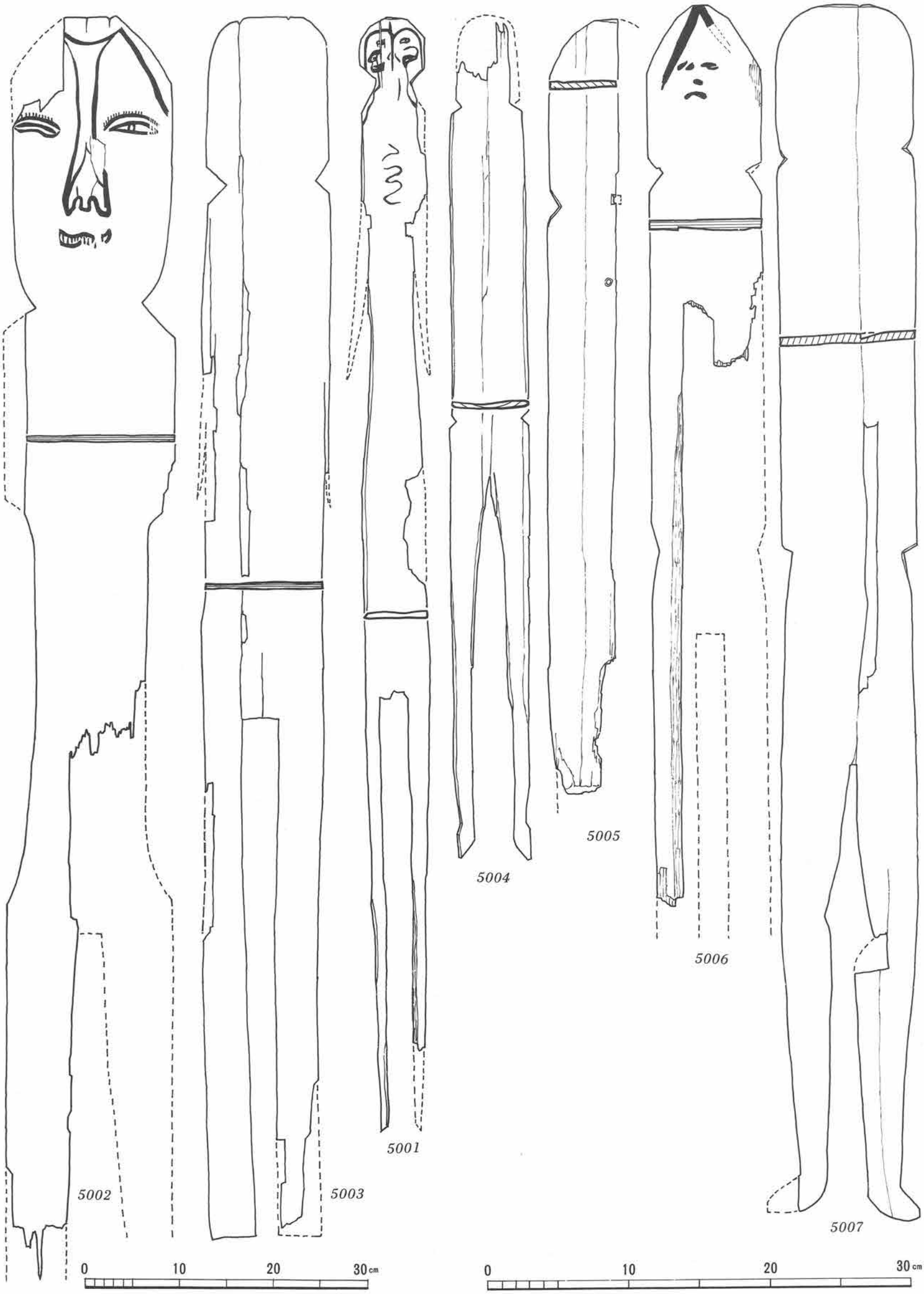
4701；大阪・大蔵司，*4702・4718・4721・4734*；平安京，*4703*；兵庫・上原田，*4704・4709・4735*；平安京・西市，*4705・4706・4712・4713・4715・4722・4726・4729*；平城宮，*4707・4708・4728・4733*；平城京，*4710・4725*；長岡京，*4711*；三重・下郡，*4714*；兵庫・出合，*4716*；京都・中臣，*4717*；滋賀・野畑，*4719・4720*；滋賀・鴨，*4723*；兵庫・姫谷，*4724・4727・4732*；藤原宮，*4730・4731*；藤原京



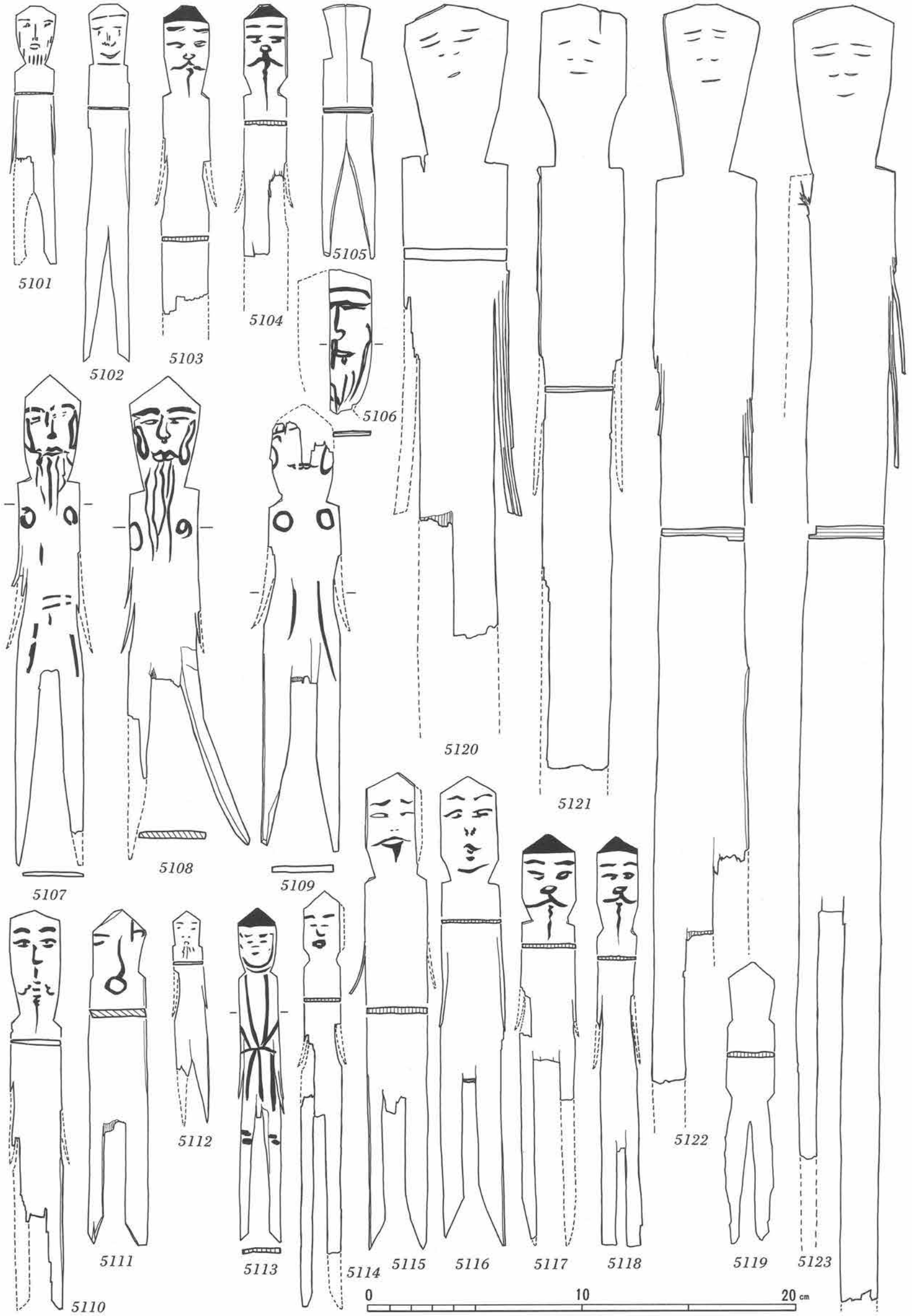
4801・4803・4821・4823・4824；平城宮，*4802・4804・4813*；平城京，*4805・4806・4822*；長岡京，*4807～4809*；京都・中臣，*4810・4811・4814*；兵庫・姫谷，*4812*；平安京・西市，*4815～4817*；兵庫・八反長，*4818*；滋賀・湖西線ＶＤ，*4819*；兵庫・吉田南，*4820*；藤原宮



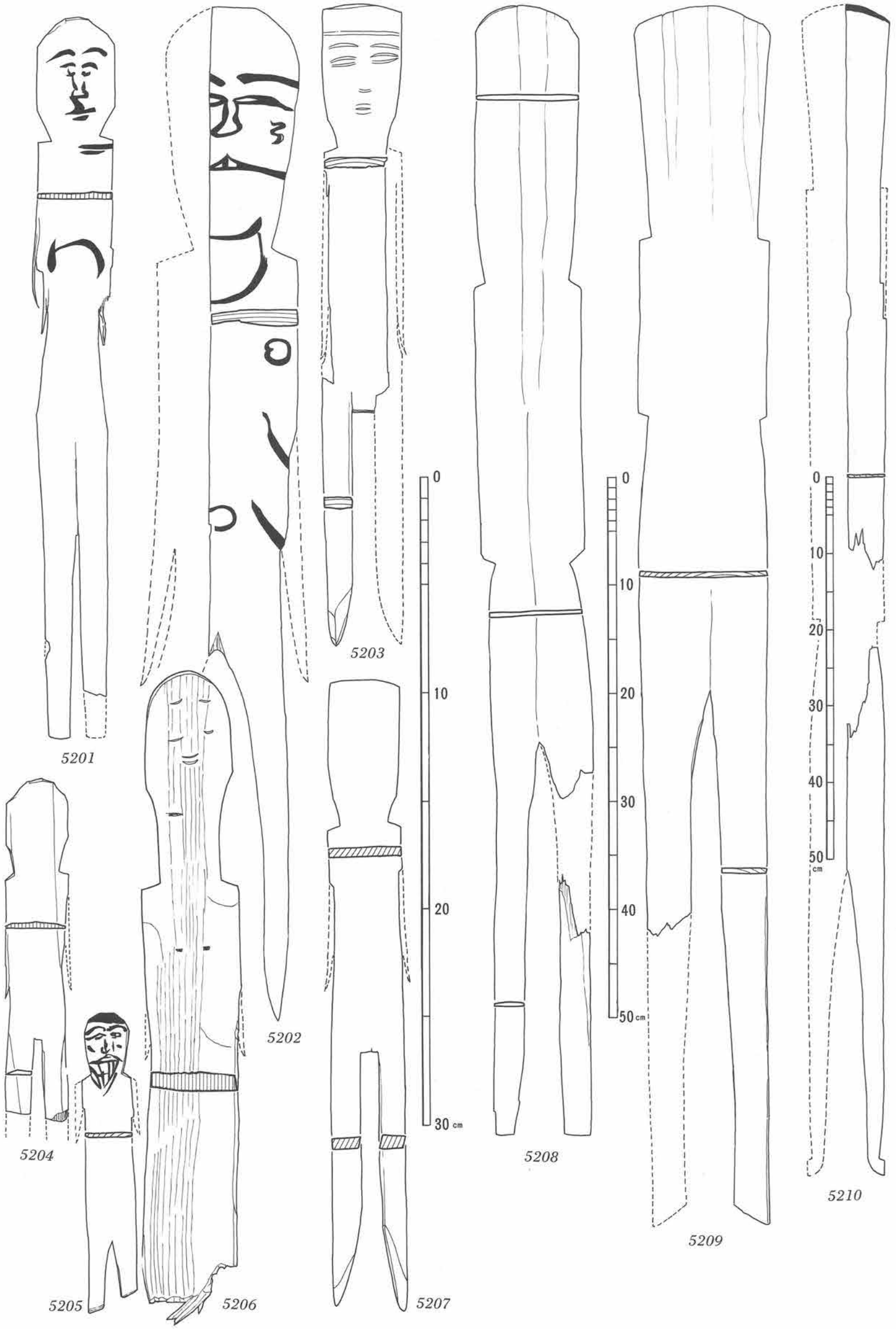
4901～4903・4926・4927・4930；藤原宮，*4904～4907・4910～4913・4918・4919・4922・4923・4925・4929*；平城宮，*4908・4916・4920*；平城京，*4909*；滋賀・服部，*4914・4928*；大阪・大蔵司，*4915・4917・4924*；長岡京，*4921*；京都・中久世



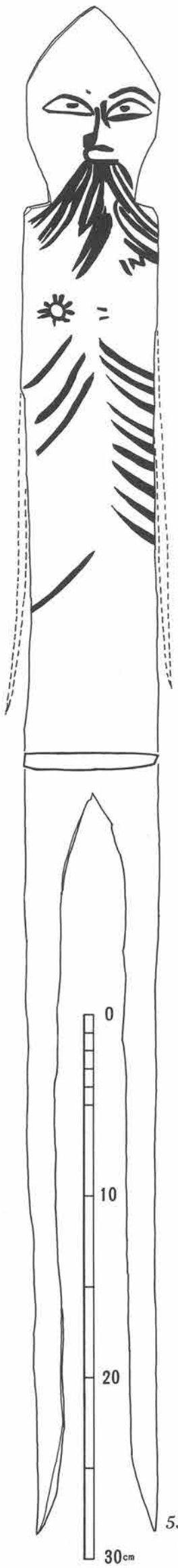
5001；長岡京，*5002*・*5003*；平城京，*5004*・*5005*；滋賀・下鈎，*5006*；京都・定山，*5007*；和歌山・野田地区



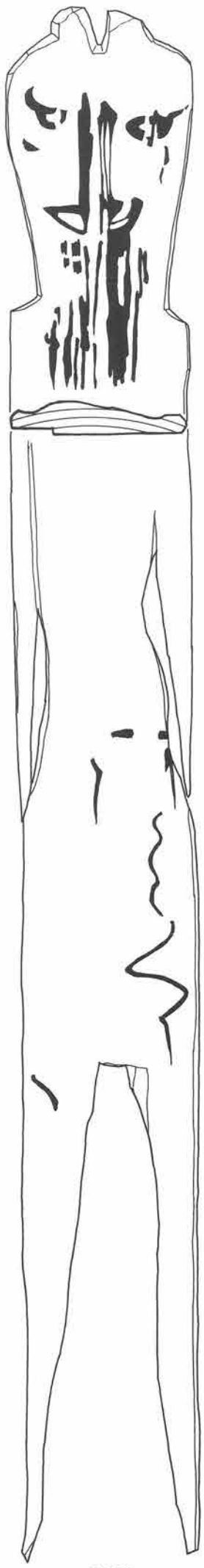
5101；平城宮，*5102*・*5107*～*5112*；長岡京，*5103*・*5104*・*5114*～*5118*；京都・中久世，*5105*；平安京，*5106*；平城京，*5113*；大阪・大蔵司，*5119*；和歌山・野田地区，*5120*～*5123*；兵庫・姫谷



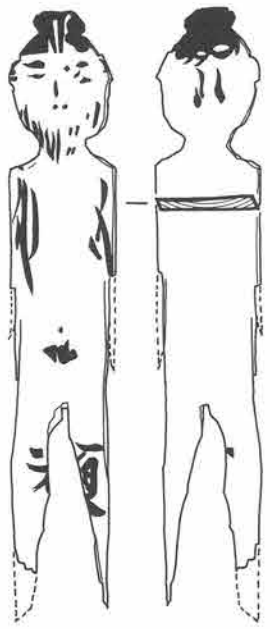
5201；平城宮，*5202*；長岡京，*5203*・*5207*；京都・定山，*5204*・*5208*；和歌山・野田地区，*5205*；大阪・大蔵司，*5206*；京都・古殿，*5209*；平城京，*5210*；藤原宮



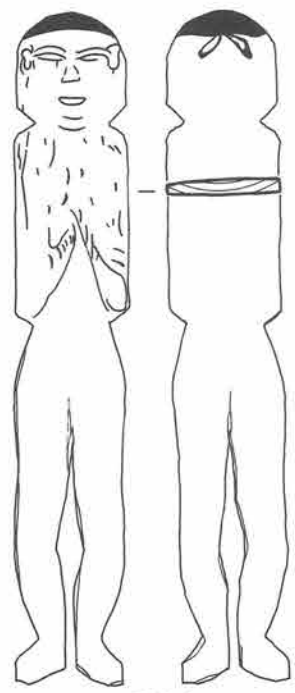
5301



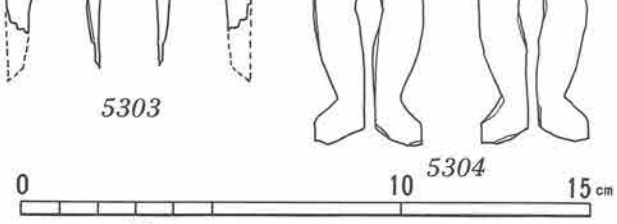
5302



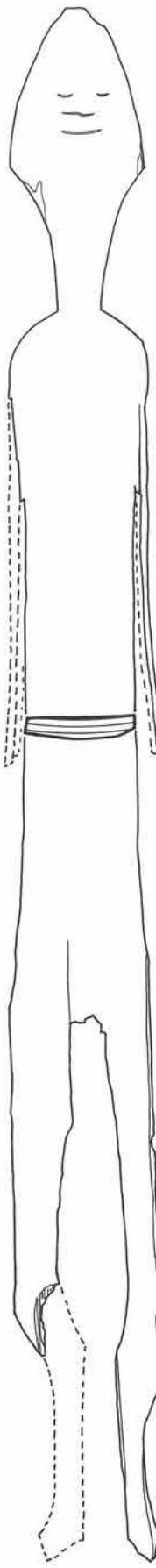
5303



5304

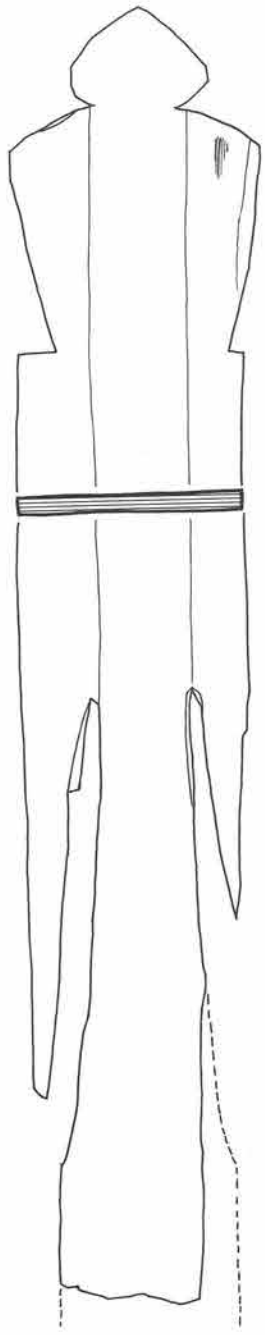


5305

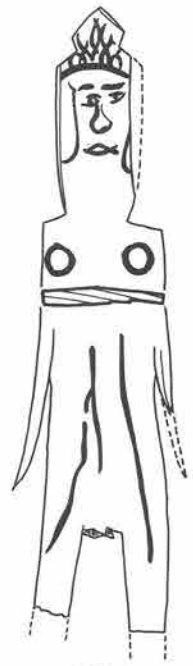


5307

5308



5309

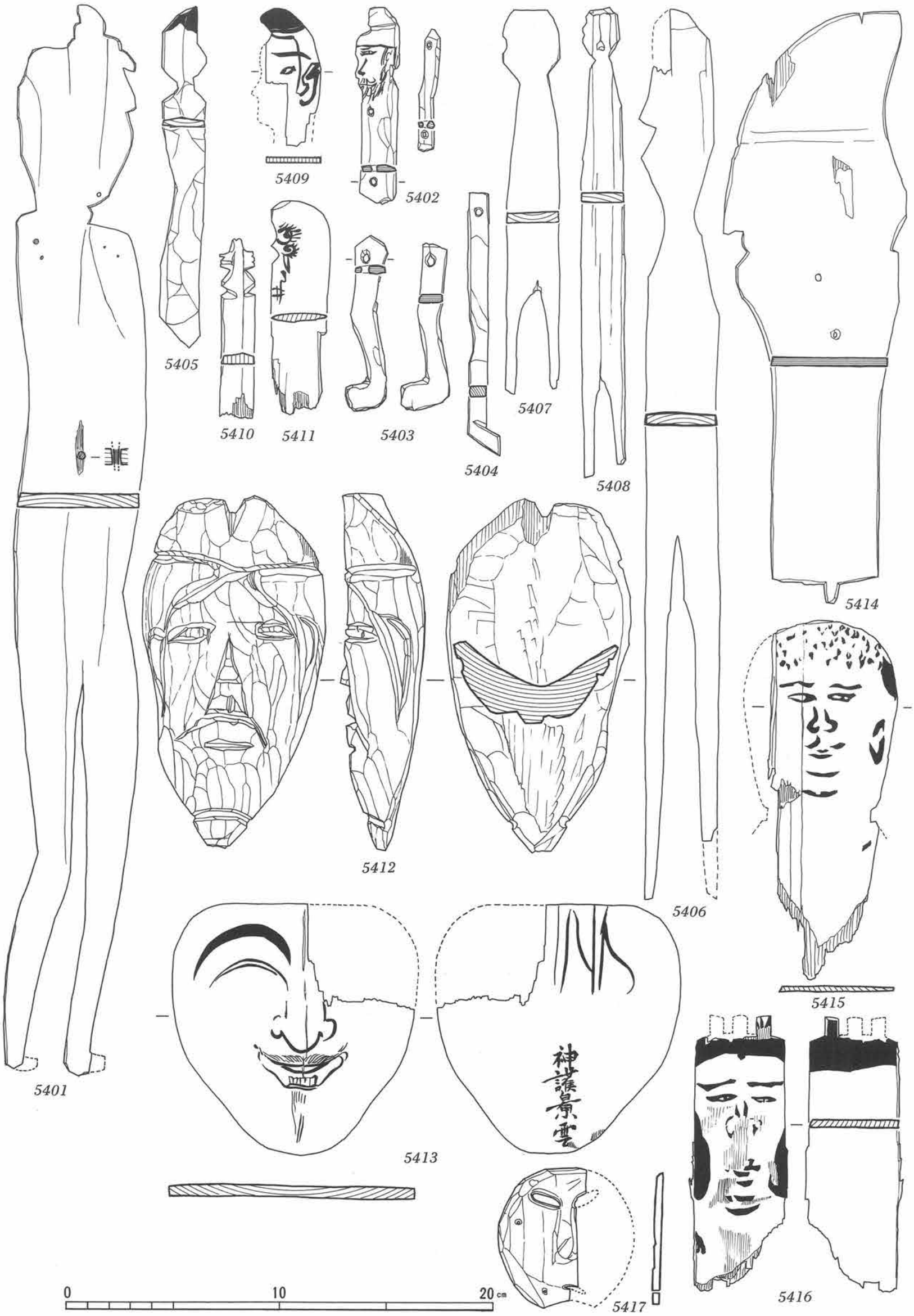


5306

5310

5311

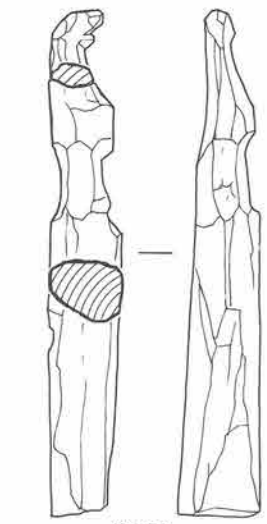
5301・5302・5305・5306・5309；長岡京，*5303・5304*；平城宮，*5307・5308*；兵庫・姫谷，*5310・5311*；平安京



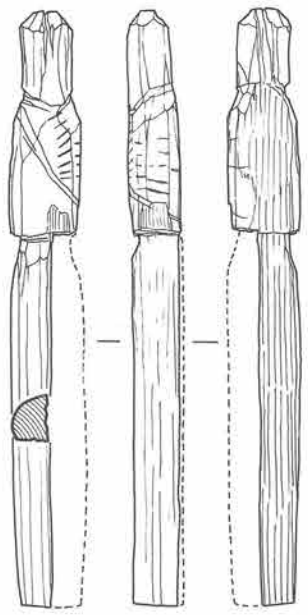
5401　5402　5403　5404　5405　5406　5407　5408　5409　5410　5411　5412　5413　5414　5415　5416　5417

0　10　20 cm

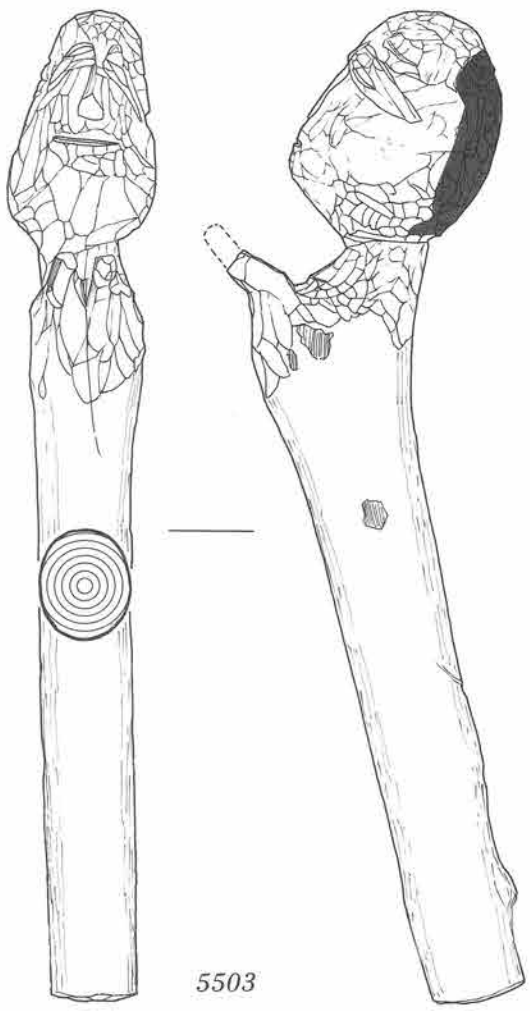
5401・5404・5415・5416；平城京，*5402・5403・5405・5409・5412・5413*；平城宮，*5406・5410・5411*；長岡京，*5407・5408・5414*；京都・鳥羽離宮，*5417*；平安京



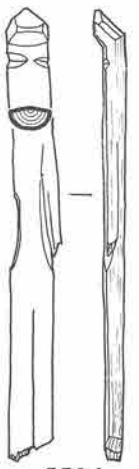
5501



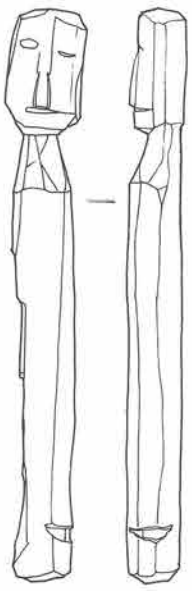
5502



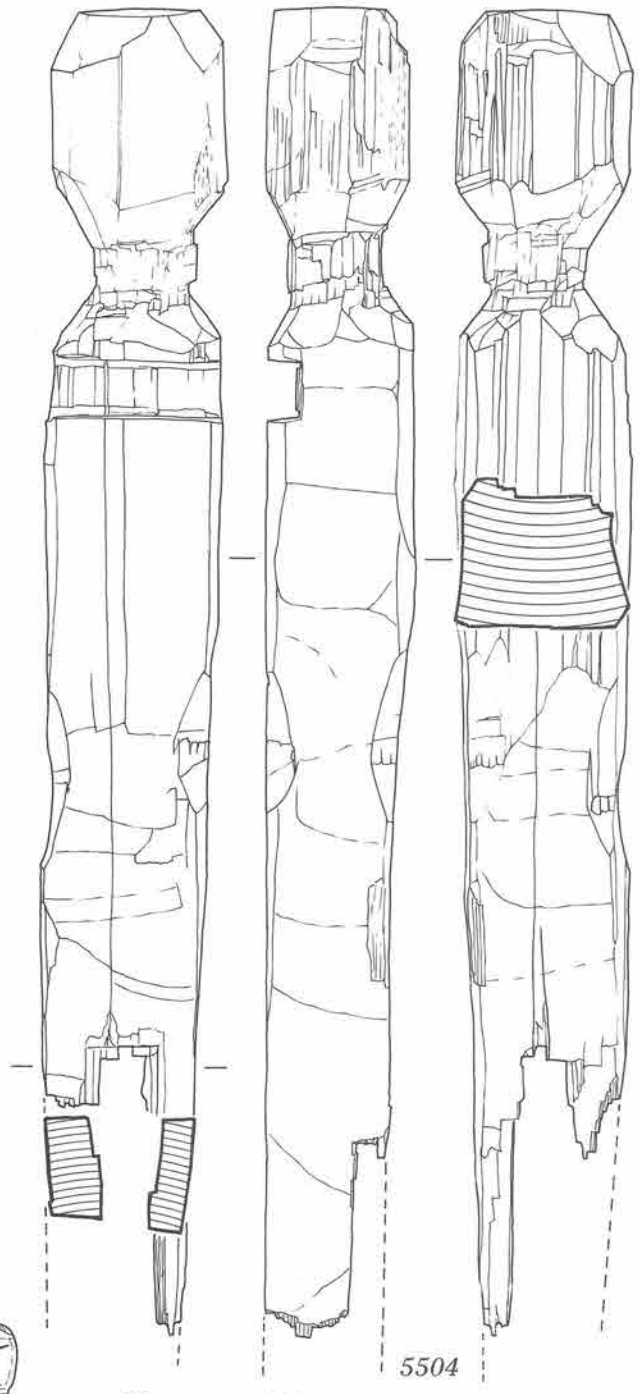
5503



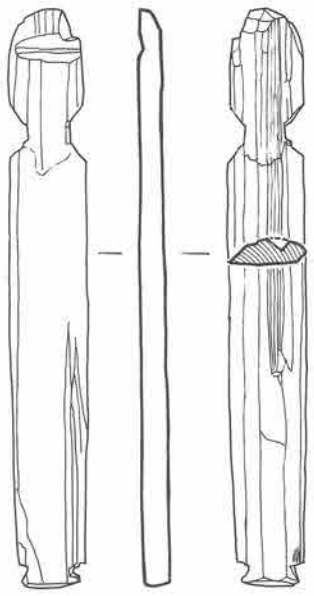
5506



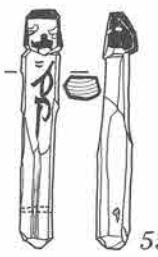
5508



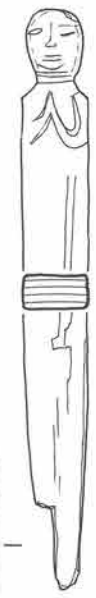
5504



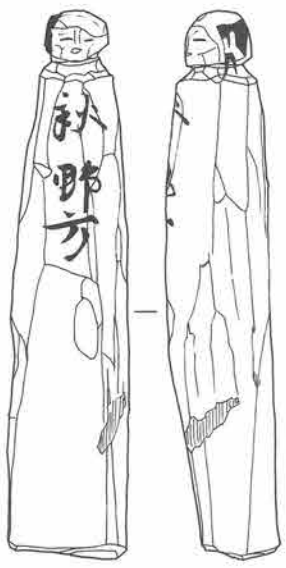
5505



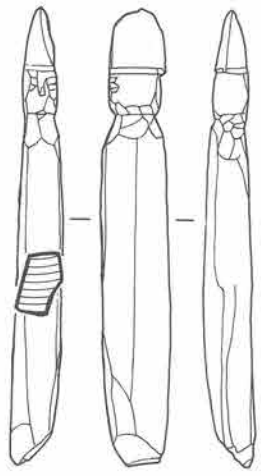
5507



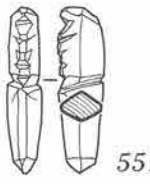
5509



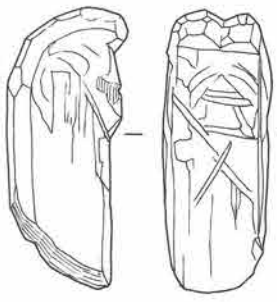
5510



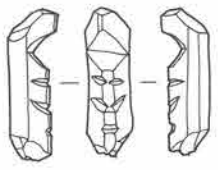
5511



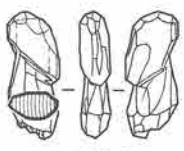
5513



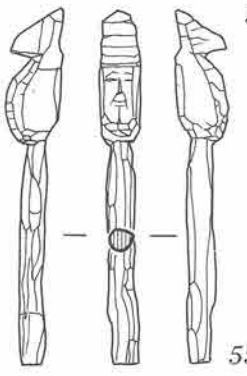
5515



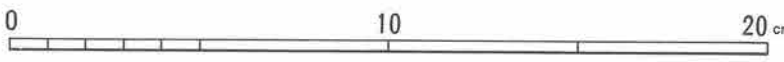
5512



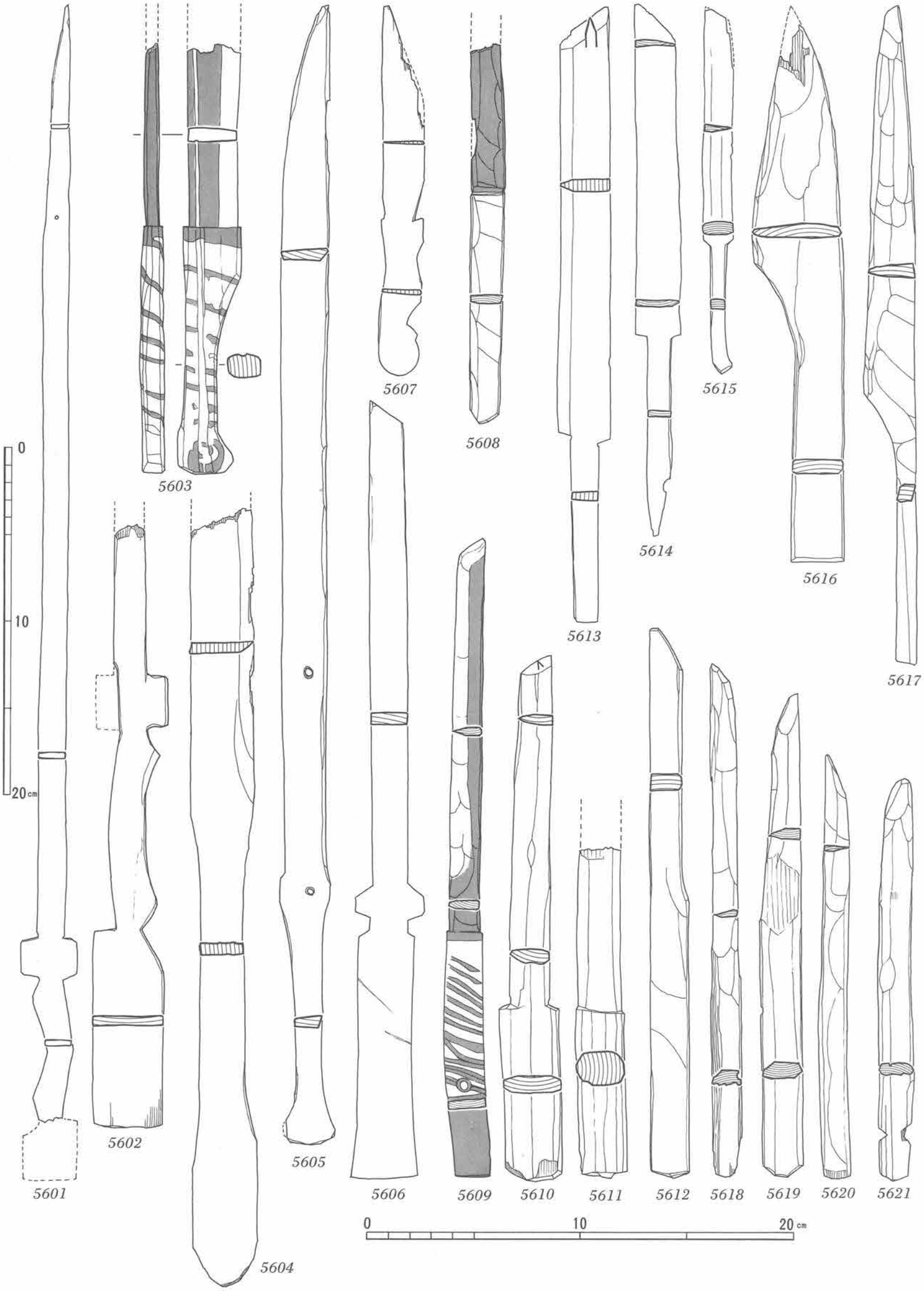
5514



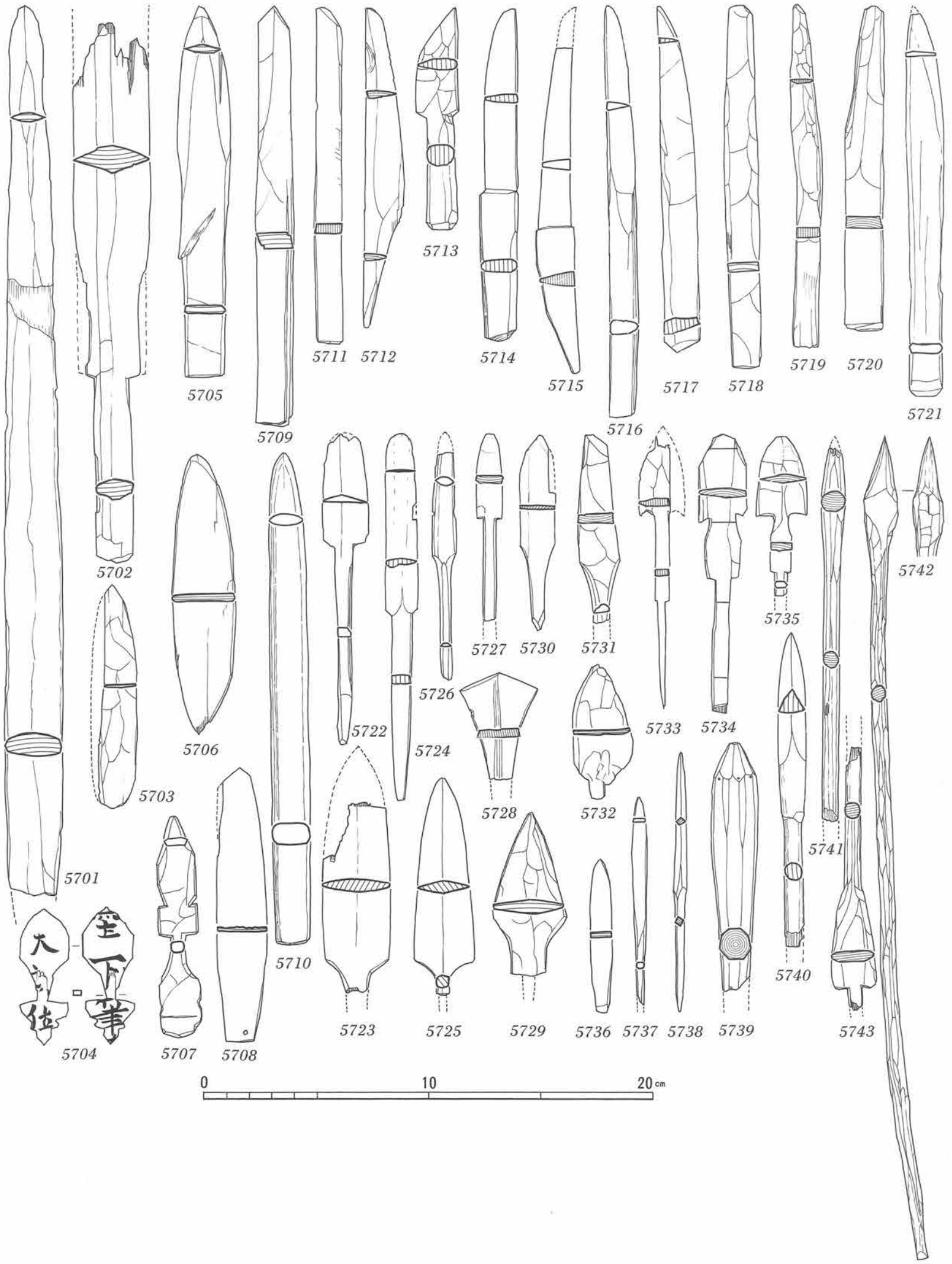
5516



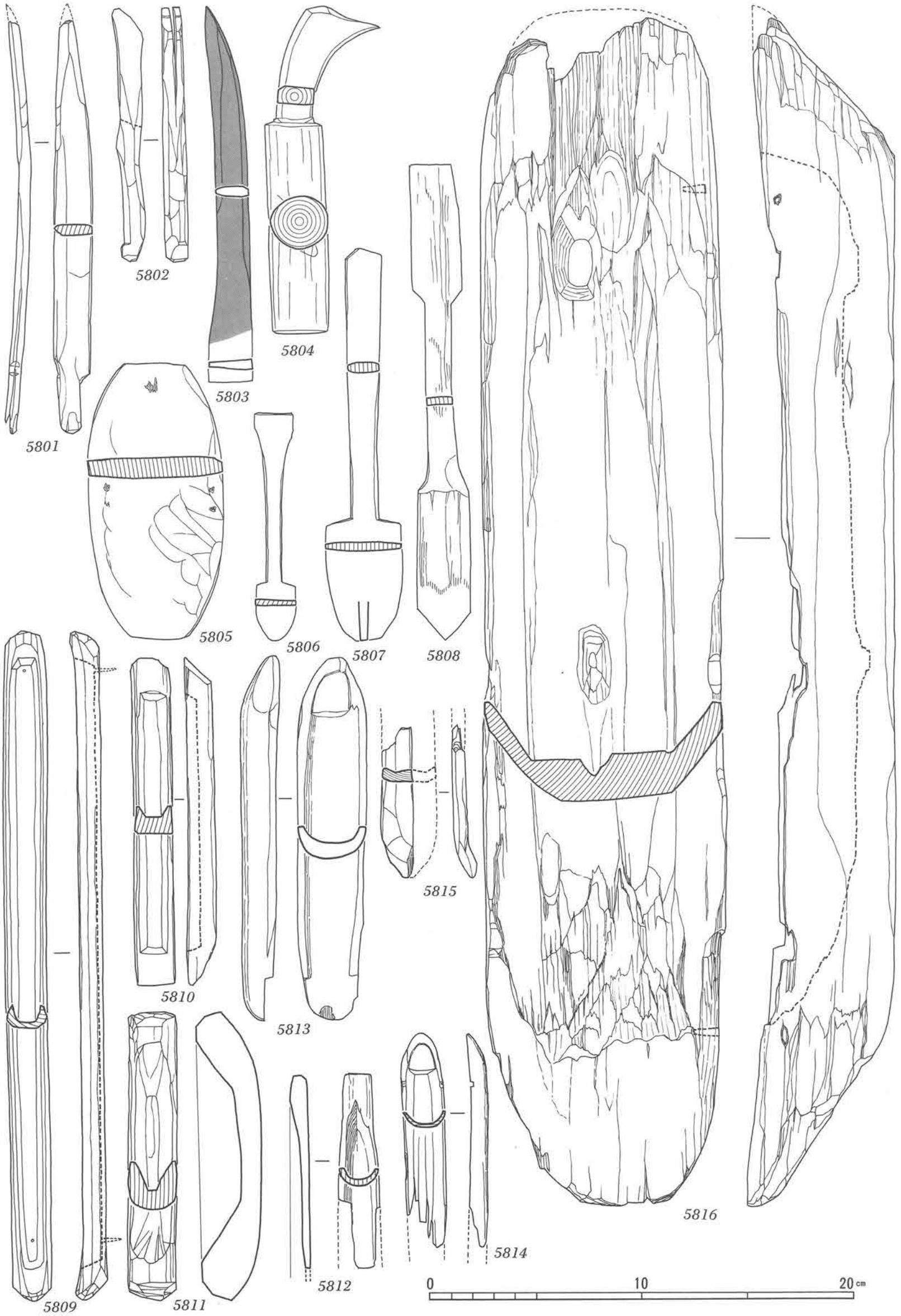
5501・*5512*；藤原宮，*5502*；平城京，*5503*～*5507*・*5513*・*5514*；平城宮，*5508*；兵庫・吉田南，*5509*；平安京・西寺，*5510*；平安京，*5511*；京都・鳥羽離宮，*5515*；長岡京，*5516*；京都・尊勝寺



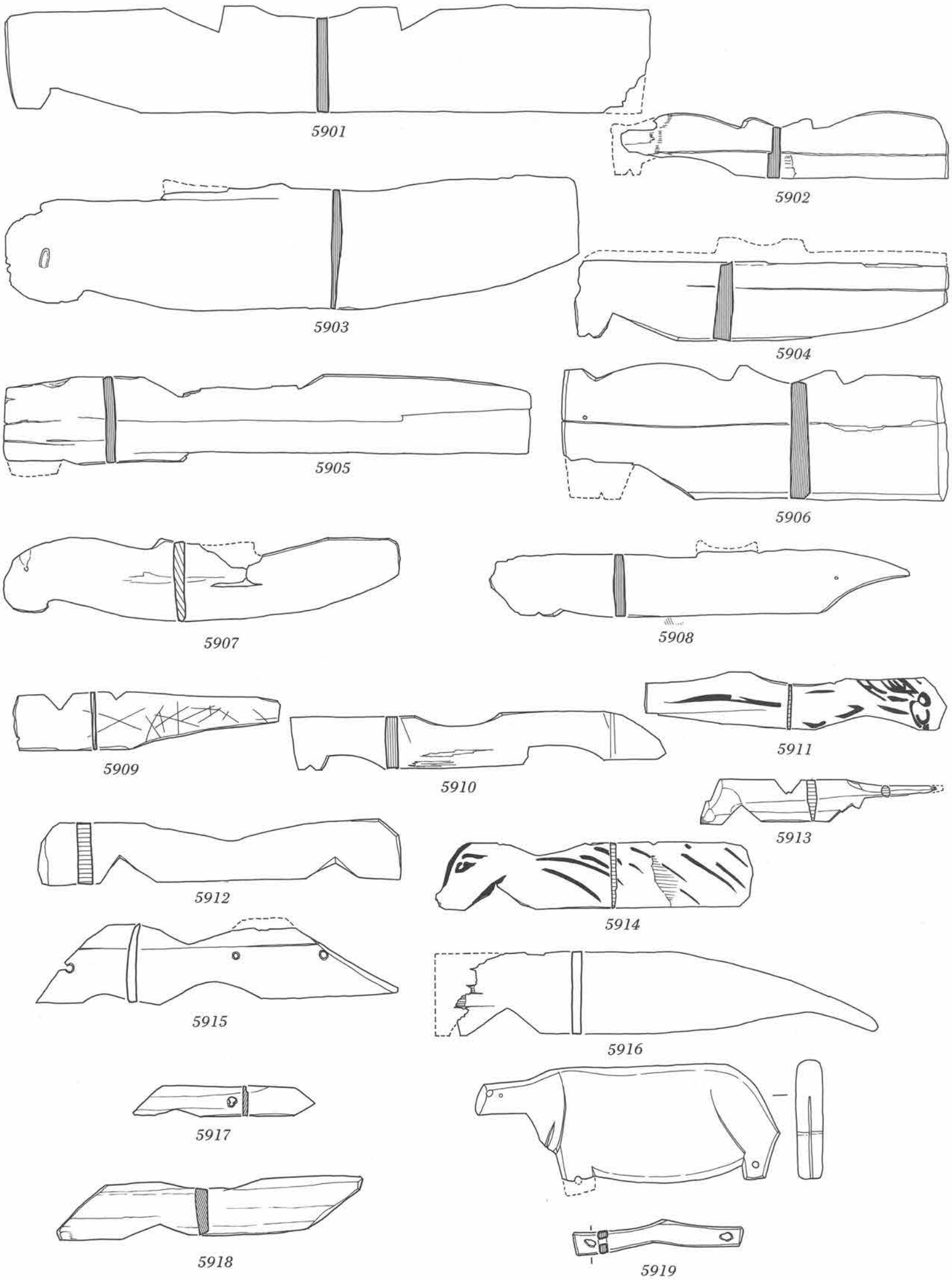
5601・*5602*・*5605*・*5607*・*5613*・*5614*・*5618*・*5619*；平城宮，　*5603*；藤原京，　*5604*・*5606*・*5608*・*5609*・*5612*・*5620*；平城京，　*5610*；大阪・大蔵司，　*5611*；兵庫・吉田南，　*5615*；藤原宮，　*5616*・*5617*；長岡京，　*5621*；奈良・白毫寺



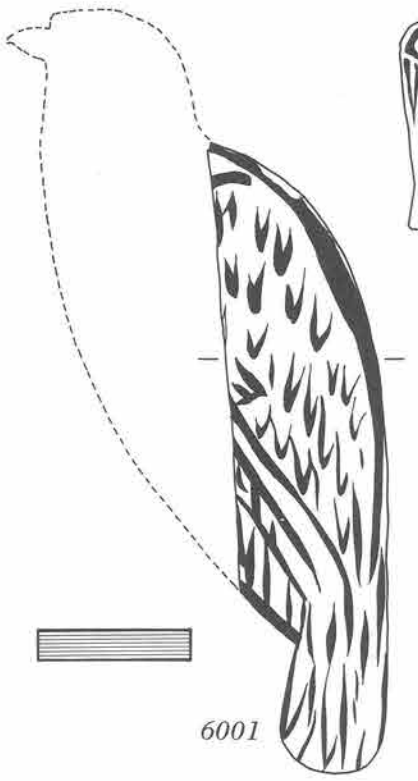
5701・5707・5709・5742・5743；平城京，*5702*；奈良・布留，*5703・5706・5712・5713・5716・5717・5719・5720・5723～5731・5733～5739*；平城宮，*5704・5711・5718*；藤原宮，*5705*；兵庫・出合，*5708*；大阪・大蔵司，*5710*；京都・仁和寺南院，*5714*；兵庫・吉田南，*5715*；京都・古殿，*5721*；平安京・西市，*5722*；滋賀・湖西線ⅡH，*5732・5740*；長岡京，*5741*；平城京・西隆寺



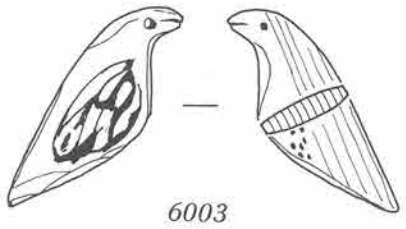
5801・5805・5809・5816；平城宮，*5802・5806*；平城京，*5803・5812*；長岡京，*5804*；兵庫・上原田，*5807*；大阪・大蔵司，*5808・5810*；藤原宮，*5811*；平安京，*5813・5814*；京都・鳥羽離宮，*5815*；難波宮



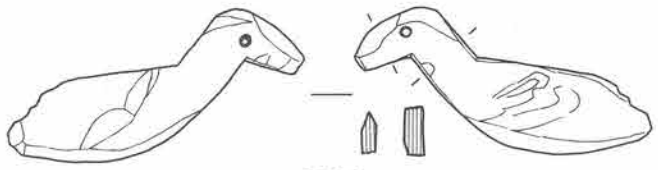
5901～5908；兵庫・姫谷，*5909・5912*；藤原宮，*5911・5913・5914*；平城宮，*5915・5916*；京都・大藪，*5910・5917・5918*；平城京，*5919*；京都・仁和寺南院

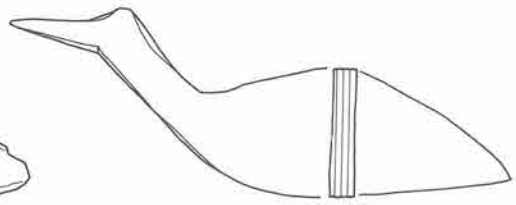

6001

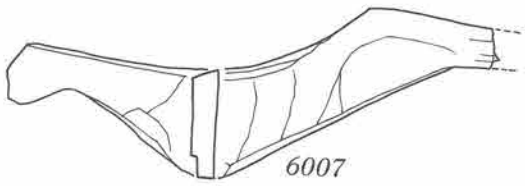
6002

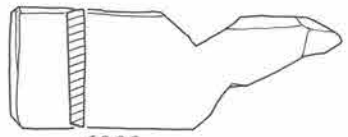

6003

6005

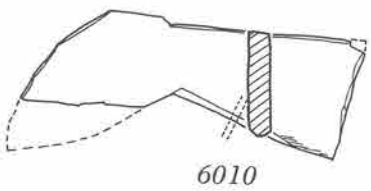

6004

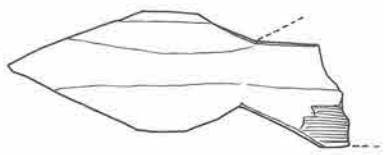

6006

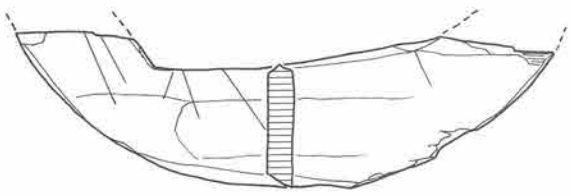

6007

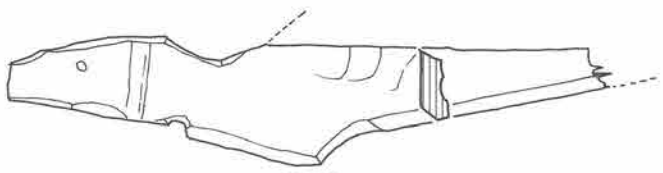

6008

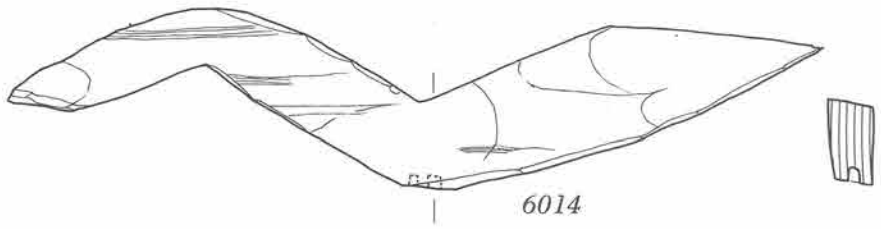
6009

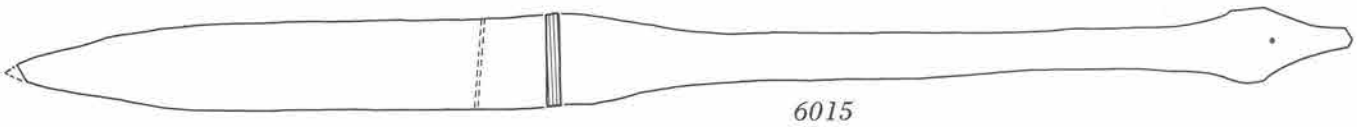

6010

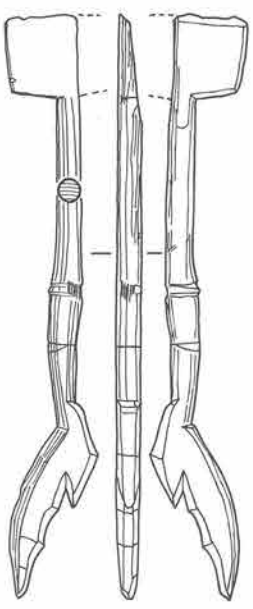

6011


6012

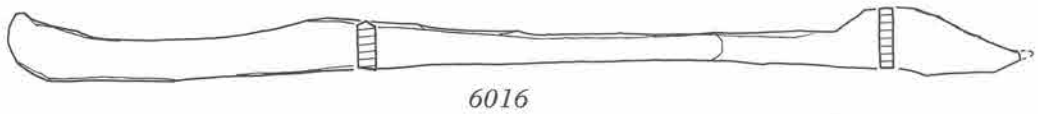

6013

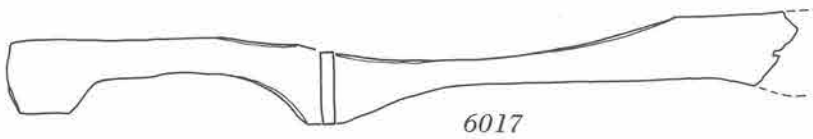

6014

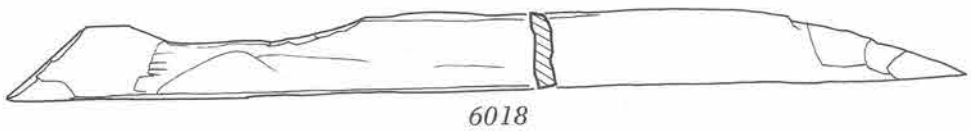

6015

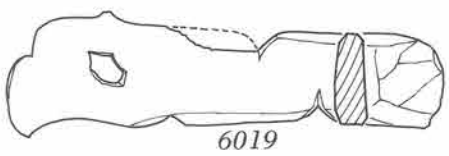

6020

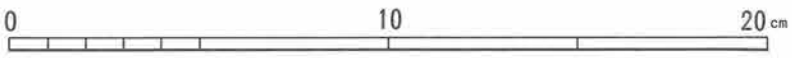
6021


6016

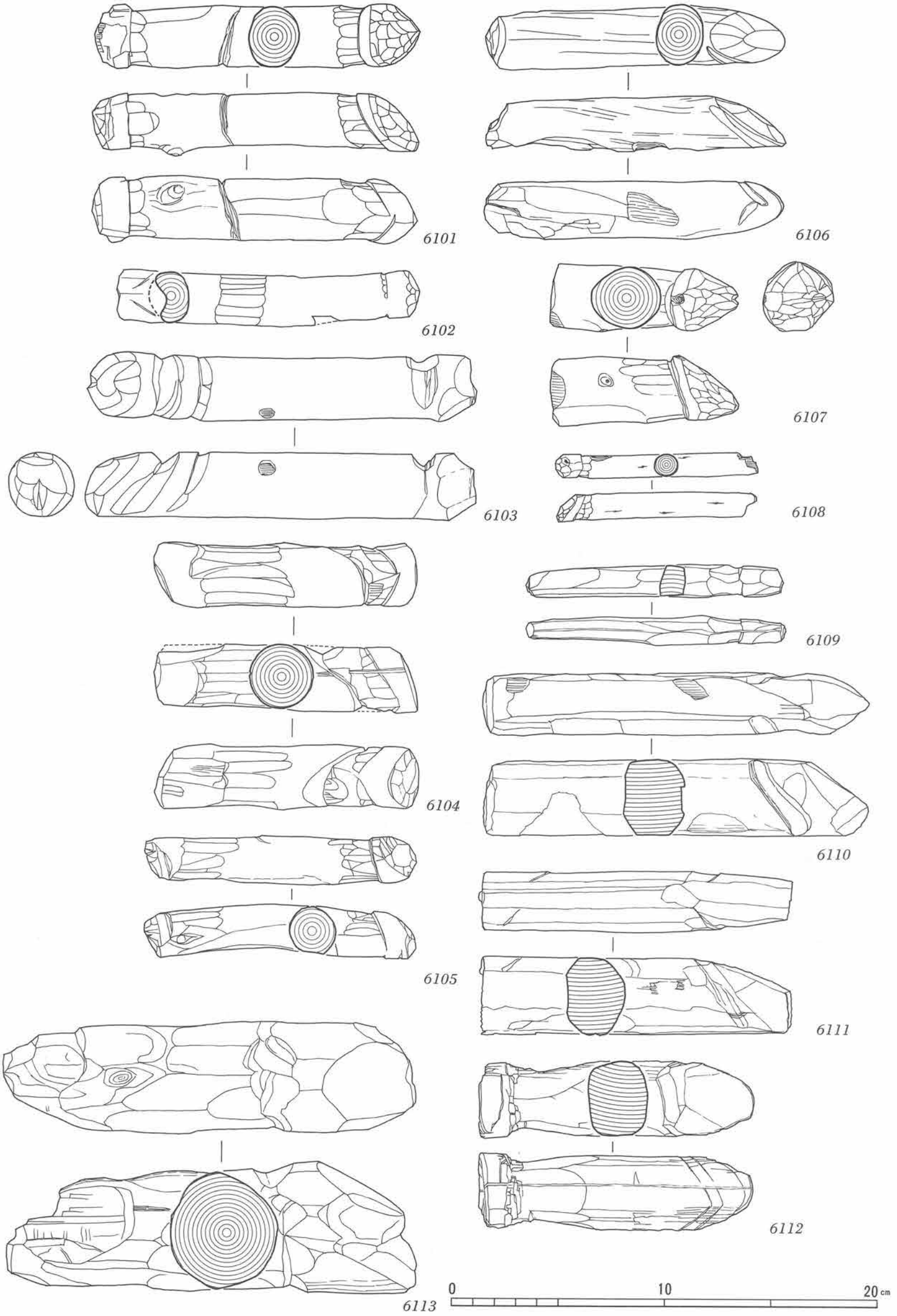

6017


6018

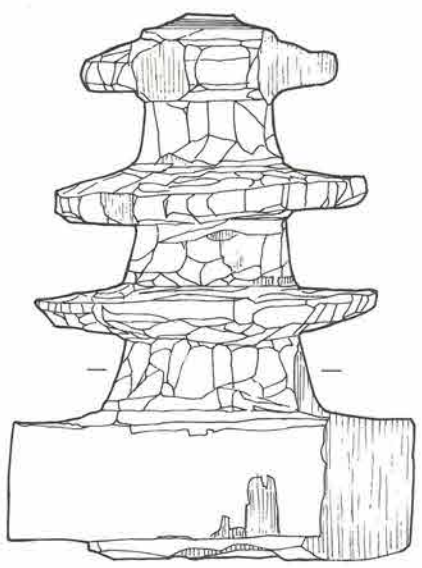

6019

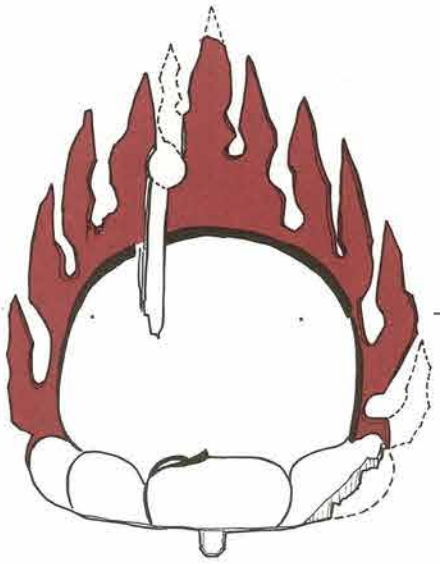


6001；藤原宮，*6002*・*6005*・*6007*～*6011*・*6016*・*6017*・*6019*・*6020*；平城宮，*6003*；長岡京，*6004*；兵庫・出合，*6006*；京都・鳥羽離宮，*6012*；平城京，*6013*；平安京・西寺，*6014*；京都・定山，*6015*；兵庫・姫谷，*6018*；大阪・大蔵司，*6021*；平城京・法華寺

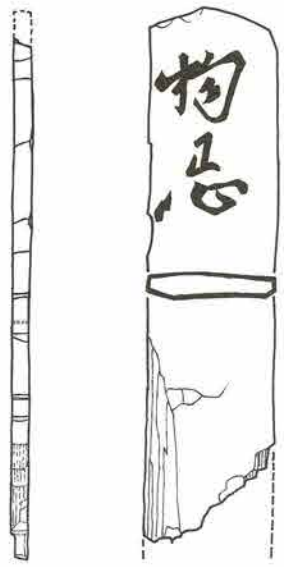


6101・6102・6106；滋賀・湖西線，*6103*；平城宮，*6104・6105*；京都・中久世，*6107・6109*；平城京，*6108*；奈良・白毫寺，*6110～6112*；滋賀・鴨，*6113*；京都・古殿

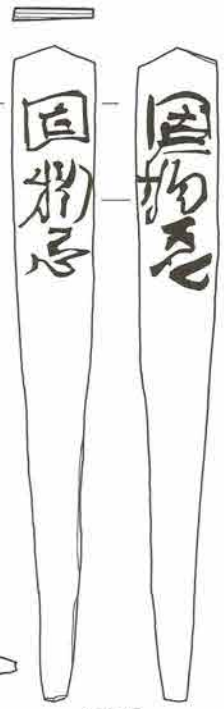




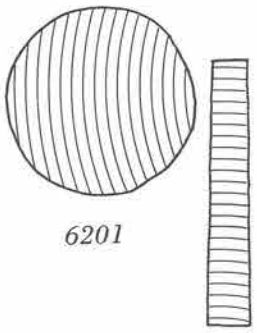
6202



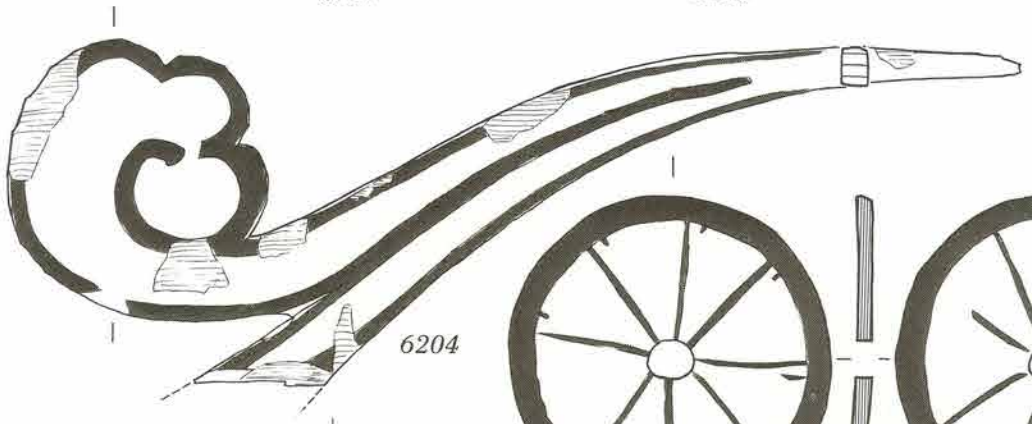
6203



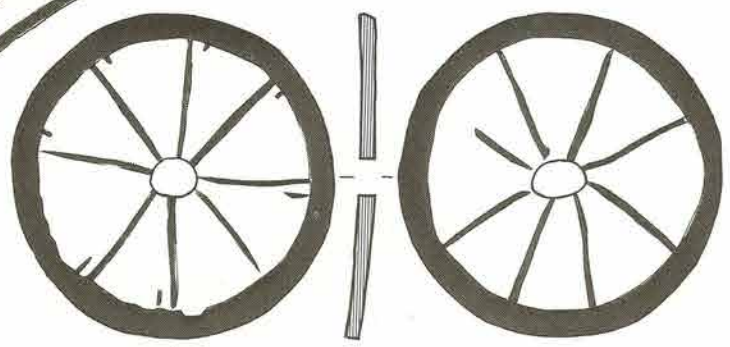
6211



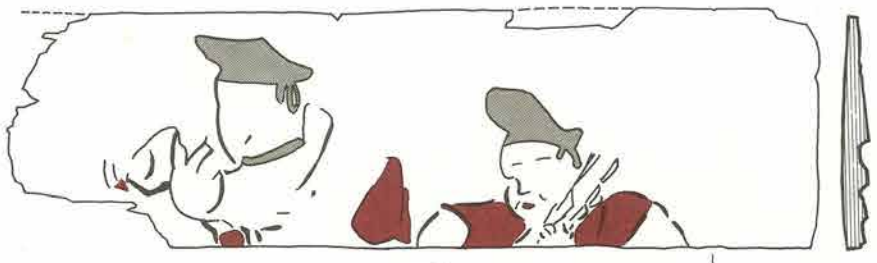
6201



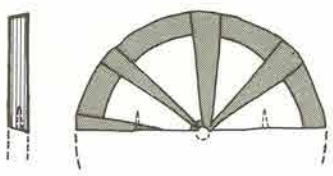
6204



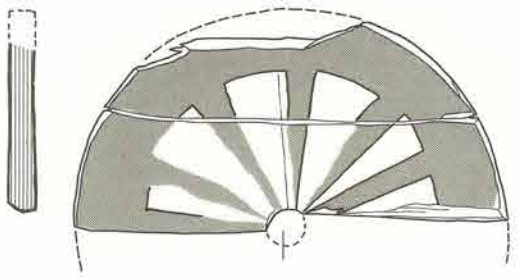
6206



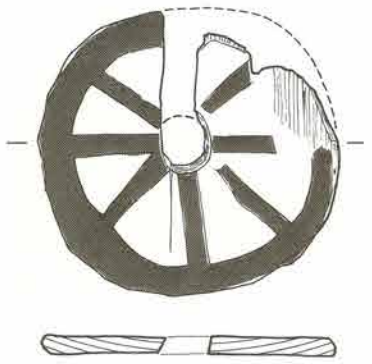
6212



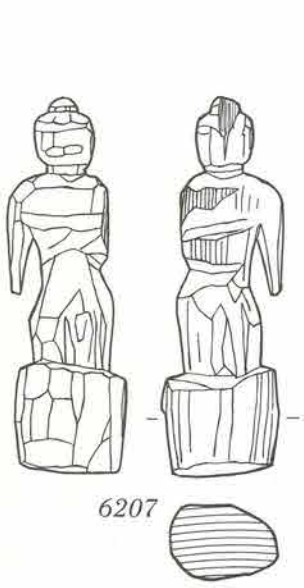
6213



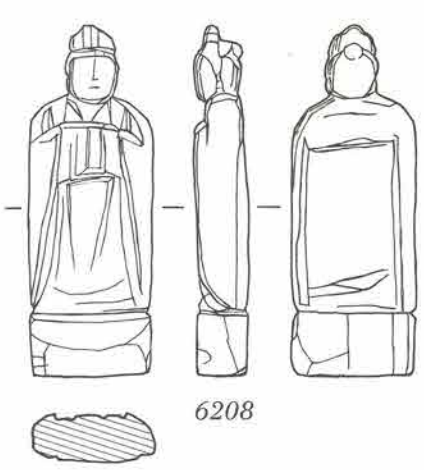
6214



6205

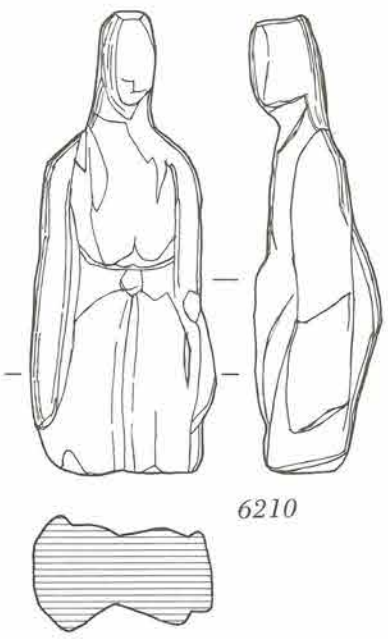


6207



6208

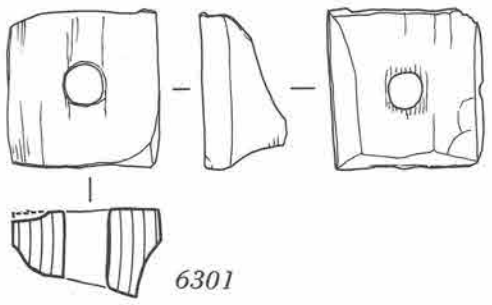
6209



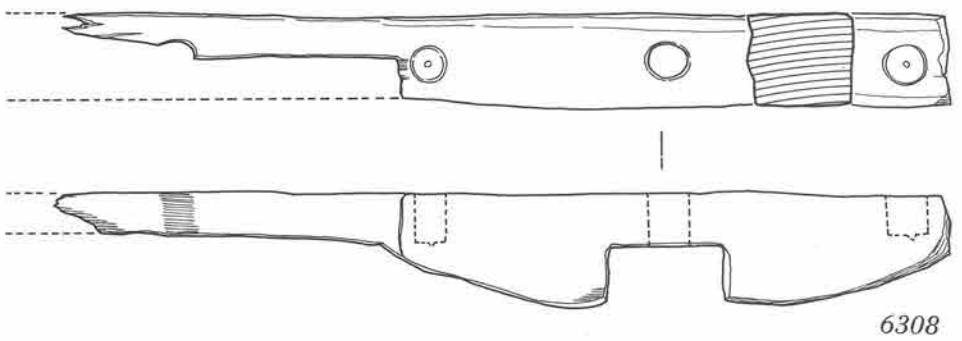
6210

0　10　20 cm

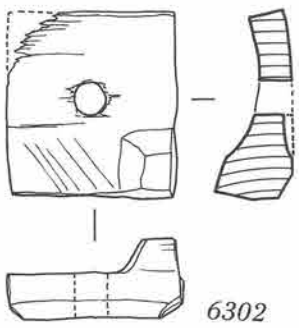
6201・6204；平城宮，*6202・6203・6205*；平城京，*6206*；京都・仁和寺南院，*6207*；滋賀・鴨，*6208～6210・6212・6213・6214*；京都・鳥羽離宮，*6211*；平安京



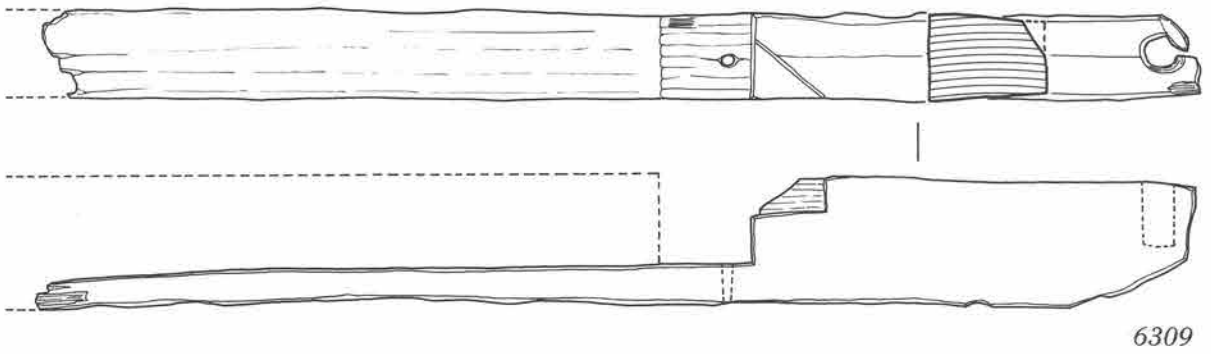
6301



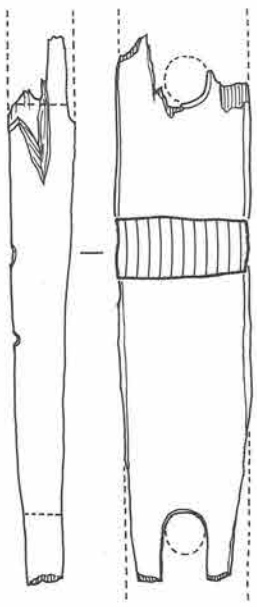
6308



6302

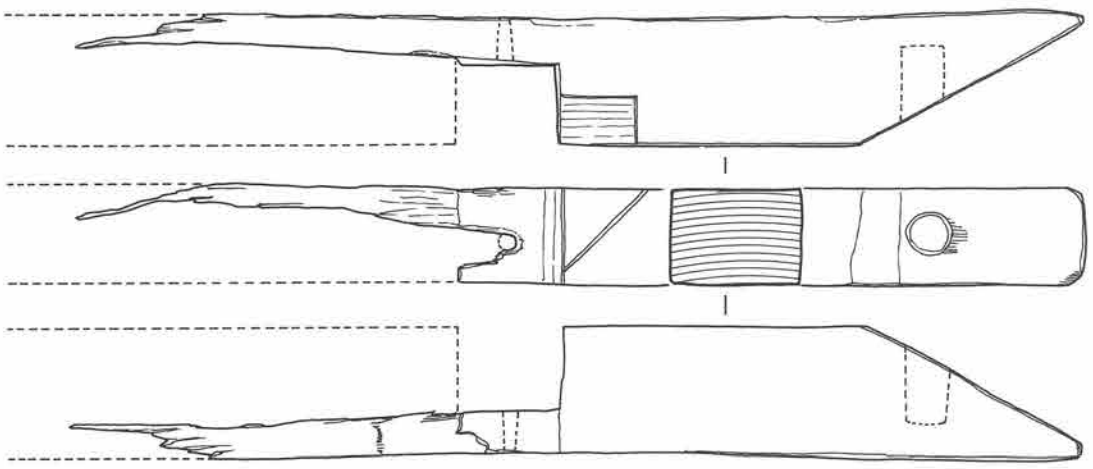


6309

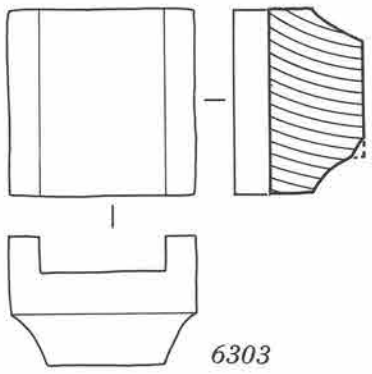


6305

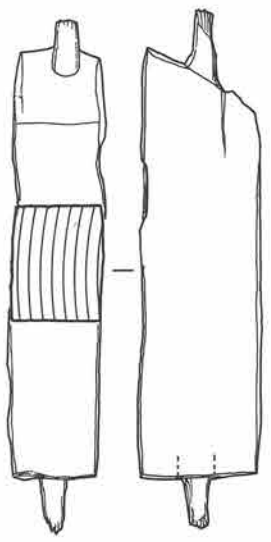
6306



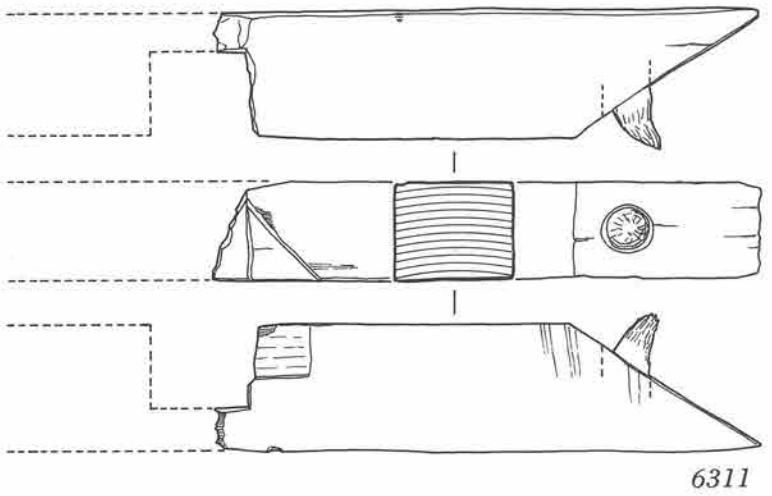
6310



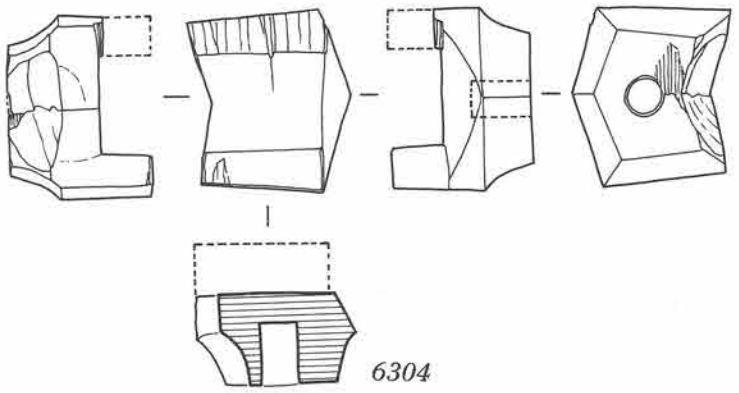
6303



6307

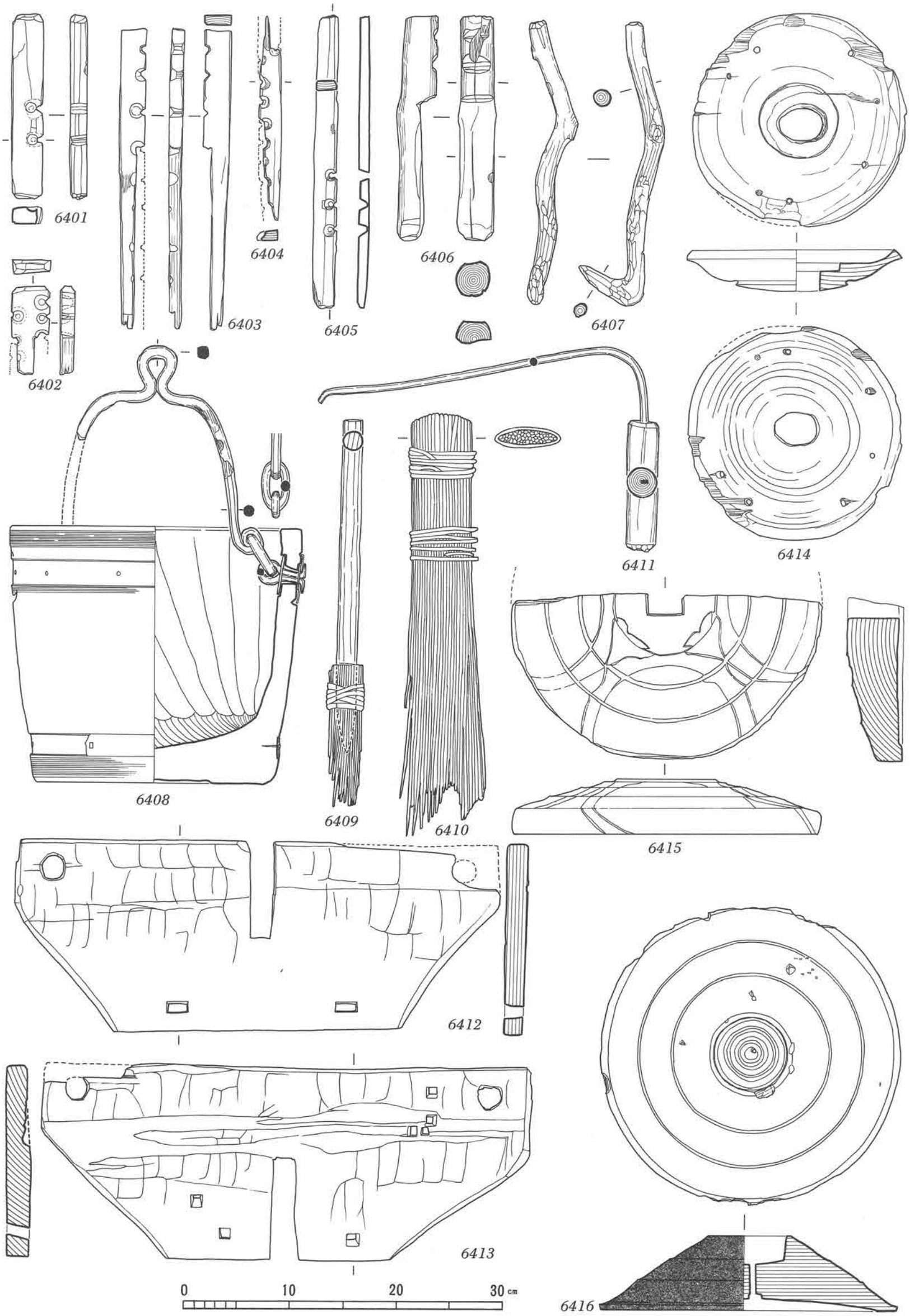


6311

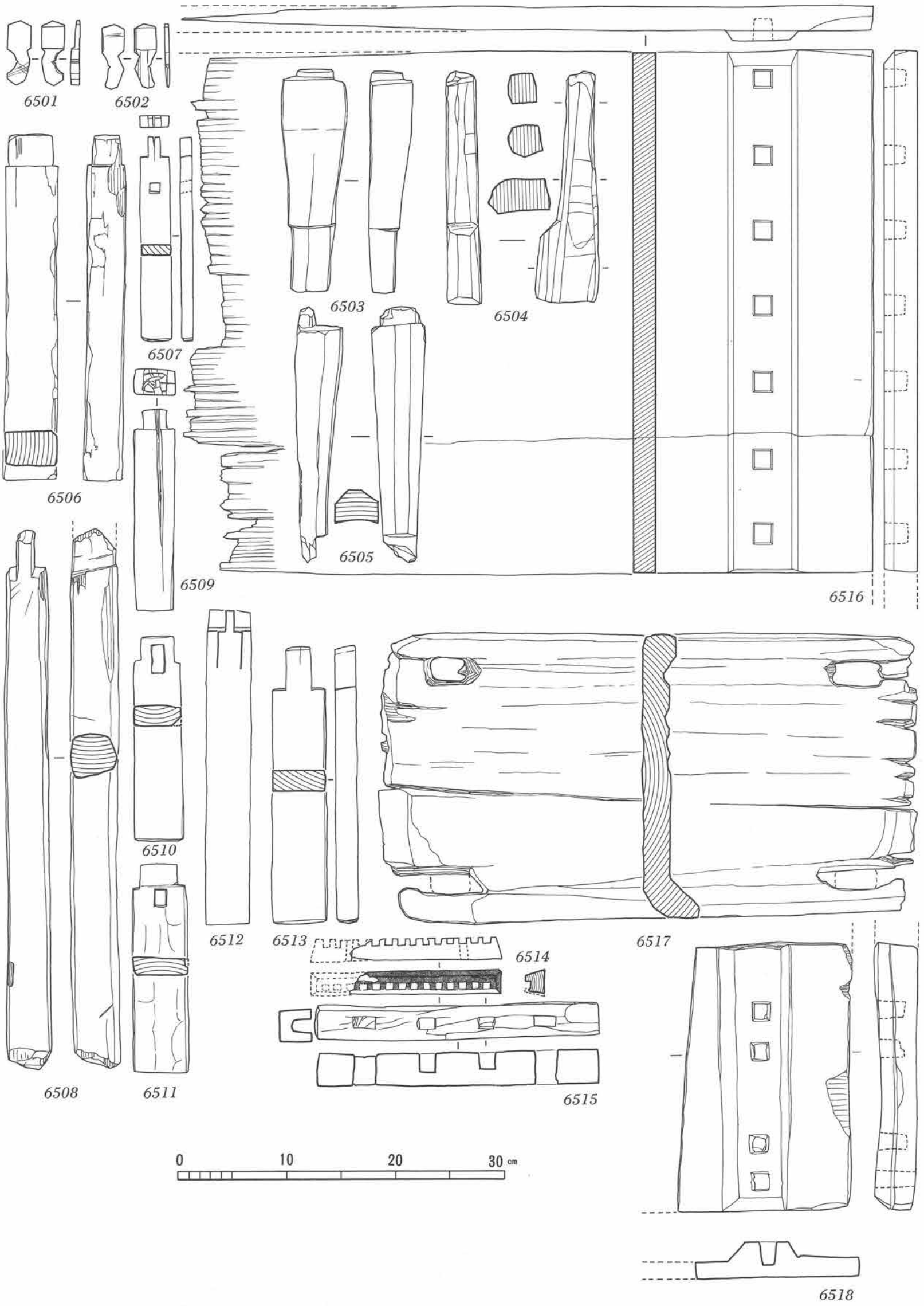


6304

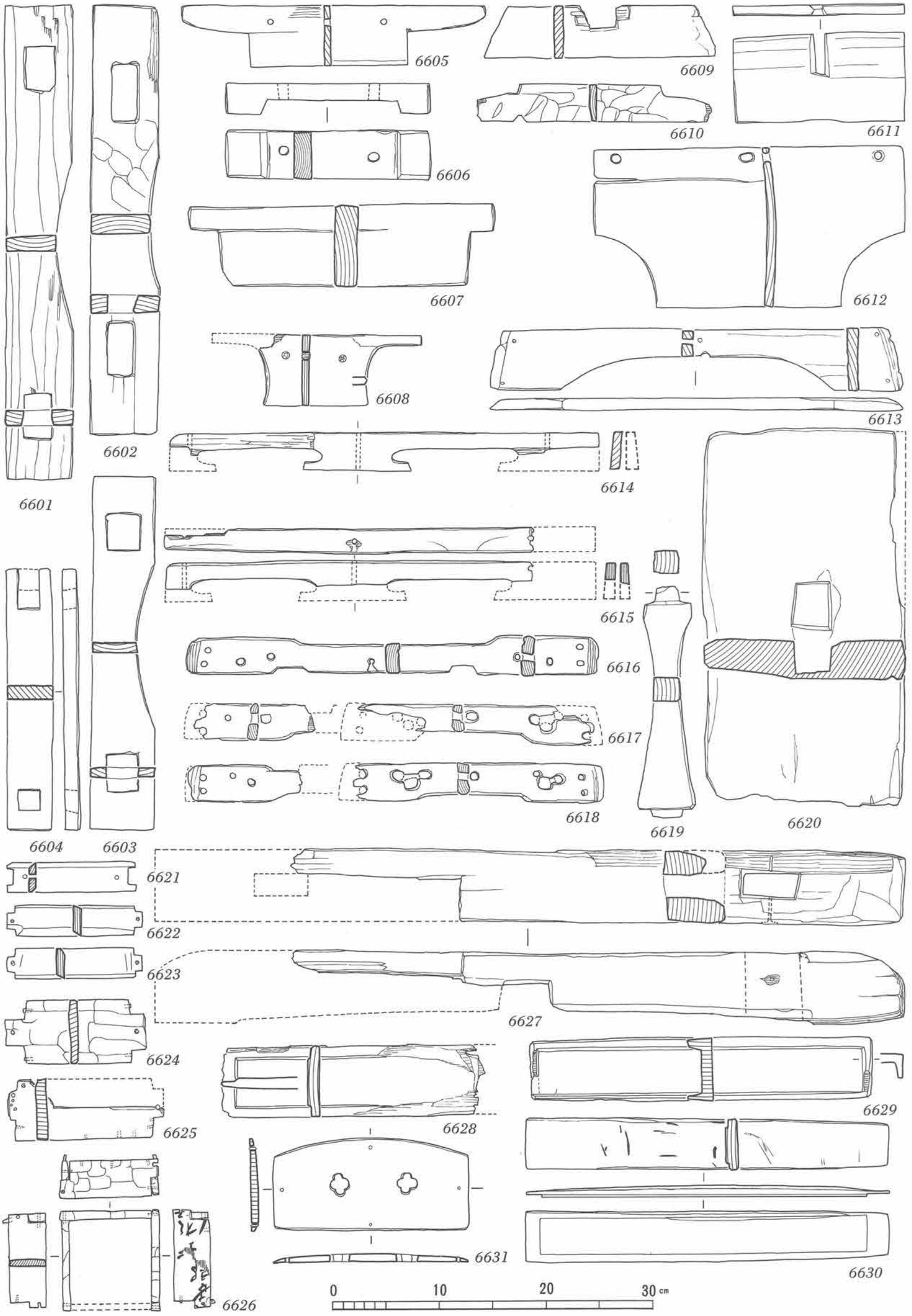
6301・6302・6304～6311；平城宮，*6303*；藤原京



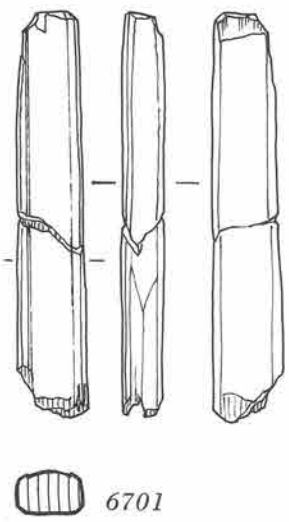
6401・6402・6404・6409・6410；平城宮，*6403・6407・6408・6414*；平城京，*6405・6411*；長岡京，*6406*；兵庫・上原田，*6412・6413*；大阪・上田部，*6415*；京都・成菩提院陵，*6416*；平安京・西市

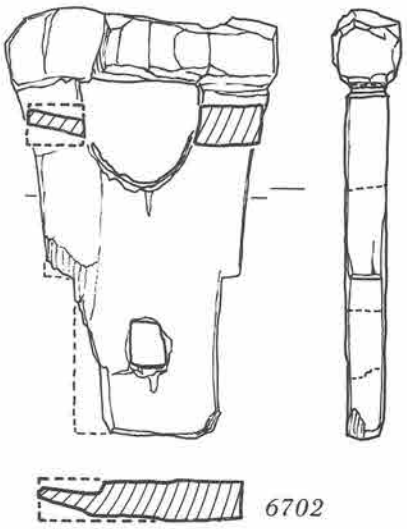


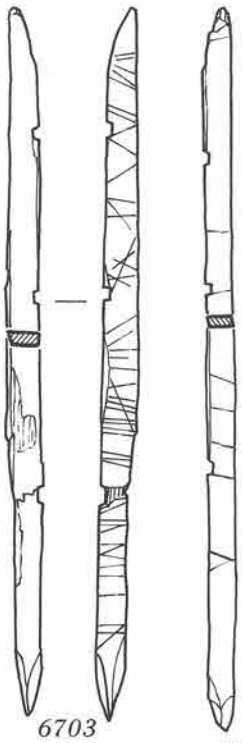
6501・*6502*・*6505*・*6512*・*6517*；平城宮，*6503*・*6510*・*6511*・*6514*；平安京・西市，*6504*；兵庫・上原田，*6506*・*6508*；大阪・上田部，*6507*・*6509*・*6513*；平城京，*6515*・*6518*；兵庫・吉田南，*6516*；平城京・西市

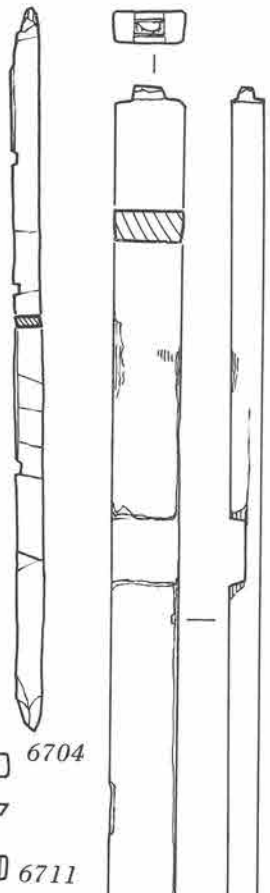


6601・6603・6614～6618・6631；長岡京，*6602・6605・6606・6608・6610・6612・6624・6626・6628～6630*；平城宮，*6604・6621～6623・6625*；平城京，*6607・6620*；平安京・西市，*6609・6613*；奈良・布留，*6611*；京都・古殿，*6619*；滋賀・湖西線ⅡH，*6627*；大阪・上田部

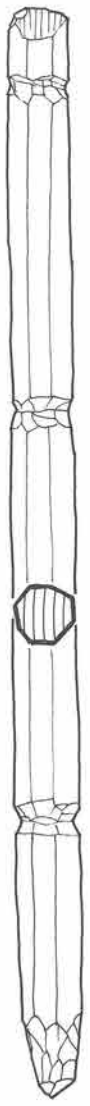

6701

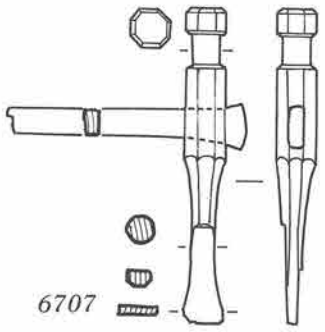

6702

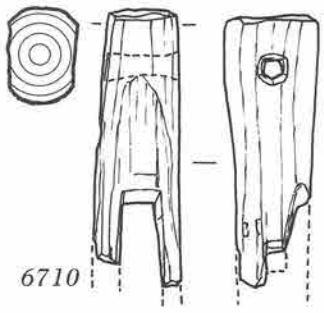

6703

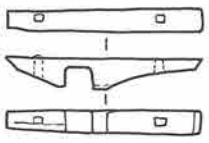

6704

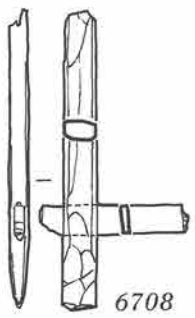
6705

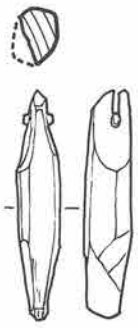

6706

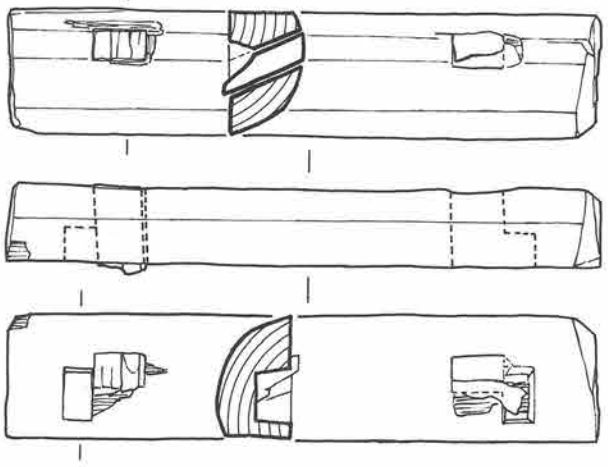

6707

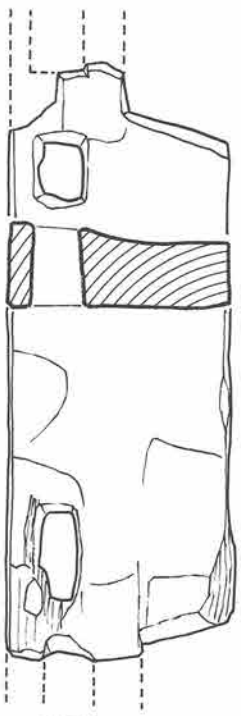

6710

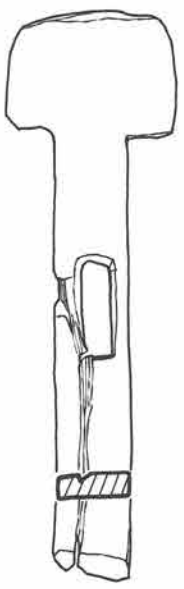

6711

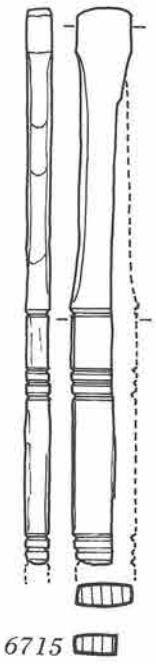

6708

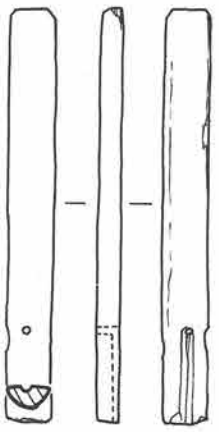

6709

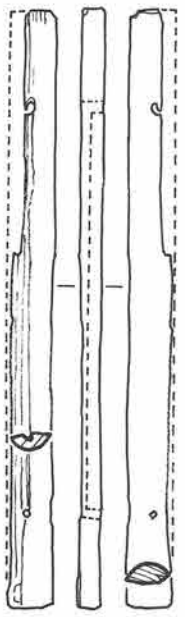

6712

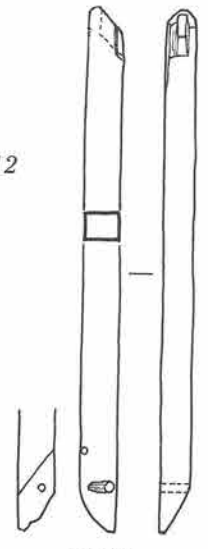

6713

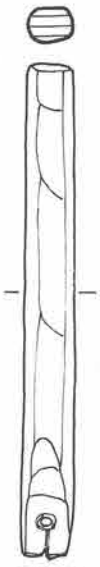

6714

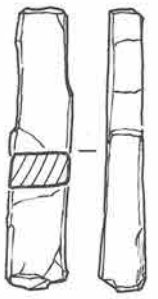

6715

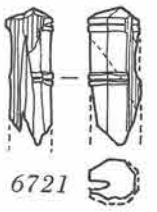

6716

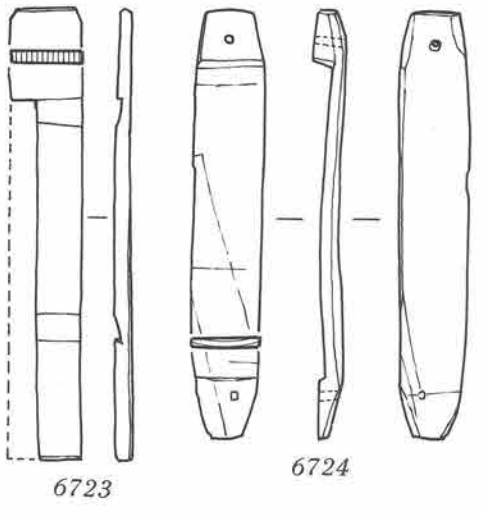

6717

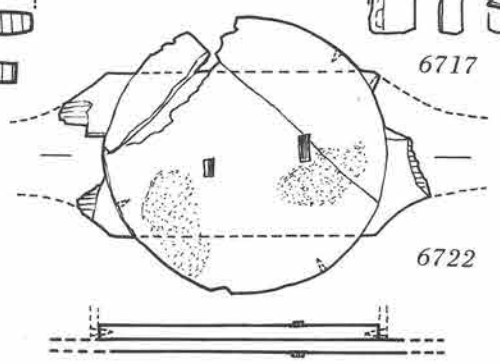

6718


6719


6720

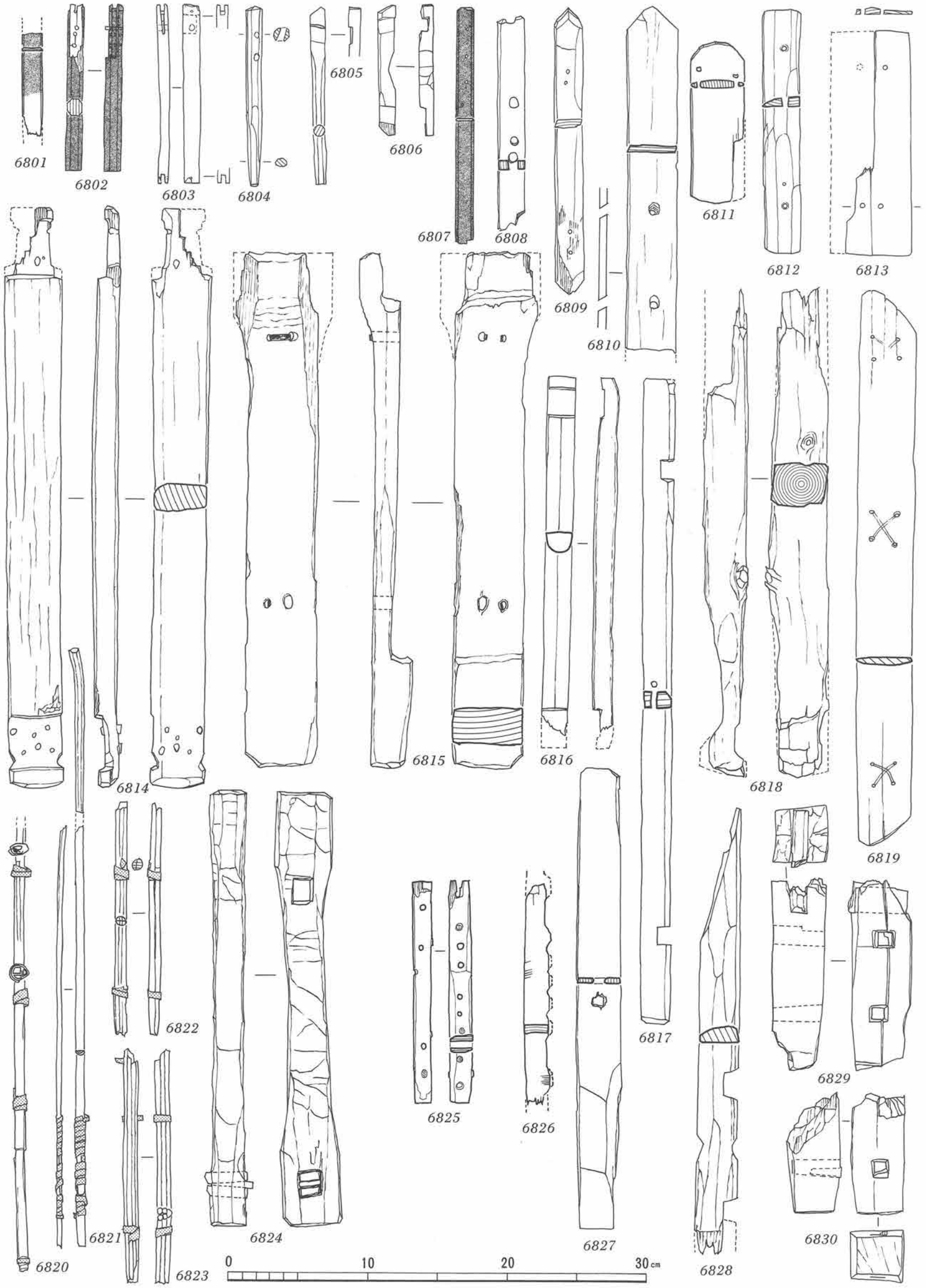

6721


6723
6724

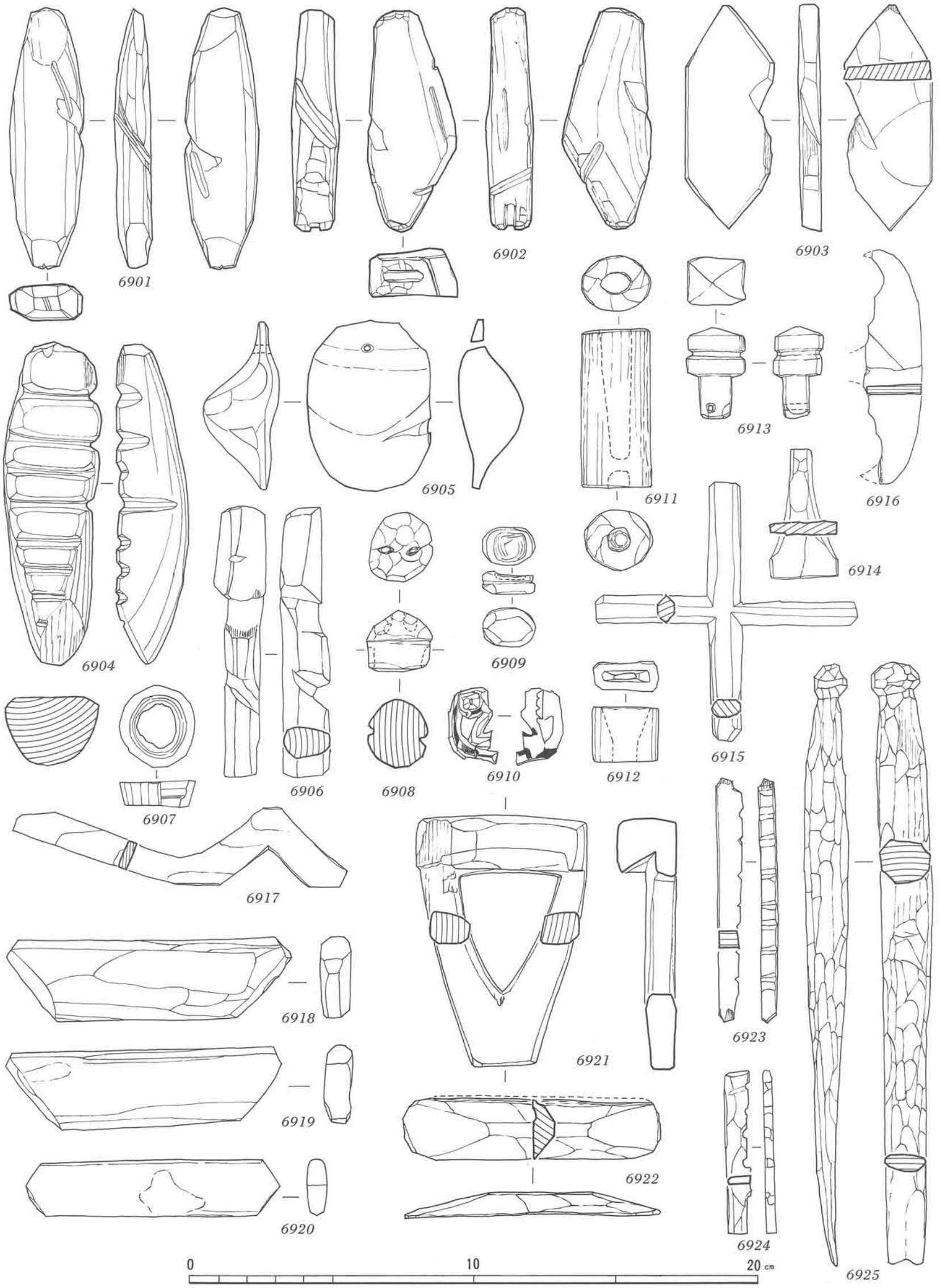

6722

0　10　20 cm

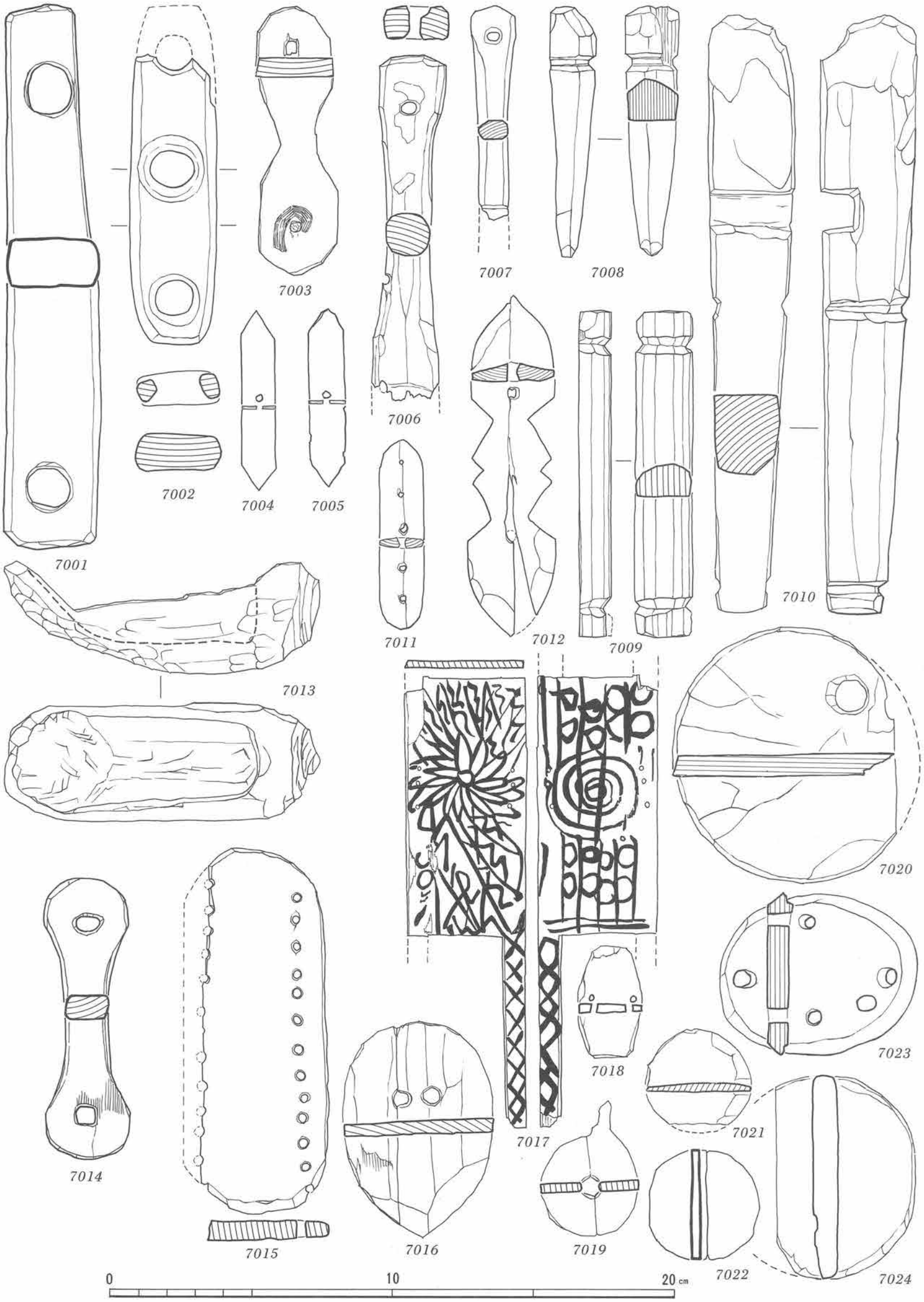
6701・6703～6705・6707・6711・6716～6718・6723・6724；平城宮，*6702・6706・6708～6710・6720・6721*；平城京，*6712*；長岡宮，*6713・6719*；大阪・上田部，*6714・6722*；大阪・大蔵司，*6715*；長岡京



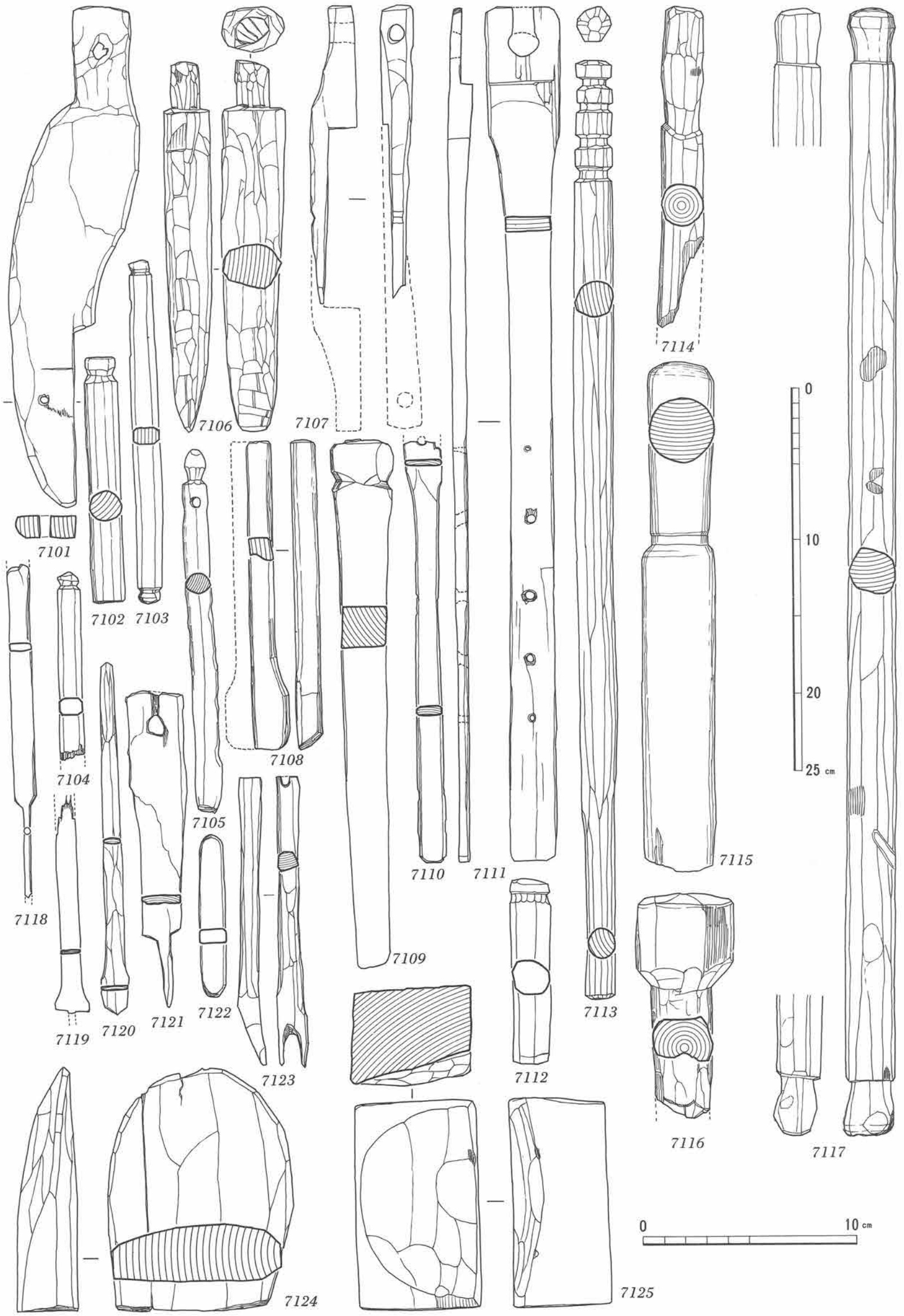
6801～*6807*・*6809*・*6812*・*6815*・*6816*・*6818*・*6819*・*6821*・*6827*；平城宮，*6808*・*6811*；藤原宮，*6810*・*6825*；大阪・大蔵司，*6813*・*6817*・*6820*・*6826*・*6828*・*6829*・*6830*；平城京，*6814*；兵庫・八反長，*6822*・*6823*；長岡京，*6824*；三重・下郡



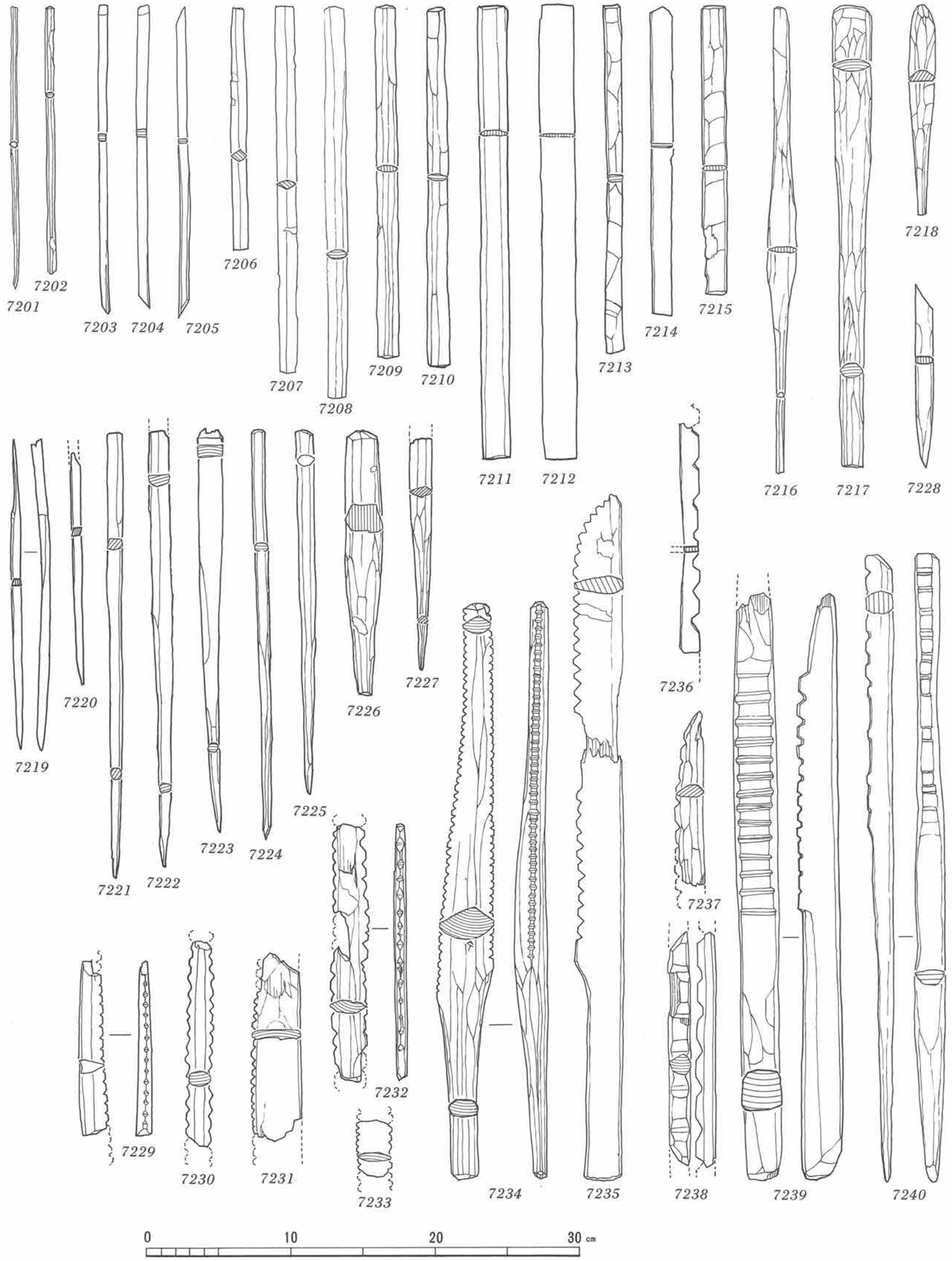
6901～*6903*・*6908*～*6924*；平城宮，*6904*・*6907*；平城京，*6905*；平安京・西市，*6906*；藤原宮，*6925*；兵庫・八反長



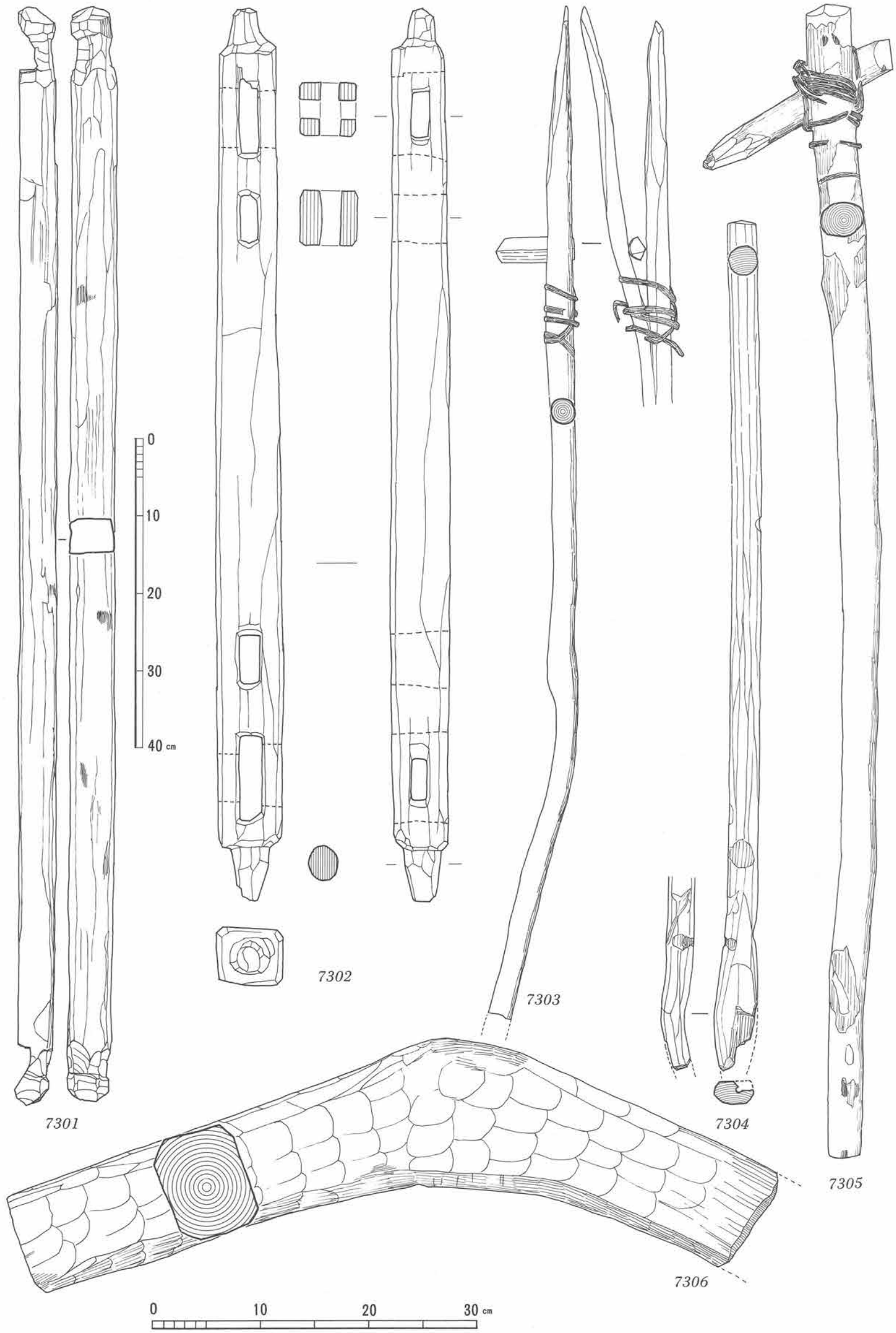
7001・7003・7006・7009・7011・7012・7016・7017・7019・7021・7022；平城宮，*7002・7010*；大阪・上田部，*7004・7005・7008・7014*；平城京，*7007*；大阪・大蔵司，*7013・7023*；藤原宮，*7015*；滋賀・下寺観音堂，*7018*；滋賀・湖西線ＶＡ，*7020*；奈良・坂田寺，*7024*；滋賀・久野部



7101・*7110*・*7114*・*7120*・*7121*・*7124*；平城京，*7102*；滋賀・伊井永田，*7103*・*7104*・*7122*；滋賀・久野部，*7105*・*7109*・*7111*・*7113*・*7118*・*7119*・*7123*・*7125*；平城宮，*7106*；大阪・上田部，*7107*；長岡京，*7108*；藤原宮，*7112*；難波宮，*7115*；京都・仁和寺南院，*7116*；平城京・西隆寺，*7117*；平安京・西市



7201・7202・7206～7213・7215・7216・7221～7226・7228・7230～7234・7237・7238；平城宮，*7203～7205・7214*；藤原宮，*7217*；長岡宮，*7218・7227・7229・7236*；平城京，*7219・7220*；大阪・大蔵司，*7235*；滋賀・鴨，*7239*；大阪・上田部，*7240*；滋賀・久野部



7301；京都・古殿，　*7302*；平城京・西隆寺，　*7303*～*7306*；平城宮